秋田県文化財調査報告書第333集

金　仏　遺　跡

— 一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ —

２００２・３

秋田県教育委員会

金仏遺跡（かなぼとけ）

— 一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ —

２００２・３

秋田県教育委員会

序

秋田県ではこれまでに約4,500箇所の遺跡が発見されており、先人の尊い遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。「最良の予言者は過去である」という言葉がありますように、これらの埋蔵文化財は、歴史や伝統文化を理解し、未来を展望した豊かな郷土文化を創造していくうえで欠くことのできない大切なものです。

さて、一般国道７号琴丘能代道路は、高速交通時代を迎えた本県北部の基幹道路として計画された自動車専用道路です。計画路線上には多数の遺跡のあることがわかっており、本教育委員会では、記録保存のため、工事に先立って、昭和61年度から発掘調査を進めて参りました。その調査成果は、昭和62年度以来、８冊の報告書として刊行し、各年度の発掘調査報告会でも県民に速報いたしてきたところであります。

このたび、路線の一部が山本郡琴丘町鹿渡に所在する金仏遺跡を通過することとなり、そのため本教育委員会では、道路工事にかかる部分の発掘調査を、平成11年度・12年度の２次にわたって実施いたしました。調査の結果、縄文時代の竪穴住居跡や土坑、中世の掘立柱建物跡や井戸跡、土坑、鍛冶生産にかかわる遺構などを検出し、また、当時の土器や石器、陶磁器、鉄製品などの遺物が出土しました。

本報告書は、金仏遺跡の発掘調査成果をまとめたものです。本書が学術上はむろんのこと、ふるさとの歴史資料として広く活用され、郷土についての誇りと埋蔵文化財愛護の一助になることを願ってやみません。

最後になりましたが、発掘調査ならびに本報告書の刊行にあたり、御援助・御協力いただきました国土交通省東北地方整備局（前建設省東北地方建設局）能代工事事務所、琴丘町教育委員会、八竜町教育委員会はじめ関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成14年３月

秋田県教育委員会

教育長　小野寺　清

例　　言

1．本報告書は、一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2．本報告書は、平成11年度・12年度に実施した山本郡琴丘町鹿渡所在の金仏遺跡の調査成果を収めたものである。

3．執筆および編集は杉渕馨、吉川孝がおこない、鈴木博文、藤原泰史、栗原拓、倉田伸治、横山香菜子、西村裕人の協力を得た。第１章～第３章は杉渕、第４章および第６章の草稿は吉川が担当した。

4．土層断面図の土色や土器の色調の表記は、農林水産省農林水産技術会議監修 財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に拠った。

5．本報告書に使用した地形図は、国土地理院発行50,000分の１地形図「森岳」、同25,000分の１地形図「鹿渡」および建設省東北地方建設局（現国土交通省東北地方整備局）能代工事事務所提供の工事用図面である。

6．自然科学的分析は以下の機関に委託した。

【平成11年度】

黒曜石の産地同定……有限会社　遺物分析研究所

放射性炭素（^{14}C）年代測定 ……株式会社　古環境研究所

樹種同定……株式会社　古環境研究所

【平成12年度】

放射性炭素（^{14}C）年代測定 ……株式会社　パレオ・ラボ

樹種同定……株式会社　パレオ・ラボ

7．発掘調査および遺構・遺物の整理にあたって、県内の教育委員会・諸機関のほか、以下の方々および諸機関から御指導・御助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である（五十音順）。

穴澤義功　岩見誠夫　寺嶋文隆　能登谷宣康　宮本長二郎　財団法人福島県文化センター

凡　　例

1．本報告書に収録した遺構実測図・グリッド配置図の方位は座標北を示す。座標北と磁北との偏角は、西に約8°０′である。

2．層序は、基本層位にローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ……）、各遺構の堆積土にアラビア数字（１・２・３……）を用いた。

3．各遺構・遺物に付している略記号は以下のとおりである。

遺構	ＳＡ－柵列・柱列	ＳＢ－掘立柱建物跡	ＳＤ－溝跡	ＳＥ－井戸跡
	ＳＩ－竪穴住居跡	ＳＫ－土坑・土坑墓	ＳＮ－焼土遺構	ＳＷ－炭窯
	ＳＫＰ－柱穴様ピット	ＳＫＳ－火葬墓	ＳＲ－土器埋設遺構	ＳＸ－性格不明遺構
遺物	ＲＰ－土器・土製品	ＲＱ－石器・石製品	ＲＭ－金属器・金属製品	
	Ｓ－自然礫	Ｃ－炭化物		

4．グリッド設定による４ｍ四方の方眼区画を「区」と呼称する。区の名称は方眼区画南東の測量杭の名称を以てこれに当てる。

5．遺構番号は第１次調査では01、第２次調査では201から始まる２桁以上の通し番号を検出順に付した。ともに遺構精査や遺物整理の段階で欠番となったものがある。また、調査の結果、複数の遺構の重複であることが判明した場合、Ａから始まる細別記号を付して区分した。

6．本報告書に収録した遺構実測図の縮尺は１／100・１／80・１／40および１／20を主としているが、適宜異なる縮尺を用いている。遺物実測図の縮尺は１／３・１／２を主としているが、異なる縮尺も使用した。いずれの場合も、挿図にはそれぞれスケールを付している。

目　次

序……i
例言・凡例……ii
目次……iii
挿図目次……iv
表目次……v
図版目次……vi

第１章　はじめに……1
　第１節　発掘調査に至る経過……1
　第２節　調査要項……2
第２章　遺跡の立地と環境……4
　第１節　遺跡の位置と立地……4
　第２節　歴史的環境……4
第３章　第１次（平成11年度）調査……8
　第１節　調査の概要……8
　　１．遺跡と調査区の概観……8
　　２．調査の方法……8
　　３．調査の経過……10
　第２節　調査の記録……15
　　１．基本層序……15
　　２．検出遺構と出土遺物……16
　　３．遺構外出土遺物……64
　第３節　小結……74
第４章　第２次（平成12年度）調査……75
　第１節　調査の概要……75
　　１．遺跡と調査区の概観……75
　　２．調査の方法……75
　　３．調査の経過……78
　第２節　調査の記録……80
　　１．調査区の地形と層序……80
　　２．検出遺構と出土遺物……80
　　３．遺構外出土遺物……224
　第３節　小結……232
　　１．縄文時代の土坑墓について……232
　　２．中世の鍛冶遺構について……232
　　３．中世の建物跡について……233
　　４．中世火葬墓について……235
第５章　自然科学的分析……236
　第１節　金仏遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析……236
　第２節　放射性炭素年代測定……244
　　１．第１次調査……244
　　２．第２次調査……245
　第３節　樹種同定……247
　　１．第１次調査……247
　　２．第２次調査……250
第６章　まとめ……254

図版／報告書抄録

挿図目次

第 1 図　周辺遺跡分布図 …… 6
第 2 図　第１次調査区グリッド設定図 …… 9
第 3 図　第１次調査遺構配置図 ……13・14
第 4 図　金仏遺跡基本土層 ……16
第 5 図　ＳＩ05竪穴住居跡 ……17
第 6 図　ＳＩ108竪穴住居跡、土器埋設炉、出土遺物 ……18
第 7 図　ＳＩ127竪穴住居跡、出土遺物 ……20
第 8 図　ＳＩ148竪穴住居跡、土器埋設炉、出土遺物 ……21
第 9 図　ＳＫ04・06・07・08・09土坑、出土遺物 ……23
第10図　ＳＫ10・11・14・15・16・25土坑、出土遺物 ……25
第11図　ＳＫ26・28・29・32・33・34・41・44土坑、出土遺物 ……28
第12図　ＳＫ45・49・52・53・54・56・57土坑、出土遺物 ……31
第13図　ＳＫ60・63・69・73・74・75・76・78・82土坑 ……34
第14図　ＳＫ83・84・93土坑、出土遺物 ……37
第15図　ＳＫ98・100・101・105・107・110土坑、出土遺物 ……39
第16図　ＳＫ117・119・120・121・123・126・128・133・134土坑 ……41
第17図　ＳＫ135・146・147土坑、出土遺物 ……44
第18図　ＳＮ36・46・64・65・72・81焼土遺構、出土遺物 ……46
第19図　ＳＮ86焼土遺構、ＳＲ68土器埋設遺構、出土遺物 ……49
第20図　ＳＲ68土器埋設遺構、出土遺物 ……50
第21図　ＳＫ59・87・92土坑、出土遺物 ……51
第22図　ＳＩ99竪穴住居跡(1)、出土遺物 ……53
第23図　ＳＩ99竪穴住居跡(2) ……54
第24図　ＳＮ97・104・129焼土遺構 ……56
第25図　ＳＢ91掘立柱建物跡 ……58
第26図　ＳＢ122掘立柱建物跡 ……59
第27図　ＳＡ89・95柱穴列 ……60
第28図　ＳＤ21・115溝跡 ……61
第29図　溝跡出土遺物、ＳＸ27性格不明遺構 ……63
第30図　ＳＸ62性格不明遺構、出土土錘 ……65
第31図　遺構外出土遺物(1)、土器 ……66
第32図　遺構外出土遺物(2)、土器 ……68
第33図　遺構外出土遺物(3)、石器 ……70
第34図　遺構外出土遺物(4)、石器 ……71
第35図　遺構外出土遺物(5)、石器 ……72
第36図　金仏遺跡地形概況図 ……76
第37図　第２次調査区グリッド設定図 ……77
第38図　遺構配置図(1)、ＮＣ～ＮＥ52～54区 ……81
第39図　遺構配置図(2)、ＮＦ～ＮＨ48～51区 ……82
第40図　遺構配置図(3)、ＮＣ～ＮＥ48～51区 ……83
第41図　遺構配置図(4)、ＮＦ～ＮＨ44～47区 ……84
第42図　遺構配置図(5)、ＮＣ～ＮＥ44～47区 ……85
第43図　遺構配置図(6)、ＭＴ～ＮＢ52～55区 ……86
第44図　遺構配置図(7)、ＭＱ～ＭＳ52～55区 ……87
第45図　遺構配置図(8)、ＭＴ～ＮＢ48～51区 ……88
第46図　遺構配置図(9)、ＭＱ～ＭＳ48～51区 ……89
第47図　遺構配置図(10)、ＭＴ～ＮＢ44～47区 ……90
第48図　遺構配置図(11)、ＭＱ～ＭＳ44～47区 ……91
第49図　遺構配置図(12)、ＭＮ～ＭＰ56～59区 ……92
第50図　遺構配置図(13)、ＭＫ～ＭＭ56～59区 ……93
第51図　遺構配置図(14)、ＭＮ～ＭＰ52～55区 ……94
第52図　遺構配置図(15)、ＭＫ～ＭＭ52～55区 ……95
第53図　遺構配置図(16)、ＭＮ～ＭＰ48～51区 ……96
第54図　遺構配置図(17)、ＭＫ～ＭＭ48～51区 ……97
第55図　遺構配置図(18)、ＭＮ～ＭＰ44～47区 ……98
第56図　遺構配置図(19)、ＭＫ～ＭＭ44～47区 ……99
第57図　遺構配置図(20)、ＭＨ～ＭＪ56～59区 ……100
第58図　遺構配置図(21)、ＭＥ～ＭＧ56～59区 ……101
第59図　遺構配置図(22)、ＭＨ～ＭＪ52～55区 ……102
第60図　遺構配置図(23)、ＭＥ～ＭＧ52～55区 ……103
第61図　遺構配置図(24)、ＭＨ～ＭＪ48～51区 ……104
第62図　遺構配置図(25)、ＭＥ～ＭＧ48～51区 ……105
第63図　遺構配置図(26)、ＭＨ～ＭＪ44～47区 ……106
第64図　遺構配置図(27)、ＭＥ～ＭＧ44～47区 ……107
第65図　遺構配置図(28)、ＭＢ～ＭＤ60～63区 ……108
第66図　遺構配置図(29)、ＬＳ～ＭＡ60～63区 ……109
第67図　遺構配置図(30)、ＭＢ～ＭＤ56～59区 ……110
第68図　遺構配置図(31)、ＬＳ～ＭＡ56～59区 ……111
第69図　遺構配置図(32)、ＬＰ～ＬＲ60～63区 ……112
第70図　遺構配置図(33)、ＬＭ～ＬＯ60～63区 ……113
第71図　遺構配置図(34)、ＬＰ～ＬＲ56～59区 ……114
第72図　遺構配置図(35)、ＬＭ～ＬＯ56～59区 ……115
第73図　遺構配置図(36)、ＬＳ～ＭＡ52～55区 ……116
第74図　遺構配置図(37)、ＬＰ～ＬＲ52～55区 ……117

第75図　遺構配置図(38)、ＬＭ～ＬＯ52～55区 …… 118
第76図　ＳＫ303・444・533・536・590・608A・608B土坑、出土遺物 …… 129
第77図　ＳＫ620・633・635・637・638・639・640土坑、出土遺物 …… 130
第78図　ＳＫ643・645A・646・647・648土坑、出土遺物 …… 131
第79図　ＳＫ652・655・667・723・732・760土坑 …… 132
第80図　ＳＫ805・866・898・899・925A・928・985・988土坑 …… 133
第81図　ＳＫ1010・1115・1153・1154・1161・1162・1177・1305・1309土坑 …… 134
第82図　ＳＫ1325・1367・1405・1425・1426・1887・1962・2102土坑 …… 135
第83図　ＳＮ552・559・765焼土遺構、出土遺物 …… 136
第84図　ＳＢ3001・3002・3003掘立柱建物跡 …… 154
第85図　ＳＢ3004・3005掘立柱建物跡 …… 155
第86図　ＳＢ3006掘立柱建物跡 …… 156
第87図　ＳＢ3007・3008掘立柱建物跡 …… 157
第88図　ＳＢ3009・3010掘立柱建物跡 …… 158
第89図　ＳＢ3011・3012掘立柱建物跡 …… 159
第90図　ＳＢ3013・3014・3015掘立柱建物跡 …… 160
第91図　ＳＢ3016・3017掘立柱建物跡 …… 161
第92図　ＳＢ3018・3019・3020掘立柱建物跡 …… 162
第93図　ＳＢ3021・3022掘立柱建物跡 …… 163
第94図　ＳＢ3023・3024・3025掘立柱建物跡 …… 164
第95図　ＳＡ3026・3027・3029・3030・3031・3032・3033・3034・3035柱穴列 …… 165
第96図　ＳＡ3036・3037・3038・3039・3040・3041・3043・3045柱穴列 …… 166
第97図　ＳＡ3044・3046・3047・3048・3049・3050・3051・3052・3053・3054・3055・3056柱穴列 …… 167
第98図　ＳＡ3057・3058・3059・3060・3061・3062・3063・3064・3065・3066・3068・3069柱穴列 …… 168
第99図　ＳＡ3070・3071・3072・3073・3074・3075・3076・3077・3078・3079・3082・3083・3084・3085柱穴列 …… 169
第100図　ＳＡ3086・3087・3088・3089・3090・3091・3092・3093・3094・3096・3097柱穴列 …… 170
第101図　ＳＡ3028・3042・3067・3080・3081・3095柱穴列 …… 171
第102図　ＳＥ525井戸跡、出土遺物、ＳＫＳ560火葬墓 …… 172
第103図　ＳＫ267・268・271鍛冶関連土坑、出土遺物 …… 173
第104図　ＳＫ306・321・400鍛冶関連土坑、出土遺物 …… 174
第105図　ＳＫ407・408・1957鍛冶関連土坑、出土遺物 …… 175
第106図　ＳＫＰ507・1186・1981鍛冶関連遺物出土柱穴、出土遺物 …… 176
第107図　ＳＷ202・205・248・912炭窯 …… 177
第108図　ＳＤ201・238・447・656・741・743・978・997・1150溝跡断面 …… 178
第109図　溝跡出土遺物 …… 179
第110図　ＳＫ203・204A・218・220・223・239・245土坑 …… 212
第111図　ＳＫ284・293・313・320・324・349土坑 …… 213
第112図　ＳＫ350・352・355・388・394・397土坑 …… 214
第113図　ＳＫ422・426・429土坑、出土遺物 …… 215
第114図　ＳＫ445・457・461・489・493土坑 …… 216
第115図　ＳＫ494・500・509・510・515・528土坑、出土遺物 …… 217
第116図　ＳＫ740・776・829・830・913土坑 …… 218
第117図　ＳＫ900・932A・932B・993・1014B・1016・1146土坑、出土遺物 …… 219
第118図　ＳＫ1149・1168・1175・1182A・1198・1201・1285・1297・1299土坑 …… 220
第119図　ＳＫ1306・1330・1349A・1364・1393・1416・1604・1878・2158土坑、ＳＫＰ2129柱穴 …… 221
第120図　ＳＮ452焼土遺構／柱穴出土遺物(1) …… 222
第121図　柱穴出土遺物(2) …… 223
第122図　遺構外出土遺物(1)、縄文土器 …… 226
第123図　遺構外出土遺物(2)、縄文土器 …… 227
第124図　遺構外出土遺物(3)、石器 …… 228
第125図　遺構外出土遺物(4)、石器 …… 229
第126図　遺構外出土遺物(5)、石器・陶磁器 …… 230
第127図　遺構外出土遺物(6)、陶磁器・鉄製品・土錘 …… 231
第128図　黒曜石原産地 …… 253

表目次

第１表　周辺遺跡一覧 …… 7
第２表　第１次調査出土土器計測値 …… 73
第３表　第１次調査出土石器計測値 …… 73
第４表　柱穴列計測表 …… 143
第５表　ＳＫ267粒状滓計測値 …… 144
第６表　ＳＫ267鍛造剥片計測値 …… 144
第７表　ＳＫ267鉄滓計測値 …… 144
第８表　ＳＫ268粒状滓計測値 …… 145
第９表　ＳＫ268鍛造剥片計測値 …… 145
第10表　ＳＫ268鉄滓計測値 …… 145
第11表　ＳＫ306鉄滓計測値 …… 146
第12表　ＳＫ321粒状滓計測値 …… 146
第13表　ＳＫ321鍛造剥片計測値 …… 146
第14表　ＳＫ321鉄滓計測値 …… 147
第15表　ＳＫ400粒状滓計測値 …… 147
第16表　ＳＫ400鍛造剥片計測値 …… 147
第17表　ＳＫ400鉄滓計測値 …… 147
第18表　ＳＫ407粒状滓計測値 …… 148

第 19 表　ＳＫ407鍛造剥片計測値 …… 148
第 20 表　ＳＫ407鉄滓計測値 …… 148
第 21 表　柱穴観察表(1) …… 192
第 22 表　柱穴観察表(2) …… 193
第 23 表　柱穴観察表(3) …… 194
第 24 表　柱穴観察表(4) …… 195
第 25 表　柱穴観察表(5) …… 196
第 26 表　柱穴観察表(6) …… 197
第 27 表　柱穴観察表(7) …… 198
第 28 表　柱穴観察表(8) …… 199
第 29 表　柱穴観察表(9) …… 200
第 30 表　柱穴観察表(10) …… 201
第 31 表　柱穴観察表(11) …… 202
第 32 表　柱穴観察表(12) …… 203
第 33 表　柱穴観察表(13) …… 204
第 34 表　柱穴観察表(14) …… 205
第 35 表　柱穴観察表(15) …… 206
第 36 表　柱穴観察表(16) …… 207
第 37 表　柱穴観察表(17) …… 208
第 38 表　柱穴観察表(18) …… 209
第 39 表　柱穴観察表(19) …… 210
第 40 表　柱穴観察表(20) …… 211
第 41 表　第 2 次調査遺構外出土遺物①縄文土器 …… 224
第 42 表　第 2 次調査遺構外出土遺物②石器 …… 224
第 43 表　第 2 次調査遺構外出土遺物③陶磁器 …… 225
第 44 表　第 2 次調査遺構外出土遺物④鉄製品 …… 225
第 45 表　第 2 次調査遺構外出土遺物⑤土錘 …… 225
第 46 表　秋田県内の製鉄関連遺跡 …… 232・233
第 47 表　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値 …… 238・239
第 48 表　金仏遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果 …… 241
第 49 表　金仏遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地分析結果 …… 243
第 50 表　放射性炭素年代測定（第 1 次調査）・試料と方法 …… 244
第 51 表　放射性炭素年代測定（第 1 次調査）・測定結果 …… 244・245
第 52 表　金仏遺跡（第 2 次調査）における放射性炭素年代測定結果 …… 246・247
第 53 表　金仏遺跡（第 1 次調査）から出土した炭化材の樹種同定結果 …… 248
第 54 表　金仏遺跡（第 2 次調査）出土炭化材の樹種同定結果 …… 250

図版目次

図版 1　第 1 次調査区遠景　第 1 次調査区東側の遺構
図版 2　ＳＩ108確認状況　ＳＩ127遺物出土状況　ＳＩ148完掘状況
図版 3　ＳＩ05竪穴住居跡　ＳＩ108調査状況　ＳＩ108完掘状況　ＳＩ127遺物出土状況　ＳＩ148調査状況
ＳＩ148土器埋設状況　ＳＫ25完掘状況　ＳＫ28完掘状況
図版 4　ＳＫ57完掘状況　ＳＫ60調査状況　ＳＫ76調査状況　ＳＫ83完掘状況　ＳＫ105完掘状況　ＳＫ110完掘状況
ＳＫ146完掘状況　ＳＫ147完掘状況
図版 5　ＳＮ86確認状況　ＳＮ86調査状況　ＳＲ68出土状況　ＳＲ68調査状況　ＳＲ68確認状況　ＳＫ59調査状況
ＳＫ87調査状況　ＳＫ92確認状況
図版 6　ＳＩ99遺物出土状況　ＳＩ99完掘状況　ＳＸ62遺物出土状況
図版 7　ＳＮ97確認状況　ＳＮ97調査状況　ＳＮ97完掘状況　ＳＮ104確認状況　ＳＮ104調査状況　ＳＮ104完掘状況
ＳＮ129確認状況　ＳＮ129完掘状況
図版 8　ＳＢ91掘立柱建物跡　ＳＡ89・95柱穴列　ＳＢ122掘立柱建物跡　ＳＤ21溝跡　ＳＤ21遺物出土状況
ＳＤ115溝跡　ＳＤ115溝跡　ＳＸ27調査状況
図版 9 ～14　第 1 次調査出土遺物
図版15　ＳＢ3006とＳＥ525　ＳＢ3006
図版16　ＳＢ3008・3009・3010　ＳＢ3021
図版17　ＳＥ525作業風景　ＳＥ525断面
図版18　ＭＫ～ＭＭ52～55区土坑墓群　ＳＫ635　ＳＫ637　ＳＫ638　ＳＫ640
図版19　ＳＫ643　ＳＫ646　ＳＫ647　ＳＫ648　ＳＫ655　ＳＫ667　ＳＫ732　ＳＫ1115
図版20　ＳＫ239完掘　ＳＫ352断面　ＳＫ500完掘
図版21　ＳＫＳ560完掘　ＳＷ205精査状況　ＳＷ248完掘
図版22　ＳＫ400完掘　ＳＫ321確認　ＳＫ267完掘　ＳＫ407・408　ＳＫＰ1971確認　ＳＫＰ1132遺物出土状況
ＳＫＰ507遺物出土状況
図版23～25　第 2 次調査出土遺物

第１章　はじめに

第１節　発掘調査に至る経過

一般国道７号琴丘能代道路は、山本郡琴丘町鹿渡を起点とし、能代市鰄渕を経由して二ツ井町駒形を終点とする延長33.8㎞・幅員23.5ｍ・第１種第２級構造規格の自動車専用道路である。本道路は、昭和58年度に延長7.0㎞・幅員28.0ｍ・第３種第１級の構造規格を持つ一般バイパス、一般国道７号八竜能代道路として事業化された。こののち、高速交通体系網の整備が急がれ、高規格道路に対する社会的必要性も増したことから、平成元年度には事業変更を行い、事業名も琴丘能代道路に変更され、計画諸元も変更された。平成６～７年度には区間延伸の事業変更が行われ、現在に至っている。

路線予定区域には、埋蔵文化財包蔵地の存在が予想されていた。そのため、計画路線が示された時点で、秋田県教育委員会と工事実施者である建設省（現国土交通省）が協議を行い、路線内の分布調査を実施し、現状保存をはかることの困難な遺跡については、確認調査を実施した後に、発掘調査を実施して記録保存をはかることとした。

昭和60年度、八竜能代間における分布調査が実施され、館の上遺跡・萱刈沢Ⅰ遺跡・萱刈沢Ⅱ遺跡・福田遺跡・石丁遺跡・十二林遺跡・寒川Ⅰ遺跡・寒川Ⅱ遺跡の８遺跡が報告された。遺跡分布調査はその後も継続され、昭和61年度に蟹子沢遺跡が、平成元年度に鴨子台遺跡・八幡台遺跡が、平成４年度に新笹岡遺跡・古館堤頭遺跡が、平成５年度に扇田谷地遺跡が、平成10年度に盤若台遺跡が、路線に係る遺跡として報告されている。

遺跡分布調査によって登録された路線内の遺跡は、確認調査の後、用地買収の完了した能代市側から琴丘町方面に向かって順次発掘調査が実施された。昭和61年度に寒川Ⅰ遺跡・寒川Ⅱ遺跡が、62年度に蟹子沢遺跡・福田遺跡・石丁遺跡・十二林遺跡が、平成元年度に萱刈沢Ⅱ遺跡が、２年度に鴨子台遺跡・八幡台遺跡が、３年度に萱刈沢Ⅰ遺跡が、４年度に館の上館遺跡が、５・６・10年度に館の上遺跡が、７・８年度に扇田谷地遺跡が、10・11年度に盤若台遺跡が発掘調査された。

一方、琴丘町では低コスト化をめざして琴丘北地区・琴丘南地区県営ほ場整備事業が計画されていた。秋田県教育委員会は、平成９・10年度に実施される琴丘南地区の整備事業対象区域に対して遺跡分布調査を実施した。平成９年４月、周知の遺跡とその隣接地に対して実施した分布調査において、秋田県教育委員会は新発見の遺跡として金仏遺跡を登録した。同年６月、琴丘町教育委員会は遺跡確認調査を実施、９月には、同教育委員会による発掘調査が実施された。その結果、住居跡状遺構及び溝状遺構各１基、土坑２基を検出した。

琴丘町教育委員会が発掘調査した地点は、一般国道７号琴丘能代道路に計画されている仮称琴丘インターチェンジの予定地に隣接しているので、秋田県教育委員会は、平成11年５月に分布調査及び確認調査を実施した。その結果、土坑及び焼土遺構が広い範囲にわたって検出されたため、今回の発掘調査が実施されることとなったのである。

第２節　調査要項

遺　　跡　　名　金仏遺跡（かなぼとけ　いせき、　略号：３ＫＢ）
遺跡所在地　秋田県山本郡琴丘町鹿渡字金仏31外
調査期間　平成11年度　平成11年７月１日～９月30日
　　平成12年度　平成12年５月８日～６月30日
調査面積　平成11年度　6,400㎡
　　平成12年度　4,500㎡
調査主体者　秋田県教育委員会
調査担当者　平成11年度
　　杉渕　　馨（秋田県埋蔵文化財センター調査課秋田北分室長）
　　三嶋　隆儀（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　河田　弘幸（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　宇田川浩一（秋田県埋蔵文化財センター文化財主事）
　　鈴木　博文（秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員）
　　木村　将来（琴丘町教育委員会生涯学習課主任）
　　平成12年度
　　吉川　　孝（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　藤原　泰史（秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員）
　　栗原　　拓（秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員）
整理担当者　平成11年度
　　杉渕　　馨（秋田県埋蔵文化財センター調査課秋田北分室長）
　　平成12年度
　　杉渕　　馨（秋田県埋蔵文化財センター調査課秋田北分室長）
　　吉川　　孝（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　平成13年度
　　杉渕　　馨（秋田県埋蔵文化財センター北調査課長）
　　吉川　　孝（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
総務担当者　平成11年度
　　荒井　信行（秋田県埋蔵文化財センター主査）
　　菅原　　晃（秋田県埋蔵文化財センター主査）
　　佐々木敬隆（秋田県埋蔵文化財センター主事）
　　八文字　隆（秋田県埋蔵文化財センター主事）
　　平成12年度
　　佐藤　　悟（秋田県埋蔵文化財センター総務課長）
　　佐々木敬隆（秋田県埋蔵文化財センター主事）

八文字　隆（秋田県埋蔵文化財センター主事）

平成13年度

佐藤　　悟（秋田県埋蔵文化財センター総務課長）

嶋田　敏輝（秋田県埋蔵文化財センター主査）

佐々木敬隆（秋田県埋蔵文化財センター主事）

成田　　誠（秋田県埋蔵文化財センター主事）

（職氏名は担当年度のもの）

調査協力機関　建設省東北地方建設局（現国土交通省東北地方整備局）能代工事事務所

琴丘町教育委員会　八竜町教育委員会

参考文献

建設省東北地方建設局能代工事事務所　『1999事業概要　能代』　1999（平成11）年

建設省東北地方建設局能代工事事務所　『一般国道７号　琴丘能代道路』　1999（平成11）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第180集　1986（昭和61）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第155集　1987（昭和62）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第201集　1990（平成２）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第239集　1993（平成５）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第251集　1994（平成６）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第281集　1998（平成10）年

秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第291集　1999（平成11）年

秋田県教育委員会　『一般国道７号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ―寒川Ⅰ遺跡・寒川Ⅱ遺跡―』　秋田県文化財調査報告書第167集　1988（昭和63）年

秋田県教育委員会　『一般国道７号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ―福田遺跡・石丁遺跡・蟹子沢遺跡・十二林遺跡―』　秋田県文化財調査報告書第178集　1989（平成元）年

秋田県教育委員会　『一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ―鴨子台遺跡・八幡台遺跡―』　秋田県文化財調査報告書第230集　1992（平成４）年

秋田県教育委員会　『一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ―萱刈沢Ⅰ遺跡・萱刈沢Ⅱ遺跡―』　秋田県文化財調査報告書第231集　1992（平成４）年

秋田県教育委員会　『一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ―館の上館遺跡―』　秋田県文化財調査報告書第249集　1994（平成６）年

秋田県教育委員会　『扇田谷地遺跡――一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ―』　秋田県文化財調査報告書第283集　1999（平成11）年

秋田県教育委員会　『館の上遺跡――一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ―』　秋田県文化財調査報告書第298集　2000（平成12）年

秋田県教育委員会　『盤若台遺跡――一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ―』　秋田県文化財調査報告書第319集　2001（平成13）年

琴丘町教育委員会　『県営低コスト化水田農業大区画ほ場整備事業琴丘南地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書　－金仏遺跡－』　1998（平成10）年

第２章　遺跡の立地と環境

第１節　遺跡の位置と立地

秋田県の北西部、かつて「琴海」とも呼ばれた八郎潟は、昭和51（1976）年に干拓が完了し、中央干拓地と八郎潟残存湖とに分かれた。金仏遺跡は、八郎潟残存湖の東部承水路に隣接する琴丘町に所在する。その位置は、ＪＲ東日本奥羽本線鹿渡駅の南南東約1.3kmにあたり、北緯40°　1′　50″、東経140°　5′　27″である。

琴丘町付近は、八郎潟残存湖から東側に向かって、低地・段丘・丘陵・山地が南北方向の帯状に位置し、南西側の房住山（標高409m）を最高点とする山稜及び高杉山（標高361m）を最高点とする山稜に連なっていく。更にその東部は、太平山地・奥羽山地へと連なる。

金仏遺跡が位置する潟西段丘は、第４紀更新世後期に属する潟西層から成り立つ海成段丘である。この段丘は、東側に分布する山地から流れる小河川によって浸食され、各地に舌状地形を形成している。金仏遺跡は、琴丘町鹿渡集落の東側、東西に伸びる浅い開析谷の北側に位置する標高約17mの段丘に立地する。金仏遺跡が南面する沢を東上すると、平成８年３月25日に竣工したふれあい広場（農林水産省補助事業－ウルグアイラウンド農業合意関連事業－）があり、その北側にはカマ堤が築かれていて金仏一帯の灌漑に利用されている。

第２節　歴史的環境

平成２（1990）年発行の『秋田県遺跡地図(中央版)』には、琴丘町に所在する縄文時代から中世までの23遺跡が掲載されている。その後、大規模ほ場整備事業や道路建設事業に伴う遺跡調査が進められ、遺跡の数が増加してきた。琴丘町における遺跡の概要は次のとおりである。

旧石器時代では、長信田地区のほ場整備事業に伴い、平成６年に発掘調査された家の下遺跡（５）がある。琴丘町で初めて旧石器が確認され、本格的な調査が行われた。遺跡は、下末吉段丘に相当すると考えられる森岳段丘面に立地し、縦長剥片素材のナイフ形石器や米ヶ森技法による台形様石器を主体とする石器群が出土した。ＡＴ降灰（Ｂ.Ｐ25,000年前後）以前の時期が想定されている。

縄文時代では、金仏遺跡の南側の沢を挟んで、前期の遺物を出土する狐森遺跡（17）がある。狐森遺跡は、ほ場整備事業に係る調査の他に、平成10・11年度の２箇年にわたって日本海沿岸東北自動車道建設事業に伴う調査も行われ、円筒下層ａ・ｂ式の土器を主体とする捨て場が検出された。狐森遺跡が所在する台地の古い沢を挟んだ南側には、兵ヶ沢遺跡（19）がある。発掘調査が実施され、前期中葉から後葉にかけての遺跡で、陥し穴状遺構を利用した狩猟や石錘を利用した網による漁業が行われていたと想定されている。中期では、金仏遺跡と同じ段丘の北側に位置する盤若台遺跡（15）がある。後期では、頭部に細密な文様を施した石棒が竪穴住居跡から検出されている堂の下遺跡（24）、多数のフラスコ状土坑が調査されている家の下遺跡（５）等がある。晩期になると、高石野遺跡（20）がある。遺跡は、金仏遺跡から南南西へ1.5kmほどの標高20m前後の台地上に位置する。昭和57年に

琴丘町教育委員会が発掘調査を実施し、縄文時代後期後半から晩期中頃までの土器群が多数出土した。特に多いのは、晩期前半の大洞Ｂ・ＢＣ式に伴う土製品である。中でも、海獣を模したと思われる３点の土笛に対する町民の関心は高く、「土笛の里、琴丘」のネーミングの由来ともなり、これを記念して毎年「縄文フェスティバル」が開催されるに至っている。

古代では製鉄関連遺跡が多い。平成６・７年にほ場整備事業に伴って発掘調査された泉沢中台遺跡（７）からは、10世紀代の建物跡、板塀跡、製鉄関連遺構４基が検出されている。また、日本海沿岸東北自動車道建設事業に伴って平成12年度に発掘調査された小林遺跡（25）からは、製鉄炉・炭窯・鉄滓等が出土し、平安時代の製鉄関連集落跡であることが分かっている。さらに、一般国道７号琴丘能代道路建設事業に伴う盤若台遺跡（15）の調査では、古代の製鉄炉が確認され、当時の生産遺跡であることが確認された。

中世になると、平成10年度から３箇年計画で調査が行われた堂の下遺跡がある。小林遺跡と沢を隔てた北側の丘陵にあり、遺跡の広がりは70,000㎡以上に及ぶ。平成10・11年の調査では、13世紀の製鉄遺構として、製鉄炉・溶解炉を確認し、多数の鋳型・鉄滓が検出されており、製鉄の原料である砂鉄の採取から鋳鉄製品の製作まで行っていた大規模な生産遺跡であったことが解明されている。このほか、中世城館として、館の越館（18）・古館城跡（13）・中野館跡（27）があり、空堀・曲郭などが確認されている。

琴丘町内においては、旧石器時代から縄文時代にかけての遺跡は標高20ｍ前後の潟西層からなる台地上に分布している。堂の下遺跡で見つかった縄文時代後期の竪穴住居跡は、立地から見て特異なものと考えられる。また、古代から中世にかけての遺跡の大部分は石倉山層にのっており、製鉄関連遺跡の多さも注目される。これは、丘陵地の地層の中に砂鉄が豊富に含まれており、製鉄の原料を容易に獲得できたことによるものであろう。今後の調査の進展により、当地域における古代から中世の製鉄産業や鋳物業の実態がより明らかになるものと考えられる。

引用・参考文献

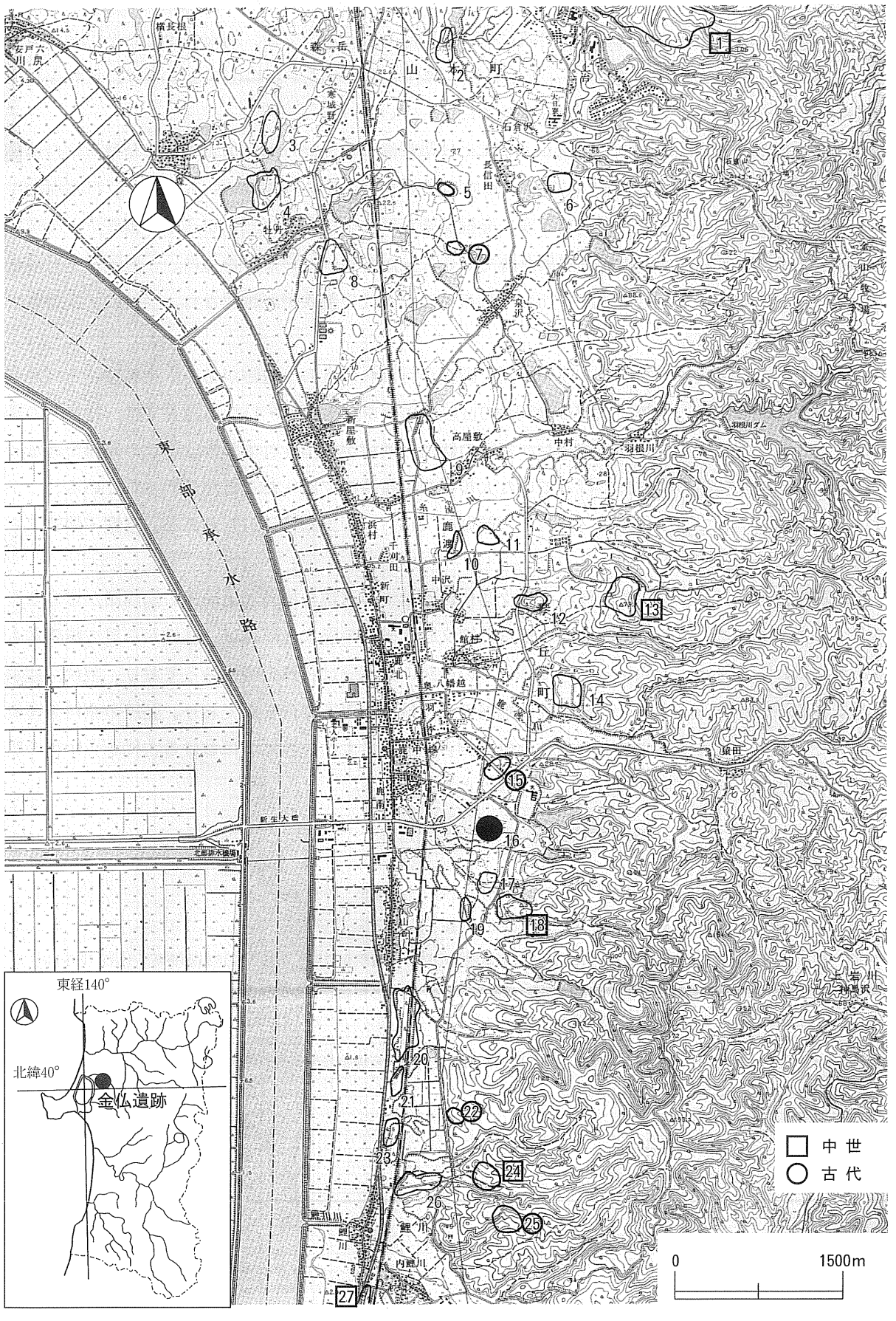
秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』　秋田県文化財調査報告書第86集　1981（昭和56）年

秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図（中央版）』　1990（平成２）年

大沢穠・鯨岡明・栗田泰夫・高安泰助・平山次郎『森岳地域の地質』　通商産業省工業技術院地質調査所　1985（昭和60）年

秋田県教育委員会　『狐森遺跡－県営ほ場整備事業（琴丘南地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第302集　2000（平成12）年

秋田県教育委員会　『盤若台遺跡－一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る発掘調査報告書Ⅷ－』　秋田県文化財調査報告書第319集　2001（平成13）年



第１図　周辺遺跡分布図

地図番号は、文中（　）内及び第１図の番号に対応する

地図番号	遺 跡 名	所　在　地	時　期	文　献
1	木戸沢館	山本郡山本町森岳字木戸沢	中世	①
2	東堤沢	山本郡山本町森岳字東堤沢	縄文	
3	古館堤	山本郡山本町森岳字古館堤頭	縄文	
4	古館堤頭	山本郡山本町森岳字古館堤頭39外	縄文中期	②、⑬
5	家の下	山本郡琴丘町長信田字家ノ下1-5外	旧石器、縄文	③、④
6	長信田	山本郡琴丘町長信田家後54-5外	縄文	
7	泉沢中台	山本郡琴丘町鹿渡字泉沢中台71外	平安	⑤
8	地蔵長根	山本郡琴丘町鹿渡字地蔵長根64	縄文	
9	宝竜前	山本郡琴丘町鹿渡字宝竜前36	縄文晩期	
10	鬼沢口	山本郡琴丘町鹿渡字鬼沢口184	縄文	
11	鬼沢口Ｂ	山本郡琴丘町鹿渡字鬼沢口	縄文中期	⑧
12	諏訪長根	山本郡琴丘町鹿渡字諏訪長根79	縄文、平安	
13	古館城跡	山本郡琴丘町鹿渡字諏訪長根65	中世	①
14	北牛渕	山本郡琴丘町鹿渡字北牛渕27-1	縄文	
15	盤若台	山本郡琴丘町鹿渡字盤若台121外	縄文、平安	⑭
16	金仏	山本郡琴丘町鹿渡字金仏31外	縄文、平安	⑧、⑩
17	狐森	山本郡琴丘町鹿渡字狐森29-1外	縄文	⑪
18	館の越館	山本郡琴丘町鹿渡字狐森20外	中世	①
19	兵ヶ沢	山本郡琴丘町鹿渡字兵ヶ沢48	縄文	⑧、⑫
20	高石野	山本郡琴丘町鹿渡字高石野114外	縄文（中～晩）	⑥
21	鯉川高石野	山本郡琴丘町鯉川字高石野	縄文	
22	中陳場	山本郡琴丘町鯉川字中陳場	古代	
23	陳場野	山本郡琴丘町鯉川字陳場野33	縄文	
24	堂の下	山本郡琴丘町鯉川字堂の下72外	縄文、弥生、中世	⑦、⑨
25	小林	山本郡琴丘町鯉川字小林39外	平安	⑨
26	真山野	山本郡琴丘町鯉川字真山野7-3	縄文	
27	中野館	山本郡琴丘町鯉川字中野1-1	中世	①

第１表　周辺遺跡一覧

（第１表関連文献）
① 秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』　秋田県文化財調査報告書第86集　1981（昭和56）年
② 山本町教育委員会　『古館堤頭遺跡発掘調査報告書』　1977（昭和52）年
③ 秋田県教育委員会　『県営ほ場整備事業（琴丘地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－家の下遺跡（１）－』　秋田県文化財調査報告書第256集　1995（平成７）年
④ 秋田県教育委員会　『家の下遺跡（２）旧石器時代編－県営ほ場整備事業（琴丘地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ－』　秋田県文化財調査報告書第275集　1998（平成10）年
⑤ 秋田県教育委員会　『泉沢中台遺跡－県営ほ場整備事業（琴丘地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－』　秋田県文化財調査報告書第276集　1998（平成10）年
⑥ 琴丘町教育委員会　『高石野遺跡発掘調査概報』　1982（昭和57）年
⑦ 秋田県埋蔵文化財センター　『平成10年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』　1999（平成11）年
⑧ 秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布報告書』　秋田県文化財調査報告書第281集　1998（平成10）年
⑨ 秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布報告書』　秋田県文化財調査報告書第291集　1999（平成11）年
⑩ 琴丘町教育委員会　『県営低コスト化水田農業大区画ほ場整備事業琴丘南地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－金仏遺跡－』　1998（平成10）年
⑪ 秋田県教育委員会　『狐森遺跡－県営ほ場整備事業（琴丘南地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第302集　2000（平成12）年
⑫ 秋田県教育委員会　『兵ヶ沢遺跡－日本海沿岸東北自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－』　秋田県文化財調査報告書第296集　2000（平成12）年
⑬ 永瀬福男　「二ツ森古館堤頭遺跡緊急調査報告」　『秋田考古学』　第32号　秋田考古学協会　1975（昭和50）年
⑭ 秋田県教育委員会　『盤若台遺跡－一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る発掘調査報告書Ⅷ－』　秋田県文化財調査報告書第319集　2001（平成13）年

第３章　第１次（平成11年度）調査

第１節　調査の概要

１．遺跡と調査区の概観

秋田県の西部、八郎潟残存湖の東部に沿って標高18m程度の海成段丘が南北に伸びる。この海成段丘は、東西方向に走る小沢によって下刻され、西向きの舌状地形が南北方向に連続する。金仏遺跡は、西流する鹿渡川の南に接する舌状の海成段丘上ほぼ中央南端部にある。遺跡の南側には、東西に伸びる浅い開析谷を挟んで狐森遺跡が広がっている。東側は徐々に高度を増し、山地・丘陵へ続いていく。北側は、平坦で同じ段丘面にある盤若台遺跡へ続き、西側は段丘下に八郎潟残存湖が広がる。

明治期に作成された『第三大区四小区羽後国山本郡鹿渡村切画図』によれば、微高地部分は畑地、その他は水田として記録されている。海成段丘の金仏遺跡があった部分は、林草生地稲干場として使用されており、低地の部分には今回の発掘調査で出土した溝（ＳＤ115溝跡）が記載されている。本地域は水源が少なく、灌漑の多くは溜池に頼っていたが、字地内における溜池は６箇所が記載されている。

発掘調査地点一帯は、昭和40年代に開墾が行われ、水田と畑地にした場所である。この時の地形の改変では相当量の土量が動かされており、特に遺跡南側での削平・盛土が著しい。

明治年間、石川理紀之助が著した『鹿渡村旧蹟考』には、「石器ある地　鹿渡にて宝龍　金仏　狐野　山谷　高石野ニあり」、「盤若台　金仏　鹿渡　寺の古屋布ていふ金仏なとも、其頃の旧跡なるへし」と記載されている。なお、琴丘中学校付近にはかつて寺があり、鉄でできた仏像が出土した等の伝承が伝わっている。

２．調査の方法

発掘調査はグリッド法を採用した。金仏遺跡調査対象区のほぼ中央に、建設省東北地方建設局能代工事事務所が打設した琴丘能代道路センター杭ＳＴＡ．№0（国家座標第Ｘ系座標値は、Ｘ＝3643.5000, Ｙ＝-63262.5000）が位置する。グリッドは、このセンター杭をグリッド原点（ＭＡ50）とした。このセンター杭を通る国家座標第Ｘ系の南北方向に基準線を設定し、更にセンター杭を通ってこの基準線に直交する東西方向の基準線を設定した。グリッドは、この両基準線に従って４ｍ×４ｍの方眼を組んで設定している。グリッド杭には、東から西に向かって東西方向を表すＫＪ・……・ＫＴ・ＬＡ……ＬＴ・ＭＡ・……・ＭＴ・ＮＡ・……・ＮＣのアルファベットと、南から北に向かって昇順する南北を表す47・48・……・62・63の２桁の数字を組み合わせた記号を記入した。区の名称は、南東隅の方眼杭に記された記号とし、ＭＡ50区のようにアルファベットと数字とを組み合わせた記号で呼ぶことにした。磁北は、グリッド南北線より約8°0′西に傾いている。なお、ＭＡ50から20m毎に位置する方眼杭は９㎝角材を打設し、仮レベル原点として使用した。

遺構は、できるだけ遺構の掘り込み面での検出に努めたが、水田として区画整理されたり、畑地として表土が動かされており、殆どは地山漸移層もしくは地山面での確認となった。検出した遺構は略

第2図　第1次調査区グリッド設定図

号で種類を付し、検出順に連番で遺構番号を付けた。遺構は、竪穴住居跡は十字に土層観察用のベルトを残して４分割し、土坑等は半截（２分割）して調査した。

記録は、主に図面と写真によった。図面は、原則として１／20の縮尺を使用し、細部状況を表すために適宜１／10の縮尺を組み合わせて作図し、それぞれにレベルを記入した。作図にあたっては、グリッド杭と間尺とを組み合わせた手実測によった。断面図には、土色・堅さ・しまり・粘性・混入物を注記し、必要に応じてエレベーション図も作成した。

写真撮影は、遺跡や遺構・遺物を対象とする地上撮影を行い、一部ローリングタワーも使用している。写真は、35㎜カメラにモノクロとカラーリバーサルフィルムを装着し、必要に応じてネガカラーも使用した。また、遺跡の俯瞰撮影は、ラジコンヘリを使用した空中写真撮影によった。

遺物は、遺構内出土遺物は、出土遺構名・出土層位・遺物番号・出土年月日を記入し、遺構外出土遺物は出土区名・出土層位・遺物番号・出土年月日を記入したラベルとともに取りあげた。

室内における整理は、現場で作成した図を基に第２原図を作成、これをトレースした。遺物は、洗浄、注記の後に接合作業を行い、実測図・拓影図を作成し、写真撮影を行った。

３．調査の経過

発掘調査は、平成11年７月１日から９月30日まで実施した。以下、調査日誌を中心に調査の経過を述べる。なお、当初の表土除去は、６月８日から６月15日まで重機を使用して行った。

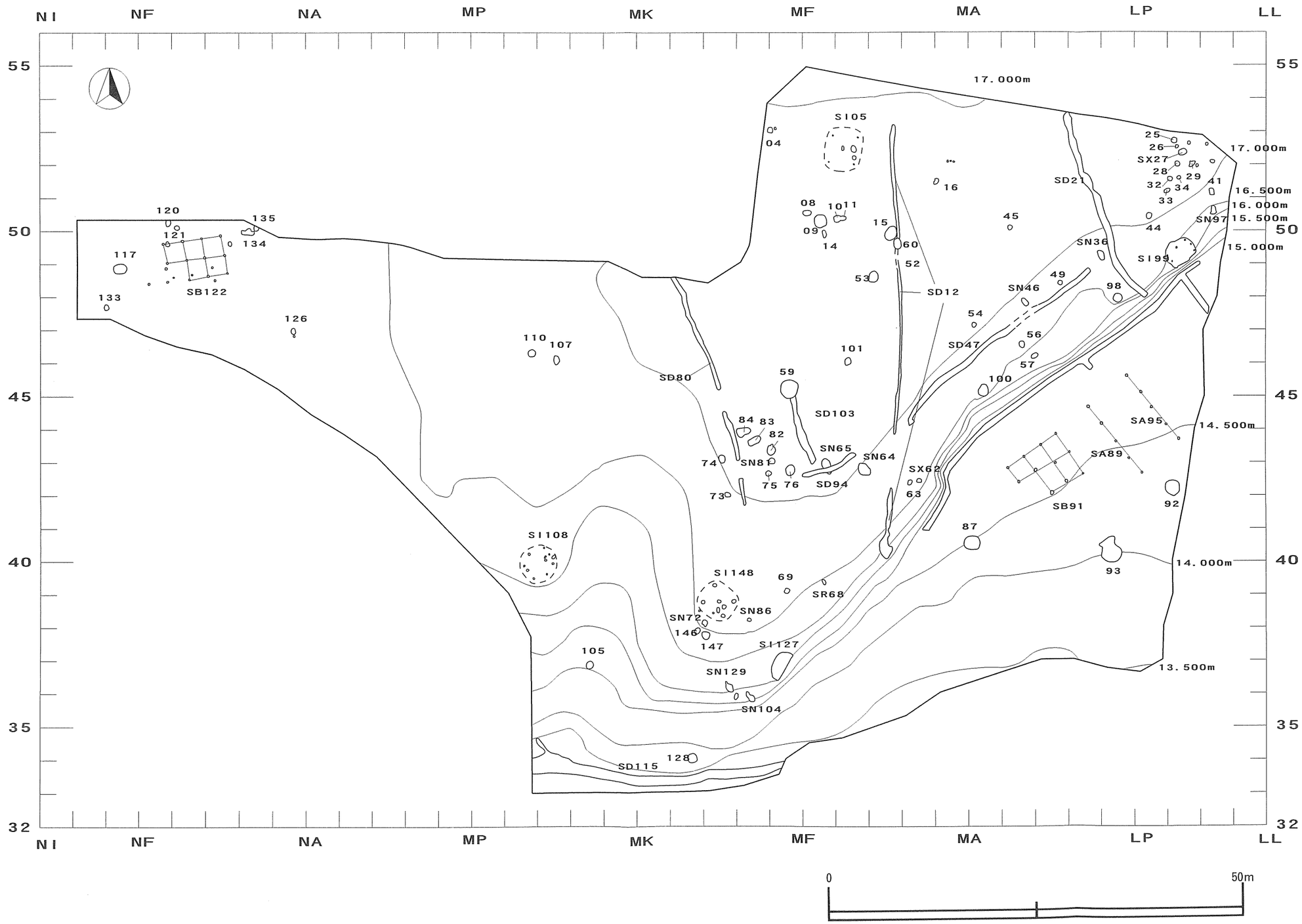
７月１日、10時より琴丘町公民館にて作業員説明会を開催。三浦埋蔵文化財センター所長、大山琴丘町教育長出席。説明会終了後現場へ移動。午後より発掘調査を開始。ベルトコンベアの移動・配置、機材の整備を行った後、ジョレン掛けを行った。２日、遺跡北側より南側に向かって粗掘・精査を行った。作業は順調に進み、ＬＮ52・ＬＯ52区より遺構を検出した。リース業者来跡、土曜日にベルトコンベアの配線をするとのこと。５日、ベルトコンベアよりも北側のグリッドの粗掘及び遺構の確認を行った。一部、遺構の確認写真撮影。グリッドの粗掘及び遺構の確認作業を続け、本日までに36遺構を検出した。６日、ベルトコンベアを移動。粗掘及び遺構の確認、遺構の確認写真撮影、遺構半截の糸張りを行った。調査員がいない時は、勝手に仕事を開始しないように注意。７日、土坑を半截し始めた。ＳＫ01・ＳＫ02は遺構から除く。ベルトコンベアのキャプタイヤが不良、ベルトコンベア１台が動かないため、リース業者に連絡。午後はベルトコンベアを移動して新しい場所に設置。上位段丘面南東端で12個の丸い土錘（孔は真っ直ぐ空いている）が出土した。８日、土坑断面図の作成開始。一方では粗掘及び土坑の半截を行った。土坑断面の写真撮影。台地南東端（ＬＱ47区）の土錘12個を実測し、取り上げた。琴丘町教育委員会木村将来主任勤務。払田柵跡調査事務所の高橋学学芸主事来跡。９日、遺構の確認作業を行った。遺構の確認写真撮影。午後ベルトコンベアを下位の段丘面に移動、粗掘開始。12日、遺構の半截及び断面写真撮影。遺構カード作成。上位段丘面と下位段丘面との境に用水路跡を検出した。高橋課長補佐来跡。13日、下位段丘面の遺構確認作業。土錘の集積状況の実測開始。文化課小徳学芸主事来跡。能代工業高校栗山教諭来跡。工事業者から準備測量に入りたいとの電話があり、大友監督官からも21日から準備測量に入るという連絡があった。14日、下位段丘面の遺構確認。土坑、土器埋設遺構の存在が予想された。土錘が集積した遺構は実測終了。熊谷元米内沢高等学校長来跡。15日、遺物取り上げ。土坑半截。下位段丘面の粗掘継続。午前中町教委木村将来

主任勤務。16日、下位段丘面の粗掘、ベルトコンベア移動。遺構平面の実測開始。琴丘町歴史民俗研究会一同来跡。工事業者が来跡し、金仏・狐森間にボックスをつくるが、遺構にかかっているかどうかの質問があり、文化課へ直接問い合わせるように答える。19日、粗掘を続け、午後ベルトコンベア移動、粗掘継続。21日、ベルトコンベアより南側（38グリッドラインより南側）を粗掘する。ＬＱ41区の黒土を掘り下げる。ＳＢ91掘立柱建物跡の柱穴を半截する。ＳＫ87の断面図作成。ベルトコンベアより南側の東側半分を終了。ＬＯ40区（幅杭東へ2.77ｍ）の近くより土器底部と土器片数点が出土した。22日、下位段丘面南端部の掘り下げ。下位段丘面北端部の遺構平面の実測開始。本日で第１回引き渡し部分の粗掘はほぼ終了。掘立柱建物跡は、きちんとしたプランになりそうだった。23日、調査区南側の粗掘。午後よりＳＤ12等、溝掘りを開始。溝は、基本的にゆるやかな舟底状の浅い溝で、左右に振れながら通っていた。26日、半截した土坑の断面写真撮影。ＳＫ遺構の断面図を作成、完成次第完掘に入った。本日はＳＫ53・54・75・76・59の断面図を作成し、その後完掘する。断面図の写真終了。重機による表土剥ぎの範囲にポールを立てる。東北管区気象台は北東北の梅雨明けを宣言。27日、朝から表土剥ぎに入った。上位段丘面南端の黒っぽい箇所を掘り下げるが住居跡にはほど遠い感じである。作業員に対し、暑いので無理をしないよう指示。28日、上位段丘面南端部の掘り下げ。住居跡らしい部分を掘り下げた。工事業者から、水路の切りまわし工事が発注されたため、現在使用中のプレハブを移動したい旨の申し出あり。再度測量して影響が最小限になるようお願いした。また、図面を添えて文化課経由でセンターを通して動いてほしい、現場では直接対応できないことを伝え、船木課長へ報告。なお、狐森の遺跡範囲は、文化課に問い合わせるように伝えた。利部学芸主事来跡。熊谷元米内沢高校長来跡。29日、ＳＡ柱穴列２列の断面図を作成し、掘り下げを行った。下位段丘面南端部の溝の掘り下げ開始。ＳＩ99を床面まで掘り下げ。ＳＸ62の土錘は下に３㎝ほどの暗褐色土が入り、炭化物もパラパラ入っていた。網のままで埋めたのかもしれない。30日、グリッド杭打設入札のための現地説明会に６社が参加。ＳＩ99が焼失住居跡であることを確認。ＳＲ68は土器埋設であったがその北側に礫が横になっており、その下方にもう１個の埋設土器が出土した。

８月２日、地山面清掃。ベルトコンベア移動、草刈り、遺構の精査。ＳＲ68の入れ子状態の土器を取りあげたらその下部に土器片を３片敷いて、平らにしてから入れたことがわかった。３日、ＳＲ68を完掘。明日の空撮にむけて遺跡の整備を行った。盤若台遺跡の作業員の援助で実測作業が進み、下位段丘面のＳＢ・ＳＡのエレベーションに入った。４日、遺跡の整備を行った。ラジコンヘリによる空撮実施。実測及び第一次引き渡し部分外側のジョレン掛け作業を行った。三浦所長・櫻田課長補佐来跡。５日、ベルトコンベア移動。遺構精査及び実測。ＳＫ27（後に変更してＳＸ27）を集中的に掘るが、底面を確認できなかった。高橋忠彦課長補佐来跡。作業員棟東側に駐車場設置。６日、実測及び遺物取り上げ。16日、ベルトコンベアを移動・設置。粗掘開始。ＳＤ及び土坑のエレベーション記録。ＳＫ27の掘り下げを行ったが、3.4ｍの深さでまだボーリング棒１本分は簡単に入る。深すぎて作業に危険が伴うので中止。ボックス工事の最中に削平作業があるということなので、その際に立ち会いながら重機を使用することにした。ＳＫ27は、側面及び壁面がほぼ垂直に落ちており、壁もきれいで割合に固い。お盆のために作業員の出勤が少ない。高橋学学芸主事来跡。17日、ＭＱグリッドラインまで粗掘。ＭＮ41グリッド杭付近で土器埋設遺構検出。作業員に対して明日の健康診断の連絡を行う。リース業者にプレハブの窓ガラス及びベルトコンベアの交換を電話連絡し、本日交換した。18

日、ベルトコンベア移動。粗掘続行。３時半まで中央公民館で健康診断。その後粗掘継続。空撮業者と空撮成果について打ち合わせ。測量業者来跡、前回の測量成果簿を貸し出す。19日、ＳＲ108のピット探し。竪穴住居跡になりそうである。粗掘継続。建設省能代工事事務所加藤係長より調査内容について電話あり。20日、粗掘継続。ＳＤ108の掘り下げ開始。晴天が続いて地山面の粘土が相当固くなっており、精査面までの掘り下げに苦労した。船木課長来跡。23日、ベルトコンベア移動。粗掘継続。ＳＩ127・ＳＤ115の精査。一部分遺構配置図作成。櫻田課長補佐、文化課武藤学芸主事来跡。沢を挟んだ狐森遺跡のボックス部分について立会い。９時半から沼田監督官も立会って、バックホーで一部掘り下げ、遺構、遺物がないことを確認した。24日、ジョレン掛け。ＳＩ127の遺物取り上げ。実測終了。午後ベルトコンベア引き上げ。局地的な大雨のため作業員待機。４時で作業終了。25日、盤若台遺跡において、朝の出勤途中の交通事故あり。利部学芸主事来跡。26日、作業員全員で盤若台遺跡の調査を応援し、トレンチを掘る。磯村朝次郎氏・文化課谷地学芸主事来跡。27日、盤若台の調査応援。測量業者成果簿納入。30日、三浦所長来跡。作業員10名で遺構半截、残りは盤若台の調査を応援。遺構のうち、土坑は木の根や抜根と思われるものが多く、全体の数は少なくなってきた。31日、朝の雨で現場は水びたし状態。昨日半截した土坑は埋もれてしまった。盤若台遺跡で鉄滓の洗浄を行った。

９月１日、盤若台で遺物の洗浄。２日、トレンチ内の水がまだ残っているので、浮いた土を整理しながら処理。下位段丘面部分の土坑を調査。ＳＫ27をバックホーで掘ってもらったが、深さ4.9ｍまで掘り下げても、同じ太さで真っ直ぐに落ちており、壁面はよくしまっていた。バックホーのアームが届かないので調査を中止した。何故、こんなところに機械を使用したような土坑を掘ったものか理由が分からなかった。荒井主査来跡。３日、作業員10名で金仏精査。残りの作業員は盤若台で作業。岩見誠夫氏来跡。６日、盤若台遺跡調査応援。７日、晴れ間に少し遺構の調査をしたが雨が強くなり中止。10時半から盤若台遺跡の現地協議に参加。８日、雨でトレンチが水びたしのため待機。作業ができず中止。利部学芸主事来跡。９日、遺構の精査、実測に入るも前日の雨のため水が涌きだして、一部は実測が不可能であった。作業員25人は盤若台で作業。10日、遺構の精査、実測作業、完掘写真撮影。作業員５人は金仏、残りは盤若台で作業。13日、ＳＲ108を精査、ＳＩ108に変更。柱穴は８本あるが１本おきに深いものと浅いものが交互に位置する。高い場所から見ると円形の黒っぽい落ち込みがあり、それに沿って柱穴が回るようである。円形状の黒っぽい落ち込みが住居跡のプランかと思われる。深鉢形の土器（胴部下半には羽状縄文）を埋めて炉に使用している。掘方は土器にあわせたようにピッタリとし、土器と掘方は一部重なった状態になっている。炉に使用した土器の外側には更に土器片を埋めこんでいる。土器片の一部は裏返しにして裏込めされているものも見られた。内側の土器と外側の土器片との間には、赤褐色の焼土が入っていた。14日、ＳＩ108を中心に調査。ＳＩ108は終了。ＳＩ108の炉は、１．穴を掘る。２．深鉢形土器の底を切って埋める。３．埋めた土器の外側へ更に土器片（深鉢形土器の破片を使用）を埋め込み、礫や土も入れて動かないようにする。５．炉の土器の底部分に深鉢形土器の底部破片を裏返ししたりして埋める。６．さらに炉の底部の空いている部分に土器片を入れる（完成）７．炉として使用。という特殊な例である。16日、平面図実測。半截した土坑の完掘及び写真撮影。午後から盤若台に応援。八文字主事・柴田課長補佐来跡。17日、ＳＢ122の精査、実測、エレベーション作成。ＳＮ72の精査。作業員４人以外は盤若台で作業。船木課長来跡。20日、ＳＮ72付近を精査。柱穴を２本分検出。竪穴住居跡が３軒重なっているものかもし



第３図　第１次調査遺構配置図

れない。全面を掃除し、写真撮影。ピット掘り開始。21日、ＳＩ148の精査。ＳＩ148は４本の柱をもち、土器埋設炉を備えている。壁は検出できないが焼失家屋である。ＳＮ72の図面・ＳＫ146及び147は終了。22日、ＳＩ148のエレベーション作成、写真撮影。雨のため２時で作業終了。27日、ＳＩ148土器埋設炉の断面を作成、完掘した。作業員の一部は盤若台で作業。撤収の準備に入った。28日、ＳＩ148の完掘写真撮影。ＳＫＰ151の半截、断面図・平面図作成。写真撮影。作業員の一部は盤若台で作業。琴丘町教育委員会木村主任に一輪車返却の電話を入れた。29日、一輪車を町教委に返却。使用した機材の清掃・整備。30日、男性作業員はプレハブや遺物用コンテナの整理作業。女性作業員は盤若台で調査。午後全員で後片付け、清掃。遺物及び機材を盤若台へ運搬して発掘調査を終了した。

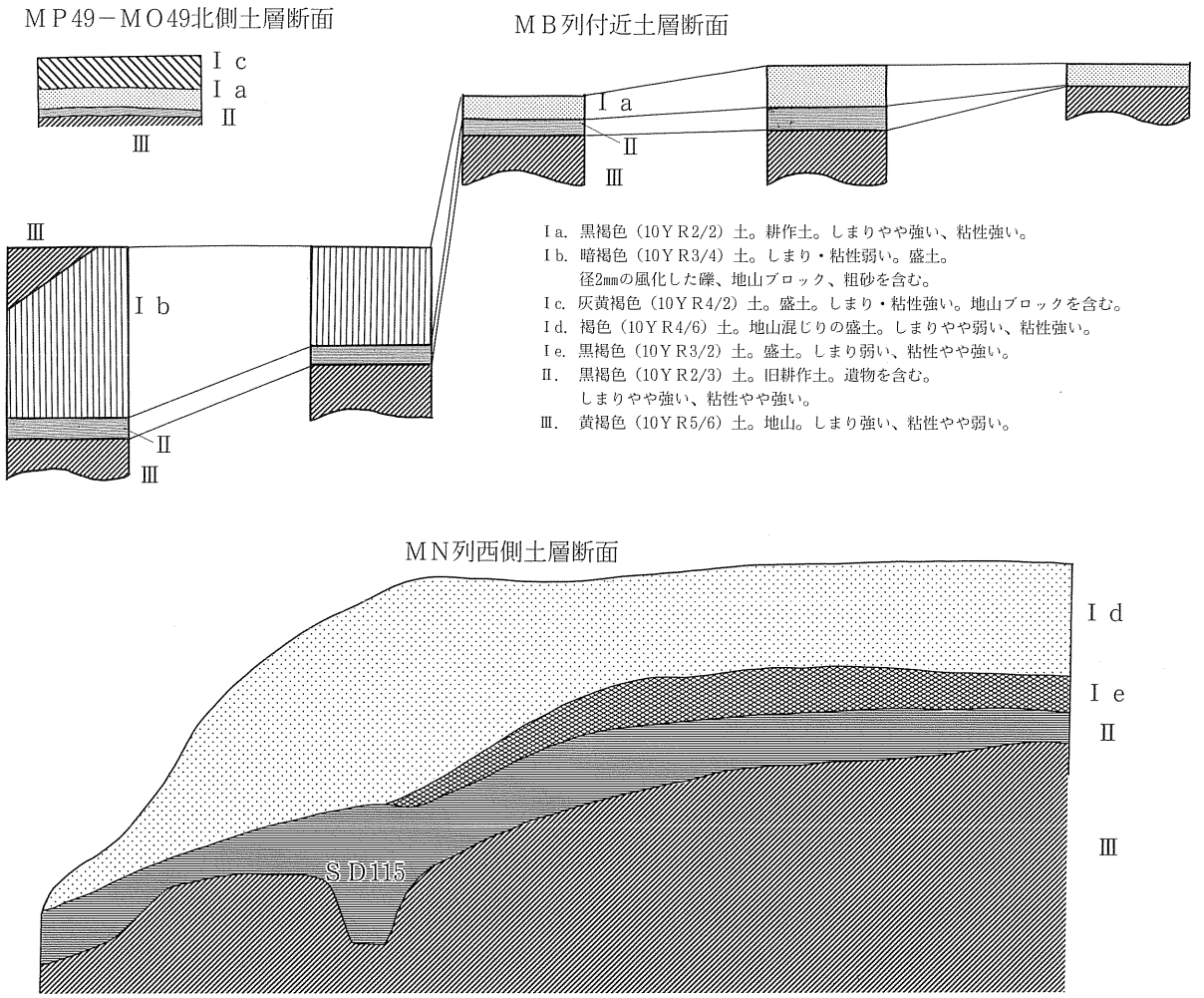
第２節　調査の記録

１．基本層序

調査地点は、東西方向に伸びる浅い開析谷に南面している。標高17m前後の段丘面と標高11m前後の谷底面との間に、標高15m前後・幅30m程の平坦面を挟んでいる。段丘面は草地・水田・畑地、標高11m前後の平坦面は水田及び畑地に、谷底面は水田として利用されていた。段丘面の南側と平坦面が調査の対象地である。

本遺跡の土層は大きく３層に分けられる。第Ⅰ層は昭和40年代以降の農地造成によって現在の耕作土・表土として使用されている層、第Ⅱ層は農地造成以前に耕作土・表土として使用されていた層、第Ⅲ層は地山層である。遺物は、第Ⅱ層10ＹＲ２／３の黒褐色土に含まれる。段丘面から平坦面に傾斜していく部分、調査地点の中央部から西側にかけての部分、標高16m程の部分に主として縄文土器が残る。

ＭＢグリッドのラインの地層を見てみると、段丘面では10ＹＲ２／３の黒褐色耕作土が15cm程の厚さに10ＹＲ５／６の黄褐色地山土の上に堆積している。平坦面では、地山土の上に同程度の厚さに黒褐色土があって、その上に65～115cm程の厚さで暗褐色の盛土があり、平坦面南端にはさらに厚さ40cm程に地山土が盛られている。農地造成によって、平坦面では相当量の土が動かされており、旧耕作土が盛土の下になってしまっている。段丘面との境部は地山が切り取られ、平坦面南端部に盛られていったことが分かる。南側からは、切り取られた境界部が観察でき、切り取られた焼土遺構の断面が残っている。



第４図　金仏遺跡基本土層

２．検出遺構と出土遺物

（１）縄文時代

①竪穴住居跡

ＳＩ05竪穴住居跡（第５図、図版３）

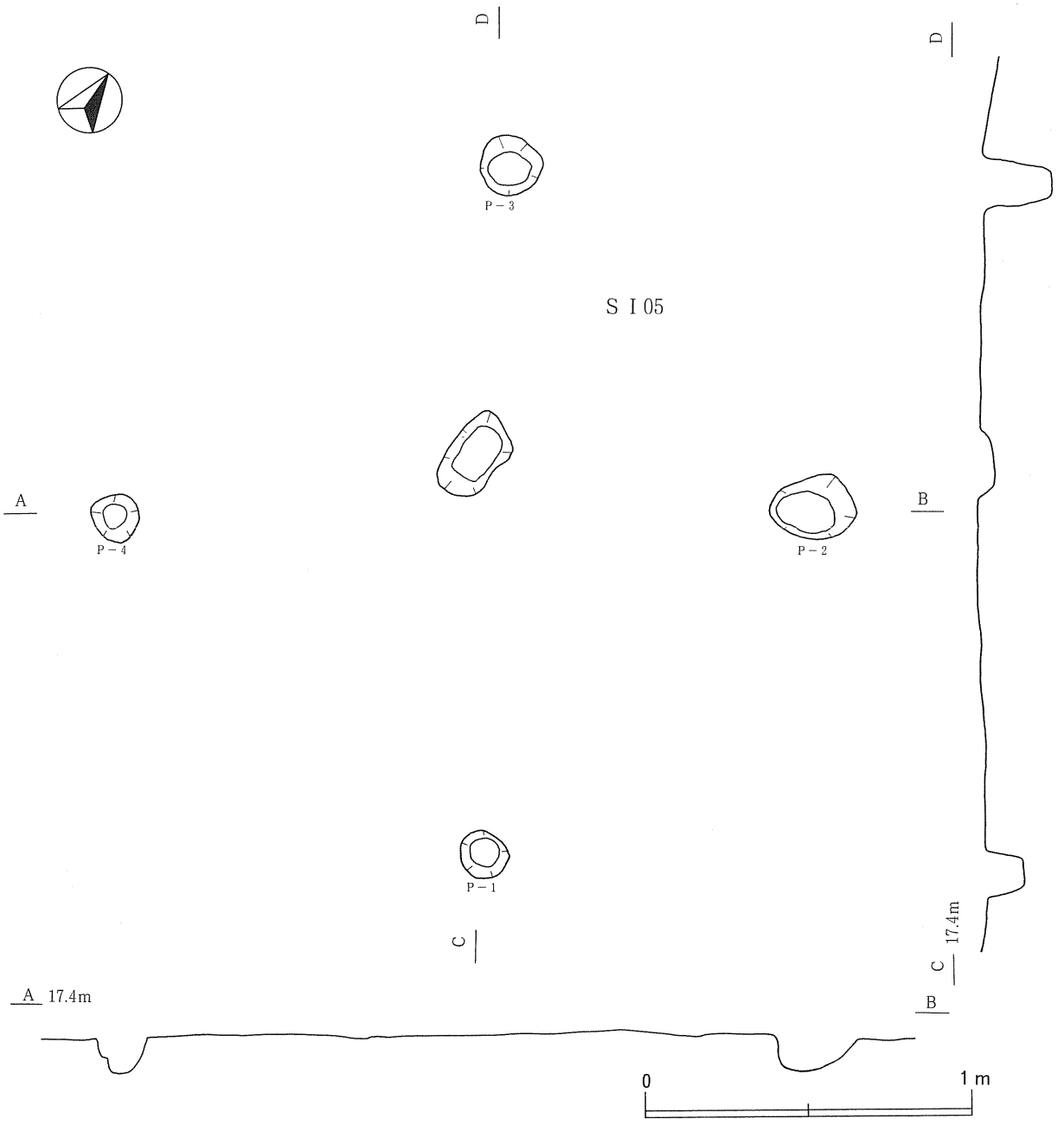
《位　　置》　ＭＤ・ＭＥ52区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で少量の炭化物が混じった焼土を確認した。重複なし。

《規模と平面形》　地床炉を中心に４基の柱穴を検出した。柱穴は、中軸線がほぼ南北方向に向く方形状に位置する。Ｐ-３・Ｐ-４間の距離は1.65ｍ、Ｐ-４・Ｐ-１間の距離は1.55ｍである。地山面からの柱穴の深さは、Ｐ-４が0.44ｍと一番深く、他の３基は0.23ｍ程度と浅い。耕地整備による削平のためか、竪穴住居跡の壁は検出できなかった。竪穴住居跡の平面形は不明である。

《床　　面》　全体的に平らで締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。



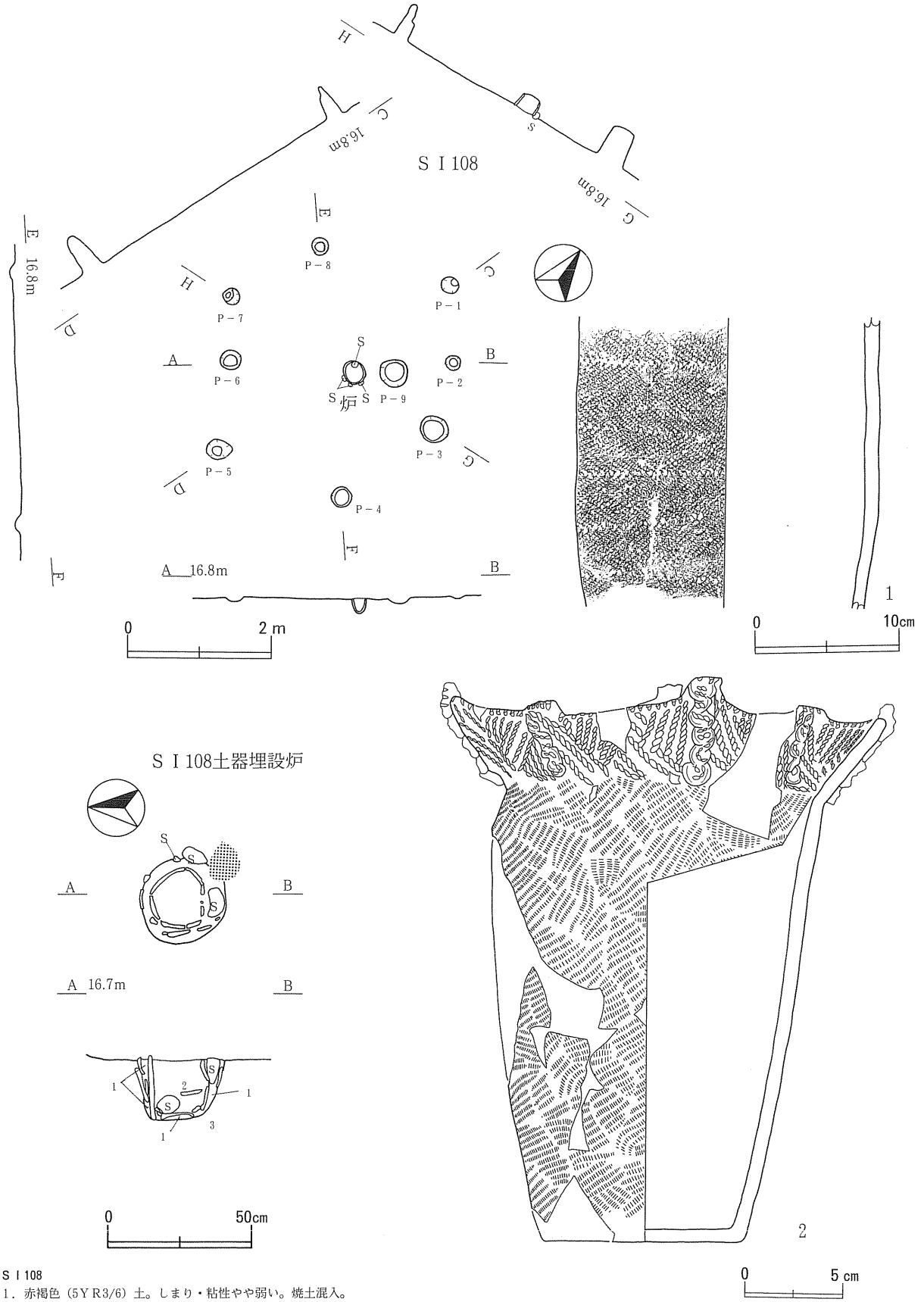
第５図　ＳＩ05竪穴住居跡

ＳＩ108竪穴住居跡（第６図、図版２・３）

《位　　置》　ＭＭ・ＭＮ40・41区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面を精査中に確認した。重複なし。

《規模と平面形》　開田工事によって全面的に削平を受けており、平面形は確認できなかったが、南東側は、直径約3.80ｍの半円形をした黒っぽい汚れが検出されており、本来は略円形の平面形であったと推定できる。中央部分に１の土器埋設炉があり、周囲に８本の柱穴を検出した。土器埋設炉は、地山面を掘り込んで、２の深鉢形土器を壊して底に敷き、円筒形土器の胴部を炉体として据え付けている。据え付けた土器の周りには、底に敷いた土器の残りの破片を巡らして埋めている。



ＳＩ108
1．赤褐色（5ＹＲ3/6）土。しまり・粘性やや弱い。焼土混入。
2．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり・粘性やや弱い。焼土・炭化物混入。
3．黄褐色（10ＹＲ5/8）土。しまり・粘性やや強い。地山土。

第６図　ＳＩ108竪穴住居跡、土器埋設炉、出土遺物

《埋　　土》　検出できなかった。

《壁と床面》　壁は検出できなかった。床面は全体的に平らで固い。

《出土遺物》　炉体として据え付けた土器は、胴部に羽状縄文を横位に配置した円筒形土器である。口縁部及び底部は検出できなかった。２は、炉体の土器の周りに巡らしていた土器で、頸部付近に「く」の字形のくびれをもち、口縁部が外傾する高さ29.4㎝の深鉢形土器である。くびれ部分が口縁部文様帯の区切りになっている。口縁部には４つの突起があり、各々の突起部分の上部から、縄の側面圧痕を横位に配した粘土紐の隆帯が垂下する。突起と突起の間には、台形状の低い小突起があり、その下方にも縄の側面圧痕を配した粘土紐の隆帯が垂下する。垂下する隆帯と隆帯の間には、縄の側面圧痕が三角形状に配される。口唇部には絡条体圧痕文が縦位に付され、胴部には０段多条の原体を使用した斜行縄文が施されている。

ＳＩ127竪穴住居跡（第７図、図版２・３）

《位　　置》　ＭＦ・ＭＧ36・37区に位置する。

《確認・重複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　水田造成の際、南東側の大部分が削平されていて本来の平面形は不明である。現存する平面形の最長部分は、北西－南東方向1.54ｍ、北東－南西東西方向3.27ｍである。現存する床面から、柱穴痕や焼土痕は検出できなかった。

《埋　　土》　10ＹＲ3/4の暗褐色土が一面に入っている。壁際部分には、10ＹＲ５／６黄褐色土が一部に入っていた。

《壁と床面》　ほぼ垂直に立ち上がり、壁は固く締まっている。確認面からの深さは0.43ｍで、床面は全体的に平らで固く締まっている。

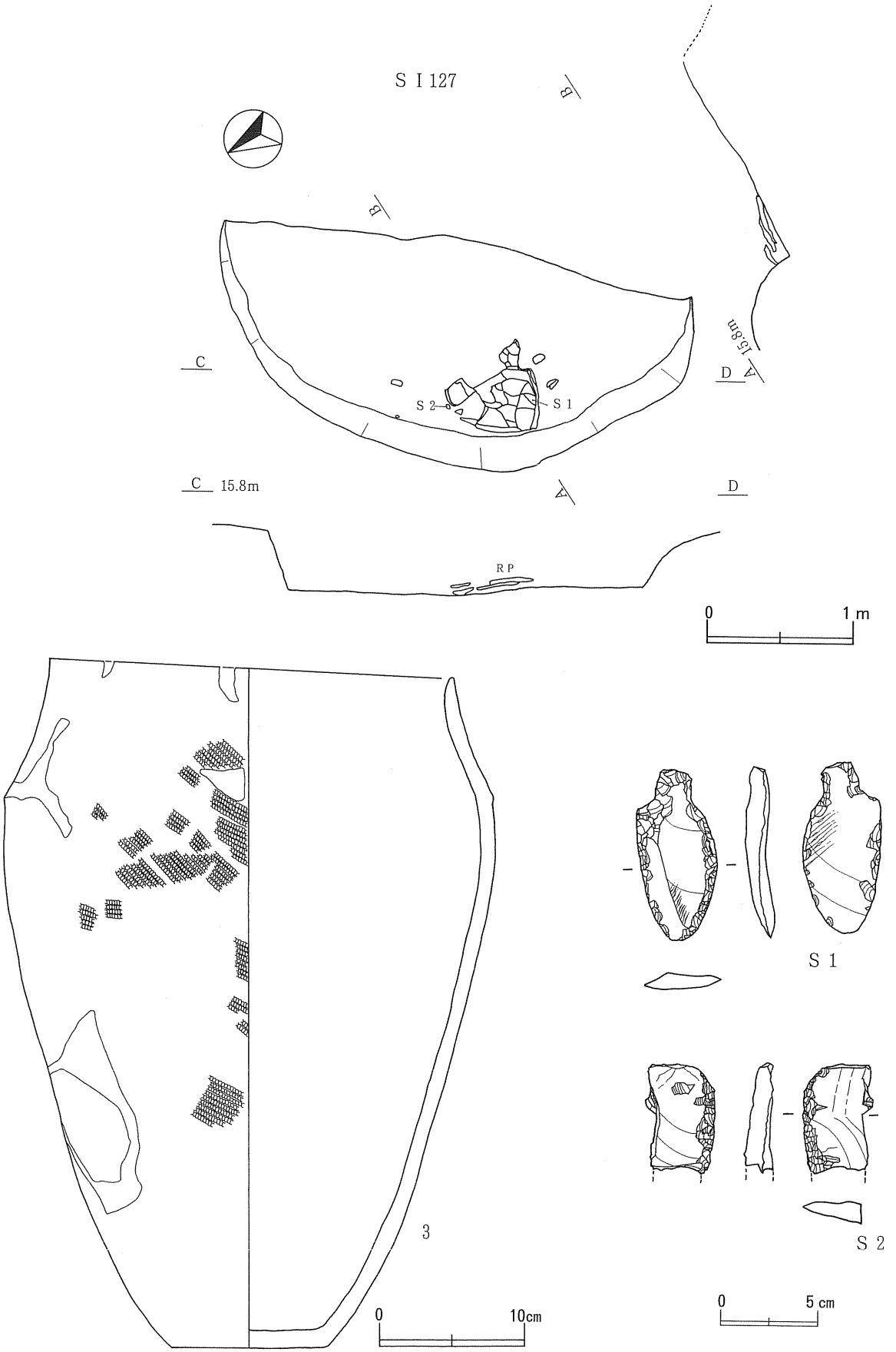
《出土遺物》　肩の部分が「く」の字形に強く張った平縁の３の深鉢形土器が、南西方向に口縁部が向いて床面上から出土した。住居を廃棄した時に、土器も廃棄したような出土状態である。深鉢形土器の全面に斜行縄文が施文されている。Ｓ１は、住居跡の西壁付近、土器片がまとまって検出された上方の埋土から出土している。頁岩の縦長剥片の側面を調整剥離し、つまみ部分は表裏両側から剥離して作り出している。つまみ部分の先端部には、石器素材を剥ぎ取った際の打面が残っている。Ｓ２は、表裏両側から調整剥離を加えて刃部とした頁岩製のスクレイパーである。

ＳＩ148竪穴住居跡（第８図、図版２・３）

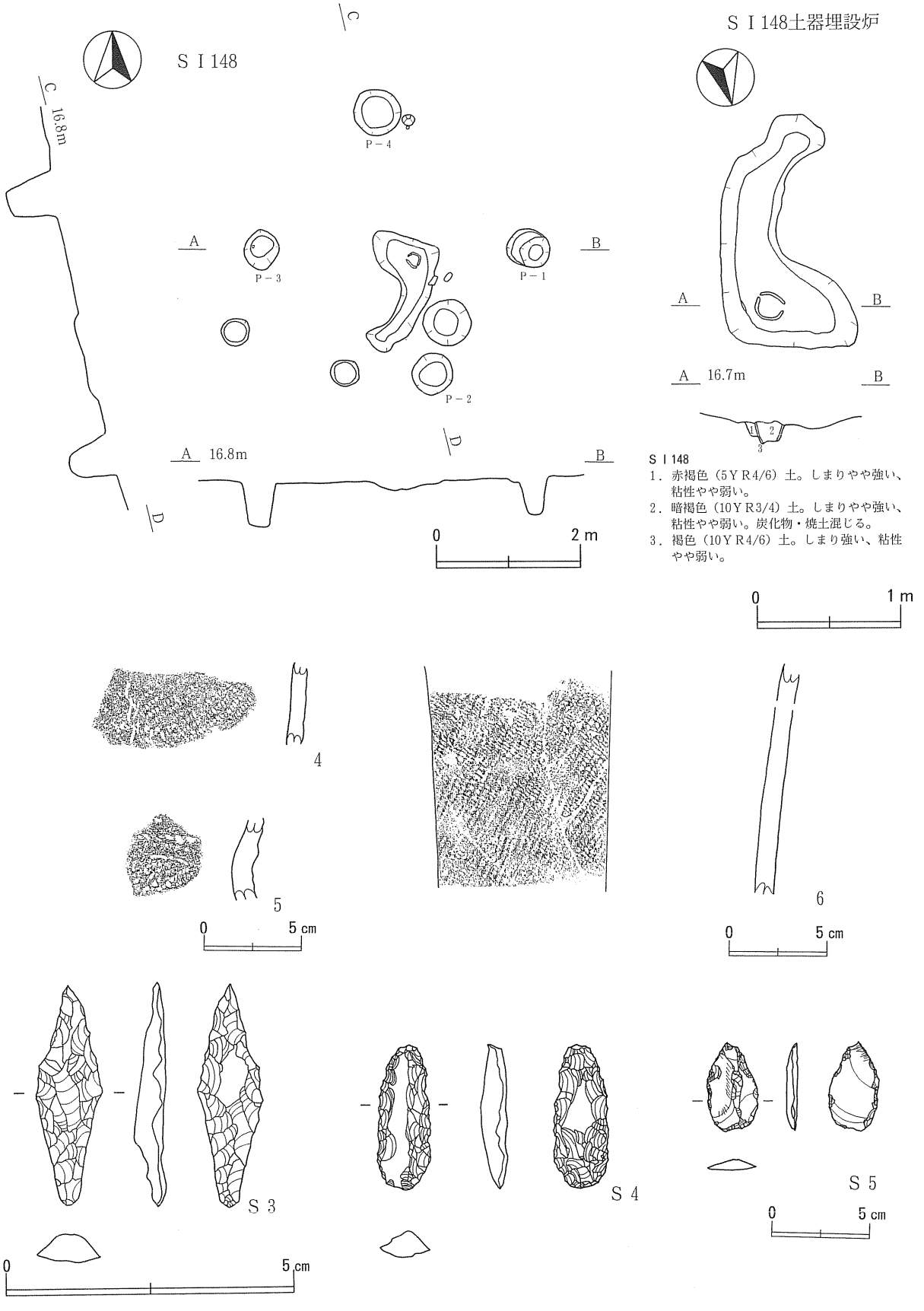
《位　　置》　ＭＨ・ＭＩ38・39区に位置する。

《確認・重複》　ぼんやりとした浅い落ち込みを精査中、地山面で２カ所の焼土と柱穴４本を確認した。重複なし。

《規模と平面形》　全体的にぼんやりとしており、明確な平面形を把握できなかった。南北方向Ｐ-２・Ｐ-４間は約3.70ｍ、東西方向Ｐ-１・Ｐ-３間は約3.80ｍである。Ｐ-１～Ｐ-４で囲まれた中央部分には、６の深鉢形土器の中央部分を埋設した炉を設けている。



第７図　ＳＩ127竪穴住居跡、出土遺物



第８図　ＳＩ148竪穴住居跡、土器埋設炉、出土遺物

《埋　　土》　10ＹＲ３／４暗褐色土を基本にしているが、上からの撹乱を受けている。

《壁と床面》　壁は検出できなかった。床面は全体的に平らで固い。

《出土遺物》　４は撚りの異なる縄文原体を結節した横位の羽状縄文を配した後に、縦位に綾繰文を１条施している。５は胴部と口縁部文様体との間に隆帯があり、隆帯口縁部側には縄の側面圧痕文を１条配した土器である。口縁部はやや開き気味に立ち上がる。Ｓ３は床面から出土した頁岩製の石鏃である。断面菱形で基部の作り出しが非常に長くなっており、全体の形状は細長い菱形を呈する。Ｓ４は、剥離が表裏両側から加えられた頁岩製の石器である。上部には石器素材を剥ぎ取った際の打面が残っている。Ｓ５は、頁岩の薄い剥片素材を利用、部分的に調整剥離を加えてスクレイパーとして使用している。

②土坑

ＳＫ04土坑（第９図）

《位　　置》　ＭＦ・ＭＧ52区に位置する。

《確認・重複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）0.73m、短軸（東北東－西南西）0.56mの隅丸をした不整な長方形を呈する。

《埋　　土》　５層に分層できた。

《壁と底面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は舟底状で締まっている。

《出土遺物》　２層上面より珠洲系陶器の擂鉢破片11が出土した。５層の土坑底面からは、７～10の縄文土器片が出土した。８は焼成が良好で胎土に砂粒を多く含んでいる。斜行縄文が施文されている。

ＳＫ06土坑（第９図）

《位　　置》　ＭＤ52区に位置する。

《確認・重複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南－北）0.91m、短軸（東－西）0.56mの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁と底面》　壁は外傾しながら立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈する。

《出土遺物》　なし。

ＳＫ07土坑（第９図）

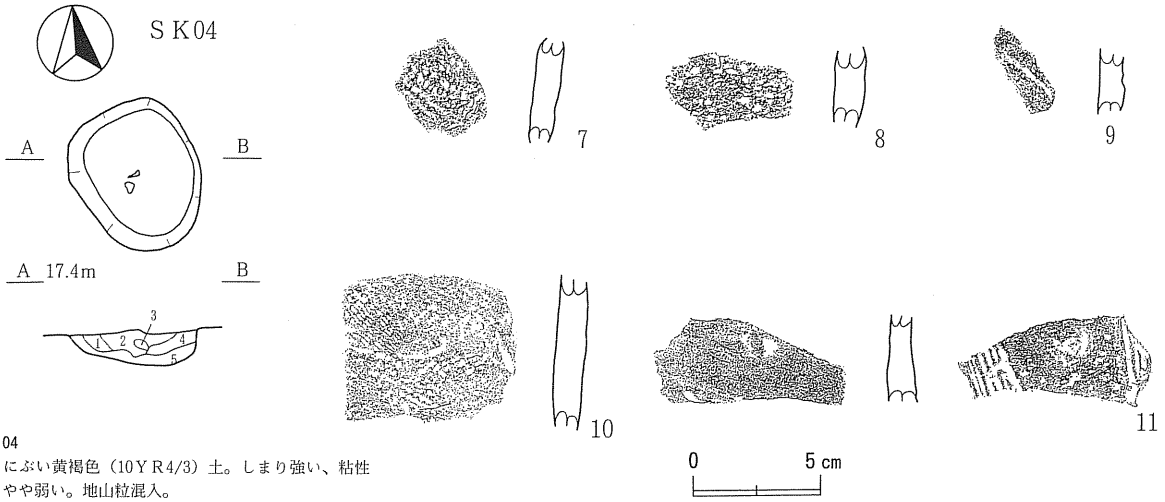
《位　　置》　ＭＤ52区に位置する。

《確認・重複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

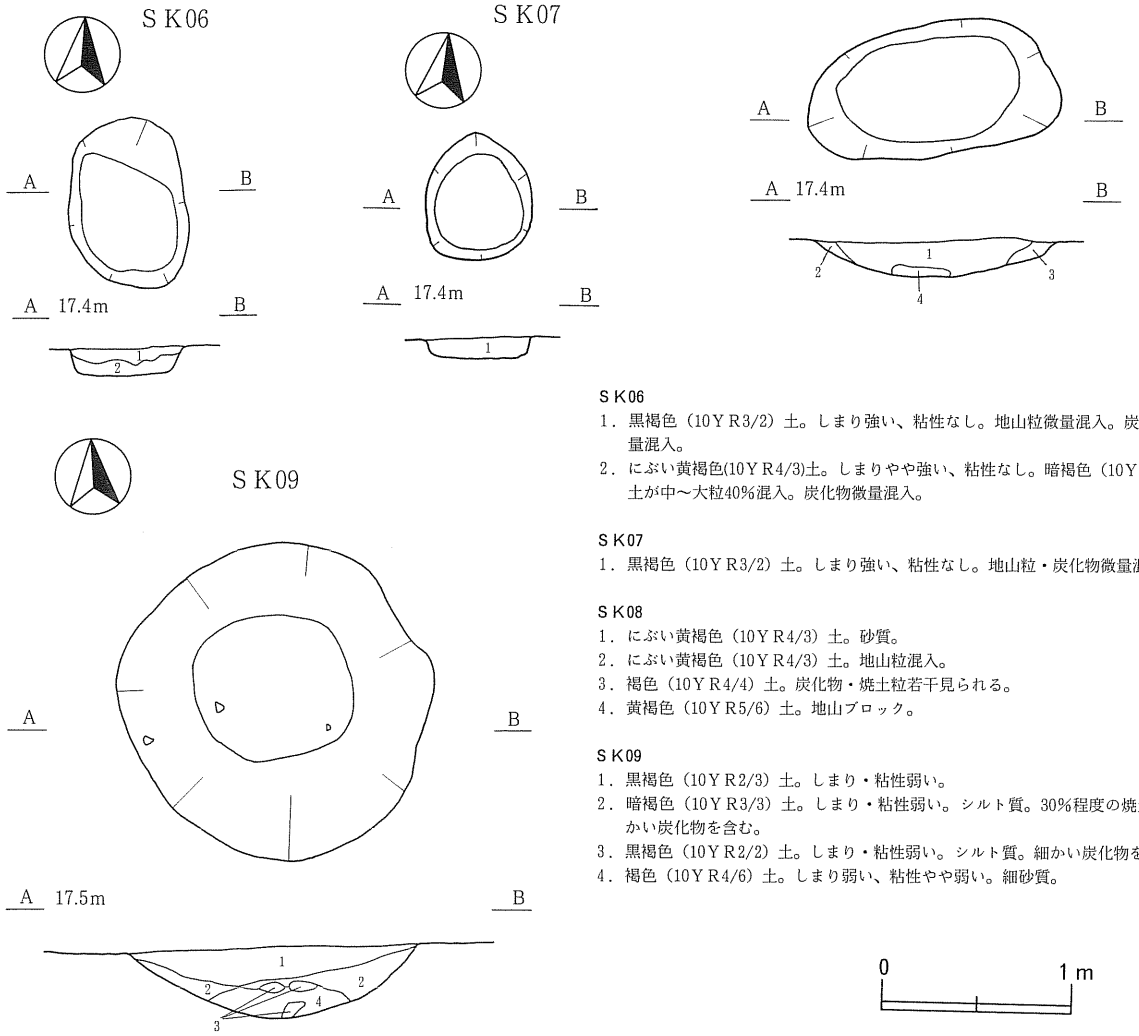
《規模と平面形》　直径約0.57mの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に暗褐色土が入る。

《壁と底面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで締まっている。



ＳＫ04
1．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。しまり強い、粘性やや弱い。地山粒混入。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。シルト質。焼土ブロックが少し混入。
3．赤褐色（5ＹＲ4/8）土。焼土ブロック。
4．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。シルト質。焼土ブロックが少し混入。
5．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。地山ブロック（10ＹＲ5/8、2cm程度）がまだらに混入。



ＳＫ06
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり強い、粘性なし。地山粒微量混入。炭化物微量混入。
2．にぶい黄褐色(10ＹＲ4/3)土。しまりやや強い、粘性なし。暗褐色（10ＹＲ3/3）土が中～大粒40%混入。炭化物微量混入。

ＳＫ07
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり強い、粘性なし。地山粒・炭化物微量混入。

ＳＫ08
1．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。砂質。
2．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。地山粒混入。
3．褐色（10ＹＲ4/4）土。炭化物・焼土粒若干見られる。
4．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。地山ブロック。

ＳＫ09
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性弱い。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性弱い。シルト質。30%程度の焼土と細かい炭化物を含む。
3．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり・粘性弱い。シルト質。細かい炭化物を含む。
4．褐色（10ＹＲ4/6）土。しまり弱い、粘性やや弱い。細砂質。

第９図　ＳＫ04・06・07・08・09土坑、出土遺物

《出 土 遺 物》　土坑底面に接した状態で石器剥片が出土した。

ＳＫ08土坑（第９図）

《位　　置》　ＭＥ・ＭＦ50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（東－西）1.19m、短軸（南－北）0.64mの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は立ち上がり部分で少し丸味をおび、強く外傾しながら立ち上がる。底面は舟底状に丸味をおび、固く締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ09土坑（第９図）

《位　　置》　ＭＥ50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径約1.56cmの略円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は内湾しながら立ち上がる。底面は舟底状で丸味をおび、締まっている。

《出 土 遺 物》　石器剥片１片が出土した。

ＳＫ10土坑（第10図）

《位　　置》　ＭＤ・ＭＥ50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。ＳＫ11土坑を切っている。

《規模と平面形》　長軸（東－西）1.2m、短軸（南－北）0.9mの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　７層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は内湾しながら立ち上がる。底面は舟底状で丸味をおび、締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ11土坑（第10図）

《位　　置》　ＭＤ50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。ＳＫ10土坑に切られている。

《規模と平面形》　長軸（東－西）0.90m、短軸（南－北）0.55mの不整な楕円形を呈する。

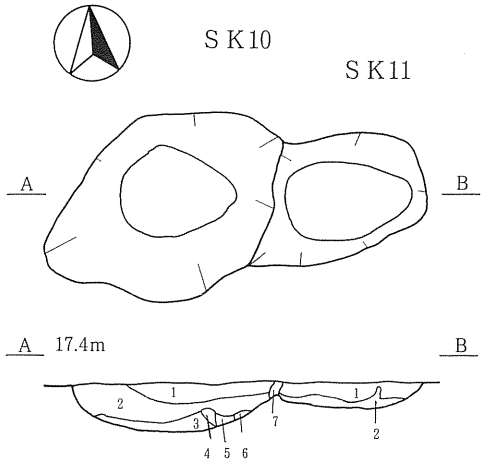
《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は丸味をおびながら立ち上がる。底面は舟底状を呈する。

《出 土 遺 物》　なし。

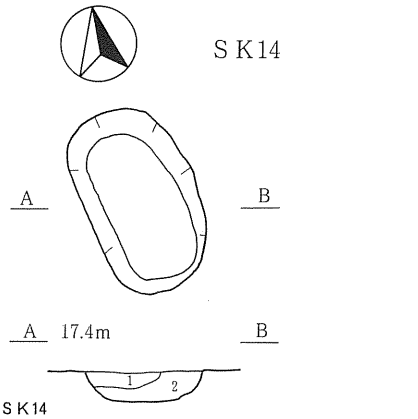
ＳＫ14土坑（第10図）

《位　　置》　ＭＥ49・50区に位置する。

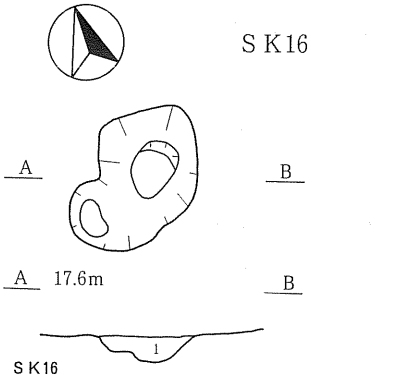


ＳＫ10
1．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。しまり強い。
2．褐色（10ＹＲ4/4）土。シルト質。
3．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。地山ブロック（10ＹＲ5/4）少し混じる。
4．にぶい黄褐色（10ＹＲ5/4）土。地山ブロック。
5．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。地山ブロック（10ＹＲ5/4）少し混じる。
6．にぶい黄褐色（10ＹＲ5/4）土。地山ブロック。
7．暗褐色（10ＹＲ3/4）土・にぶい黄褐色（10ＹＲ5/4）土（地山ブロック）しまり強い。

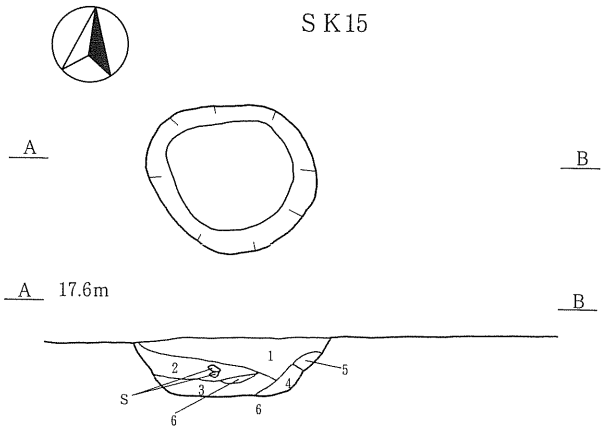
ＳＫ11
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。シルト質。地山粒混入。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。地山ブロック（２㎝角）まだら状に入る。



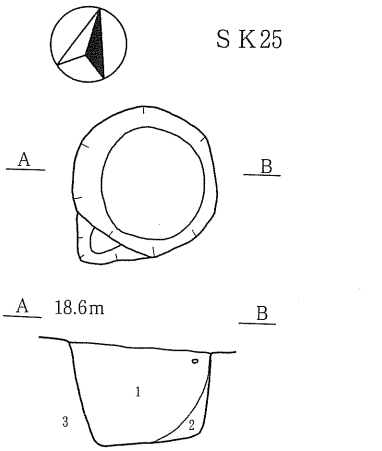
ＳＫ14
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い。
2．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い。地山ブロック（10ＹＲ4/6）多い。



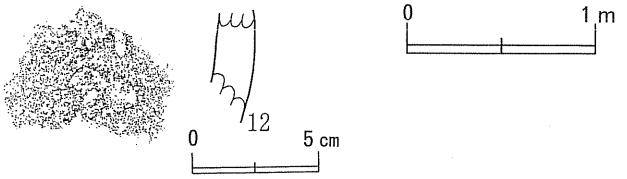
ＳＫ16
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性弱い。
表面に焼土、中に炭化物が１％程混入。



ＳＫ15
1．黒褐色（(10ＹＲ2/2）土。しまりやや弱い、粘性弱い。
１％程の焼土を含む。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。１％程の焼土・炭化物を含む。
3．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。
4．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり・粘性弱い。
5．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性弱い。
6．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまり・粘性弱い。地山土。



ＳＫ25
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。
2．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまり・粘性やや弱い。焼土・地山ブロックを１％程含む。
3．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。



第10図　ＳＫ10・11・14・15・16・25土坑、出土遺物

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）1.04m、短軸（東北東－西南西）0.67mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁はやや丸味をおびながら、内湾気味に立ち上がる。底面はほぼ平らで固く締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ15土坑（第10図）
《位　　置》　ＭＣ49・50区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（東－西）0.93m、短軸（南－北）0.76mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　６層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁は15cm程ほぼ垂直に立ち上がった後、角度を変えて外傾する。底面はゆるやかな舟底状を呈し、締まっている。
《出 土 遺 物》　東側の傾斜が変わった部分に石器剥片１片が出土した。

ＳＫ16土坑（第10図）
《位　　置》　ＭＡ・ＭＢ51区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南西－北東）0.87m、短軸（南東－北西）0.60mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　全面に黒褐色土が入っている。
《壁 と 底 面》　壁は丸味をおび、内湾気味に立ち上がる。底面は浅い段をともなう丸底である。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ25土坑（第10図、図版３）
《位　　置》　ＬＮ・ＬＯ52区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　直径0.78mの略円形を呈する。
《埋　　土》　３層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで締まっている。
《出 土 遺 物》　１層を10cm程掘り下げたところから12の縄文土器片が出土した。表面は剥落が著しい土器片で、胎土に多くの砂粒を含んでいる。他に石器剥片２片が出土した。

ＳＫ26土坑（第11図）
《位　　置》　ＬＮ52区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

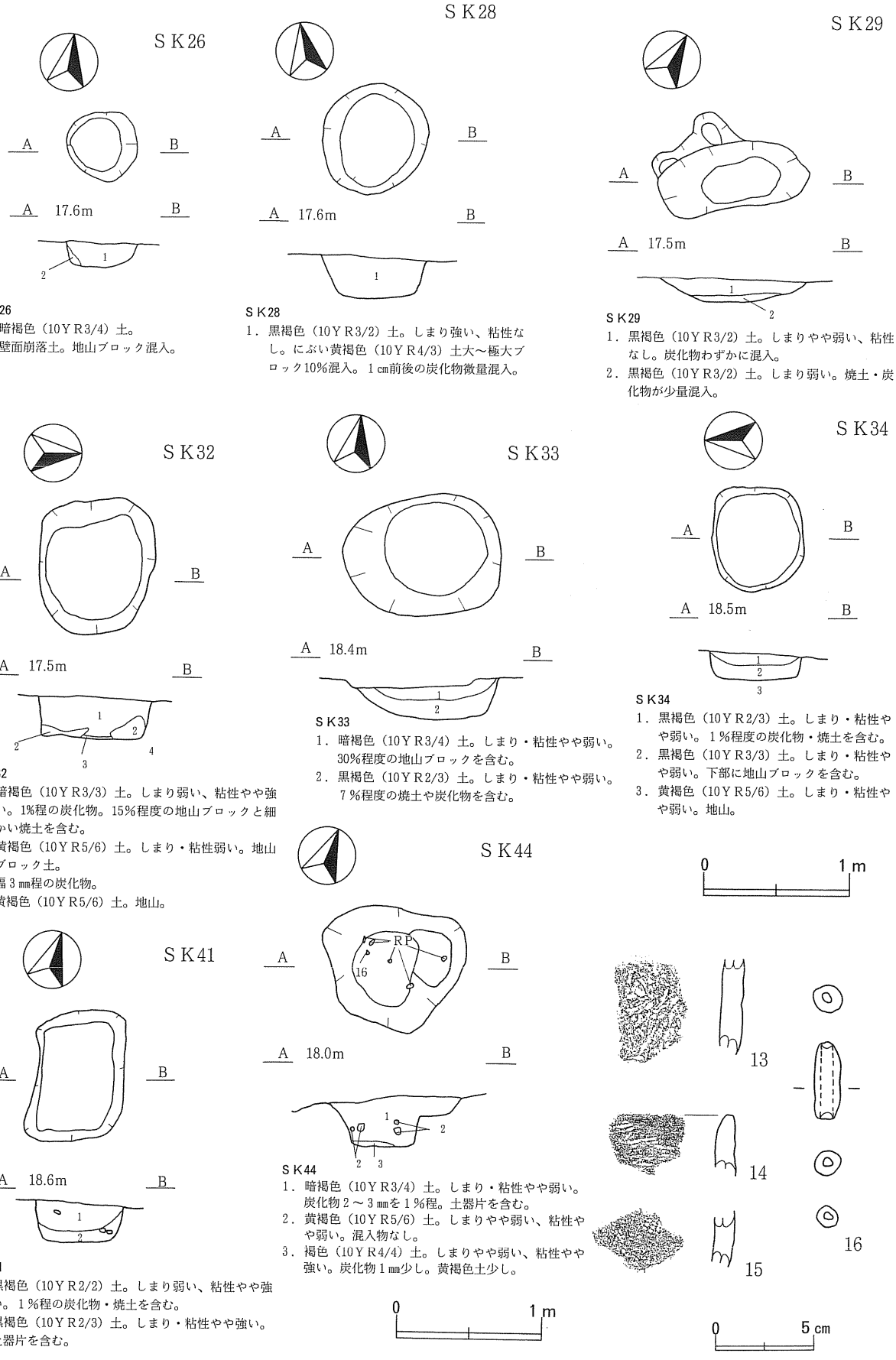
《規模と平面形》　長軸（東－西）0.55m、短軸（南－北）0.47mの隅丸長方形を呈する。
《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁は垂直に立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は平らで締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ28土坑（第11図、図版３）
《位　　置》　ＬＮ51・52区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　直径0.76mの略円形を呈する。
《埋　　土》　全面に黒褐色土が入っている。
《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで固く締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ29土坑（第11図）
《位　　置》　ＬＮ51・52区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南西－北東）1.08m、短軸（南東－北西）0.49mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　舟底状の底面から、そのまま連続した傾斜で壁として立ち上がる。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ32土坑（第11図）
《位　　置》　ＬＮ・ＬＯ51区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（東－西）0.93m、短軸（南－北）0.80mの不整な隅丸長方形を呈する。
《埋　　土》　３層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がり、固い。底面はほぼ平らで固く締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ33土坑（第11図）
《位　　置》　ＬＮ・ＬＯ51区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（東－西）1.06m、短軸（南－北）0.86mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁は東側のほぼ垂直に、西側は外傾しながら立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈し、固く締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。



ＳＫ26
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。
2．壁面崩落土。地山ブロック混入。

ＳＫ28
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり強い、粘性なし。にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土大～極大ブロック10%混入。１㎝前後の炭化物微量混入。

ＳＫ29
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまりやや弱い、粘性なし。炭化物わずかに混入。
2．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり弱い。焼土・炭化物が少量混入。

ＳＫ32
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり弱い、粘性やや強い。1%程の炭化物。15%程度の地山ブロックと細かい焼土を含む。
2．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。しまり・粘性弱い。地山ブロック土。
3．幅３㎜程の炭化物。
4．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。地山。

ＳＫ33
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。30%程度の地山ブロックを含む。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。７%程度の焼土や炭化物を含む。

ＳＫ34
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。１%程度の炭化物・焼土を含む。
2．黒褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。下部に地山ブロックを含む。
3．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。しまり・粘性やや弱い。地山。

ＳＫ41
1．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり弱い、粘性やや強い。１%程の炭化物・焼土を含む。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや強い。土器片を含む。

ＳＫ44
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物２～３㎜を１%程。土器片を含む。
2．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。混入物なし。
3．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。炭化物１㎜少し。黄褐色土少し。

第11図　ＳＫ26・28・29・32・33・34・41・44土坑、出土遺物

ＳＫ34土坑（第11図）

《位　　置》　ＬＮ51区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（東－西）0.73m、短軸（南－北）0.57mの不整な隅丸長方形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで固く締まっている。

《出 土 遺 物》　埋土より13の土器片が出土した。焼成はあまり良くない。表面が剥落している。他に石器剥片１片が出土した。

ＳＫ41土坑（第11図）

《位　　置》　ＬＭ51区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南－北）0.92m、短軸（東－西）0.62mの不整な隅丸長方形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで固く締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ44土坑（第11図）

《位　　置》　ＬＯ50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南西－北東）1.00m、短軸（南東－北西）0.82mの不整な卵形を呈する。

《埋　　土》　３層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁南西側は外傾しながら、壁北東側はほぼ垂直に立ち上がってから平坦になり、その後外傾して立ち上がる。底面は平らで固い。

《出 土 遺 物》　１層から14、15の縄文土器片が出土した。14は、平縁の土器である。15は斜行縄文が施文されている。１層の上部からは16の管形の土師質の土錘が出土した。

ＳＫ45土坑（第12図）

《位　　置》　ＬＴ50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.50mの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　外傾しながら立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は平らで締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ49土坑（第12図）

《位　　置》　ＬＲ48区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.65ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に、地山土塊を含む暗褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は内湾気味に立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈し、固く締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ52土坑（第12図）

《位　　置》　ＭＣ48・49区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南－北）1.5ｍ、短軸（東－西）1.3ｍの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は内湾気味にゆるやかに立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈する。

《出 土 遺 物》　底面に接して石器剥片が出土した。

ＳＫ53土坑（第12図）

《位　　置》　ＭＣ・ＭＤ48区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径1.45ｍの不整な略円形を呈する。

《埋　　土》　８層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで締まっている。

《出 土 遺 物》　２層の埋土より、胎土に砂粒を含む17の土器片が出土した。表面の剥落が著しいが、わずかに斜行縄文が残る。

ＳＫ54土坑（第12図）

《位　　置》　ＬＴ47区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.70ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　垂直に立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は平らでよく締まっている。

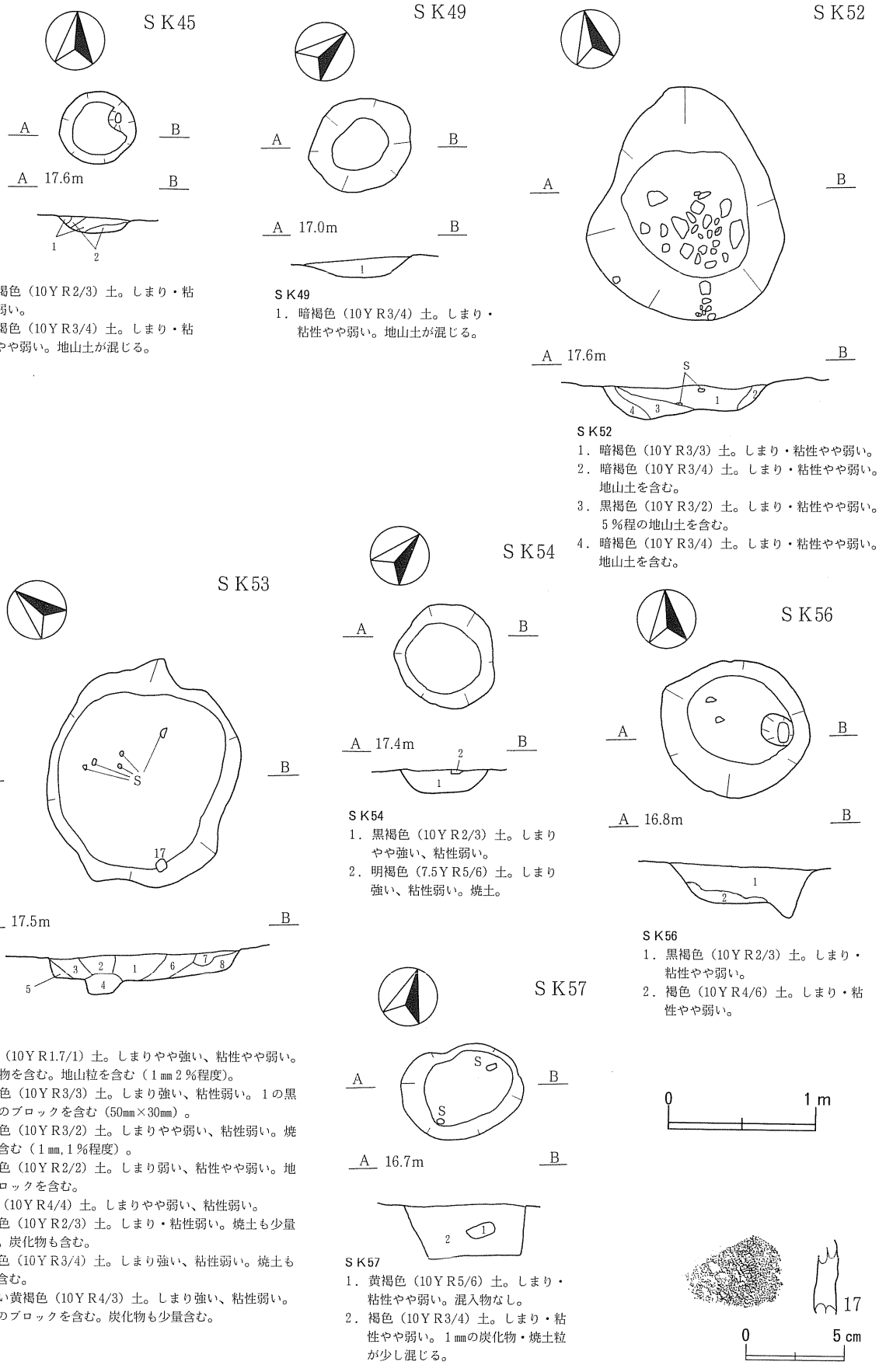
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ56土坑（第12図）

《位　　置》　ＬＳ46区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.96ｍの略円形を呈する。



ＳＫ45

1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性弱い。
2．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。地山土が混じる。

ＳＫ49

1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。地山土が混じる。

ＳＫ52

1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。
2．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。地山土を含む。
3．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり・粘性やや弱い。５％程の地山土を含む。
4．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。地山土を含む。

ＳＫ53

1．黒色（10ＹＲ1.7/1）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。炭化物を含む。地山粒を含む（１㎜２％程度）。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり強い、粘性弱い。１の黒色土のブロックを含む（50㎜×30㎜）。
3．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまりやや弱い、粘性弱い。焼土を含む（１㎜,１％程度）。
4．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり弱い、粘性やや弱い。地山ブロックを含む。
5．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまりやや弱い、粘性弱い。
6．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性弱い。焼土も少量含む。炭化物も含む。
7．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い、粘性弱い。焼土も少量含む。
8．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。しまり強い、粘性弱い。焼土のブロックを含む。炭化物も少量含む。

ＳＫ54

1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや強い、粘性弱い。
2．明褐色（7.5ＹＲ5/6）土。しまり強い、粘性弱い。焼土。

ＳＫ56

1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。
2．褐色（10ＹＲ4/6）土。しまり・粘性やや弱い。

ＳＫ57

1．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。しまり・粘性やや弱い。混入物なし。
2．褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや弱い。１㎜の炭化物・焼土粒が少し混じる。

第12図　ＳＫ45・49・52・53・54・56・57土坑、出土遺物

《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　外傾しながら立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は平らで締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ57土坑（第12図、図版４）
《位　　置》　ＬＳ・ＬＲ46区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南西－北東）0.95m、短軸（南東－北西）0.60mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がり、壁面は柔らかい。底面は平らで柔らかい。
《出 土 遺 物》　石器剥片２片が出土した。

ＳＫ60土坑（第13図、図版４）
《位　　置》　ＭＣ48・49区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南－北）1.56m、短軸（東－西）1.47mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁は外傾しながら立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈し、柔らかい。
《出 土 遺 物》　南側壁面に接して石器剥片が貼り付いていた。鉄滓も落ち込んでいた。

ＳＫ63土坑（第13図）
《位　　置》　ＭＢ42区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南西－北東）0.83m、短軸（南東－北西）0.62mの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　全面に暗褐色土が入っていた。
《壁 と 底 面》　壁は外傾しながら立ち上がる。底面は舟底状を呈し、締まっている。
《出 土 遺 物》　埋土より、斜行縄文の施された土器片が出土した。

ＳＫ69土坑（第13図）
《位　　置》　ＭＦ39区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　直径0.70mの略円形を呈する。
《埋　　土》　黒褐色土１層のみである。
《壁 と 底 面》　壁は垂直に立ち上がり、壁面は固く締まっている。底は平らでよく締まっている。
《出 土 遺 物》　縄文土器片や石器剥片が出土した。

ＳＫ73土坑（第13図）

《位　　置》　ＭＨ42区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.74ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　黒褐色土が埋まっていた。

《壁 と 底 面》　壁は外傾しながら立ち上がる。底面は平らでよく締まっている。

《出 土 遺 物》　自然礫が底面に２個重なって出土した。

ＳＫ74土坑（第13図）

《位　　置》　ＭＨ43区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径1.22ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は内湾しながら立ち上がる。底面は舟底状で、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　落ち込んだ状態で縄文土器片が出土した。

ＳＫ75土坑（第13図）

《位　　置》　ＭＦ・ＭＧ42区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.78ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に黒褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は外傾しながら立ち上がる。底面は平らでよく締まっている。

《出 土 遺 物》　縄文土器片、石器剥片が出土した。

ＳＫ76土坑（第13図、図版４）

《位　　置》　ＭＦ42・43区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径1.00ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は垂直的に立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は舟底状を呈し、よく締まっている。

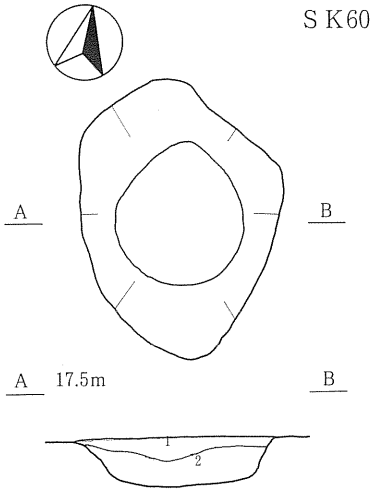
《出 土 遺 物》　土坑内に落ち込んだ状態で石器剥片４片が出土した。

ＳＫ78土坑（第13図）

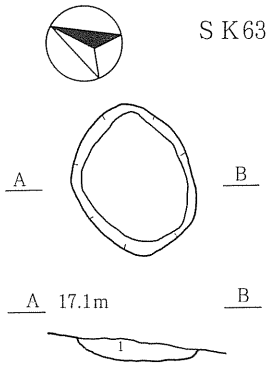
《位　　置》　ＭＥ41・42区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

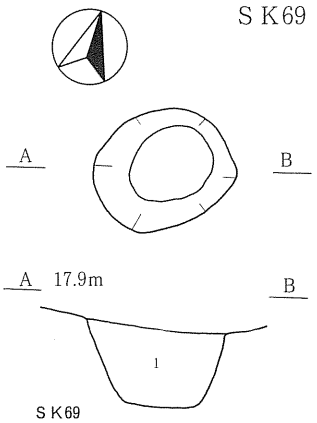
《規模と平面形》　直径0.73ｍの略円形を呈する。



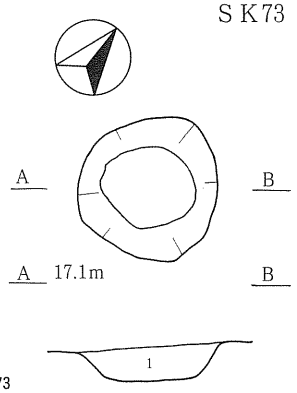
ＳＫ60
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまりやや弱い、粘性弱い。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性弱い。



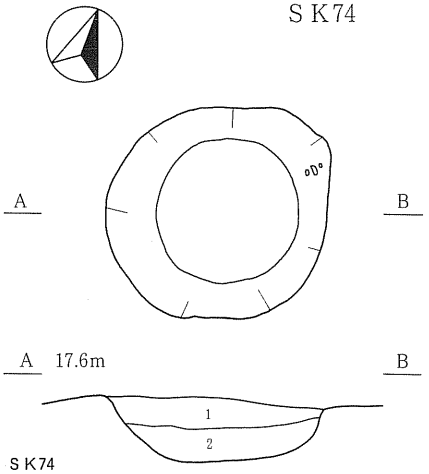
ＳＫ63
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。焼土粒１㎜程度１％。炭化物１㎜程度が少し混じる。



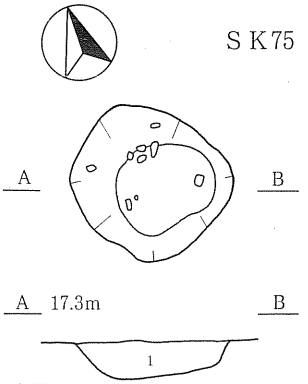
ＳＫ69
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。



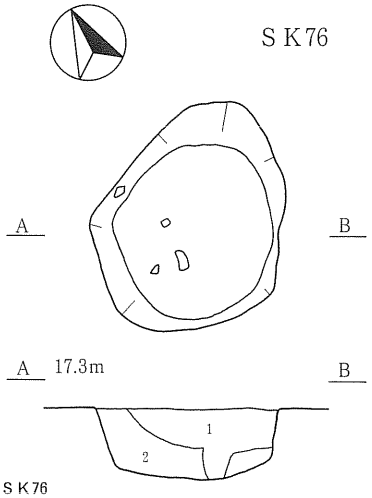
ＳＫ73
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。



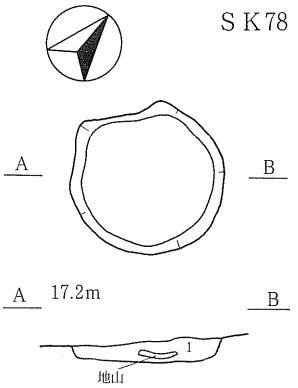
ＳＫ74
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。２％程の地山ブロックを含む。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。



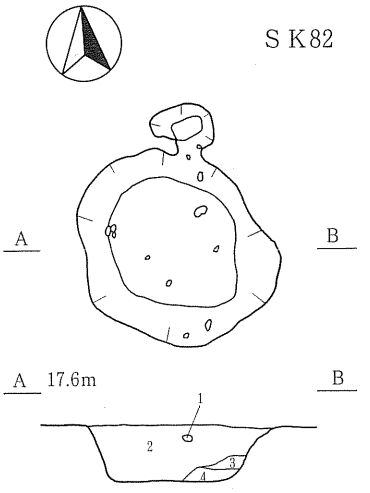
ＳＫ75
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまりやや弱い、粘性弱い。地山ブロック（10㎜×10㎜１％）を含む。



ＳＫ76
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。地山の粒を含む（５㎜２％程度）。
2．黒褐色（10ＹＲ3/1）土。しまり弱い、粘性やや弱い。地山の粒を含む（５㎜５％程度）。



ＳＫ78
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり強い、粘性弱い。地山ブロック（５㎜２％）を含む。焼土ブロック１個（５㎜×10㎜）を含む。



ＳＫ82
1．褐色（10ＹＲ4/6）土。しまり・粘性強い。地山ブロック。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。
3．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり・粘性やや弱い。
4．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性弱い。

0　1 m

第13図　ＳＫ60・63・69・73・74・75・76・78・82土坑

《埋　　土》　２層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。
《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ82土坑（第13図）
《位　　置》　ＭＦ・ＭＧ43区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　直径0.96ｍの略円形を呈する。
《埋　　土》　４層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁は垂直気味に立ち上がる。底面は平らで、固く締まっている。
《出 土 遺 物》　土坑内に落ち込んだ状態で、縄文土器片や石器剥片２片が出土した。

ＳＫ83土坑（第14図、図版４）
《位　　置》　ＭＧ43区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（東北東－西南西）1.64ｍ、短軸（南南東－北北西）1.10ｍの不整楕円形を呈する。
《埋　　土》　５層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁西側はほぼ垂直に、他の面もそれに近い立ち上がりをする。壁面は固い。底面は平らで、よく締まっている。
《出 土 遺 物》　縄文土器片が落ち込んだ状態で出土した。18は、口縁部が外傾する平縁深鉢形の土器、19は口縁部がほぼ直立する平縁深鉢形土器である。19の口縁部文様体には縄文原体の側面圧痕が付され、上には２つの粘土塊が貼り付けられている。

ＳＫ84土坑（第14図）
《位　　置》　ＭＧ43・44区に位置する。
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。
《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）1.48ｍ、短軸（東北東－西南西）1.10ｍの不整な楕円形を呈する。
《埋　　土》　６層に分層できた。
《壁 と 底 面》　壁は垂直気味に立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は舟底状で、よく締まっている。
《出 土 遺 物》　１層から縄文土器片が出土した。20は、山形突起を持つ深鉢形土器である。21は平縁の深鉢形土器で、横位の縄文原体側面圧痕が付された口縁部と胴部との間に、１条の隆帯を配して胴部文様体と区画している。隆帯の上方にはヘラ状工具による刺突が見える。胴部には縄文原体の側面圧痕が配される。22は、直線状の沈線と隆帯を配した焼成良好な土器である。突起部分には縦位の粘土紐による隆帯を

貼り付けて文様体を区画し、区画内には縄文原体の側面圧痕を施文している。

ＳＫ93土坑（第14図）

《位　　置》　ＬＰ・ＬＱ40区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）3.15ｍ、短軸（東北東－西南西）2.10ｍの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで締まっている。

《出 土 遺 物》　北側の上の方から23の斜行縄文が施文された縄文土器片が出土した。Ｓ６はほぼ土坑底面から出土した頁岩製のスクレイパーである。破損しているが、残存している刃部には表裏両側から細かな剥離が加えられている。Ｓ７は頁岩製の石槍形の石器である。表側は細かく剥離を加えているが、裏側の調整は雑である。他に石器剥片２片が出土した。部分的に後世の攪乱を受け、ガラス片が混入している。

ＳＫ98土坑（第15図）

《位　　置》　ＬＰ47・48区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径1.35ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は内湾気味に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　上から落ち込んだ状態で石器剥片２片が出土した。

ＳＫ100土坑（第15図）

《位　　置》　ＬＴ・ＭＡ44区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径1.00ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に、黒褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は内湾しながら立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　石器剥片が出土した。

ＳＫ101土坑（第15図）

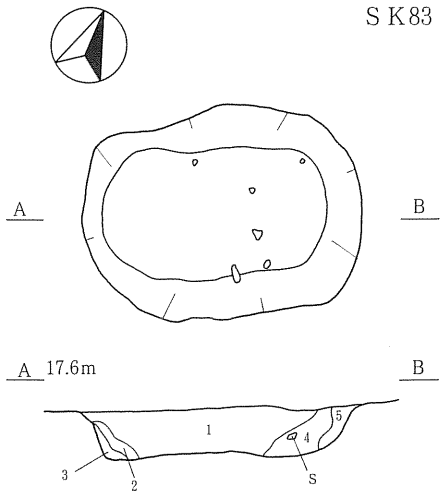
《位　　置》　ＭＤ46区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

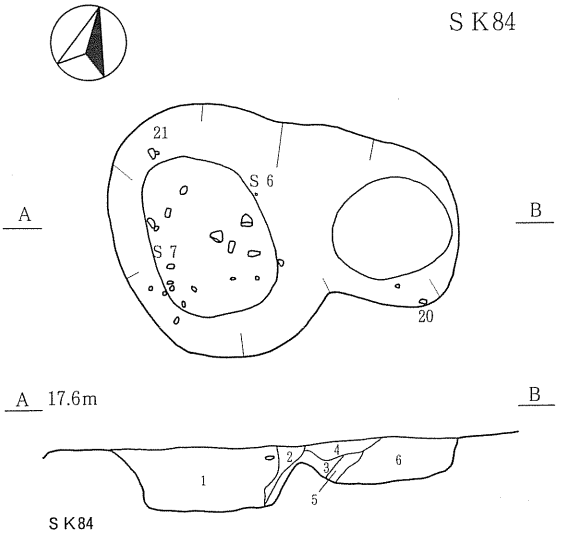
《規模と平面形》　長軸（南東－北西）1.05ｍ、短軸（南西－北東）0.85ｍの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

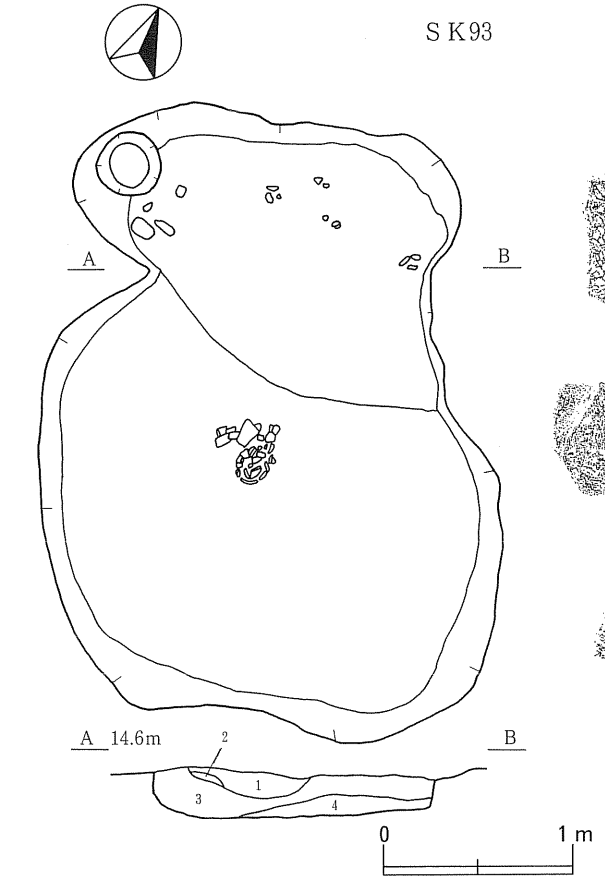
《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は舟底状で、底面は柔らかい。



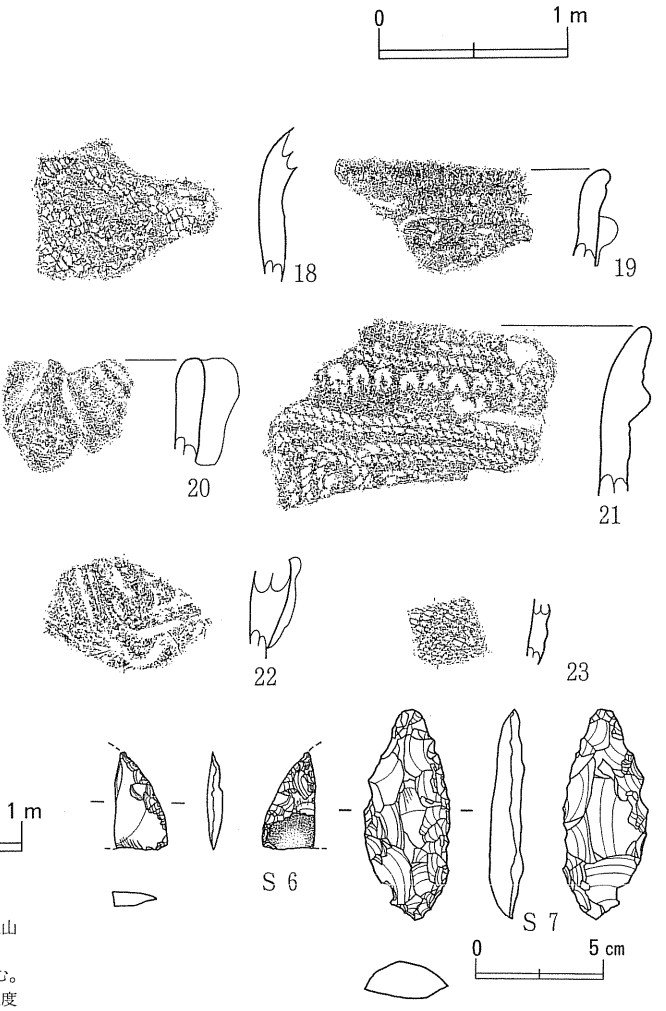
ＳＫ83
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。１％程の地山土を含む。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。１％程の地山土を含む。
3．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり・粘性やや強い。
4．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。地山土を50％程含む。
5．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。１％程の地山土を含む。



ＳＫ84
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。遺物（土器片）を含む。１％程の地山土を含む。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。
3．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土を50％含む。
4．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。
5．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。しまり・粘性やや強い。
6．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。



ＳＫ93
1．黒色（10ＹＲ2/1）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物を多く含む。
2．黒色（10ＹＲ2/1）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物を多く含む。地山粒を20％ほど含む。
3．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。１％程の炭化物を含む。
4．にぶい黄褐色（10ＹＲ4/3）土。しまり・粘性やや強い。地山土30％程度含む。



第14図　ＳＫ83・84・93土坑、出土遺物

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ105土坑（第15図、図版４）

《位　　置》　ＭＬ36区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.82ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　３層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は外傾しながら立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　側面を打ち欠いたＳ８の礫が出土した。

ＳＫ107土坑（第15図）

《位　　置》　ＭＭ45・46区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南－北）0.87ｍ、短軸（東－西）0.70ｍの不整な隅丸長方形を呈する。

《埋　　土》　全面に黒褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ110土坑（第15図、図版４）

《位　　置》　ＭＮ46区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.97ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。ほぼ中央に舟底状の底面を有する円形ピットを検出している。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ117土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＦ48区に位置する。

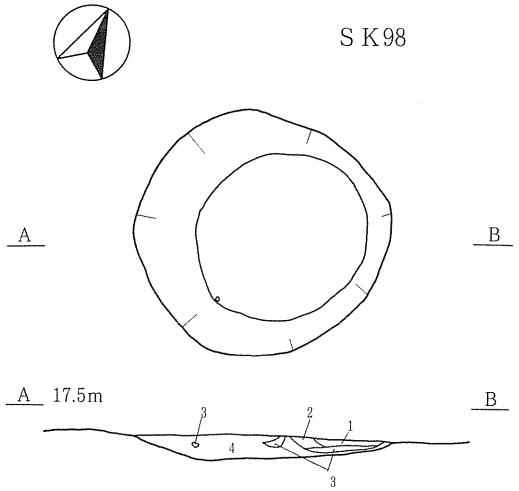
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（東－西）1.84ｍ、短軸（南－北）1.32ｍの不整な楕円形を呈する。

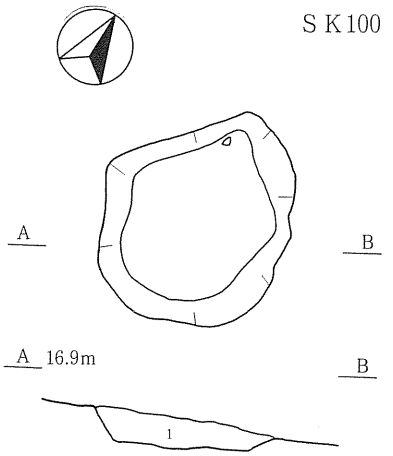
《埋　　土》　３層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はゆるやかに内湾しながら立ち上がる。壁面南側は焼けている。底面は平らで締まっている。

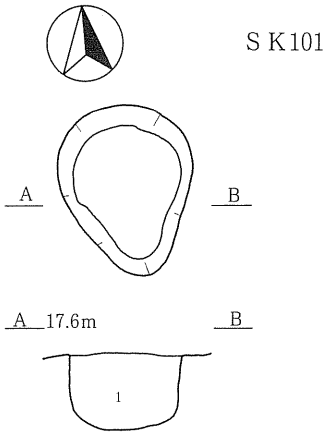
《出 土 遺 物》　なし。



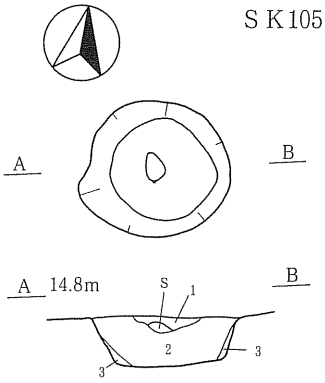
ＳＫ98
1．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。炭化物（径２～３㎜）少し含む。
2．黒褐色（10ＹＲ3/1）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（径２～３㎜）。焼土粒（径１㎜）少し含む。
3．赤褐色（5ＹＲ4/6）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。焼土。
4．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。炭化物（径１㎜）２～３％程含む。



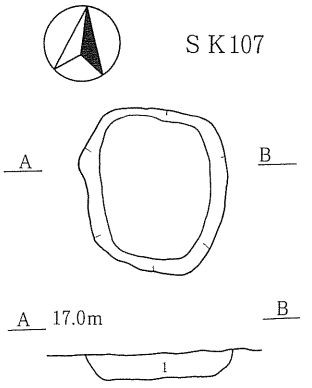
ＳＫ100
1．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり・粘性やや弱い。１㎜程度の炭化物１％程混じる。



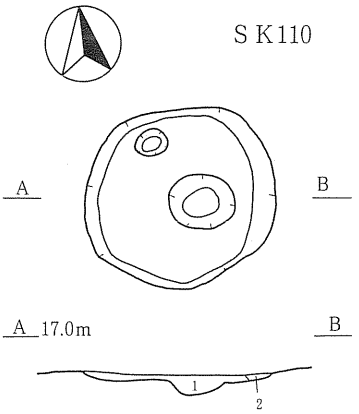
ＳＫ101
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。植物の根が多く混入。



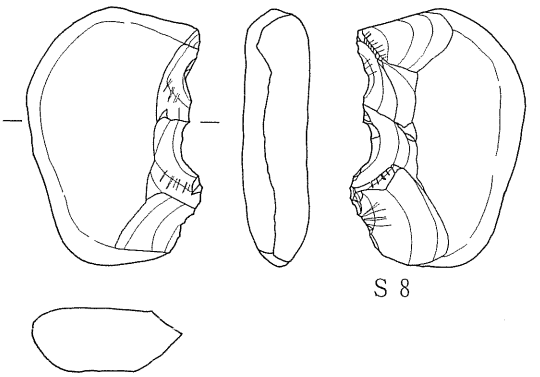
ＳＫ105
1．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり・粘性やや弱い。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。
3．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。



ＳＫ107
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。



ＳＫ110
1．黒褐色（10ＹＲ2/3～2/3）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。３～５㎜の焼土が２～３％混じる。
2．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。５㎜程度の炭化物を10％含む。



0　1 m

0　5 cm

第15図　ＳＫ98・100・101・105・107・110土坑、出土遺物

ＳＫ119土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＥ49区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.65ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に黒褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がり、固く締まっている。底面はゆるやかな舟底状で、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ120土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＥ49・50区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.75ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に暗褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁北側ではほぼ垂直に立ち上がり、固く締まっている。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ121土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＤ・ＮＥ49区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.78ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　全面に黒褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は内湾気味に立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈する。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ123土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＣ49区に位置する。

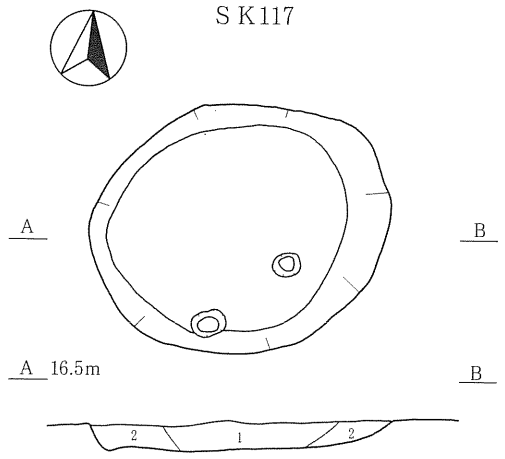
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）0.98ｍ、短軸（東北東－西南西）0.60ｍの不整な楕円形を呈する。

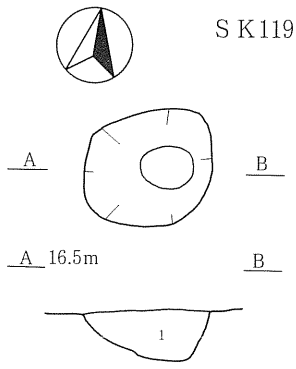
《埋　　土》　３層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

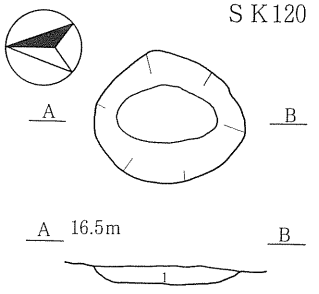
《出 土 遺 物》　なし。



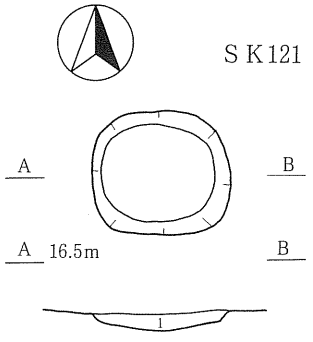
ＳＫ117
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや強い、粘性やや強い。地山土５～10㎜30～40％含む。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや強い、粘性やや強い。



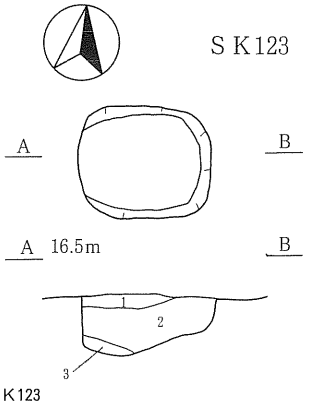
ＳＫ119
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや弱い、粘性強い。地山粒状径２～５㎜を１％程含む。



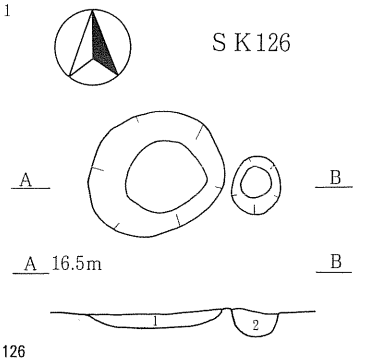
ＳＫ120
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり弱い、粘性強い。地山ブロック状10～20㎜を30％程含む。



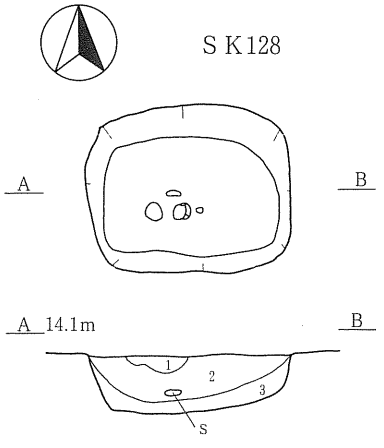
ＳＫ121
1．黒褐色（10ＹＲ2/2～2/3）土。しまりやや強い、粘性強い。地山粒状径1～2㎜を１％程含む。



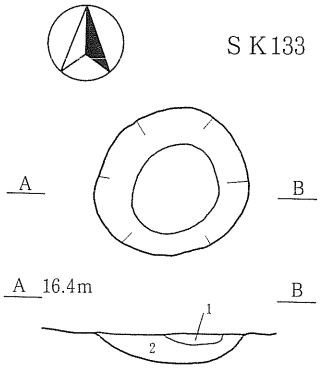
ＳＫ123
1．黒褐色（10ＹＲ2/2～2/3）土。しまり弱い、粘性やや強い。
2．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや強い。地山ブロック状５～10㎜３％混入。
3．褐色（10ＹＲ4/4～4/6）土。しまり強い、粘性やや弱い。



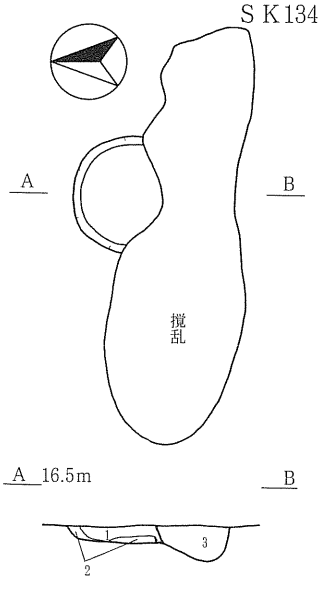
ＳＫ126
1．暗褐色（10ＹＲ3/3～3/4）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり弱い、粘性やや強い。



ＳＫ128
1．黄褐色（10ＹＲ5/6）土。しまり・粘性やや弱い。
2．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまり・粘性やや弱い。
3．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまり・粘性やや弱い。



ＳＫ133
1．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。
2．黒褐色（10ＹＲ2/2～2/3）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。



ＳＫ134
1．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。地山粒状径２～５㎜が５％程混じる。
2．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまり強い、粘性やや弱い。
3．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い、粘性やや弱い。

0　1 m

第16図　ＳＫ117・119・120・121・123・126・128・133・134土坑

ＳＫ126土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＡ46区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.74ｍの略円形を呈する。削平が激しく底面のみが残存する。

《埋　　土》　全面に暗褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は削平を受けている。底面はゆるやかな舟底状を呈し、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ128土坑（第16図）

《位　　置》　ＭＪ33・34区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（東－西）1.16ｍ、短軸（南－北）0.87ｍの不整な隅丸長方形を呈する。

《埋　　土》　３層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁は外傾しながら立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ133土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＧ47区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径0.85ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がり、固く締まっている。底面は緩やかな舟底状を呈し、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ134土坑（第16図）

《位　　置》　ＮＢ49区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　現存部分は長軸（東－西）0.60ｍ、短軸（南－北）0.50ｍで、不整な楕円形を呈すると思われるが、南側半分は木の根によって撹乱されていた。

《埋　　土》　３層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ135土坑（第17図）

《位　　置》　ＮＢ49区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　短軸（南東－北西）0.60m、長軸（南西－北東）は1.00m程の不整な楕円形を呈すると思われる。

《埋　　土》　全面に暗褐色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は内湾気味に立ち上がる。底面はゆるやかな舟底状を呈し、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　なし。

ＳＫ146土坑（第17図、図版４）

《位　　置》　ＭＩ37区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南東－北西）1.09m、短軸（南西－北東）0.92mの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は凹凸があるが、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　24は、口縁部文様体と胴部との間に「く」の字形の肩部を有する平縁の土器である。口縁部上は、幅1.5cmほどの撚糸文を施文した隆帯となっている。口縁部には２種類の縄文原体の側面圧痕が施文された文様帯を持つ。また、横位の縄文原体の側面圧痕を施文したブリッジ状の把手を付している。25は、平縁の浅鉢形土器で体部に斜行縄文が配されている。Ｓ９は、丁寧な剥離が加えられた柳刃形の石鏃である。基部が欠損している。Ｓ10は、頁岩製の石槍で、基部が欠損している。調整加工は粗い。他に石器剥片３片が出土した。

ＳＫ147土坑（第17図、図版４）

《位　　置》　ＭＩ38区に位置する。

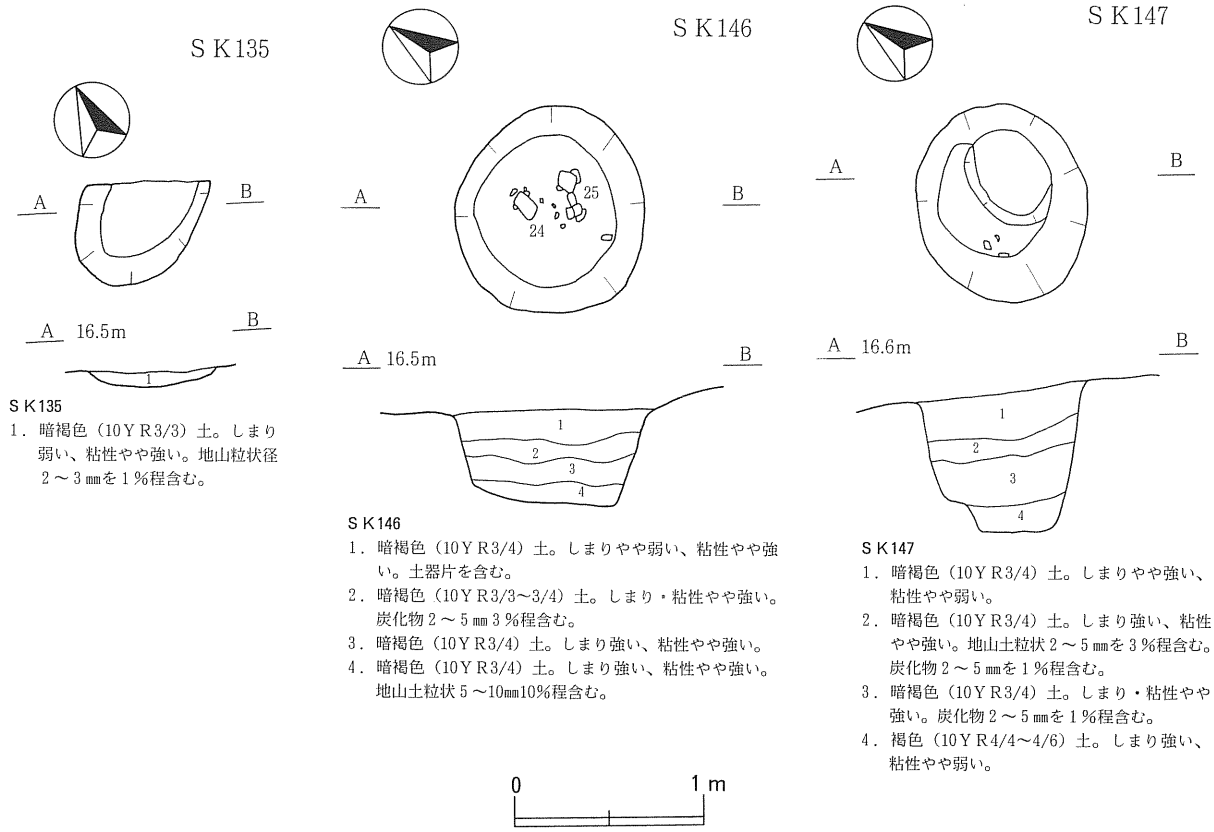
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　長軸（南東－北西）1.01m、短軸（南西－北東）0.92mの不整な楕円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。

《壁 と 底 面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

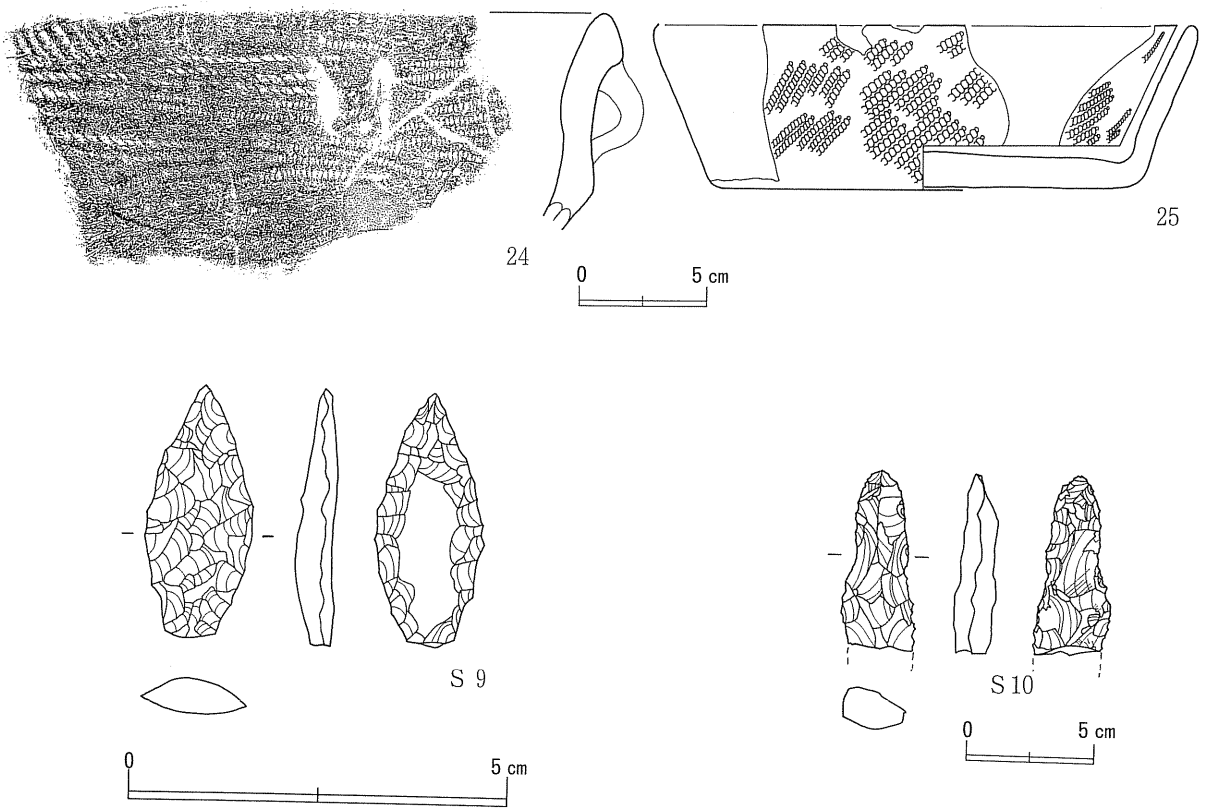
《出 土 遺 物》　なし。



ＳＫ135
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり弱い、粘性やや強い。地山粒状径２～３㎜を１％程含む。

ＳＫ146
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。土器片を含む。
2．暗褐色（10ＹＲ3/3～3/4）土。しまり・粘性やや強い。炭化物２～５㎜３％程含む。
3．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い、粘性やや強い。
4．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い、粘性やや強い。地山土粒状５～10㎜10％程含む。

ＳＫ147
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。
2．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり強い、粘性やや強い。地山土粒状２～５㎜を３％程含む。炭化物２～５㎜を１％程含む。
3．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまり・粘性やや強い。炭化物２～５㎜を１％程含む。
4．褐色（10ＹＲ4/4～4/6）土。しまり強い、粘性やや弱い。



第17図　ＳＫ135・146・147土坑、出土遺物

③焼土遺構

ＳＮ36焼土遺構（第18図）

《位　　置》　ＬＰ・ＬＱ49区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）1.35m、短軸（東北東－西南西）0.75mの不整な楕円形を呈する。

《そ　の　他》　地山に、ゆるやかな舟底状の底面を持った掘り込みがある。焼土は、掘り込みの中に入っている暗褐色土の中に混じっている。遺物は出土しなかった。

ＳＮ46焼土遺構（第18図）

《位　　置》　ＬＳ47・48区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）1.30m、短軸（東北東－西南西）0.60mの不整な楕円形を呈する。

《そ　の　他》　地山に、平らな底面を持った掘り込みがある。焼土は、掘り込みの中に入っている。遺物は出土しなかった。

ＳＮ64焼土遺構（第18図）

《位　　置》　ＭＣ・ＭＤ42・43区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南東－北西）1.61m、短軸（南西－北東）0.85mの不整な楕円形を呈する。

《そ　の　他》　地山に、平らな底面を持った掘り込みがある。焼土は、掘り込みの中に入っている。周囲の地山は凸凹していて、第２層から撹乱を受けている。Ｓ11は、頁岩製のスクレイパー状の石器で、縁辺部に粗い剥離を加えている。

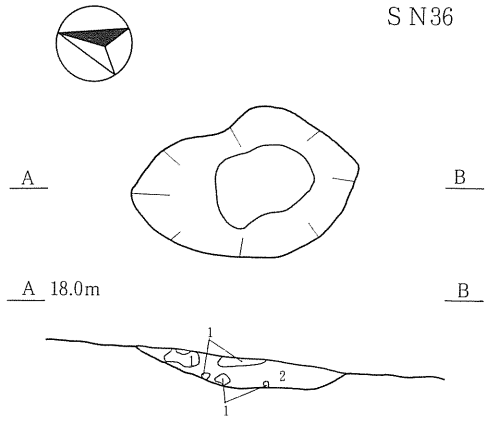
ＳＮ65焼土遺構（第18図）

《位　　置》　ＭＥ42・43区に位置する。

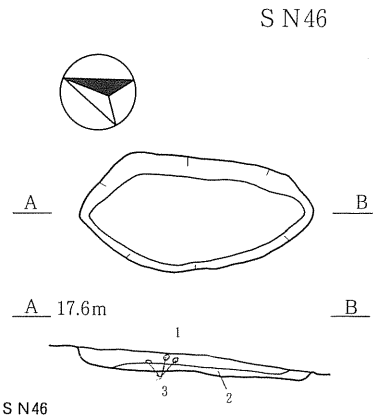
《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）1.65m、短軸（東北東－西南西）0.76mの不整な楕円形を呈する。

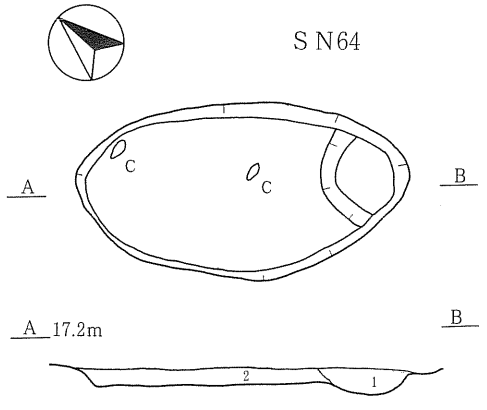
《そ　の　他》　ＳＤ94の上に載っている。地山面への掘り込みはなく、楕円形状に地山が熱を受けて赤褐色化している。遺物は出土しなかった。



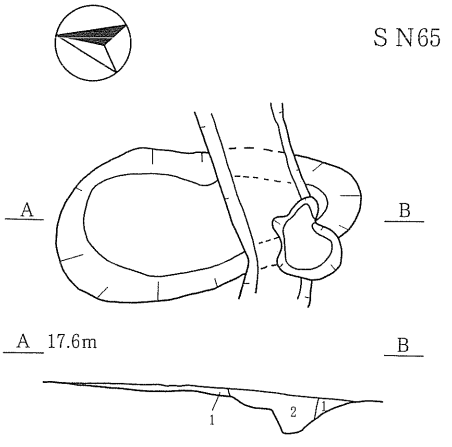
S N36
1．赤褐色（5Y R4/8）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。焼土。
2．暗褐色（10Y R3/3）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。焼土粒（径２～３㎜）２～３％程含む。



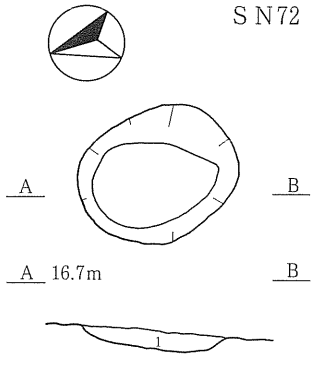
S N46
1．褐色（10Y R4/4）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。炭化物１㎜少し、焼土粒２～３㎜少し混じる。
2．赤褐色（5Y R4/6）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。焼土。
3．明赤褐色（5Y R5/6）土。しまり強い、粘性やや弱い。



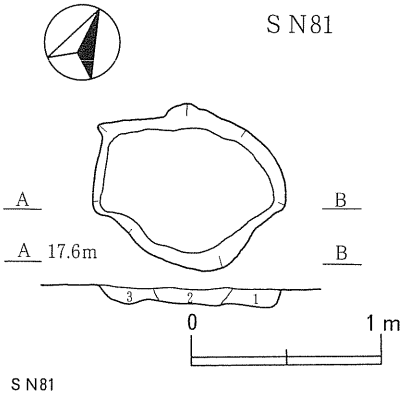
S N64
1．赤褐色（5Y R4/6）土。しまり・粘性やや弱い。焼土粒（径２～３㎜）少量含む。
2．暗褐色（10Y R3/4）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。



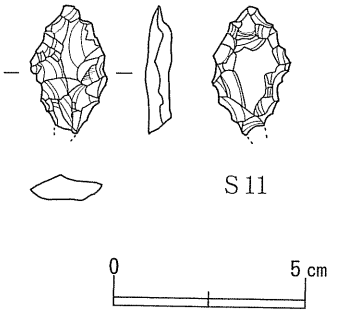
S N65
1．赤褐色（5Y R4/6）土。しまり・粘性やや弱い。焼土粒（径２～３㎜）少量含む。
2．暗褐色（10Y R3/3）土。しまり・粘性やや弱い。



S N72
1．にぶい赤褐色（5Y R4/4）土。固くしまる。粘性弱い。



S N81
1．褐色（10Y R4/6）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（径１㎜）少し混じる。
2．暗褐色（10Y R3/4）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。炭化物（径２～３㎜）少し混じる。焼土粒（径１～５㎜）少し混じる。
3．暗褐色（10Y R3/3）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（径１㎜）少し混じる。焼土粒（径１㎜）少し混じる。



第18図　S N36・46・64・65・72・81焼土遺構、出土遺物

ＳＮ72焼土遺構（第18図）

《位　　置》　ＭＨ・ＭＩ38区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南－北）0.83m、短軸（東－西）0.70mの不整な楕円形を呈する。

《そ　の　他》　地山面への掘り込みはなく、楕円形状に地山が熱を受けて赤褐色化している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ81焼土遺構（第18図）

《位　　置》　ＮＦ43区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南西－北東）0.81m、短軸（南東－北西）0.60mの不整な長方形を呈する。

《そ　の　他》　焼土と炭化物が混じって地山面に食い込んでいる。遺物は出土しなかった。

ＳＮ86焼土遺構（第19図、図版５）

《位　　置》　ＭＧ38区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南南東－北北西）1.48m、短軸（東北東－西南西）0.87mの不整な楕円形を呈する。

《そ　の　他》　地山をほぼ平らに浅く掘り込んで焼土が入っている。中央付近には土器の大きさよりも１㎝大きめの掘り込みがあり、26の深鉢形土器を埋設していた。焼土の周囲から柱穴状の痕跡は検出できなかった。26の土器は平底で、立ち上がりの部分を除いて全面に横位の羽状縄文が配されている。胎土に細かい砂粒を含む。

④　土器埋設遺構

ＳＲ68土器埋設遺構（第19・20図、図版５）

《位　　置》　ＭＥ39区に位置する。

《確　　認》　地山面を清掃中、北側の礫と埋設土器を確認した。その後、遺構を精査していく途中で遺構中央西側の埋設土器を確認した。

《規模と平面形》　長軸（北西－南東）2.36m、短軸（北東－南西）1.05mの不整な楕円形を呈する。

《そ　の　他》　遺構南側は木の根による撹乱を受けている。遺構は、北側に埋設した27の土器を中心に焼土遺構として使用し、西側に28の土器を掘り込んで斜位に埋設した後で、29の土器を埋設した。29の土器の下には、水平面を作りだしたように土器片が敷かれていた。周辺から他の遺構の検出はなかった。

27は、口縁部が外側に開く深鉢形土器である。胴部と無文帯をなす口縁部との境界部には段を、胴下半部には一条の波状沈線を横位に配し、胴部文様帯を区画している。胴部文様帯には、沈線による円と不整形な長円を描き、その外側の斜行縄文は磨り消している。円形の区画内には、さらに列点を円形に配する。円と

不整形な長円は２単位あり、不整形な長円の口縁部には山形突起が配されている。胎土に細かい砂粒を含む。28は、口縁部を欠いた深鉢形土器である。斜行縄文を配した後に底部からの立ち上がり部分を磨り消している。口縁部との間には、ゆるやかに曲がった横位の沈線が配され、その上部も磨消帯になっているようである。胎土に細かい砂粒を含む焼成良好な土器である。29は、底部からすぐ内側に「く」の字にくびれてから立ち上がる小型の深鉢形土器である。細かい斜行縄文を施文した後で、くびれの部分をヘラ状工具で整形している。胎土には細かい砂粒を含む焼成良好な土器である。

（２）古代

①土坑

ＳＫ59土坑（第21図、図版５）

《位　　置》　ＭＦ45区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径2.12ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　４層に分層できた。土坑の底には、細かい炭化物や焼土が混入した黒色土が入っている。

《壁 と 底 面》　壁は内湾気味に立ち上がり、壁面は固く締まっている。底面は平らで固く締まっている。４隅に浅いピットを検出した。

《出 土 遺 物》　２層より摩滅した縄文土器片や石器剥片が出土したが、埋没した段階で入り込んだものと思われる。

ＳＫ87土坑（第21図、図版５）

《位　　置》　ＬＴ・ＭＡ40区に位置する。

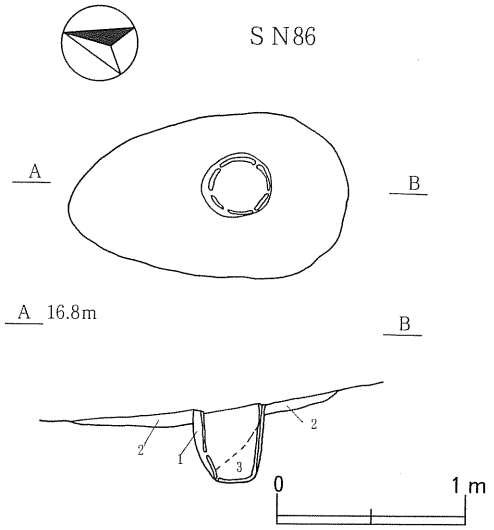
《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

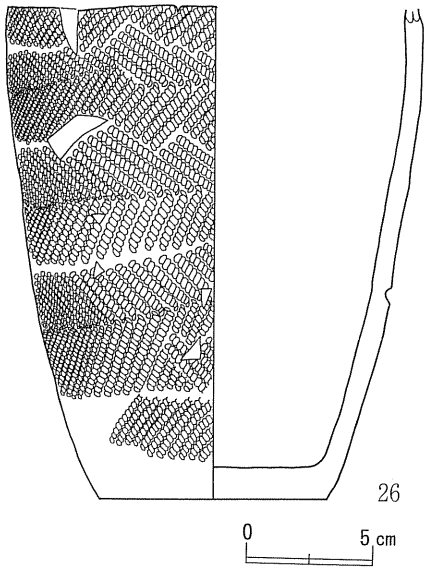
《規模と平面形》　直径2.00ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　７層に分層できた。底面付近に細かい炭化物や焼土混じりの黒色土が入っている。

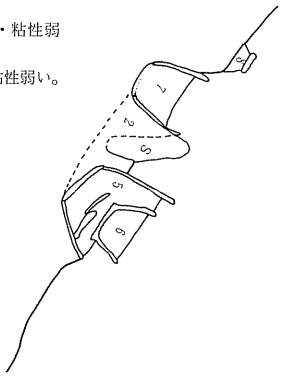
《壁 と 底 面》　壁は内湾気味に立ち上がる。底面は舟底状で、よく締まっている。

《出 土 遺 物》　Ｓ12は、２層から出土した頁岩製のスクレイパーである。表裏両側から調整剥離を加えて刃部としている。他に上から落ち込んだ状態で石器剥片４片が出土した。

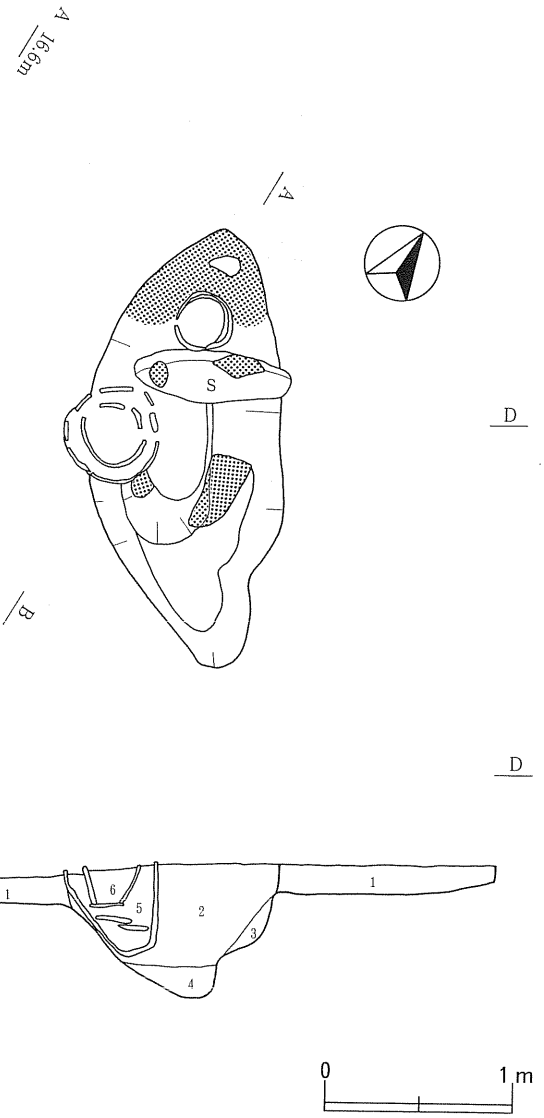




S N86
1．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性弱い。掘り方には10Y R3/4の土が入っている。断面の南側には土器は見えず。
2．暗赤褐色（5Y R3/4）土。しまり・粘性弱い。焼土。
3．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性弱い。炭化物・焼土が混じる。

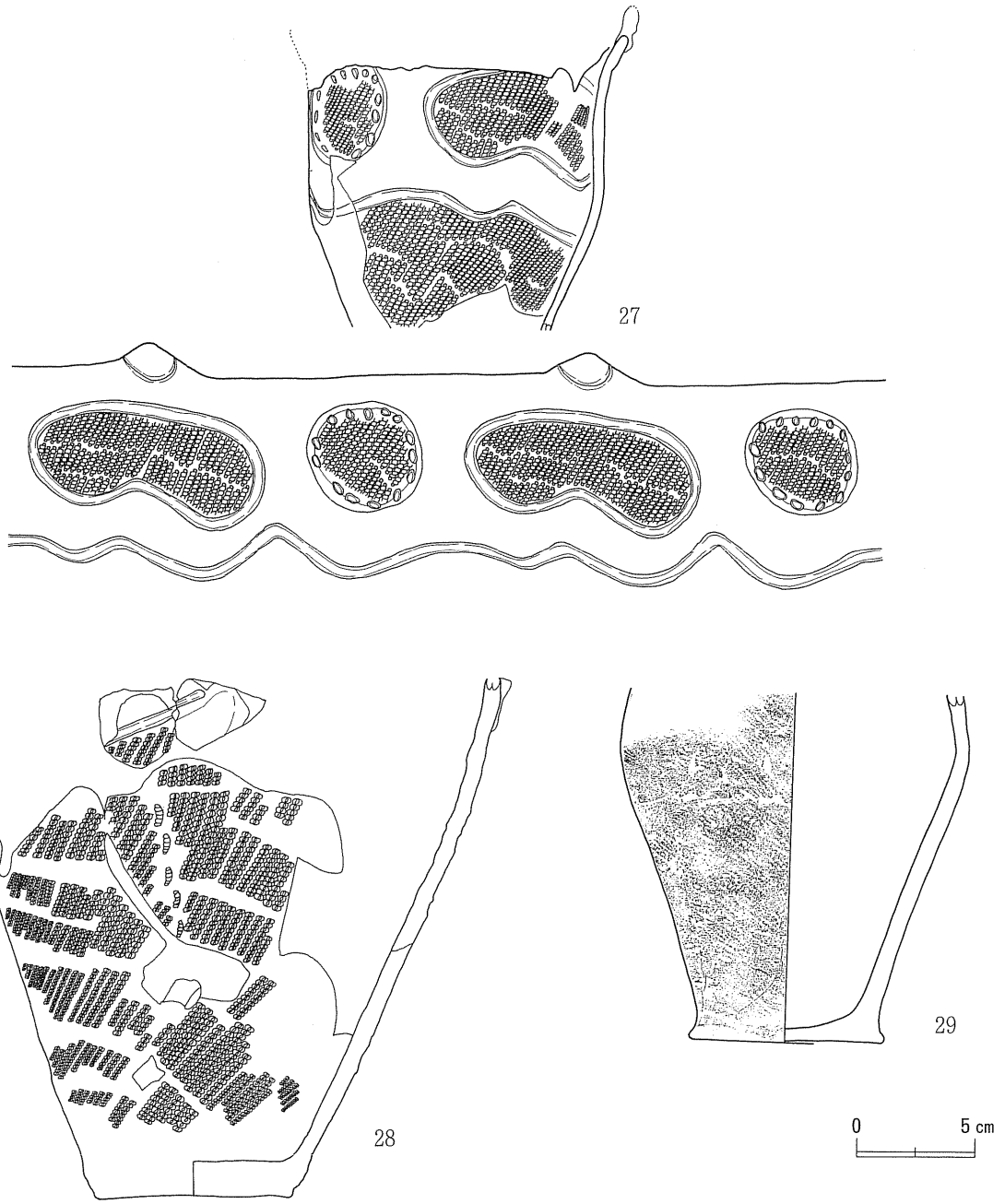


S R68



S R68
1．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。パサパサしている。
2．暗褐色（10Y R3/3）土。しまり・粘性やや弱い。１％程度の炭化物と焼土を含む。（径５㎜）。
3．褐色（10Y R4/4）土。しまり・粘性やや弱い。
4．黒褐色（10Y R3/2）土。しまり・粘性弱い。20％程度の細かい炭化物を含み焼土塊もある。
5．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。
6．黒褐色（10Y R2/3）土。しまり・粘性やや弱い。
7．黒褐色（10Y R2/2）土。しまり・粘性やや強い。炭化物混じる。
8．褐色（10Y R4/6）土。しまり・粘性弱い。焼土が大量に入る。

第19図　ＳＮ86焼土遺構、ＳＲ68土器埋設遺構、出土遺物



第20図　ＳＲ68土器埋設遺構、出土遺物

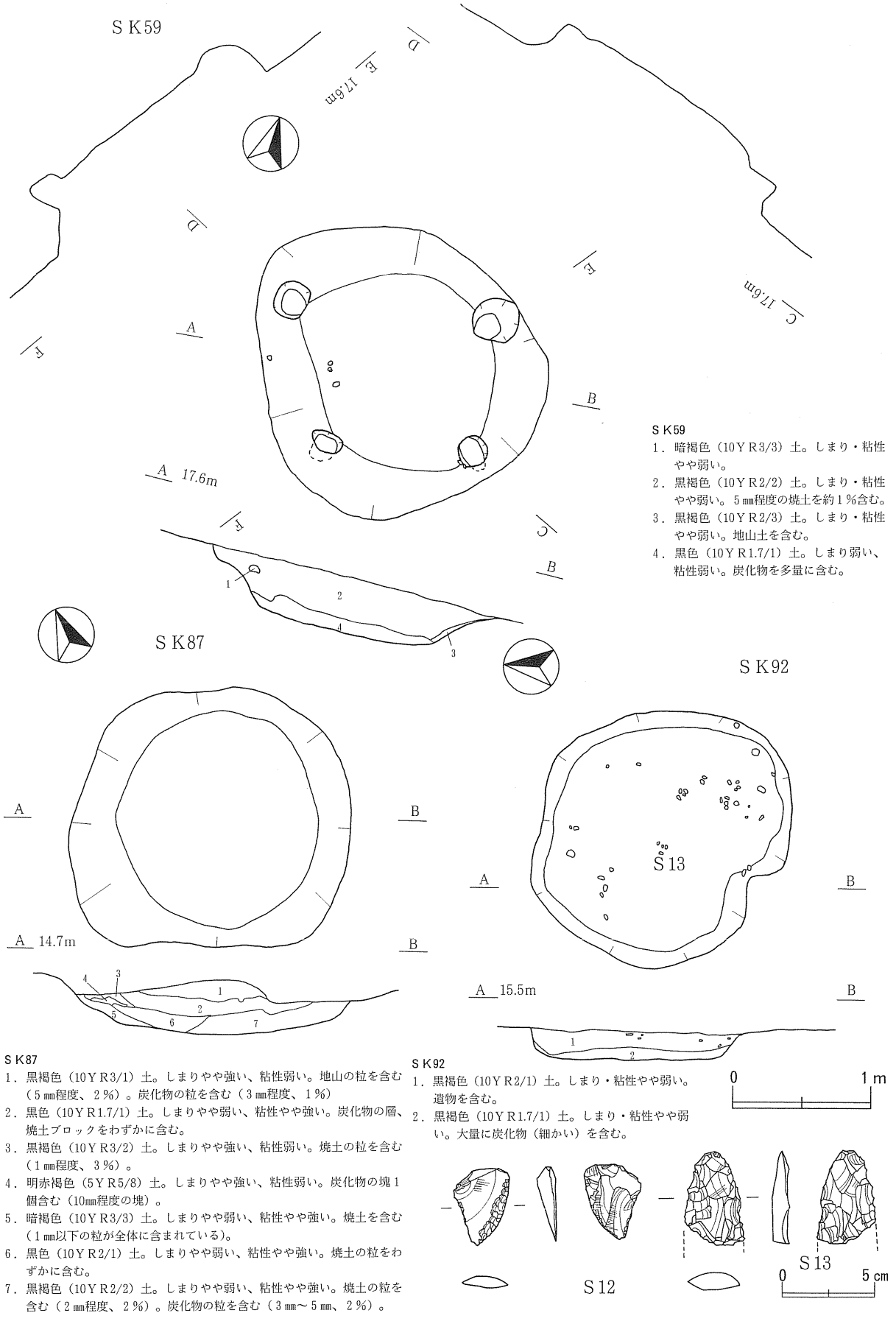
ＳＫ92土坑（第21図、図版５）

《位　　置》　ＬＮ・ＬＯ42区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径1.84ｍの略円形を呈する。

《埋　　土》　２層に分層できた。底面直上の埋土には大量の炭化物を含んでいる。



ＳＫ59
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。
2．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり・粘性やや弱い。５㎜程度の焼土を約１％含む。
3．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。地山土を含む。
4．黒色（10ＹＲ1.7/1）土。しまり弱い、粘性弱い。炭化物を多量に含む。

ＳＫ87
1．黒褐色（10ＹＲ3/1）土。しまりやや強い、粘性弱い。地山の粒を含む（５㎜程度、２％）。炭化物の粒を含む（３㎜程度、１％）
2．黒色（10ＹＲ1.7/1）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。炭化物の層、焼土ブロックをわずかに含む。
3．黒褐色（10ＹＲ3/2）土。しまりやや強い、粘性弱い。焼土の粒を含む（１㎜程度、３％）。
4．明赤褐色（5ＹＲ5/8）土。しまりやや強い、粘性弱い。炭化物の塊１個含む（10㎜程度の塊）。
5．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。焼土を含む（１㎜以下の粒が全体に含まれている）。
6．黒色（10ＹＲ2/1）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。焼土の粒をわずかに含む。
7．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。焼土の粒を含む（２㎜程度、２％）。炭化物の粒を含む（３㎜～５㎜、２％）。

ＳＫ92
1．黒褐色（10ＹＲ2/1）土。しまり・粘性やや弱い。遺物を含む。
2．黒褐色（10ＹＲ1.7/1）土。しまり・粘性やや弱い。大量に炭化物（細かい）を含む。

第21図　ＳＫ59・87・92土坑、出土遺物

《壁と底面》　壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平らで、よく締まっている。

《出土遺物》　１層から、ロクロ整形の土師器坏小破片が１点出土した。他に縄文土器の破片と同時に石器剥片が15片ほど出土した。Ｓ13は破損した頁岩製の石槍である。表裏両側から調整剥離を加えている。

（３）中世

①竪穴住居跡

ＳＩ99竪穴住居跡（第22・23図、図版６）

《位置》　ＬＮ・ＬＯ49・50区に位置する。

《確認・重複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　中軸線が北西－南東方向の推定隅丸方形プランを呈する。南東部の半分は、ほ場整備の際に削平されている。現存する北西部は、北西・南東方向で約1.3m、北東・南西方向で約1.7mである。壁に沿って床面から0.1～0.3m程の深さをもつ柱穴を６基検出した。

《埋土》　７層に分層できる。

《壁と床面》　壁は、外傾しながら立ち上がる。確認面からの深さは0.16mである。東側と西側の壁は固く締まっている。床面は全体的に平らで固く締まっている。

《出土遺物》　住居跡全面にわたって建築部材が焼土とともに炭化した状態で出土した焼失家屋である。中央部での炭化した部材の出土は床面直上である。他に、南西隅からは、炭化した部材からさらに浮いた状態で32・33の管状土錘が２点出土した。炭化材及び焼土部分から当時の生活に関連した遺物は出土しなかった。

炭化材層上面から30・31の縄文土器片が出土した。31は、平行沈線を主体とした文様の土器で、胎土・焼成ともに良好である。施文具として、半截竹管様の工具を使用している。他に石器剥片も１片出土した。

②焼土遺構

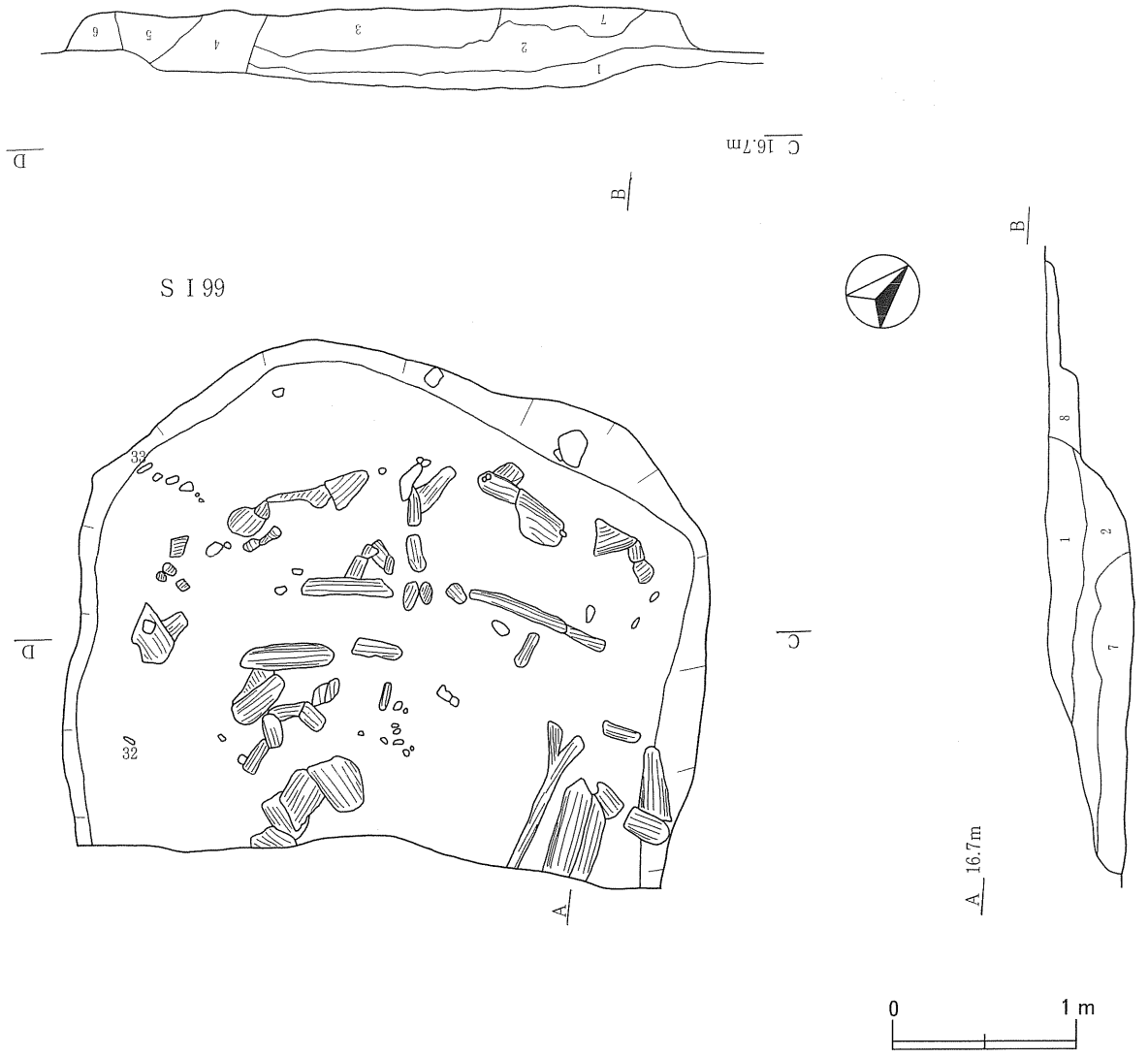
ＳＮ97焼土遺構（第24図、図版７）

《位置》　ＬＭ50区に位置する。

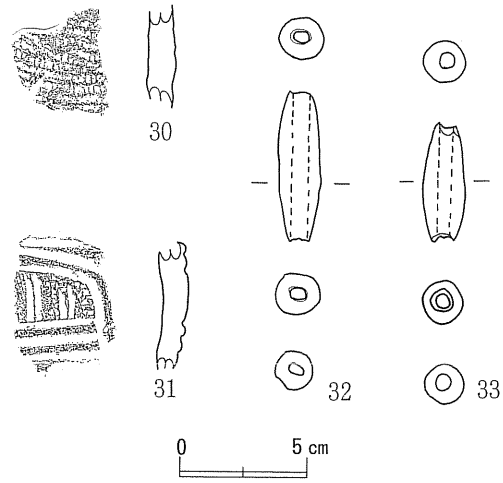
《確認》　段丘落ち際の断面に焼土遺構として確認した。

《規模と平面形》　現存部分は、長軸（南南東－北北西）1.15m、短軸（東北東－西南西）0.76mの不整な楕円形の半円部分を呈する。

《その他》　上の方はガラス瓶の入ったゴミを捨てるために掘った穴によって壊されている。南側部分は水田の整備時に削平され、北側の一部が残っているのみである。焼土部分は、地山面を掘り抜き、粘土を貼ったように見受けられ、天井部が落ちている。燃焼部への送風のために斜面を利用した施設と思われる。遺物は出土しなかった。

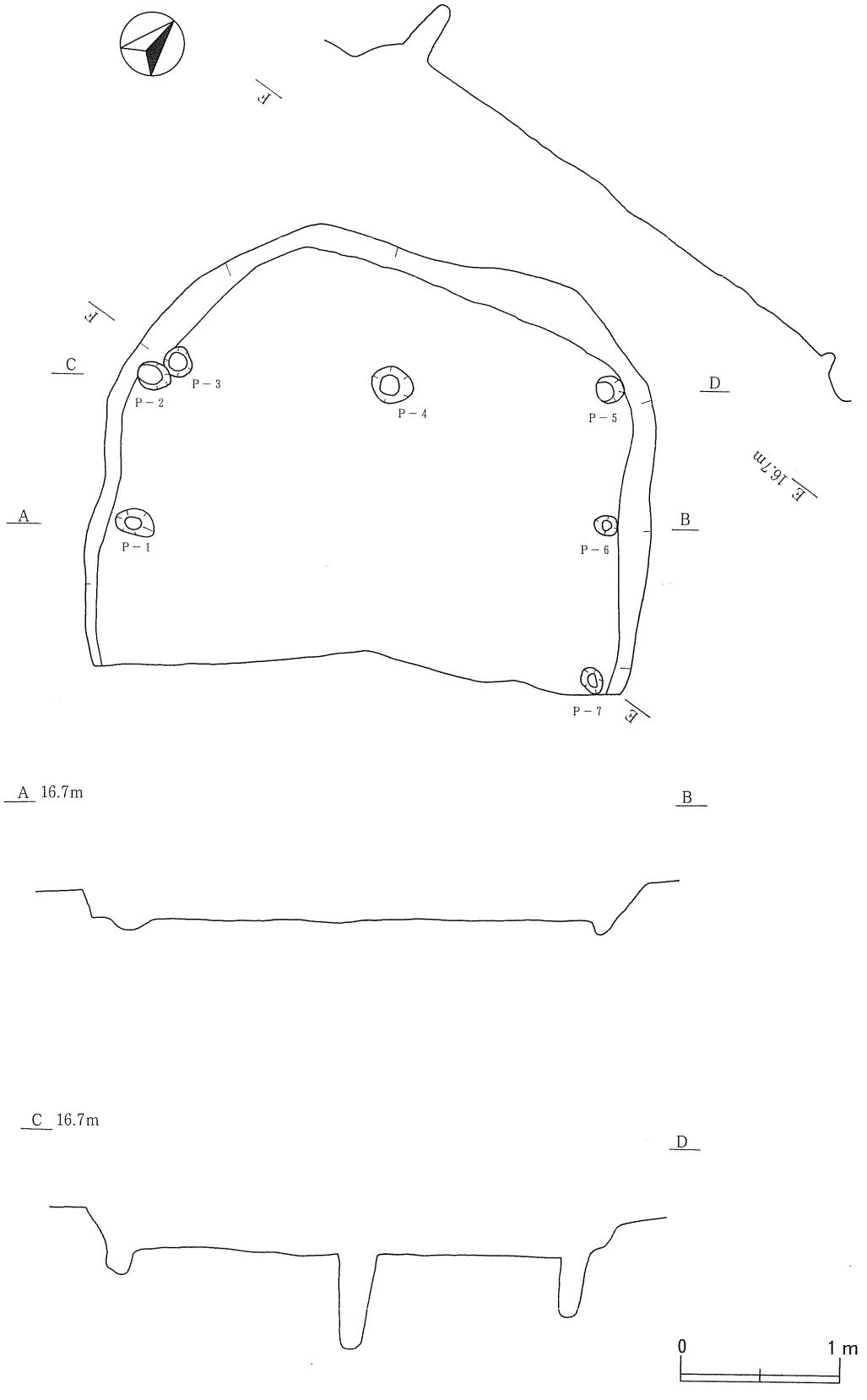


S I 99
1．暗褐色（10Y R3/3）土。しまり・粘性やや弱い。
2．にぶい黄褐色（10Y R4/3）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（２～３㎜）、黄土（径１㎝10Y R5/6）、焼土粒（径２～３㎝）２～３％を含む。
3．にぶい赤褐色（5Y R4/4）土。しまり・粘性やや弱い。底部に炭化物を多く含む。
4．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性弱い。炭化物（径２～３㎜）、黄土（径５㎜10Y R5/6）２～３％。
5．赤褐色（５Y R4/6）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。炭化物（径５㎜）１％。
6．にぶい黄褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。混入物なし。
7．褐色（10Y R4/6）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。底部に炭化物を多く含む。
8．褐色（10Y R4/6）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。混入物なし。地山を切断。



第22図　S I 99竪穴住居跡（１）、出土遺物

ＳＩ99



第23図　ＳＩ99竪穴住居跡（２）

ＳＮ104焼土遺構（第24図、図版７）

《位　　置》　ＭＧ35・36区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　焼土の分布している範囲は、長軸（南南東－北北西）1.24ｍ、短軸（東北東－西南西）0.62ｍの不整な楕円形を呈するが、特に北側と南側の２個の円形部分に集中している。

《そ　の　他》　天井部分は落ちているが、南側の円形部分から北側の円形部分に向かって掘り込んでいる。掘り込んだ後に薄く粘土を貼って施設を構築している。地山に接している部分は高温の熱を受けており、真っ赤に焼けていた。遺物は出土しなかった。

ＳＮ129焼土遺構（第24図、図版７）

《位　　置》　ＭＨ36区に位置する。

《確　　認》　地山面で焼土の広がりを確認した。

《規模と平面形》　長軸（南東－北西）1.65ｍ、短軸（南西－北東）0.60ｍ、楕円形の部分に取っ手が付いた、ボウリングのピンのような形を呈する。

《そ　の　他》　斜面に沿って焼土が広がっている。細い部分は煙道、楕円形の部分は燃焼部と思われる。上面は削平を受けているが、地山面の焼け方はそれほどでもなく、短期間の使用が推定される。

③掘立柱建物跡

ＳＢ91掘立柱建物跡（第25図、図版８）

《位　　置》　ＬＱ～ＬＳ42・43区に位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　北側（北東－南西）4.70ｍ、東側（南東－北西）5.60ｍの２間×２間の建物で、西側に張り出しのついた平面形を呈する。

《そ　の　他》　遺物は出土しなかった。

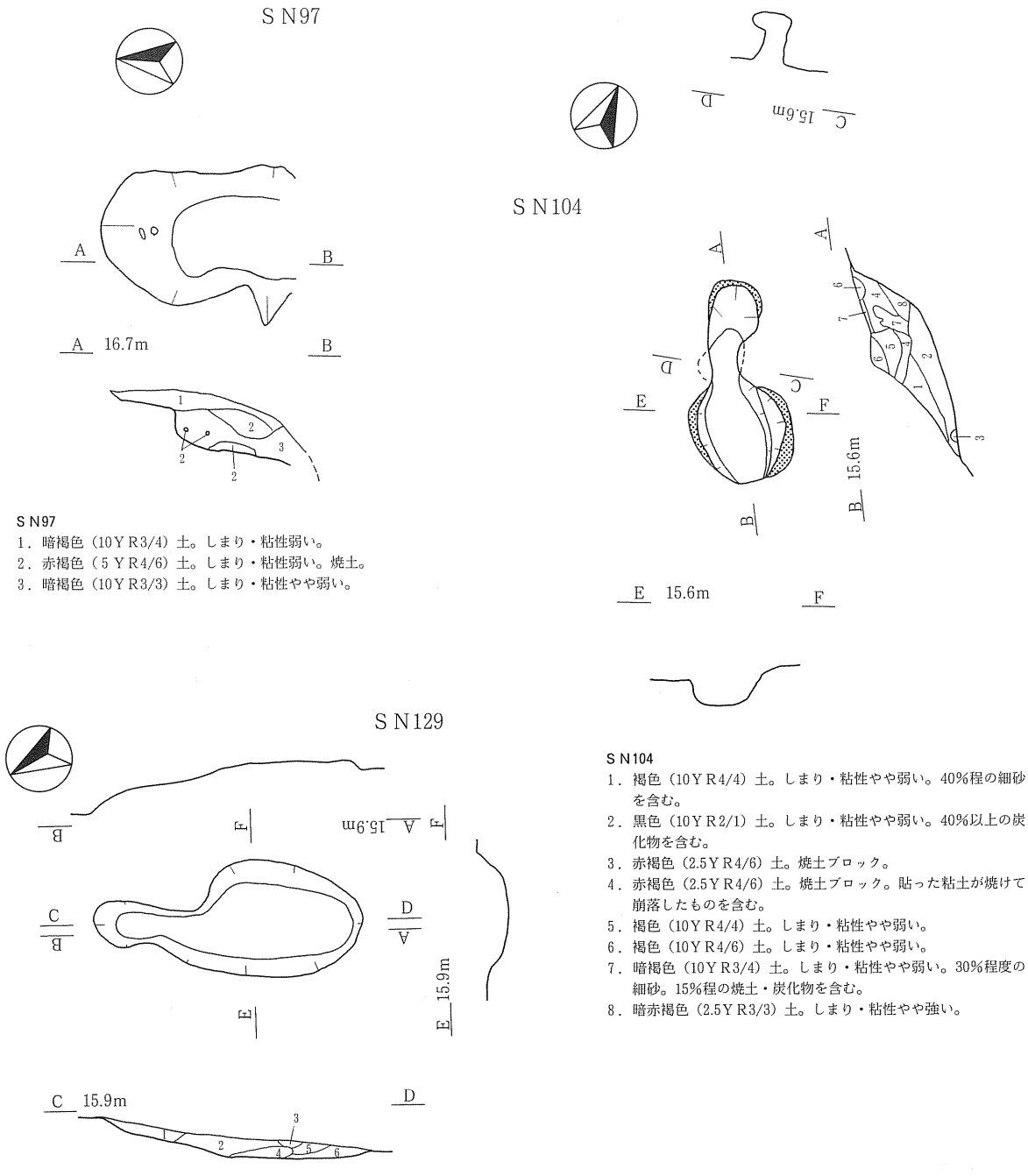
ＳＢ122掘立柱建物跡（第26図、図版８）

《位　　置》　ＮＣ～ＮＥ48・49区に位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　北側（東－西）4.67ｍ、東側（北－南）4.40ｍの２間×２間の建物で、西側に張り出しのついた平面形を呈する。

《そ　の　他》　遺物は出土しなかった。



S N97
1．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性弱い。
2．赤褐色（５Y R4/6）土。しまり・粘性弱い。焼土。
3．暗褐色（10Y R3/3）土。しまり・粘性やや弱い。

S N104
1．褐色（10Y R4/4）土。しまり・粘性やや弱い。40%程の細砂を含む。
2．黒色（10Y R2/1）土。しまり・粘性やや弱い。40%以上の炭化物を含む。
3．赤褐色（2.5Y R4/6）土。焼土ブロック。
4．赤褐色（2.5Y R4/6）土。焼土ブロック。貼った粘土が焼けて崩落したものを含む。
5．褐色（10Y R4/4）土。しまり・粘性やや弱い。
6．褐色（10Y R4/6）土。しまり・粘性やや弱い。
7．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。30%程度の細砂。15%程の焼土・炭化物を含む。
8．暗赤褐色（2.5Y R3/3）土。しまり・粘性やや強い。

S N129
1．褐色（10Y R4/6）土。しまり・粘性やや弱い。
2．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。20%程の細砂を含む。５㎜程度の炭化物を１%程を含んでいる。
3．赤褐色（2.5Y R4/6）土。しまり・粘性弱い。焼土。
4．褐色（10Y R4/4）土。しまり・粘性やや弱い。５㎜大の炭化物・焼土を１%程含む。
5．黒褐色（10Y R3/2）土。しまり・粘性やや弱い。細砂を15%程含む。
6．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。20%程の細砂を含む。５㎜程の炭化物を１%程含んでいる。

0　1 m

第24図　S N97・104・129焼土遺構

④柱穴列

ＳＡ89柱穴列（第27図、図版８）

《位　　置》　ＬＯ～ＬＱ42～44区に位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　南東から北西に５基の柱穴が一直線に並ぶ。南東端から北東端までの距離は9.90ｍである。

《そ　の　他》　Ｐ-１の埋土から、胎土に繊維を含んだ縄文の土器片が検出された。

ＳＡ95柱穴列（第27図、図版８）

《位　　置》　ＬＮ～ＬＰ43～45区に位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　南東から北西に５基の柱穴が一直線に並ぶ。南東端から北東端までの距離9.90ｍである。ＳＡ89柱穴列の南西側、6.00ｍの所にほぼ平行して位置している。

《そ　の　他》　落ち込んできた状態で、埋土内に縄文土器片が出土した。平縁無文土器の小破片で、胎土焼成ともに良好である。

⑤溝跡

ＳＤ12溝跡（第３図）

《位　　置》　ＭＣ40～53区に位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅0.30ｍ、底部断面は舟底状を呈していて地山面からの深さは0.05ｍ程である。ＳＫ52・ＳＫ60土坑を切っており、長さ52.1ｍで、一部6.3ｍ途切れる箇所を伴い、南北方向に走る。

《そ　の　他》　遺物は出土しなかった。

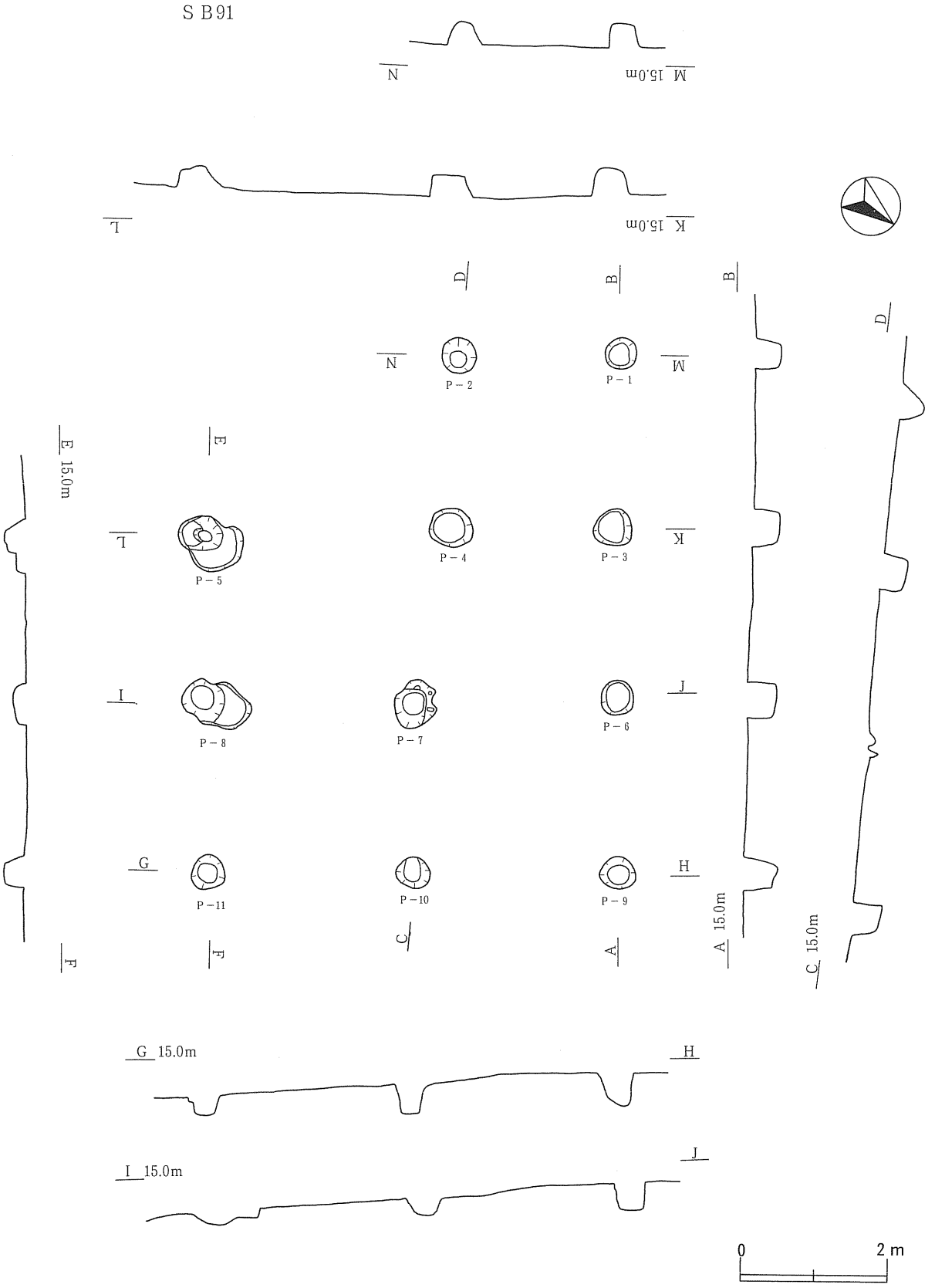
ＳＤ21溝跡（第28・29図、図版８）

《位　　置》　ＬＲ53区からＬＯ47区にかけて位置する。

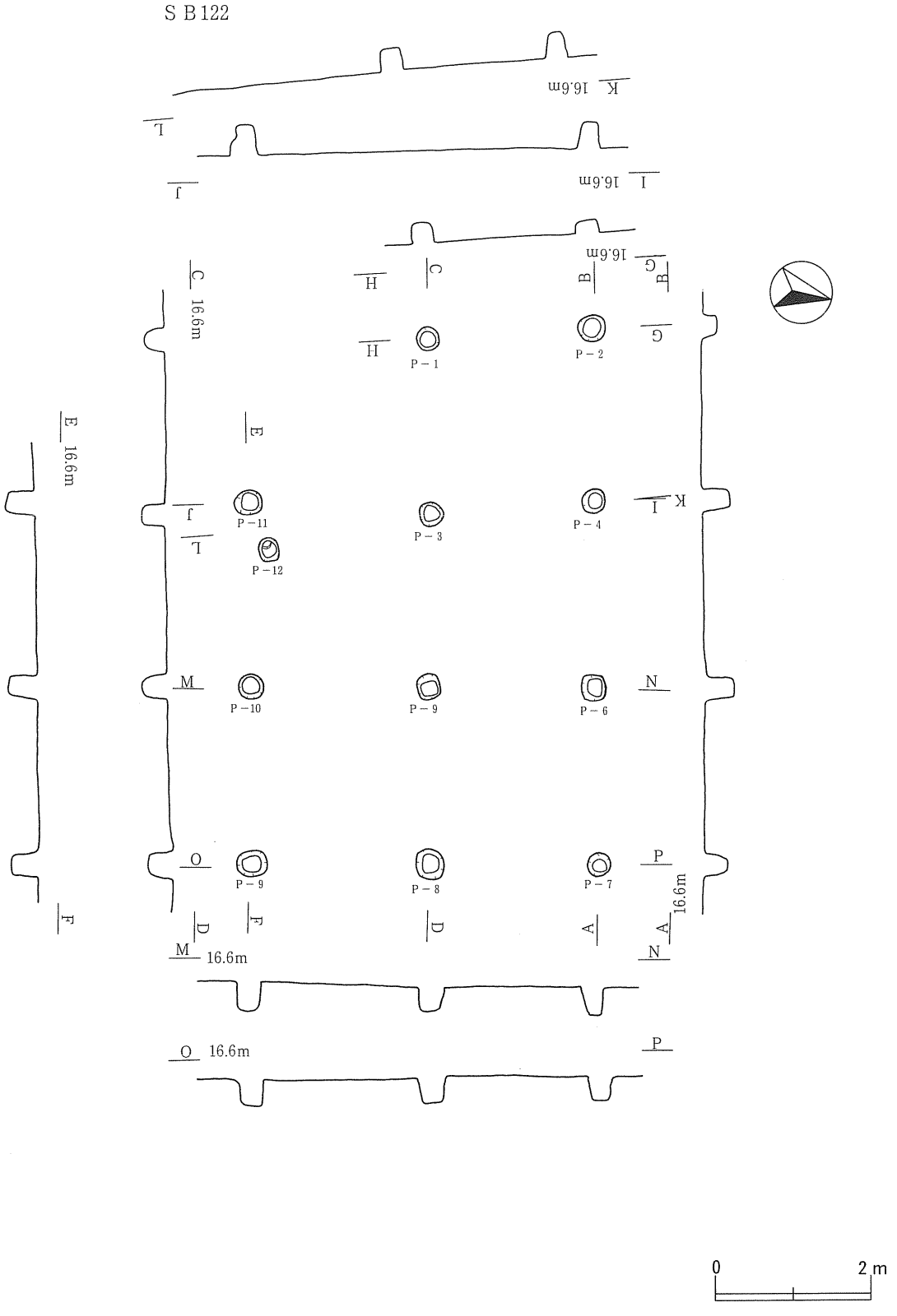
《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅は0.30～0.40ｍ、深さ0.05ｍ程である。底部はほぼ平坦である。長さ24.3ｍで、北北西から南南東にかけて走っている。

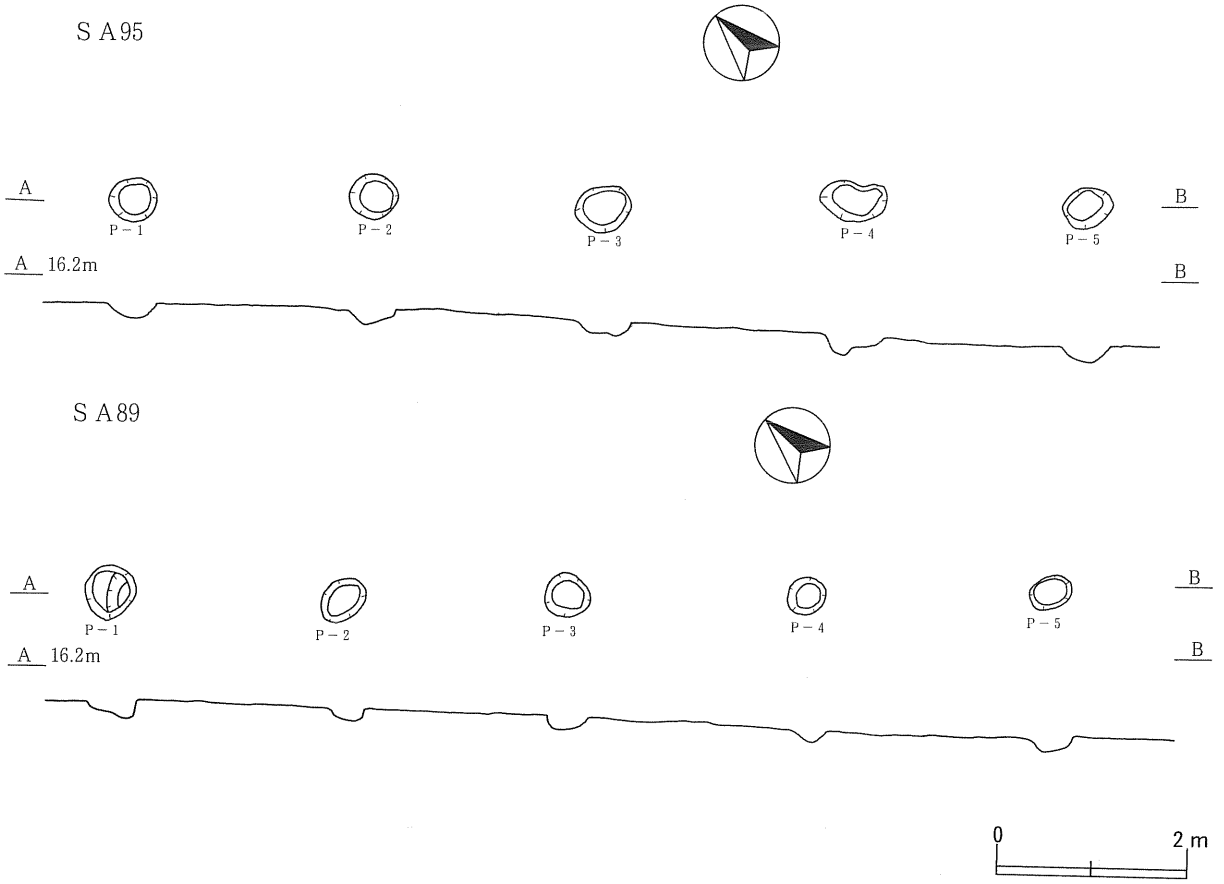
《そ　の　他》　ＬＰ49区付近の溝底面から34～36の土錘が出土した。他に埋土から縄文土器片２片と石器が出土した。Ｓ14は、粘板岩製の定角式磨製石斧である。刃部は欠損している。Ｓ15は、頁岩製のスクレイパーである。表側に調整剥離が集中している。



第25図　ＳＢ91掘立柱建物跡



第26図　ＳＢ122掘立柱建物跡



第27図　ＳＡ89・95柱穴列

ＳＤ47溝跡（第３図）

《位　　置》　ＬＱ48区からＭＢ44区にかけて位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅は0.35～0.55m、深さは0.03m程である。北東から南西に向かって走り、長さ28.8mで、溝の断面底形は舟底状を呈する。

《そ　の　他》　遺物は出土しなかった。

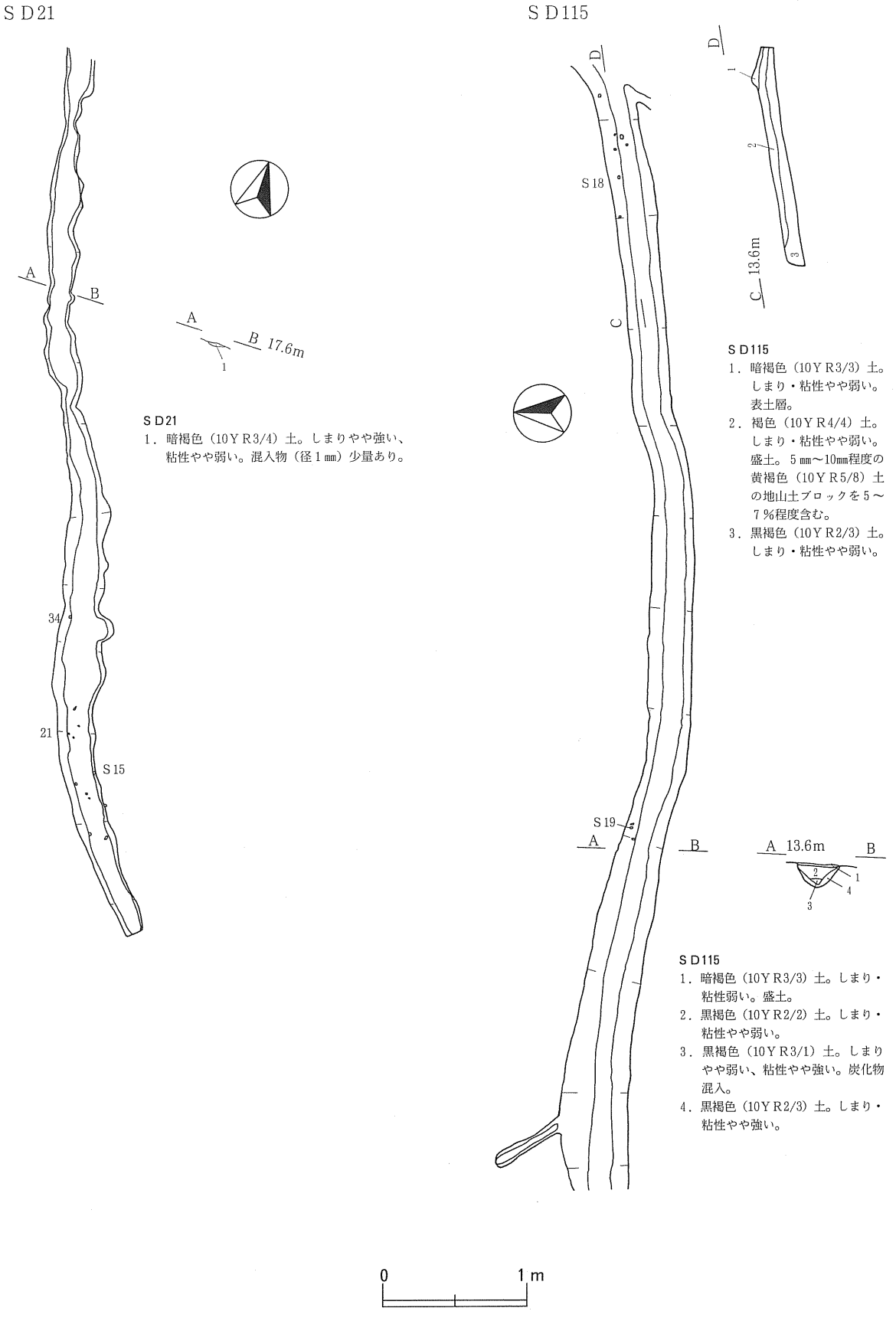
ＳＤ80溝跡（第３図）

《位　　置》　ＭＩ44区からＭＧ42区にかけて位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅は約0.13～0.30m、深さ0.05m程である。北北東から南南東に向かって走り、北側の溝断面は逆台形であるが、南側の溝断面は舟底状となる。

《そ　の　他》　上から落ち込んだ状態で縄文土器片と石器が出土している。Ｓ16は、頁岩製のスクレイパーである。表側に細かい調整剥離を加えて弧状の刃部を形成している。



ＳＤ21
1．暗褐色（10ＹＲ3/4）土。しまりやや強い、粘性やや弱い。混入物（径１㎜）少量あり。

ＳＤ115
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性やや弱い。表土層。
2．褐色（10ＹＲ4/4）土。しまり・粘性やや弱い。盛土。５㎜～10㎜程度の黄褐色（10ＹＲ5/8）土の地山土ブロックを５～７％程度含む。
3．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや弱い。

ＳＤ115
1．暗褐色（10ＹＲ3/3）土。しまり・粘性弱い。盛土。
2．黒褐色（10ＹＲ2/2）土。しまり・粘性やや弱い。
3．黒褐色（10ＹＲ3/1）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。炭化物混入。
4．黒褐色（10ＹＲ2/3）土。しまり・粘性やや強い。

第28図　ＳＤ21・115溝跡

ＳＤ94溝跡（第３図）

《位　　置》　ＭＤ43区からＭＥ42区にかけて位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅は約0.34ｍ、深さは0.05ｍ程である。長さ7.0ｍでほぼ東西方向に走り、ＳＮ65を切っていた。

《そ　の　他》　上から落ち込んだ状態で縄文土器片が出土した。

ＳＤ103溝跡（第３図）

《位　　置》　ＭＦ45区からＭＥ43区にかけて位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅は0.53㎝、深さは0.05ｍである。断面底形は、ゆるやかな舟底状を呈する。北北西から南南東に向かって走る。ＳＫ59を切っていた。

《そ　の　他》　上から落ち込んだ状態で縄文土器片が出土した。

ＳＤ115溝跡（第28図、図版８）

《位　　置》　ＭＦ～ＭＮ33区に位置する。

《確　　認》　地山面を精査して確認した。

《規模と平面形》　地山面での幅約1.0ｍ、底面で0.30ｍ、地山面からの深さ0.45ｍ、長さは30.0ｍである。底部断面形は舟底状を呈する。壁面は、外傾しながら直線的に立ち上がる。壁面はよく締まっている。

《そ　の　他》　底面から10㎝程のところから珠洲系陶器の擂鉢破片が出土した。また、埋土からＳ17やＳ18のように川原石の両端を打ち欠いただけの石錘、Ｓ19のように表裏両側に粗い打ち欠きを入れて刃部を作り出した頁岩製の石器が出土した。本溝は、明治初期の地籍図にも溝として記載されており、江戸期を通じて使用された水路と考えられる。

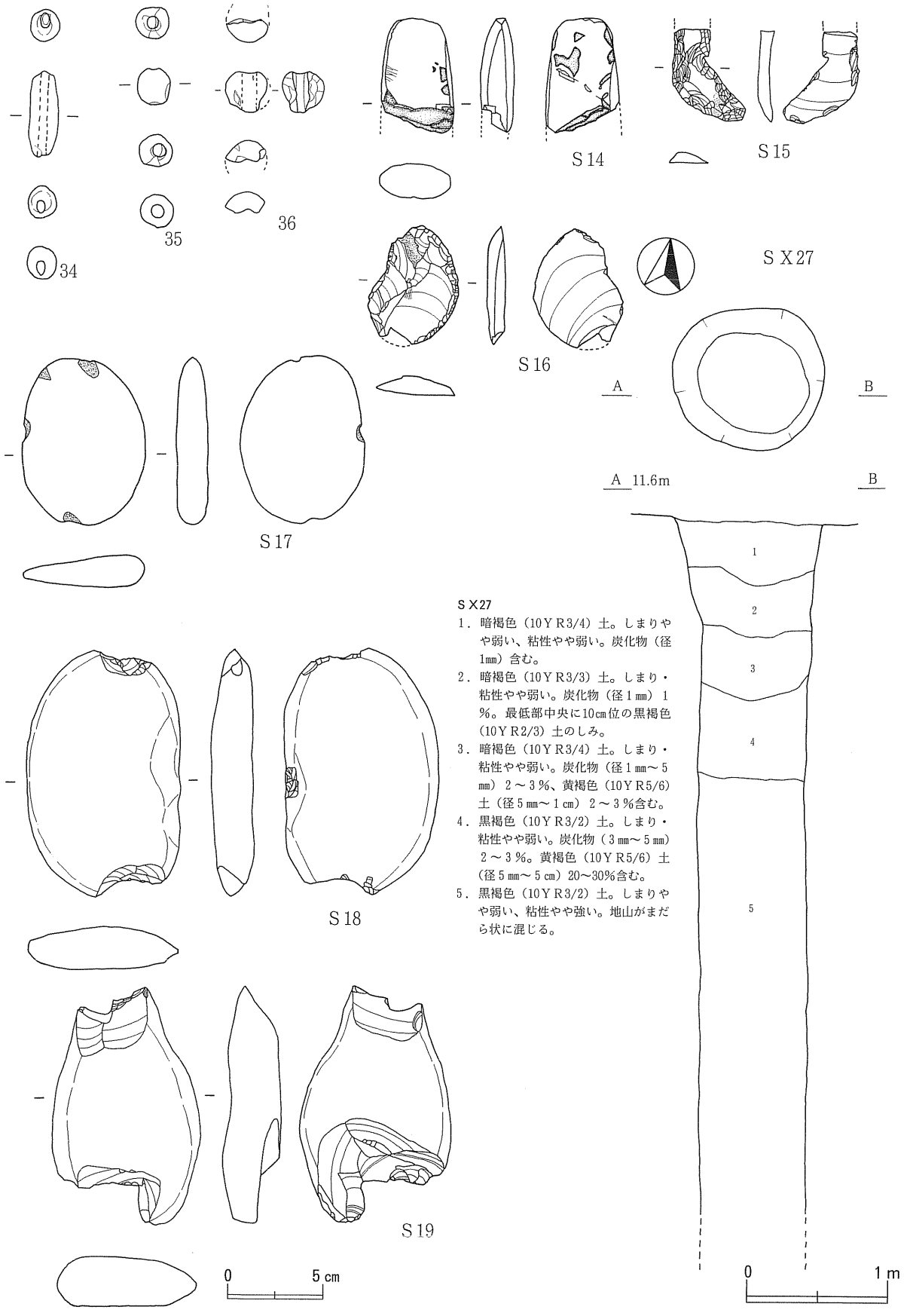
⑥性格不明遺構

ＳＸ27遺構（第29図、図版８）

《位　　置》　ＬＮ52区に位置する。

《確 認・重 複》　地山面で落ち込みを確認した。重複なし。

《規模と平面形》　直径約1.2ｍの円形を呈する。確認面から0.60ｍの所から内側にくびれ、直径0.7ｍ程になり、そのまま垂直に落ちていく。崩落の危険があったので、重機を使用して断ち割ってみたが、確認面から4.9ｍ下がった地点でも底面を確認することができなかった。直径0.70ｍの範囲では、大人が掘った土砂を自由に上げることができず、誰がこの遺構をどのようにして掘りあげたのか、想定できなかった。



S X27

1．暗褐色（10Y R3/4）土。しまりやや弱い、粘性やや弱い。炭化物（径1mm）含む。
2．暗褐色（10Y R3/3）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（径１mm）１%。最低部中央に10cm位の黒褐色（10Y R2/3）土のしみ。
3．暗褐色（10Y R3/4）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（径１mm～５mm）２～３%、黄褐色（10Y R5/6）土（径５mm～１cm）２～３%含む。
4．黒褐色（10Y R3/2）土。しまり・粘性やや弱い。炭化物（３mm～５mm）２～３%。黄褐色（10Y R5/6）土（径５mm～５cm）20～30%含む。
5．黒褐色（10Y R3/2）土。しまりやや弱い、粘性やや強い。地山がまだら状に混じる。

第29図　溝跡出土遺物、ＳＸ27性格不明遺構

《埋　　土》　５層に分層できた。
《壁と底面》　垂直な壁面で、固く締まっている。底面は検出できなかった。
《出土遺物》　なし。

ＳＸ62遺構（第30図、図版６）
《位　　置》　ＭＢ42区に位置する。
《確　　認》　地山面を清掃中に確認した。長軸は、（北東－南西）方向である。
《規模と平面形》　長軸0.68m、短軸0.48mの略楕円形を呈する。全面にわたって土錘が出土した。
《そ　の　他》　37～44の土錘が出土した。他の破片も図に示したような形状になるものと思われる。出土した土錘は殆どが壊れていて接合できるものは少なく、不要になった土錘をまとめて捨てたような状態であった。

３．遺構外出土遺物

（１）土器

①第Ｉ群

縄文時代の土器である。

第１類（第31図52、53）

胎土に植物繊維を含み、太い斜行縄文を器面全体に施文した土器である。52は、胎土に砂粒・植物繊維を含んだ焼成良好な平縁の深鉢形土器である。口縁部はやや外傾しながら立ち上がり、内外の口縁部付近には煤状炭化物が付着する。53も、胎土に砂粒・植物繊維を含んだ焼成良好な土器である。

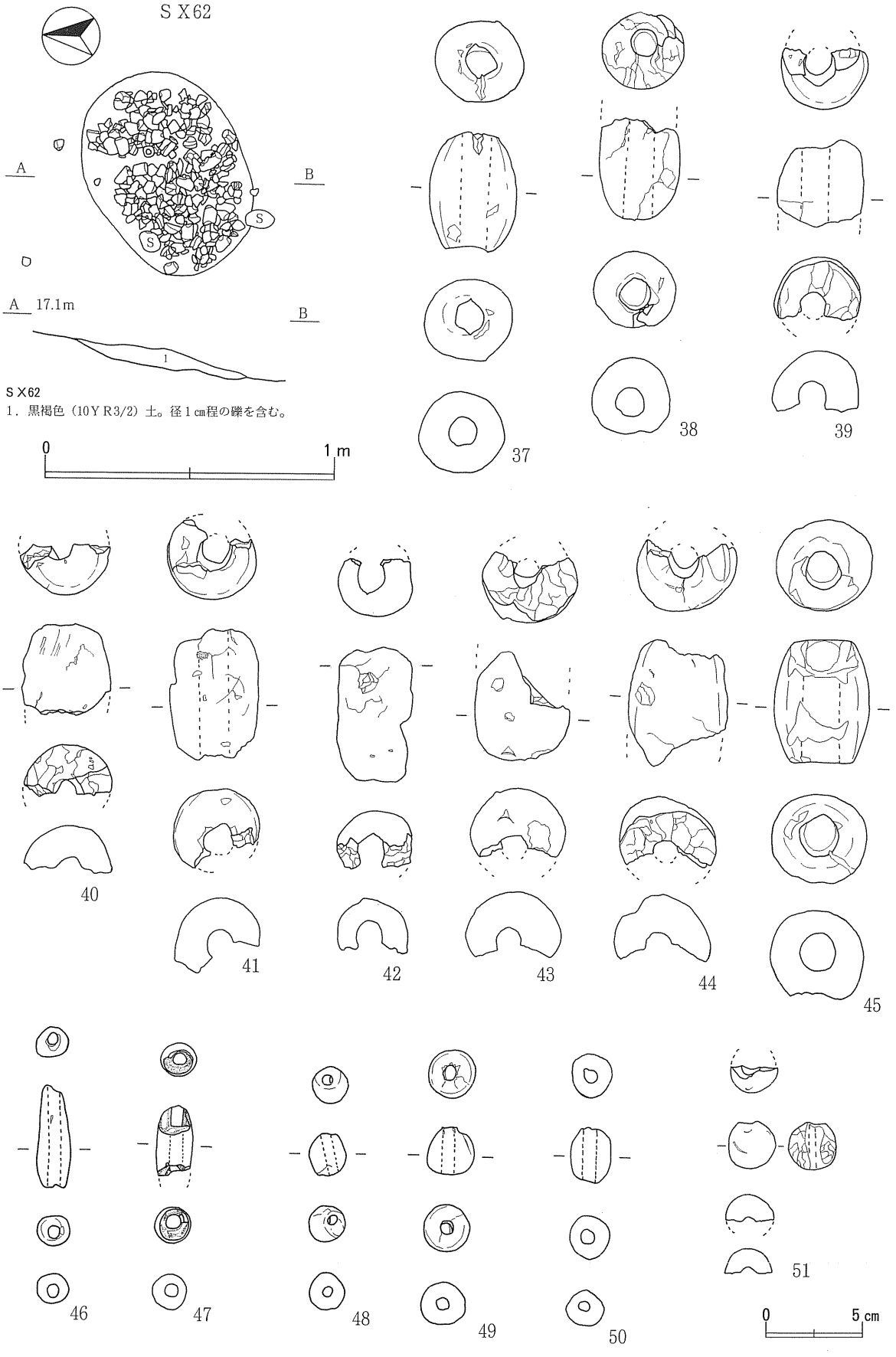
第２類（第31図54～60）

横位の縄の側面圧痕文や絡条体圧痕文を付した口縁部文様帯を縦位に区分する隆帯をもつ深鉢形の土器である。54・56・58は、ゆるやかな波状突起部分の下方に縦位の隆帯をもつ。57は、弁状突起の部分に縦位の隆帯を配している。縦位の隆帯は、口縁部文様帯と胴部を区別する短い縦位の絡条体圧痕文を連続して付した横位の隆帯に連続する。縦位の隆帯には横位の絡条体圧痕文が付されるものが多い。59は、平縁の土器で口唇部に絡条体圧痕文を持つ。60は弧状の隆帯が口縁部文様帯を区画している。55・60は、口唇部に縦位の絡条体圧痕文を短く連続して施している。

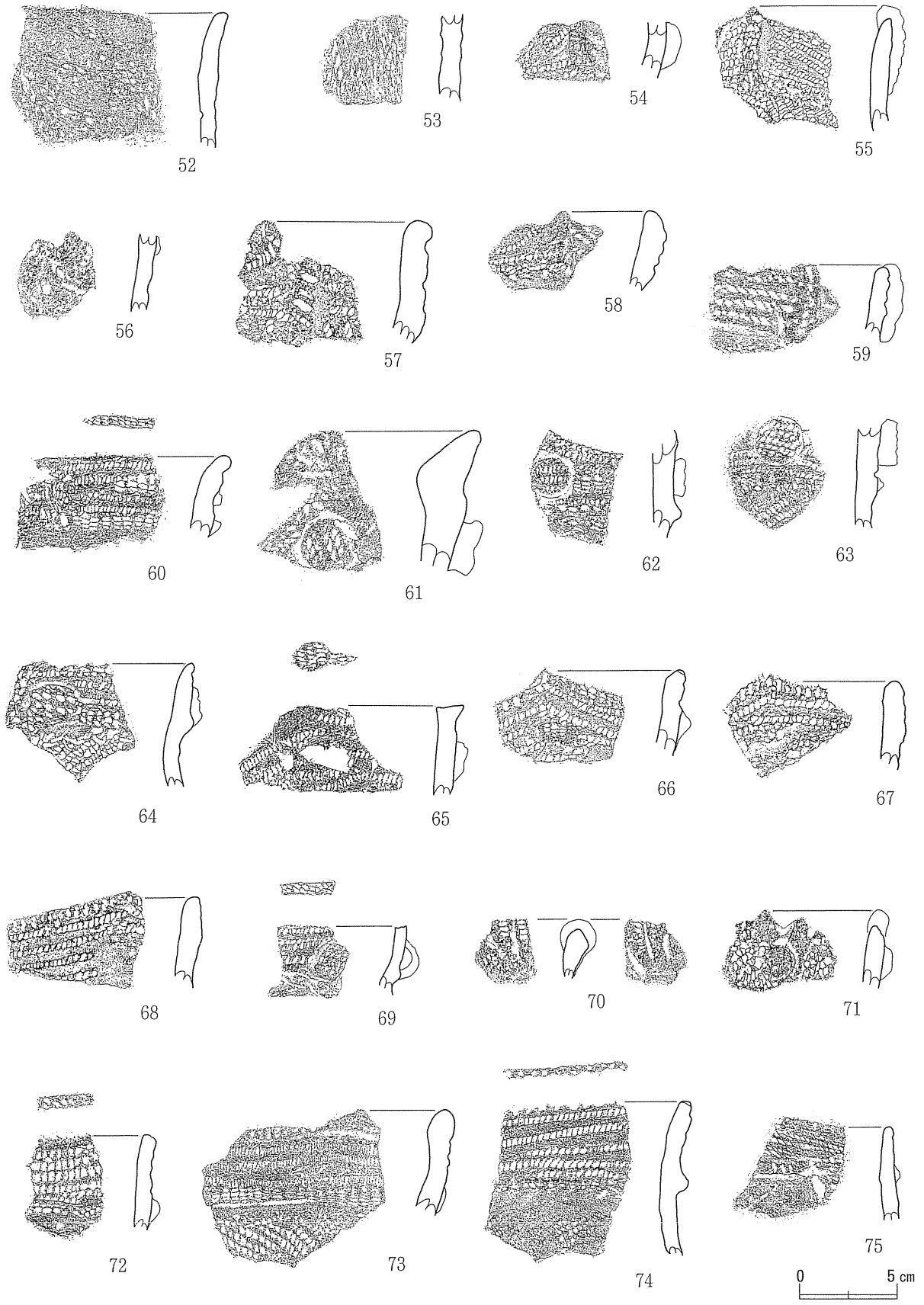
第３類（第31図61～71）

口縁部文様帯の中に円形や方形の粘土塊を貼り付けたり、幅のある粘土紐をブリッジ状に貼り付けた土器である。口縁部文様帯と胴部との境には、62や65のように縦位の絡条体圧痕文を短く連続して付した隆帯が横位に配されたものと思われる。胎土に砂粒を含み、土器の焼成は総じて良好である。

61は、口縁突起の下方にボタン状の貼付を配している。突起頂部付近には絡条体圧痕文を、口縁部には口縁と平行した縄の側面圧痕文がみられる。62～64は、口縁部文様帯と胴部文様帯との間に、短い縦位の絡条体圧痕文を付した一条の隆帯がみられ、口縁部文様帯の中にボタン状の貼付が配されている。62はゆるやかな波状口縁をもち、口縁部に沿った側面圧痕文と隆帯に沿った側面圧痕文との間に短い縦位の絡条体圧痕文を配している。63は、口縁部文様帯に縄の側面圧痕文が横位に配されている。64は口縁部文様帯に側面圧痕文を横位に配しており、ボタン状貼付には隆帯と同じ絡条体圧痕を



第30図　ＳＸ62性格不明遺構、出土土錘



第31図　遺構外出土遺物（１）、土器

施文している。65～68は、方形の貼付を配したと思われる土器である。65は、波状突起の円形波頂部及び口唇部に絡条体圧痕文を配し、口縁部文様帯には横位の側面圧痕文を配している。66は、ゆるやかな波状口縁の土器で口唇部には絡条体圧痕文をもつ、口縁部文様帯には、横位の側面圧痕文と略方形の貼付をもつが、貼付の上方には３条の縦位の側面圧痕文を配している。67・68も波状口縁の土器で、口唇部には絡条体圧痕文を、口縁部文様帯には横位の側面圧痕文をもつが、貼付は剥落している。69は、ゆるやかな波状口縁の土器で、口唇部に絡条体圧痕文をもち、口縁部文様帯に横位の側面圧痕文をもっている焼成良好な土器である。波頂部の下方に縦位にブリッジ状の粘土の帯が配されている。70は、側面圧痕文が１条配された帯状の隆帯が２条、土器の口縁部に配されている土器である。71の土器は、波状口縁部であるが、無文のボタン状貼付がみられる。

第４類（第31図72～第32図81）

口縁部文様帯と胴部文様帯との間に短い縦位の絡条体圧痕文を付した隆帯をもち、口縁部文様帯には横位の側面圧痕文をもつ土器である。胎土・焼成ともに良好である。

72・73・74・76・78・80は波状口縁の土器、73は山形突起をもつ口縁の土器である。72・73・74・78・80・81は口唇部に絡条体圧痕文をもつ。81は０段多条の原体を使用した斜行縄文が施されている。

第５類（第32図82）

口縁部と胴部との間に段がつき、文様帯を区画する縦位の絡条体圧痕文が横位に配される。口縁部文様帯には山形の側面圧痕文が数条配され、逆三角形の区画には縦位の絡条体圧痕文が付される土器である。

第６類（第32図83）

平縁で、口唇部に絡条体圧痕文が配される。口縁部文様帯には、横位の側面圧痕文の間に縦位の絡条体圧痕文が配された文様帯が２単位配されている。胎土・焼成ともに良好な土器である。

第７類（第32図84～90）

口縁部文様帯と胴部文様帯とを区画する隆帯や横走する縦位絡条体圧痕文をもたず、口縁部文様帯に横位の側面圧痕文のみを配した土器である。84・85・87・80の口唇部には絡条体圧痕文がみられる。

第８類（第32図91、92）

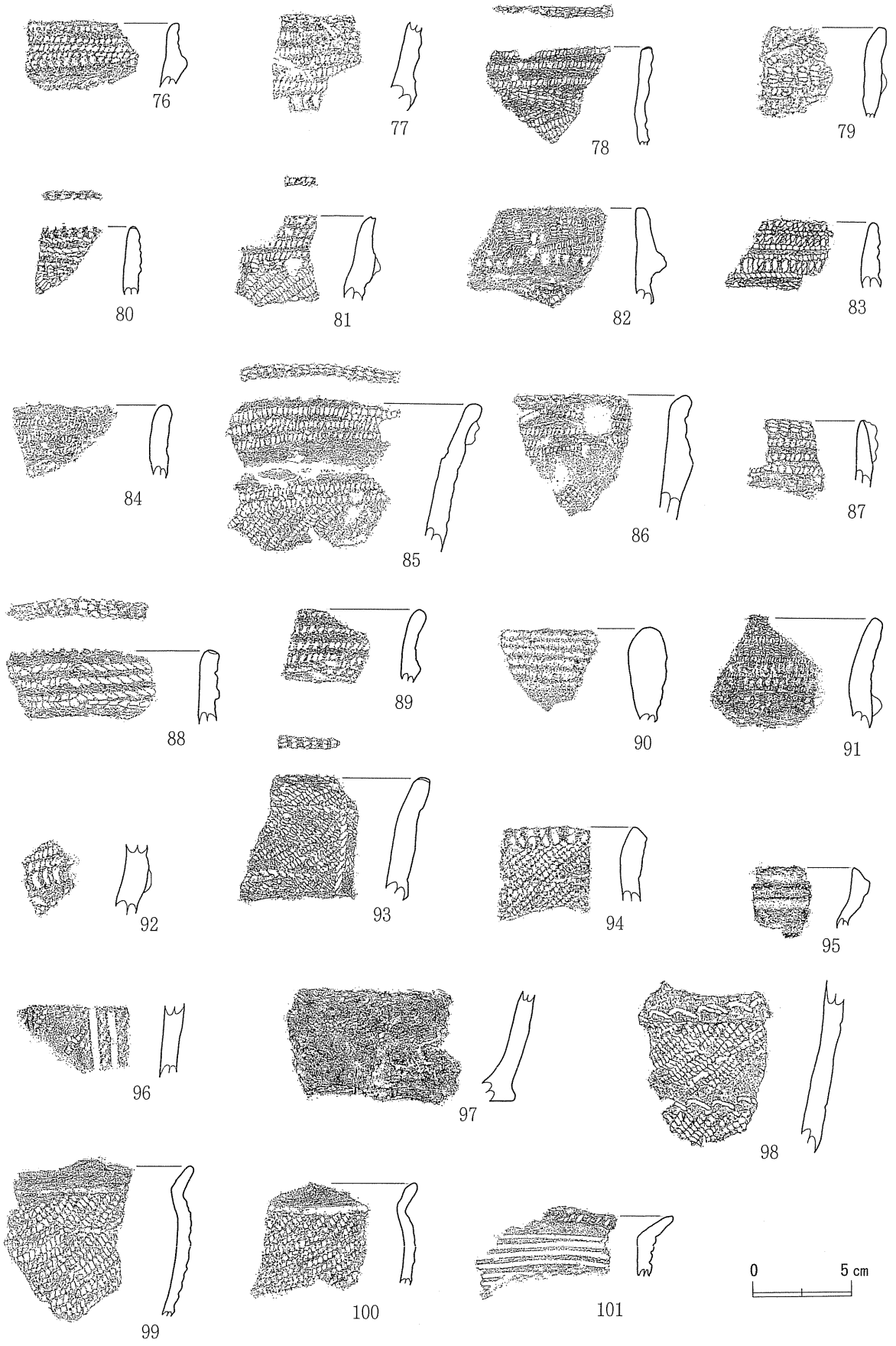
刺突文がみられる土器である。91は、縦位の絡条体圧痕文を配した横位の隆帯を配している。口縁部文様帯には横位の側面圧痕文が４条あり、口縁部側に縦位の絡条体圧痕文を、その下２段の区画に爪形の刺突文を施文している。92は口縁部文様帯と胴部文様帯との間に、爪形の刺突を配した隆帯を横位に配し、口縁部文様帯には横位の側面圧痕文を施文している。

第９類（第32図93、94）

口唇部に絡条体圧痕文を配し、口縁部には斜行縄文を配した土器である。93は、口縁部文様帯を区画するためか、横位に１条の縄の側面圧痕文を配し、縦位にも１条の縄の側面圧痕文を配している。

第10類（第32図95～98）

その他の土器である。95は、浅鉢形土器の口縁部である。摩滅が著しいが、肩部下に横位の沈線が１条みられる。96は、縦位の平行沈線があり、器面全体に斜行縄文が施文されている。97は底部からくびれて立ち上がる土器、98には綾繰文が見られる。



第32図　遺構外出土遺物（２）、土器

②第Ⅱ群

弥生時代の土器である。

第１類（第32図99・100）

99と100は同一個体で、ゆるやかな波状口縁をもつ小型の深鉢形土器である。頸部が「く」の字にくびれ、口縁部は磨かれて無文帯となり、頸部より胴部は斜行縄文が付される。口縁部内側には一条の沈線を横位に施文している。更にその下には整形時の工具痕が残る。胎土には砂粒を含む。内外には煮沸時の炭化物が付着している。

第２類（第32図101）

口縁部が強く外側に開く、小型の深鉢形土器である。頸部には平行沈線が横位に走り、口唇部の近くには斜位のヘラ状工具の圧痕が連続して付される。胎土に砂粒を含み、焼成は良好である。

(2)石器

縄文時代

石鏃（第33図Ｓ20～Ｓ26）

Ｓ20は黒曜石製、他は全て頁岩製の石鏃である。Ｓ20～Ｓ23は、基部に抉り込みを入れた凹基無茎の石鏃である。Ｓ23の抉り込みはやや浅い。Ｓ24は、基部が尖って長く伸びており、全体として細長い菱形の形状を呈する。Ｓ25は基部が、Ｓ26は先端部が欠損している。

石錐（第34図Ｓ28）

Ｓ28はメノウ製の石錐である。調整加工は側面の片側にしか加えられていないが、鋭い先端部を使用したと思われる。

石槍（第34図Ｓ29～Ｓ34）

全て頁岩製である。Ｓ29は、断面菱形の石槍で全面に粗めの剥離を加えて整形している。Ｓ30は表側に主として調整剥離が加えられており、断面は略三角形となる。Ｓ31は薄身の石器で調整剥離は粗いが先端部は鋭く尖っている。Ｓ32は基部が欠損し、Ｓ33とＳ34は先端部のみが残っている。Ｓ34は先端部が相当広くなっており、突き刺すという槍先の機能以外の用途を持っていたのかもしれない。

石匙（第34図Ｓ35～Ｓ38）

全て頁岩製である。Ｓ35・Ｓ36・Ｓ37は縦長の剥片を使用した縦型の石匙である。打面は調整されており、残っていない。Ｓ38は横型の石匙である。側面に素材剥ぎ取り時の打面を残している。

箆状石器（第34図Ｓ39～第35図Ｓ45・Ｓ47）

全て頁岩製である。Ｓ39・Ｓ41・Ｓ45・Ｓ47は、下端部に丁寧な調整剥離を加えている。Ｓ43には、下端部の他に上端部にも調整剥離が見られる。

打製石斧（第35図Ｓ46）

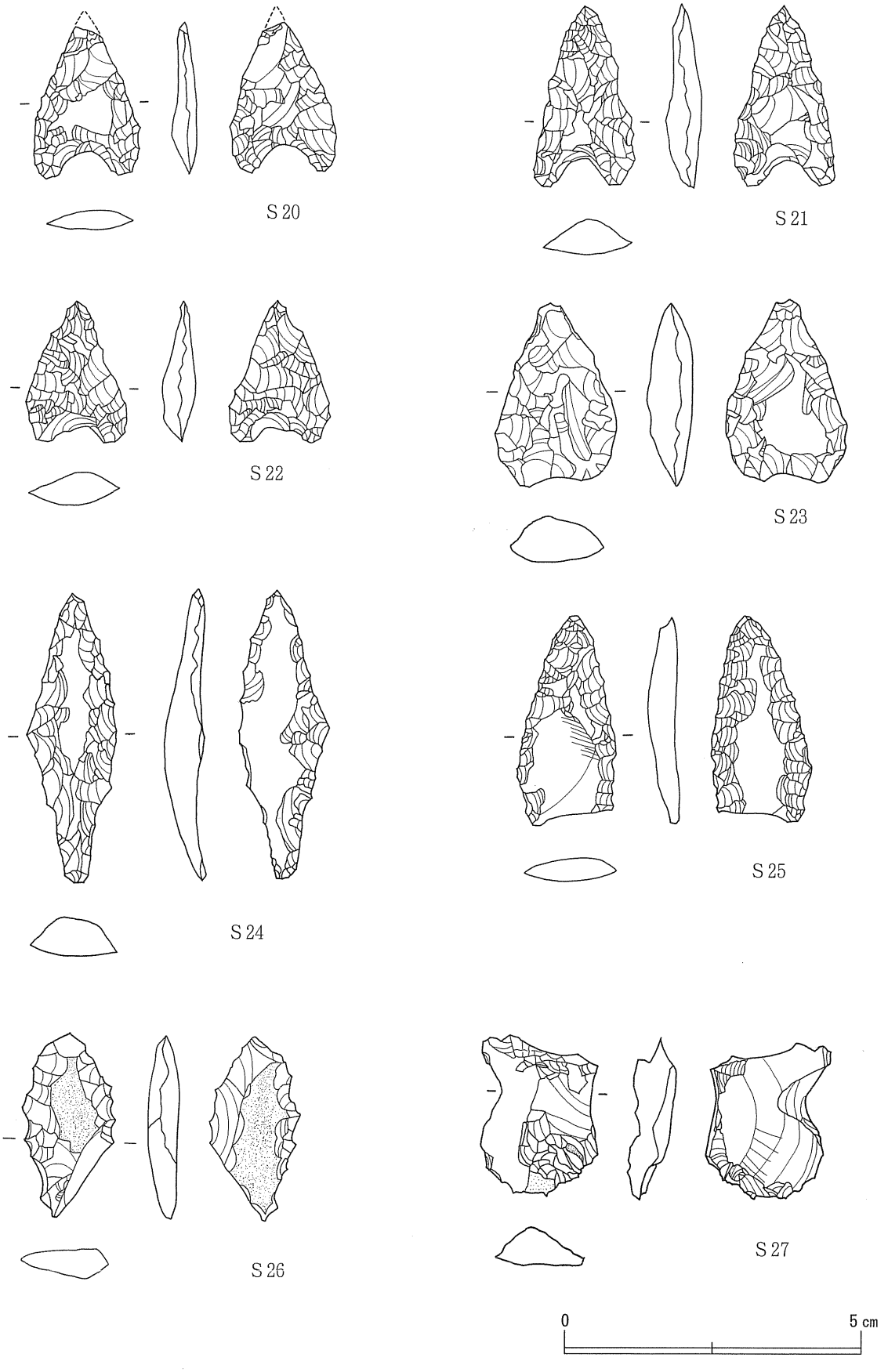
Ｓ46は頁岩製で、表裏両側に自然面が残る。下端部には、打撃痕が残る。

磨製石斧（第46図Ｓ50）

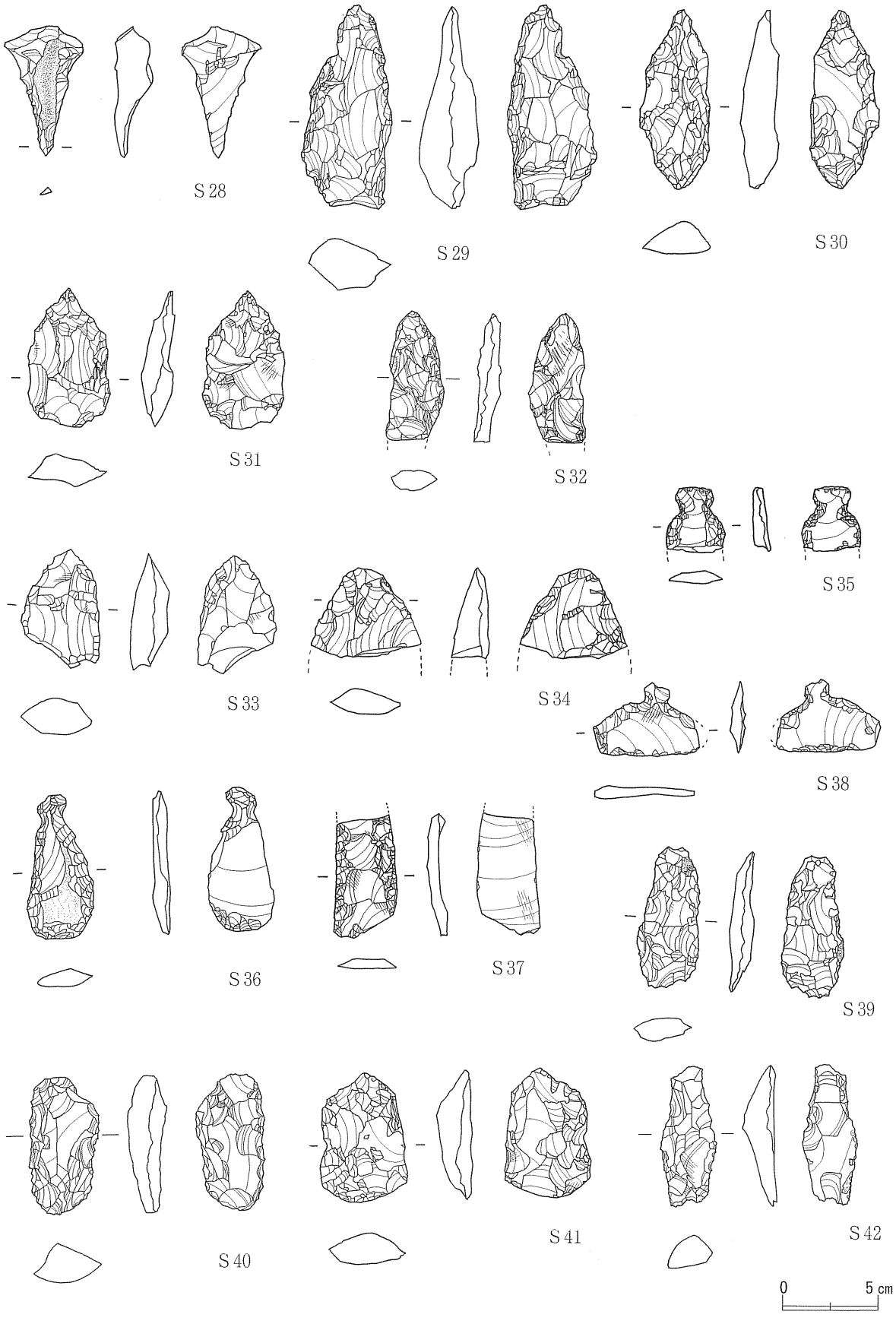
Ｓ50は砂岩製の磨製石斧である。整形時の磨った痕が片側の側面に残る。刃部は折損している。

石錘（第35図Ｓ51）

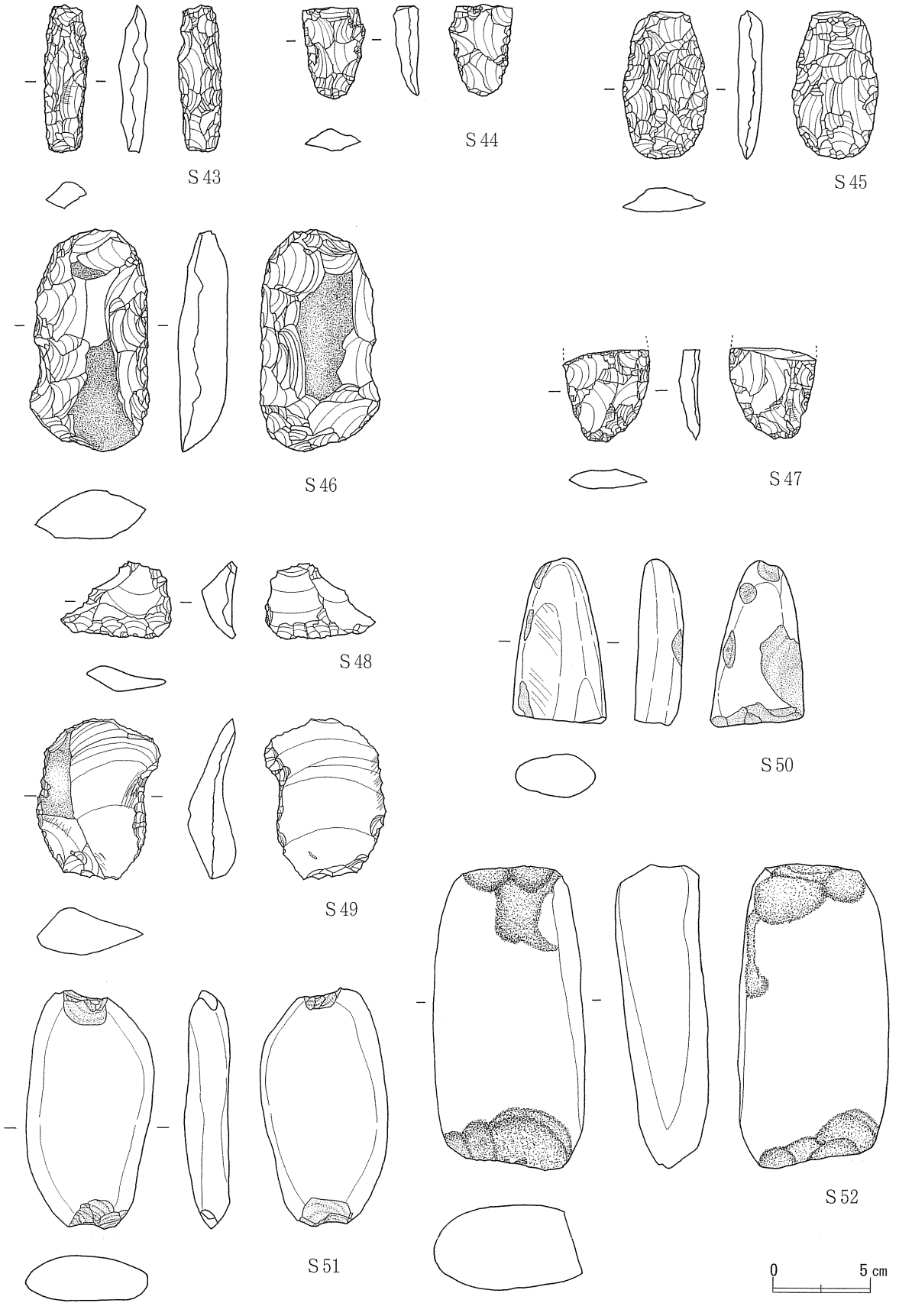
Ｓ51は、細長い川原石の両端に打撃を加えて石錘としている。



第33図　遺構外出土遺物（３）、石器



第34図　遺構外出土遺物（４）、石器



第35図　遺構外出土遺物（５）、石器

その他（第33図Ｓ27・第35図Ｓ48・Ｓ49・Ｓ52）

頁岩の剥片の一部に調整剥離を加え、スクレイパーのように使用したと思われる石器が存在する。Ｓ48は横長剥片の打面と反対側の表裏両面に、Ｓ49は縦長剥片の両側に調整剥離を加えている。Ｓ52は、安山岩の川原石の一部を磨って使用している。下端部か刃部と推測され、使用痕が残る。上部には、刃部を対象物にあてて重いもので打撃を加えたような痕跡が残っている。なお、Ｓ27は黒曜石の剥片である。調整剥離は見られない。

番号	高さ	口径	底径	番号	高さ	口径	底径	番号	高さ	口径	底径
1	20.2	—	—	6	12.1	—	—	27	18.8	—	—
2	29.4	23.4	10.6	25	6.5	21.6	17.0	28	21.4	22.5	8.5
3	47.5	27.2	10.4	26	20.0	16.0	9.4	29	15.0	14.2	8.4

（cm）

第２表　第１次調査出土土器計測値

番号	最大長	最大幅	最大高	重量	番号	最大長	最大幅	最大高	重量	番号	最大長	最大幅	最大高	重量
Ｓ１	88.5	40.0	14.0	36.4	Ｓ19	125.0	78.5	28.0	280.8	Ｓ37	64.0	33.0	10.0	15.5
Ｓ２	57.0	35.0	15.0	29.2	Ｓ20	24.0	17.5	6.0	1.6	Ｓ38	38.0	54.5	8.5	10.4
Ｓ３	39.0	12.0	5.0	2.3	Ｓ21	31.0	17.0	6.5	2.2	Ｓ39	74.0	33.0	12.5	26.1
Ｓ４	75.0	28.0	13.5	29.7	Ｓ22	76.0	18.5	4.5	1.7	Ｓ40	71.0	36.5	20.0	50.3
Ｓ５	46.0	26.0	5.5	5.7	Ｓ23	31.0	20.0	8.0	4.7	Ｓ41	68.0	45.0	16.5	54.7
Ｓ６	83.0	33.0	15.0	38.8	Ｓ24	49.0	15.0	7.0	3.9	Ｓ42	73.0	29.0	17.0	22.4
Ｓ７	39.0	21.0	6.0	4.5	Ｓ25	35.0	17.0	5.5	2.8	Ｓ43	77.0	22.5	14.0	26.4
Ｓ８	102.0	67.0	26.5	220.8	Ｓ26	31.0	16.0	5.5	2.4	Ｓ44	47.0	32.0	13.0	17.5
Ｓ９	34.0	14.0	4.5	2.7	Ｓ27	37.0	20.0	8.0	2.7	Ｓ45	76.0	44.0	14.0	52.6
Ｓ10	71.0	30.0	16.5	28.6	Ｓ28	68.5	41.0	20.0	28.1	Ｓ46	115.0	62.0	25.5	192.1
Ｓ11	34.0	20.0	7.0	4.2	Ｓ29	106.0	46.0	31.0	115.0	Ｓ47	47.0	45.0	11.0	21.9
Ｓ12	40.5	30.5	10.0	9.0	Ｓ30	93.0	36.0	20.5	58.0	Ｓ48	40.0	57.0	17.5	19.3
Ｓ13	50.0	32.0	9.5	14.7	Ｓ31	72.0	43.0	17.0	42.4	Ｓ49	83.0	64.0	24.0	75.6
Ｓ14	60.0	38.0	17.0	59.0	Ｓ32	67.0	29.5	13.5	21.7	Ｓ50	85.0	49.0	24.0	136.4
Ｓ15	48.0	27.0	7.0	10.9	Ｓ33	61.0	40.5	19.0	41.1	Ｓ51	123.0	66.5	23.5	256.1
Ｓ16	62.0	47.0	9.5	24.8	Ｓ34	46.5	57.0	20.0	39.5	Ｓ52	158.5	78.0	49.0	903.3
Ｓ17	88.0	64.0	17.0	132.0	Ｓ35	33.5	30.0	7.5	7.6					
Ｓ18	130.0	79.5	22.0	363.4	Ｓ36	75.0	45.0	9.5	23.0					

（重さ　g、長さ・幅・高さ　mm）

第３表　第１次調査出土石器計測値

第３節　小結

第１次発掘調査の結果、縄文時代の竪穴住居跡４軒・土坑56基・焼土遺構７基・土器埋設遺構１基、古代に属すると思われる土坑が３基、中世に属すると思われる竪穴住居跡１軒・掘立柱建物跡２棟・柱穴列２列・焼土遺構３基・溝跡７条、性格不明遺構２基を検出した。他に時期不明の柱穴様ピットが存在する。

縄文時代は、第Ⅰ群第１類から第９類までの円筒系土器を使用した縄文時代前期末葉から中期初頭の時期が最初である。ＳＩ108竪穴住居跡を中心とした段丘南端が生活の中心と見られ、ＳＩ114竪穴住居跡も当該時期の遺構と考えられる。次の時期は、ＳＲ68土器埋設遺構を中心とする大木系土器を使用した縄文時代中期末葉の時期である。ＳＩ127竪穴住居跡も同じ時期であろう。同じ段丘上の北側の地点、盤若台遺跡からも縄文時代中期末葉の竪穴住居跡が検出されている。

次の時代は、第Ⅱ群の土器を使用した時期である。遺物は少ないが、志藤沢遺跡にみられるような八郎潟周辺の弥生文化の反映としてとらえることができる。

古代の生活の痕跡は少ないものの、中世になると、金仏一帯での生活の場は大きく広がっていく。ＳＩ99竪穴住居跡やＳＢ91掘立柱建物跡、ＳＮ97焼土遺構等がその中心である。ＳＡ89柱穴列とＳＡ95柱穴列は、１棟の掘立柱建物跡になるのかもしれないが、ここでは２列の柱穴列としてとらえた。ＳＤ21溝跡やＳＤ80溝跡はＳＢ91掘立柱建物跡やＳＡ89柱穴列等の建物軸方向と同じ方向をとっており、同じ時期の遺構としてとらえることができよう。

なお、本遺跡においては、ＳＸ62性格不明遺構から太形管状土錘、ＬＱ48区からは第30図46～51のような細形管状土錘及び球状土錘が出土している。この三形態の漁網錘は、現在も八郎潟沿岸で使用されている。琴丘町の漁業従事者は、最近まで捕獲する魚の種類に合わせて各自で漁網錘を焼いていたとのことであり、出土遺物の使用時期は特定できないが、八郎潟の沿岸漁業と密接な関係をもった生活が浮かびあがってくる。

引用・参考文献

小林克・高橋学　「峰浜村手前谷地尻遺跡出土の遺物について」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要　第７号』　秋田県埋蔵文化財センター　1992（平成４）年

半田市太郎　「志藤沢遺跡発掘調査報告」『秋大史學』９　秋大史学会　1959（昭和34）年

堺市博物館　『漁具の考古学－さかなをとる－』　1987（昭和62）年

関喜四郎　「水産業の発達」『八郎潟の研究』　秋田県教育委員会　1965（昭和40）年

秋田県教育委員会　『盤若台遺跡――般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る発掘調査報告書Ⅷ―』　秋田県文化財調査報告書第319集　2001（平成13）年

第４章　第２次（平成12年度）調査

第１節　調査の概要

１．遺跡と調査区の概観

第１次調査（平成11年度）は主に台地縁辺から斜面にかけての標高13.0～17.6mについて調査した。第２次調査（平成12年度）はその北側の平坦部分の調査となった。地表面標高は16.5～18.0mである。

第２次調査では、一部、第１次度調査区の再調査を実施している。第１次調査および第２次調査の調査対象範囲については第36図に掲げた。２つのスクリーントーンの重なる箇所が再調査を実施した箇所である。

対象区の現況は、東側の標高18m前後の比較的標高の高い箇所が畑地、それ以外は北側が水田、南側が荒蕪地である。

対象区周囲は、北側が水田、南側は第１次調査対象範囲もふくめ荒蕪地が広がり、さらに沢を挟んだ対岸の台地上には狐森遺跡が立地する。

２．調査の方法

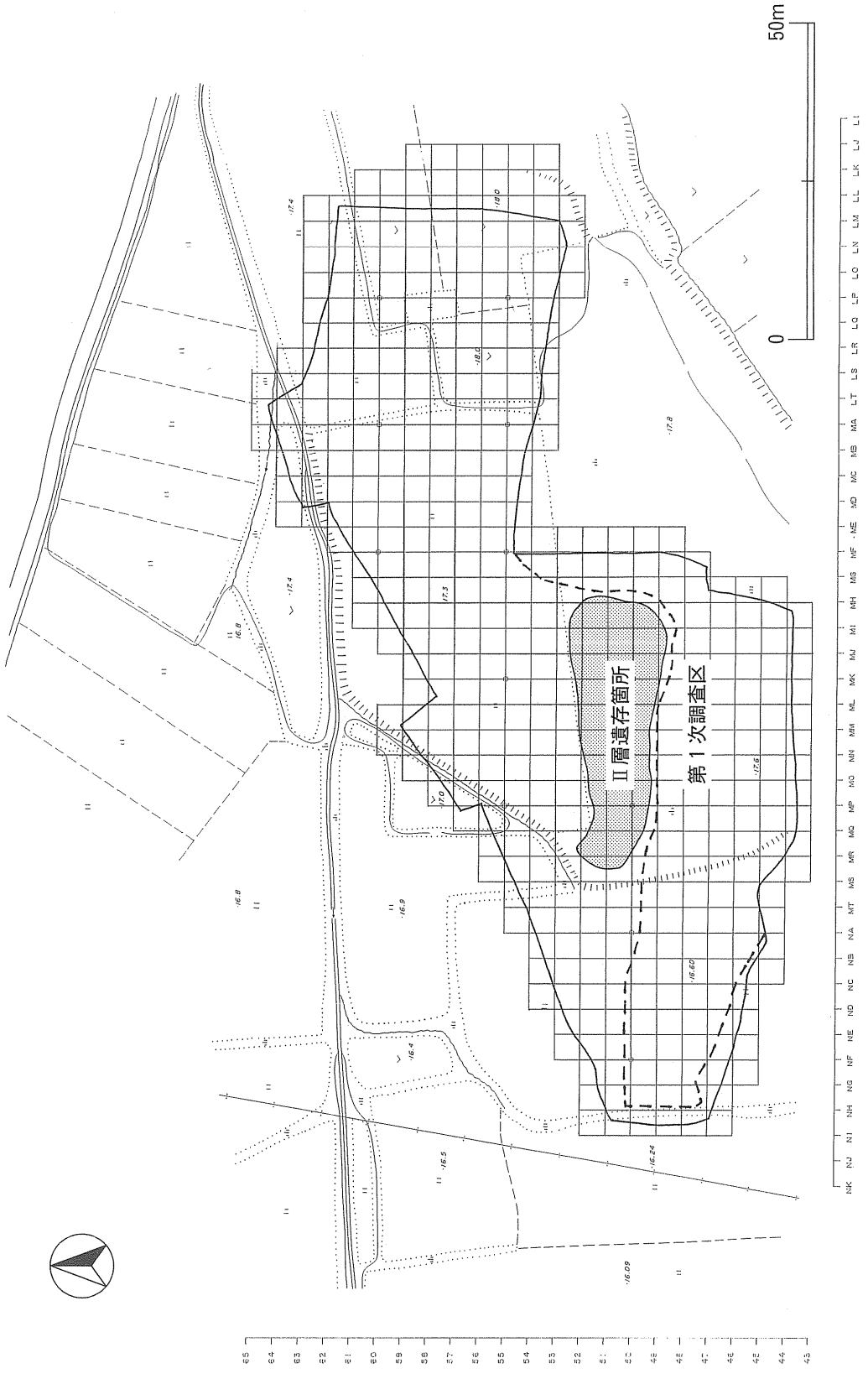
調査区全域には、第１次調査同様、国家座標第Ｘ系の座標北を基準として、（Ｘ＝3643.5000、Ｙ＝－63262.5000）を原点とする各４ｍ間隔の方眼を設定した。方眼の原点を通る南北線をＭＡ、同じく東西線を50とし、南北線は西に向かってアルファベットの符号を、東西線は北に向かって数字の符号を、それぞれ昇順となるよう付した。なお、南北線に付した２文字のアルファベットはＡ～Ｔまでの20文字の繰り返しとなっている。この方眼によって画する４ｍ四方の区画を「区」とし、その南東隅を通る南北線の符号と東西線の符号とを組み合わせて、ＭＡ50区のように呼称した（第37図）。

調査は、重機および人力による表土除去ののち、遺構確認作業を行った。遺構番号は、確認順に付し、遺構の性格を表す略記号と組み合わせてＳＫ01のように呼称した。ただし、調査の進行に伴い、遺構の性格が当初予想したものと異なると判断して略記号を変更した場合や、途中で遺構でないことが判明して欠番とした場合がある。確認後の遺構精査は、長軸方向とそれに直交する方向に土層観察用ベルトを残す四分割法と、柱穴等の小規模な遺構など四分割法の不可能な箇所では長軸に沿う二分割法で行うことを原則とした。

なお、遺構番号は、第１次調査との重複を避けるため、第２次調査では201番より付している。

記録は、図面と写真によった。遺構実測は、面工事部分では原則的に各方眼杭を基準として計測を行った。遺構の平面図・断面図の原図縮尺は１／10を基本とした。写真撮影は、35㎜カラーリバーサルフィルムとモノクロネガフィルムを主に使用したが、必要に応じ35㎜ネガカラーフィルムも使用した。

第36図　金仏遺跡地形概況図



第37図　第２次調査区グリッド設定図

遺物は、遺構名・方眼区画名・出土層位・出土年月日をチャック付ポリ袋もしくは耐水用荷札に記入のうえ取り上げることを原則とした。

３．調査の経過

４月７日、発掘調査担当者決定。金仏遺跡第２次調査は吉川孝・藤原泰史・栗原拓が担当、調査面積3,100㎡、調査期間60日（４ヶ月）の予定。

19日、文化財保護室から、金仏遺跡の予算積算の詳細を埋文センターへＦＡＸで通知。

20日、文化財保護室谷地学芸主事より、調査に先だつ現地協議の場を可及的速やかに持ちたい旨、連絡が入った。

27日、原因者（建設省能代工事事務所津幡設計係長）、文化財保護室（谷地学芸主事）、センター（櫻田課長補佐・利部第３科長・吉川）による現地協議。津幡係長から、本遺跡に係る部分の道路工事を７月１日より開始する予定であることの説明を受け、金仏遺跡の調査を６月末まで終えるよう、緊急の対応を強く求められた。

調査に関する委託・借り上げ等を迅速に手配することを前提に５月８日を調査開始日とし、７月から道路工事に着手できるよう、原因者とセンター側とで最大限努力しあうことを約した。

28日、発掘調査通知、実施要項、水準測量及び方眼杭設置業務委託、重機借り上げ、各種機材や事務機器の借り上げ、作業員説明会開催、資材・機材の輸送等について起案作成、提出。一部決裁。

５月１日、４月28日起案の他のすべての文書が決裁。

８日、現場初日。櫻田課長補佐現場参加（６月30日まで）。昨年度調査区現場踏査、重機による表土除去作業立ち合い、測量杭打設のための対業者説明会。

９日、芳賀所長来跡。利部科長による金仏・狐森両遺跡合同の作業員説明会を開催、芳賀所長より現場開始挨拶。重機による表土除去作業の開始。

10日、遺構プラン確認作業の開始。コンテナハウス設置。

11日、東側で溝跡・炭窯・土坑等を確認。文化財保護室泉田学芸主事・谷地学芸主事来跡。泉田学芸主事より県内製鉄遺跡についての情報提供。

12日、センター船木副所長・利部科長・文化財保護室武藤学芸主事来跡。西側地区表土除去・東側地区遺構確認作業継続。

15日、旧水田グライ土壌の排土と遺構のプラン確認（～19日）。その結果、調査区北端で掘立柱建物跡を検出し、遺跡がさらに北側に拡大することが確定。調査面積は4,500㎡となった。非常勤職員藤原泰史・栗原拓、調査参加。遺構配置図作成開始。

17日、芳賀所長来跡。現場視察と現場作業員を慰労。

18日、測量杭打設作業終了、検出遺構のナンバリング開始。

19日、西側地区で建物跡２～３棟確認。

22日、非常勤職員倉田伸治・工藤直子実測応援。狐森遺跡より非常勤職員小西秀平・藤原寛子実測応援。東側地区確認面での遺構覆土の土色・土性の注記作業開始。

23日、発電機・ローリングタワー等リース機材到着。

24日、文化財保護室泉田・谷地学芸主事来跡。泉田学芸主事より周辺遺跡について情報提供。

25日、現場用遺構配置図作成終了。

26日、本日まで923基の遺構を確認。

29日、東側地区遺構の平面計測着手。光波による遺構実測業務委託および排土除去・運搬のための重機借り上げについての起案文書を提出（６月５日決裁）。

31日、中央～西側地区の遺構の掘り下げ本格着手。琴丘町チャレンジデー参加。

６月１日、ＳＫ271より木炭・フイゴ羽口が出土。

５日、鍛冶滓・粒状滓等を確認したＳＫ267の精査開始。

６日、文化財保護室大和谷室長とセンター芳賀所長が現地視察。

９日、工事工程と調査工程のすり合わせを目的とする緊急の四者協議を開催（建設省腰山監督官・津幡設計係長、工事発注業者鈴木土建・西村土建、文化財保護室谷地学芸主事、センター船木副所長・児玉課長補佐・小山文化財主事・吉川）。50ライン以南を19日までに引き渡すことが決定。たたら研究会穴澤義功氏と秋田中央分室高橋分室長来跡。穴澤氏より鍛冶関連土坑について御教示いただく。

12日、鍛冶関連土坑ＳＫ400精査終了。

13日、北側拡張部分の表土除去開始。光波測量による遺構実測について測量業者と打ち合わせ。

14日、児玉調査課長補佐が現場参加（～15日）。

15日、昨年度調査区に仮置きしていた排土を移動した結果、300基を越える遺構を新たに検出。当該箇所（約2,000㎡）の調査も必要となった。

16日、宮本長二郎東北芸術工科大学教授、秋田県内建物資料収集のため来跡、御教示いただく。

19日、光波実測開始（～６月30日）。

20日、昨年度調査区を含めた調査区南側（50ライン以南）の引き渡し。

22日、県生涯学習センター「縄文ゆとり工房」の受講者が見学のため来跡。

23日、ＳＥ525完掘写真。

26日、西側地山検出遺構の掘り下げ。児玉課長補佐現場参加（～６月27日）。

28日、芳賀所長来跡し、作業員へ慰労をかねた現場終了挨拶。掘り残し遺構の掘り下げ。

29日、建物完掘写真、遺跡近景写真。

30日、引き渡しに関する現地協議（建設省津幡係長、文化財保護室谷地、センター櫻田課長補佐・吉川）。同日５時30分、引き渡し。

第２節　調査の記録

１．調査区の地形と層序

本遺跡は、鹿渡台地北部の岩石第二段丘上に立地している。鹿渡台地は、本州日本海側で最大規模に発達した米代川左岸の諸台地に連なる構成台地で、本遺跡周辺では、出羽山系に属する石倉山丘陵地および鹿渡丘陵地が八郎潟残存湖にせまるため、その西に平行する八郎潟湖岸平野とともに南北に長狭に広がっている。第２次調査対象区の標高は、北東がやや高く南西が低い状況を示しており、北東端と南西端の距離約160ｍに対し、地山面における標高差は約２ｍにすぎない（第36図）。

基本層序については、第１次調査におけるＭＰ～ＭＯ49区の基本層序に準じた（第４図）。

第２次調査においては、調査対象区の過半において第Ⅱ層が削平を受け、遺構確認面が第Ⅲ層上面であるケースがほとんどであった。一部第Ⅱ層の遺存する箇所があった。その広がりを第37図のスクリーントーン部分に示した。当該箇所においては、第Ⅱ層上面で確認した遺構と第Ⅲ層（地山）上面で確認した遺構の２種類がある。

２．検出遺構と出土遺物

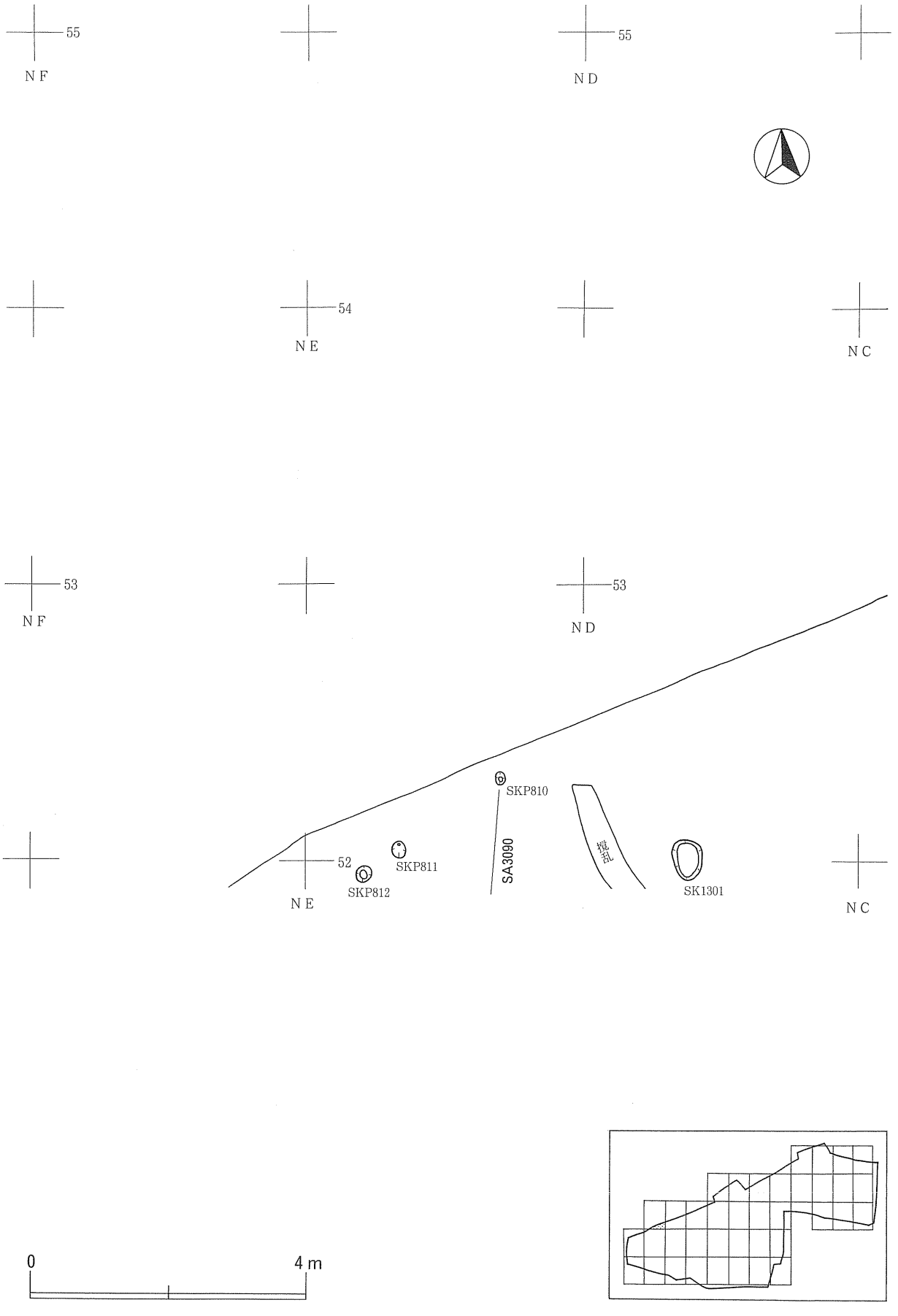
遺構配置図を第38図～第75図に掲げる。本項は（１）～（３）の小項目に分けて報告するが、本文中“□”とあるのは配置図の挿図番号を意味する。

縄文時代の遺構としては、調査区中央やや西側を中心に径0.7～1.0ｍ前後の円形・隅丸方形の土坑を多く確認している。出土遺物は僅少であるが、ＳＫ608B覆土から縄文時代前期末葉の円筒下層ｄ式土器が出土しており、他の出土遺物は、ほとんどが時期特定の難しい小破片のみであるが、大略、縄文時代前期ないし中期の遺物と考えられるので、当該期の土坑墓と判断した。縄文時代の遺構については（１）に掲げる。

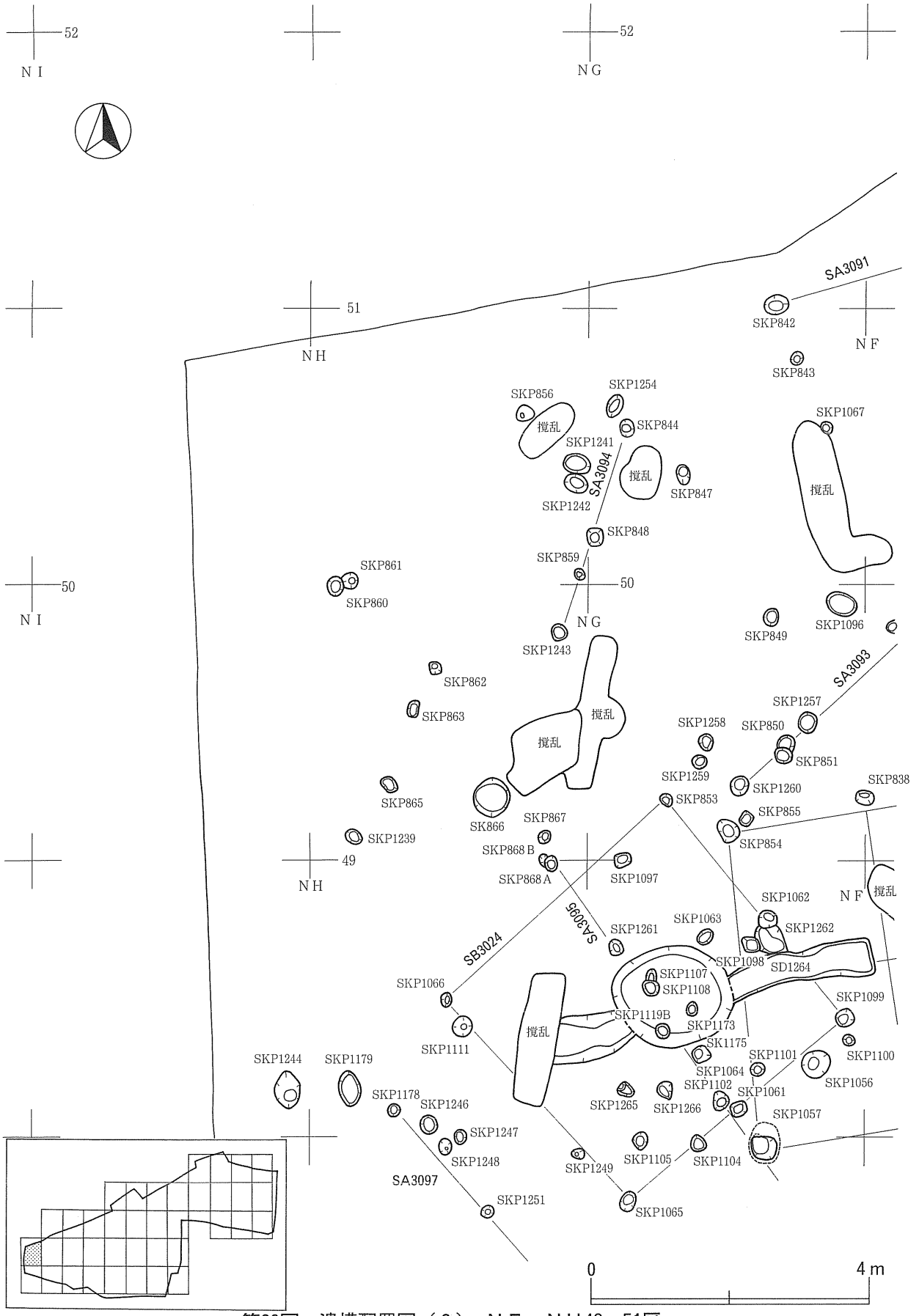
中世の遺構としては、掘立柱建物跡を主体とする中世集落が比較的広範囲に広がっている。建物跡は25棟検出しており、なかには桁行７間×梁行５間という、きわめて大規模な建物跡も見つかった。これら建物跡の柱間寸法は一定の傾向を有し、柱間省略の少ない総柱式建物が多いことなどから、本遺跡は12世紀から14世紀にかけての地元有力者の居館を中心とする集落跡とみなすことができる。

大規模建物西方約６ｍの地点では、径2.5×2.7ｍの略円形平面で深さ５ｍを越える井戸跡１基を検出した。その規模や位置関係より、中世集落にともなうものであろうことは確実である。調査区南東部からは複数の鍛冶関連土坑を確認した。鍛冶滓・粒状滓・鍛造剥片・鉄塊系遺物など鍛造鍛冶段階に生ずる遺物が出土しており、これら遺物と龍泉窯産青磁碗が供伴した例があることから、中世の鍛冶場がここにあったものと考えられる。さらに鍛冶関連遺構に近接して炭窯を確認した。中世の遺構については（２）のなかで報告する。

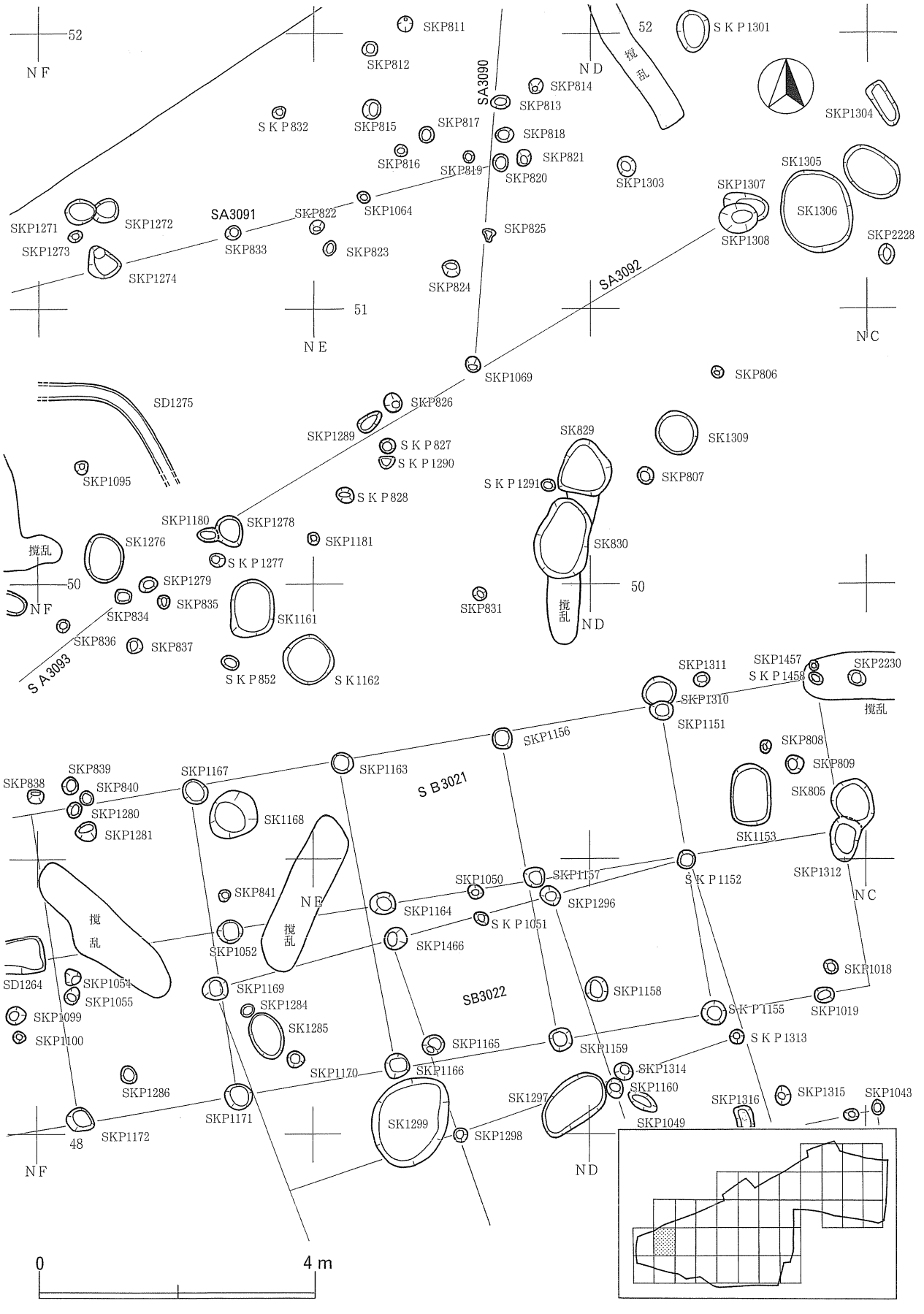
柱穴・土坑については年代不明のものも多いので、別の小項目を設け、（３）に掲げた。



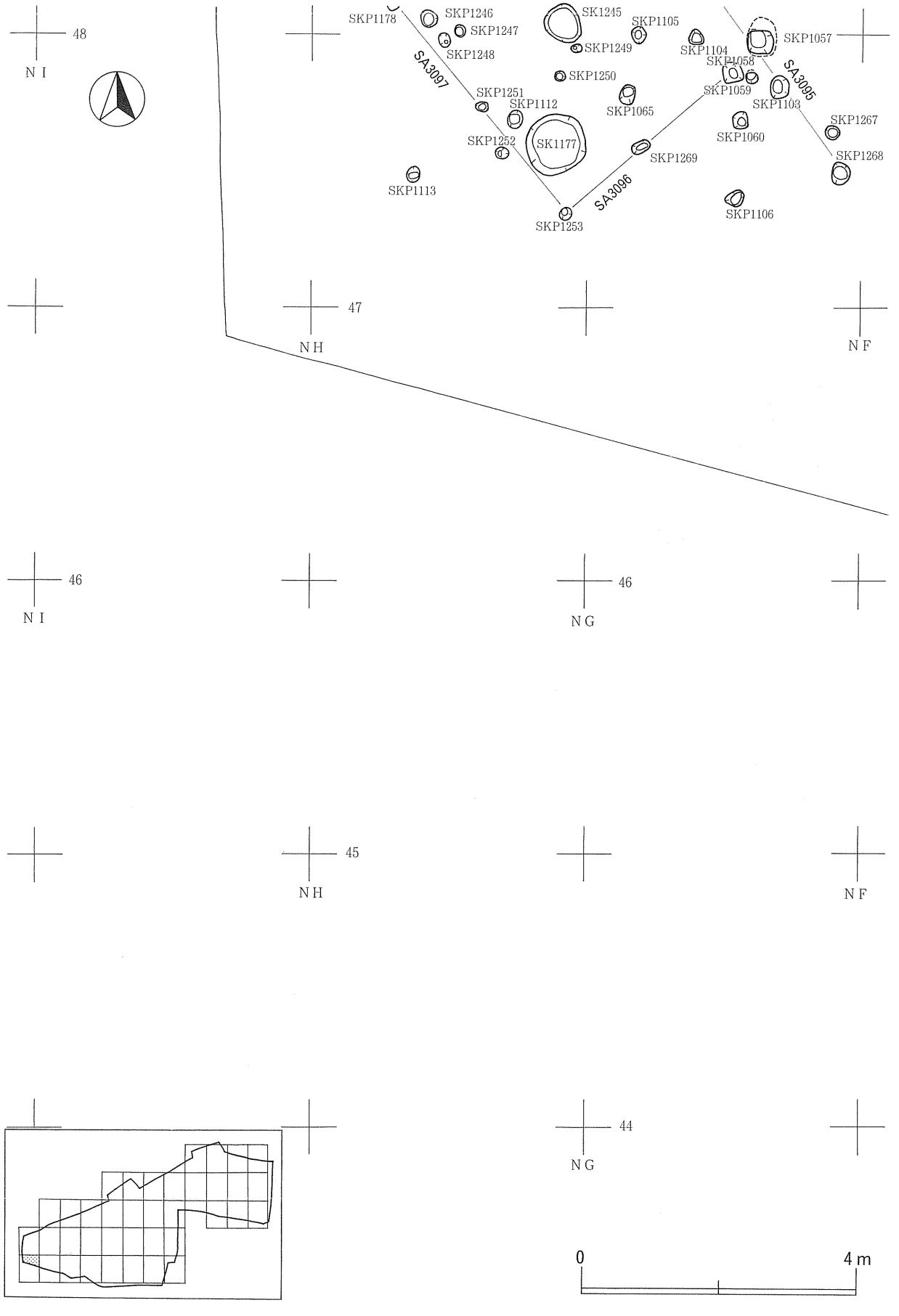
第38図　遺構配置図（１）、ＮＣ～ＮＥ52～54区



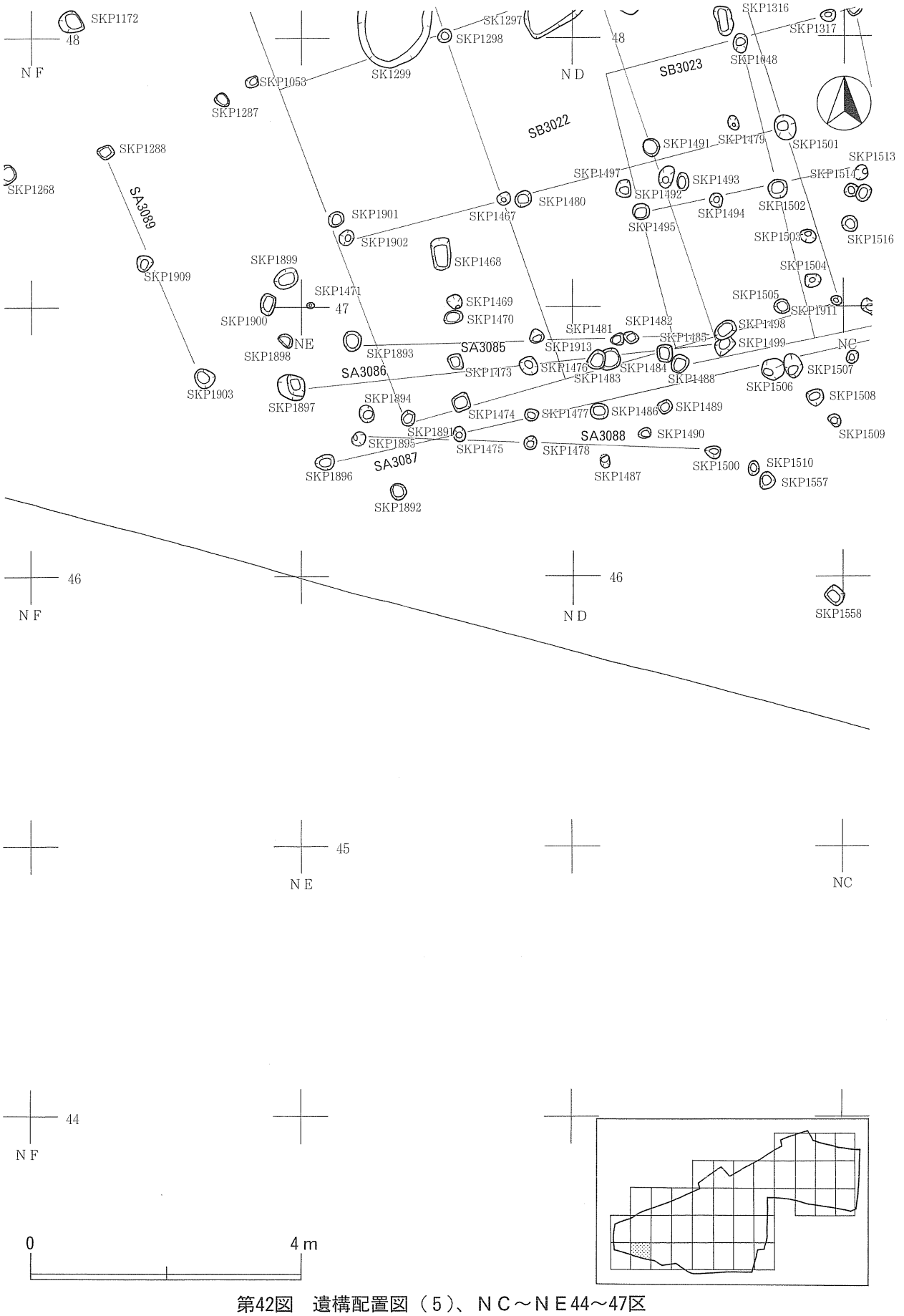
第39図　遺構配置図（２）、ＮＦ～ＮＨ48～51区



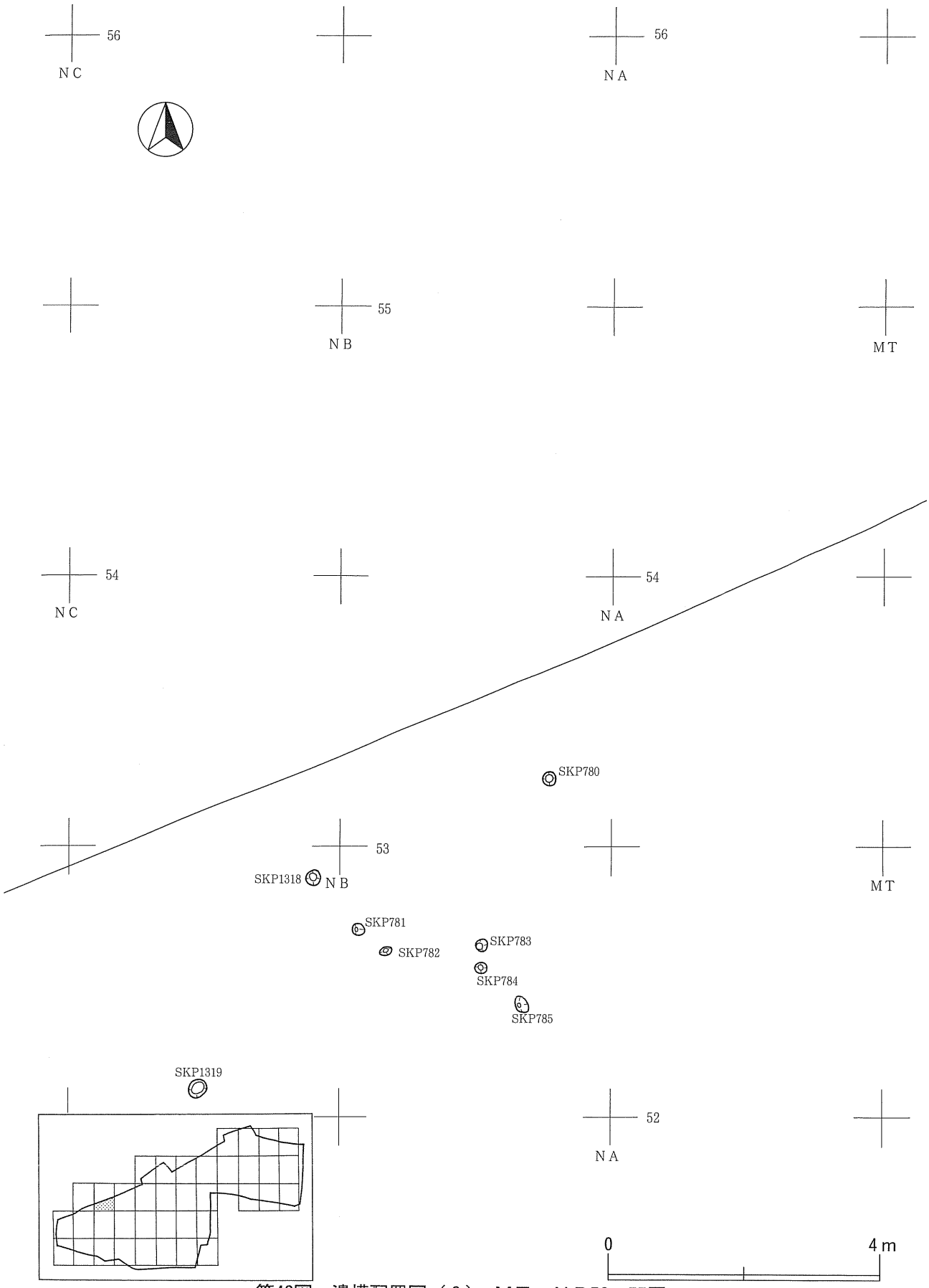
第40図　遺構配置図（３）、ＮＣ～ＮＥ48～51区



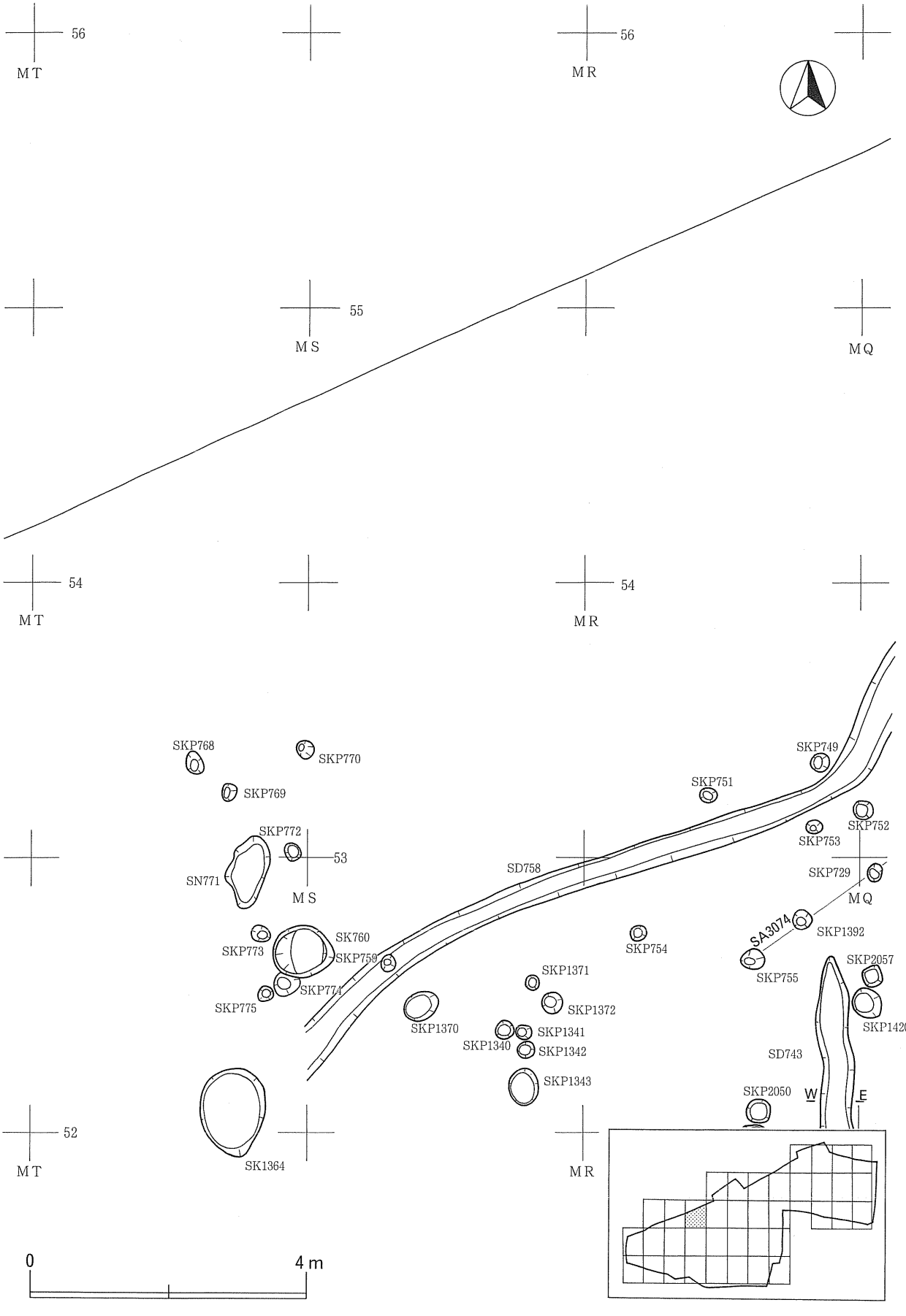
第41図　遺構配置図（４）、ＮＦ～ＮＨ44～47区



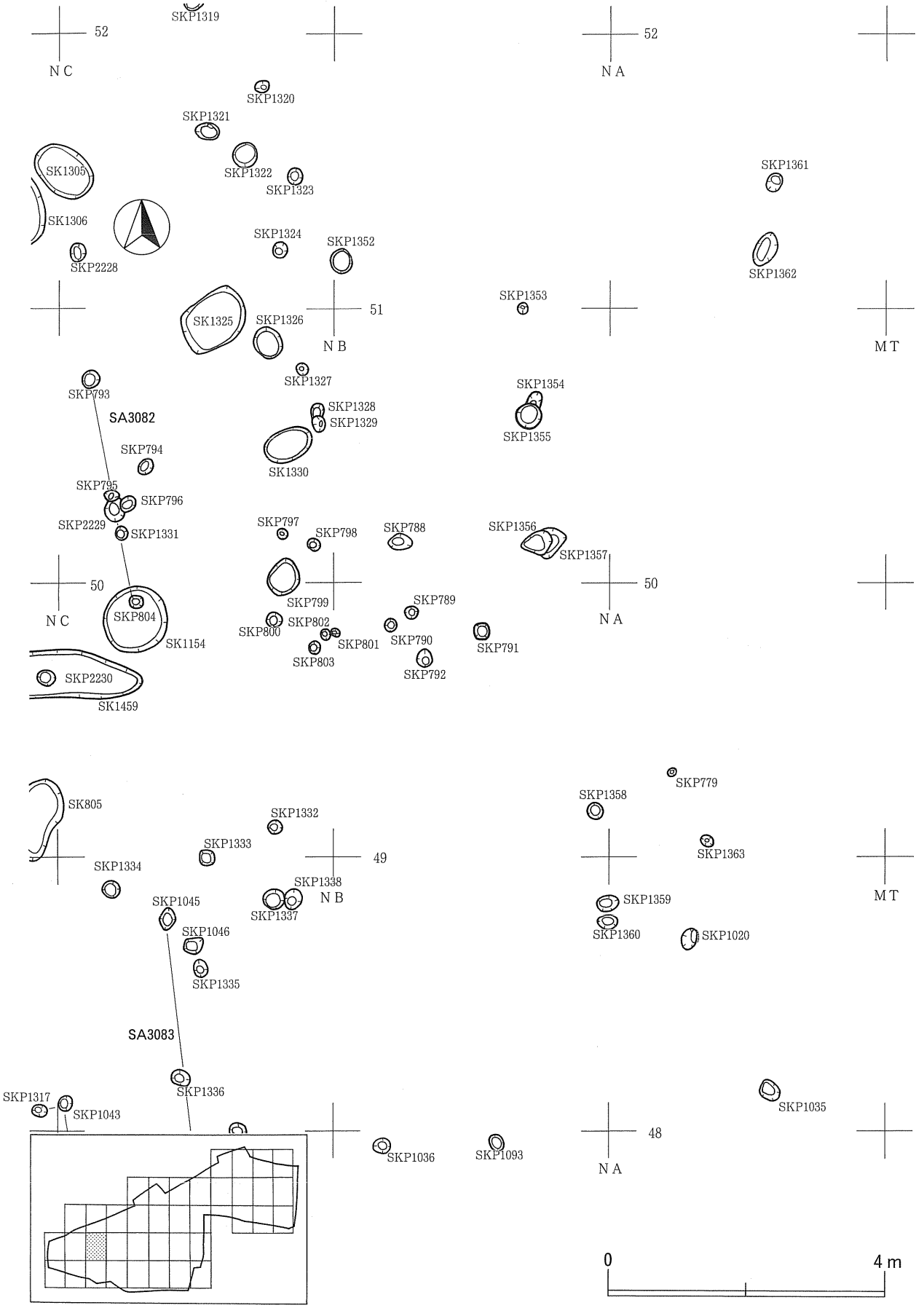
第42図　遺構配置図（５）、ＮＣ～ＮＥ44～47区



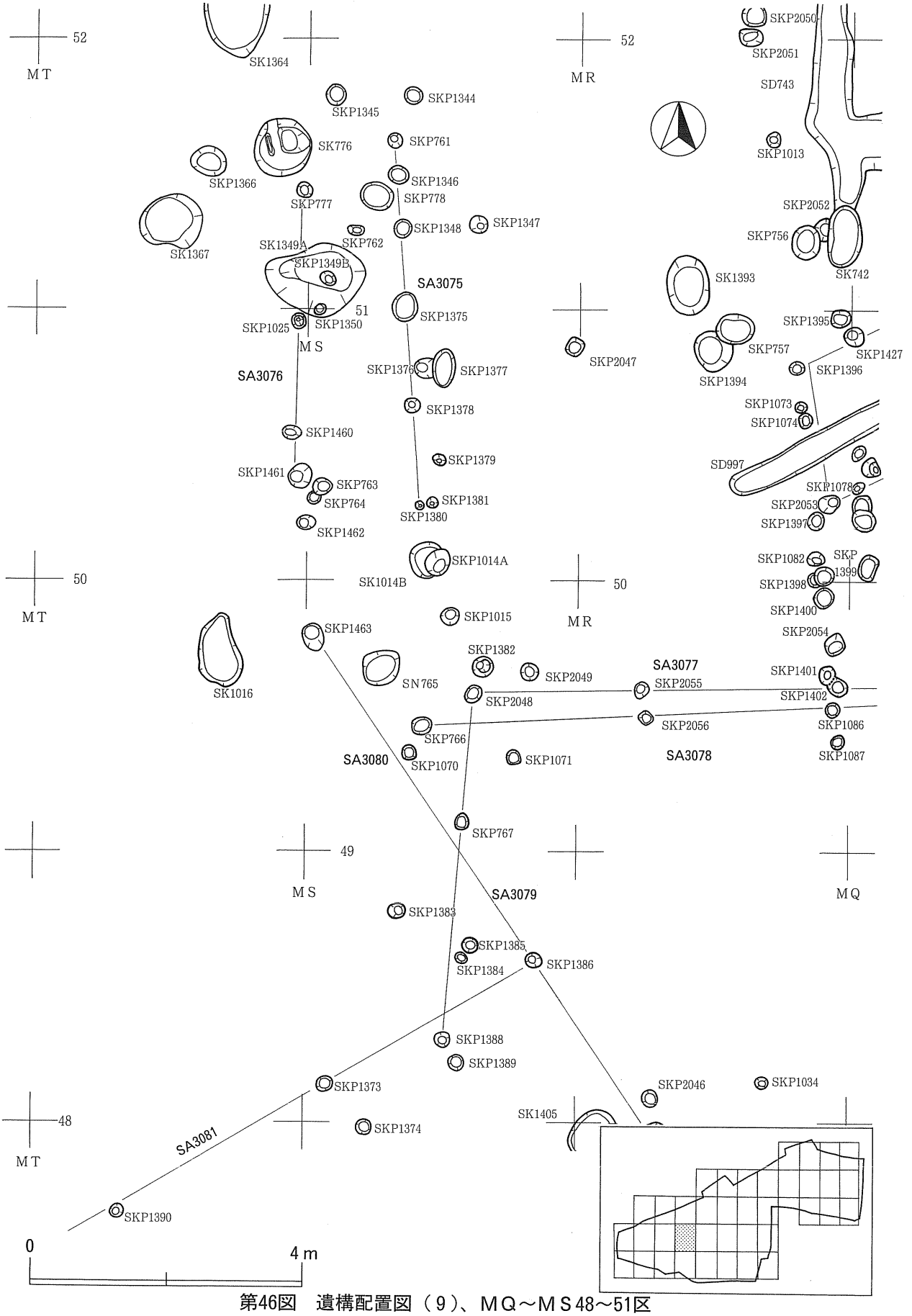
第43図　遺構配置図（６）、ＭＴ～ＮＢ52～55区



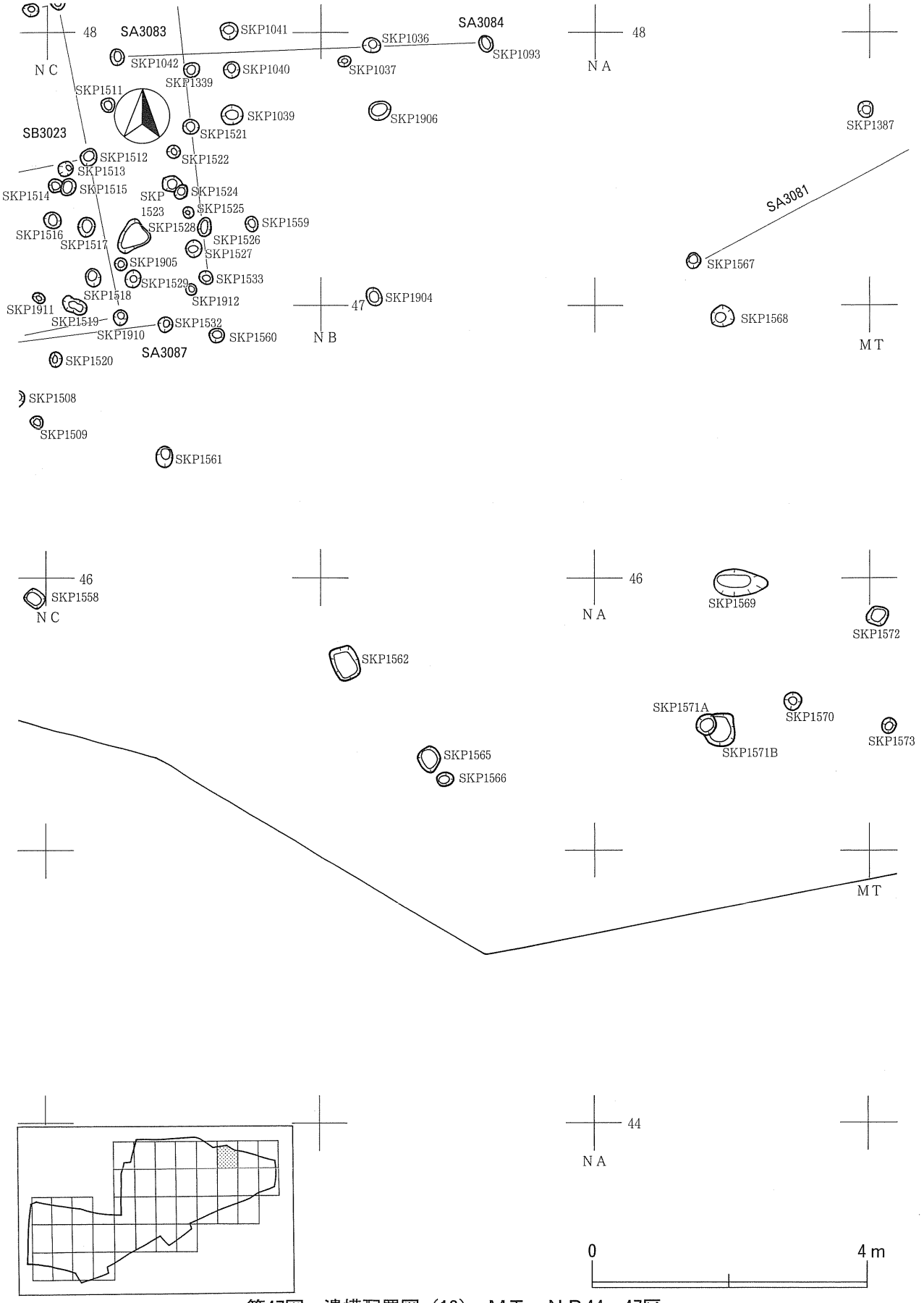
第44図　遺構配置図（７）、ＭＱ～ＭＳ52～55区



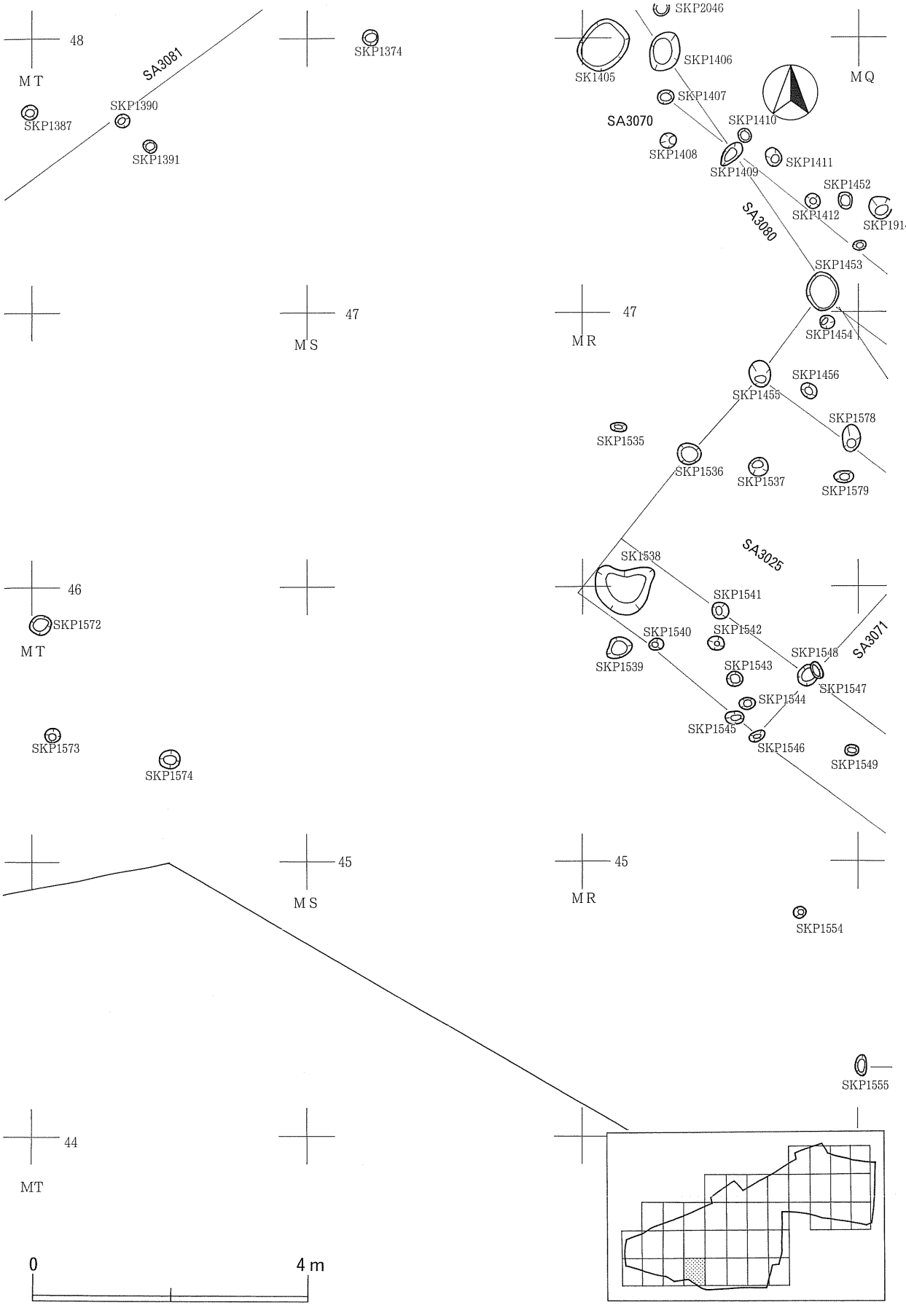
第45図　遺構配置図（８）、ＭＴ～ＮＢ48～51区



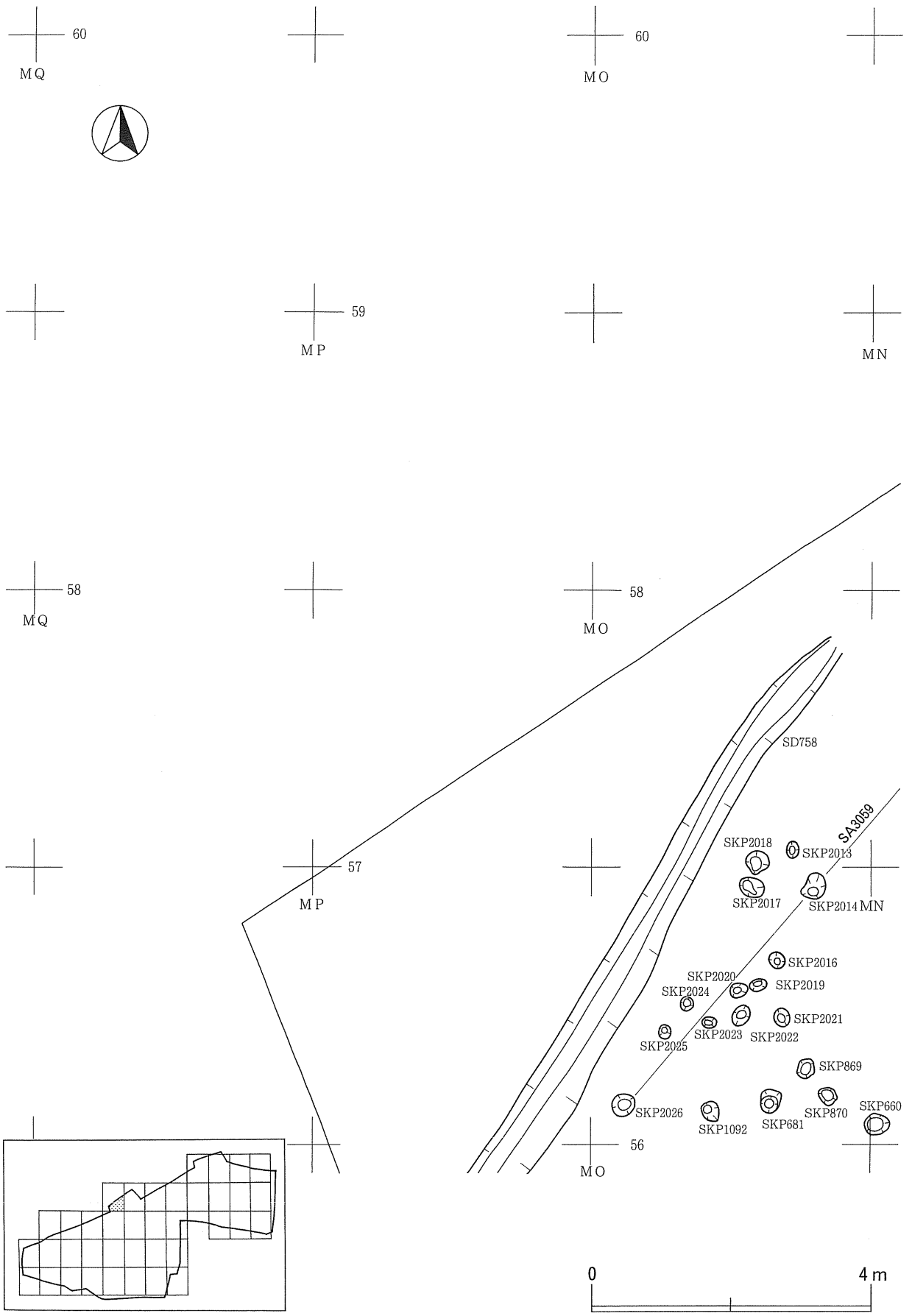
第46図　遺構配置図（９）、ＭＱ～ＭＳ48～51区



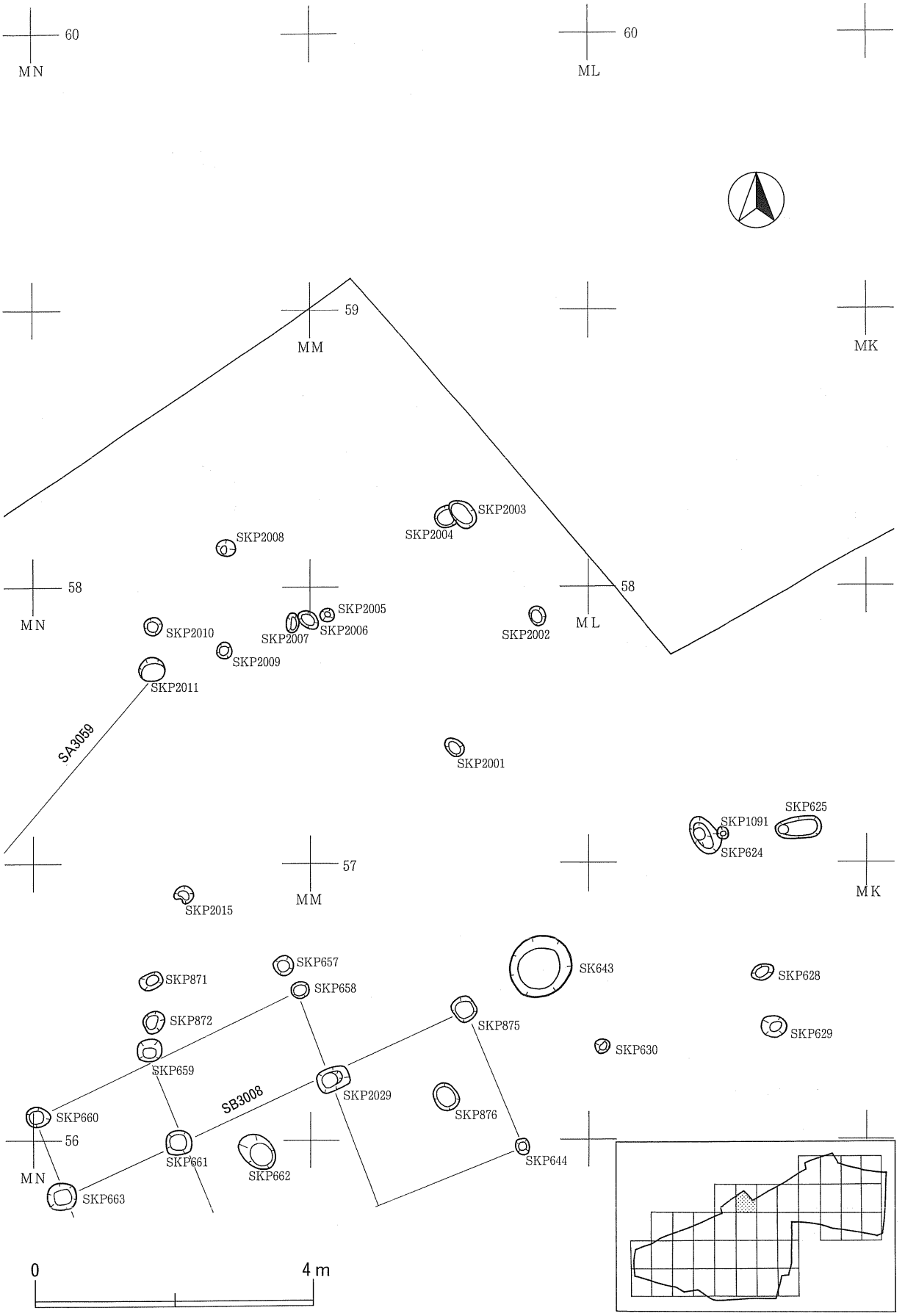
第47図　遺構配置図（10）、ＭＴ～ＮＢ44～47区



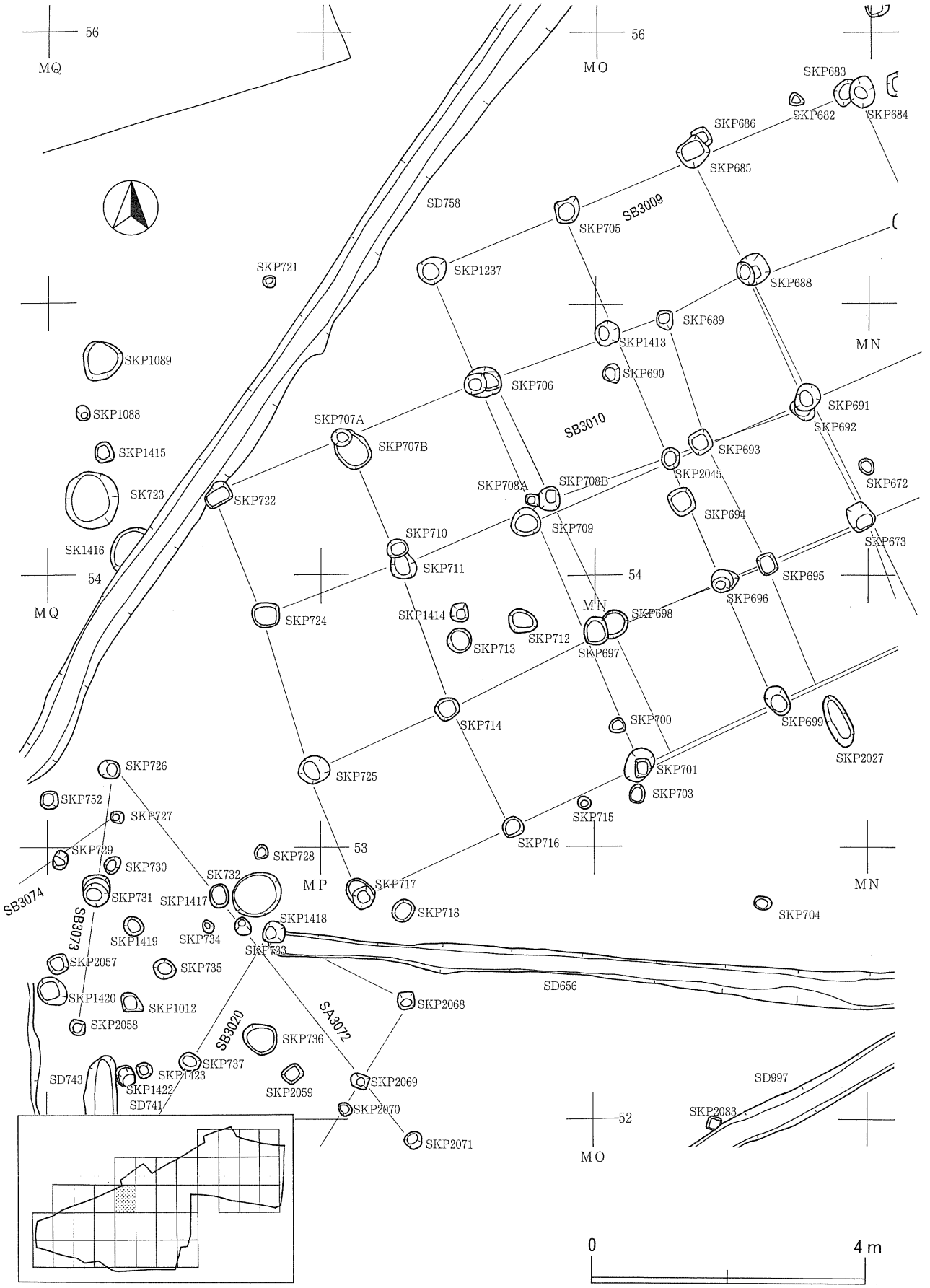
第48図　遺構配置図（11）、ＭＱ～ＭＳ44～47区



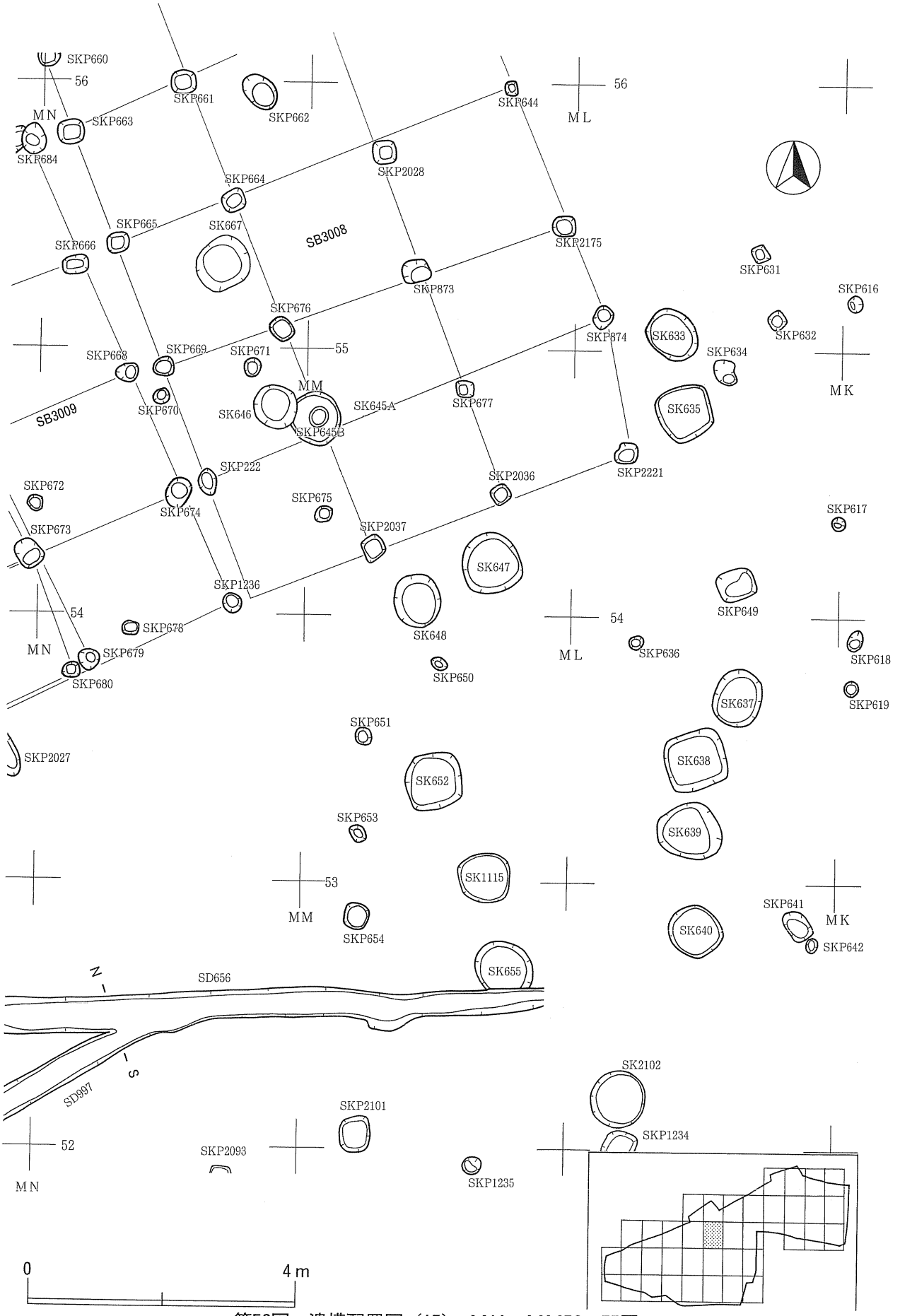
第49図　遺構配置図（12）、ＭＮ～ＭＰ56～59区



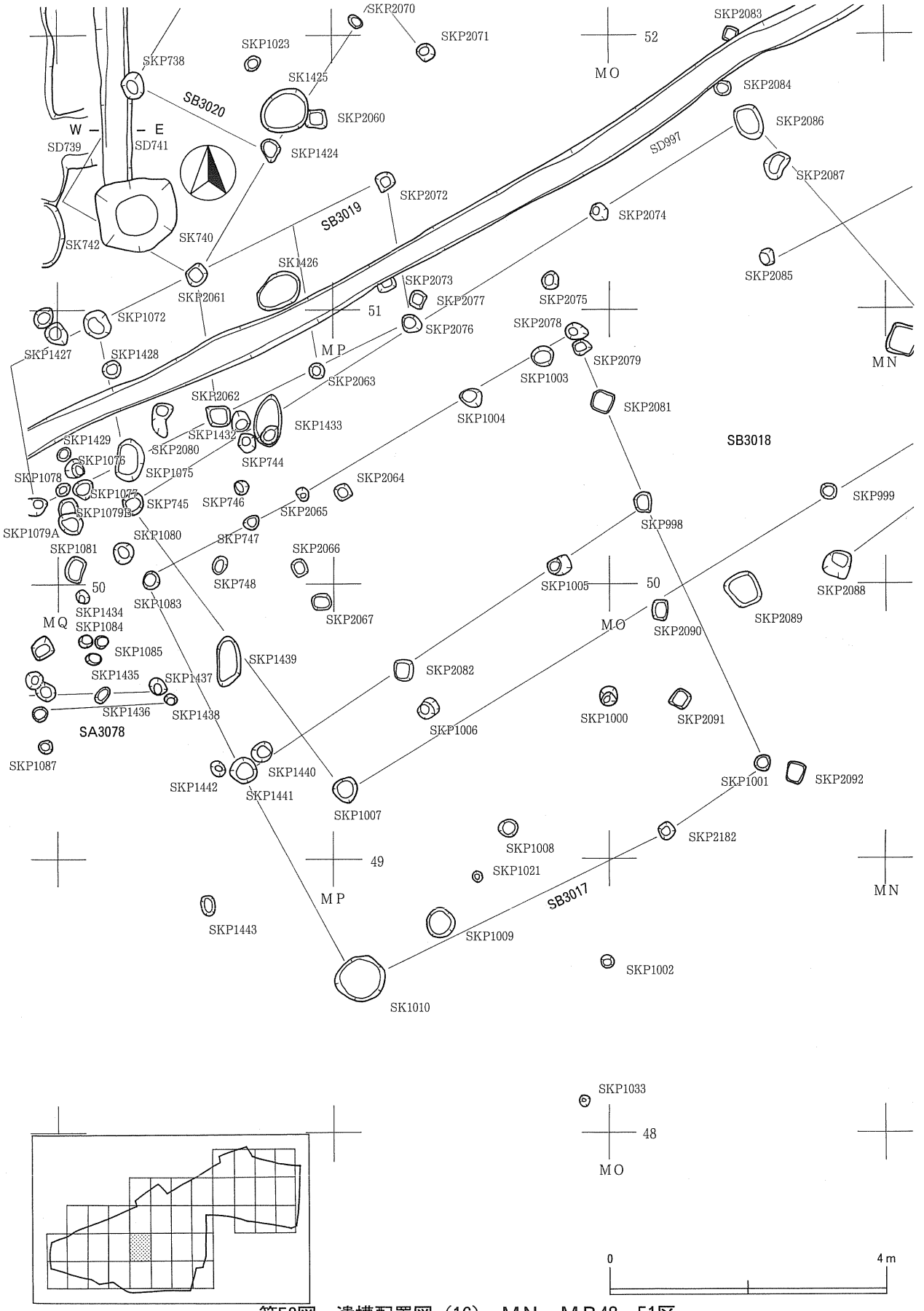
第50図　遺構配置図（13）、ＭＫ～ＭＭ56～59区



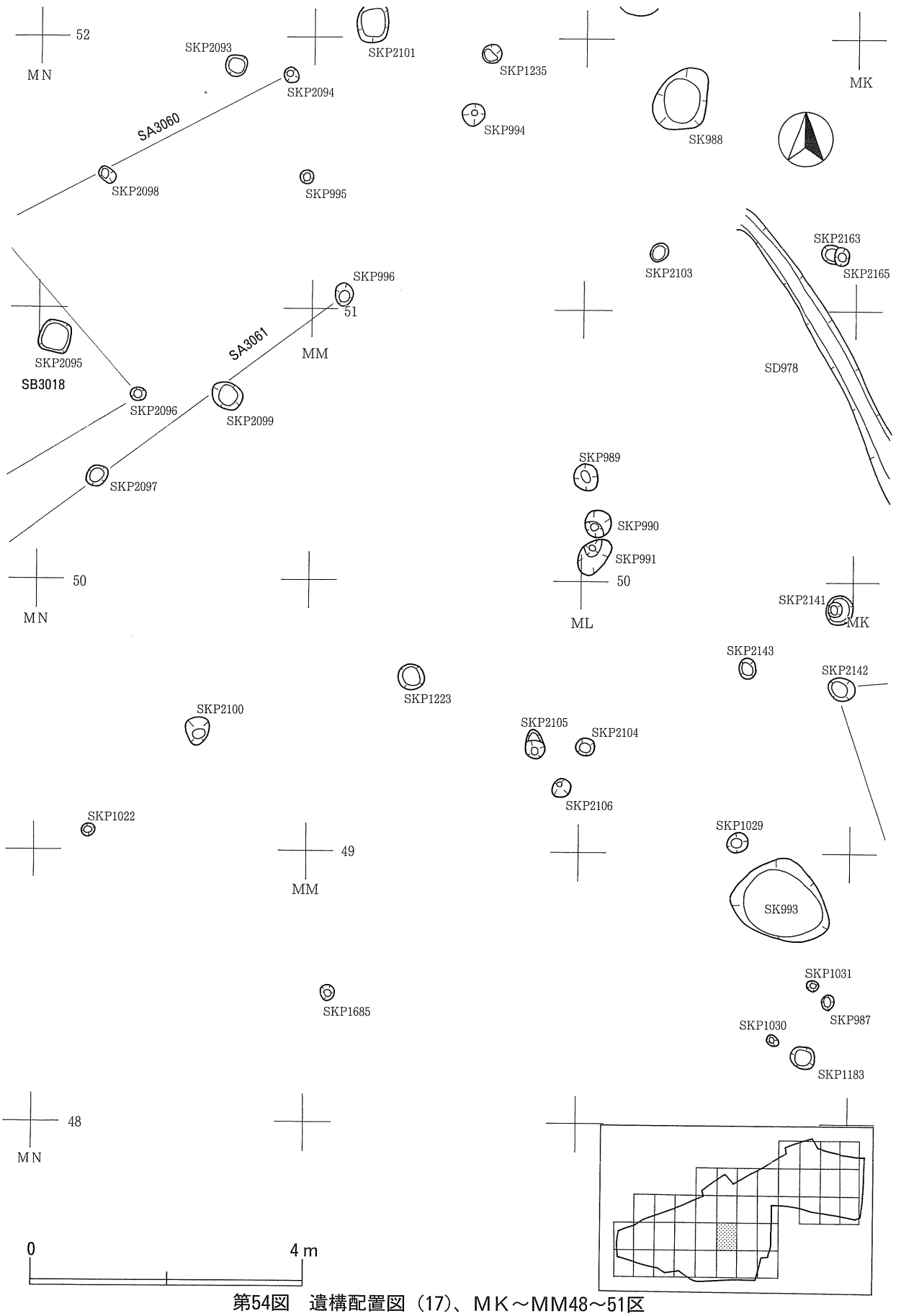
第51図　遺構配置図（14）、ＭＮ～ＭＰ52～55区



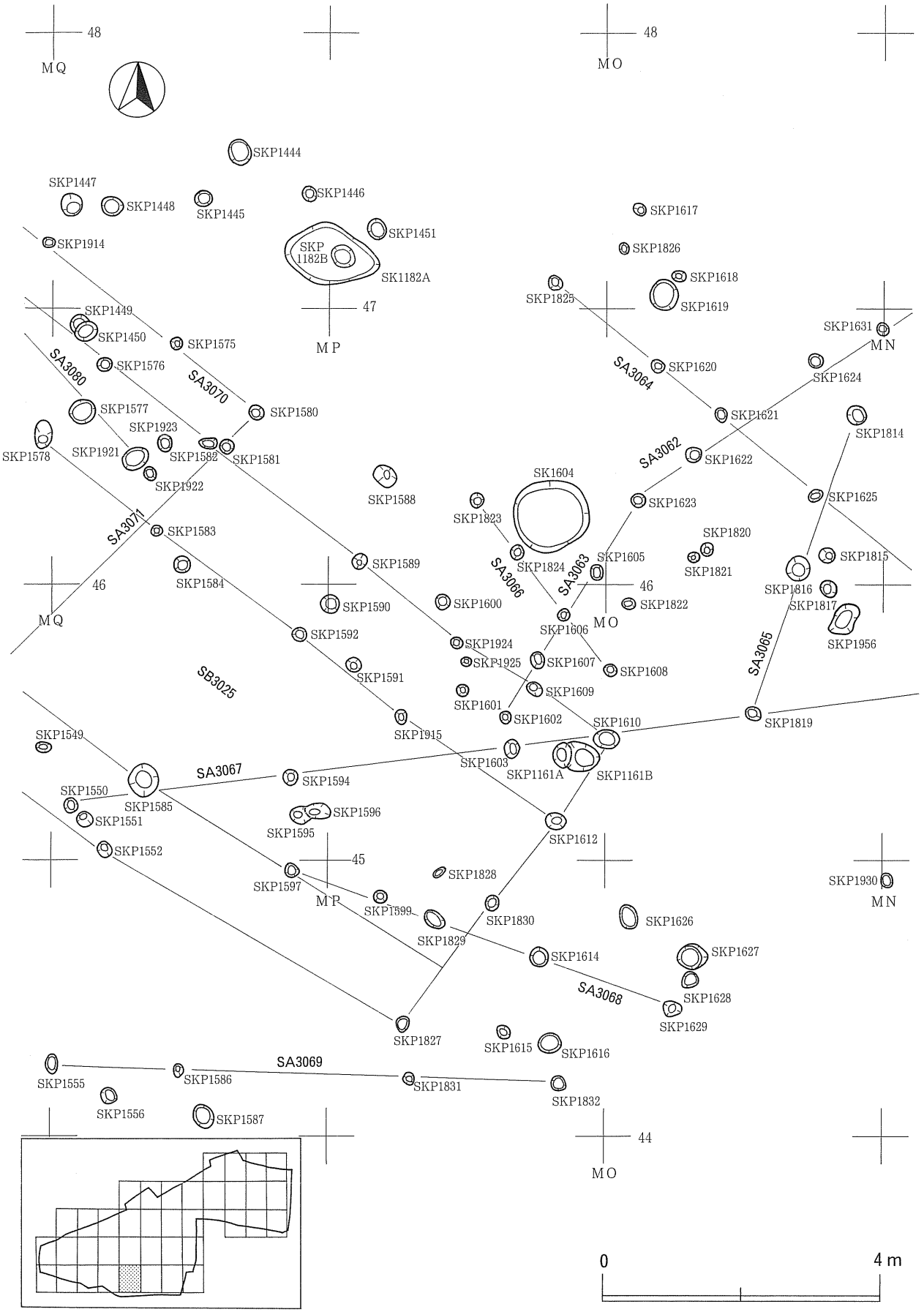
第52図　遺構配置図（15）、ＭＫ～ＭＭ52～55区



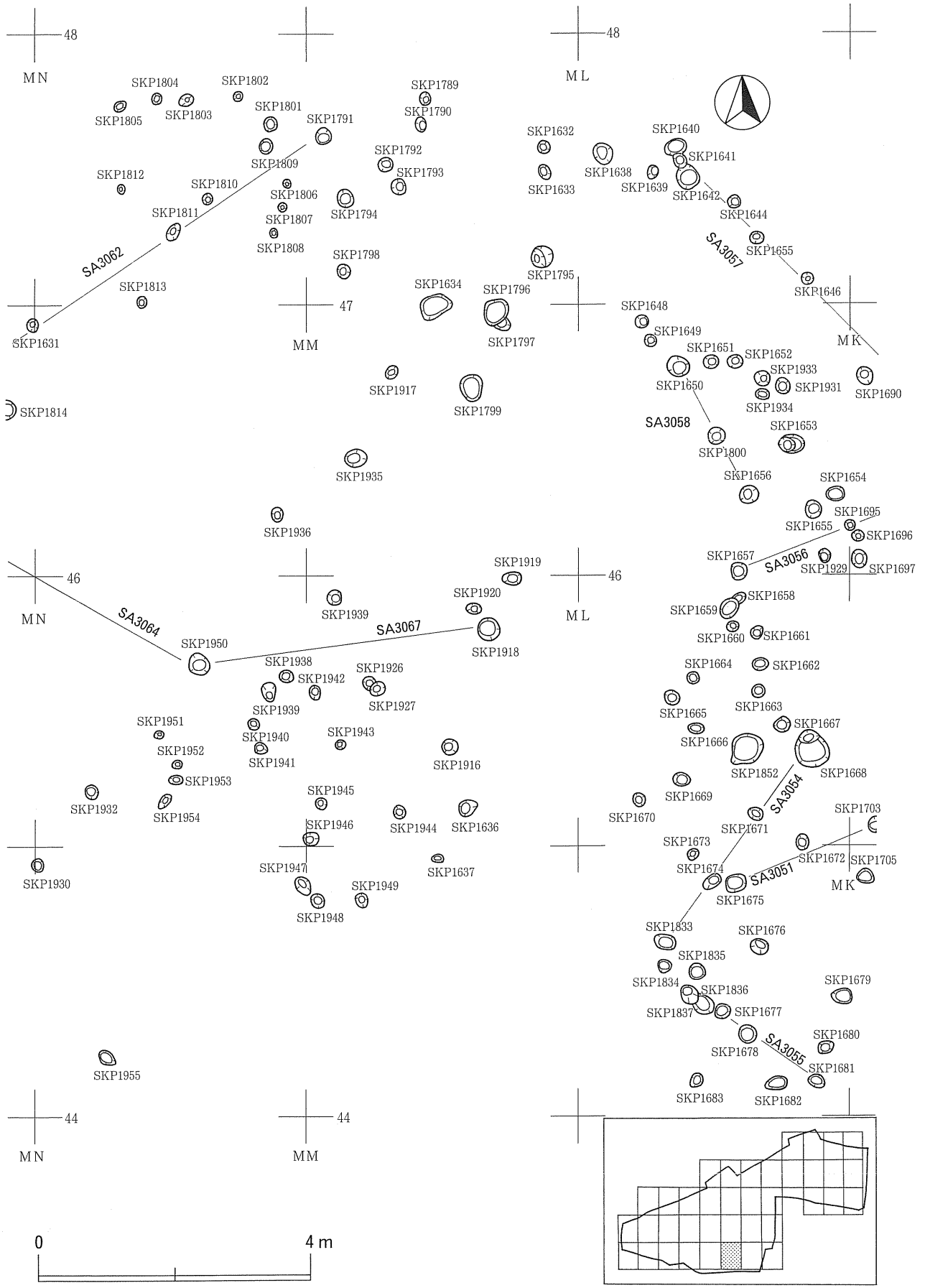
第53図　遺構配置図（16）、ＭＮ～ＭＰ48～51区



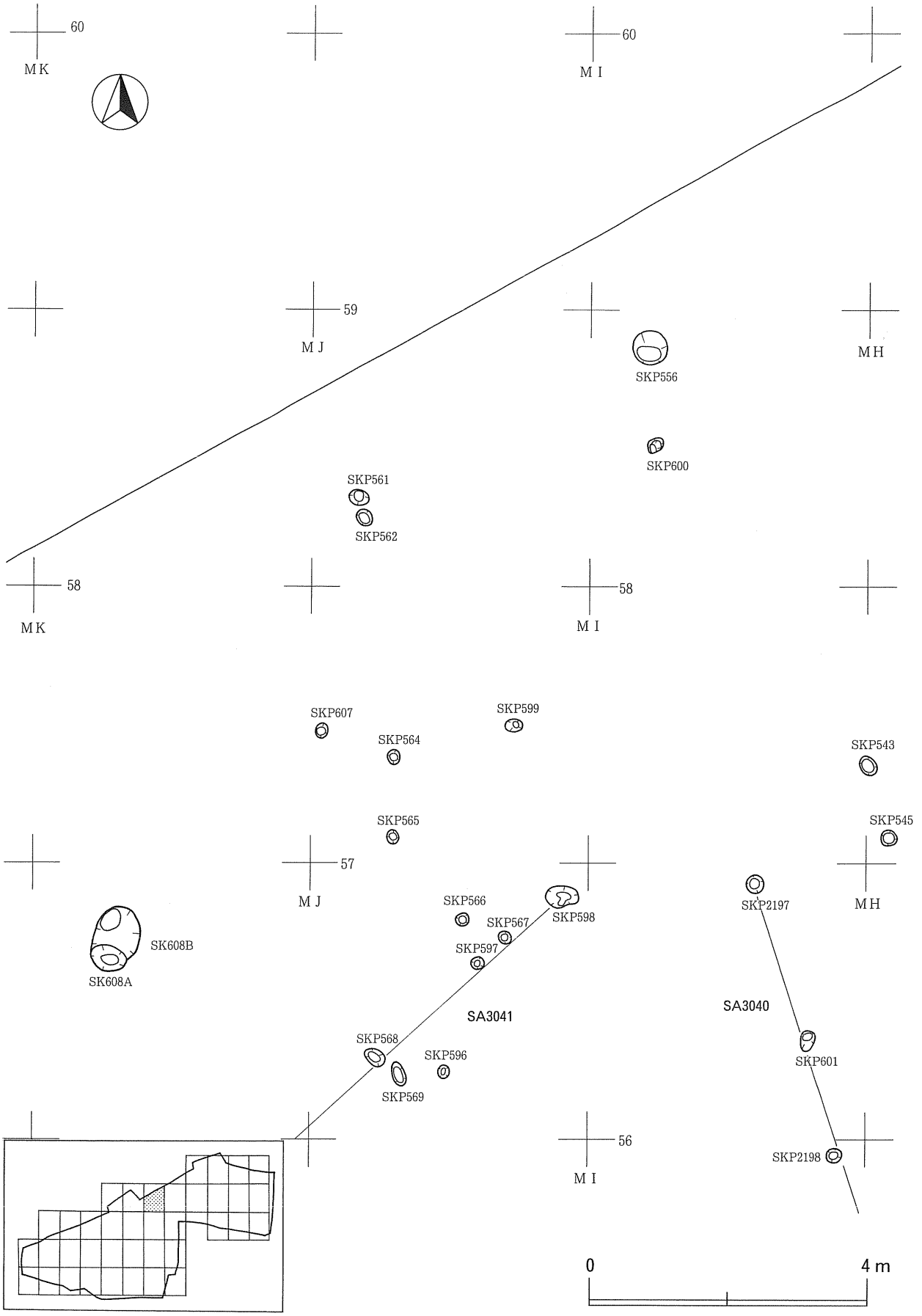
第54図　遺構配置図（17）、ＭＫ～ＭＭ48～51区



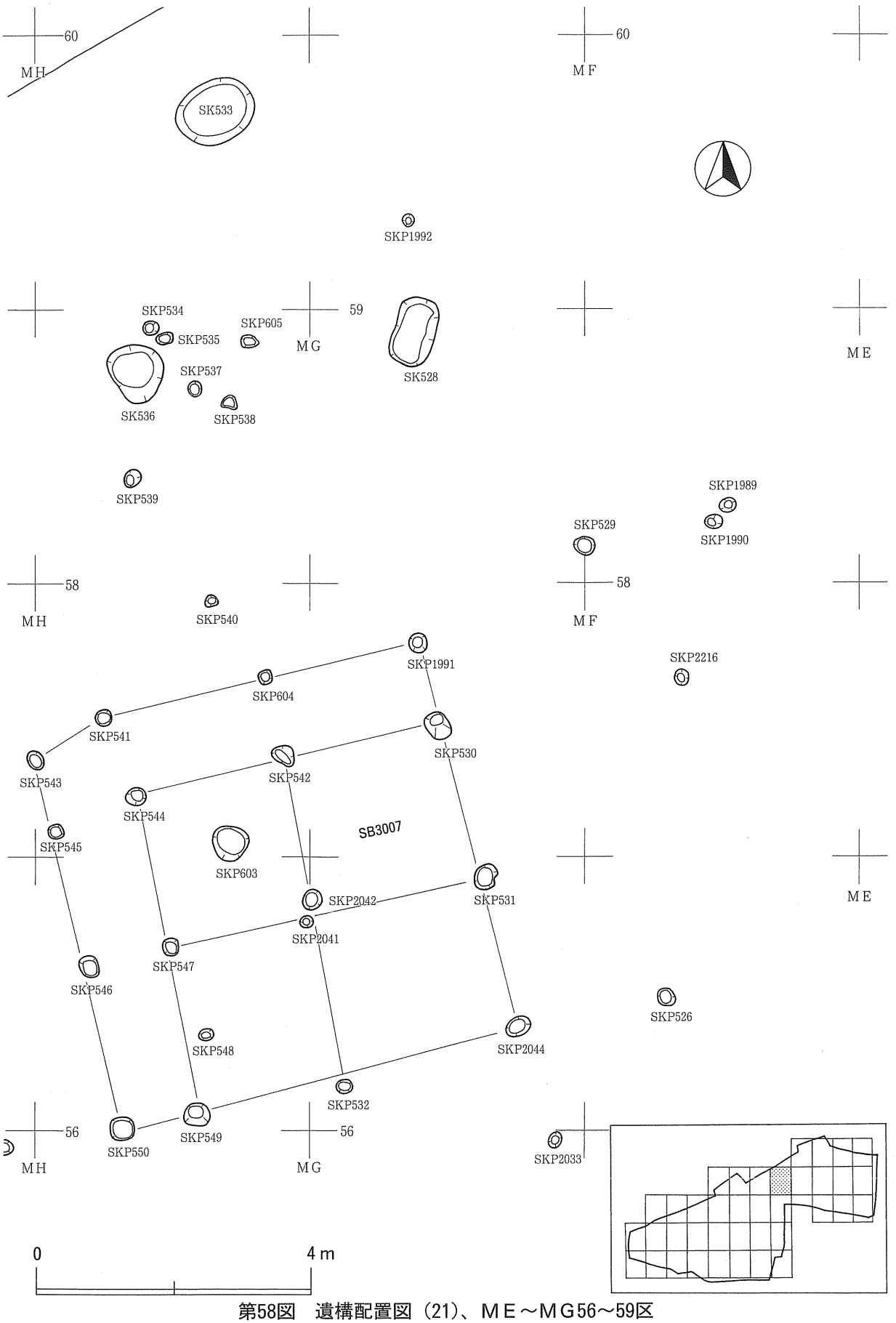
第55図　遺構配置図（18）、ＭＮ～ＭＰ44～47区



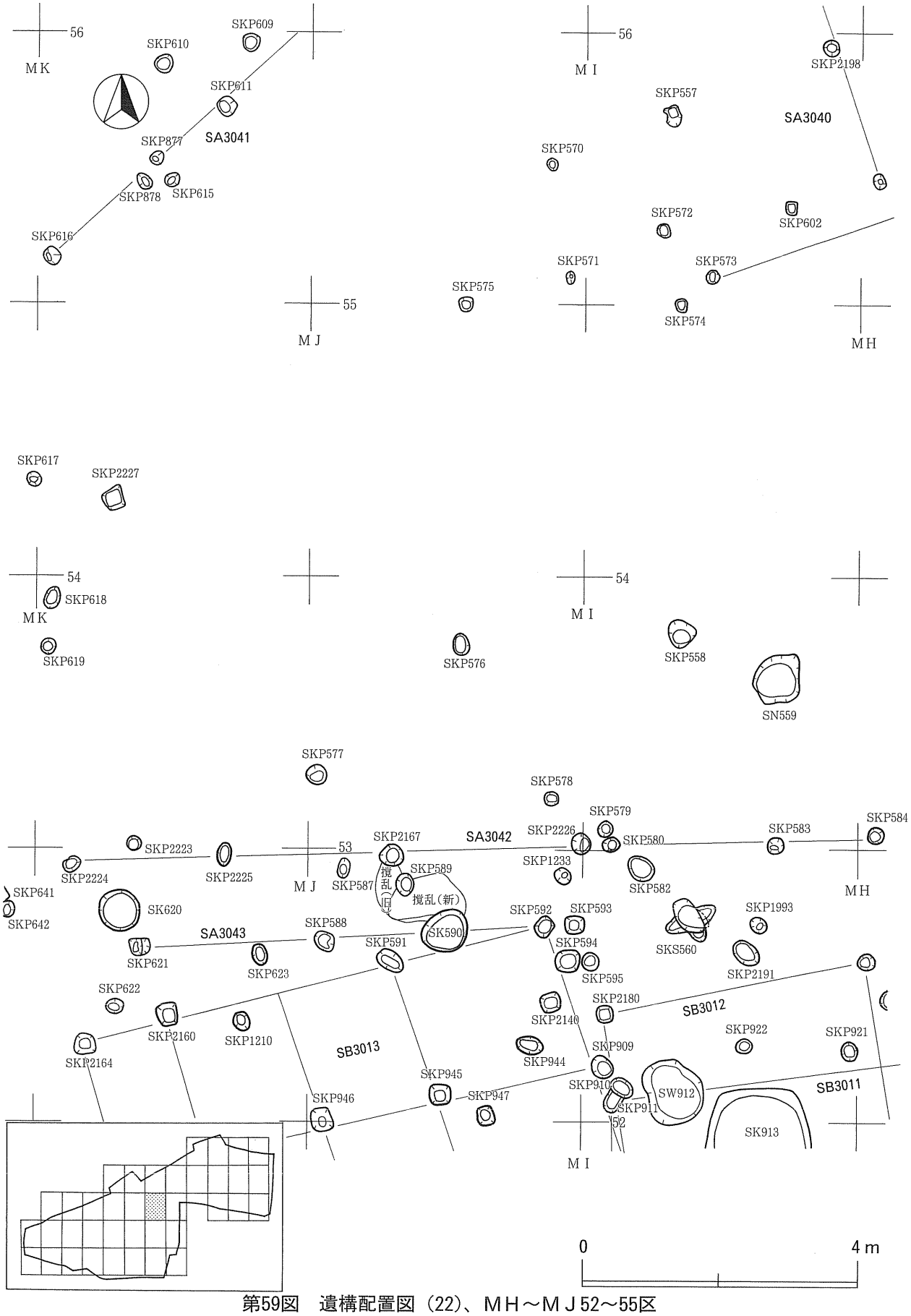
第56図　遺構配置図（19）、ＭＫ～ＭＭ44～47区



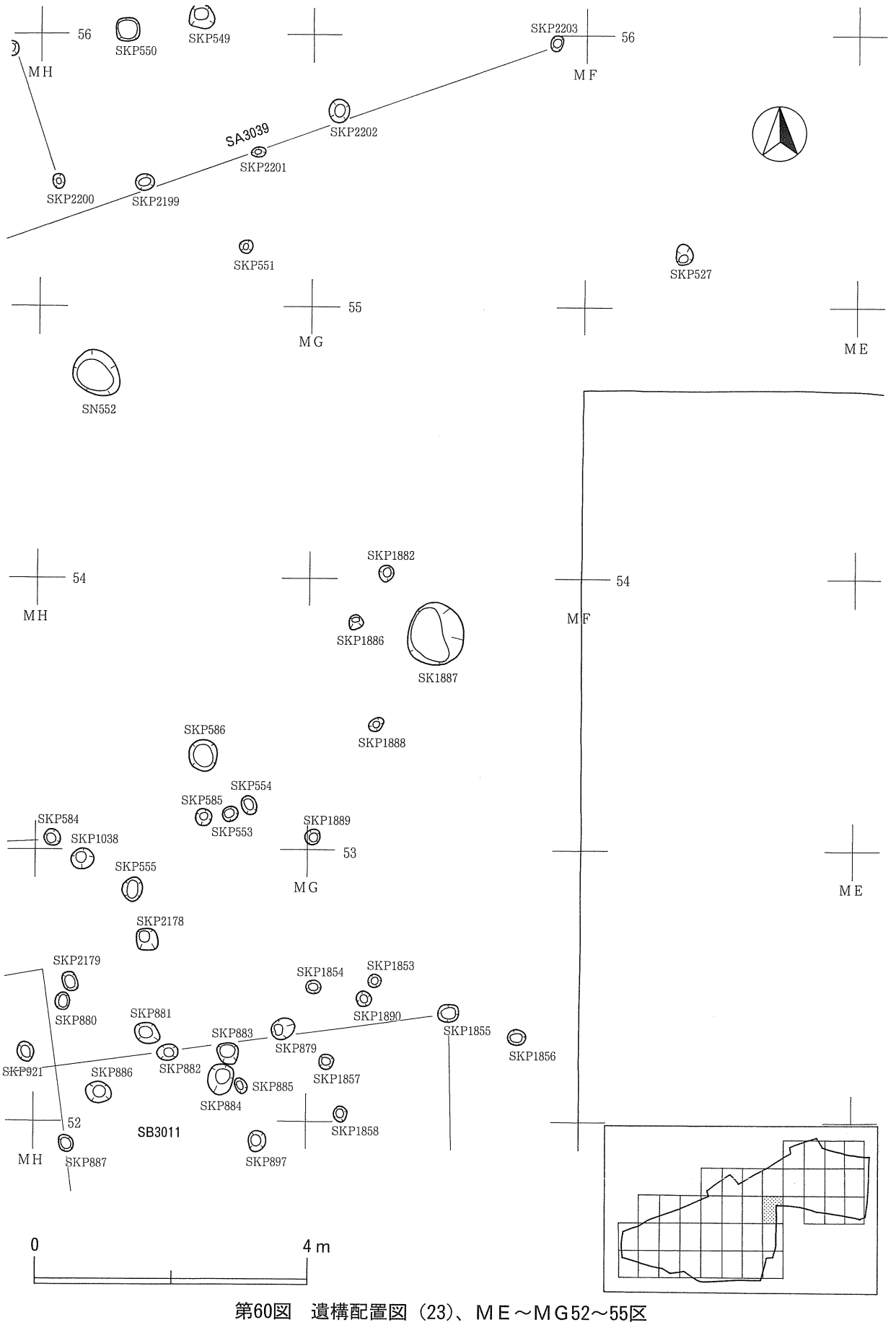
第57図　遺構配置図（20）、ＭＨ～ＭＪ56～59区



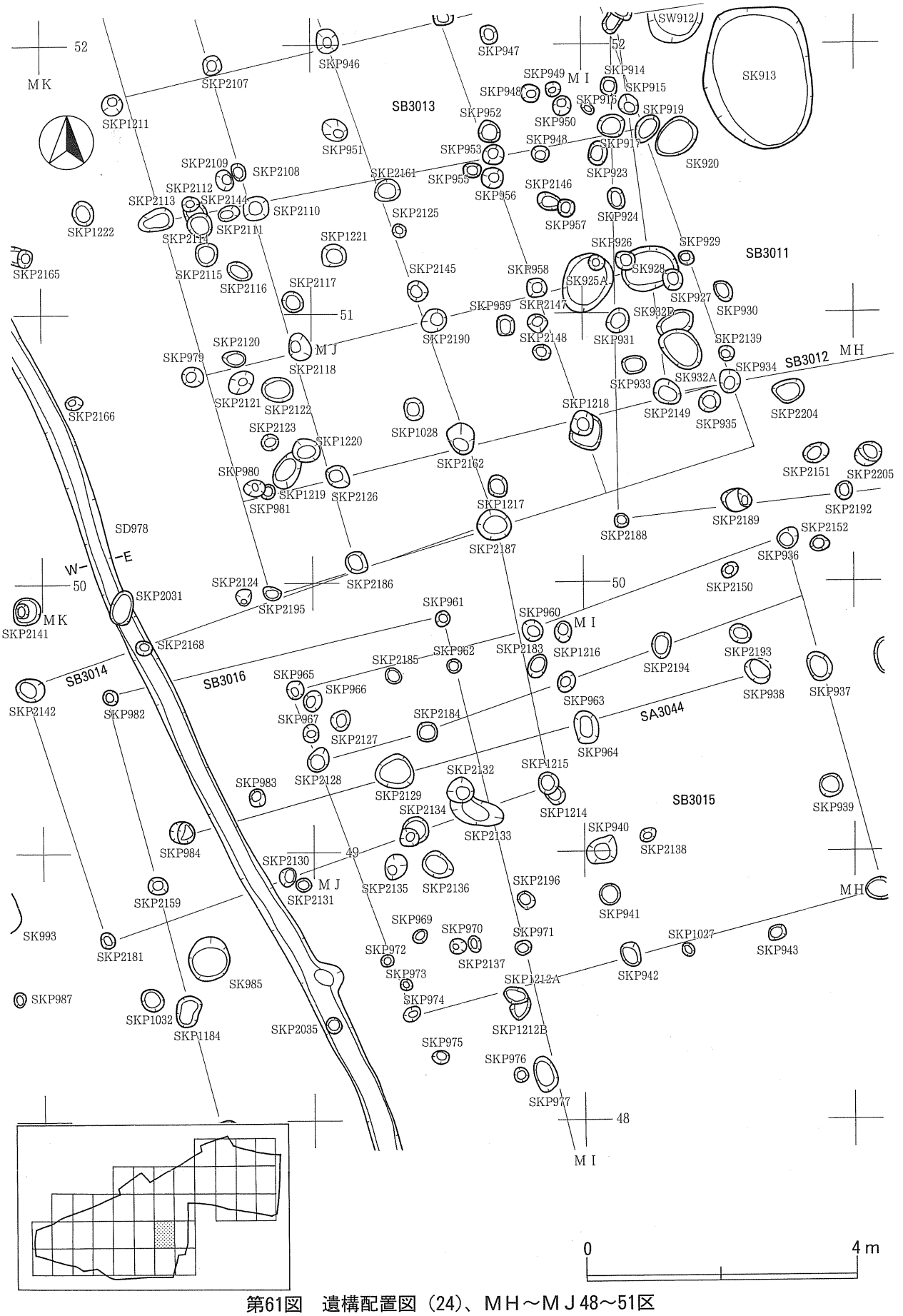
第58図　遺構配置図（21）、ＭＥ～ＭＧ56～59区



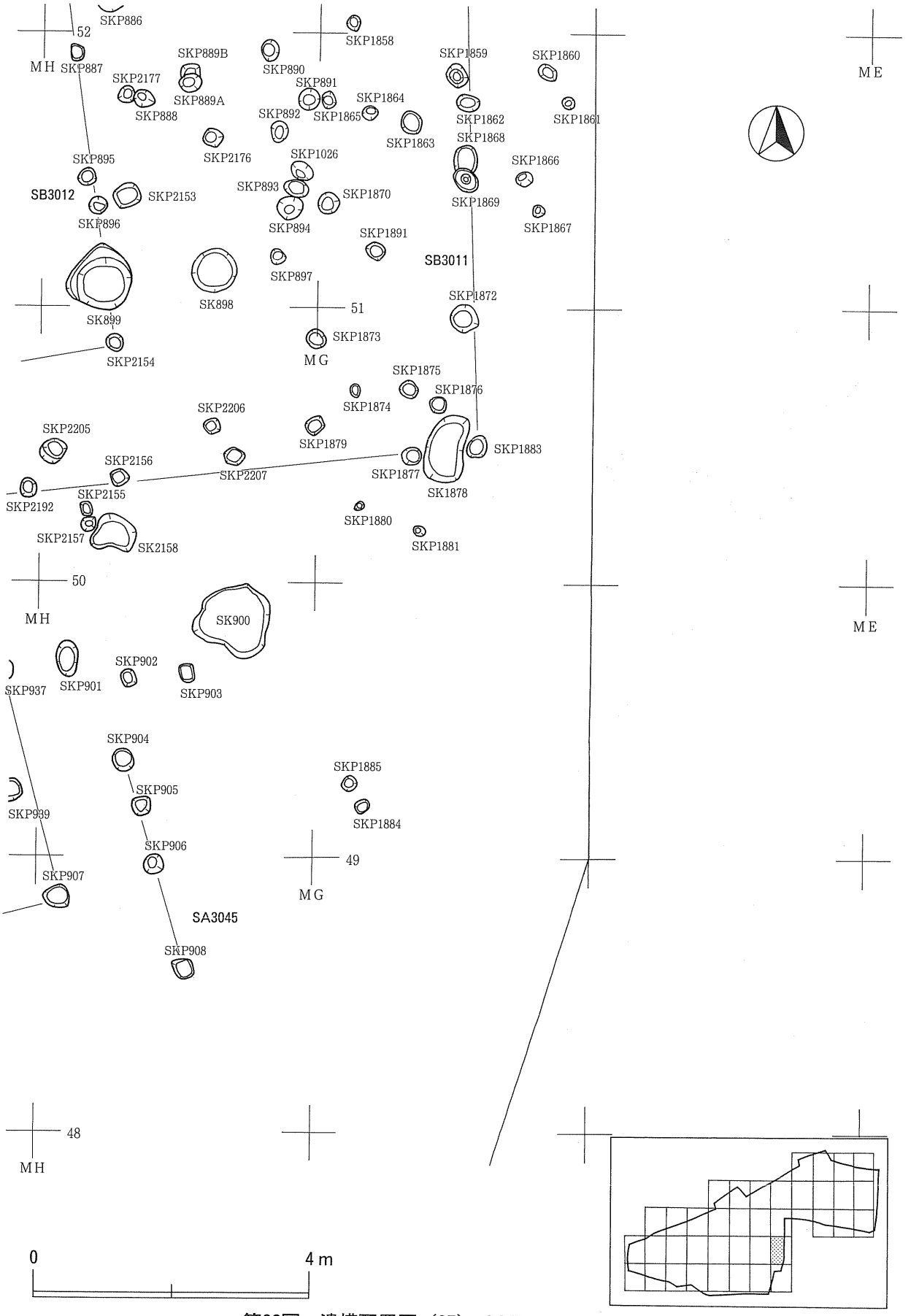
第59図　遺構配置図（22）、ＭＨ～ＭＪ52～55区



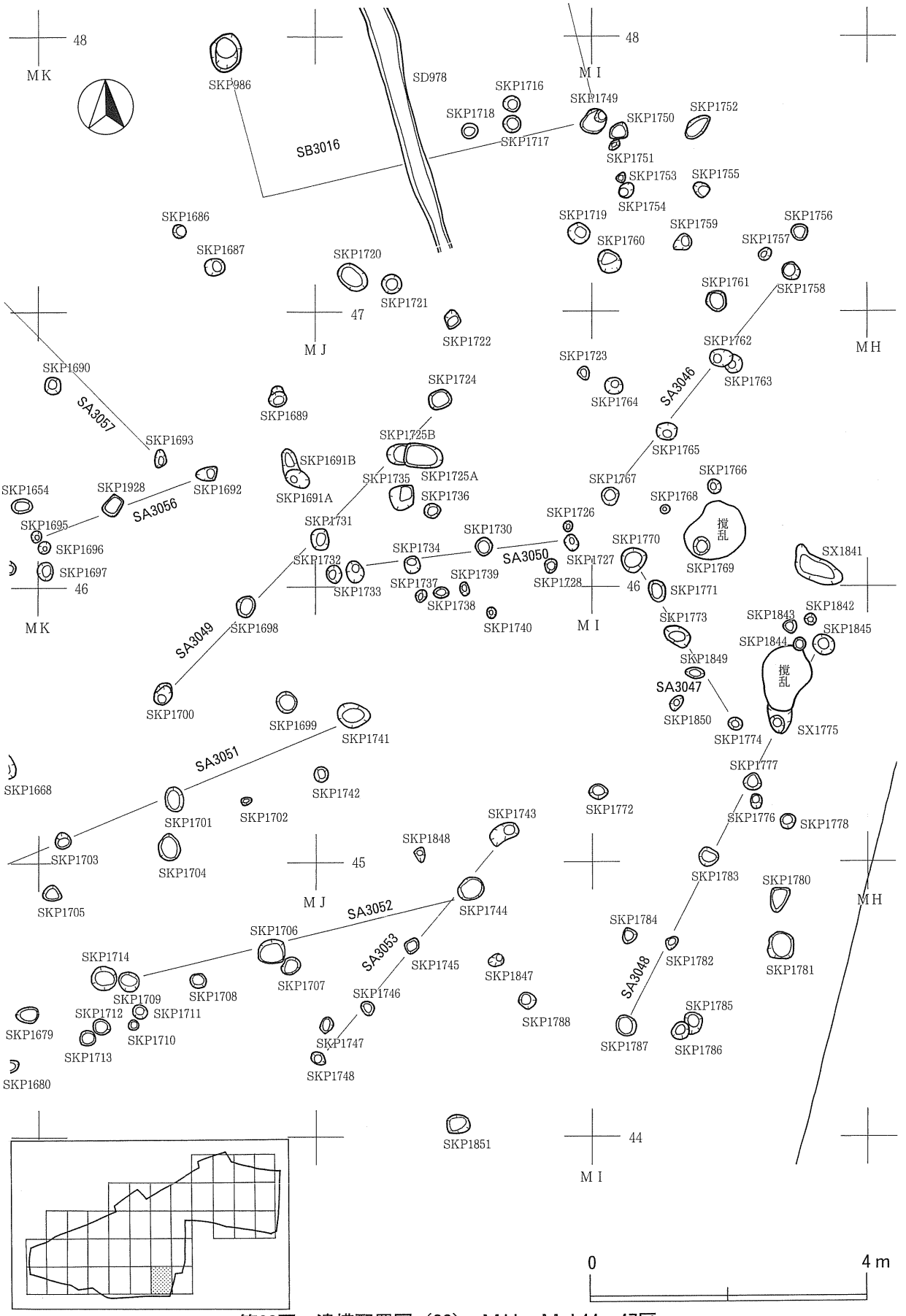
第60図　遺構配置図（23）、ＭＥ～ＭＧ52～55区



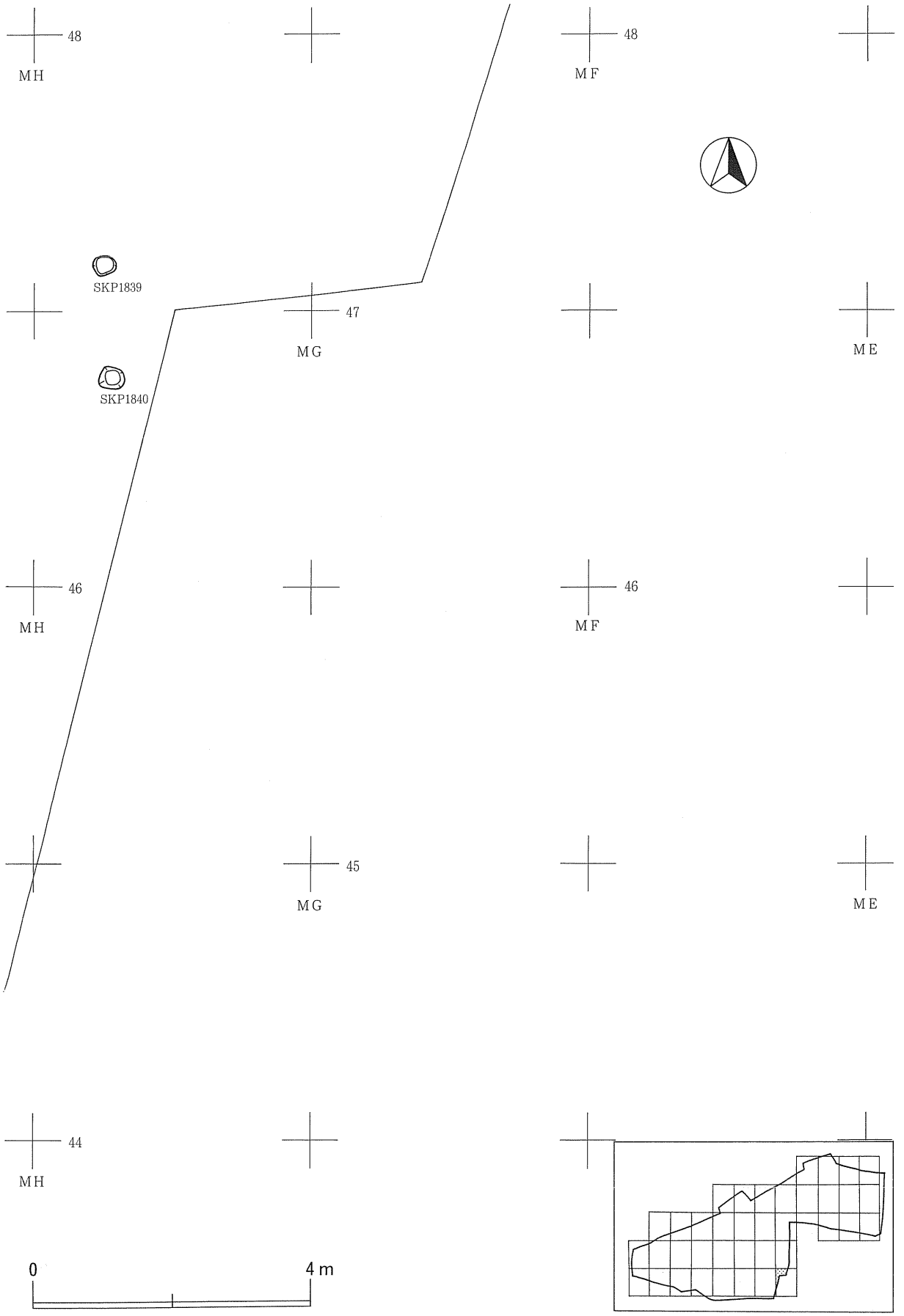
第61図　遺構配置図（24）、ＭＨ～ＭＪ48～51区



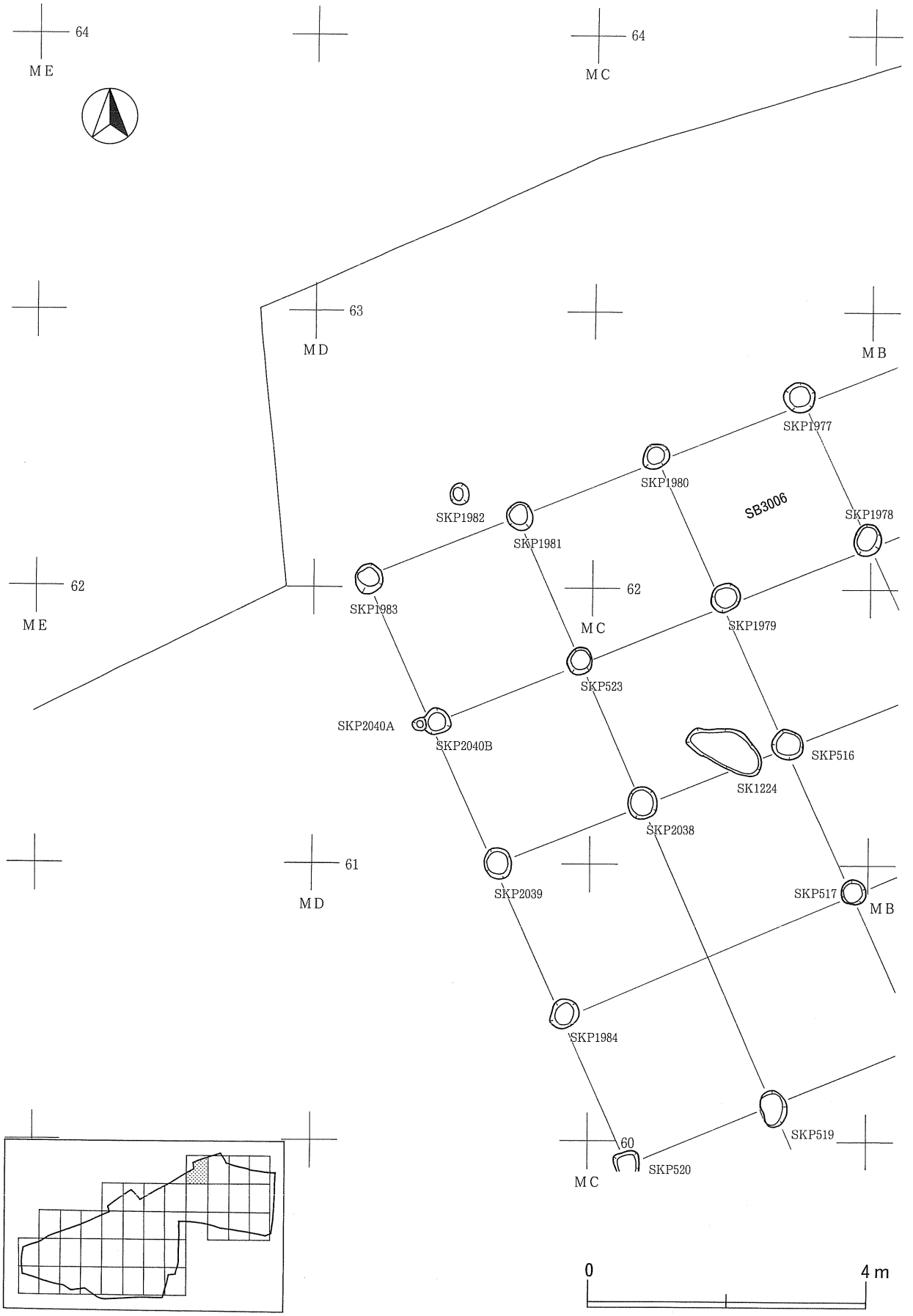
第62図　遺構配置図（25）、ＭＥ～ＭＧ48～51区



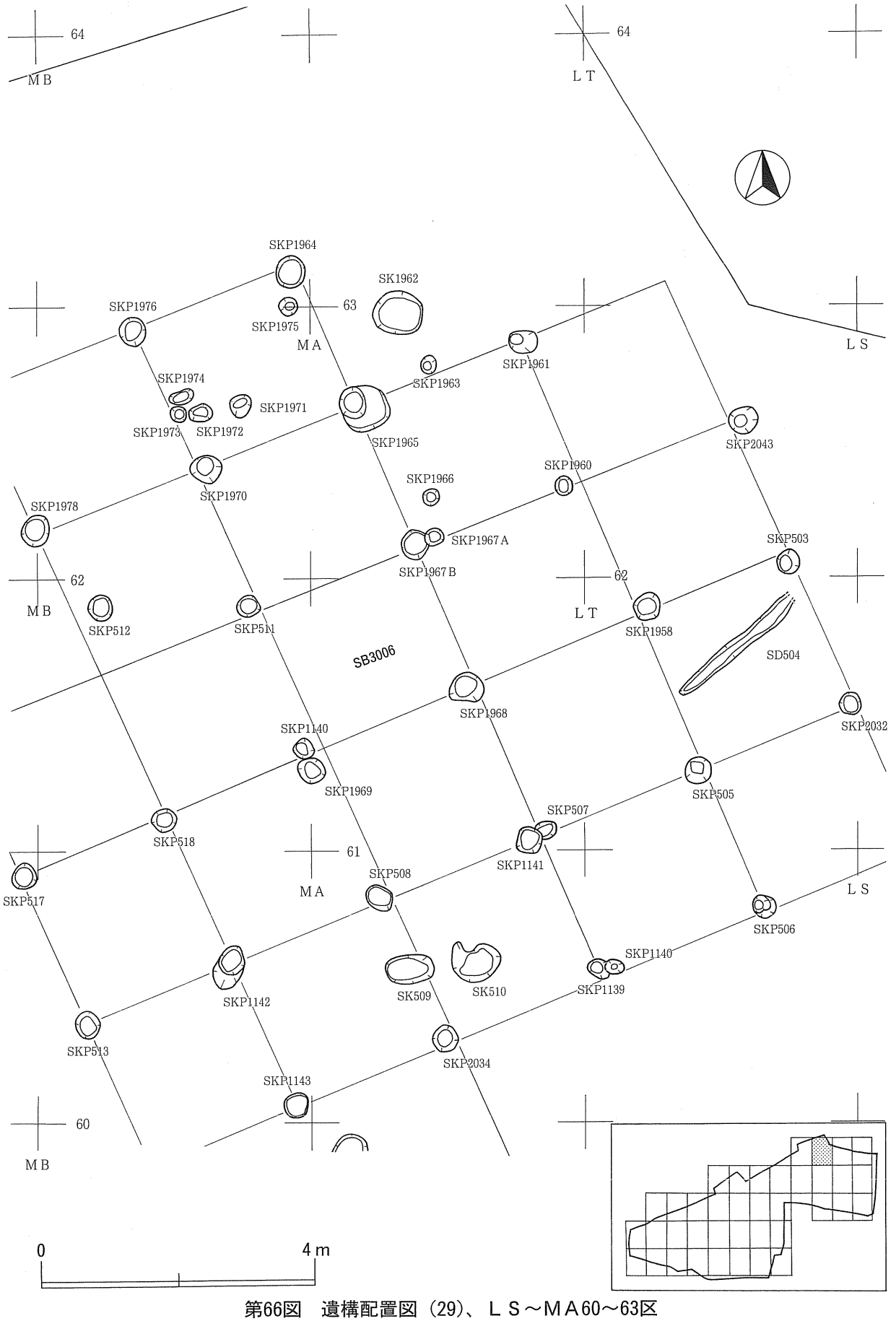
第63図　遺構配置図（26）、ＭＨ～ＭＪ44～47区



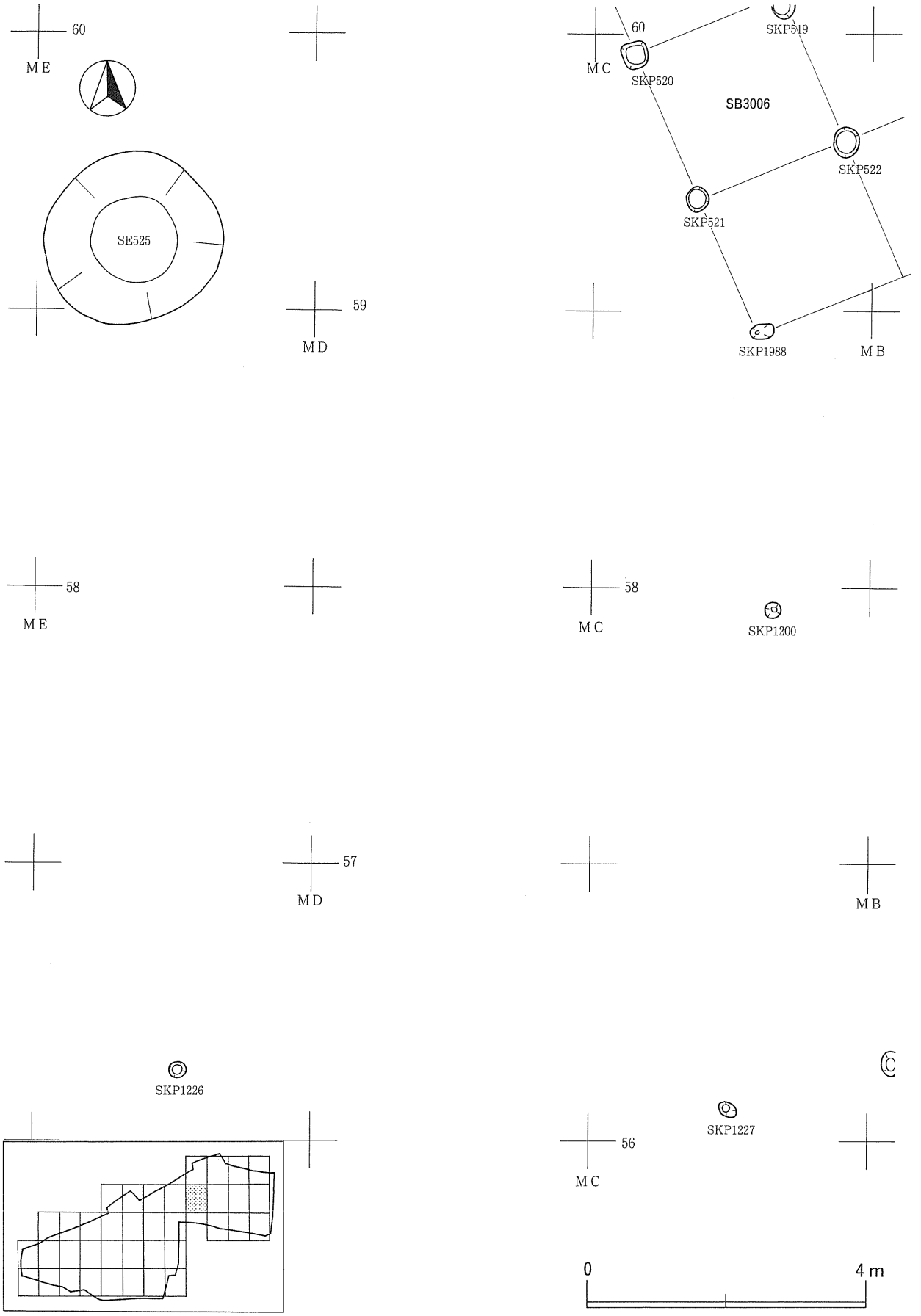
第64図　遺構配置図（27）、ＭＥ～ＭＧ44～47区



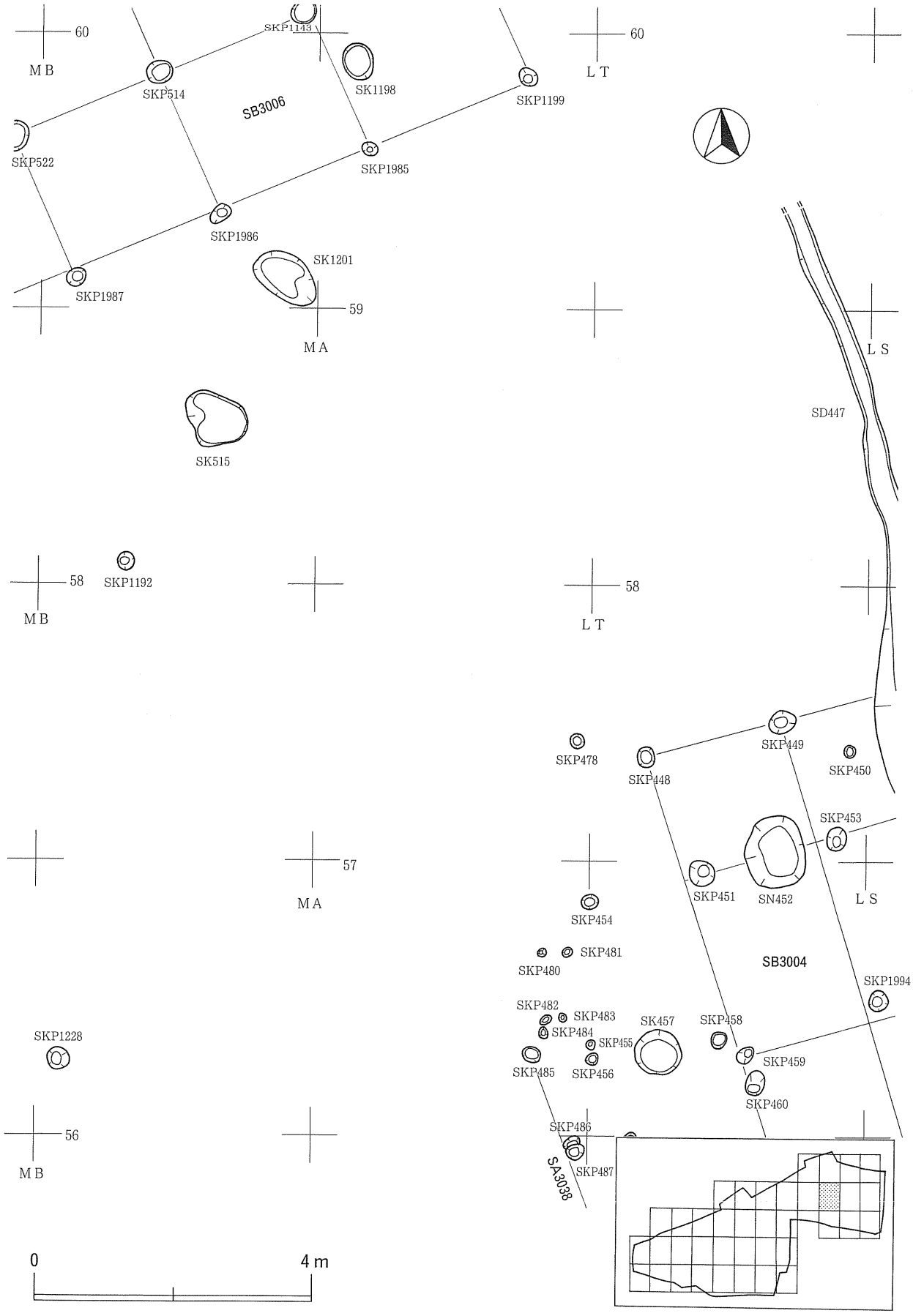
第65図　遺構配置図（28）、ＭＢ～ＭＤ60～63区



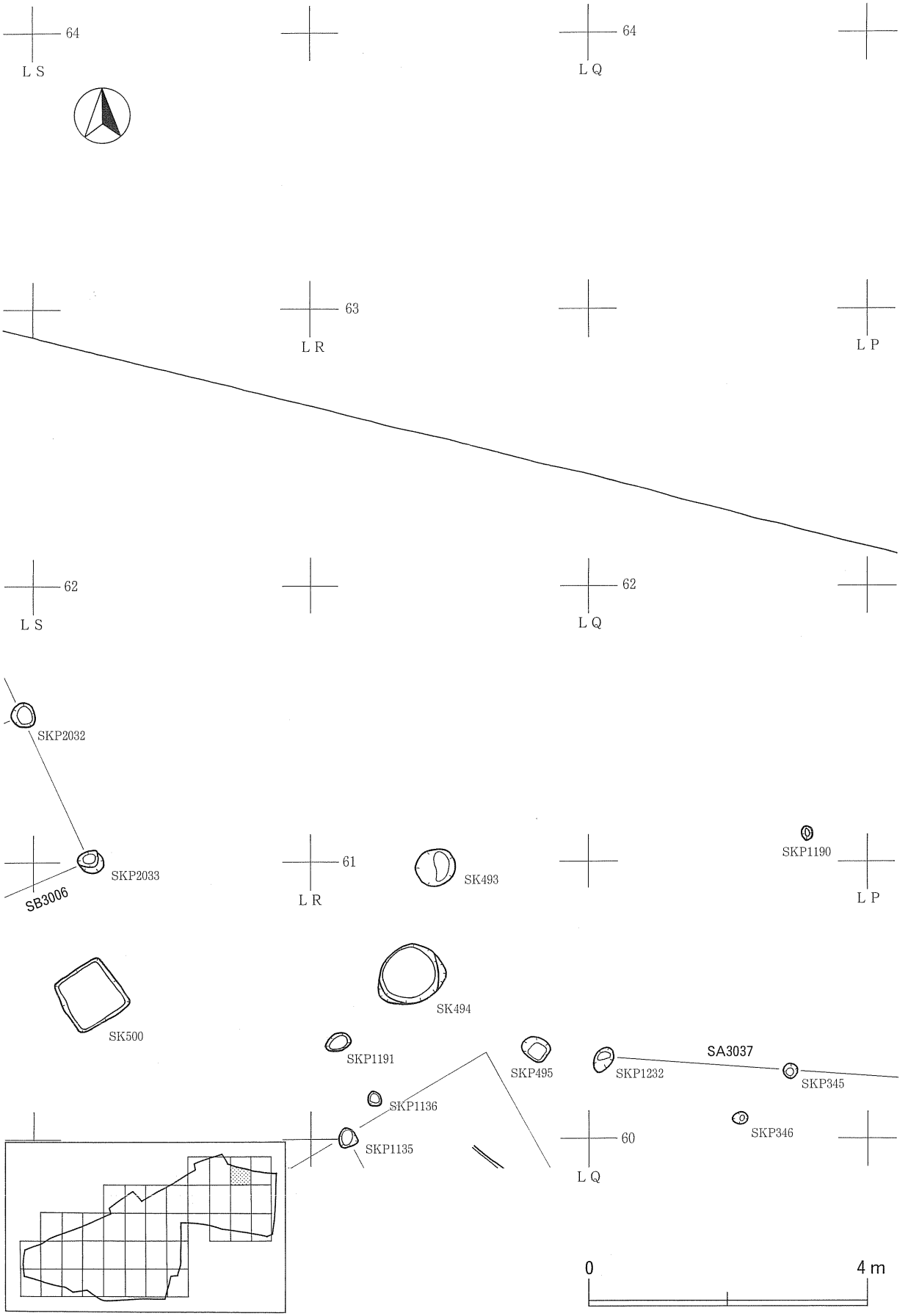
第66図　遺構配置図（29）、ＬＳ～ＭＡ60～63区



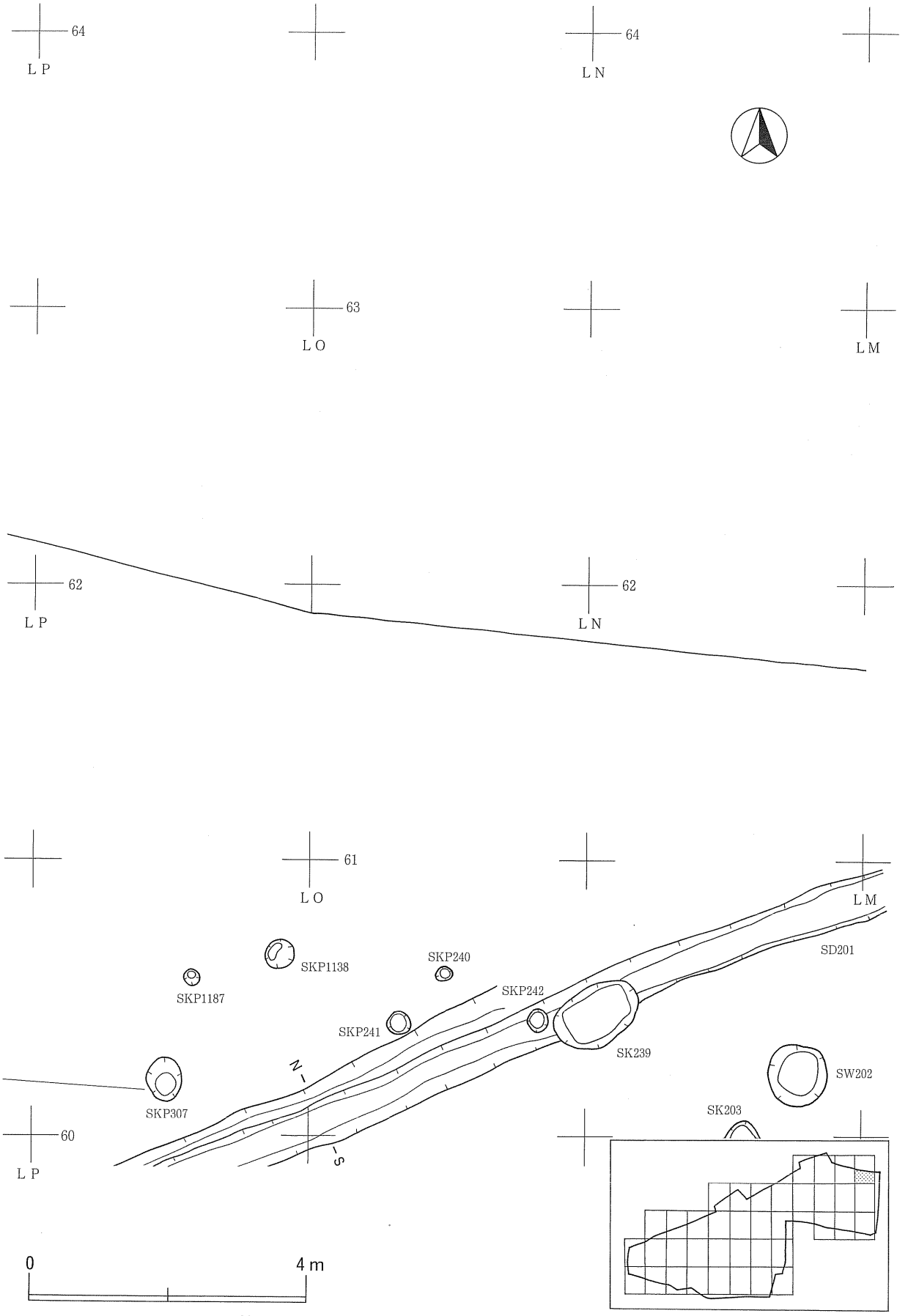
第67図　遺構配置図（30）、ＭＢ～ＭＤ56～59区



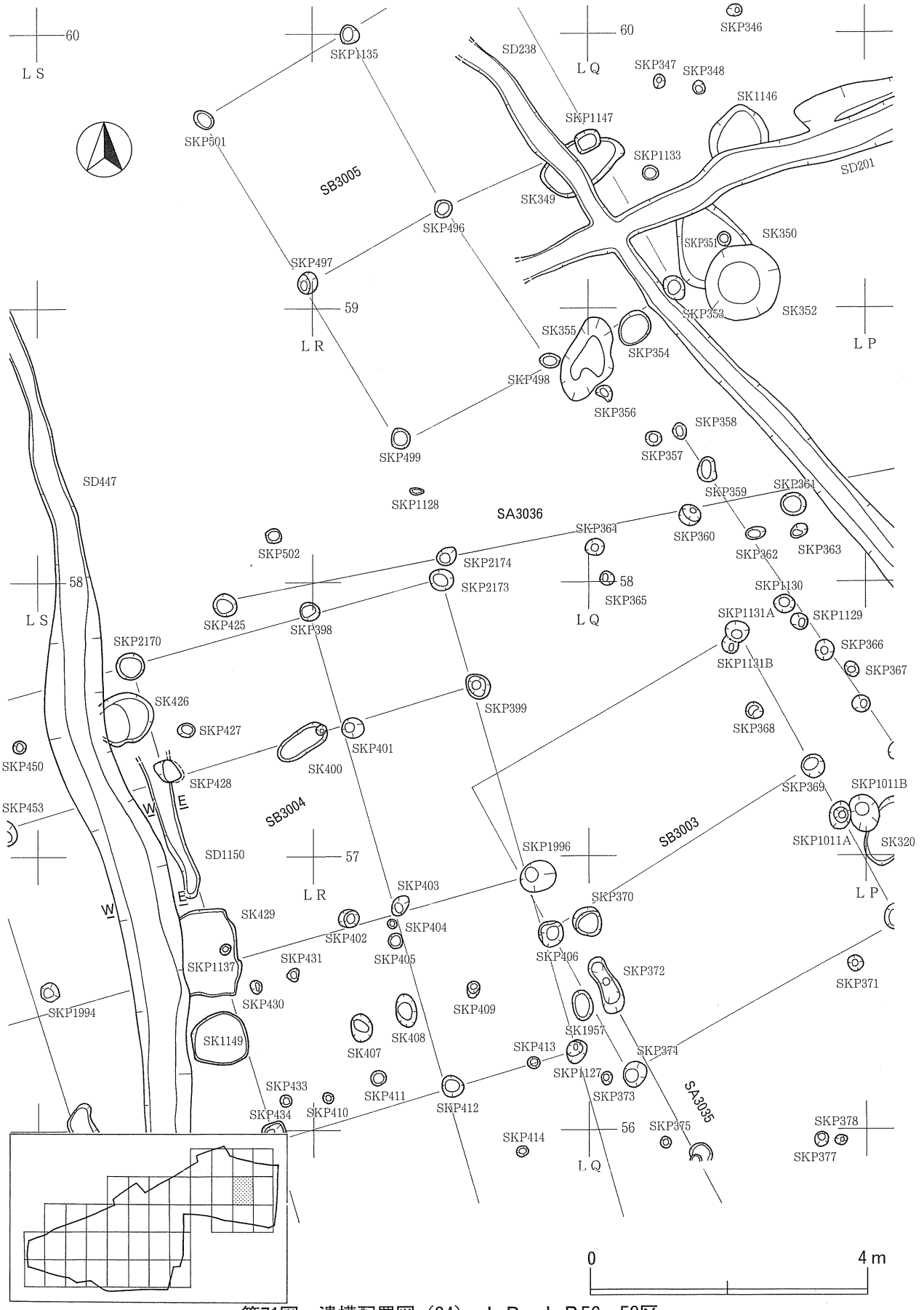
第68図　遺構配置図（31）、ＬＳ～ＭＡ56～59区



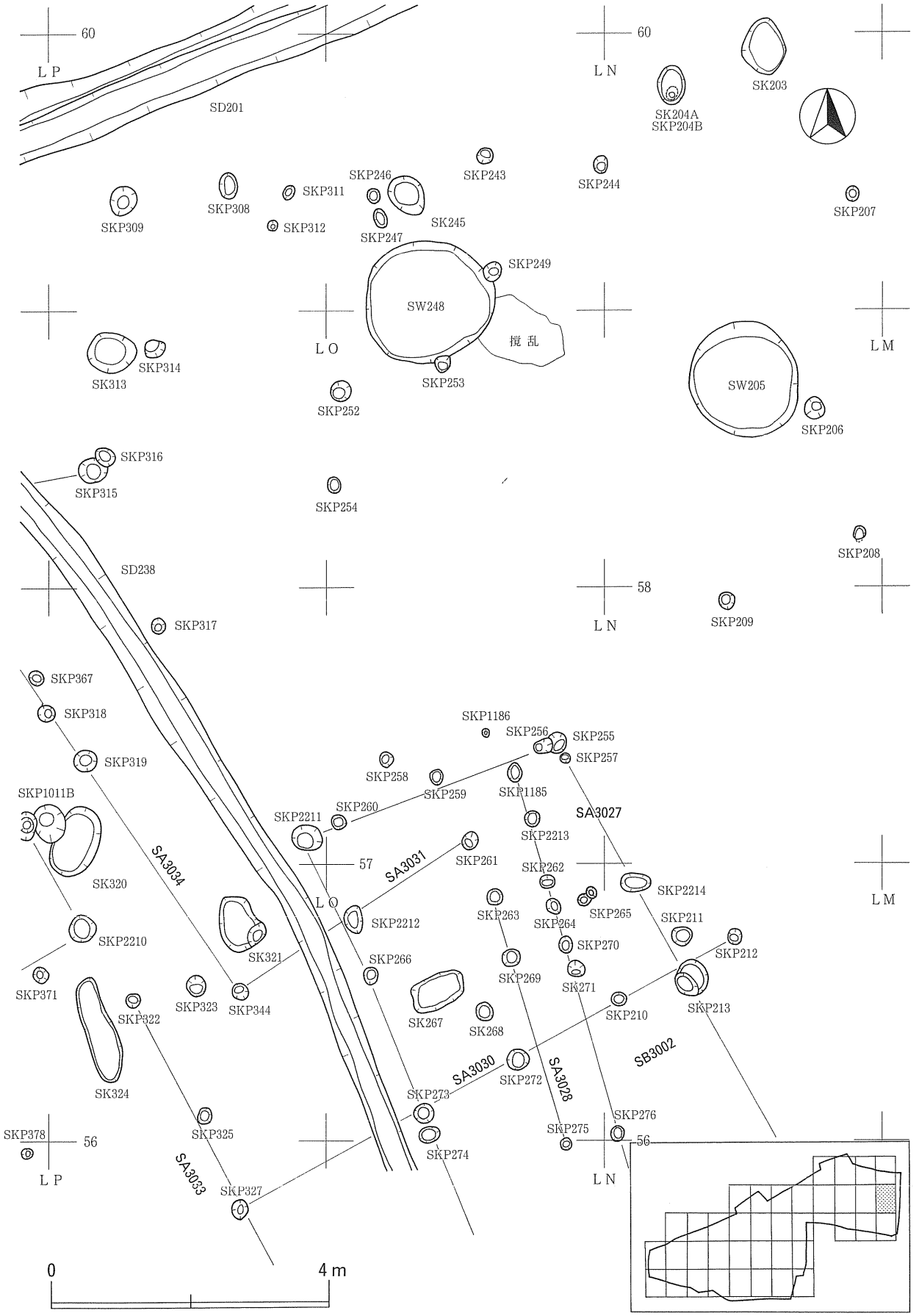
第69図　遺構配置図（32）、ＬＰ～ＬＲ60～63区



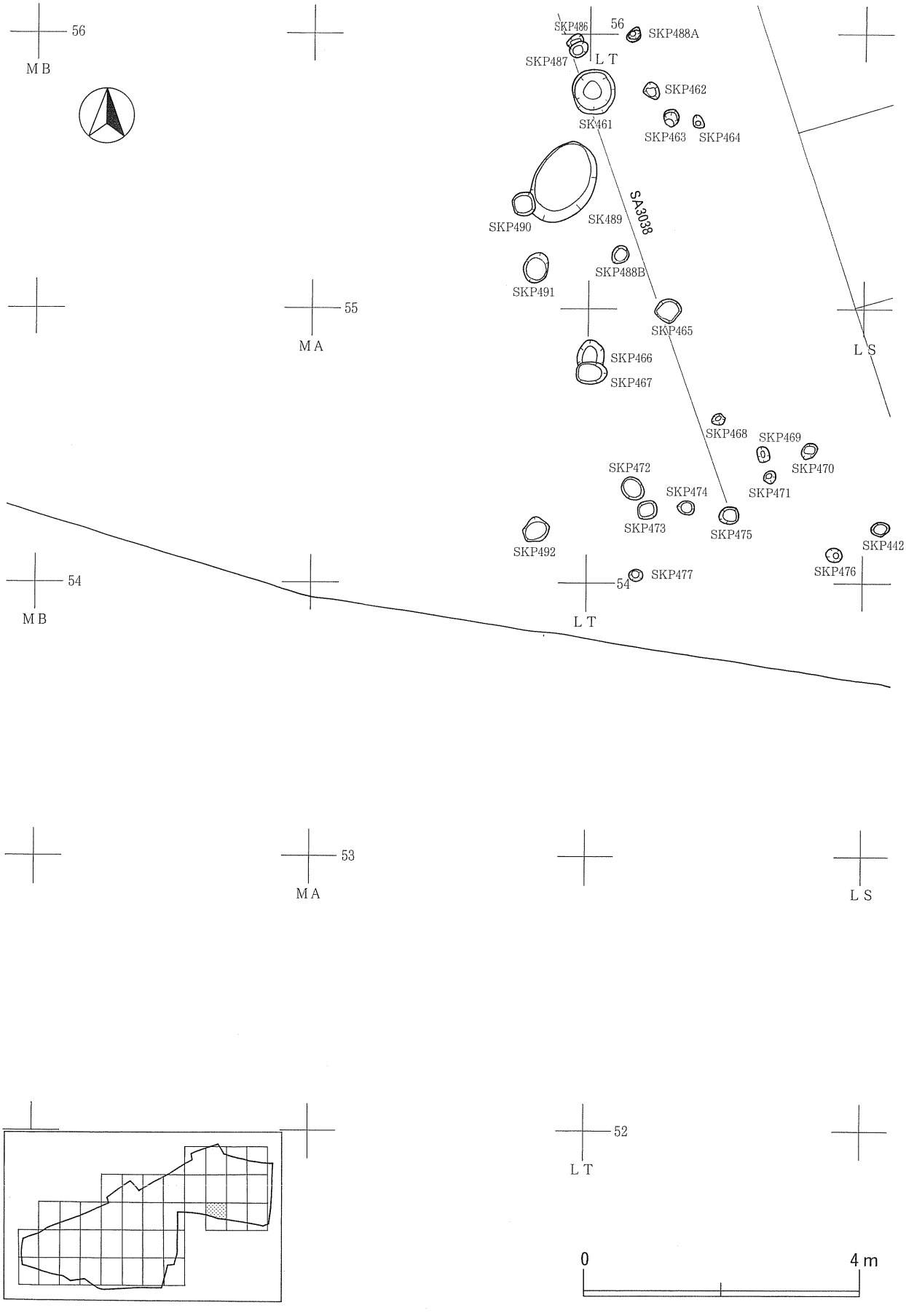
第70図　遺構配置図（33）、ＬＭ～ＬＯ60～63区



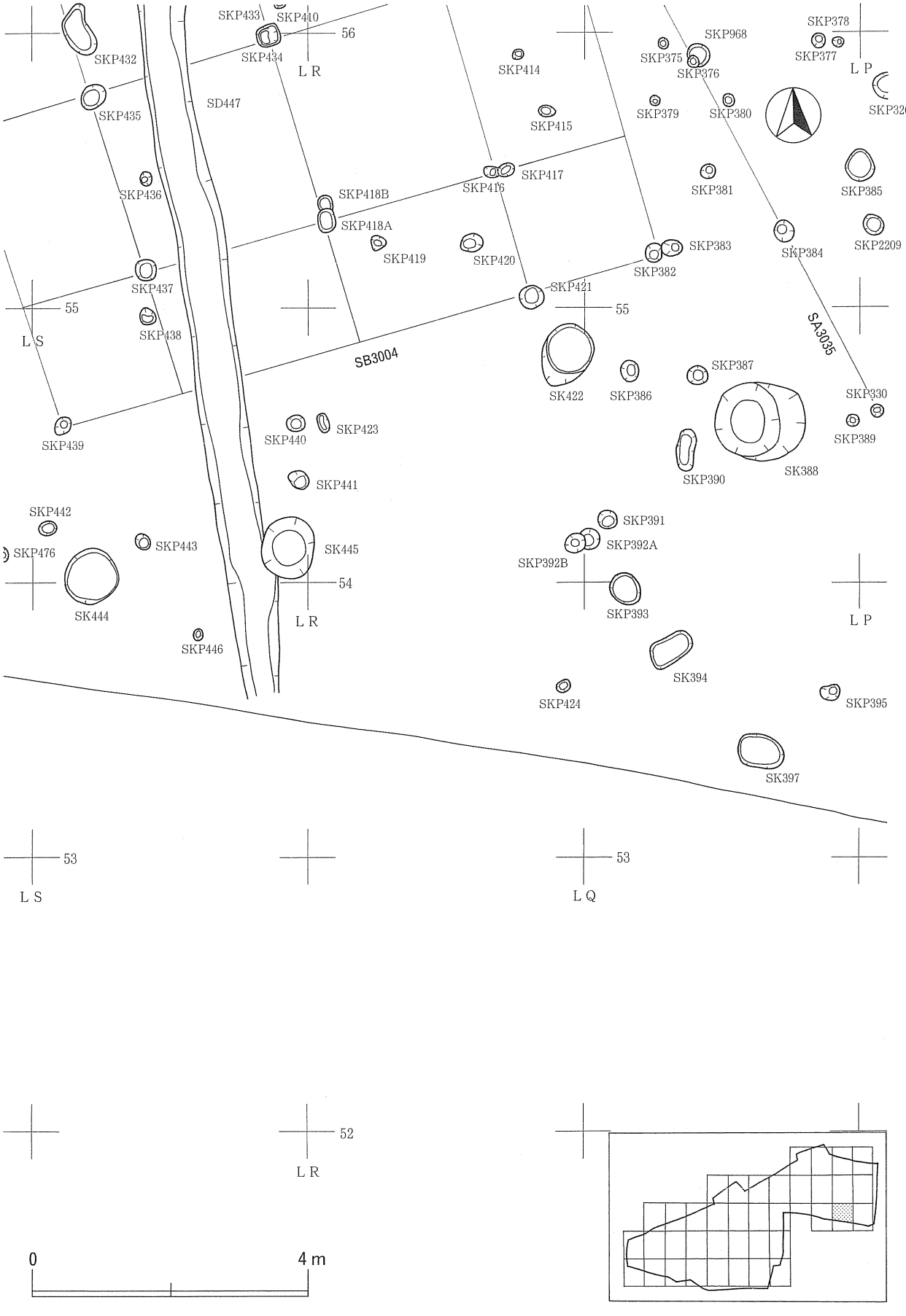
第71図　遺構配置図（34）、ＬＰ～ＬＲ56～59区



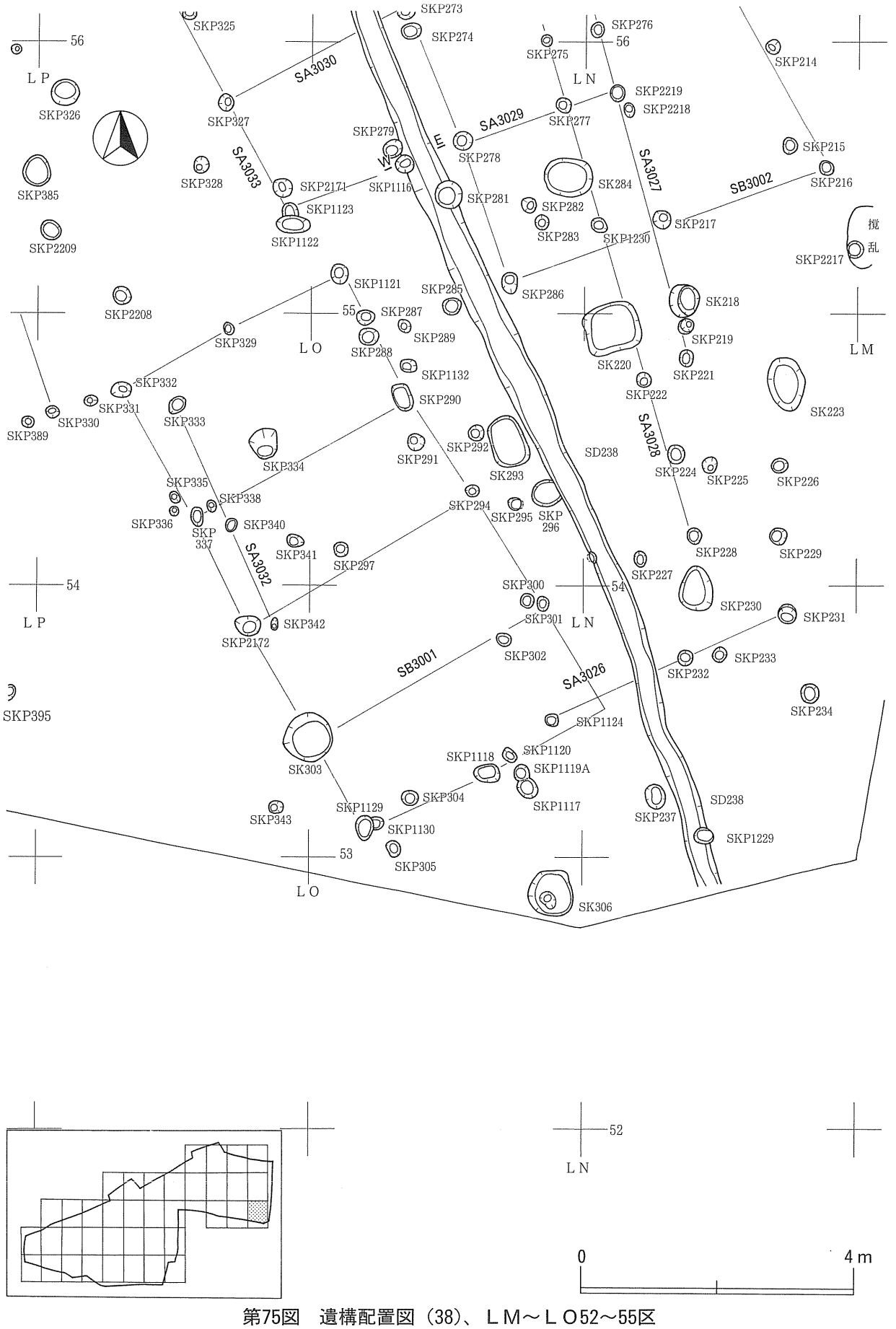
第72図　遺構配置図（35）、ＬＭ～ＬＯ56～59区



第73図　遺構配置図（36）、ＬＳ～ＭＡ52～55区



第74図　遺構配置図（37）、ＬＰ～ＬＲ52～55区



第75図　遺構配置図（38）、ＬＭ～ＬＯ52～55区

（１）縄文時代の遺構

土坑（略記号ＳＫ）　49基　　焼土遺構（ＳＮ）　3基

①土坑

『北日本における縄文時代の墓制資料集』（1999）では、縄文時代の土坑墓の「認定基準」として６、「参考基準」として７、計13の基準が定められている[註1]。

次に土坑墓として掲げる遺構は、「認定基準」を必ずしも満たしていないものも多いが、石器類や礫が底面から覆土中位にかけて出土したもの、底面が平坦であるもの、覆土が人為堆積によることが明瞭なものが多く、規模・形状の面で斉一性が比較的高い。遺物をともなっていない遺構が多いが、「参考基準」を満たした土坑を縄文時代の土坑墓と判断し、以下に記す。

出土遺物が少なく、時期特定の明瞭な根拠に欠けるが、大略、前期後葉～中期前葉に帰属すると考えられる。

ＳＫ303（第76図、□第75図）

ＬＮ・ＬＯ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.86～0.88ｍの円形平面を呈する。深さは0.12ｍで、底面標高は17.4ｍである。壁の立ち上がりは緩やかで底が円く、全体では椀形の断面を有して、底面はわずかに凹凸を伴う。

覆土は２層に分層を行った。上位は褐色土、下位は暗褐色土であるが、上位は地山土由来の可能性が高く、一括埋め戻しの痕跡と考えられる。

規模・形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ444（第76図、□第74図）

ＬＲ53・54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.75～0.78ｍの円形平面を呈する。深さは0.14ｍで、底面標高は17.3ｍである。

覆土は、地山土少量混じりの暗褐色土単一層である。一括の埋め戻しか。

壁の立ち上がりは垂直に近く、底面は平底である。覆土上位より縄文土器片が出土している。

規模・形状・出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ533（第76図、□第58図）

ＭＧ59区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径1.13ｍ、短径0.94ｍの不整楕円形平面を呈する。深さ0.15ｍ、底面標高16.7ｍで平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模・形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ536（第76図、□第58図）

ＭＧ58区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.86ｍ、短径0.77ｍの不整楕円形平面を呈する。深さは0.17ｍで、底面標高は16.9ｍである。

覆土は４層に分けた。人為堆積。石器剥片１点が出土している。

規模・形状・出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ590（第76図、□第59図）

ＭＩ52区に位置する。他の遺構との重複はないが、風倒木撹乱を切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.70ｍ、短径0.58ｍのやや不整な楕円形平面を呈する。深さは0.15ｍで、底面標高は16.8ｍである。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底は凹凸をともなうものの平底を基調とする。

覆土は、地山土混じり黒褐色土単一層である。一括埋め戻し。縄文土器片１点、剥片１点が出土。

規模・形状・出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ608Ａ（第76図、□第57図）

ＭＪ56区に位置する。ＳＫ608Ｂを切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.52ｍ、短径0.36ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.14ｍで、底面標高は16.7ｍである。

覆土は上位黒褐色土、下位暗褐色土の２層である。

遺物はないが、重複関係より縄文時代の土坑と考えた。

ＳＫ608Ｂ（第76図、□第57図）

ＭＪ56区に位置する。ＳＫ608Ａに切られる。Ⅲ層上面で確認した。

推定長径0.85ｍ、短径0.64ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.14ｍで、底面標高は16.7ｍである。

覆土は上位黒褐色土、下位褐～暗褐色土の４層で、人為堆積の様相を呈する。

覆土中より縄文土器片４点が出土している。第76図１は、円筒下層ｄ式に属する土器の口縁部破片、２は斜縄文の施された胴部破片である。

規模・形状・出土遺物より、縄文時代前期末葉の土坑墓と判断した。

ＳＫ620（第77図、□第59図）

ＭＪ52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。

長径0.60ｍ、短径0.56ｍのほぼ円形を呈する。深さは0.07ｍで、底面標高は16.9ｍである。

覆土の詳細は不明である。

規模・形状より、縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ633（第77図、□第52図）

ＭＫ55区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.76ｍ、短径0.62ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.14ｍで、底面標高は16.7ｍである。

覆土は地山土混じり黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断。覆土より縄文土器片１点が出土している。

規模・形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ635（第77図、□第52図、図版18）

ＭＫ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

一辺0.79～0.80ｍの隅丸方形平面を呈する。深さは0.24ｍ、底面標高16.7ｍで、平底を呈する。

覆土は、地山土混じり黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

縄文土器片（第77図１）が壁に刺さった状態で出土した。胴部破片で羽状縄文が横位に施されている。なお、他に、覆土中から縄文土器片１点、底面より小礫１点を確認している。

規模・形状・出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ637（第77図、□第52図、図版18）

ＭＫ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.85ｍ、短径0.70ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.20ｍで、底面標高は16.7ｍである。

覆土は地山土混じり黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。底面より縄文土器片２点および握り拳大の円礫２点を確認した。

規模・形状・遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ638（第77図、□第52図、図版18）

ＭＫ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長辺0.91ｍ、短径0.85ｍの隅丸方形平面を呈する。深さは0.12ｍで、底面標高は16.8ｍである。

覆土は、地山土混じりの黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

規模・形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ639（第77図、□第52図）

ＭＫ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長辺0.95ｍ、短径0.80ｍの不整楕円形平面を呈する。深さは0.18ｍで、底面標高は16.7ｍである。

覆土は、地山土を少量含む黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

規模・形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ640（第77図、□第52図、図版18）

ＭＫ52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.73～0.78ｍの円形平面を呈する。深さは0.11ｍで、底面標高は16.8ｍである。

覆土は地山土混じり黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

規模・形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ643（第78図、□第50図、図版19）

ＭＬ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.92ｍ、短径0.84ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.26ｍで、底面標高は16.6ｍである。平底で逆台形様の断面形状を呈する。

覆土は、上位暗褐色土～下位黒褐色土の３層である。覆土中より、縄文土器片３点、頁岩製のスクレイパー（第78図１）が出土している。

規模・形状・出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ645A（第78図、□第52図）

ＭＬ・ＭＭ54区に位置する。ＳＫＰ645BおよびＳＫ646に切られる。Ⅲ層上面で確認した。

径0.74～0.81ｍの略円形平面を呈する。深さ0.26ｍ、底面標高16.6ｍで、緩い円みをともなった平底を呈する。

覆土は、地山土混じりの黒褐色土単一層である。覆土中より剥片２点が出土している。

規模・形状・出土遺物からみて縄文時代の土坑墓と考えた。

ＳＫ646（第78図、□第52図、図版19）

ＭＭ54区に位置する。ＳＫ645Aを切る。Ⅲ層上面で確認した。

径0.66～0.68ｍの円形平面を呈する。深さは0.40ｍで、底面標高は16.5ｍである。平底で、断面形状は逆台形様を呈する。

覆土は、黒褐色土を基調とする３層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ647（第78図、□第52図、図版19）

ＭＬ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.92ｍ、0.87ｍの不整円形平面を呈する。深さは0.19ｍで、底面標高は16.7ｍである。

覆土は地山土混じりの黒褐色土単一層である。縄文土器片33点、石器剥片２片が出土している。

出土遺物、規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ648（第78図、□第52図、図版19）

ＭＬ53・54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.79ｍ、短径0.70ｍの南北を長軸とする楕円形である。深さ0.17ｍ、底面標高16.7ｍである。

覆土は上位暗褐色土、下位黒褐色土の２層である。人為堆積と判断した。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ652（第79図、□第52図）

ＭＬ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

一辺0.85ｍの隅丸方形平面を呈する。深さは0.19ｍで、底面標高は16.8ｍである。平底である。

覆土は、黒褐色土を基調とする２層である。人為堆積。二次加工ある剥片が２点出土している。

規模、形状・出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ655（第79図、□第52図、図版19）

ＭＬ52区に位置する。ＳＤ656に切られる。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.92m、短径0.83mの楕円形平面を呈する。深さ0.22m、底面標高16.7mで、平底を呈する。

覆土は、黒褐色土を基調とする４層である。人為堆積。覆土中より小礫１点を確認した。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ667（第79図、□第52図、図版19）

ＭＭ55区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.83m、短径0.75mの楕円形平面を呈する。深さ0.28mで、底面標高16.6mで、平底である。

覆土は、上位黒褐色土～下位暗褐色土の３層である。二次加工ある剥片が１点出土している。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ723（第79図、□第51図）

ＭＰ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.77～0.81mの略円形平面を呈する。深さ0.18m、底面標高16.5mで、円みを帯びた平底である。

覆土は、地山土を少量含む黒褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ732（第79図、□第51図、図版19）

ＭＰ52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅱ層上面で確認した。

長径0.74m、短径0.64mの楕円形平面を呈する。深さ0.24m、底面標高16.5mで、平底を呈する。

覆土は、黒褐色土を基調とする３層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ760（第79図、□第44図）

ＭＲ・ＭＳ52区に位置する。ＳＫＰ774を切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.87m、短径0.74mの不整楕円形平面を呈する。深さ0.14m、底面標高16.7mで、底はやや不整である。

覆土は暗褐色土と黒褐色土による３層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ805（第80図、□第40図）

ＮＣ49区に位置する。ＳＫＰ1312と重複する。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.75m、短径0.60mの楕円形平面を呈する。深さは0.08mで、底面標高は16.2mである。やや円みを帯びた平底である。覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ866（第80図、□第39図）

ＮＧ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.56ｍ、短径0.50ｍの略円形平面を呈する。深さは0.14ｍ、底面標高は16.0ｍである。平底である。覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ898（第80図、□第62図）

ＭＧ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.63～0.65ｍの円形平面を呈する。深さは0.07ｍで底面標高は16.1ｍである。平底である。覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ899（第80図、□第62図）

ＭＧ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.97ｍ、短径0.95ｍの不整楕円形平面を呈する。深さは0.18ｍで、底面標高は17.0ｍである。やや円みを帯びた平底である。

覆土は、黒褐色土を基調とする２層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ925A（第80図、□第61図）

ＭＨ・ＭＩ51区に位置する。ＳＫＰ925Bに切られる。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.92ｍ、短径0.70ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.18ｍ、底面標高16.6ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ928（第80図、□第61図）

ＭＨ51区に位置する。ＳＫＰ926・ＳＫＰ927に切られる。Ⅱ層上面で確認した。

長径0.80ｍ、短径0.66ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.15ｍで、底面標高は17.0ｍである。平底である。

覆土は上位黒褐色土、下位褐色土の２層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ985（第80図、□第61図）

ＭＪ48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅱ層上面で確認した。

長径0.67ｍ、短径0.58ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.21ｍ、底面標高17.0ｍで、丸底を呈する。

覆土は上・中位黒褐色土、下位褐色土の３層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ988（第80図、□第54図）

ＭＫ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径1.00ｍ、短径0.76ｍの不整楕円形平面を呈する。深さは0.24ｍで、底面標高は16.8ｍである。平底で、断面形状は逆台形様を呈する。

覆土は黒褐色土を基調とする２層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1010（第81図、□第53図）

ＭＯ48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.72ｍ、短径0.66ｍの略円形平面を呈する。深さ0.12ｍ、底面標高16.7ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1115（第81図、□第52図、図版19）

ＭＬ52・53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.82ｍ、短径0.75ｍの不整円形平面を呈する。深さ0.20ｍ、底面標高16.7ｍで、平底である。

覆土は、黒褐色土を基調とする２層である。確認面より径0.08～0.11ｍ大の球礫を検出した。また、覆土中より石器剥片１片、底面より球礫１点が出土している。

規模、形状、出土遺物等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1153（第81図、□第40図）

ＮＣ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.86ｍ、短径0.60ｍの小判形平面を呈する。深さ0.16ｍ、底面標高16.1ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1154（第81図、□第45図）

ＮＢ49区に位置する。ＳＫＰ804と重複する。Ⅲ層上面で確認した。

径0.90～0.92ｍの円形平面を呈する。最大深0.22ｍ、底面標高16.2ｍで底はやや傾斜を伴う。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1161（第81図、□第40図）

ＮＥ49～50区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.86ｍ、短径0.72ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.06ｍ、底面標高16.1ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1162（第81図、□第40図）

ＮＤ・ＮＥ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.74m、短径0.72mの略円形平面である。深さ0.08m、底面標高16.1mで、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1177（第81図、□第41図）

ＮＧ47区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.77m、短径0.66mの略円形平面を呈する。深さ0.11m、底面標高16.1m、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1305（第81図、□第45図）

ＮＢ・ＮＣ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.92m、短径0.68mの楕円形平面を呈する。深さ0.10m、底面標高16.2mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1309（第81図、□第40図）

ＮＣ50区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.58～0.62mの円形平面を呈する。深さ0.08m、底面標高は16.3mである。平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1325（第82図、□第45図）

ＮＢ50・51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径1.02m、短径0.80mの小判形平面を呈する。深さ0.07m、底面標高16.3mで、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1367（第82図、□第46図）

ＭＳ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.96m、短径0.41mの不整楕円形平面を呈する。深さ0.14m、底面標高16.5mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1405（第82図、□第48図）

ＭＱ・ＭＲ47・48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.97m、短径0.62mの小判形平面を呈する。深さ0.14m、底面標高16.5mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1425（第82図、□第53図）

ＭＰ51区に位置する。ＳＫＰ2060を切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.74m、短径0.62mの楕円形平面を呈する。深さ0.14m、底面標高16.6mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1426（第82図、□第53図）

ＭＰ50・51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.66m、短径0.48mの楕円形平面を呈する。深さ0.05m、底面標高16.7mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

土坑墓としてはやや小規模であるが、形状や立地から縄文時代の遺構と判断した。

ＳＫ1887（第82図、□第60図）

ＭＦ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.92m、短径0.82mの略円形平面を呈する。深さ0.18m、底面標高17.0mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ1962（第82図、□第66図）

ＬＴ62・63区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅱ層上面で確認した。

長径0.74m、短径0.64mの略円形平面を呈する。深さ0.20m、底面標高16.7m、平底である。

覆土の詳細は不明である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

ＳＫ2102（第82図、□第52図）

ＭＫ52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.84m、短径0.83mの楕円形平面を呈する。深さ0.07m、底面標高16.8mで、平底を呈する。

覆土は、暗褐色土単一層である。

規模、形状等から縄文時代の土坑墓と判断した。

②焼土遺構

ＳＮ552（第83図、□第60図）

ＭＧ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.73ｍ、短径0.62ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.15ｍ、底面標高16.9ｍで、底は円みを帯びて断面形状は椀形を呈する。

覆土は、全体的に粗砂を含む、褐色土と暗褐色土を基調とする６層である。覆土中より三脚石器（第83図２）が出土した。頁岩製で、表・裏ともきわめて丁寧に磨かれたうえで調整が加えられている。

規模、形状、出土遺物等から縄文時代の祭祀にかかわる焼土遺構と考えた。

ＳＮ559（第83図、□第59図）

ＭＨ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.85ｍ、短径0.69ｍの不整楕円形平面を呈する。深さは0.18ｍ、底面標高16.8ｍで、底は円みを帯びて断面形状は椀形を呈する。

覆土は、上位は粗砂混じりの暗赤褐色土、下位は暗褐色土・黒褐色土よりなる５層である。遺構検出面中央で礫を確認した。

規模、形状、出土遺物等から縄文時代の祭祀にかかわる焼土遺構と考えた。

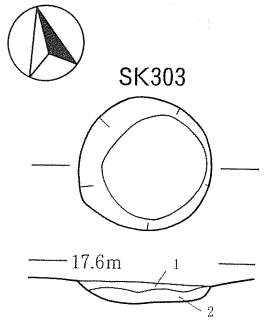
ＳＮ765（第83図、□第46図）

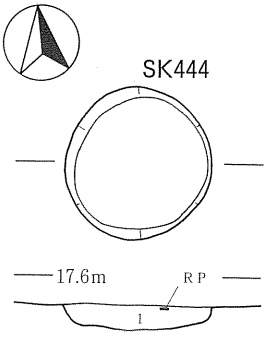
ＭＲ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

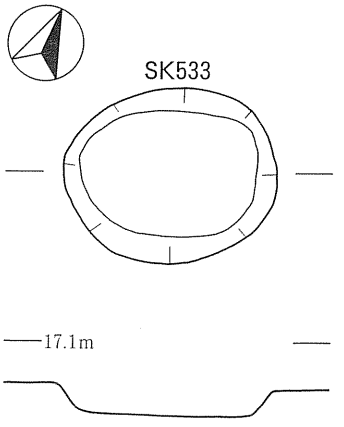
長径0.64ｍ、短径0.53ｍの不整楕円形平面を呈する。深さは0.17ｍで、底面標高は16.6ｍで、底は円みを帯びて断面形状は椀形を呈する。

覆土は、上位は焼土、下位は焼土を含む暗褐色土よりなる２層である。覆土中より珪質頁岩製のスクレイパー（第83図１）が出土した。

規模、形状、出土遺物等から縄文時代の祭祀にかかわる焼土遺構と考えた。

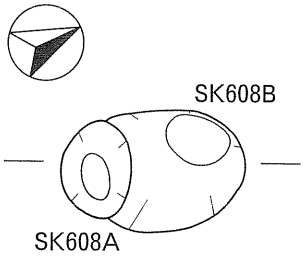


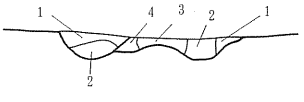


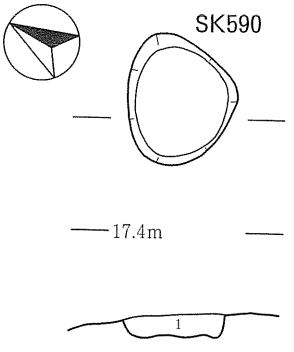


ＳＫ303
1　褐色土(10ＹＲ4/4)　粘性弱　しまり強
2　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　炭化物粒径3～5㎜極少
地山土塊径3～10㎜少　粘性中　しまり中

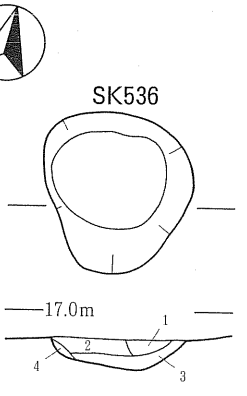
ＳＫ444
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　炭化物粒径0.5～2㎜極少
地山土少







ＳＫ590
1　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　炭化物粒極少
地山土塊中　しまり弱～中

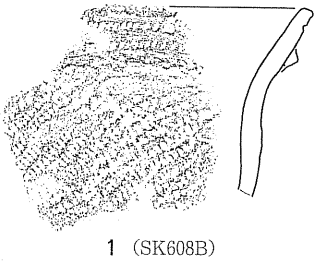


ＳＫ536
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　炭化物粒極少
地山土塊極少　粘性弱～中　しまり弱～中
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊径1～10㎜少
粘性中　しまり中
3　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　地山土塊径1～10㎜中
粘性中～強　しまり弱～中
4　灰黄褐色土(10ＹＲ4/2)　地山土多
粘性中　しまり中～強

ＳＫ608A
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊極少
粘性弱～中　しまり中
2　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　地山土塊径5～10㎜多
粘性中　しまり中

ＳＫ608B
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　粘性弱～中
しまり中～強
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊径3～15㎜少
粘性中　しまり中
3　褐色土(10ＹＲ4/4)　粘性中　しまり強
4　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　地山土塊径3㎜少
粘性中～強　しまり中

0　1ｍ

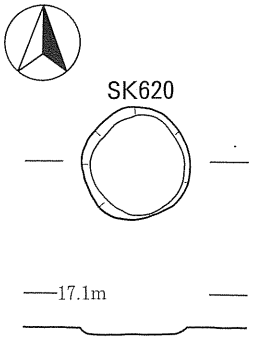


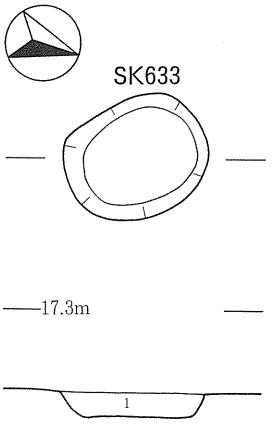
1（SK608B）

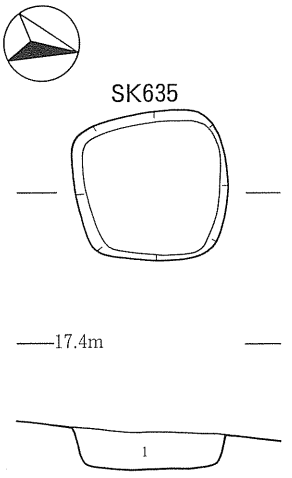
2（SK608B）

0　10cm

第76図　ＳＫ303・444・533・536・590・608A・608B土坑、出土遺物

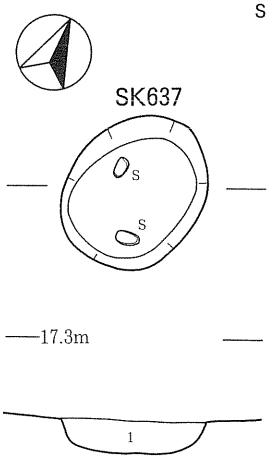


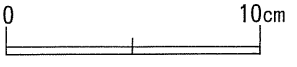




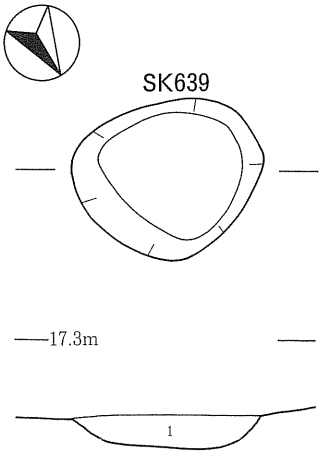
ＳＫ633
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒径3～5㎜少
地山土塊中　しまり弱～中

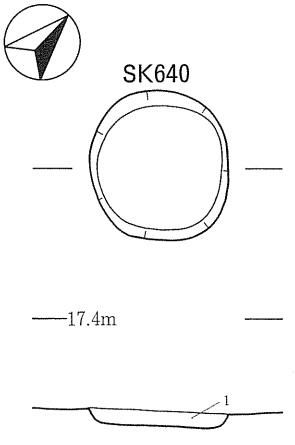
ＳＫ635
1　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　炭化物粒径3～5㎜極少
地山土塊中　粘性弱～中　しまり中～強

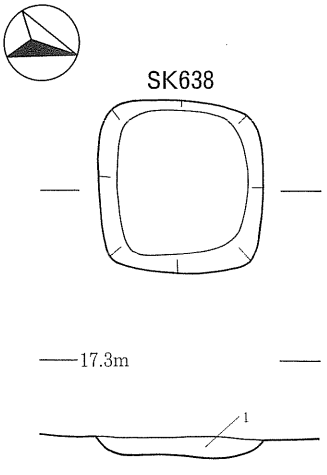




ＳＫ637
1　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　地山土塊中
粘性中　しまり弱～中



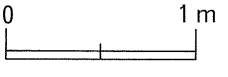




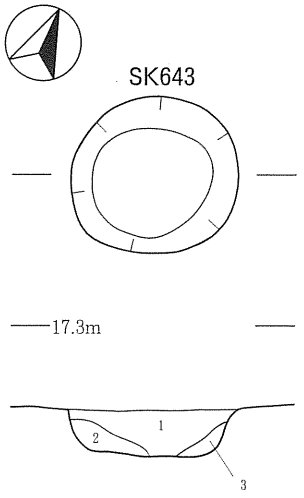
ＳＫ639
1　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　炭化物粒径5～10㎜極少
地山土塊少　粘性中～強　しまり中～強

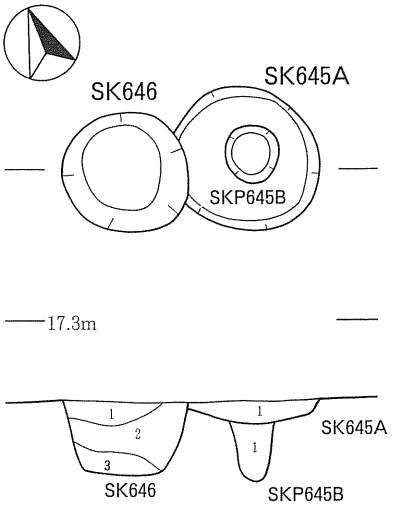
ＳＫ640
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土斑状中
粘性弱～中　しまり弱～中

ＳＫ638
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒径3～5㎜極少
地山土塊中　粘性中～強　しまり中～強



第77図　ＳＫ620・633・635・637・638・639・640土坑



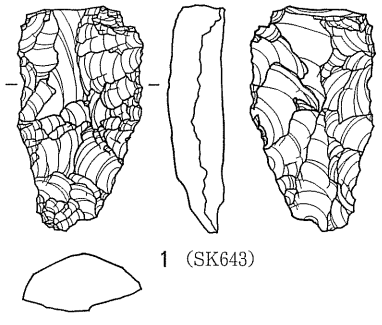


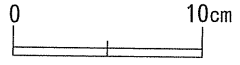
ＳＫ643
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　地山土塊中
　　黒褐色土(10ＹＲ3/1)少　粘性弱～中　しまり弱～中
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊中
　　黒褐色土(10ＹＲ3/1)少　粘性弱～中　しまり弱～中
3　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊少
　　粘性中～強　しまり中～強

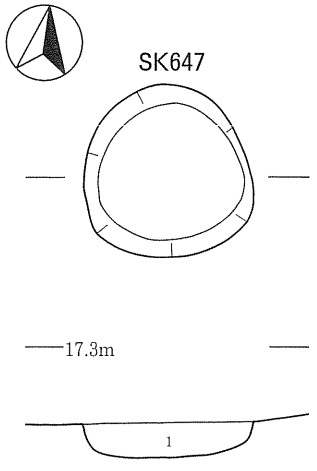
ＳＫ645A
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒径2～10㎜極少
　　地山土塊少　粘性弱～中　しまり強

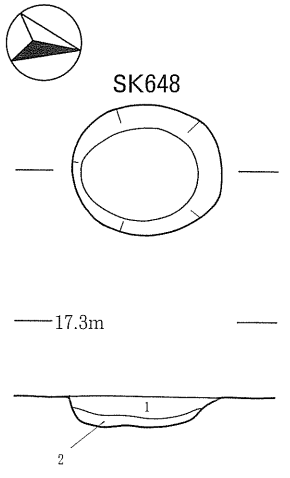
ＳＫＰ645B
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土斑状多
　　粘性弱　しまり弱

ＳＫ646
1　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　炭化物粒径2～10㎜極少
　　地山土塊多　粘性弱～中　しまり弱～中
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒少
　　地山土塊多　粘性弱～中　しまり弱～中
3　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　炭化物粒少
　　地山土少　粘性中～強　しまり弱～中



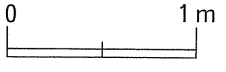




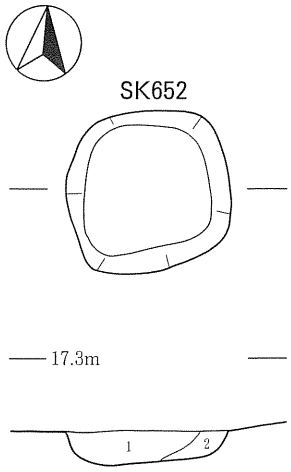


ＳＫ647
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊中
　　粘性弱～中　しまり弱～中

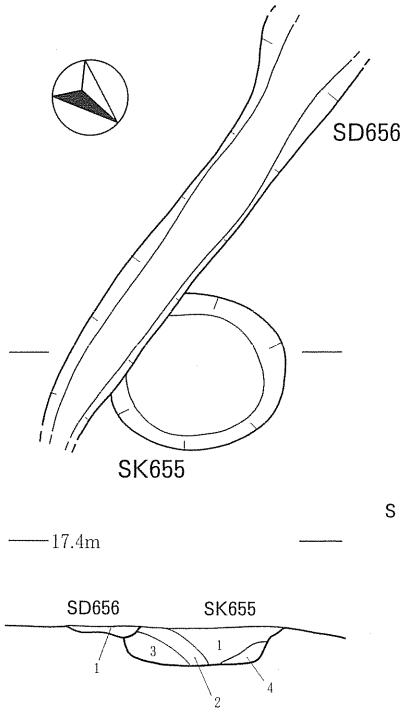
ＳＫ648
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　炭化物粒少
　　地山土塊多　粘性弱～中　しまり強
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊少
　　粘性弱～中　しまり弱～中



第78図　ＳＫ643・645A・646・647・648土坑、出土遺物

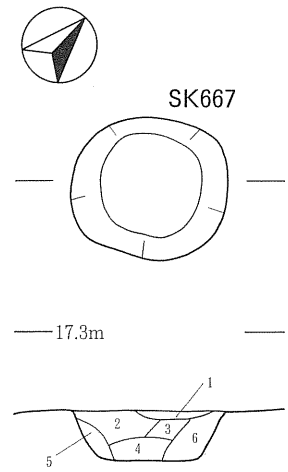


ＳＫ652
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊中
　　粘性弱～中　しまり強
2　黒褐色土(10ＹＲ2/3)　地山土塊中
　　粘性中～強　しまり中～強

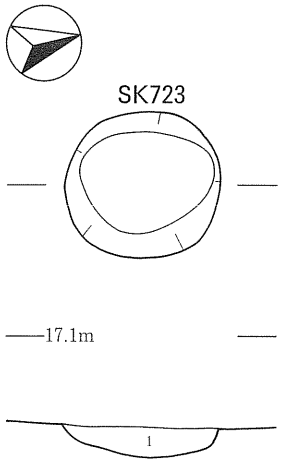


ＳＫ655
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒極少
　　地山土塊少　粘性中～強　しまり強
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒少
　　地山土斑状少　粘性弱～中　しまり中～強
3　黒褐色土(10ＹＲ2/3)　地山土少
　　粘性弱～中　しまり弱～中
4　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊少
　　粘性中～強　しまり中～強

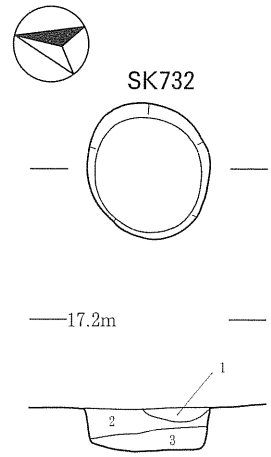
ＳＤ656
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)



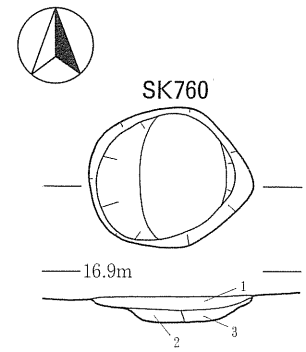
ＳＫ667
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒極少
　　粘性弱～中　しまり強
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒極少
　　地山土塊中　粘性弱～中　しまり中～強
3　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　炭化物粒極少
　　地山土多　粘性弱～中　しまり中～強



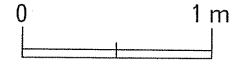
ＳＫ723
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊径1～10㎜少
　　粘性中　しまり中



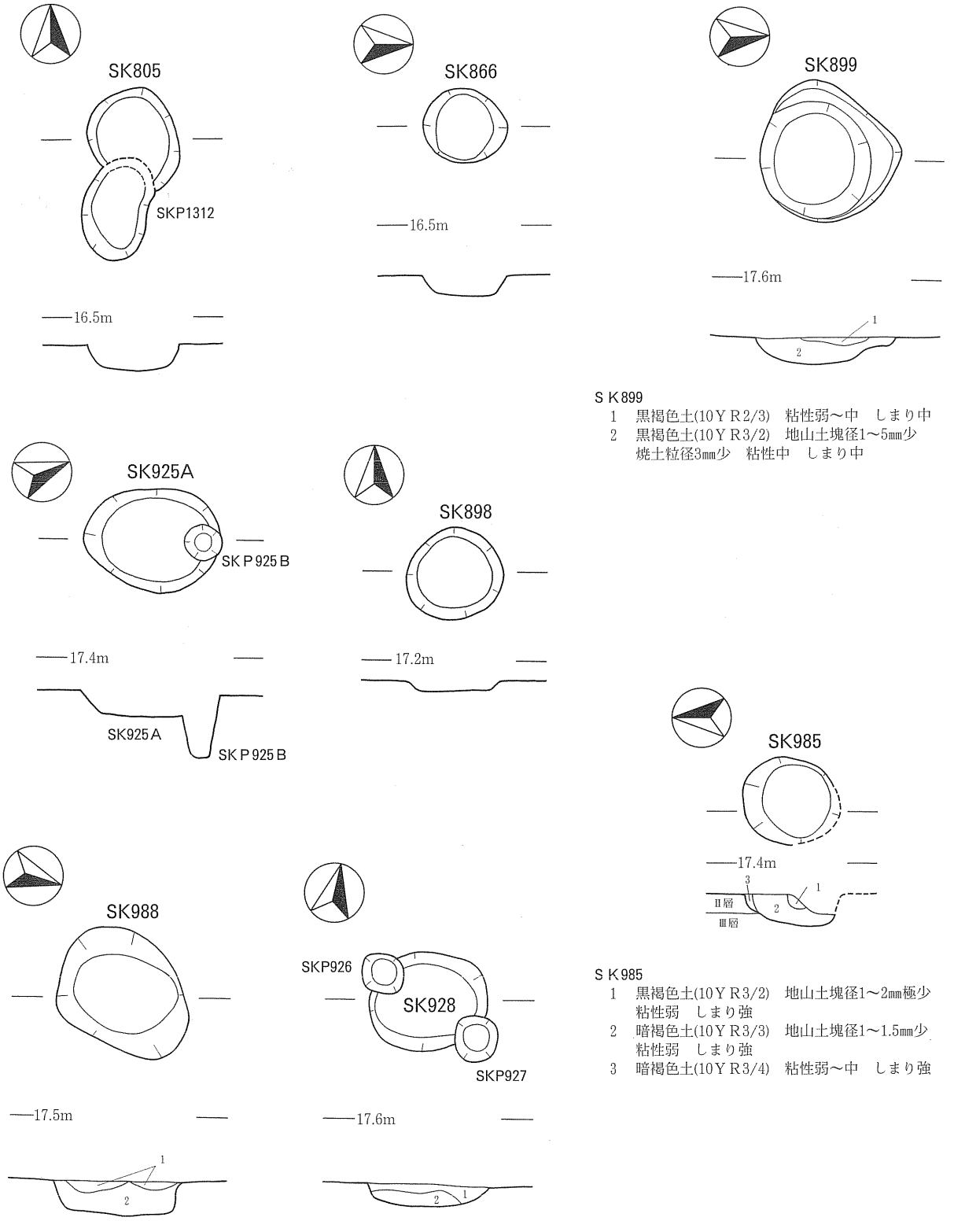
ＳＫ732
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊径10～30㎜中
　　粘性中　しまり中
2　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)　黒褐色土多
　　粘性弱～中　しまり弱～中
3　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土少
　　粘性中　しまり強



ＳＫ760
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　赤褐色土粒極少
　　粘性中　しまり中
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　粘性中　しまり中～強
3　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　地山土塊少
　　粘性中　しまり中～強



第79図　ＳＫ652・655・667・723・732・760土坑



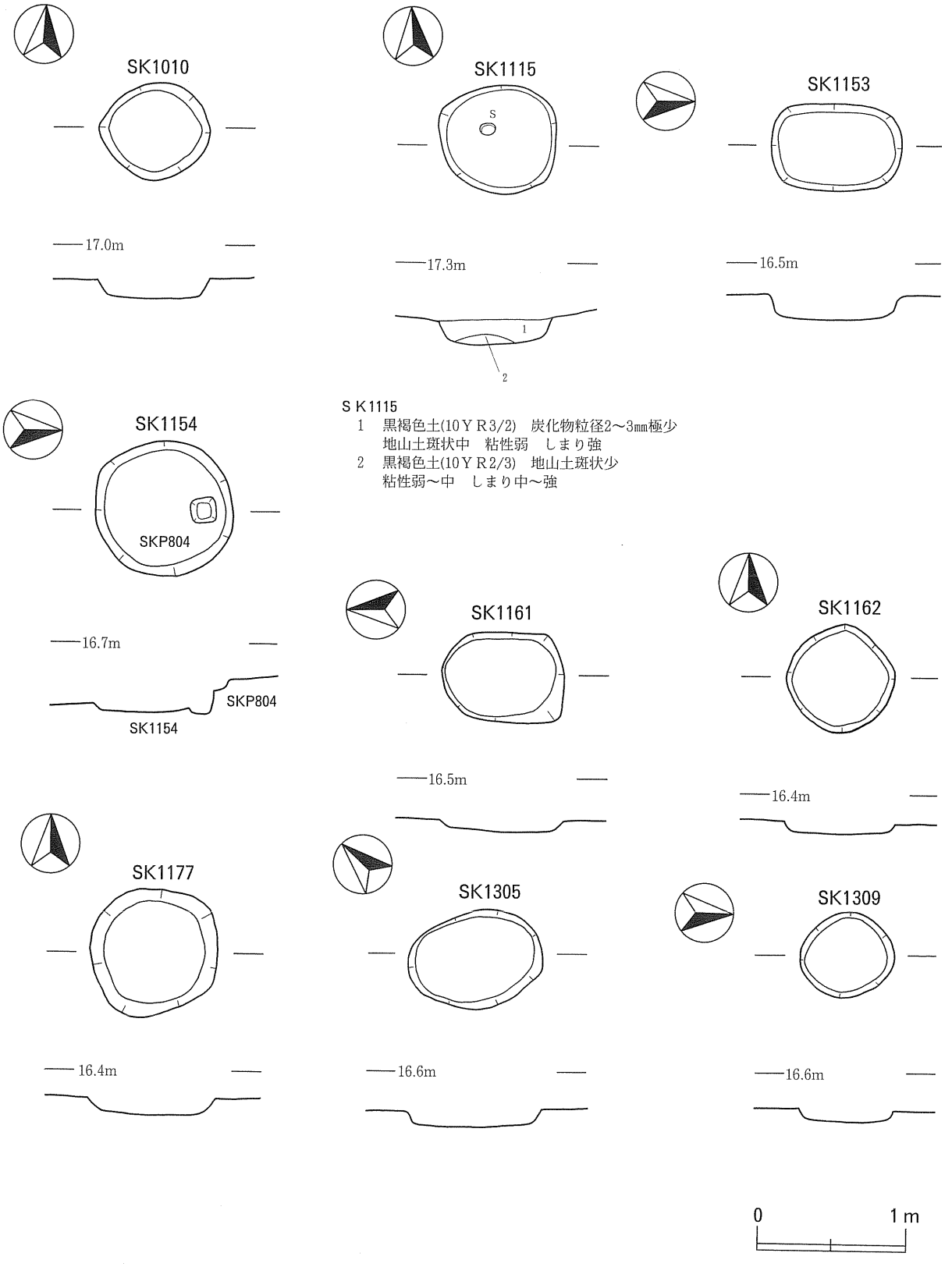
ＳＫ899
1　黒褐色土(10ＹＲ2/3)　粘性弱～中　しまり中
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊径1～5㎜少
焼土粒径3㎜少　粘性中　しまり中

ＳＫ985
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊径1～2㎜極少
粘性弱　しまり強
2　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　地山土塊径1～1.5㎜少
粘性弱　しまり強
3　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　粘性弱～中　しまり強

ＳＫ988
1　黒褐色土(10ＹＲ2/2)　炭化物粒径3～5㎜極少
地山土塊少　粘性弱～中　しまり中
2　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒径1～3㎜極少
地山土塊中　粘性弱～中　しまり弱～中

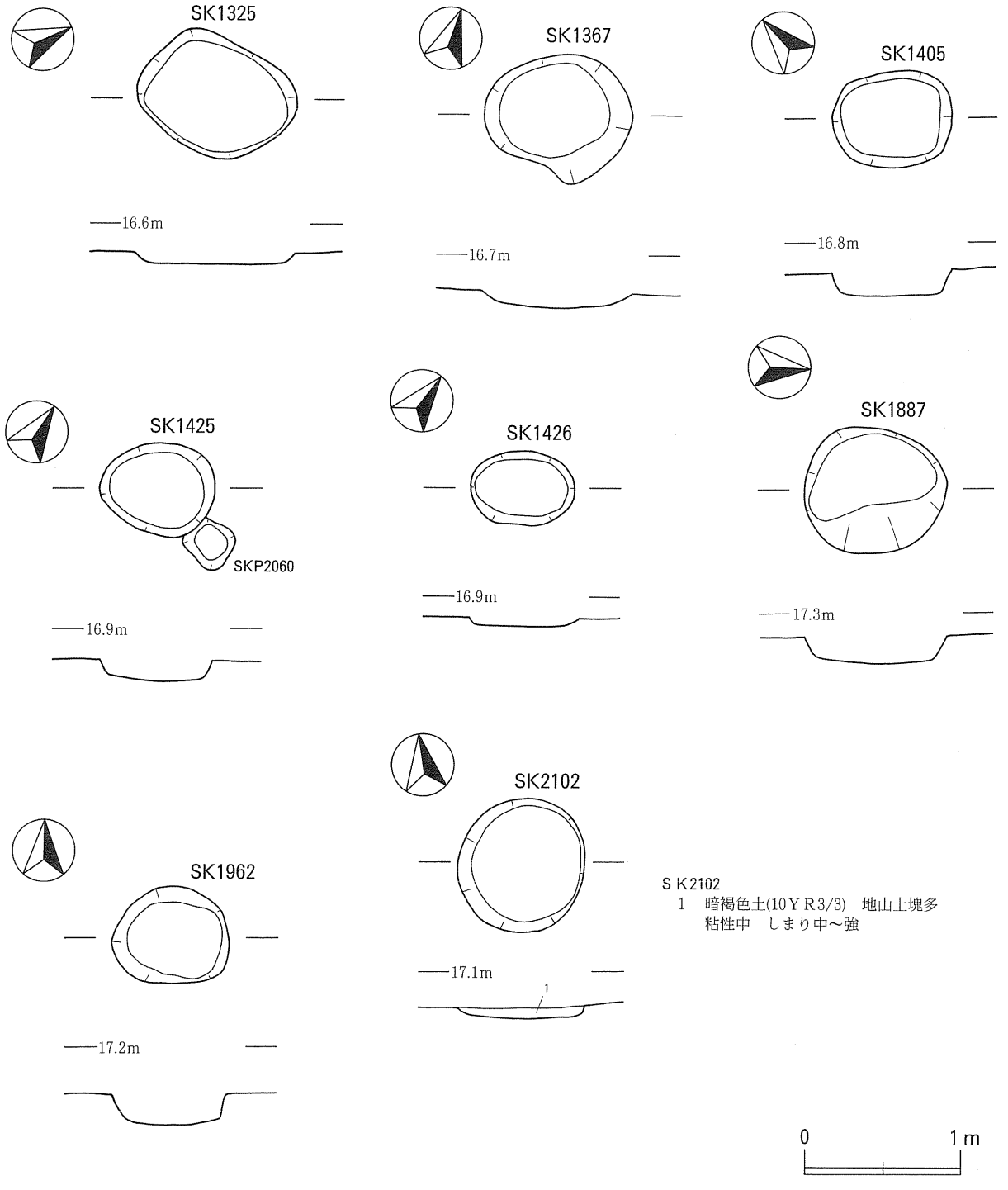
ＳＫ928
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山土塊極少
粘性弱～中　しまり弱
2　褐色土(10ＹＲ4/4)　粘性中～強　しまり中～強

第80図　ＳＫ805・866・898・899・925A・928・985・988土坑

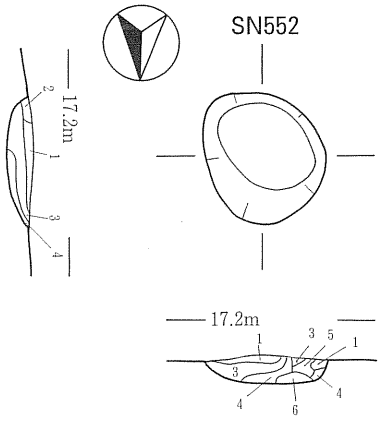


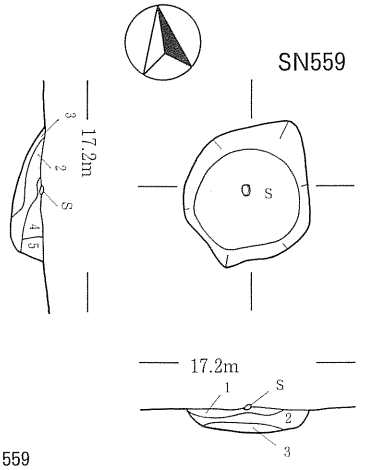
ＳＫ1115
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒径2～3㎜極少
　地山土斑状中　粘性弱　しまり強
2　黒褐色土(10ＹＲ2/3)　地山土斑状少
　粘性弱～中　しまり中～強

第81図　ＳＫ1010・1115・1153・1154・1161・1162・1177・1305・1309土坑



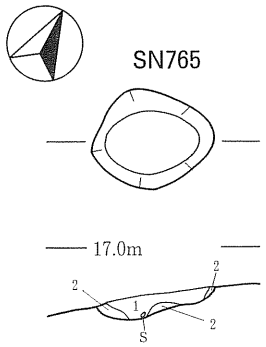
第82図　ＳＫ1325・1367・1405・1425・1426・1887・1962・2102土坑



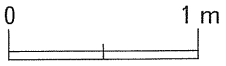


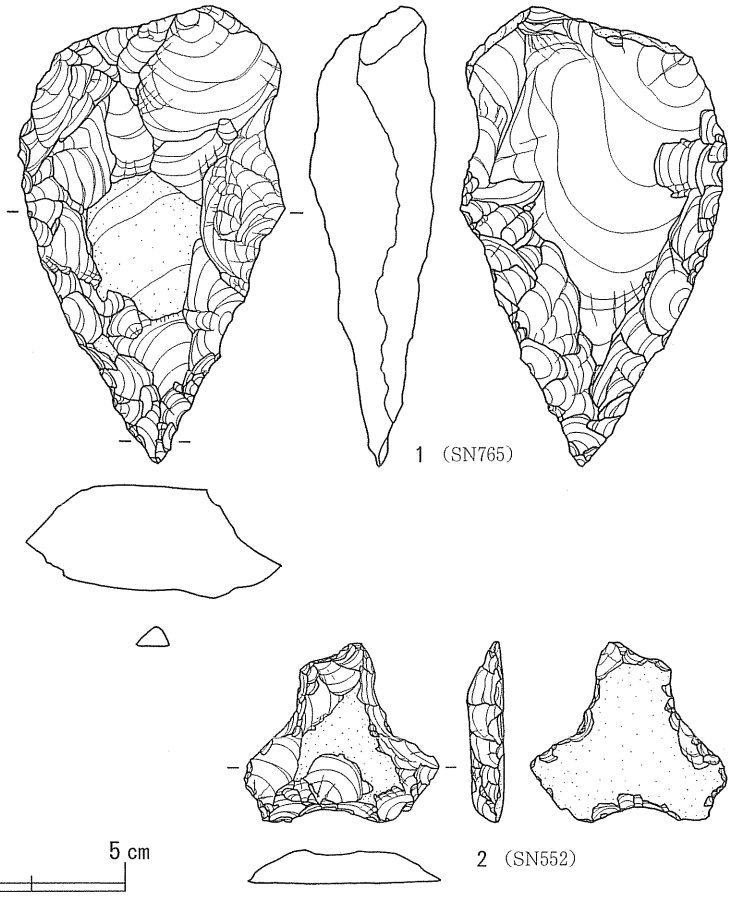
ＳＮ552
1　暗褐色土(7.5ＹＲ3/4)　炭化物粒径1～2㎜極少　焼土粒径1～2㎜少
　灰黄褐色土多　粗砂中　粘性弱　しまり強
2　褐色土(10ＹＲ4/6)　灰黄褐色土少　粘性中　しまり強
3　褐色土(7.5ＹＲ4/4)　焼土粒径1～10㎜中　灰黄褐色土少
　粗砂多　粘性弱　しまり強
4　褐色土(10ＹＲ4/6)　焼土粒径1～3㎜少　地山土少
　灰黄褐色土少　粗砂多　粘性弱～中　しまり強
5　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒極少　焼土粒径1～2㎜極少
　地山土極少　粗砂中　粘性弱～中　しまり強
6　暗褐色土(7.5ＹＲ3/4)と焼土(赤褐色5ＹＲ4/8)　粗砂多
　粘性弱　しまり強

ＳＮ559
1　暗赤褐色土(5ＹＲ3/4) 炭化物粒少
　焼土粒径10～30㎜少 粗砂入る 粘性弱 しまり弱～中
2　暗赤褐色土(5ＹＲ3/6)　炭化物粒少　焼土中
　オリーブ黒色土(5Ｙ3/2)斑状多 粗砂入る 粘性弱 しまり強
3　暗褐色土(7.5ＹＲ3/4)　炭化物粒極少
　焼土中　砂入る　粘性弱～中　しまり強
4　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　炭化物粒極少　焼土粒少
　暗赤褐色土(5ＹＲ3/6)多 砂入る 粘性弱 しまり弱～中
5　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　炭化物粒極少
　粘性強　しまり強



ＳＮ765
1　焼土　明赤褐色土(5YR5/6)　植物根少
　粘性弱～中　しまり中
2　暗褐色土(10YR3/4)　焼土少～中
　粘性中　しまり中





第83図　ＳＮ552・559・765焼土遺構、出土遺物

（２）中世以降の遺構

掘立柱建物跡（略記号ＳＢ）	25棟	柱穴列（略記号ＳＡ）	72列
井戸跡（略記号ＳＥ）	１基	火葬墓（略記号ＳＫＳ）	１基
鍛冶関連土坑（略記号ＳＫ）	９基	鍛冶遺物出土柱穴（略記号ＳＫＰ）	３基
炭窯（略記号ＳＷ）	４基	溝跡（略記号ＳＤ）	14条

①掘立柱建物跡

第２次調査では、全部で25棟の掘立柱建物跡を検出した。検出にあたっては宮本長二郎氏（東北芸術工科大学芸術学部教授）から現地で御指導をいただいた。

以下、建物規模等に関する記述のなかで短軸方向を「梁行」または「梁」、長軸方向を「桁行」または「桁」と呼称し、総間計測値は庇も含めた値とした。

ＳＢ3001（第84図、□第75図）

調査区東端に近いＬＮ～ＬＯ53～55区に位置する。ＳＢ3002の南西2.20ｍで確認した。他の建物跡との重複はない。長軸方向はＮ－30°－Ｗである。

桁行４間の梁間１間型建物で、梁行総間3.60ｍ、桁行総間7.56ｍの規模を有する。

ＳＢ3002（第84図、□第72・75図）

調査区ほぼ東端のＬＭ～ＬＯ55～57区に位置する。ＳＢ3001の北東2.20ｍ、ＳＢ3003の南東3.46ｍで確認した。他の建物跡との重複はない。長軸方向はＮ－20～30°－Ｗである。

１×４間の矩形としてはややいびつな側柱式建物で、梁行7.08ｍ、桁行8.62ｍの規模を有する。

本建物は、内側に鍛冶関連土坑ＳＫ267・ＳＫ268があり、いびつな側柱式建物であることも考え併せると、中世の鍛冶作業のおこなわれた工房的建物である可能性が考えられる。

ＳＢ3003（第84図、□第71・72図）

ＬＯ～ＬＱ56・57区に位置する。ＳＢ3002の北西3.46ｍで確認した。ＳＢ3004と重複する。長軸方向はＮ－29°－Ｗである。

桁行２間の梁間１間形の建物で、梁行総間4.42ｍ、桁行総間4.90ｍの規模を有する。

ＳＢ3004（第85図、□第68・71・73・74図）

ＬＰ～ＬＳ54～58区に位置する。ＳＢ3001の北西4.7ｍ、ＳＢ3005の南東2.2ｍで確認した。ＳＢ3003と重複する。長軸方向はＮ－17.5°－Ｗである。

梁行２間、桁行３間の総柱形の建物で四面庇を伴う。梁行総間9.0ｍ、桁行総間19.3ｍの規模を有する。柱間間隔は梁方向2.5～2.7ｍ、桁方向約2.8ｍ、庇の張り出し1.8～2.0ｍで、いずれもほぼ等間隔である。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

ＳＢ3005（第85図、□第69・71図）

ＬＰ～ＬＲ58～60区に位置する。ＳＢ3003の北西4.9m、ＳＢ3004の北西2.2m、ＳＢ3006の南東5.5mで確認した。他の建物跡との重複はない。長軸方向はＮ－30°－Ｗである。

梁行、桁行ともに２間の総柱形の建物で、梁行総間4.58m、桁行総間5.5mの規模を有する。柱間間隔は梁方向2.2～2.4mでほぼ等間隔であるのに対し、桁方向は最短2.5m、最長2.9mと不等である。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

小規模な総柱形建物であることを考慮すると、倉庫的使用も考えられる建物である。

ＳＢ3006（第86図、□第65・66・67・68・69図、図版15）

ＬＲ～ＭＣ58～63区に位置する。ＳＢ3005の北西5.5mで確認した。他の建物跡との重複はない。長軸方向はＮ－23.5°－Ｗである。

梁行５間、桁行７間の総柱形の建物で、南側一面に４間規模の庇を伴う。梁行総間13.9m、桁行総間19.43mの規模を有する。柱間間隔は梁方向・桁方向ともに2.4m前後と等間隔であり、全体でもきわめて整然とした柱穴配置を呈する。庇の張り出しは2.1mである。上部構造は寄棟造と推定される。

本建物は、柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属すると判断した。

なお、ＳＫＰ1967B底面より椀形鍛冶滓、ＳＫＰ507確認面より被熱痕ある楕円礫、覆土中より椀形鍛冶滓（第106図１～４）、ＳＫＰ1981（第106図７）よりカナトコ石が出土している（→⑥）。

鍛冶に関する遺物を柱穴に埋納する行為としては、近世民家においてカナトコ石を埋める民俗事例がある(註3)。確認面からの被熱礫の検出は、廃絶行為にあたっても金属にまつわる祭祀がなされたことを示唆している。後述する鍛冶関連土坑との同時存在が指摘できる。

規模のうえでは、西日本の例からすると優に守護・地頭級の住居であり、東日本の例からも一般農村にあっては５間規模をほぼ最大限とすることから、地頭級もしくは少なくとも地方有力豪族層（室町期名主層に相当）の住居と考えられる(註4)。

ＳＢ3007（第87図、□第58図）

ＭＦ～ＭＨ55～57区に位置する。他の建物跡との重複はない。長軸方向はＮ－10°－Ｗである。

２×２間の総柱形の建物で、北と西に庇を伴う。梁行総間5.6m、桁行総間5.9mの規模を有する。

柱間間隔は梁方向最短2.2m、最長2.7m、桁方向最短2.2m、最長2.6mとそれぞれ不等間隔である。庇の張り出しはそれぞれ約1.2mである。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

ＳＢ3008（第87図、□第50・52図、図版16）

ＭＫ～ＭＮ54～56区に位置する。ＳＢ3009の北東0.3m、ＳＢ3010の北東2.9mで確認した。他の建物跡との重複はない。長軸方向はＮ－22°－Ｗである。

梁行３間、桁行４間の総柱形の建物で、北側に一面庇を伴う。梁行総間6.0m、桁行総間8.6mの規模を有する。柱間間隔は梁方向が最短1.9m、最長2.4mで、桁方向が最短1.5m、最長2.2mとそれぞ

れ不等間隔である。庇の張り出しは約1.4mである。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

なお、ＳＢ3009とは同時に建たないので、同建物とは時期差があると考えられる。

ＳＢ3009（第88図、□第51・52図、図版16）

ＭＭ～ＭＯ53～55区に位置する。ＳＢ3008の南西0.3m、ＳＢ3018の北6.8m、ＳＢ3019の北東8.4m、ＳＢ3020の北東4.9mで確認した。ＳＢ3010と重複する。長軸方向はＮ－24°－Ｗである。

梁行３間、桁行４間の総柱形の建物で、梁行総間6.8m、桁行総間7.9mの規模を有する。柱間間隔は梁行が最短2.0m、最長2.6m、桁行が最短1.8m、最長2.2mとそれぞれ不等間隔である。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

なお、ＳＢ3008およびＳＢ3010とは同時に建たないので、両建物とは時期差があると考えられる。

柱穴相互の切り合い関係より、ＳＢ3010よりも新しい年代の建物と考えた。

ＳＢ3010（第88図、□第51・52図、図版16）

ＭＭ～ＭＰ52～55区に位置する。ＳＢ3008の南西2.9m、ＳＢ3017の北8.2m、ＳＢ3018の北6.8m、ＳＢ3019の北5.5m、ＳＢ3020の北東1.4mで確認した。ＳＢ3009と重複する。長軸方向はＮ－65°－Ｅである。

３×３間の総柱形の建物で、東側に庇を伴う。梁行総間6.3m、桁行総間8.7mの規模を有する。

柱間間隔は、梁行が1.9～2.2m、2.4m、桁行が最短2.0m、最長2.7mとそれぞれ不等間隔である。庇の張り出しは1.5mである。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

柱穴相互の重複関係よりＳＢ3009に先立つ建物と考えられる。しかし、両建物は軸方向が直交する二方向にほぼまとまることから、建て替えの時期差はさほど大幅なものではないと考える。

ＳＢ3011（第89図、□第59・60・61・62図）

ＭＦ～ＭＨ50～52区に位置する。ＳＢ3014の北東2.0m、ＳＢ3015の北0.6m、ＳＢ3016の北東3.0mで確認した。ＳＢ3012、ＳＢ3013と重複する。長軸方向はＮ－84°－Ｅである。

４×４～５間の側柱式の建物で、梁行総間7.6m、桁行総間9.7mの規模を有する。

ＳＢ3012（第89図、□第59・60・61・62図）

ＭＧ～ＭＨ50～52区に位置する。ＳＢ3014の北東3.2m、ＳＢ3015の北2.6m、ＳＢ3016の北東4.7mで確認した。ＳＢ3011、ＳＢ3013と重複する。長軸方向はＮ－９°－Ｗである。

桁行３間の梁間１間形の建物で、梁行総間3.9m、桁行総間6.8mの規模を有する。

ＳＢ3013（第90図、□第59・61図）

ＭＨ～ＭＪ49～52区に位置する。ＳＢ3015の北西1.7m、ＳＢ3016の北１ｍで確認した。ＳＢ3011、ＳＢ3012、ＳＢ3014と重複する。長軸方向はＮ－17°－Ｗである。

梁行３間、桁行４間の総柱形の建物で、南側・西側の二面に庇を伴う。梁行総間7.5m、桁行総間9.7mの規模を有する。柱間間隔は、梁方向最短1.5m、最長2.3m、桁方向最短2.1m、最長2.4mとそれぞれ不等である。南側の庇は1.3m、西側の庇は1.3～1.6mの張り出しである。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

ＳＢ3014（第90図、□第54・61図）

ＭＩ～ＭＫ48～50区に位置する。ＳＢ3011の南西2.0m、ＳＢ3012の南西3.2mで確認した。ＳＢ3013、ＳＢ3015、ＳＢ3016と重複する。長軸方向はＮ－70°－Ｅである。

桁行４間の梁間１間形の建物で、梁行総間3.9m、桁行総間6.9mの規模を有する。

ＳＢ3015およびＳＢ3016との先後関係は不明である。

ＳＢ3015（第90図、□第61・62図）

ＭＧ～ＭＪ48～50区に位置する。ＳＢ3011の南0.6m、ＳＢ3012の南2.6m、ＳＢ3013の南東1.7mで確認した。ＳＢ3014、ＳＢ3016と重複する。長軸方向はＮ－75°－Ｅである。

桁行２～４間の梁間１間型の建物で、北側に庇を伴う。梁行総間5.15m、桁行総間7.1mの規模を有する。

ＳＢ3014およびＳＢ3016との先後関係は不明である。

ＳＢ3016（第91図、□第61・63図）

ＭＨ～ＭＪ47～49区に位置する。ＳＢ3011の南3.0m、ＳＢ3012の南西4.7m、ＳＢ3013の南1.0mで確認した。ＳＢ3014、ＳＢ3015と重複する。長軸方向はＮ－12.5°－Ｗである。

桁行４間の梁間１間形の建物で、梁行総間4.7m、桁行総間8.9mの規模を有する。

ＳＢ3014およびＳＢ3015との先後関係は不明である。

ＳＢ3017（第91図、□第53図）

ＭＮ～ＭＰ48～50区に位置する。ＳＢ3010の南8.2m、ＳＢ3019の南東1.4m、ＳＢ3020の南3.5mで確認した。ＳＢ3018と重複する。長軸方向はＮ－55°－Ｅである。

２×２間の棟持ち柱を伴う梁間１間型の建物で、梁行総間6.7m、桁行総間7.1mの規模を有する。

ＳＢ3018との先後関係は不明である。

ＳＢ3018（第92図、□第53・54図）

ＭＭ～ＭＰ49～51区に位置する。ＳＢ3009の南3.5m、ＳＢ3010の南6.7m、ＳＢ3020の南3.5mで確認した。ＳＢ3017、ＳＢ3019と重複する。長軸方向はＮ－58°－Ｅである。

桁行３～４間の梁間１間型建物で、西側梁には棟持ち柱を伴う。梁行総間5.2m、桁行総間10.9mの規模を有する。

ＳＢ3017およびＳＢ3019との先後関係は不明である。

ＳＢ3019（第92図、□第46・53図）

ＭＯ～ＭＱ50・51区に位置する。ＳＢ3009の南西8.4m、ＳＢ3010の南5.5m、ＳＢ3017の北西1.4mで確認した。ＳＢ3018、ＳＢ3020と重複する。長軸方向はＮ－65°－Ｅである。

桁行４間の梁間１間型の建物で、梁行総間2.0m、桁行総間6.0mの規模を有する。

ＳＢ3018およびＳＢ3020との先後関係は不明である。

ＳＢ3020（第92図、□第51・53図）

ＭＯ・ＭＰ51・52区に位置する。ＳＢ3009の南西4.8m、ＳＢ3010の南西1.1m、ＳＢ3017の北西3.6m、ＳＢ3018の北西2.3mで確認した。ＳＢ3019と重複する。長軸方向はＮ－30.5°－Ｅである。

桁行３間の梁間１間型の建物で、梁行総間2.2m、桁行総間6.2mの規模を有する。

ＳＢ3019との先後関係は不明である。

ＳＢ3021（第93図、□第39・40図、図版16）

ＮＣ～ＮＦ47～49区に位置する。ＳＢ3023の北1.7mで確認した。ＳＢ3022、ＳＢ3024と重複する。第１次調査検出のＳＢ122と同一建物と考えられる。長軸方向はＮ－80°－Ｅである。

梁行２間、桁行６間の総柱形の建物で、梁行総間4.6m、桁行総間13.5mの規模を有する。

柱間間隔は、梁方向、桁方向ともに約2.3mでいずれもほぼ等間隔である。

柱の省略の少ない総柱形の建物であることから、12～14世紀に帰属するものと判断した。

ＳＢ3022およびＳＢ3024との先後関係は不明である。

ＳＢ3022（第93図、□第40・42図）

ＮＣ～ＮＥ46～49区に位置する。ＳＢ3024の東2.9mで確認した。ＳＢ3021、ＳＢ3023と重複する。長軸方向はＮ－20°－Ｗである。

梁行、桁行ともに３間の総柱形の建物で、梁行総間6.7m、桁行総間8.4mの規模を有する。

柱間間隔は、梁方向最短1.8m、最長2.7m、桁方向最短2.5m、最長3.0mと、いずれもそれぞれ不等間隔である。

ＳＢ3021およびＳＢ3023との先後関係は不明である。

ＳＢ3023（第94図、□第40・42・45・47図）

ＮＢ・ＮＣ46～48区に位置する。ＳＢ3024の南東9.2mで確認した。ＳＢ3022と重複する。長軸方向はＮ－10°－Ｗである。

梁行、桁行ともに２間の総柱形の建物で、梁行総間3.6m、桁行総間4.4mの規模を有する。

柱間間隔は、梁方向最短1.7m、最長2.0mと不等で、桁方向は2.3mの等間隔である。

小規模な総柱形建物であることを考慮すると倉庫的使用の可能性も考えられる。あるいはＳＢ3021附属屋か。

ＳＢ3022との先後関係は不明である。

ＳＢ3024（第94図、□第39・41図）

ＮＦ・ＮＧ47～49区に位置する。ＳＢ3022の西2.9m、ＳＢ3023の北西9.2mで確認した。ＳＢ3021と重複する。長軸方向はＮ－48°－Ｅである。

梁行、桁行ともに１～２間の建物で、梁行総間3.9m、桁行総間4.05mの規模を有する。

ＳＢ3021との先後関係は不明である。

ＳＢ3025（第94図、□第48・55図）

ＭＯ～ＭＱ44～47区に位置する。長軸方向はＮ－52°－Ｅである。

桁行６間の梁間１間型建物であり、長軸方向に沿って南側・北側に二面庇をともなう。梁間に柱が入っているので、棟持ち柱の可能性が高い。梁行5.50m、桁行10.75mの規模を有する。

②柱穴列（第95～101図）

72列の柱穴列を検出している。検出にあたっては直線に並ぶもののみ取り上げた。年代不明のものも多いが、一括して別掲第４表に記す。

③井戸跡

ＳＥ525（第102図、□第67図、図版17）

ＭＤ58・59区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径2.39～2.57mの円形平面を呈する素掘り井戸である。

深さおよび底面標高は、安全確保のため精査を中断したため計測不能であった。ボーリング棒による探査の結果、少なくとも５mの深さを有することが確実である。

断面形状は、上半が漏斗状、下半が筒状を呈する。水溜り部の径は約1.0～1.2mである。

覆土は現状で14層に分層した。１～７層は斜位互層を呈する一括埋め戻し土で地山土を含む。５～７層は連続しての埋め戻しで南方向から埋め戻したことが明瞭である。９・10層は黒褐色を呈し、両層以下が水溜り層である。

１～４層より縄文土器片20点、石器剥片34点、二次加工ある剥片15点、石核１点が出土している。井戸廃絶後の埋め戻し土に混入したものであり、遺構の時期とは無関係である。

柱穴列	挿図番号	所在区	軸方向	全長(m)	柱穴列	挿図番号	所在区	軸方向	全長(m)
SA3026	95	LM・ＬN53	N－63°　－E	4.2	SA3062	98	ML～MN46・47	N－65°　－E	9.4
SA3027	95	LM・ＬN54～57	N－16°　－W	10.4	SA3063	98	MN・MO45・46	N－31°　－E	3.6
SA3028	101	LM・ＬN54～56	N－18°　－W	10.0	SA3064	98	MM～MO45～47	N－50°　－W	9.2
SA3029	95	LM～ＬO55	N－70°　－E	5.0	SA3065	98	MN45・46	N－18°　－E	4.6
SA3030	95	LM～ＬO55・56	N－61°　－E	8.0	SA3066	98	MN・MO45・46	N－30°　－E	3.2
SA3031	95	LN・ＬO56・57	N－57°　－E	4.0	SA3067	101	ML～MP45	N－82°　－E	18.4
SA3032	95	ＬO53・54	N－22°　－W	3.6	SA3068	98	MN～MP44	N－70°　－W	5.8
SA3033	95	ＬO55・56	N－28°　－W	5.4	SA3069	98	MO・MP44	N－88°　－W	7.2
SA3034	95	ＬO・LP56～58	N－33°　－W	9.6	SA3070	99	MP・MQ46・47	N－50°　－W	7.4
SA3035	95	ＬO・LP54～56	N－30°　－W	8.2	SA3071	99	MP・MQ45・46	N－45°　－E	6.4
SA3036	96	ＬO～LR57・58	N－77°　－E	10.0	SA3072	99	MO・MP51～53	N－40°　－W	7.0
SA3037	96	ＬO・LP60	N－85°　－W	5.6	SA3073	99	MP52・53	N－４°　－E	3.8
SA3038	96	ＬS・LT54～56	N－25°　－W	8.4	SA3074	99	MP・MQ52・53	N－52°　－E	3.2
SA3039	96	MF～MH55	N－70°　－E	10.0	SA3075	99	MR50・51	N－５°　－W	6.4
SA3040	96	MG・MH55・56	N－18°　－W	6.2	SA3076	99	MS50・51	N－１°　－W	4.2
SA3041	96	ＭＩ・MJ55・56	N－46°　－E	10.2	SA3077	99	MP～MR49	N－90°　－W	7.0
SA3042	101	MG～MJ52・53	N－86°　－E	11.4	SA3078	99	MP～MR49	N－82°　－E	8.0
SA3043	96	ＭＩ・MJ52	N－87°　－E	6.2	SA3079	99	MR48・49	N－３°　－E	5.2
SA3044	97	MH～MJ49	N－72°　－E	8.8	SA3080	101	MP～MR46～49	N－33°　－W	16.2
SA3045	96	MG48・49	N－18°　－W	2.2	SA3081	101	MR～MT47・48	N－60°　－E	11.4
SA3046	97	MH46・47	N－40°　－E	4.2	SA3082	99	NB49・50	N－10°　－W	3.2
SA3047	97	MH45・46	N－33°　－W	2.8	SA3083	99	NB46～48	N－７°　－W	7.6
SA3048	97	MH44・45	N－25°　－E	5.0	SA3084	99	NA・NB47	N－87°　－E	5.4
SA3049	97	ＭＩ・MJ45・46	N－54°　－E	6.0	SA3085	99	NC・ND46	N－89°　－E	5.4
SA3050	97	ＭＩ46	N－80°　－E	3.4	SA3086	100	NC～NE46	N－83°　－E	6.4
SA3051	97	ＭＩ～MK44・45	N－67°　－E	6.8	SA3087	100	NB～ND46	N－80°　－E	9.6
SA3052	97	ＭＩ・MJ44	N－75°　－E	5.6	SA3088	100	NC・ND46	N－85°　－W	5.2
SA3053	97	ＭＩ44・45	N－40°　－E	4.2	SA3089	100	NE46・47	N－25°　－W	3.6
SA3054	97	MK44・45	N－33°　－E	3.6	SA3090	100	ND50～52	N－57°　－E	9.0
SA3055	97	MK44	N－55°　－W	2.4	SA3091	100	ND～NF51	N－74°　－E	8.2
SA3056	97	MJ・MK46	N－68°　－E	4.4	SA3092	100	NC～NE50・51	N－48°　－E	6.8
SA3057	98	MJ・MK46・47	N－46°　－W	6.0	SA3093	100	NE・NF49	N－48°　－E	4.2
SA3058	98	MK46	N－30°　－W	2.2	SA3094	100	NF・NG49・50	N－18°　－E	3.2
SA3059	98	MM・MN56・57	N－40°　－W	8.0	SA3095	101	NF・NG47・48	N－35°　－W	7.4
SA3060	98	MM・MN51	N－62°　－E	6.0	SA3096	100	NF・NG47	N－50°　－E	3.2
SA3061	98	ML～MN50・51	N－52°　－E	6.4	SA3097	100	NG47・48	N－40°　－W	4.0

第４表　柱穴列計測表

第102図１～３は縄文土器の口縁部破片であり、縄文時代前期後葉の諸特徴を有する。第102図４は斜縄文、５は斜位の撚糸文、６は羽状縄文がそれぞれ施された胴部破片である。

10層にて採取した炭化物（試料番号10）は、樹種同定の結果、トチノキ１破片と判明した。放射性炭素年代測定によると当該試料の^{14}Ｃ年代値は690±35BPである（測定番号PLD-800）。

中世に帰属する遺物の共伴はないが、規模・形状・立地・自然科学分析等を総合して、中世の井戸跡と判断した。ＳＢ3006掘立柱建物跡と同時期と推定する。

④火葬墓

ＳＫＳ560（第102図、□第59図、図版21）

ＭＨ52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.78m、短径0.69mで十字形を呈する。深さは0.15m、底面標高は16.8mである。

覆土は上位黒褐色土、下位暗褐色土の２層である。骨粉は失われてしまっているか、あまりに微細なため検出不能であった。採取炭化物（試料番号2）は樹種同定の結果、「部位不明植物体」であった。放射性炭素年代測定によれば^{14}Ｃ年代値は725±35BPであった（測定番号PLD-792）。

中世に帰属する遺物の共伴はないが、形状および自然科学分析の結果から、中世火葬墓と判断した。小規模なこと、骨粉が検出できなかったこと、集落に近接することなどから、乳幼児の墓と考えた。

⑤鍛冶関連土坑

本遺跡では、鍛冶炉そのものの検出はみられなかったが、鍛冶炉の底付近に形成される椀形鍛冶滓を多く出土し、また、粒状滓（素材の鍛打のおりに飛散して球状になった遺物）や鍛造剥片（鉄を空気中で加熱、鍛打したおりに鉄素材の表面が薄い被膜として剥離、飛散したもの）など鍛冶滓（鍛冶作業の折りに排出される滓）が多量に出土しているため、元来、鍛冶炉があったことは確実である。

文中の計測値は粒度によった。複数のフルイを用意し、１類（径4.1㎜以上）、２類（径2.9～4.0㎜）、３類（径2.0～2.8㎜）、４類（径1.0～1.9㎜）に分けた。残砂についても、洗い・乾燥ののち、磁着を調べ、大（径0.6～0.9㎜）、小（径0.6㎜未満）に分別した。鍛造剥片・粒状滓の抽出は手作業でおこなった。個体数で「推」とあるのは、いずれもサンプリングに基づく推定値である。

ＳＫ267（第103図、□第72図、図版22）

ＬＮ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.72m、短径0.46mの不整楕円形平面を呈する。深さは0.12mで、底面標高は17.5mである。

覆土は褐色土を基調とし、底面には焼土が広がる。３層が炭化物層であり、１層および４層には鉄滓を多く含む。

鍛造剥片317.9ｇと、粒状滓28.4ｇが出土した。各々の粒度別重量・個体数を以下に掲げる。

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	12.50ｇ(42.1%)	38（ 3.4%）
2	2.9～4.0	6.51ｇ(21.9%)	推　85（ 7.6%）
3	2.0～2.8	4.03ｇ(13.6%)	推 160（14.4%）
4	1.0～1.9	6.62ｇ(22.3%)	推 830（74.6%）

第５表　ＳＫ267粒状滓計測値

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	64.3ｇ(20.2%)	321（ 0.6%）
2	2.9～4.0	43.4ｇ(13.7%)	推　720（ 1.4%）
3	2.0～2.8	23.6ｇ(7.4%)	推 2620（ 5.2%）
4	1.0～1.9	186.6ｇ(58.7%)	推46650（92.7%）

第６表　ＳＫ267鍛造剥片計測値

類	直径（㎜）	磁着あり	磁着なし
1	4.1以上	1274.2ｇ	1266.2ｇ
2	2.9～4.0	359.5ｇ	211.5ｇ
3	2.0～2.8	244.5ｇ	175.7ｇ
4	1.0～1.9	409.5ｇ	514.5ｇ
残砂	0.6～0.9	519.3ｇ	909.5ｇ
〃	0.6未満	591.8ｇ	2148.5ｇ

第７表　ＳＫ267鉄滓計測値

第103図１は再結合滓で、18.87ｇである。平面は不整三角形、側面は板状を呈し、多量の粒状滓、鍛造剥片、滓片、木炭（痕）を含む。第103図２～５はいずれも含鉄鍛冶滓で、２は重量5.77ｇ、３

は7.67ｇ、４が6.78ｇ、５が5.30ｇである。第103図６は工具付着滓で、その形状から、鍛冶で使用された工具が断面円形の棒状のものであることが看取できる。

それ以外の鉄滓もほとんど全てが鍛冶滓で、鍛造鍛冶段階に属する。１類のうち径が20㎜を越える鉄滓は193点あり、うち、50㎜を越えるものは５点ある。

木炭および後世混入と思われる縄文時代石器剥片も上位より出土した。

ＳＫ268（第103図、□第72図）

ＬＮ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.27ｍ、短径0.24ｍの楕円形を呈する。深さは0.22ｍで、底面標高は17.3ｍである。壁はやや垂直に立ち上がり、丸底である。

鍛造剥片11.6ｇと、粒状滓1.40ｇが出土した。それぞれ、粒度別重量・個体数を以下に掲げる。

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	1.00ｇ(71.4%)	6（12.8%）
2	2.9～4.0	0.15ｇ(10.7%)	3（ 6.4%）
3	2.0～2.8	0.10ｇ(7.1%)	6（12.8%）
4	1.0～1.9	0.15ｇ(10.7%)	32（68.0%）

第８表　ＳＫ268粒状滓計測値

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	3.8ｇ(32.8%)	12（ 0.1%）
2	2.9～4.0	1.2ｇ(10.3%)	40（ 3.2%）
3	2.0～2.8	2.2ｇ(19.0%)	182（15.0%）
4	1.0～1.9	4.4ｇ(37.9%)	推980（80.7%）

第９表　ＳＫ268鍛造剥片計測値

類	直径（㎜）	磁着あり	磁着なし
1	4.1以上	75.4ｇ	77.1ｇ
2	2.9～4.0	8.5ｇ	24.7ｇ
3	2.0～2.8	5.1ｇ	29.7ｇ
4	1.0～1.9	7.5ｇ	120.6ｇ
残砂	0.6～0.9	11.5ｇ	281.3ｇ
〃	0.6未満	15.6ｇ	712.3ｇ

第10表　ＳＫ268鉄滓計測値

鍛冶滓はいずれも小粒で、径20㎜を越えるものは１点のみである。確認面からはフイゴ羽口（鍛冶炉用）先端部破片が出土した（第103図７）。残存部位の外面全面が被熱しており、特に先端に近い10～30㎜は黒色のガラス質滓である。胎土は粘土質である。長軸方向に成形時のケズリに伴う筋がのこる。送風孔は推定内径3.2㎝×2.8㎝の楕円形で、推定外径は９～10㎝である。

上～中位では多量の木炭が出土した。採取木炭（試料番号1）は樹種同定の結果、モクレン属６破片とクリ１破片と判明。モクレン属の放射性炭素年代測定の結果は、^{14}Ｃ年代値は970±35BPであった（測定番号PLD-791）。

ＳＫ271（第103図、□第72図）

ＬＮ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.22～0.24ｍの円形平面である。深さは0.31ｍ、底面標高は17.2ｍである。壁は垂直に立ち上がり、底は平坦である。覆土は、黒褐色土単一層である。

第103図８は、覆土より出土したフイゴ羽口の胴部破片である。外面色調は橙～にぶい橙色を呈す

る。外面に長さ２㎝前後の沈線が長軸垂直方向不規則に数本確認できるが、これはスマキ状のものを成形に用いた痕跡と考えられる。また、長軸方向に沿ってケズリがなされている。胎土はスサを多く含む粘土で、内面は割れが著しく、送風孔の内径は計測不能であった。推定外径は12～13㎝である。

遺構の規模・形状・出土遺物等ＳＫ268に共通点が多い。

ＳＫ306（第104図、□第75図）

ＬＮ52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

0.63～0.68ｍの不整円形平面である。深さは0.38ｍ、底面標高は17.0ｍである。壁の立ち上がりは緩やかで、下方に小さな凹みを伴う。

覆土は、褐色土と暗褐色土よりなる５層である。うち第４層は木炭層である。

鍛冶作業に用いる木炭および鍛冶具の貯蔵・保管場所だった可能性が考えられる。

類	直径（㎜）	磁着あり	磁着なし
1	4.1以上	16.7ｇ	0.3ｇ
2	2.9～4.0	9.9ｇ	0.1ｇ
3	2.0～2.8	12.2ｇ	0.2ｇ
4	1.0～1.9	47.0ｇ	1.2ｇ
残砂	0.6～0.9	153.3ｇ	4.2ｇ
〃	0.6未満	520.1ｇ	14.3ｇ

第11表　ＳＫ306鉄滓計測値

採取炭化物（試料番号７）は樹種同定を行い、その結果クリ４破片を確認している。放射性炭素年代測定では、^{14}Ｃ年代値は460±35BPであった（測定番号PLD-797）。

本遺構で特徴的なことは、木炭層が存在すること、きわめて微細な鍛冶滓の比率が高いことである。

ＳＫ321（第104図、□第72図、図版22）

ＬＯ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.82ｍ、短径0.54ｍの不整楕円形平面である。深さ0.06ｍで、底面標高は17.5ｍである。

覆土は鉄滓層、黒褐色土層、焼土まじりの地山土よりなる４層である。

鍛造剥片298.9ｇと、粒状滓24.3ｇ出土した。それぞれ、粒度別重量・個体数を次に掲げる。

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	4.8ｇ(42.1%)	27（ 1.3%）
2	2.9～4.0	7.5ｇ(21.9%)	144（ 6.8%）
3	2.0～2.8	7.1ｇ(13.6%)	推1060（50.0%）
4	1.0～1.9	4.9ｇ(22.3%)	推 890（41.9%）

第12表　ＳＫ321粒状滓計測値

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	26.8ｇ(9.0%)	141（ 0.2%）
2	2.9～4.0	35.3ｇ(11.8%)	推 650（ 1.3%）
3	2.0～2.8	90.9ｇ(30.4%)	推 6730（13.7%）
4	1.0～1.9	145.9ｇ(48.8%)	推41700（84.8%）

第13表　ＳＫ321鍛造剥片計測値

なお、上記以外の鍛冶滓では径が20㎜を越えるものは合計266点あり、そのうち６点は径50㎜を越えた。

類	直径（㎜）	磁着あり	磁着なし
1	4.1以上	1222.9ｇ	1067.5ｇ
2	2.9～4.0	328.2ｇ	89.3ｇ
3	2.0～2.8	298.5ｇ	57.9ｇ
4	1.0～1.9	213.0ｇ	156.5ｇ
残砂	0.6～0.9	370.2ｇ	311.8ｇ
〃	0.6未満	438.4ｇ	911.3ｇ

第14表　ＳＫ321鉄滓計測値

第104図１は、工具付着滓で、原体となる工具は筋状の突起を有する棒状と考えられる。重量0.82ｇ。第104図２・３は再結合滓である。２は、径２㎝大の再結合滓２個がさらに結合した滓で、多量の粒状滓・鍛造剥片・滓片・木炭を含む。重量27.35ｇ。３は、上半が多量の粒状滓・鍛造剥片・滓片・木炭(痕)を含み、不整でゴツゴツしており、下半がなめらかな半球状の滓である。重量48.61ｇ。

他に、含鉄鍛冶滓などの鉄滓、また、カナトコ石の小破片31点、木炭などが出土した。なお、鍛冶滓にはカナトコ石の砕片が付着した例もある。

ＳＫ400（第104図、□第71図、図版22）

ＬＲ57区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.79m、短径0.35mの楕円形平面を呈し、長軸端にピット状の丸底の凹みをともなう。深さ0.04m、底面標高17.3mである。覆土は、上位が暗褐色土を呈し、下位は焼土である。

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	0.05ｇ(2.0%)	1 (0.4%)
2	2.9～4.0	0.74ｇ(30.3%)	14 (5.2%)
3	2.0～2.8	0.85ｇ(34.8%)	48 (17.8%)
4	1.0～1.9	0.80ｇ(32.8%)	207 (76.6%)

第15表　ＳＫ400粒状滓計測値

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	3.2ｇ(5.5%)	24 (0.2%)
2	2.9～4.0	9.7ｇ(16.6%)	推 320 (3.2%)
3	2.0～2.8	10.8ｇ(18.5%)	推 860 (8.7%)
4	1.0～1.9	34.6ｇ(59.3%)	推8650 (87.8%)

第16表　ＳＫ400鍛造剥片計測値

類	直径（㎜）	磁着あり	磁着なし
1	4.1以上	117.1ｇ	210.9ｇ
2	2.9～4.0	74.4ｇ	61.1ｇ
3	2.0～2.8	44.0ｇ	55.1ｇ
4	1.0～1.9	63.5ｇ	164.8ｇ
残砂	0.6～0.9	59.7ｇ	508.1ｇ
〃	0.6未満	58.9ｇ	625.1ｇ

第17表　ＳＫ400鉄滓計測値

遺構の規模・形状・出土遺物などの面で、ＳＫ321と対をなす遺構である。

ＳＫ407（第105図、□第71図、図版22）

ＬＱ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.42m、短径0.33mの楕円形平面を呈する。深さは0.26mで、底面標高は17.1mである。

覆土は黒褐色土単一層で、焼土が混入している。

覆土中より元代龍泉窯産の青磁碗（第105図４）が出土した。13世紀作。青磁釉色調は緑褐色を呈し、内側面は片切彫によって劃花文が描かれている。外側面は無文で、一部は貫入が被覆する。高台は意図的に打ち欠かれた痕跡があり、再利用に供されたものと推定する。台裏のみ無釉である。

鍛造剥片0.25ｇと、粒状滓0.05ｇが出土した。それぞれ、粒度別重量・個体数を以下に掲げる。

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	0ｇ（－）	0（－）
2	2.9～4.0	0ｇ（－）	0（－）
3	2.0～2.8	0ｇ（－）	0（－）
4	1.0～1.9	0.05ｇ(100%)	10（100%）

第18表　ＳＫ407粒状滓計測値

類	直径（㎜）	重　　量	個体数
1	4.1以上	0ｇ（－）	0（－）
2	2.9～4.0	0.02ｇ(8.0%)	1（ 1.8%）
3	2.0～2.8	0.05ｇ(20.0%)	3（ 5.5%）
4	1.0～1.9	0.18ｇ(72.0%)	51（92.7%）

第19表　ＳＫ407鍛造剥片計測値

類	直径（㎜）	磁着あり
1	4.1以上	1.10ｇ
2	2.9～4.0	1.40ｇ
3	2.0～2.8	0.44ｇ
4	1.0～1.9	6.61ｇ
残砂	0.6～0.9	12.59ｇ
〃	0.6未満	36.21ｇ

第20表　ＳＫ407鉄滓計測値

計測値より、磁着のない鉄滓が皆無なこと、粒状滓・鍛造剥片ともに粒度の細かいものが多いことが明らかである。本遺構が鍛造鍛冶工程の最終段階（仕上げ等）に関与したことが推定できる。

ＳＫ408（第105図、□第71図、図版22）

ＬＱ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.48m、短径0.30mの楕円形平面である。深さは0.17m、底面標高は17.2mである。

覆土は、上位焼土層、中～下位は黒褐色土と暗褐色土の３層である。

後世混入と思われる、斜縄文の施された縄文土器胴部破片１点（第105図１）が出土した。

鍛冶関連遺物の出土はないが、焼土層が存在する点や規模・形態の面でＳＫ407に類似する。

ＳＫ1957（第105図、□第71図）

ＬＱ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.47m、短径0.29mの楕円形平面を呈する。深さは0.12mで、底面標高は17.4mである。

覆土は、上層が焼土塊を少量含む明黄褐色粘土、下位が暗褐色土の２層である。

第４類（径1.0～1.9㎜）に属する鍛造剥片0.03ｇが下位層より出土した。また、第４類鍛冶滓0.1ｇ、残砂大0.3ｇ、小1.7ｇが出土しており、いずれも磁着する。

炉壁が２点出土した（第105図２・３）。ともに白砂や小礫を大量に混和した粘土によって作られ、黒色を呈し、いずれも磁着する。また、いずれも３面が綺麗に面取りされており、各面の接する付近はガラス化がみられ、気孔を伴う。

⑥鍛冶遺物出土柱穴

ＳＫＰ507（第106図、□第66図、図版22）

ＬＴ61区に位置する。ＳＫＰ1141に切られる。ＳＢ3006掘立柱建物跡を構成する柱穴である。

本遺構では粒度の小さい鍛冶滓は出土していないが、ＳＫＰ1141底面から本柱穴の側面にかけて径50㎜を越える椀形鍛冶滓が７点出土した。

第106図１は、上面は２箇所の凹みとそれに挟まれた凸部を有し、下方表面は平坦な滓である。重量は56.01ｇ。同図２は、上・下面ともにゴツゴツした、凹凸の著しい滓である。上面には多くの木炭（痕）がみられる。重量287.48ｇ。３は、上面が径１～２㎜の微細な孔が多く、下面には斜め下方にのびた滓部がある滓で、重量48.80ｇ。４は、平面不整三角形をした滓で、重量104.70ｇ。

本遺構は鍛冶炉を断ち割って廃棄した痕跡と考えられる。出土状態から、ＳＢ3006掘立柱建物の廃絶行為と推定する。

ＳＫＰ1186（第106図、□第72図）

ＬＮ57区に位置する。他の遺構との切り合いはない。工房と考えられるＳＢ3002掘立柱建物跡外周に近接する。Ⅲ層上面で確認した。鍛冶滓およびフイゴ羽口が出土している。

第116図５は、平面不整四角形をした椀形鍛冶滓である。片側寄り下面には、斜め下方にのびた滓部がある。破面は２箇所である。

第116図６は、鍛冶炉用フイゴ羽口の胴部破片である。外面色調は、にぶい黄橙色から灰黄褐色へと変化し、その境界にはオリーブ灰色が幅５㎜程度に斜位方向線状に入る。送風孔推定内径４㎝前後、推定外径10㎝前後である。胎土はスサ入り粘土で、やや軟質である。

ＳＫＰ1981（第106図、□第65図）

ＭＣ62区に位置する。ＳＫＰ507同様、掘立柱建物跡ＳＢ3006を構成する柱穴である。

カナトコ石の破片が出土した（第106図７）。材質は安山岩である。扁平な形状をしており、平らな一面は堅くしまっており、他面は脆い状態で、色調は両面とも全面赤みを帯びている。

⑦炭窯

４基のうち３基が、鍛冶関連土坑の集中する区域の北側に位置する。鍛冶炉使用の木炭は火の保ちをよくするためクリなどの堅く緻密な樹木を材料とする場合が多いが、本遺跡のＳＷ205、ＳＷ248出土の木炭も樹種同定の結果はクリであった。そしてまた、立地を考えると、鍛冶炉使用の炭を焼成したと考えるのが自然である。しかし、鍛冶作業に用いる炭窯は伏せ焼き土坑が普通であることを考慮すると、ＳＷ248は形態上、そう断定できない要素も含んでいる。

ＳＷ202（第107図、□第70図）

ＬＭ60区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.86～0.88ｍの円形平面である。

深さは0.17ｍ、底面標高は17.3ｍである。壁は緩やかに立ち上がり、底は平坦を基調とするもや

や円みを帯びる。

覆土は、地山土を少量含む暗褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

ＳＷ205（第107図、□第72図、図版21）

ＬＭ58区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径1.55～1.65ｍの略円形平面である。深さは0.17ｍ、底面標高は17.3ｍである。壁は緩やかに立ち上がり、底は平坦を基調とするもやや円みを帯びる箇所がある。

覆土は、地山土を少量含む暗褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。

採取炭化物（試料番号４）は樹種同定を行い、その結果クリ５破片を確認した。放射性炭素年代測定では、^{14}Ｃ年代値は1,020±35BPであった（測定番号PLD-794）。

ＳＷ248（第107図、□第72図、図版21）

ＬＮ58・59区に位置する。ＳＫＰ249、ＳＫＰ253を伴う。撹乱を切る。Ⅲ層上面で確認した。

径1.83～1.84ｍの円形平面である。深さは0.14ｍ、底面標高は17.4ｍである。壁は緩やかに立ち上がり、底はほぼ平坦である。

覆土は、木炭と焼土を少量含む暗褐色土単一層である。一括の埋め戻しと判断した。礫数点を覆土上位で確認した。

採取炭化物（試料番号５）は樹種同定を行い、その結果クリ２破片を確認した。放射性炭素年代測定では、^{14}Ｃ年代値は970±35BPであった（測定番号PLD-795）。

ＳＫＰ249およびＳＫＰ253は煙突状の施設として木炭窯と一連の遺構である可能性が高い。地下式木炭窯であるとすれば、鍛冶炉用木炭でなく製錬炉使用の炭を焼成した可能性がある(註3)。

ＳＷ912（第107図、□第59図）

ＭＨ51・52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径1.02ｍ、短径0.88ｍの楕円形平面である。深さは0.28ｍ、底面標高は16.8ｍである。

覆土は、埋め戻しによる暗褐色土単一層である。

⑧溝跡

溝跡から出土した遺物については、第109図に掲げる。土器・石器・陶磁器・鉄製品・土錘の、法量ほか観察の結果は「３．遺構外出土遺物」の項で、遺構外出土の遺物とともに一括して取り上げる。

ＳＤ201（第108図、□第70・71・72図）

ＬＭ～ＬＱ59～61区に位置する。ＬＰ59区西端でＳＤ238と直交する。検出面はⅢ層上面。全長は20.5ｍで東北東から西南西へ走向する。

覆土は、概ね黒褐色土単一層であるが、ところにより下位に掘削残土由来と推定される明黄褐色土の混じる箇所がある。須恵器系中世陶器１点（第106図３）、縄文土器片２点、石器剥片５点、二次加工ある剥片３点、礫などが出土した。

縄文時代の遺物は混入によるものと思われる。ＳＤ238とほぼ同時に存在した可能性の高い溝跡である。

ＳＤ238（第108図、□第71・72・75図）

ＬＭ～ＬＱ52～59区に位置する。ＬＰ59区西端でＳＤ201と直交する。ＳＫＰ296などを切る。検出面はⅢ層上面である。全長33ｍで、最大幅0.6ｍであるが、平均幅は0.4ｍ前後とほぼ一定で、深さは大略0.3ｍ前後である。南東から北西方向に走向する。

覆土は、地山土をごく少量含む黒褐色土単一層である。縄文時代の磨石（第109図５）および中世の鍛冶滓が出土した。

第109図５は川原石製の磨石（半円状扁平磨製石器）である。扁平な２面には指頭大の凹みがある。他の４面のうち１面がすり面で、それ以外の３面はいずれも打ち欠いて粗く調整されている。

採取炭化物（試料番号８）の樹種同定の結果、サクラ属４破片を確認している。放射性炭素年代測定によれば、^{14}Ｃ年代値は460±35BPであった（測定番号PLD-796）。

ＳＤ447（第108図、□第68・71・74図）

ＬＲ・ＬＳ53～59区に位置する。検出面はⅢ層上面である。全長24ｍで幅0.7ｍである。南北方向に走向し、下方は第１次調査検出のＳＤ21につらなる。深さは0.3ｍ程度で壁は緩やかに立ち上がり、断面形状は逆台形様を呈する。南北方向に走向する。

覆土は、黒褐色土単一層である。製錬炉の炉壁（第109図４）、縄文土器片６点、石匙１点（第109図７）、二次加工ある剥片３点、礫数点などが出土した。

第109図４は、小さく面取りされた４つの面をもつ製錬炉用の炉壁である。白砂を多量に混和した粘土によってつくられ、黒色を呈する。ガラス化が比較的全面に及び、円形の気孔が多数、筋状の気孔が２箇所あり、磁着する。

第109図７は、珪質頁岩製の横型石匙である。打面は調整を受けており、残っていない。

ＳＤ504（□第66図）

ＬＳ61区に位置する。検出面はⅢ層上面である。

全長2.0ｍ、幅0.2ｍ、深さ0.1ｍ程度で、断面形状は円みを帯びたＶ字形である。

覆土は、黒褐色単一層である。遺物は出土しなかった。

近世以降に使用した水路か。

ＳＤ656（第108図、□第51・52図）

ＭＬ～ＭＰ52区に位置する。検出面はⅡ層上面である。全長16ｍで幅0.4～0.5ｍ、深さ0.1ｍ程度で丸底である。ＭＭ52区にてＳＤ997を分流する。

覆土は、地山土（Ⅲ層土）をごく少量含む黒褐色土単一層である。

第109図１・２は椀形鍛冶滓である。１は、上面はきわめてなめらかであるが１箇所だけ径2.5㎝大の半円状の大きな凹みがある。破面や側面には径１～５㎜大の気孔および比較的大きな木炭（痕）が

ある。上面は褐色、下面は黄褐色を呈する。２は、鍛冶炉の炉形が円形をなすことが確認できる滓である。表面はきわめてなめらかであるが、上面には外周に沿い１～２㎜大の小さな孔が弧状にめぐる。色調は、上面が黄褐色ないし褐色を呈し、下面は赤みを帯びる。

第109図６は、景徳鎮産青白磁の盤（または大皿）の底部破片である。14世紀製作。外底面の台部分には鉄釉が施されたのち、波状・同心円状の沈線が刻されている。内面（見込）は劃花の技法で文様が施されている。そのうち最も太い線は立ち上がり部分と重なるので、側面・底面を区画する文様と思われる。

第109図９は板状鉄製品である。クサビもしくは釘と思われる。同図10は、フック状の鉄製品である。手鎌のような用途も考えられるが、詳細は不明である。ともに中世以降の特徴を有する鉄製品である。

他に、石器剥片12点、二次加工ある剥片14点、礫数点などが出土した。後世混入の遺物の多い旧水田使用の水路と判断する。

ＳＤ739・ＳＤ743（第108図、第44・46・51図）

ＭＰ・ＭＱ51・52区に位置する。検出面はⅢ層上面である。

ＳＤ739が南北方向全長５ｍで、ＳＤ743はその東にＴ字状に取り付く形状であり、両者に重複関係が認められないところから一連の遺構と判断した。幅はＳＤ739が0.8m、ＳＤ743が0.6mで、深さはともに0.1～0.2m程度で丸底で、断面は椀形の形状を呈する。

覆土は上位が黒褐色土で、下位は褐色を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ741（第108図、□第51・53図）

ＭＰ51・52区に位置する。検出面はⅢ層上面である。

全長３ｍ、幅0.4mである。深さは0.1m程度で壁の立ち上がりはやや傾斜が異なり、底は円みを帯びる。

覆土は上位が黒褐色土、下位が褐色土を呈する。二次加工ある剥片１点が出土した。

ＳＤ758（□第44・49・51図）

ＭＮ～ＭＲ52～57区に位置する。検出面はⅢ層上面である。

全長28.5m、幅0.5～0.6m、深さ0.2～0.3m程度で断面形状はＵ字状を呈する。

北側は北東から南西方向へ流下し、ＭＱラインで東西方向に緩やかに屈曲する。

覆土は、黒褐色土単一層である。

ＳＤ978（第108図、□第54・61・63図）

ＭＩ～ＭＫ47～51区に位置する。検出面はⅢ層上面である。

全長18mで幅0.4mである。深さ0.2m程度で断面形状はＵ字形を呈する。下方は第１次調査におけるＳＤ80につらなる。

覆土は、地山土をごく少量含む黒褐色土単一層である。

メノウ製のスクレイパーが出土した（第109図８）。他に石器剥片１片、二次加工ある剥片１点が出土した。

台地尾根に沿うことから排水路として使用されたものと判断した。遺物の多くは後世混入である。

ＳＤ997（第108図、□第46・51・52・53図）

ＭＭ～ＭＱ50～52区に位置する。ＭＭ52区にてＳＤ656より分かれる。検出面はⅡ層上面である。

全長17ｍで幅0.4～0.5ｍと一定である。深さは0.1ｍ程度で丸底を呈し、断面形状は椀形である。

覆土は、地山土を少量含む黒褐色土単一層である。

ＳＤ1150（第108図、□第71図）

ＬＲ56・57区に位置する。検出面はⅢ層上面である。ＳＤ447と平行し、南北方向に走向する。全長２ｍで最大幅0.4ｍ、深さ0.1ｍ程度で底は比較的平坦である。

覆土は、黒褐色土単一層である。縄文土器片１点が出土した。

ＳＤ1264（□第39図）

ＮＥ～ＮＧ48区に位置する。ＳＫ1109に切られる。検出面はⅢ層上面である。

全長５ｍ、幅0.4ｍである。深さ0.1～0.2ｍで断面形状はＵ字形を呈する。

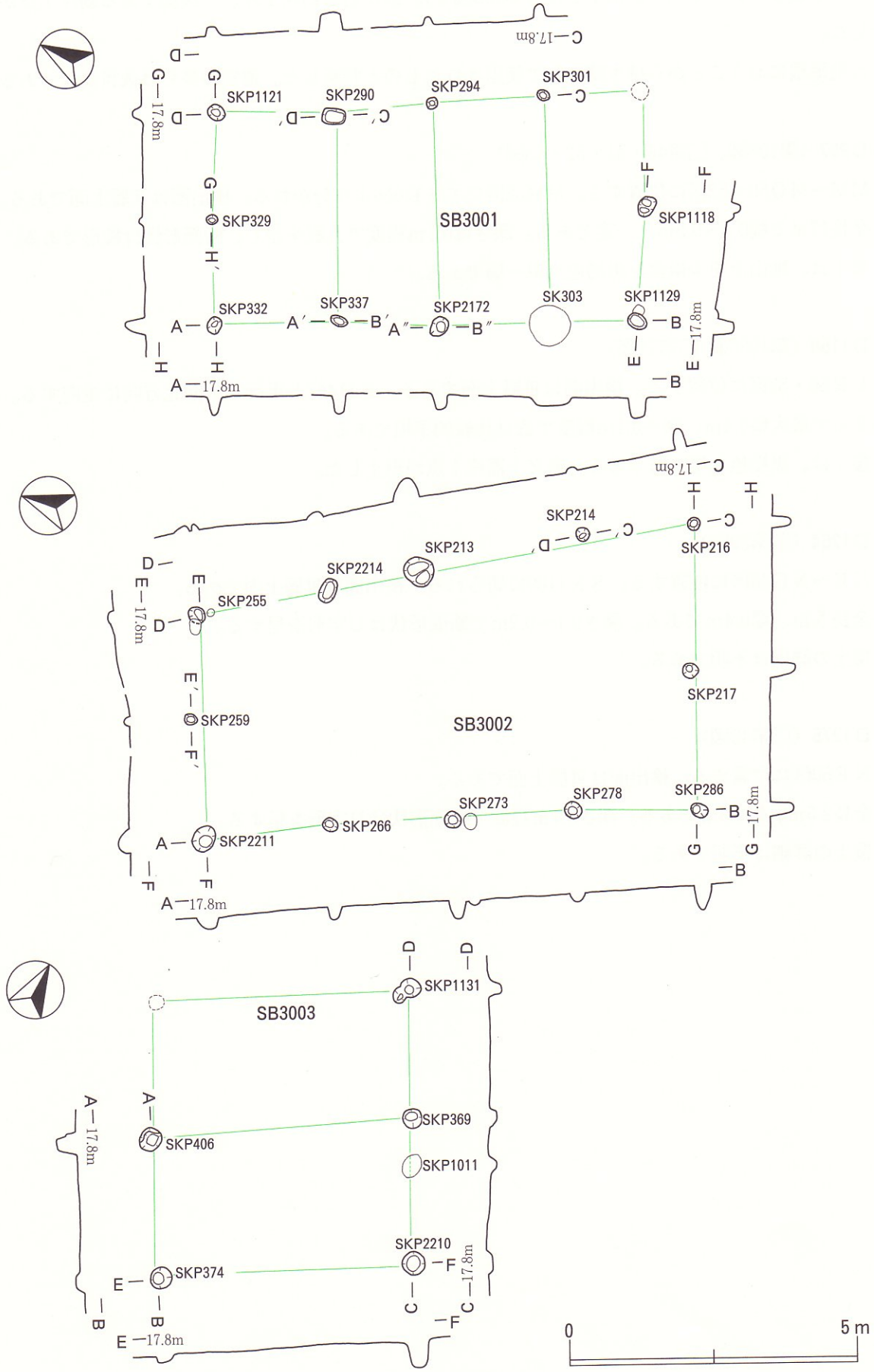
覆土の詳細は不明である。

ＳＤ1275（□第40図）

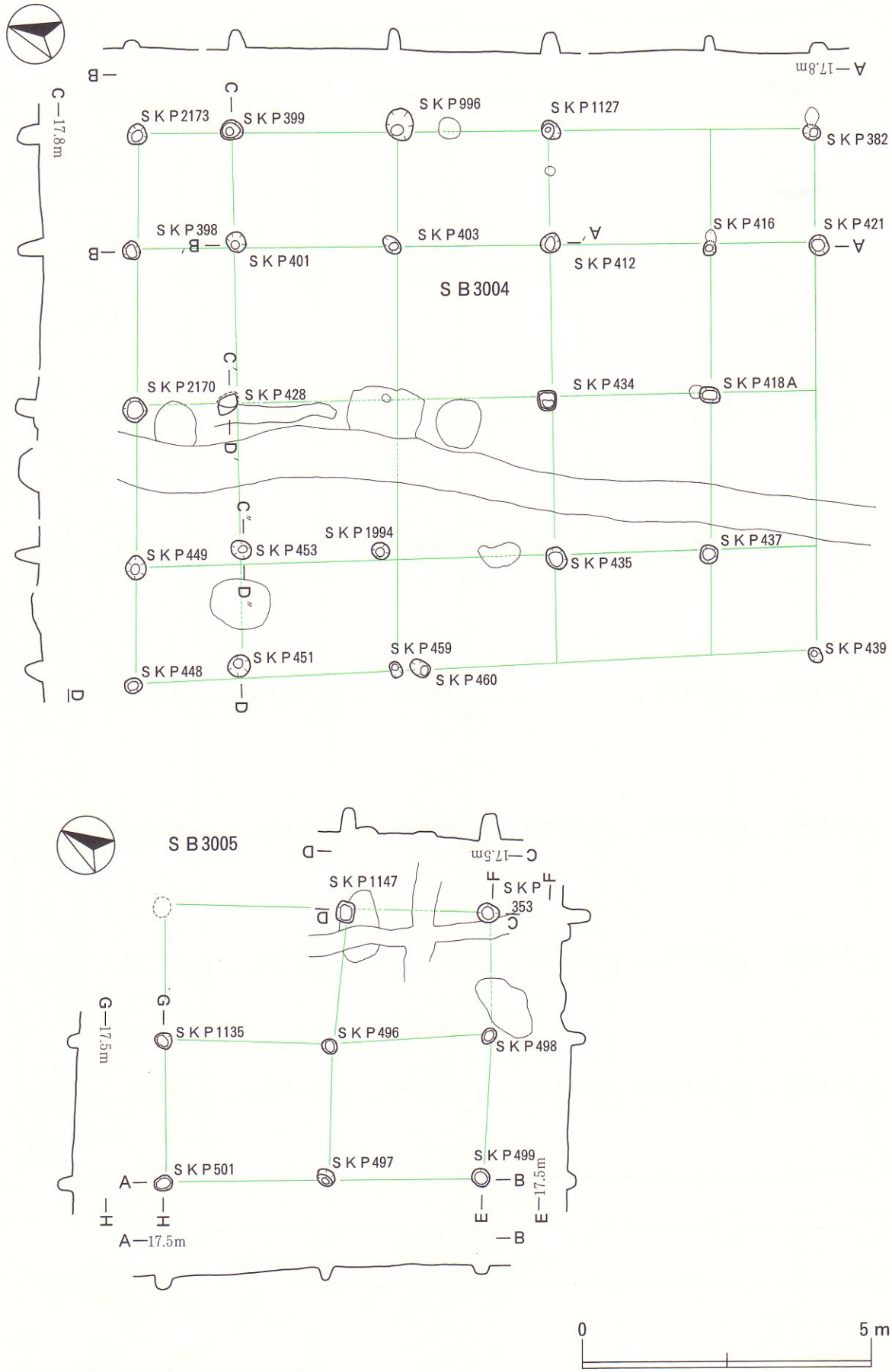
ＮＥ50区に位置する。検出面はⅢ層上面である。

全長2.5ｍ、幅0.3ｍである。深さ0.1ｍ程度で断面形状はＵ字形を呈する。

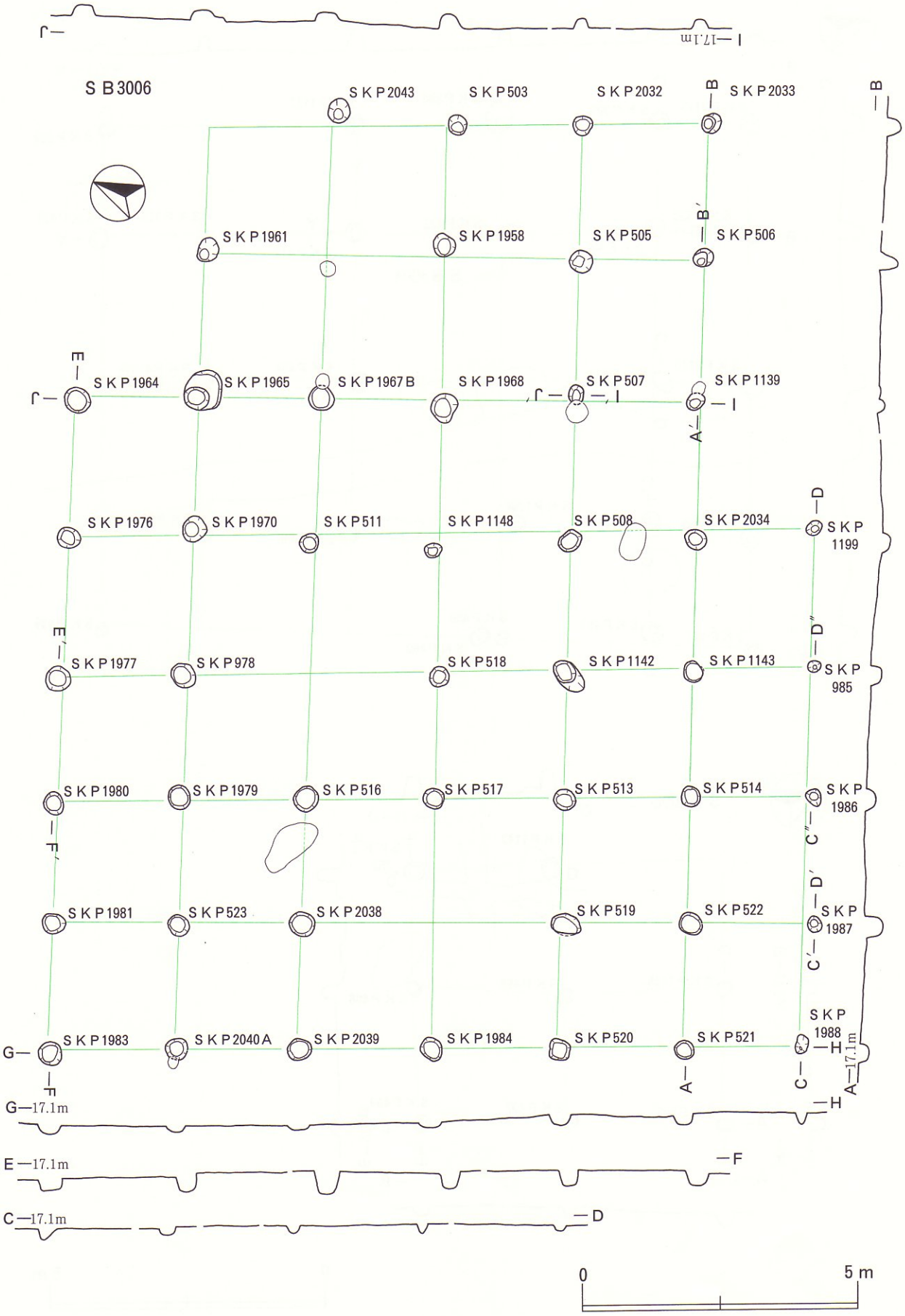
覆土の詳細は不明である。



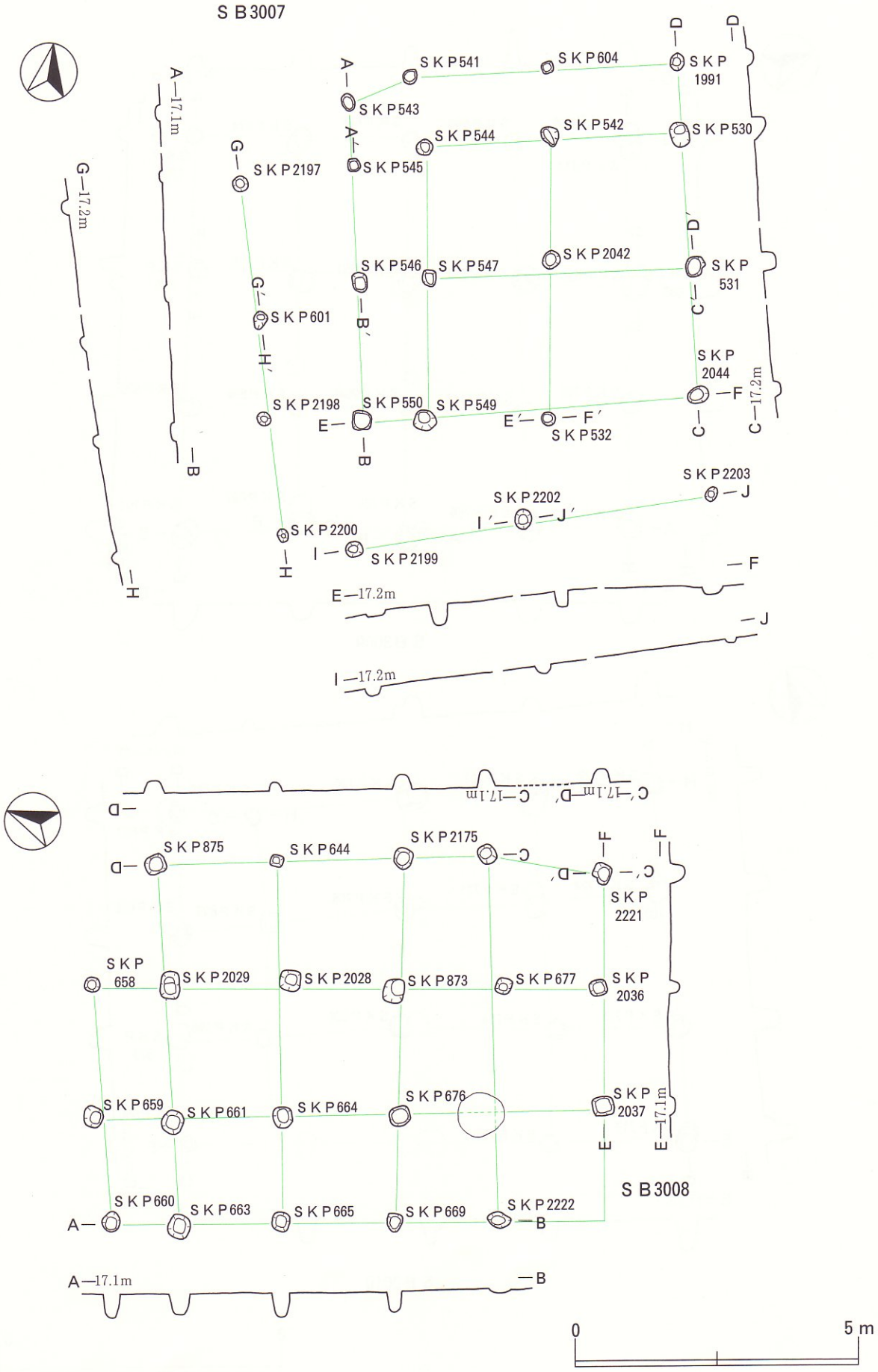
第84図　ＳＢ3001・3002・3003掘立柱建物跡



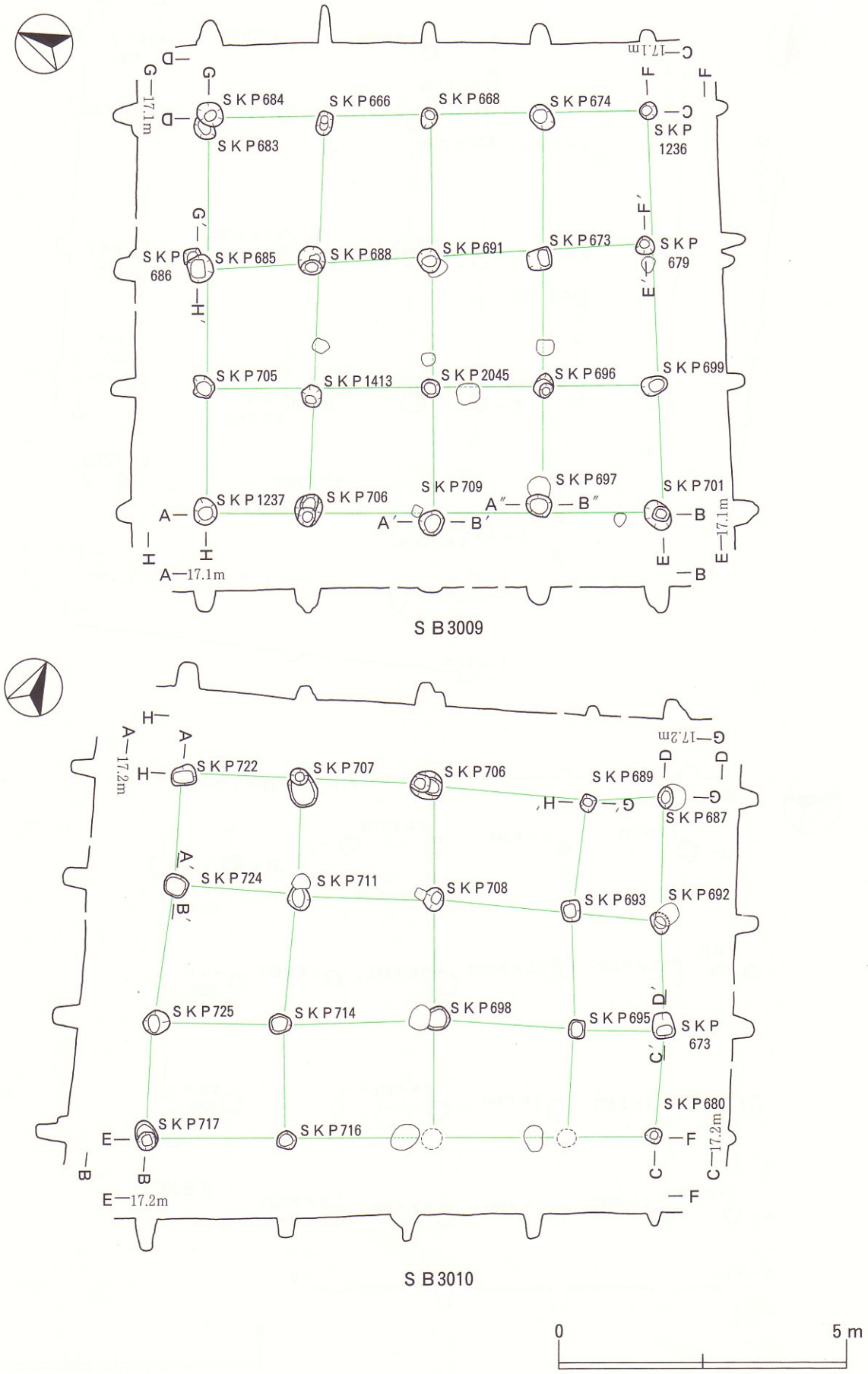
第85図　ＳＢ3004・3005掘立柱建物跡



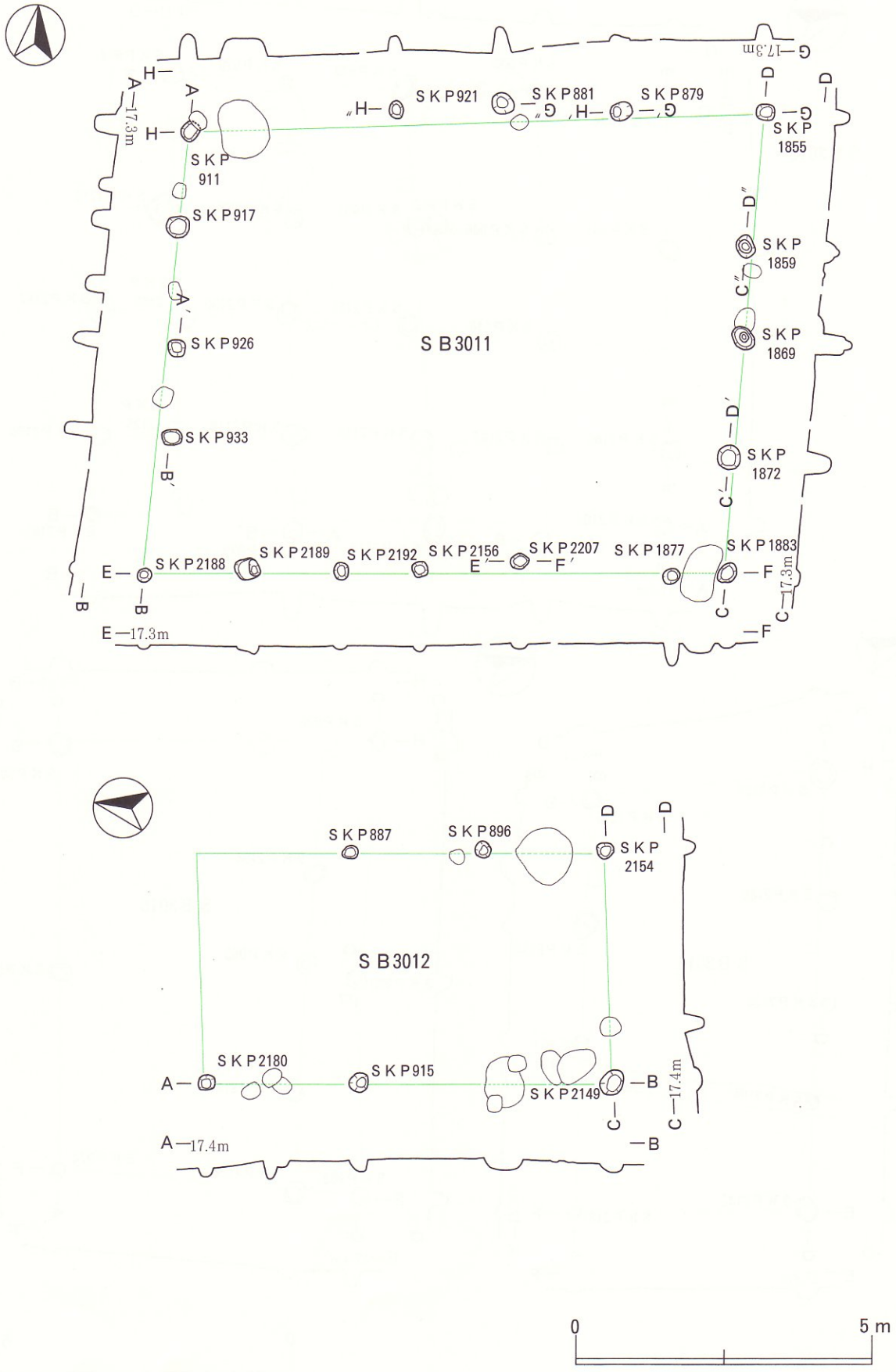
第86図　ＳＢ3006掘立柱建物跡



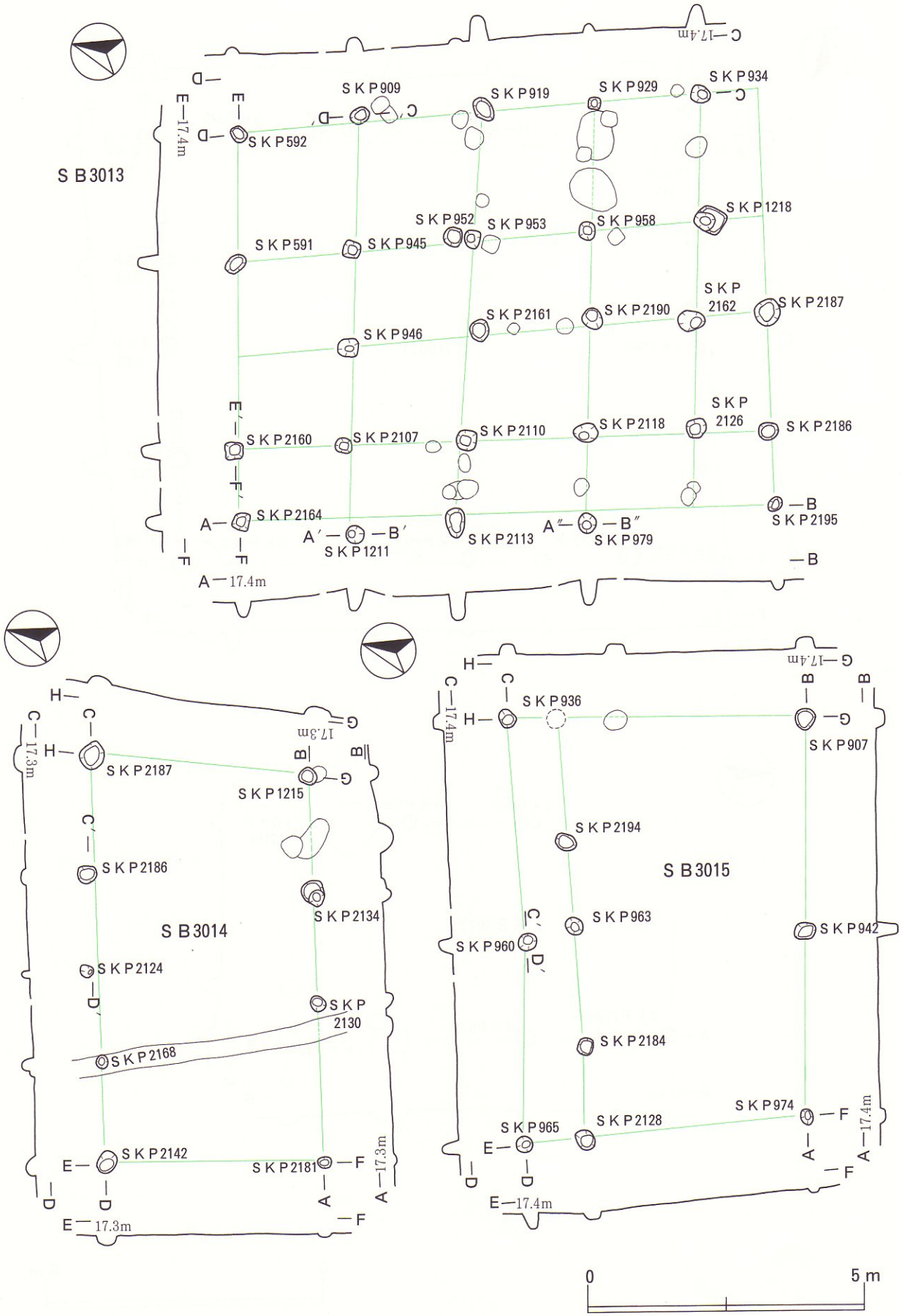
第87図　ＳＢ3007・3008掘立柱建物跡



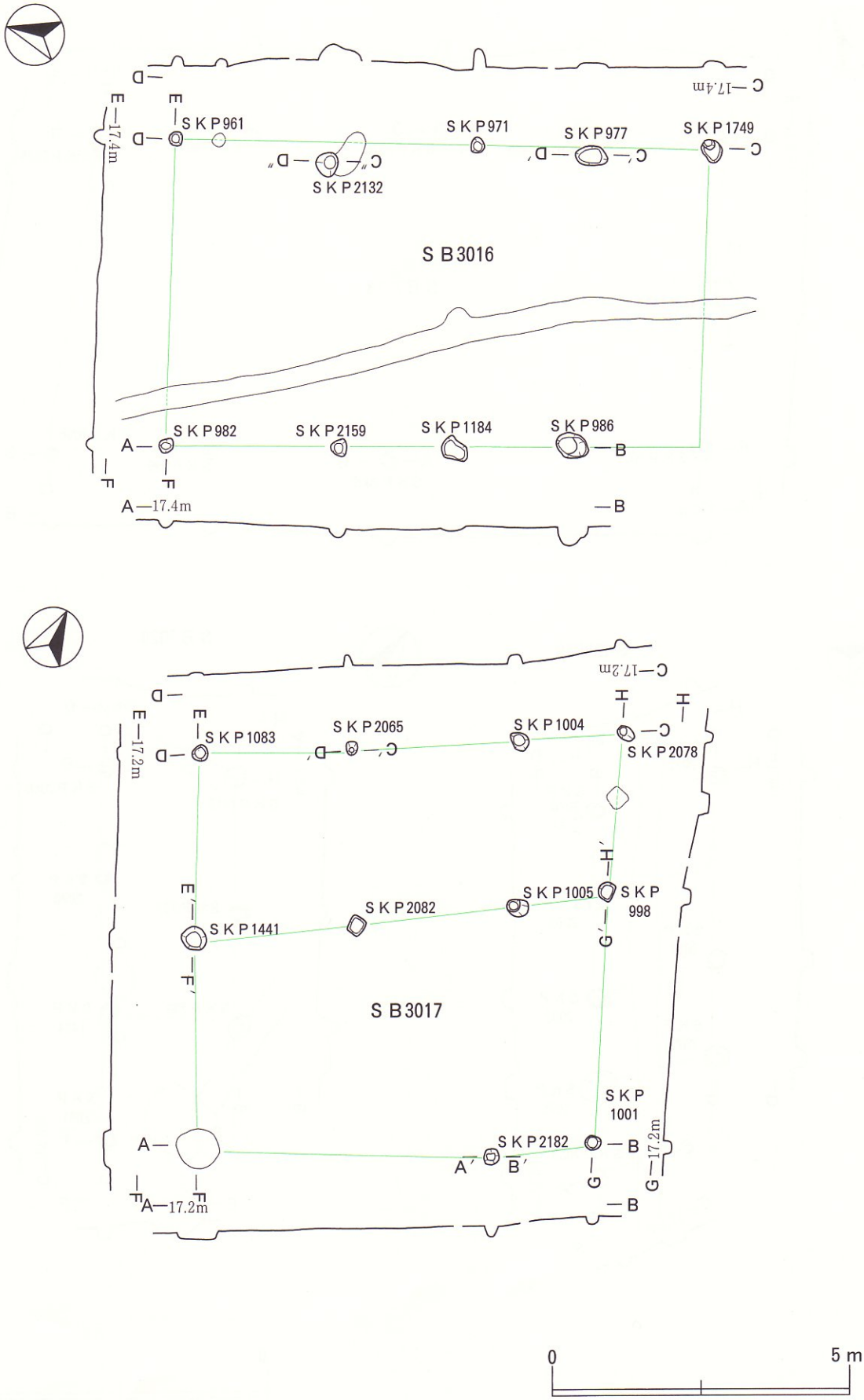
第88図　ＳＢ3009・3010掘立柱建物跡



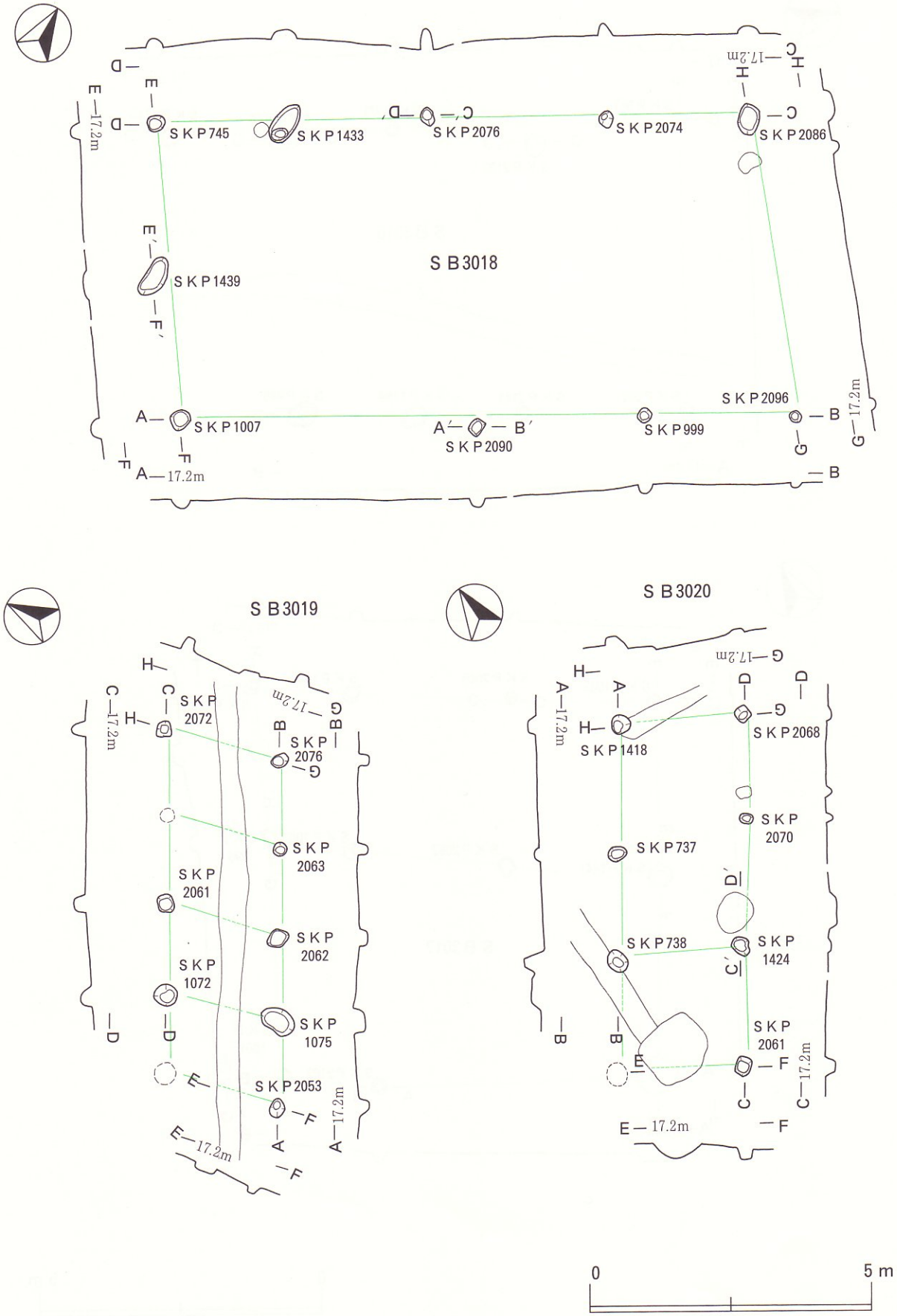
第89図　ＳＢ3011・3012掘立柱建物跡



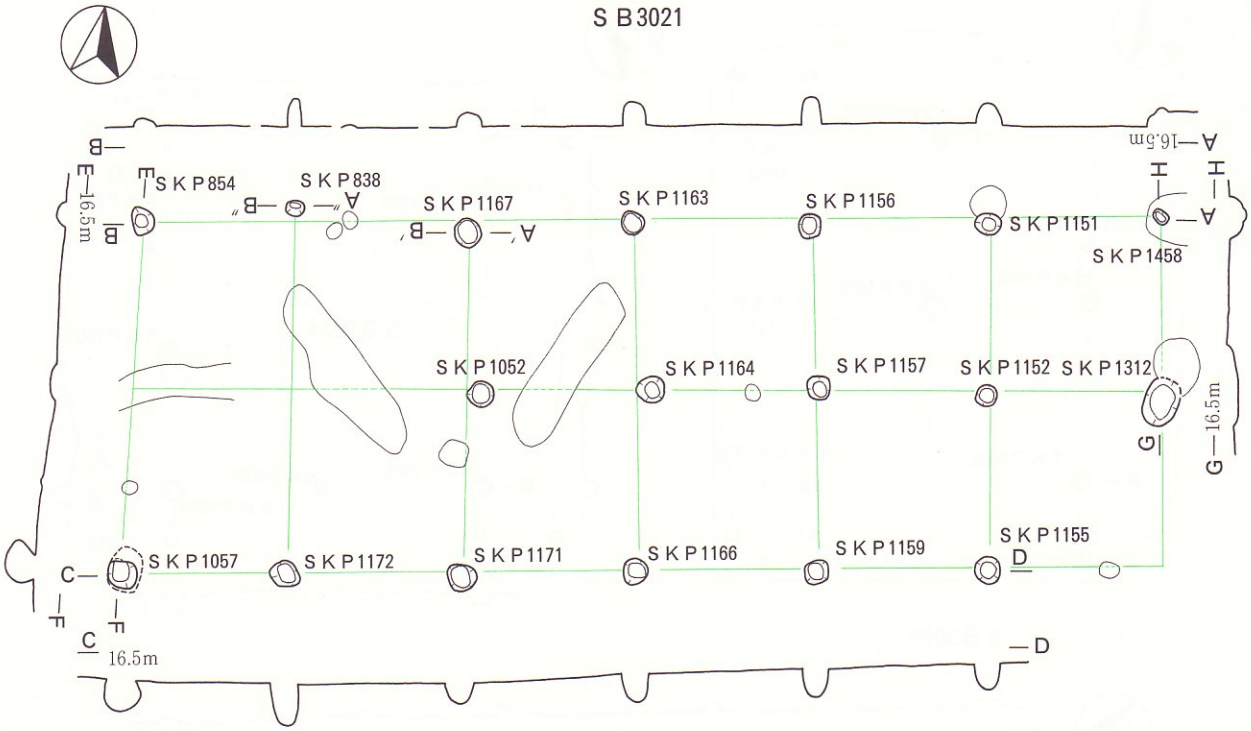
第90図　ＳＢ3013・3014・3015掘立柱建物跡

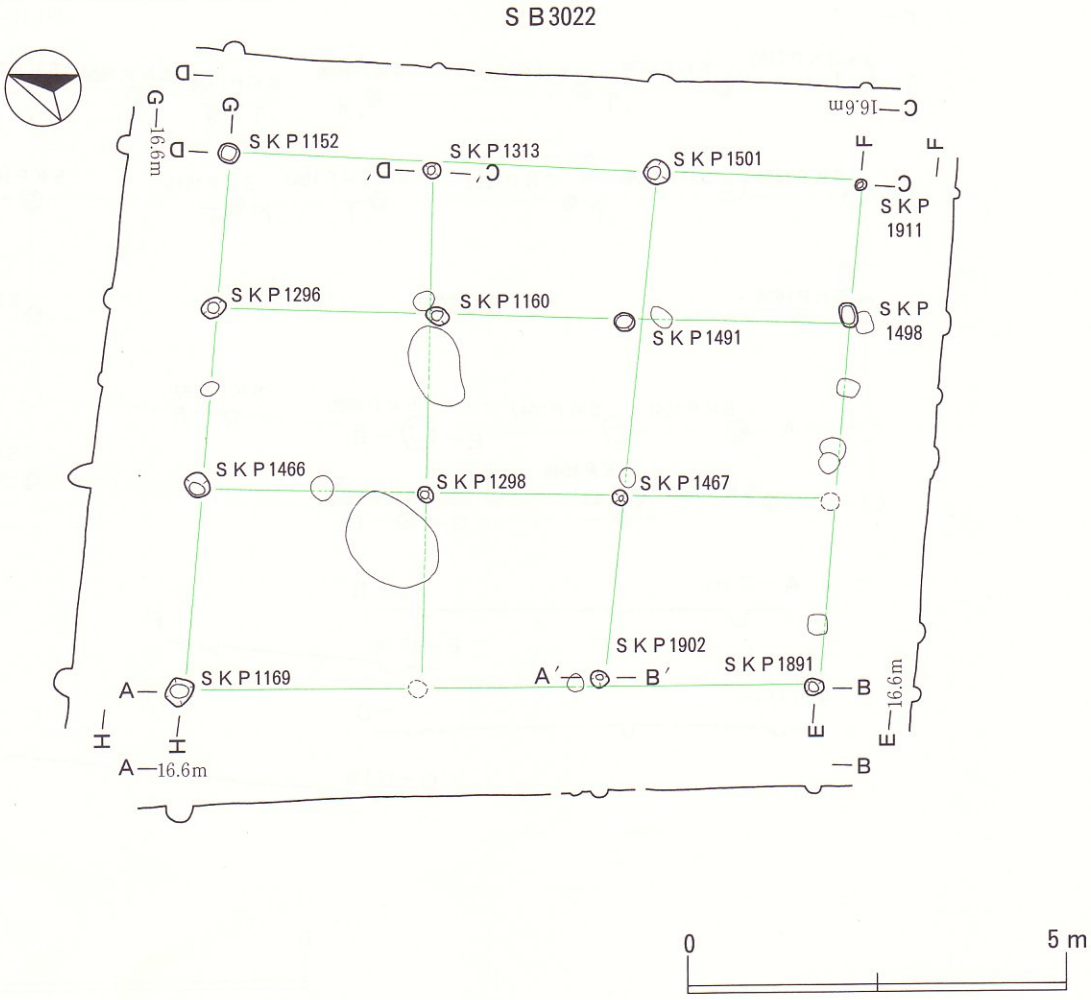


第91図　ＳＢ3016・3017掘立柱建物跡

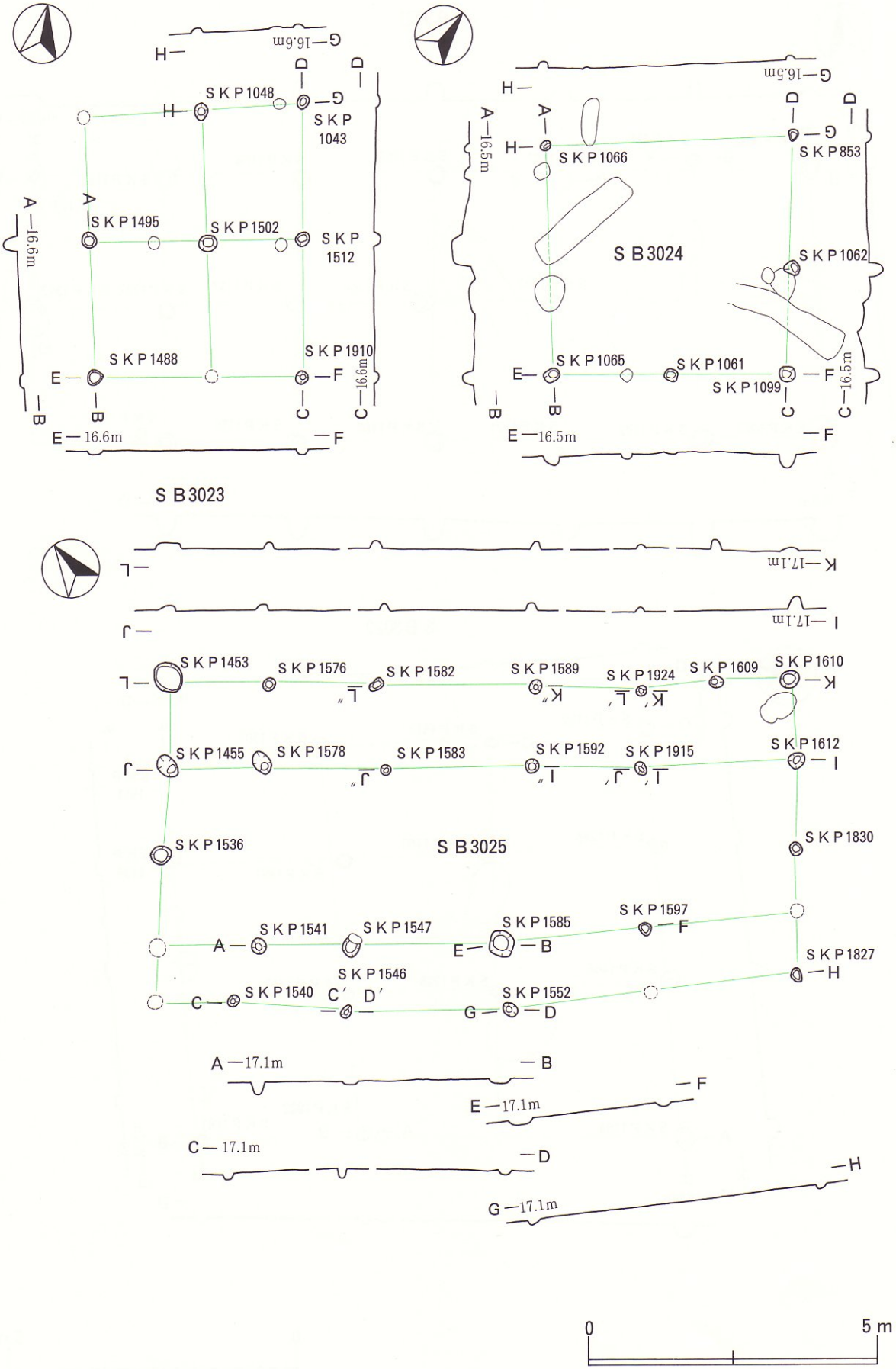


第92図　ＳＢ3018・3019・3020掘立柱建物跡

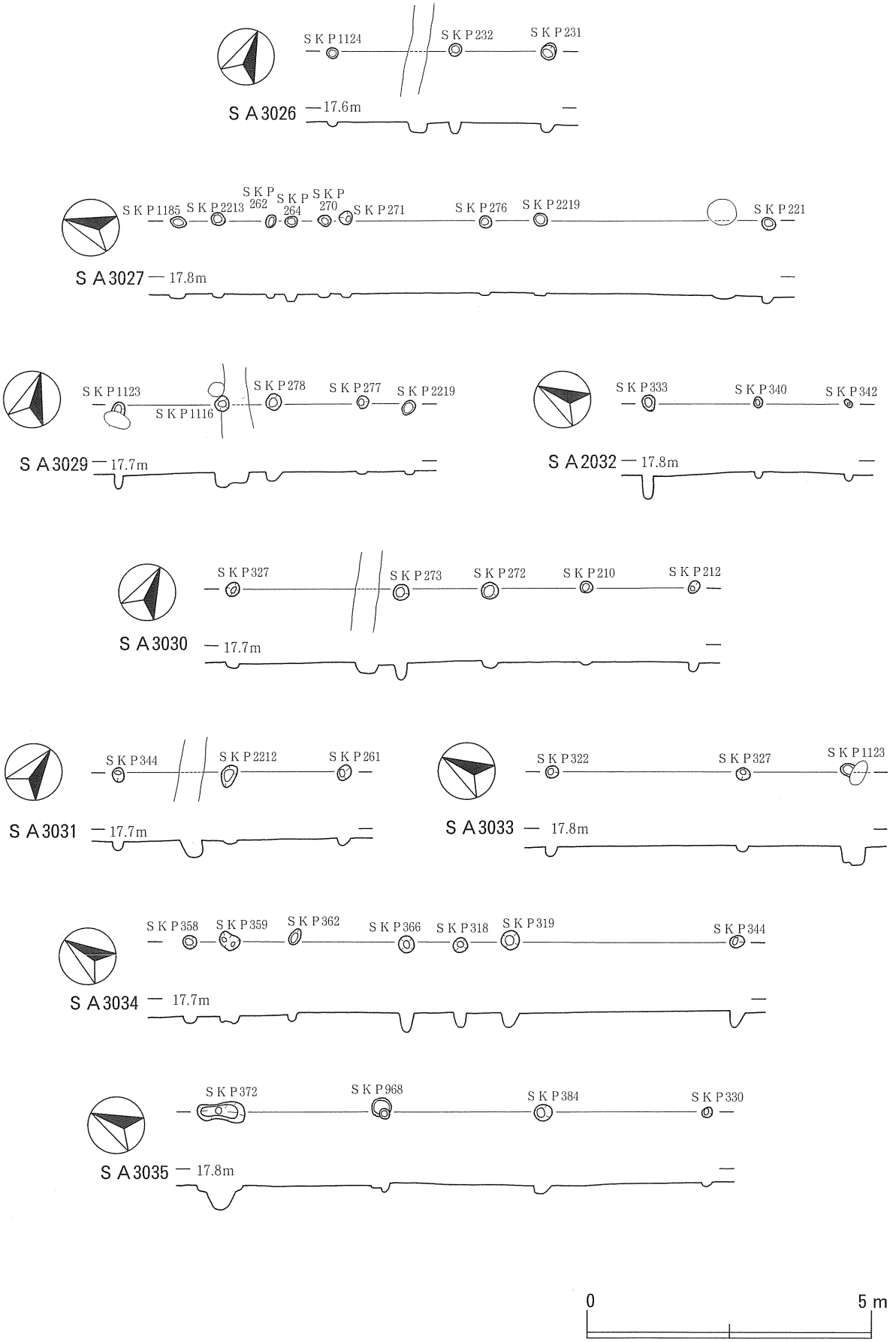




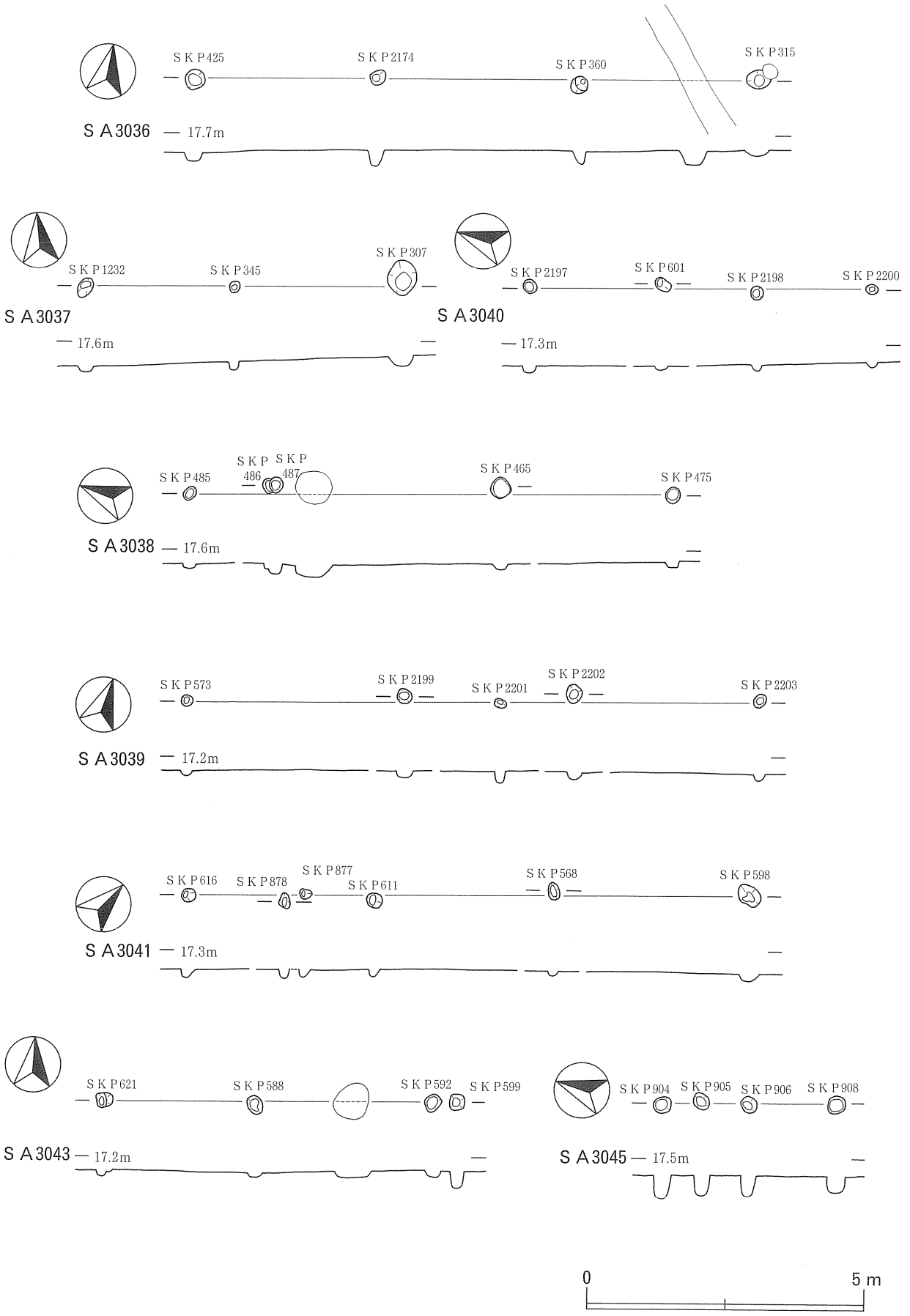
第93図　ＳＢ3021・3022掘立柱建物跡



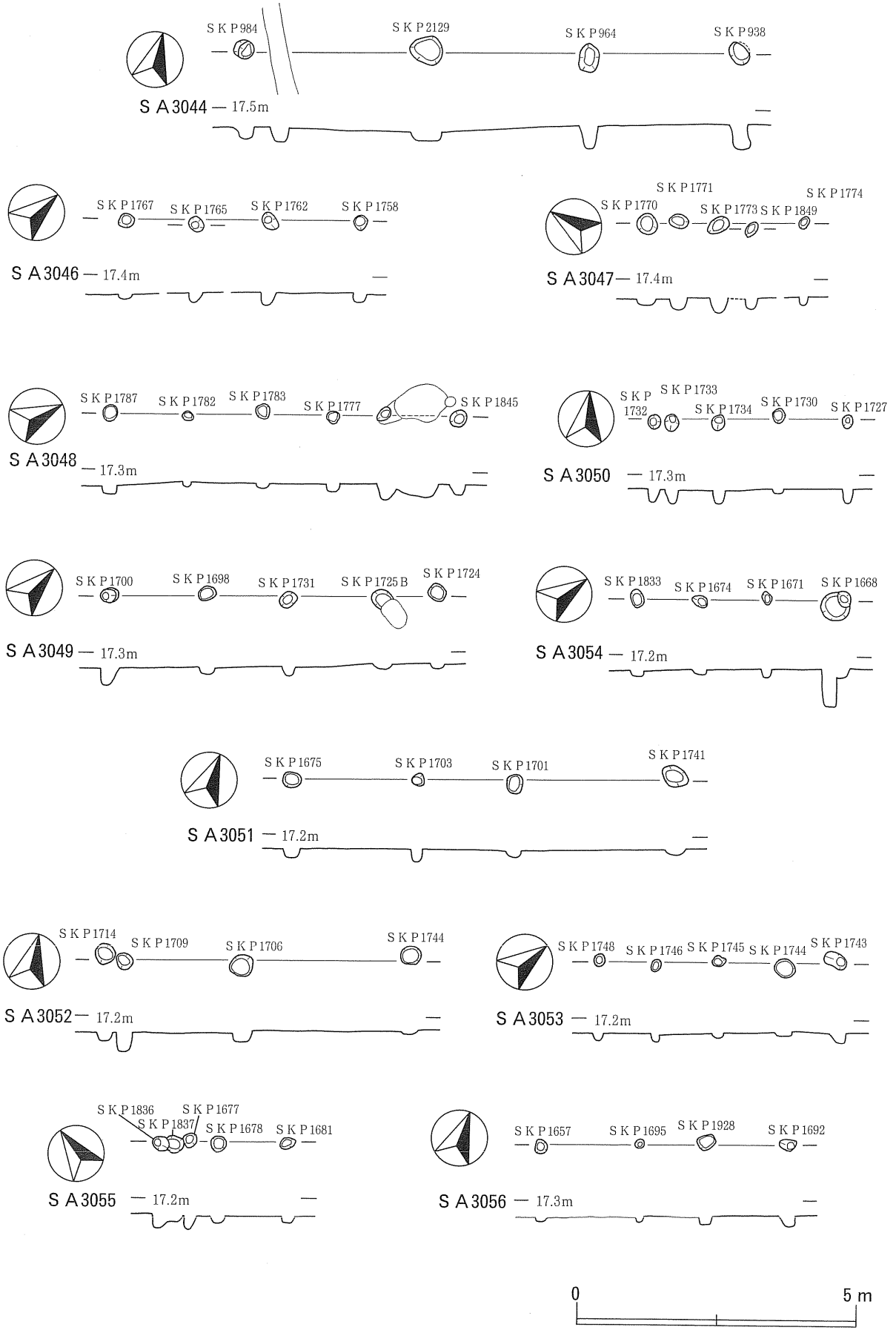
第94図　ＳＢ3023・3024・3025掘立柱建物跡



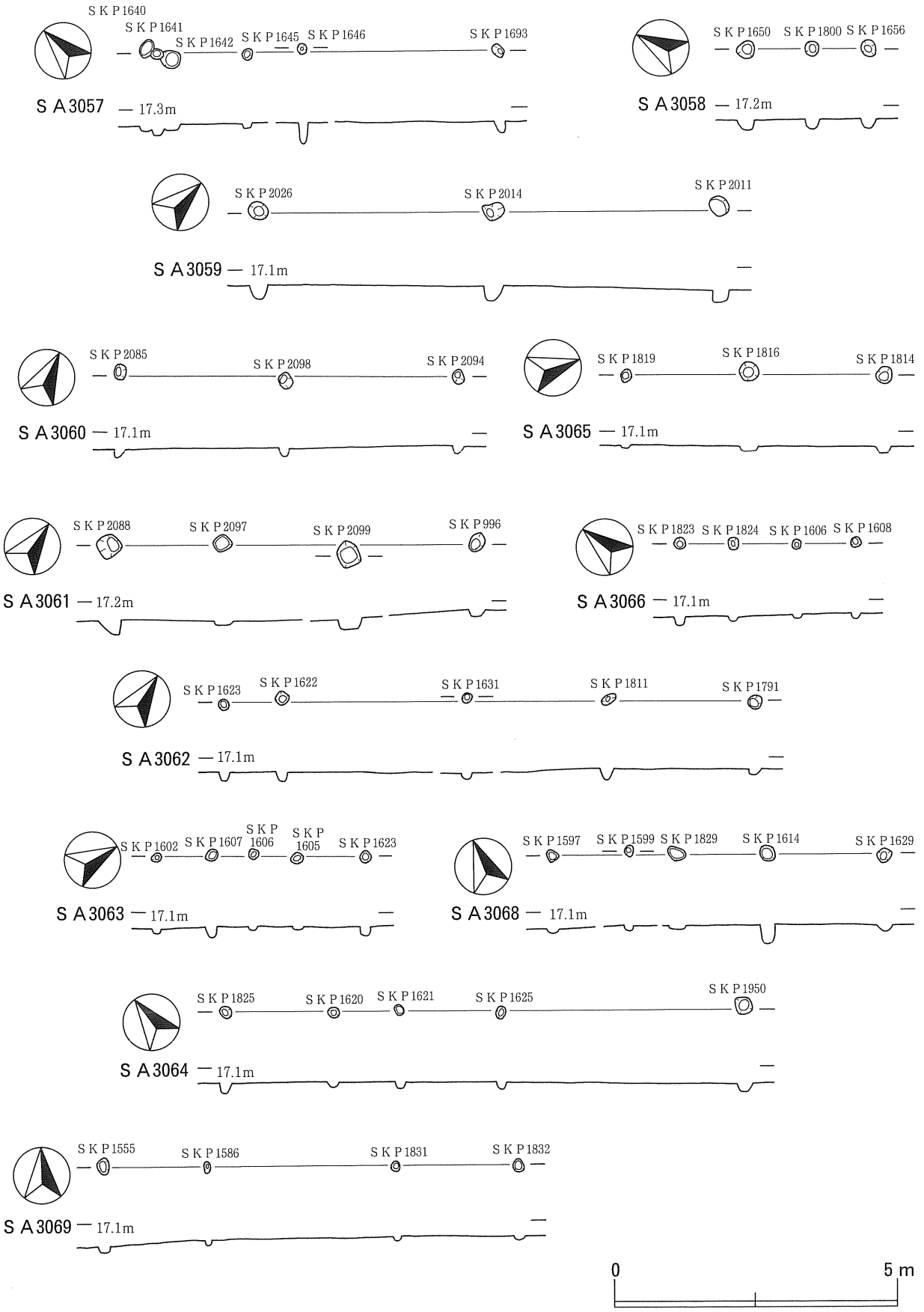
第95図　ＳＡ3026・3027・3029・3030・3031・3032・3033・3034・3035柱穴列



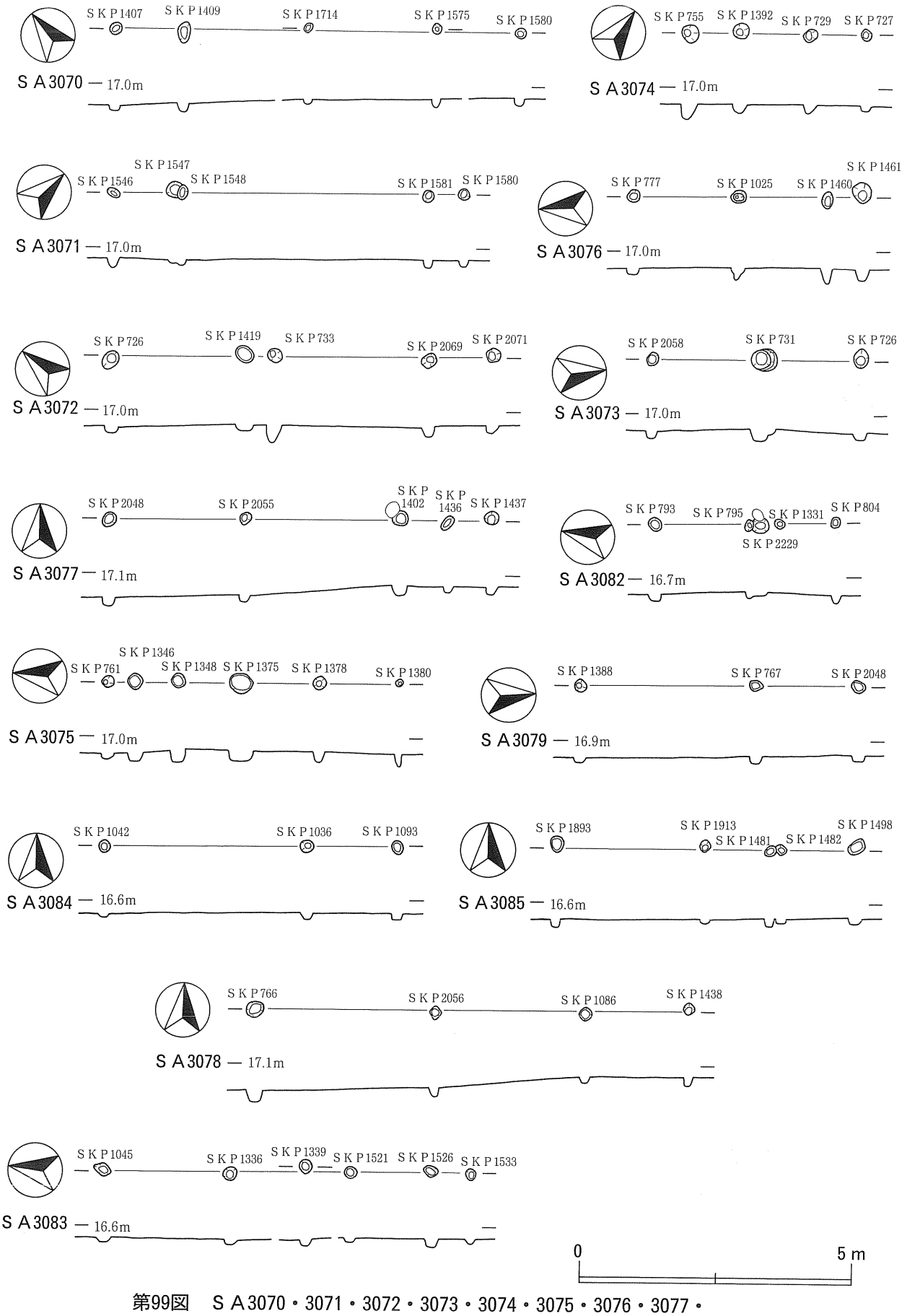
第96図　ＳＡ3036・3037・3038・3039・3040・3041・3043・3045柱穴列



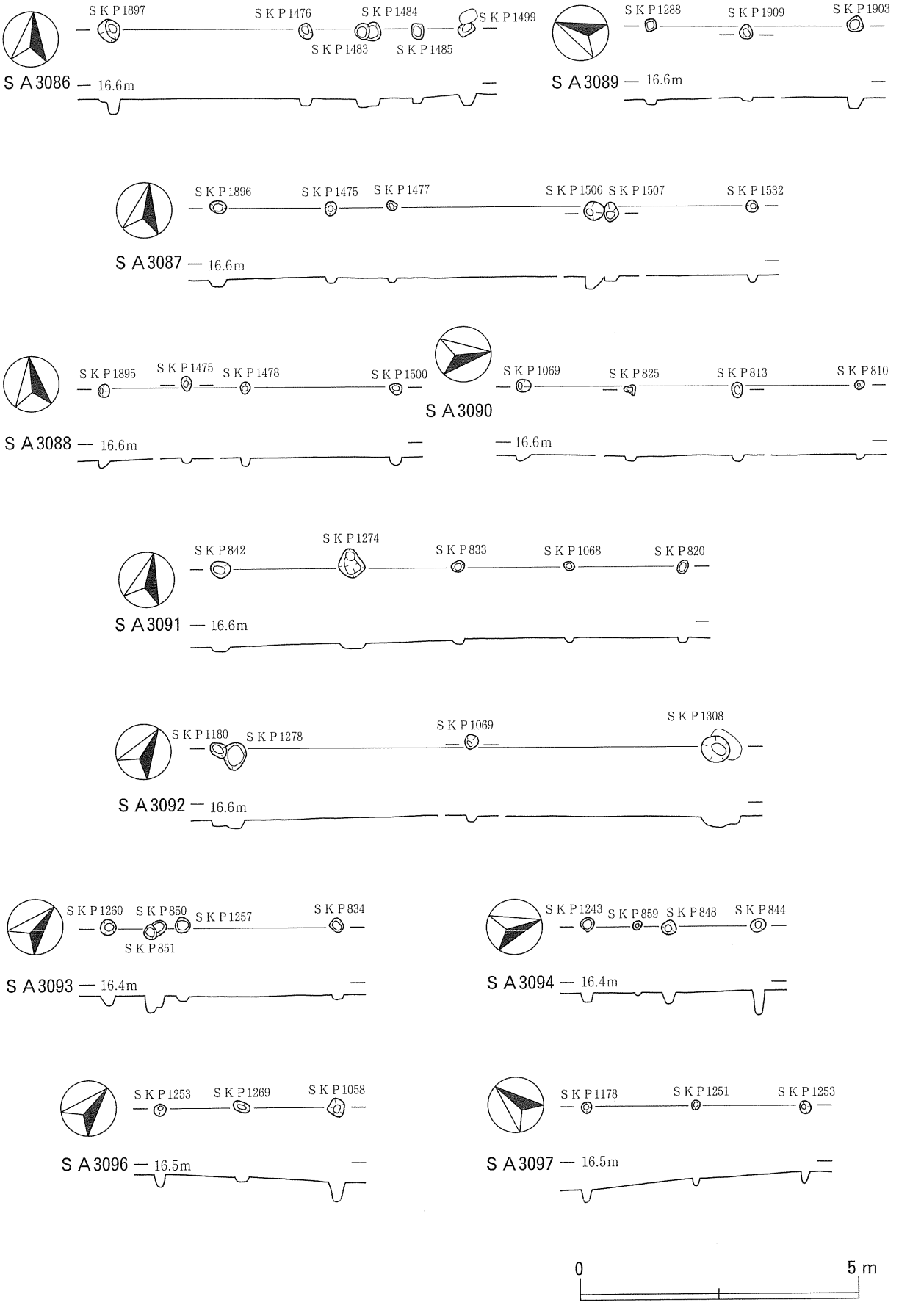
第97図　ＳＡ3044・3046・3047・3048・3049・3050・3051・3052・3053・3054・3055・3056柱穴列



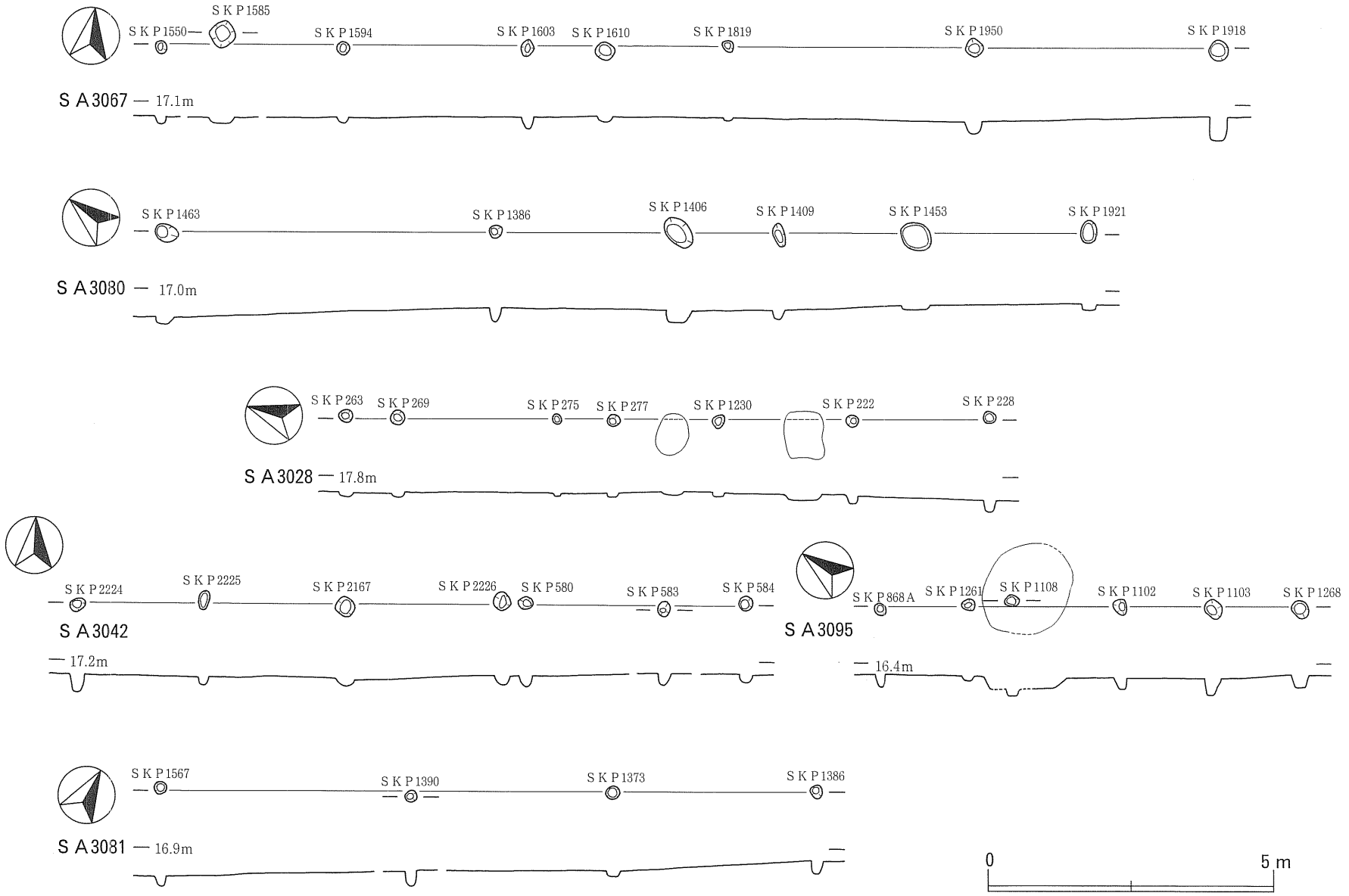
第98図　ＳＡ3057・3058・3059・3060・3061・3062・3063・3064・3065・3066・3068・3069柱穴列



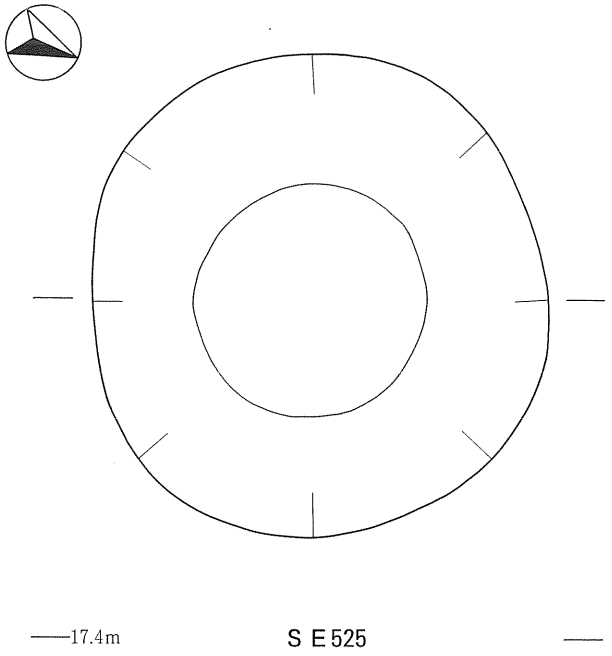
第99図　ＳＡ3070・3071・3072・3073・3074・3075・3076・3077・3078・3079・3082・3083・3084・3085柱穴列

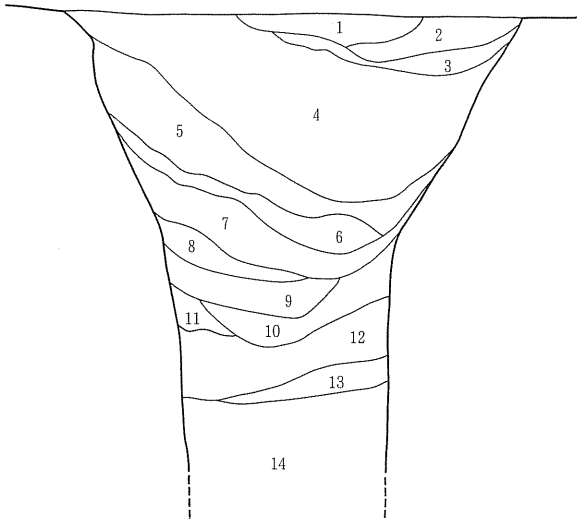


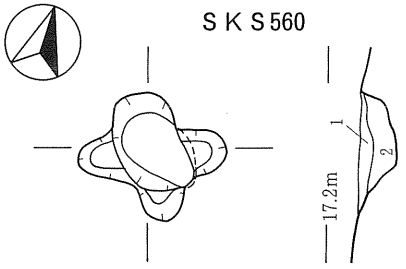
第100図　ＳＡ3086・3087・3088・3089・3090・3091・3092・3093・3094・3096・3097柱穴列

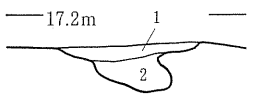


第101図　SA3028・3042・3067・3080・3081・3095柱穴列

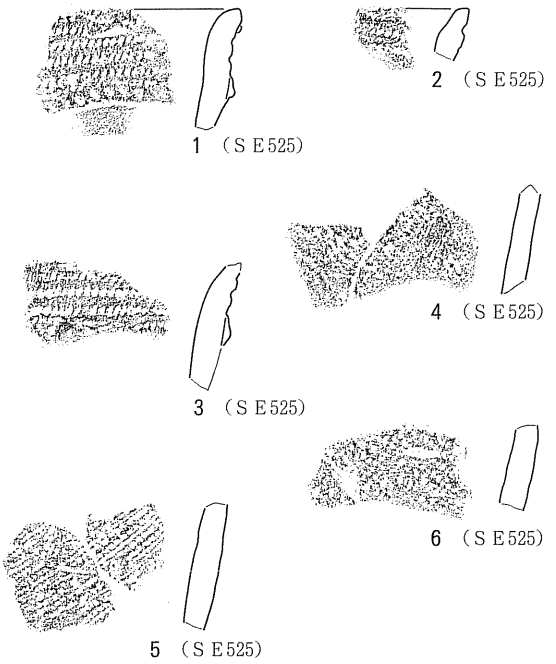








ＳＫＳ560
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒少
　焼土少　粘性弱～中　しまり中～強
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒極少
　地山土斑状中　粘性強　しまり強

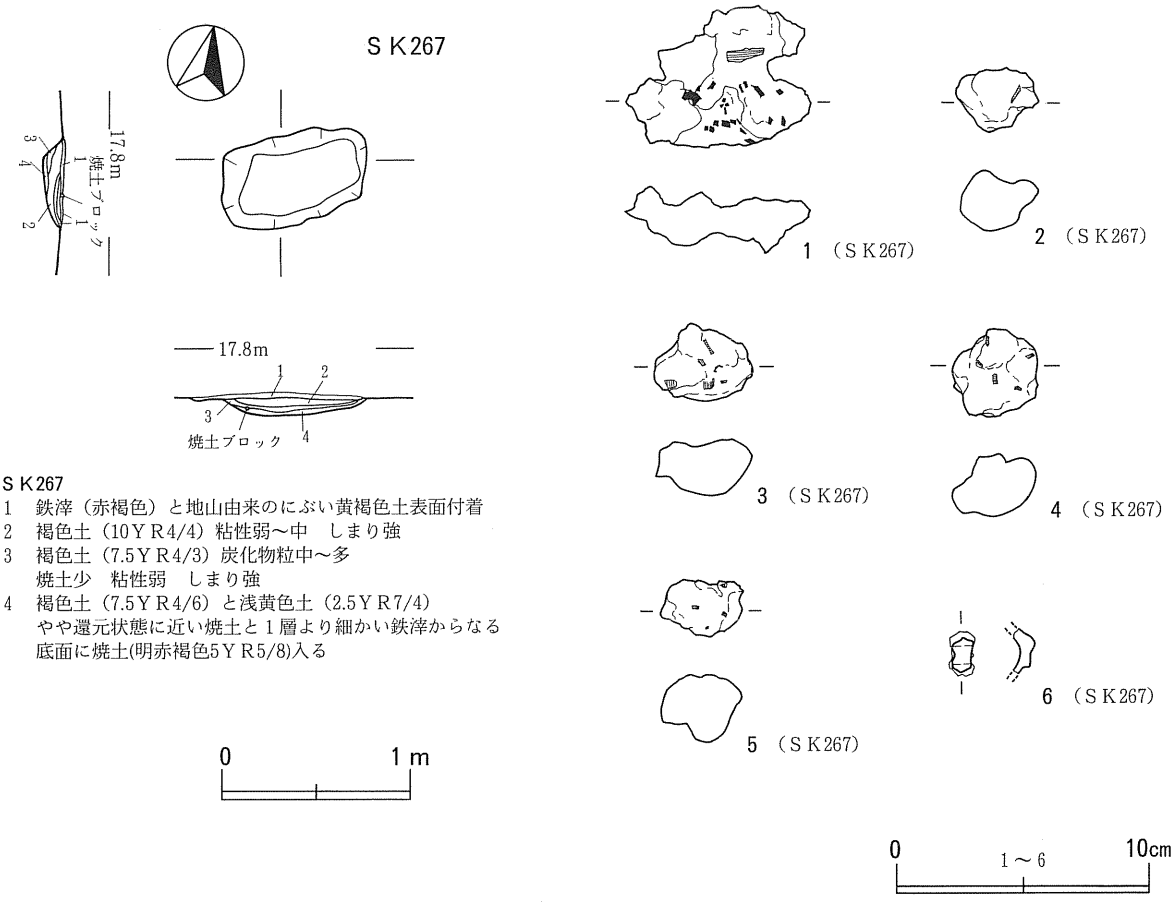


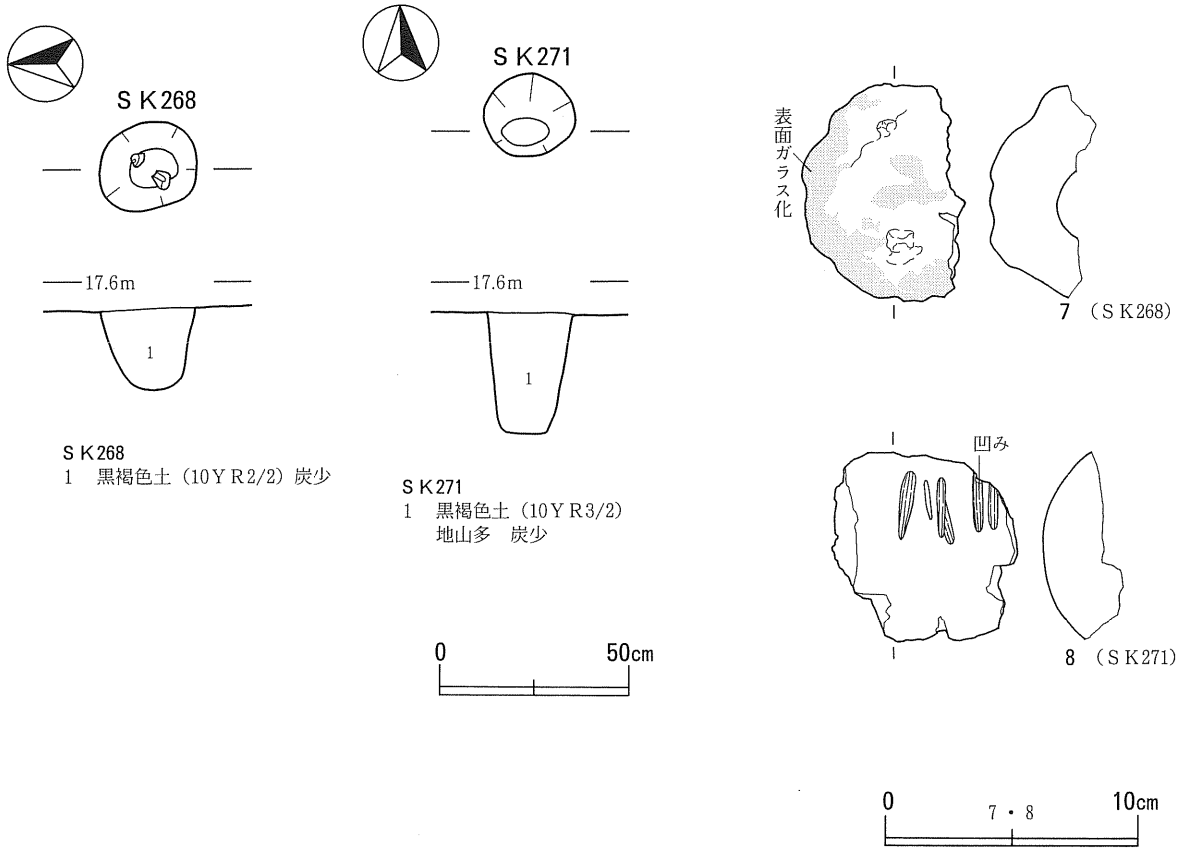
0　1～6　10cm

ＳＥ525
1　黒褐色土（10ＹＲ3/1）地山土斑状多
　粘性強　しまり強
2　褐色土（10ＹＲ4/4）黒褐色土（10ＹＲ2/2）斑状少
　粘性強　しまり強
3　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊多
　粘性強　しまり強
4　黒褐色土（10ＹＲ2/3）炭化物粒径10～20㎜少
　地山土粒径10～30㎜少～中　粘性中～強　しまり中
5　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性弱　しまり弱
6　黒褐色土（10ＹＲ2/3）粘性中～強　しまり弱
7　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性弱　しまり弱
8　黒褐色土（10ＹＲ2/2）粘性強　しまり弱
9　黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山土斑状少～中
　粘性強　しまり弱
10　黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山土斑状少～中
　粘性強　しまり弱～中
11　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性中～強　しまり弱
12　褐色土（7.5ＹＲ4/3）粘性強　しまり中
13　黒褐色土（10ＹＲ2/2）粘性強　しまり中
14　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）粘性中～強　しまり弱～中

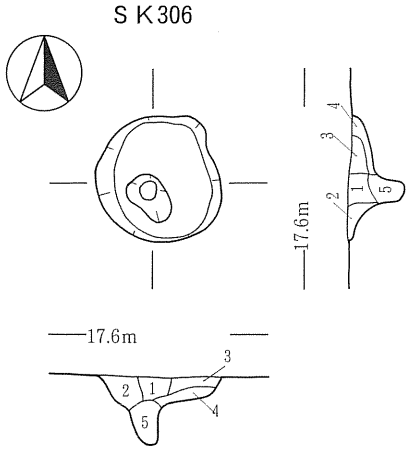
0　2 m

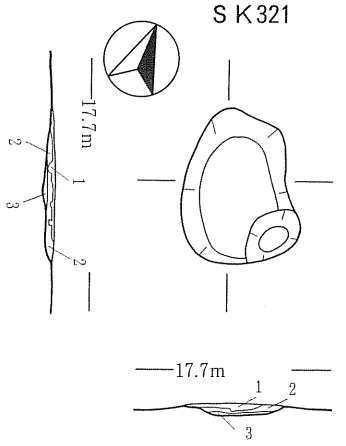
第102図　ＳＥ525井戸跡、出土遺物、ＳＫＳ560火葬墓





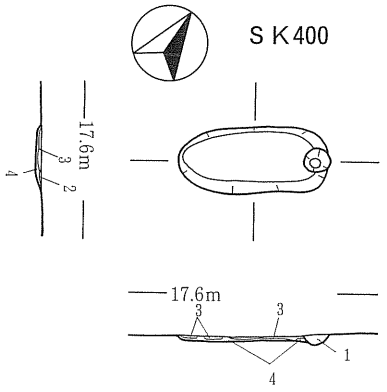
第103図　ＳＫ267・268・271鍛冶関連土坑、出土遺物



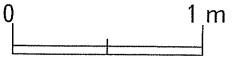


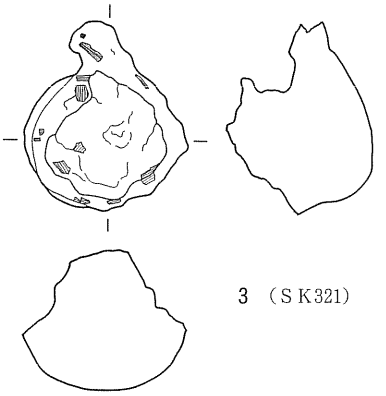
ＳＫ306
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径５㎜少
　粘性中　しまり中
2　褐色土（10ＹＲ4/6）炭化物粒径５～10㎜中　地山土塊径５㎜多
　焼土少　粘性中　しまり中
3　褐色土（10ＹＲ4/6）地山土塊多
　粘性強　しまり中
4　炭化物層　焼土中
5　暗褐色土（10ＹＲ3/3）粘性強　しまり強

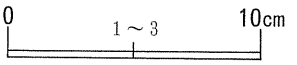
ＳＫ321
1　鉄滓（明赤褐色2.5ＹＲ3/4）の表面に褐色土付着
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）下位に炭化物粒少
　粘性弱～中　しまり強
3　褐色土（7.5ＹＲ4/6）と焼土（赤褐色5ＹＲ4/6）
　１層よりは細かい鉄滓多



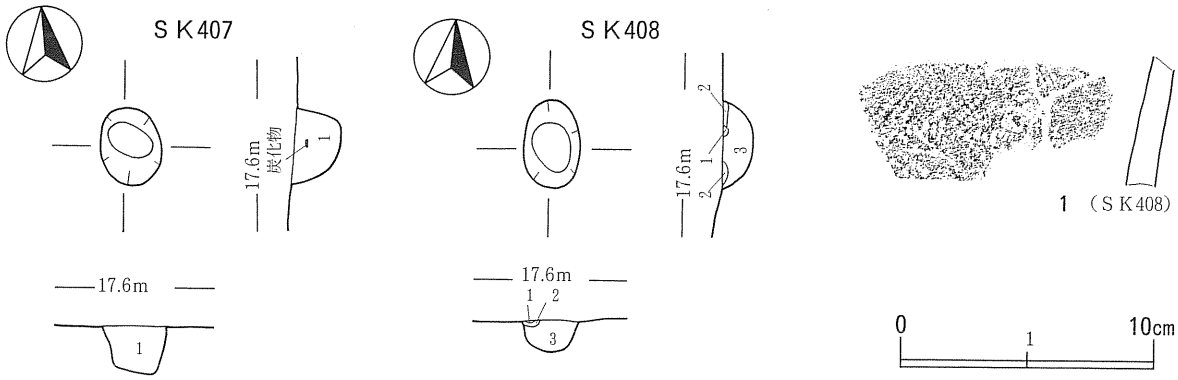
ＳＫ400
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）明赤褐色土少
2　鉄滓（明赤褐色土５ＹＲ5/8）
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）と炭化物　上位に鉄滓極少
　粘性弱　しまり強
4　焼土（明赤褐色５ＹＲ5/6）と地山土（褐色7.5ＹＲ4/6）





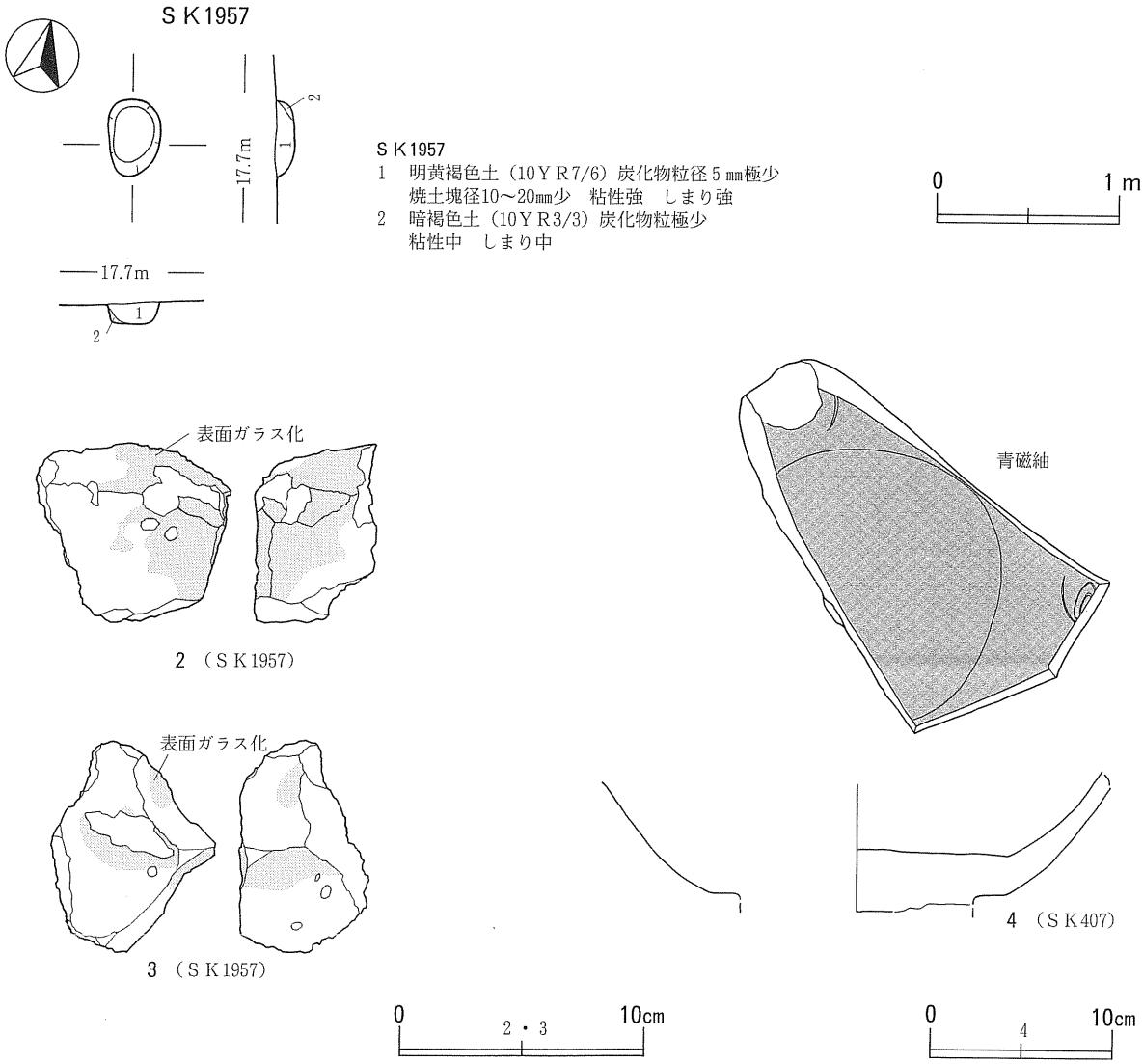


第104図　ＳＫ306・321・400鍛冶関連土坑、出土遺物



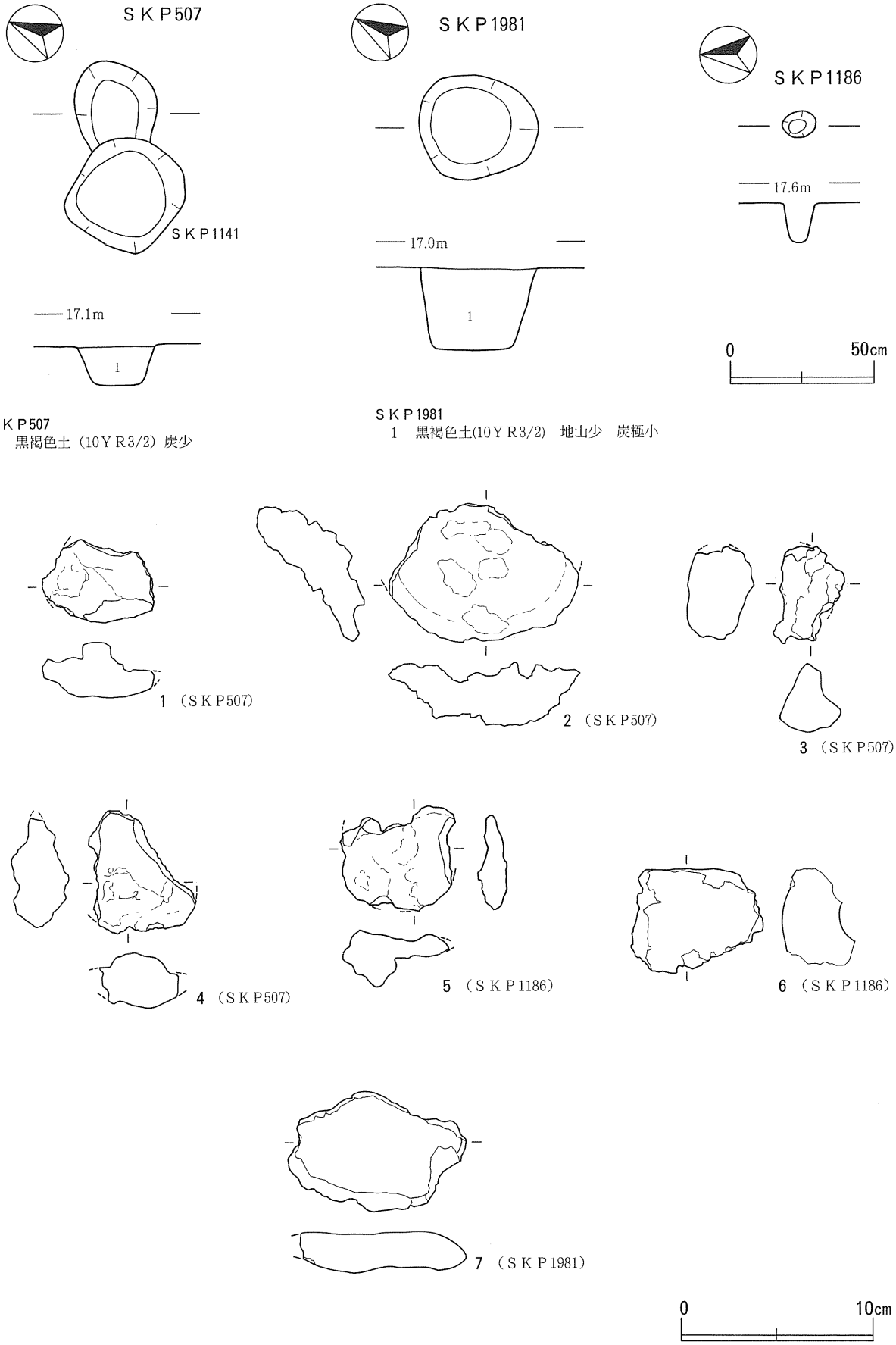
ＳＫ407
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径１～３㎜少　地山土塊極少
　　焼土粒径１～３㎜極少　粘性弱～中　しまり強

ＳＫ408
1　焼土（明赤褐色土５ＹＲ5/6）暗褐色土少
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒少　植物根の撹乱あり
　　粘性弱～中　しまり強
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）炭化物粒少　焼土粒極少
　　地山土塊径５～15㎜少　粘性弱～中　しまり強



ＳＫ1957
1　明黄褐色土（10ＹＲ7/6）炭化物粒径５㎜極少
　　焼土塊径10～20㎜少　粘性強　しまり強
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒極少
　　粘性中　しまり中

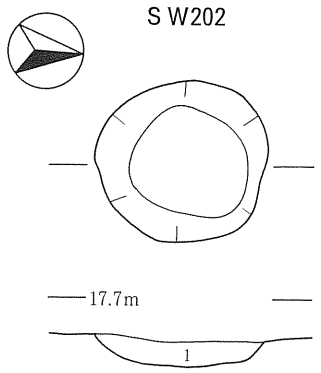
第105図　ＳＫ407・408・1957鍛冶関連土坑、出土遺物



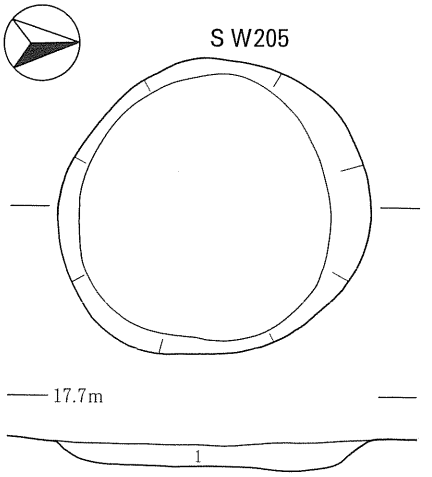
ＳＫＰ507
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭少

ＳＫＰ1981
1　黒褐色土(10ＹＲ3/2)　地山少　炭極小

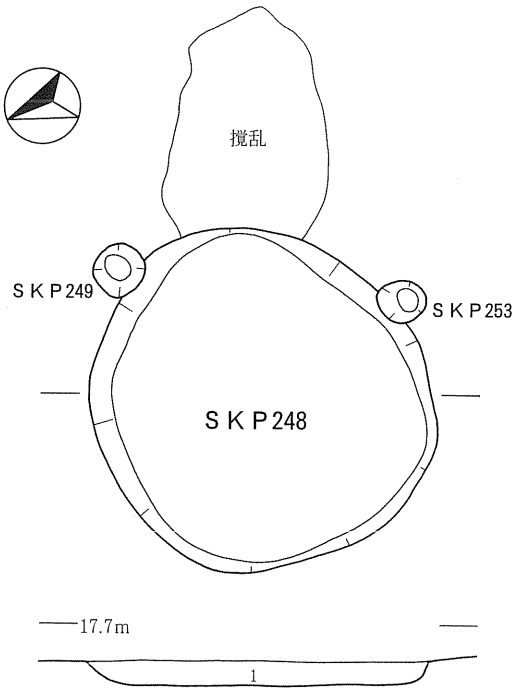
第106図　ＳＫＰ507・1186・1981鍛冶関連遺物出土柱穴、出土遺物



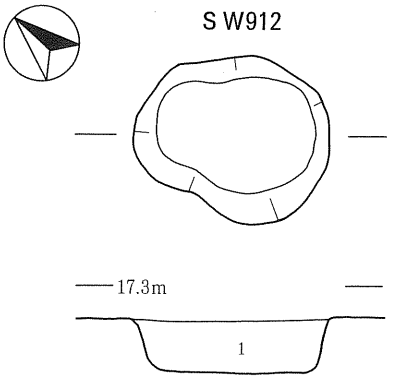
S W202
1　暗褐色土（10Y R3/4）炭化物粒径５㎜少
　地山土塊径５㎜少　粘性強　しまり強



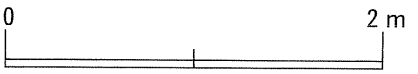
S W205
1　暗褐色土（10Y R3/4）炭化物粒少
　地山土塊径10㎜極少　焼土少　粘性強　しまり強



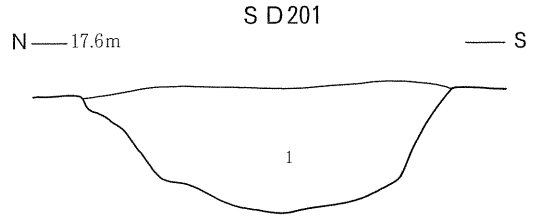
S W248
1　暗褐色土（10Y R3/4）炭化物粒少
　焼土少　粘性強　しまり強



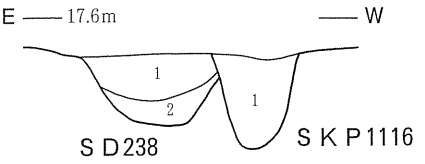
S W912
1　暗褐色土（10Y R3/4）炭化物粒少
　焼土少　粘性強　しまり強



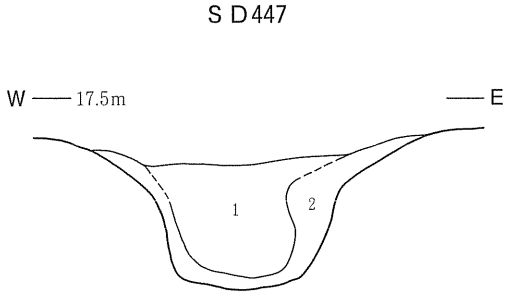
第107図　S W202・205・248・912炭窯



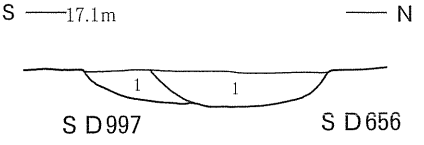
ＳＤ201
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊径２㎜少
　粘性強　しまり強



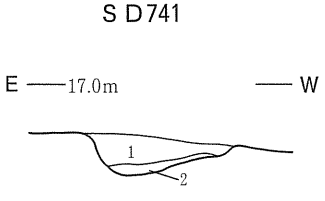
ＳＤ238
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中～強
　地山土少
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強
　地山土極少
ＳＫＰ1116
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山少



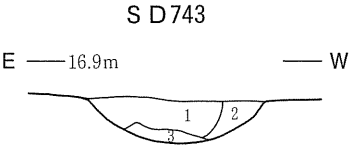
ＳＤ447
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜少
　粘性弱～中　しまり強
2　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり弱
　地山崩落土



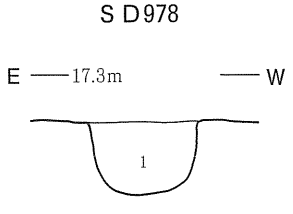
ＳＤ656
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径２～３㎜少
　地山土粒少　粘性弱～中　しまり強
ＳＤ997
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）　粘性弱～中
　しまり弱～中



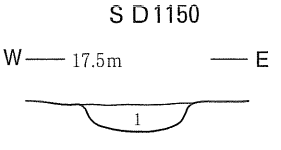
ＳＤ741
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性中　しまり中
2　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性強　しまり強



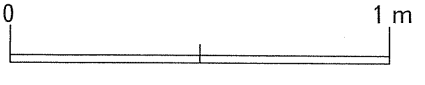
ＳＤ743
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性弱　しまり超弱
　地山土粒径３㎜少
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）粘性中　しまり中
3　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性強　しまり中～強



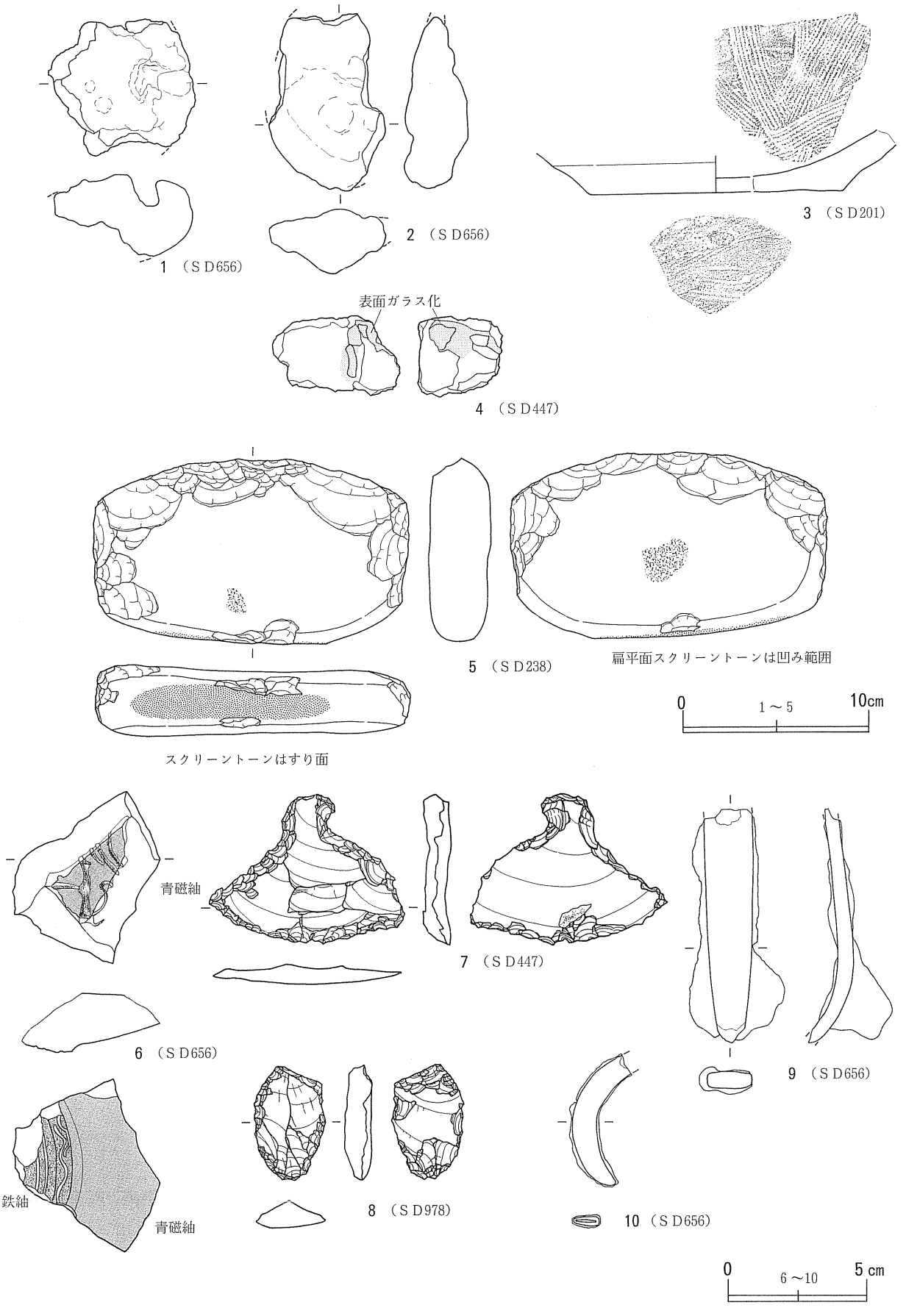
ＳＤ978
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性中　しまり中
　地山土塊径３～10㎜中～多



ＳＤ1150
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性弱～中　しまり中～強
　地山土少



第108図　ＳＤ201・238・447・656・741・743・978・997・1150溝跡断面



第109図　溝跡出土遺物

（３）中世以降・年代不明の土坑・焼土遺構・柱穴

土坑（略記号ＳＫ）　64基　焼土遺構（略記号ＳＮ）　１基

柱穴（略記号ＳＫＰ）　1775基

①土坑

ＳＫ203（第110図、□第72図）

ＬＭ59・60区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.82m、短径0.64mの楕円形平面である。深さは0.27m、底面標高は17.2mである。丸底ぎみでボウル状の断面を呈する。覆土は、黒褐色土を基調とする２層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ204A（第110図、□第72図）

ＬＭ59区に位置する。ＳＫ204Bの上方にあり、同遺構を切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.57m、短径0.41mの楕円形平面である。深さは0.08m、底面標高は17.4mである。壁はやや緩やかに立ち上がり、底は平坦である。覆土は黒褐色土単一層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ218（第110図、□第75図）

ＬＭ54・55区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.45～0.49mの略円形平面である。深さは0.42m、底面標高は16.9mである。壁はやや垂直気味に急に立ち上がり、底は平坦である。断面は植木鉢に似た形状である。覆土は、暗褐色土と褐色土による２層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ220（第110図、□第75図）

ＬＭ54・55区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

0.68m×0.82mの隅丸長方形平面である。深さは0.15m、底面標高は17.4mである。壁は緩やかに立ち上がり、底は平坦を基調としながらも中央付近に浅い凹みを伴う。覆土は、地山混じりの砂質シルトによる黒褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ223（第110図、□第75図）

ＬＭ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.77m、短径0.55mの不整楕円形平面である。深さは0.08m、底面標高は17.4mである。壁は緩く立ち上がり、底は平坦を基調としながらも中央付近に凹みを伴う。覆土は暗褐色土単一層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ239（第110図、□第70図、図版20）

ＬＭ・ＬＮ60区に位置する。ＳＤ201を切る。検出面はⅢ層上面である。

長径1.27ｍ、短径0.85ｍの長軸方向Ｎ－62°－Ｗの楕円形平面である。下端は隅丸長方形平面を呈する。深さは0.68ｍ、底面標高は16.8ｍである。壁は比較的急に立ち上がり、底は平坦で、筒状の断面を呈する。覆土は上位暗褐色土、中位～下位は黒褐色土の12層であり、自然堆積の様相を呈する。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ245（第110図、□第72図）

ＬＮ59区に位置する。他の遺構との切り合いはない。炭窯ＳＷ248の北0.4ｍに所在する。検出面はⅢ層上面である。

長径0.63ｍ、短径0.45ｍの楕円形平面である。深さ0.29ｍ、底面標高17.2ｍである。壁は緩やかに立ち上がり、底は平坦である。覆土は、黒褐色土および暗褐色土による３層である。遺物は二次加工ある剥片が１点出土している。性格不明土坑である。

ＳＫ284（第111図、□第75図）

ＬＭ・ＬＮ55区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.85ｍ、短径0.72ｍの楕円形平面である。深さは0.09ｍ、底面標高は16.8ｍである。壁は緩く立ち上がり、平底で皿状の断面を呈する。覆土は、地山土混じり黒褐色土単一層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ293（第111図、□第75図）

ＬＮ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。ＳＤ238との距離わずか0.03ｍと近接する位置で確認した。検出面はⅢ層上面である。

長径0.82ｍ、短径0.57ｍの楕円形平面である。深さは0.15ｍ、底面標高は17.4ｍである。壁は緩やかに立ち上がり、底はほぼ平坦で、全体では逆台形様の断面を呈する。覆土は地山土を少量含む黒褐色土である。性格不明土坑である。

ＳＫ313（第111図、□第72図）

ＬＯ58区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.70ｍ、短径0.58ｍの楕円形平面である。深さ0.23ｍ、底面標高は17.2ｍである。

覆土は黒褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ320（第111図、□第72図）

ＬＯ56・57区に位置する。ＳＫＰ1011Bに切られる。検出面はⅢ層上面である。

長径1.05ｍ、推定短径0.63ｍの楕円形平面である。深さは0.09ｍ、底面標高は17.4ｍである。壁は緩やかに立ち上がり、底はほぼ平坦である。覆土は、地山土を少量含む黒褐色土単一層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ324（第111図、□第72図）

ＬＯ56区に位置する。ＳＫＰ1011Bに切られる。検出面はⅢ層上面である。

長径1.52m、短径0.45mの不整長楕円形平面である。深さは0.06m、底面標高は17.4mである。覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ349（第111図、□第71図）

ＬＰ・ＬＱ59区に位置する。ＳＤ238・ＳＫＰ1147に切られる。検出面はⅢ層上面である。

長径1.26m、短径0.70mの不整楕円形平面である。深さは0.07m、底面標高は17.1mである。覆土は、地山土を少量含む暗褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ350（第112図、□第71図）

ＬＰ59区に位置する。ＳＫ352・ＳＤ201・ＳＫＰ351に切られる。検出面はⅢ層上面である。

推定長径1.30m、短径1.10mの不整楕円形平面である。深さは0.23m、底面標高は17.0mである。覆土は５層に分層した。性格不明土坑である。

ＳＫ352（第112図、□第71図、図版20）

ＬＰ59区に位置する。ＳＫ350を切る。検出面はⅢ層上面である。

径1.10～1.14mの円形平面である。深さは0.62m、底面標高は16.7mである。平底で断面は漏斗状を呈する。覆土は上位は褐色土、下位は灰黄褐色土の４層である。後世混入と思われる肥前磁器２点および縄文土器片（摩滅）１点が出土している。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ355（第112図、□第71図）

ＬＰ・ＬＱ58区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.27m、短径0.74mの不整楕円形平面である。深さは0.21m、底面標高は17.1mである。

覆土は上位～中位は黒褐色土、下位は暗褐色土の４層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ388（第112図、□第74図）

ＬＰ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.32m、短径1.13mの楕円形平面の掘方である。深さは1.08m、底面標高は16.5mである。

覆土は上位がにぶい黄褐色土、下位が暗褐色土を基調とする19層である。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ394（第112図、□第74図）

ＬＰ53区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.62m、短径0.38mの不整楕円形平面である。深さは0.11m、底面標高は17.4mである。覆土の詳細は不明である。

性格不明土坑である。

ＳＫ397（第112図、□第74図）

ＬＰ53区に位置する。撹乱を切る。検出面はⅢ層上面である。

長径0.66m、短径0.47mの楕円形平面である。深さは0.12m、底面標高は17.4mである。覆土は、地山土混じり黒褐色土単一層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ422（第113図、□第74図）

ＬＰ・ＬＱ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.48m、短径0.30mの楕円形平面の掘方である。深さは0.33m、底面標高は17.2mである。覆土は11層に分層した。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ426（第113図、□第71図）

ＬＲ57区に位置する。ＳＤ447に切られる。検出面はⅢ層上面である。

推定長径0.83m、短径0.73mの不整楕円形を呈する。深さは0.09m、底面標高は17.2mである。覆土は上位暗褐色土、中～下位が褐色土の４層である。珪質頁岩製のスクレイパー（第113図１）が出土している。性格不明土坑であるが、縄文時代土坑墓の可能性も有する。

ＳＫ429（第113図、□第71図）

ＬＲ56区に位置する。ＳＤ447に切られる。ＳＫＰ1137と重複する。検出面はⅢ層上面である。

長径1.23mでもう一辺の長さは不明であるが、隅丸方形平面であると推定する。深さは0.09m、底面標高は17.3mである。底は平坦で竪穴状を呈する。覆土は、にぶい黄褐色土単一層である。

性格不明土坑である。

ＳＫ445（第113図、□第74図）

ＬＱ・ＬＲ54区に位置する。ＳＤ447を切る。検出面はⅢ層上面である。

長径0.89m、短径0.74mの楕円形平面。深さ1.06m、底面標高17.3mである。覆土は上位黒褐色土、下位はオリーブ黒色土を基調とする７層である。後世混入と思われる剥片が１点出土している。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ457（第114図、□第68図）

ＬＳ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.69ｍ、短径0.66ｍの不整円形である。深さ0.31ｍ、底面標高17.1ｍで、平底を呈する。覆土は上位が褐色土、中～上位が暗褐色土の６層である。性格不明土坑である。

ＳＫ461（第114図、□第73図）

ＬＳ・ＬＴ55区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.63ｍ、短径0.61ｍの不整円形である。深さは0.19ｍ、底面標高は16.9ｍである。壁はやや外反し、底はレンズ状に円みを帯びている。覆土は褐色土単一層である。石器剥片１片が出土している。

性格不明土坑である。

ＳＫ489（第114図、□第73図）

ＬＳ・ＬＴ55区に位置する。ＳＫＰ490に切られる。検出面はⅢ層上面である。

長径1.23ｍ、短径0.86ｍの楕円形である。深さ0.18ｍ、底面標高17.2ｍで、底はやや不整である。覆土は褐色土単一層である。礫が２点出土している。

性格不明土坑である。

ＳＫ493（第114図、□第69図）

ＬＱ60・61区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

径0.56ｍの円形平面である。深さは0.25ｍ、底面標高は16.7ｍである。壁の傾斜は東西で異なり、底は円みを帯びている。覆土の詳細は不明である。

性格不明土坑である。

ＳＫ494（第115図、□第69図）

ＬＱ60区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.98ｍ、短径0.83ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.35ｍで、底面標高は16.7ｍである。覆土は黒褐色土を基調とする８層であり、下位は炭化物粒が混じる。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ500（第115図、□第69図、図版20）

ＬＲ60区に位置する。ＳＢ3006の南1.45ｍに所在する。他の遺構との切り合いはない。中世建物跡ＳＢ3006の至近にあり、軸方向も共通する。Ⅲ層上面で確認した。

長辺0.85ｍ、短辺0.83ｍの方形平面を呈する。深さは0.36ｍで、底面標高は16.7ｍである。覆土は暗褐色土、褐色土、褐灰色土、にぶい褐色土、にぶい黄褐色土による11層である。後世に混入したと思われる二次加工ある剥片が１点出土している。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ509（第115図、□第66図）

ＬＴ60区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.90m、短径0.75mの不整楕円形である。深さは0.12m、底面標高は16.8mである。覆土の詳細は不明である。縄文土器（第115図１）が出土している。

性格不明土坑である。

ＳＫ510（第115図、□第66図）

ＬＴ60区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.65m、短径0.48mの不整形である。覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ515（第115図、□第68図）

ＭＡ58区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.93m、短径0.70mの不整楕円形である。深さは0.18m、底面標高は16.8mである。覆土は黒褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ528（第115図、□第58図）

ＭＦ58・59区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.02m、短径0.60mの不整楕円形である。深さは0.16m、底面標高は16.8mである。覆土は、上位暗褐色土～下位褐色土の３層である。縄文土器片１点である。性格不明土坑である。

ＳＫ740（第116図、□第53図）

ＭＰ51区に位置する。ＳＤ741を切る。検出面はⅡ層上面である。

長径1.15m、短径1.06mの不整隅丸多角形である。深さ0.50m、底面標高16.5mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ742（第116図、□第46図）

ＭＰ・ＭＱ51区に位置する。ＳＤ743およびＳＫＰ2052を切る。検出面はⅢ層上面である。

長径0.92m、短径0.50mの不整楕円形である。深さ0.18m、底面標高16.7mで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ776（第116図、□第46図）

ＭＳ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

径0.84mの円形平面を呈する。深さは0.22mで、底面標高は16.3mである。底は、円みを帯びるが下方に筋状の掘り込みを伴い、断面形状は不整となる。

覆土は、黒褐色土と暗褐色土による３層である。性格不明土坑である。

ＳＫ829（第116図、□第40図）

ＮＣ・ＮＤ50区に位置する。撹乱を切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.80ｍ、短径0.73ｍの不整楕円形平面を呈する。深さ0.16ｍ、底面標高16.1ｍで、断面は不整ながら円みを帯びる。

覆土は暗褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ830（第116図、□第40図）

ＮＤ50区に位置する。撹乱を切る。Ⅲ層上面で確認した。

長径1.17ｍ、短径0.78ｍの不整楕円形平面を呈する。深さ0.24ｍ、底面標高16.0ｍで、断面は不整ながら円みを帯びる。

覆土は暗褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ900（第117図、□第62図）

ＭＧ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.16ｍ、短径1.07ｍの不整形である。深さ0.15ｍ、底面標高17.0ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である

ＳＫ913（第116図、□第61図）

ＭＨ51・52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径2.08ｍ、短径1.59ｍの楕円形平面を呈し、小規模土坑の多い本遺跡にあって最大規模を有する。深さ0.28ｍ、底面標高16.9ｍで、壁は緩やかに立ち上がり、平底を基調とするもやや円みを帯びる。

覆土は黒褐色土および黒色土よりなる５層で、底面よりわずかながら微細な焼土粒を検出している。覆土中より礫１点が出土している。

性格不明土坑であるが、祭祀にかかわる遺構である可能性を有する。

ＳＫ932Ａ（第117図、□第61図）

ＭＨ50区に位置する。ＳＫ932Ｂを切る。検出面はⅡ層上面である。

長径0.69ｍ、短径0.50ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.17ｍ、底面標高17.0ｍで平底を基調とする。

覆土は上・中位黒褐色土、下位暗褐色土の３層で、覆土上位より焼土粒を確認している。剥片１点、二次加工ある剥片１点が出土している。

性格不明土坑であるが、祭祀にかかわる遺構である可能性を有する。

ＳＫ932Ｂ（第117図、□第61図）

ＭＨ50区に位置する。ＳＫ932Ａに切られる。検出面はⅡ層上面である。

長径0.57ｍ、短径0.37ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.26ｍ、底面標高16.9ｍで平底を基調とする。

覆土は上・中位黒褐色土、下位褐色土の３層である。

性格不明土坑であるが、覆土観察からは柱状構築物の痕跡である可能性を有する。

ＳＫ993（第117図、□第54図）

ＭＫ48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅡ層上面である。

長径1.53ｍ、短径1.15ｍの不整楕円形平面を呈する。深さ0.36ｍ、底面標高16.8ｍで平底を呈する。

覆土は、黒褐色土を基調とする５層である。

中世に属する井戸状土坑もしくは中世以降の桶棺用土坑墓と思われる。

ＳＫ1014B（第117図、□第46図）

ＭＲ50区に位置する。ＳＫＰ1014Aに切られる。検出面はⅡ層上面である。

長径0.55ｍ、短径0.45ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.20ｍ、底面標高16.6ｍで、丸底を呈する。

覆土は暗褐色土単一層である。性格不明土坑である。

ＳＫ1016（第117図、□第46図）

ＭＳ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.08ｍ、短径0.66ｍの不整楕円形平面を呈する。深さ0.16ｍ、底面標高16.3ｍでレンズ状の断面形を呈する。

覆土は上位が黒褐色土、下位がオリーブ黒色土の２層である。性格不明土坑である。

ＳＫ1146（第117図、□第71図）

ＬＰ59区に位置する。ＳＤ201に切られる。検出面はⅢ層上面である。

推定長径約0.9～1.1ｍ、短径0.87ｍの不整楕円形平面を呈する。深さ0.20ｍ、底面標高17.0ｍで平底を基調とするが中央付近に微かな凹みをともなう。

覆土は、暗褐色土～明黄褐色土～にぶい黄褐色土の５層である。斜縄文が施された縄文土器胴部破片（第117図１）が出土している。性格不明土坑である。

ＳＫ1149（第118図、□第71図）

ＬＲ56区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.80ｍ、短径0.75ｍの不整楕円形平面である。深さ0.11ｍ、底面標高17.3ｍ、平底である。

覆土は褐灰色土単一層である。

性格不明土坑であるが、規模・形状の面を考慮すると縄文時代土坑墓の可能性を有する。

ＳＫ1168（第118図、□第40図）

ＮＥ49区に位置する。他の遺構との切り合いはない。Ⅲ層上面で確認した。

長径0.77ｍ、短径0.66ｍの楕円形平面を呈する。深さは0.25ｍ、底面標高16.0ｍで、断面形状は壁のやや急な不等逆台形様を呈する。覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1175（第118図、□第39図）

ＮＦ48区に位置する。４基の小ピット（ＳＫＰ1107・1108・1173・1198）に切られる。ＳＤ1264を切る。検出面はⅢ層上面である。

長径1.42m、短径0.92mの不整楕円形である。深さ0.28m、底面標高16.0mで、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である

ＳＫ1182A（第118図、□第55図）

ＭＯ・ＭＰ47区に位置する。ＳＫＰ1182Bと重複する。検出面はⅢ層上面である。

長径1.42m、短径0.92mの不整楕円形である。深さ0.13m、底面標高16.7mで、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1198（第118図、□第68図）

ＬＴ59区に位置ずる。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.55m、短径0.44mの楕円形平面である。深さは0.16m、底面標高は16.8mである。壁は垂直に立ち上がり、平底である。

覆土は、黒褐色土を基調とする３層である。

性格不明土坑であるが、覆土観察からは柱状構築物の痕跡である可能性を有する。

ＳＫ1201（第118図、□第68図）

ＭＡ59区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.00m、短径0.57mの楕円形平面を呈する。深さ0.21m、底面標高16.7mで、底は円みを帯びる。

覆土は、黒褐色土を基調とする４層である。性格不明土坑である。

ＳＫ1285（第118図、□第40図）

ＮＥ48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.70m、短径0.48mの楕円形平面である。深さ0.06m、底面標高16.1mで、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1297（第118図、□第40図）

ＮＣ・ＮＤ47・48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.12m、短径0.64mの不整楕円形である。深さは0.12m、底面標高は16.2mで、平底を呈する。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1299（第118図、□第40図）

ＮＤ47・48区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.34ｍ、短径1.06ｍのやや不整な楕円形を呈する。深さ0.09ｍ、底面標高16.2ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1306（第119図、□第40図）

ＮＣ51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.24ｍ、短径1.08ｍのやや不整な円形を呈する。深さ0.08ｍ、底面標高16.2ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1330（第119図、□第45図）

ＮＢ50区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

径0.90～0.92ｍの円形平面を呈する。深さ0.10ｍ、底面標高16.3ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1349A（第119図、□第46図）

ＭＲ・ＭＳ50・51区に位置する。ＳＫＰ1349B・ＳＫＰ1350に切られる。検出面はⅢ層上面である。

長径0.75ｍ、短径0.56ｍの不整形である。深さは0.22ｍ、底面標高は16.4ｍである。

覆土は黒褐色土・暗褐色土を基調とする５層で、自然堆積の様相を呈する。性格不明土坑である。

ＳＫ1364（第119図、□第46図）

ＭＳ51・52区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.28ｍ、短径0.98ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.20ｍ、底面標高16.2ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1393（第119図、□第46図）

ＭＱ50・51区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.90ｍ、短径0.62ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.73ｍ、底面標高16.1ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1416（第119図、□第51図）

ＭＰ54区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.72ｍ、推定短径0.48ｍの楕円形平面を呈する。深さ0.08ｍ、底面標高16.5ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1604（第119図、□第55図）

ＭＯ46区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

径1.02～1.08ｍの円形平面を呈する。深さ0.06ｍ、底面標高16.7ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ1878（第119図、□第62図）

ＭＦ50区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.00ｍ、短径0.60ｍのやや不整な楕円形である。深さ0.16ｍ、底面標高16.9ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

ＳＫ2158（第119図、□第62図）

ＭＧ50区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径0.67ｍ、短径0.50ｍの不整形平面を呈する。深さ0.13ｍ、底面標高16.9ｍで、平底である。

覆土の詳細は不明である。性格不明土坑である。

②焼土遺構

ＳＮ452（第120図、□第68図）

ＬＳ56・57区に位置する。他の遺構との切り合いはない。検出面はⅢ層上面である。

長径1.03ｍ、短径0.87ｍの楕円形平面である。深さは0.17ｍ、底面標高は17.2ｍである。

覆土は黒褐色土と暗褐色土を基調とする４層で、上～中位には焼土塊および焼土粒が混入している。

採取炭化物（試料番号８）は樹種同定を行い、その結果クリ２破片、サクラ属１破片およびカエデ属１破片を確認している。うちカエデ属の放射性炭素年代測定を行った結果、^{14}Ｃ年代値は860±35BPであった（測定番号PLD-798）。

12～14世紀の建物ＳＢ3004の西側庇部分に所在し、採取炭化物の^{14}Ｃ年代値とも整合するので、ＳＢ3004に伴う中世の施設である可能性がある。

③柱穴

本遺跡検出の掘立柱建物は柱径が小さく、総柱形建物もしくは梁間１間式建物を主体とするところから、大略中世に属するものとみなしてよいであろう。

ＳＫＰ296出土の炭化材（試料番号９）は、樹種同定の結果、加工木の可能性を有するカエデ属１破片と判明した。放射性炭素年代測定によると当該試料の^{14}Ｃ年代値は350±45BPである（測定番号PLD-799）。この年代結果は中世に帰属するので上記の推定と整合する。

出土遺物（第120図・第121図）には縄文時代のもの、中近世のものが多い。柱穴出土遺物については、「３．遺構外出土遺物」の項で遺構外出土遺物とともに一括して取り上げたい。

縄文時代の出土遺物には、後世に混入したものが多いと思われるが、しかし、すべての柱穴が中世に帰属するとは言い切れない。

たとえばＳＫＰ458出土炭化材（試料番号３）は、樹種同定の結果、ハンノキ属ハンノキ亜属４破

片およびクリ２破片であった。うち、ハンノキ亜属は、放射性炭素年代測定による^{14}C年代値が4,510±40BPとの結果を得ており（測定番号PLD-793)、この年代は縄文時代前期に相当する。むろん、この炭化材も流れ込みにより混入したものである可能性がある。

しかし、本遺跡が縄文時代前期の墓域としての性格を有することから、当該期の祭祀にまつわる建物が全くなかったとは言えまい。むしろ、あったとする可能性の方が高いと言うべきである。また、近年では、縄文時代の住居として竪穴式住居ばかりではなく壁立式平地住居も注目を浴びるようになってきた(註５)。こうしてみると、縄文時代に帰属する柱穴も決して少なくないものと考える。

第21表～第40表に柱穴観察表を掲げる。

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ204B	72	ＬＭ59	Ⅲ	0.17×0.21	楕円形	0.22	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,炭少	ＳＫ204Aに切られる
ＳＫＰ206	72	ＬＭ58	Ⅲ	0.30	円形	0.26	17.2	黒褐色10ＹＲ2/3,炭極少	
ＳＫＰ207	72	ＬＭ59	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.16	17.3	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少粒状	
ＳＫＰ208	72	ＬＭ58	Ⅲ	0.16×0.22	楕円形	0.14	17.3	黒褐色10ＹＲ2/3,炭少	
ＳＫＰ209	72	ＬＭ57	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.11	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中粒状	
ＳＫＰ210	72	ＬＭ56	Ⅲ	0.21	円形	0.04	17.5	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少,炭極少	ＳＡ3030を構成
ＳＫＰ211	72	ＬＭ56	Ⅲ	0.28	円形	0.09	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少,炭極少	
ＳＫＰ212	72	ＬＭ56	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.16	17.3	黒褐色10ＹＲ2/3,炭極少	ＳＡ3030を構成
ＳＫＰ213	72	ＬＭ56	Ⅲ	0.45×0.51	楕円形	0.40	17.1	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/3,炭多）	ＳＢ3002を構成。縄文土器１
ＳＫＰ214	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.07	17.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少,炭極少	ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ215	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.22	円形	0.47	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/3,炭多）	
ＳＫＰ216	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.21	円形	0.35	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ217	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.25	円形	0.43	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ219	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.20	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中粒状,炭極少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭少）	
ＳＫＰ221	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.12	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	ＳＡ3027を構成
ＳＫＰ222	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.23	円形	0.13	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＡ3028を構成
ＳＫＰ224	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.29	円形	0.44	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ225	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.26	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ226	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.23	円形	0.04	17.4	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ227	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.17×0.22	楕円形	0.07	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ228	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.24	円形	0.18	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＡ3028を構成
ＳＫＰ229	75	ＬＭ54	Ⅲ	0.25	円形	0.08	17.3	黒褐色10ＹＲ2/2,炭極少 柱痕確認（暗褐色10ＹＲ3/3）	
ＳＫＰ230	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.49×0.65	不整楕円形	0.29	17.1	黒褐色10ＹＲ2/2,炭多	
ＳＫＰ231	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.29	円形	0.12	17.2	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	ＳＡ3026を構成
ＳＫＰ232	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.21	円形	0.23	17.1	褐色10ＹＲ4/6,炭極少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少）	ＳＡ3026を構成
ＳＫＰ233	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.09	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ234	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.12	17.2	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭少	
ＳＫＰ237	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.29×0.36	楕円形	0.41	16.9	にぶい黄褐色10ＹＲ4/3,炭極少	
ＳＫＰ240	70	ＬＮ60	Ⅲ	0.24	円形	0.09	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭多	
ＳＫＰ241	70	ＬＮ60	Ⅲ	0.34	円形	0.09	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ242	70	ＬＮ60	Ⅲ	0.33	円形	0.08	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＤ201と重複
ＳＫＰ243	72	ＬＮ59	Ⅲ	0.22	円形	0.20	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ244	72	ＬＮ59	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	17.00	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ244	72	ＬＮ59	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.17	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ246	72	ＬＮ59	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.15	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ247	72	ＬＮ59	Ⅲ	0.18×0.30	楕円形	0.08	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	
ＳＫＰ249	72	ＬＮ59	Ⅲ	0.26	円形	0.25	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＮ246を切る
ＳＫＰ252	72	ＬＮ58	Ⅲ	0.31	円形	0.40	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ253	72	ＬＮ58	Ⅲ	0.25	不整円形	0.31	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＫ248を切る
ＳＫＰ254	72	ＬＮ58	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.08	17.5	黒褐色10ＹＲ3/2 柱痕確認（黒色10ＹＲ2/1）	
ＳＫＰ255	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.30	円形	0.10	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＫＰ256に切られる。ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ256	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.18×0.27	不整楕円形	0.10	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭少	ＳＫＰ255を切る
ＳＫＰ257	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.15	円形	0.11	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ258	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.23	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少）	
ＳＫＰ259	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.10	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ260	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.22	円形	0.12	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ261	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.21×0.27	楕円形	0.10	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＡ3031を構成
ＳＫＰ262	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.17×0.21	楕円形	0.08	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3027を構成
ＳＫＰ263	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.25	円形	0.08	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＡ3028を構成
ＳＫＰ264	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.13	17.4	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,焼土極少	ＳＡ3027を構成
ＳＫＰ265A	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.16×0.19	楕円形	0.15	17.4	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,焼土極少	ＳＫＰ265Bと重複
ＳＫＰ265B	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.11	17.4	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,焼土極少	ＳＫＰ265Aと重複
ＳＫＰ266	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.23	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭極少	ＳＢ3002を構成
ＳＫ268	72,103	ＬＮ56	Ⅲ	0.24×0.27	楕円形	0.40	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,炭多	羽口２　（鍛冶関連土坑）
ＳＫＰ269	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.25	円形	0.09	17.4	詳細不明	ＳＡ3028を構成
ＳＫＰ270	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.07	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3027を構成
ＳＫ271	72,103	ＬＮ56	Ⅲ	0.24	円形	0.32	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	羽口　（鍛冶関連土坑）
ＳＫＰ272	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.31	不整円形	0.12	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,炭多	ＳＡ3030を構成
ＳＫＰ273	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.28	円形	0.32	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	ＳＢ3002・ＳＡ3030を構成
ＳＫＰ274	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.11	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ275	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.18	円形	0.05	17.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3028を構成
ＳＫＰ276	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.06	17.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	ＳＡ3027を構成
ＳＫＰ277	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.23	円形	0.07	17.5	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	ＳＡ3028・3029を構成
ＳＫＰ278	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.29	円形	0.14	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＢ3002・ＳＡ3029を構成
ＳＫＰ279	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.27×0.30	円形	0.22	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＤ238を切る
ＳＫＰ281	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.39	円形	0.20	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多塊状	ＳＤ238を切る
ＳＫＰ282	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.29	17.2	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ283	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.30	17.2	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ285	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.26	不整円形	0.09	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ286	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.21×0.31	楕円形	0.43	17.1	黒褐色10ＹＲ2/2,炭少	ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ287	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.25×0.28	楕円形	0.33	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ288	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.09	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ289	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.20	円形	0.26	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ290	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.26×0.39	不整方形	0.33	17.2	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭中	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ291	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.25	不整円形	0.29	17.3	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	
ＳＫＰ292	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.23	円形		17.3	黒褐色10ＹＲ2/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少）	
ＳＫＰ294	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.19	円形	0.12	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ295	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.29	円形	0.41	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ296	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.38×0.50	楕円形	0.09	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭中	ＳＤ238に切られる。^{14}C年代値；350±45BP
ＳＫＰ297	75	ＬＮ54	Ⅲ	0.21	円形	0.16	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少）	
ＳＫＰ300	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.20	円形	0.10	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ301	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.17×0.21	楕円形	0.21	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭少）	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ302	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.18×0.23	楕円形	0.07	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ304	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.24	円形	0.06	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ305	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.18×0.24	不整楕円形	0.22	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少 柱痕確認（暗褐色10ＹＲ3/3,地山多）	

第21表　柱穴観察表（１）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ307	70	ＬＯ60	Ⅲ	0.51×0.63	楕円形	0.20	17.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中塊状	ＳＡ3037を構成
ＳＫＰ308	72	ＬＯ59	Ⅲ	0.26×0.37	楕円形	0.07	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多,炭極少	
ＳＫＰ309	72	ＬＯ59	Ⅲ	0.35×0.43	楕円形	0.19	17.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	
ＳＫＰ311	72	ＬＯ59	Ⅲ	0.16×0.22	楕円形	0.08	17.3	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少	
ＳＫＰ312	72	ＬＯ58	Ⅲ	0.14	円形	0.10	17.3	黒褐色10Ｙ R2/2,地山極少	
ＳＫＰ314	72	ＬＯ58	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.08	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,炭少 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ315	72	ＬＯ58	Ⅲ	0.36×0.43	楕円形	0.11	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	ＳＫＰ316に切られる。ＳＡ3036を構成
ＳＫＰ316	72	ＬＯ58	Ⅲ	0.25×0.31	楕円形	0.10	17.3	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	ＳＫＰ315を切る
ＳＫＰ317	72	ＬＯ57	Ⅲ	0.21	円形	0.21	17.3	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少,炭極少	
ＳＫＰ318	72	ＬＯ57	Ⅲ	0.24	円形	0.23	17.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＡ3034を構成
ＳＫＰ319	72	ＬＯ57	Ⅲ	0.31	円形	0.26	17.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少,炭少	ＳＡ3034を構成
ＳＫＰ322	72	ＬＯ56	Ⅲ	0.21	円形	0.16	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少	ＳＡ3033を構成
ＳＫＰ323	72	ＬＯ56	Ⅲ	0.30	円形	0.10	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少	
ＳＫＰ325	72	ＬＯ56	Ⅲ	0.20×0.24	不整楕円形	0.16	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少	二次加工ある剥片１
ＳＫＰ326	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.38×0.42	楕円形	0.08	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中塊状	
ＳＫＰ327	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.12	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少塊状	ＳＡ3030・3033を構成
ＳＫＰ328	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.08	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	
ＳＫＰ329	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.14×0.18	楕円形	0.08	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ330	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.17	方形	0.05	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	ＳＡ3035を構成
ＳＫＰ331	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.05	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ332	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.30	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ333	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.40	17.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＡ3032を構成
ＳＫＰ334	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.36×0.45	不整楕円形	0.29	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少塊状,炭少	
ＳＫＰ335	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.11×0.17	不整楕円形	0.15	17.4	暗褐色7.5Ｙ R3/3,地山多 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ336	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.13	円形	0.09	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少塊状	
ＳＫＰ337	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.17×0.29	楕円形	0.34	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ338	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.13×0.19	楕円形	0.08	17.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,黒色土少	
ＳＫＰ340	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.10	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少塊状	ＳＡ3032を構成
ＳＫＰ341	75	ＬＯ54	Ⅲ	0.18×0.26	楕円形	0.09	17.5	褐色7.5Ｙ R4/4,地山少,炭極少	
ＳＫＰ342	75	ＬＯ53	Ⅲ	0.10×0.18	不整楕円形	0.12	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	ＳＡ3032を構成
ＳＫＰ343	75	ＬＯ53	Ⅲ	0.16×0.20	方形	0.19	17.3	詳細不明	
ＳＫＰ344	72	ＬＯ56	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.14	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＡ3031・3034を構成。礫１
ＳＫＰ345	69	ＬＰ60	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.15	17.1	黒褐色10Ｙ R2/3,地山中 柱痕確認（詳細不明）	ＳＡ3037を構成
ＳＫＰ346	69	ＬＰ60	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.10	17.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中,炭極少	
ＳＫＰ347	71	ＬＰ59	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.09	17.1	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ348	71	ＬＰ59	Ⅲ	0.18×0.21	楕円形	0.07	17.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ351	71	ＬＰ59	Ⅲ	0.20	円形	0.09	17.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＫ350を切る
ＳＫＰ353	71	ＬＰ59	Ⅲ	0.32×0.38	不整楕円形	0.49	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＤ238を切る。ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ356	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.20×0.27	不整楕円形	0.16	17.2	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ357	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.23	円形	0.08	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ358	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.11	17.3	黒褐色10Ｙ R2/3,炭極少	ＳＡ3034を構成
ＳＫＰ359	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.26×0.35	不整楕円形	0.25	17.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＡ3034を構成
ＳＫＰ360	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.30	円形	0.21	17.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＡ3036を構成
ＳＫＰ361	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.35	円形	0.09	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ362	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.18×0.29	楕円形	0.15	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＡ3034を構成
ＳＫＰ363	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.18×0.26	楕円形	0.06	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ364	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.28	円形	0.15	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ365	71	ＬＰ58	Ⅲ	0.18×0.22	不整楕円形	0.25	17.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ366	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.32	17.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＡ3934を構成
ＳＫＰ367	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.19×0.21	楕円形	0.12	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	礫１
ＳＫＰ368	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.25	不整円形	0.14	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ369	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.32	円形	0.12	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＢ3003を構成
ＳＫＰ370	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.42×0.44	不整円形	0.25	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ371	71	ＬＰ56	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.14	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R2/2,地山中）	
ＳＫＰ372	71	ＬＰ56	Ⅲ	0.29×0.84	不整楕円形	0.47	17.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3035を構成
ＳＫＰ373	71	ＬＰ56	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.19	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ374	71	ＬＰ56	Ⅲ	0.35×0.38	円形	0.16	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＢ3003を構成
ＳＫＰ375	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.14×0.16	円形	0.06	17.5	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ376	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.18	円形	0.14	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＫＰ968を切る。ＳＡ3035を構成
ＳＫＰ377	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.08	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ378	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.14×0.17	楕円形	0.17	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ379	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.13×0.16	楕円形	0.11	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ380	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.14×0.19	楕円形	0.24	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ381	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.22	円形	0.10	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ382	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.26×0.29	楕円形	0.20	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	ＳＫＰ383に切られる。ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ383	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.15	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＫＰ382を切る
ＳＫＰ384	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.28×0.32	楕円形	0.17	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3035を構成
ＳＫＰ385	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.43×0.46	不整円形	0.10	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	
ＳＫＰ386	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.24	17.3	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	
ＳＫＰ387	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.29	円形	0.12	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少）	
ＳＫＰ389	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.16	円形	0.03	17.6	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	
ＳＫＰ390	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.26×0.58	不整楕円形	0.16	17.4	詳細不明	
ＳＫＰ391	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.27×0.29	円形	0.24	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ392A	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.30	円形	0.20	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＫＰ392Bを切る
ＳＫＰ392B	74	ＬＰ54	Ⅲ	0.32	円形	0.11	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＫＰ392Aに切られる。剥片１
ＳＫＰ395	74	ＬＰ53	Ⅲ	0.18×0.28	不整楕円形	0.13	17.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ398	71	ＬＲ57	Ⅲ	0.30	円形	0.15	17.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ399	71	ＬＱ57	Ⅲ	0.31×0.37	楕円形	0.40	17.1	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＢ3004を構成。縄文土器１
ＳＫＰ401	71	ＬＱ57	Ⅲ	0.33	円形	0.37	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ402	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.23	17.2	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ403	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.23×0.36	楕円形	0.35	17.1	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ404	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.14	円形	0.12	17.3	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ405	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.23	円形	0.06	17.3	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ406	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.34×0.39	楕円形	0.20	17.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3003を構成
ＳＫＰ409	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.10	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ410	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.15	円形	0.14	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ411	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.21	円形	0.05	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ412	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.29×0.33	楕円形	0.34	17.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ413	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.16×0.19	楕円形	0.09	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ414	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.14×0.17	楕円形	0.13	17.4	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	

第22表　柱穴観察表（２）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ415	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.17×0.25	楕円形	0.09	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ416	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.20×0.27	不整楕円形	0.36	17.1	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＫＰ417と重複。ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ417	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.18×0.24	楕円形	0.11	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	ＳＫＰ416と重複
ＳＫＰ418Ａ	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.25×0.34	楕円形	0.40	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＫＰ418Ｂを切る。ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ418Ｂ	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.03	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＫＰ418Ａに切られる
ＳＫＰ419	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.22	不整円形	0.31	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ420	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.27×0.32	不整楕円形	0.14	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ421	74	ＬＱ55	Ⅲ	0.34	円形	0.23	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ423	74	ＬＱ54	Ⅲ	0.14×0.26	不整楕円形	0.10	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ424	74	ＬＱ53	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.16	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ425	71	ＬＲ57	Ⅲ	0.32×0.34	円形	0.15	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭中	ＳＡ3036を構成
ＳＫＰ427	71	ＬＲ57	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.20	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭少	
ＳＫＰ428	71	ＬＲ57	Ⅲ	0.28×0.33	方形	0.42	17.0	詳細不明	ＳＢ3004を構成。二次加工ある剥片１
ＳＫＰ430	71	ＬＲ56	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.13	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ431	71	ＬＲ56	Ⅲ	0.15×0.19	楕円形	0.15	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭中	
ＳＫＰ432	71	ＬＲ56	Ⅲ	0.37×0.75	不整楕円形	0.18	17.2	詳細不明	
ＳＫＰ433	71	ＬＲ56	Ⅲ	0.18	円形	0.21	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ434	74	ＬＲ55	Ⅲ	0.32	方形	0.39	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ435	74	ＬＲ55	Ⅲ	0.32×0.39	楕円形	0.27	17.1	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ436	74	ＬＲ55	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.11	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ437	74	ＬＲ55	Ⅲ	0.29	方形	0.28	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少）	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ438	74	ＬＲ54	Ⅲ	0.21×0.23	不整楕円形	0.09	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ439	74	ＬＲ54	Ⅲ	0.22×0.29	楕円形	0.28	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ440	74	ＬＲ54	Ⅲ	0.23	方形	0.13	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ441	74	ＬＲ54	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.20	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ442	74	ＬＲ54	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.12	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ443	74	ＬＲ54	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.06	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	礫１
ＳＫＰ446	74	ＬＲ53	Ⅲ	0.14×0.17	楕円形	0.08	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ448	68	ＬＳ57	Ⅲ	0.26×0.30	楕円形	0.19	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少,焼土極少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ449	68	ＬＳ57	Ⅲ	0.34×0.40	楕円形	0.23	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多　柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭中,焼土少）	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ450	68	ＬＳ57	Ⅲ	0.18	円形	0.13	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少,焼土少	
ＳＫＰ451	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.36×0.39	楕円形	0.31	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多　柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少,焼土極少）	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ453	68	ＬＳ57	Ⅲ	0.29×0.35	楕円形	0.59	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少,焼土少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ454	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.10	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ455	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.14	不整円形	0.09	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ456	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.16×0.19	楕円形	0.03	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ458	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.20×0.22	不整円形	0.21	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭中	^{14}Ｃ年代値；4.510＋40ＢＰ
ＳＫＰ459	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.20×0.27	楕円形	0.22	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ460	68	ＬＳ56	Ⅲ	0.25×0.35	楕円形	0.14	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	ＳＢ3004を構成。二次加工ある剥片１
ＳＫＰ462	73	ＬＳ55	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.18	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ463	73	ＬＳ55	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.17	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ464	73	ＬＳ55	Ⅲ	0.14×0.20	不整楕円形	0.17	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ465	73	ＬＳ55	Ⅲ	0.37	円形	0.07	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭中	ＳＡ3038を構成
ＳＫＰ466	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.41×0.45	楕円形	0.10	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＫＰ467に切られる
ＳＫＰ467	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.32×0.43	楕円形	0.14	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＫＰ466を切る。剥片１
ＳＫＰ468	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.23	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ469	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.15×0.23	方形	0.13	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ470	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.19×0.23	方形	0.25	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ471	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.16	円形	0.18	17.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ472	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.29×0.36	楕円形	0.14	17.3	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ473	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.25×0.28	方形	0.28	17.1	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ474	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.25	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ475	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.25×0.28	円形	0.10	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3038を構成
ＳＫＰ476	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.23	円形	0.06	17.4	詳細不明	
ＳＫＰ477	73	ＬＳ54	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.12	17.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/2,地山中）	
ＳＫＰ478	68	ＬＴ57	Ⅲ	0.19	円形	0.12	17.2	暗褐色10ＹＲ3/4,炭極少,焼土極少	
ＳＫＰ480	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.13	不整円形	0.08	17.3	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少	
ＳＫＰ481	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.14	円形	0.08	17.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	
ＳＫＰ482	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.10×0.17	楕円形	0.11	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少	
ＳＫＰ483	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.12	円形	0.13	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少	
ＳＫＰ484	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.11×0.17	楕円形	0.06	17.3	暗褐色10ＹＲ3/4,地山中塊状	
ＳＫＰ485	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.06	17.3	褐色10ＹＲ4/4,地山多	ＳＡ3038を構成
ＳＫＰ486	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.09	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＫＰ487に切られる。ＳＡ3038を構成
ＳＫＰ487	68	ＬＴ56	Ⅲ	0.24×0.26	楕円形	0.15	17.2	暗褐色10ＹＲ3/4,地山極少	ＳＫＰ486を切る。ＳＡ3038を構成
ＳＫＰ488Ａ	73	ＬＳ55	Ⅲ	0.18×0.21	楕円形	0.17	17.2	詳細不明	
ＳＫＰ488Ｂ	73	ＬＳ55	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.08	17.4	詳細不明	
ＳＫＰ490	73	ＬＴ55	Ⅲ	0.33	円形	0.18	17.1	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭極少	ＳＫ489を切る
ＳＫＰ491	73	ＬＴ55	Ⅲ	0.35×0.44	楕円形	0.09	17.2	暗褐色10ＹＲ3/4,地山多	
ＳＫＰ492	73	ＬＴ54	Ⅲ	0.37	不整円形	0.14	17.2	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,砂礫中	
ＳＫＰ495	69	ＬＱ60	Ⅲ	0.32×0.39	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭少	
ＳＫＰ496	71	ＬＱ59	Ⅲ	0.25	円形	0.26	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,炭少	ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ497	71	ＬＲ59	Ⅲ	0.26×0.32	楕円形	0.25	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ498	71	ＬＱ58	Ⅲ	0.22×0.29	楕円形	0.23	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多粒状,炭極少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭少）	ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ499	71	ＬＱ58	Ⅲ	0.27×0.30	円形	0.16	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ501	71	ＬＲ59	Ⅲ	0.22×0.30	楕円形	0.27	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ502	71	ＬＲ58	Ⅲ	0.20	方形	0.05	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	
ＳＫＰ503	66	ＬＳ62	Ⅲ	0.33×0.35	不整円形	0.29	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少,焼土少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ505	66	ＬＳ61	Ⅲ	0.38	円形	0.27	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ506	66	ＬＳ60	Ⅲ	0.32×0.37	楕円形	0.32	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山多）	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ507	66,106	ＬＴ61	Ⅲ	0.29×0.37	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	ＳＫＰ1141に切られる。ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ508	66	ＬＴ60	Ⅲ	0.34×0.40	楕円形	0.26	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ511	66	ＭＡ61	Ⅲ	0.33×0.36	円形	0.17	16.7	黒褐色10ＹＲ3/1,炭多	ＳＢ3006を構成。縄文土器１
ＳＫＰ512	66	ＭＡ61	Ⅲ	0.34×0.40	楕円形	0.23	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ513	66	ＭＡ60	Ⅲ	0.36×0.40	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ514	68	ＭＡ59	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.21	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ516	65	ＭＢ61	Ⅲ	0.43×0.45	円形	0.29	16.7	褐灰色10ＹＲ4/1	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ517	65	ＭＢ60	Ⅲ	0.35×0.37	円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ518	66	ＭＡ61	Ⅲ	0.37	円形	0.26	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ519	65	ＭＢ60	Ⅲ	0.35×0.52	楕円形	0.26	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭少	ＳＢ3006を構成。縄文土器３
ＳＫＰ520	67	ＭＢ59	Ⅲ	0.35×0.37	方形	0.19	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	ＳＢ3006を構成

第23表　柱穴観察表（３）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ521	67	ＭＢ59	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.20	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ522	67	ＭＢ59	Ⅲ	0.36×0.43	楕円形	0.13	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ523	65	ＭＣ61	Ⅲ	0.37×0.39	円形	0.33	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3006を構成。縄文土器２
ＳＫＰ526	58	ＭＥ56	Ⅲ	0.23	方形	0.17	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ527	60	ＭＥ55	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.20	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ529	58	ＭＦ58	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	
ＳＫＰ530	58	ＭＦ57	Ⅲ	0.30×0.40	方形	0.24	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ531	58	ＭＦ56	Ⅲ	0.27×0.37	不整楕円形	0.26	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ532	58	ＭＦ56	Ⅲ	0.21	円形	0.27	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ534	58	ＭＧ58	Ⅲ	0.23	円形	0.15	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ535	58	ＭＧ58	Ⅲ	0.16×0.23	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ537	58	ＭＧ58	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ538	58	ＭＧ58	Ⅲ	0.14×0.22	不整楕円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ539	58	ＭＧ58	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	—	—	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ540	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.17	不整円形	0.10	16.9	詳細不明	
ＳＫＰ541	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.23×0.25	不整円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ542	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.27×0.36	不整楕円形	0.21	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ543	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.20×0.28	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＢ3007を構成。剥片１
ＳＫＰ544	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.26×0.29	円形	0.34	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3007を構成。二次加工ある剥片２
ＳＫＰ545	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.20	方形	0.04	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ546	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.24×0.30	方形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ547	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.21×0.25	方形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ548	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.14	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	
ＳＫＰ549	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.31×0.37	楕円形	0.39	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,Fe多,焼土多）	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ550	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.30×0.33	方形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ551	60	ＭＧ55	Ⅲ	0.19×0.21	不整楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ553	60	ＭＧ53	Ⅲ	0.22×0.25	不整楕円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ554	60	ＭＧ53	Ⅲ	0.21×0.28	楕円形	0.09	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ555	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.290.34	楕円形	0.25	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ556	57	ＭＨ58	Ⅲ	0.48	円形	0.08	16.8	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少	
ＳＫＰ557	59	ＭＨ55	Ⅲ	0.26×0.30	不整楕円形	0.21	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ558	59	ＭＨ53	Ⅲ	0.40	不整円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	
ＳＫＰ561	57	ＭＩ58	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ562	57	ＭＩ58	Ⅲ	0.21×0.27	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ564	57	ＭＩ57	Ⅲ	0.20	円形	0.03	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ565	57	ＭＩ57	Ⅲ	0.20	円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,炭極少	
ＳＫＰ566	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.20	円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,炭少	
ＳＫＰ567	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.20	円形	0.05	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少粒状,炭極少	剥片１
ＳＫＰ568	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.21×0.30	楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,炭極少	ＳＡ3041を構成
ＳＫＰ569	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.18×0.36	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,炭極少	
ＳＫＰ570	59	ＭＩ55	Ⅲ	0.18	円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ571	59	ＭＩ55	Ⅲ	0.14×0.19	楕円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ572	59	ＭＨ55	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.09	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3	
ＳＫＰ573	59	ＭＨ55	Ⅲ	0.20	円形	0.08	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3	ＳＡ3039を構成
ＳＫＰ574	59	ＭＨ55	Ⅲ	0.17×0.20	不整楕円形	0.09	16.9	暗褐色10ＹＲ3/4	
ＳＫＰ575	59	ＭＩ55	Ⅲ	0.23	不整円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山粒斑状,炭極少	
ＳＫＰ576	59	ＭＩ53	Ⅲ	0.22×0.31	楕円形	0.21	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ577	59	ＭＩ53	Ⅲ	0.28	円形	0.13	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ578	59	ＭＩ53	Ⅲ	0.20	方形	0.23	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ579	59	ＭＨ53	Ⅲ	0.24	円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少塊状	
ＳＫＰ580	59	ＭＨ53	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.16	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＡ3042を構成
ＳＫＰ581	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.35×0.41	楕円形	0.28	16.7	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ583	59	ＭＨ53	Ⅲ	0.24	円形	0.18	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3	ＳＡ3042を構成
ＳＫＰ584	60	ＭＧ53	Ⅲ	0.23	円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＡ3042を構成
ＳＫＰ585	60	ＭＧ53	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.45	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ586	60	ＭＧ53	Ⅲ	0.39×0.45	楕円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ587	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.18×0.28	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ588	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.26×0.33	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＡ3043を構成
ＳＫＰ589	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.26×0.30	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ591	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.27×0.41	楕円形	0.36	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ592	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3013・ＳＡ3043を構成
ＳＫＰ593	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.26	方形	0.31	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3	ＳＡ3043を構成
ＳＫＰ594	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.32×0.35	方形	0.22	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ595	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.23×0.26	楕円形	0.30	16.8	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ596	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	
ＳＫＰ597	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ598	57	ＭＩ56	Ⅲ	0.33×0.46	不整楕円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少粒状,炭極少	ＳＡ3041を構成
ＳＫＰ599	57	ＭＩ57	Ⅲ	0.18×0.35	楕円形	0.05	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ600	57	ＭＨ58	Ⅲ	0.18×0.21	方形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ601	57	ＭＨ56	Ⅲ	0.19×0.28	不整楕円形	0.09	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3	ＳＢ3007・ＳＡ3040を構成
ＳＫＰ602	59	ＭＨ55	Ⅲ	0.15×0.17	方形	0.11	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3	
ＳＫＰ603	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.50	不整円形	0.14	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ604	58	ＭＧ57	Ⅲ	0.18×0.20	方形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ605	58	ＭＧ58	Ⅲ	0.18×0.20	不整方形	0.08	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ607	57	ＭＩ57	Ⅲ	0.20×0.22	円形	0.03	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ609	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.25×0.27	不整円形	0.05	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少）	
ＳＫＰ610	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.27	不整円形	0.06	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10ＹＲ3/3,地山少）	
ＳＫＰ611	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.27	不整円形	0.15	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＡ3041を構成
ＳＫＰ615	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ616	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.23	方形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3041を構成
ＳＫＰ617	52	ＭＫ54	Ⅲ	0.19×0.22	円形	0.22	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭中	
ＳＫＰ618	59	ＭＪ53	Ⅲ	0.22×0.34	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ619	59	ＭＪ53	Ⅲ	0.23	円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ621	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.26×0.29	方形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	ＳＡ3043を構成
ＳＫＰ622	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.22	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多　柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭極少,焼土極少）	
ＳＫＰ623	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.21×0.30	楕円形	0.15	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ624	50	ＭＫ57	Ⅲ	0.35×0.58	楕円形	0.09	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	ＳＫＰ1091に切られる
ＳＫＰ625	50	ＭＫ57	Ⅲ	0.20×0.65	楕円形	0.21	16.7	詳細不明	
ＳＫＰ628	50	ＭＫ56	Ⅲ	0.22×0.33	楕円形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ629	50	ＭＫ56	Ⅲ	0.32×0.35	円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ630	50	ＭＫ56	Ⅲ	0.20×0.22	円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	

第24表　柱穴観察表（４）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ631	52	ＭＫ55	Ⅲ	0.23×0.26	方形	0.16	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ632	52	ＭＫ55	Ⅲ	0.26×0.27	方形	0.12	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ634	52	ＭＫ54	Ⅲ	0.27×0.44	不整楕円形	0.10	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ636	52	ＭＫ53	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.17	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少）	
ＳＫＰ641	52	ＭＫ52	Ⅲ	0.23×0.49	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ642	52	ＭＫ52	Ⅲ	0.18×0.23	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ644	52	ＭＬ55	Ⅲ	0.19×0.23	方形	0.21	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少,焼土少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ645B	52	ＭＬ・ＭＭ54	Ⅲ	0.28×0.31	楕円形	0.33	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多斑状	ＳＫ645Aに切られる
ＳＫＰ649	52	ＭＫ54	Ⅲ	0.44×0.56	方形	0.09	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ650	52	ＭＬ53	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ651	52	ＭＬ53	Ⅲ	0.25	円形	0.11	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ653	52	ＭＬ53	Ⅲ	0.22×0.28	方形	0.10	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ654	52	ＭＬ52	Ⅲ	0.35×0.41	方形	0.11	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少	球礫１
ＳＫＰ657	50	ＭＭ56	Ⅲ	0.28	方形	0.27	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ658	50	ＭＭ56	Ⅲ	0.25	方形	0.09	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ659	50	ＭＭ56	Ⅲ	0.33×0.35	方形	0.31	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ660	50	ＭＭ56	Ⅲ	0.29×0.35	楕円形	0.41	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ661	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.37	方形	0.27	16.6	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少粒状,炭極少 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少）	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ662	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.43×0.60	楕円形	0.14	16.8	詳細不明	
ＳＫＰ663	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.37×0.40	方形	0.35	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ664	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.33	方形	0.30	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ665	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.30×0.33	方形	0.44	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多塊状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ666	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.25×0.37	方形	0.38	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多塊状,炭極少	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ668	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.27×0.33	楕円形	0.26	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ669	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.27×0.32	楕円形	0.36	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ670	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.22×0.24	円形	0.21	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	
ＳＫＰ671	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.24×0.28	楕円形	0.20	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	
ＳＫＰ672	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.07	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ673	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.32×0.34	方形	0.38	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3009・3010を構成。縄文土器２
ＳＫＰ674	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.23×0.46	楕円形	0.33	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ675	52	ＭＬ54	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.25	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭中	
ＳＫＰ676	52	ＭＭ55	Ⅲ	0.32×0.35	方形	0.32	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ677	52	ＭＬ54	Ⅲ	0.25	方形	0.38	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中）	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ678	52	ＭＭ53	Ⅲ	0.19×0.23	方形	0.17	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	縄文土器１
ＳＫＰ679	52	ＭＭ53	Ⅲ	0.31	不整円形	0.43	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ680	52	ＭＭ53	Ⅲ	0.23×0.27	不整楕円形	0.23	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	ＳＢ3010を構成。縄文土器３
ＳＫＰ681	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.27×0.33	不整楕円形	0.30	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	
ＳＫＰ682	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.18×0.20	不整楕円形	0.08	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ683	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.24×0.42	楕円形	0.17	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	ＳＫＰ684に切られる。ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ684	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.37×0.47	楕円形	0.41	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭少	ＳＫＰ683を切る。ＳＢ3009を構成。縄文土器１
ＳＫＰ685	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.41×0.44	方形	0.37	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭少	ＳＫＰ686を切る。ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ686	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.23×0.28	方形	0.34	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＫＰ685に切られる。ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ687	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.26×0.36	楕円形	0.32	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＫＰ688を切る。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ688	51	ＭＮ55	Ⅲ	0.41×0.45	円形	0.42	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＫＰ687に切られる。ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ689	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.23×0.29	不整方形	0.33	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ690	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.24×0.29	不整楕円形	0.16	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ691	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.34×0.42	楕円形	0.73	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	ＳＫＰ692を切る。ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ692	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.26×0.38	楕円形			黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＫＰ691に切られる。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ693	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.31×0.35	方形	0.42	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	ＳＢ3010を構成。縄文土器１。剥片１
ＳＫＰ694	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.35×0.40	方形	0.15	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ695	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.28×0.31	方形	0.26	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ696	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.34×0.42	楕円形	0.55	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少）	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ697	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.35×0.42	楕円形	0.32	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＫＰ698を切る。ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ698	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.38×0.48	楕円形	0.32		黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＫＰ697に切られる。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ699	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.31×0.44	楕円形	0.42	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ700	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.21×0.23	不整楕円形	0.09	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ701	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.49×0.53	楕円形	0.45	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＢ3009を構成。球礫１
ＳＫＰ703	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.05	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	
ＳＫＰ704	51	ＭＮ52	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ705	51	ＭＯ55	Ⅲ	0.32×0.34	不整方形	0.42	16.4	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ706	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.45×0.55	楕円形	0.41	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＢ3009・3010を構成
ＳＫＰ707A	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.57	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	ＳＫＰ707Bを切る。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ707B	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.46×0.60	楕円形	0.23	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＫＰ707Aに切られる。縄文土器１
ＳＫＰ708A	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.17×0.20	方形	—	—	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＫＰ708Bを切る
ＳＫＰ708B	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.33×0.37	楕円形	0.60	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＫＰ708Aに切られる。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ709	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.43	円形	0.08	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ710	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.39	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2）	ＳＫＰ711を切る
ＳＫＰ711	51	ＭＯ54	Ⅲ	0.38×0.48	楕円形	0.19	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＫＰ710に切られる。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ712	51	ＭＯ53	Ⅱ	0.35×0.41	楕円形	0.19	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多塊状 柱痕確認（暗褐色10Ｙ Ｒ3/3）	
ＳＫＰ713	51	ＭＯ53	Ⅲ	0.35×0.37	円形	0.12	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/4,地山多 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ714	51	ＭＯ53	Ⅲ	0.33×0.35	不整円形	0.47	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少 柱痕確認（詳細不明）	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ715	51	ＭＯ53	Ⅲ	0.20	円形	0.14	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭少 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ716	51	ＭＯ53	Ⅲ	0.30×0.33	楕円形	0.32	16.5	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ717	51	ＭＯ52	Ⅲ	0.37×0.49	楕円形	0.56	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多）	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ718	51	ＭＯ52	Ⅲ	0.28×0.35	楕円形	0.03	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少	
ＳＫＰ721	51	ＭＰ55	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.24	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状	
ＳＫＰ722	51	ＭＰ54	Ⅲ	0.31×0.43	不整方形	0.43	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	ＳＤ758を切る。ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ724	51	ＭＰ53	Ⅲ	0.36×0.39	方形	0.38	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ725	51	ＭＰ53	Ⅲ	0.41×0.45	円形	0.45	16.4	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭極少	ＳＢ3010を構成
ＳＫＰ726	51	ＭＰ53	Ⅲ	0.28×0.34	楕円形	0.11	16.6	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＡ3072・3073を構成
ＳＫＰ727	51	ＭＰ53	Ⅲ	0.18×0.21	楕円形	0.07	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	ＳＡ3074を構成

第25表　柱穴観察表（５）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ728	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.21	不整方形	0.05	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ729	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.14	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＡ3074を構成
ＳＫＰ730	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.16	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ731	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.40×0.47	楕円形	0.20	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少,砂少	ＳＡ3073を構成
ＳＫＰ733	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.30	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＡ3072を構成
ＳＫＰ734	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.19×0.21	楕円形	0.14	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ735	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.27×0.31	楕円形	0.12	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少,砂極少	
ＳＫＰ736	51	ＭＰ52	Ⅱ	0.43×0.52	楕円形	0.04	16.7	詳細不明	
ＳＫＰ737	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.26×0.32	不整楕円形	0.09	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少粒状	ＳＢ3020を構成
ＳＫＰ738	53	ＭＰ51	Ⅱ	0.31×0.40	楕円形	0.33	16.6	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少粒状,炭極少 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少）	ＳＤ741を切る。ＳＢ3020を構成
ＳＫＰ744	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.25×0.29	不整楕円形	0.19	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ745	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.30×0.32	不整円形	0.14	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ746	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.21	円形	0.08	16.8	黒褐色10Ｙ R2/2,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ747	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.09	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ748	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.21×0.27	楕円形	0.14	16.6	黒褐色10Ｙ R2/3,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ749	44	ＭＱ53	Ⅲ	0.27	不整円形	0.14	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ751	44	ＭＱ53	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.17	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	
ＳＫＰ752	51	ＭＰ53	Ⅲ	0.26×0.29	方形	0.11	16.5	黒褐色10Ｙ R2/2,地山中	
ＳＫＰ753	44	ＭＱ53	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.08	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ754	44	ＭＱ52	Ⅱ	0.20×0.25	楕円形	0.12	16.6	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	
ＳＫＰ755	44	ＭＱ52	Ⅱ	0.30×0.35	楕円形	0.27	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＡ3074を構成
ＳＫＰ756	46	ＭＱ51	Ⅱ	0.43×0.51	楕円形	0.24	16.6	詳細不明	
ＳＫＰ757	46	ＭＱ50	Ⅲ	0.44×0.57	楕円形	0.07	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	
ＳＫＰ759	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.20×0.24	楕円形	0.13	16.4	黒褐色10Ｙ R2/2,地山極少	
ＳＫＰ761	46	ＭＲ51	Ⅱ	0.21	方形	0.12	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3075を構成
ＳＫＰ762	46	ＭＲ51	Ⅲ	0.15×0.23	不整楕円形	0.15	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ763	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.23×0.29	不整楕円形	0.19	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＫＰ764を切る
ＳＫＰ764	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.20	円形	0.13	16.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	ＳＫＰ763に切られる
ＳＫＰ766	46	ＭＲ49	Ⅲ	0.28×0.31	不整円形	0.19	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＡ3078を構成
ＳＫＰ767	46	ＭＲ49	Ⅲ	0.18×0.28	不整方形	0.10	16.5	にぶい黄褐色10Ｙ R4/3	ＳＡ3079を構成
ＳＫＰ768	44	ＭＳ53	Ⅲ	0.25×0.35	楕円形	0.04	16.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ769	44	ＭＳ53	Ⅲ	0.19×0.25	楕円形	0.18	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ770	44	ＭＲ53	Ⅲ	0.25	不整円形	0.13	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ772	44	ＭＳ53	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.05	16.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中,焼土中	
ＳＫＰ773	44	ＭＳ52	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.25	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ774	44	ＭＳ52	Ⅲ	0.36×0.43	楕円形	0.16	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ775	44	ＭＳ52	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.15	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ777	46	ＭＳ51	Ⅲ	0.23	不整円形	0.16	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3076を構成
ＳＫＰ778	46	ＭＲ51	Ⅲ	0.41×0.49	楕円形	0.06	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ779	45	ＭＴ49	Ⅲ	0.10×0.12	楕円形	0.06	16.3	褐色10Ｙ R4/6	
ＳＫＰ780	43	ＮＡ53	Ⅲ	0.21	円形	0.07	16.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ781	43	ＮＡ52	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ782	43	ＮＡ52	Ⅲ	0.12×0.20	楕円形	0.12	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ783	43	ＮＡ52	Ⅲ	0.19	不整円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ784	43	ＮＡ52	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.04	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ785	43	ＮＡ52	Ⅲ	0.19×0.28	不整楕円形	0.15	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ788	45	ＮＡ50	Ⅲ	0.25×0.36	楕円形	0.12	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中,炭少	
ＳＫＰ789	45	ＮＡ49	Ⅲ	0.19	円形	0.09	16.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ790	45	ＮＡ49	Ⅲ	0.18	不整円形	0.09	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ791	45	ＮＡ49	Ⅲ	0.21×0.23	方形	0.09	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	
ＳＫＰ792	45	ＮＡ49	Ⅲ	0.22×0.27	楕円形	0.11	16.4	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中,炭少	
ＳＫＰ793	45	ＮＢ50	Ⅱ	0.24	円形	0.13	16.3	褐色10Ｙ R4/6,炭極少	ＳＡ3082を構成
ＳＫＰ794	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.16	16.3	褐色10Ｙ R4/4,炭極少	
ＳＫＰ795	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.10	16.4	褐色10Ｙ R4/4,地山極少	ＳＡ3082を構成
ＳＫＰ796	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.11	16.3	褐色10Ｙ R4/6,地山極少	
ＳＫＰ797	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.14×0.16	楕円形	0.15	16.3	暗褐色10Ｙ R3/4,地山極少	
ＳＫＰ798	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.17	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ799	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.46×0.55	楕円形	0.12	16.3	褐色10Ｙ R4/4,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ800	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.21	円形	0.09	16.3	褐色10Ｙ R4/6,炭極少	
ＳＫＰ801	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.10×0.14	楕円形	0.08	16.4	褐色10Ｙ R4/4	
ＳＫＰ802	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.15×0.17	楕円形	0.10	16.3	褐色10Ｙ R4/4,炭極少	
ＳＫＰ803	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.07	16.4	黄褐色10Ｙ R5/6	
ＳＫＰ804	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.17	方形	0.16	16.2	褐色10Ｙ R4/6,地山極少	ＳＡ3082を構成
ＳＫＰ806	40	ＮＣ50	Ⅲ	0.17	円形	0.10	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,炭少	
ＳＫＰ807	40	ＮＣ50	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.05	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少）	
ＳＫＰ808	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.15×0.20	楕円形	0.07	16.2	褐色10Ｙ R4/4	
ＳＫＰ809	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.29	円形	0.12	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山多斑状	
ＳＫＰ810	38	ＮＤ52	Ⅲ	0.15×0.19	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	ＳＡ3090を構成
ＳＫＰ811	38	ＮＤ52	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.16	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ812	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少）	
ＳＫＰ813	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.20×0.29	楕円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	ＳＡ3090を構成
ＳＫＰ814	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.21	円形	0.11	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	
ＳＫＰ815	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ816	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.18	円形	0.05	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ817	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ818	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.10	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ819	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.17	円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ820	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.08	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中,炭少	ＳＡ3091を構成
ＳＫＰ821	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.16	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ822	40	ＮＥ51	Ⅲ	0.20×0.22	不整楕円形	0.20	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ823	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ824	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.24	円形	0.12	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ825	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.20	不整形	0.04	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＡ3090を構成
ＳＫＰ826	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.28×0.30	円形	0.18	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ827	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.22×0.23	円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	
ＳＫＰ828	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.24×0.27	円形	0.17	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ831	40	ＮＤ49	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.15	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	
ＳＫＰ832	40	ＭＥ51	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.12	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少粒状,炭極少	
ＳＫＰ833	40	ＭＥ51	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.03	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少塊状,炭極少	ＳＡ3091を構成
ＳＫＰ834	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.20×0.23	方形	0.04	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10Ｙ R3/3,地山少）	ＳＡ3093を構成
ＳＫＰ835	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.07	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ836	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.08	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	

第26表　柱穴観察表（６）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ837	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.22	円形	0.06	16.1	柱痕確認（暗褐色10Ｙ R3/3,地山少） 暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	
ＳＫＰ838	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.19×0.25	楕円形	0.35	15.9	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ839	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.10	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ840	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.10	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ841	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.16×0.19	楕円形	0.09	16.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10Ｙ R3/3,地山少）	
ＳＫＰ842	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.26×0.34	楕円形	0.11	16.1	褐色10Ｙ R4/4,地山中塊状	ＳＡ3091を構成
ＳＫＰ843	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.10	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少粒状	
ＳＫＰ844	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.16	15.9	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多塊状	ＳＡ3094を構成
ＳＫＰ845	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.34×0.43	楕円形？	0.26	16.0	詳細不明	ＳＫＰ846と重複
ＳＫＰ846	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.52×0.57	不整楕円？	0.26	15.4	詳細不明	ＳＫＰ845と重複
ＳＫＰ847	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.19×0.28	楕円形	0.21	16.0	暗褐色10Ｙ R3/4	
ＳＫＰ848	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.25	方形	0.28	15.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（詳細不明）	ＳＡ3094を構成
ＳＫＰ849	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.01	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,炭少	
ＳＫＰ850	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.21	16.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＫＰ851を切る。ＳＡ3093を構成
ＳＫＰ851	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.30	15.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中塊状	ＳＫＰ850に切られる
ＳＫＰ852	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.08	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	
ＳＫＰ853	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.16×0.18	不整楕円形	0.08	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3	ＳＢ3024を構成
ＳＫＰ854	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.28×0.37	楕円形	0.12	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ855	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.16×0.18	方形	0.06	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ856	39	ＮＧ50	Ⅲ	0.24×0.26	不整楕円形	0.12	16.1	詳細不明	
ＳＫＰ859	39	ＮＧ50	Ⅲ	0.13×0.17	楕円形	0.04	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭少	ＳＡ3094を構成
ＳＫＰ860	39	ＮＧ50	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.27	15.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＫＰ861を切る
ＳＫＰ861	39	ＮＧ50	Ⅲ	0.22×0.27	楕円形	0.20	15.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R2/2,地山少）	ＳＫＰ860に切られる
ＳＫＰ862	39	ＮＧ49	Ⅲ	0.17×0.19	方形	0.12	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ863	39	ＮＧ49	Ⅲ	0.15×0.26	不整楕円形	0.07	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R3/2）	
ＳＫＰ865	39	ＮＧ49	Ⅲ	0.17×0.24	方形	0.11	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ867	39	ＮＧ49	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.07	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ868A	30	ＮＧ48	Ⅲ	0.17×0.22	楕円形	0.18	16.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭中）	ＳＫＰ868Bを切る。868Aに切られる ＳＡ3095を構成
ＳＫＰ868B	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.13×0.18	楕円形	0.01	16.2	詳細不明	
ＳＫＰ869	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.21×0.27	不整楕円形	0.20	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ870	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.20×0.26	不整楕円形	0.21	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ871	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.22×0.31	方形	0.17	16.7	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ872	50	ＭＭ56	Ⅲ	0.30×0.36	楕円形	0.12	16.7	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	
ＳＫＰ873	52	ＭＬ55	Ⅲ	0.35×0.40	方形	—	—	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少）	ＳＢ3008を構成。縄文土器１
ＳＫＰ874	52	ＭＫ55	Ⅲ	0.28×0.33	方形	0.30	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ875	50	ＭＬ56	Ⅲ	0.31×0.34	方形	0.24	16.6	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ876	50	ＭＬ56	Ⅲ	0.33×0.39	方形	0.17	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ877	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＡ3041を構成
ＳＫＰ878	59	ＭＪ55	Ⅲ	0.20×0.27	不整楕円形	0.17	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＡ3041を構成
ＳＫＰ879	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.28×0.36	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R2/2,地山少）	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ880	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.21×0.28	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	剥片１
ＳＫＰ881	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.33×0.40	楕円形	0.43	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ882	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.25×0.31	楕円形	0.35	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少 柱痕確認（暗褐色10Ｙ R3/3,地山多）	
ＳＫＰ883	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.29×0.30	不整方形	0.44	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ884	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.35×0.47	不整方形	0.11	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R3/2,地山少）	
ＳＫＰ885	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.11	17.0	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	
ＳＫＰ886	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.30×0.38	楕円形	0.41	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ887	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＢ3012を構成
ＳＫＰ888	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.25×0.32	楕円形	0.25	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＫＰ2177を切る
ＳＫＰ889A	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.29×0.31	円形	0.40	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＫＰ889Bを切る
ＳＫＰ889B	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.24×0.27	方形	0.56	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＫＰ889Aに切られる
ＳＫＰ890	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.26×0.33	楕円形	0.56	16.5	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ891	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.32	円形	0.29	16.8	黒褐色10Ｙ R2/3,地山中	
ＳＫＰ892	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.24×0.32	楕円形	0.19	16.9	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少	
ＳＫＰ893	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.26×0.37	楕円形	0.07	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	
ＳＫＰ894	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.35×0.37	円形	0.50	16.6	黒褐色10Ｙ R2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ895	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.27	不整円形	0.19	17.0	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭多	
ＳＫＰ896	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.26	円形	0.16	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＢ3012を構成
ＳＫＰ897	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.22	不整円形	0.18	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ901	62	ＭＧ49	Ⅲ	0.31×0.53	楕円形	0.45	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ902	62	ＭＧ49	Ⅲ	0.21×0.28	方形	0.36	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ903	62	ＭＧ49	Ⅲ	0.21×0.29	不整方形	0.25	16.9	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ904	62	ＭＧ49	Ⅲ	0.28×0.32	楕円形	0.41	16.8	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭少	ＳＡ3045を構成
ＳＫＰ905	62	ＭＧ49	Ⅲ	0.27×0.29	不整方形	0.37	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3046を構成
ＳＫＰ906	62	ＭＧ48	Ⅲ	0.29	円形	0.29	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3045を構成
ＳＫＰ907	62	ＭＧ48	Ⅲ	0.33×0.39	楕円形	0.17	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ908	62	ＭＧ48	Ⅲ	0.30×0.35	楕円形	0.31	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＡ3045を構成
ＳＫＰ909	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.27×0.34	楕円形	0.24	16.9	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ910	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.26×0.34	隅丸方形	0.42	16.7	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少,炭極少	ＳＫＰ911を切る
ＳＫＰ911	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.27×0.29	隅丸方形	0.12	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	ＳＫＰ910に切られる。ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ914	61	ＭＨ51	Ⅲ	0.23×0.26	方形	0.30	16.8	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少塊状	
ＳＫＰ915	61	ＭＨ51	Ⅲ	0.29×0.32	楕円形	0.20	16.9	暗褐色10Ｙ R3/4	ＳＢ3012を構成
ＳＫＰ916	61	ＭＨ51	Ⅲ	0.15×0.23	楕円形	0.07	17.1	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ917	61	ＭＨ51	Ⅲ	0.33×0.37	不整方形	0.21	16.8	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ919	61	ＭＨ51	Ⅱ	0.32×0.46	楕円形	0.46	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ921	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.24	16.8	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ922	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.21	17.0	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少	
ＳＫＰ923	59	ＭＨ52	Ⅱ	0.29×0.36	楕円形	0.30	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ924	59	ＭＨ52	Ⅱ	0.21×0.30	方形	0.34	16.8	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ926	61	ＭＨ51	Ⅱ	0.25×0.28	方形	—	—	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＫ928を切る。ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ927	61	ＭＨ51	Ⅱ	0.27×0.30	方形	0.44	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭極少	ＳＫ928を切る
ＳＫＰ929	61	ＭＨ51	Ⅱ	0.20×0.21	方形	0.14	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ930	61	ＭＨ51	Ⅱ	0.24×0.29	方形	0.16	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ931	61	ＭＨ50	Ⅱ	0.31×0.38	楕円形	0.44	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	

第27表　柱穴観察表（７）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ933	61	ＭＨ50	Ⅱ	0.25×0.33	方形	0.48	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ934	61	ＭＨ50	Ⅱ	0.31×0.36	楕円形	0.37	16.8	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ935	61	ＭＨ50	Ⅱ	0.29×0.33	方形	0.46	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ936	61	ＭＨ50	Ⅱ	0.29×0.32	楕円形	0.19	17.1	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ937	61	ＭＨ49	Ⅱ	0.35×0.44	楕円形	0.20	17.1	にぶい黄褐色10Ｙ R4/3,焼土極少	剥片１
ＳＫＰ938	61	ＭＨ49	Ⅱ	0.31×0.41	楕円形	0.44	16.8	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	ＳＡ3044を構成
ＳＫＰ939	61	ＭＨ49	Ⅱ	0.32×0.35	円形	0.37	16.8	褐色10Ｙ R4/4,地山少塊状	
ＳＫＰ940	61	ＭＨ48	Ⅱ	0.36×0.45	不整楕円形	0.36	16.9	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ941	61	ＭＨ48	Ⅱ	0.30	円形	0.10	17.1	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ942	61	ＭＨ48	Ⅱ	0.27×0.36	不整方形	0.37	16.8	暗褐色10Ｙ R3/4,地山極少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ943	61	ＭＨ48	Ⅱ	0.19×0.23	方形	0.22	16.9	褐色10Ｙ R4/6,炭極少	
ＳＫＰ944	59	ＭＩ52	Ⅱ	0.26×0.38	楕円形	0.39	16.7	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ945	59	ＭＩ52	Ⅱ	0.29	方形	0.56	16.6	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ946	59	ＭＩ52	Ⅱ	0.31×0.36	方形	0.44	16.7	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ947	59	ＭＩ52	Ⅱ	0.25×0.29	方形	0.32	16.8	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ948	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.25×0.26	方形	0.20	16.9	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ949	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.19×0.23	方形	0.18	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ950	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.25×0.29	方形	0.36	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ951	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.32×0.36	楕円形	0.26	16.9	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ952	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.32	不整方形	0.18	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ953	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.29	不整方形	0.47	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ954	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.24	不整方形	0.11	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ955	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.32×0.24	方形	0.18	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	
ＳＫＰ956	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.30×0.32	方形	0.40	16.8	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ957	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.26×0.28	楕円形	0.10	17.1	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＫＰ2146を切る
ＳＫＰ958	61	ＭＩ51	Ⅱ	0.28	方形	0.51	16.7	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ959	61	ＭＩ50	Ⅱ	0.24×0.29	方形	0.42	16.8	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ960	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.30×0.34	楕円形	0.25	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ961	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.22	円形	0.17	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ962	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.20×0.22	円形	0.13	17.1	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	
ＳＫＰ963	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.29×0.32	楕円形	0.15	17.1	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ964	61	ＭＨ・ＭＩ49	Ⅲ	0.35×0.48	不整楕円形	0.41	16.8	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＡ3044を構成。須恵器２
ＳＫＰ965	61	ＭＪ49	Ⅱ	0.27	円形	0.31	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ966	61	ＭＪ49	Ⅱ	0.27×0.30	楕円形	0.26	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ967	61	ＭＪ49	Ⅱ	0.24×0.28	楕円形	0.20	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ968	74	ＬＰ55	Ⅲ	0.28×0.32	円形	0.06	17.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	ＳＫＰ376に切られる。ＳＡ3035を構成
ＳＫＰ969	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.19×0.23	楕円形	0.12	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	
ＳＫＰ970	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.25	不整円形	0.19	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	
ＳＫＰ971	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.20×0.24	楕円形	0.35	16.8	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ972	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.09	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,炭極少	
ＳＫＰ973	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.28	円形	0.07	17.1	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ974	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.20×0.29	楕円形	0.09	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ975	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.22×0.25	楕円形	0.11	17.0	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ976	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.22	不整円形	0.03	17.1	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少粒状,炭極少	
ＳＫＰ977	61	ＭＩ48	Ⅱ	0.32×0.55	不整楕円形	0.09	17.0	詳細不明	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ979	61	ＭＪ50	Ⅱ	0.31×0.33	円形	0.45	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ980	61	ＭＪ50	Ⅱ	0.28×0.33	楕円形	0.46	16.7	黒褐色10Ｙ R2/2,地山中	ＳＫＰ981を切る
ＳＫＰ981	61	ＭＪ50	Ⅱ	0.19×0.24	楕円形	0.17	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＫＰ980に切られる
ＳＫＰ982	61	ＭＪ49	Ⅲ	0.22×0.24	楕円形	0.11	17.1	詳細不明	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ983	61	ＭＪ49	Ⅱ	0.23×0.24	方形	0.19	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ984	61	ＭＪ49	Ⅱ	0.31×0.35	楕円形	0.20	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3044を構成
ＳＫＰ986	61	ＭＪ48	Ⅱ	0.40×0.57	楕円形	0.30	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ987	54	ＭＫ48	Ⅱ	0.19×0.23	楕円形	0.36	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ R2/2,地山中）	
ＳＫＰ989	54	ＭＫ50	Ⅱ	0.34×0.40	方形	0.53	16.6	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ990	54	ＭＫ50	Ⅲ	0.39×0.44	楕円形	0.29	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ991	54	ＭＫ50	Ⅱ	0.38×0.62	不整楕円形	0.27	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ994	54	ＭＬ51	Ⅱ	0.32×0.35	円形	0.52	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	
ＳＫＰ995	54	ＭＭ51	Ⅱ	0.20	円形	0.28	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ996	54	ＭＬ51	Ⅱ	0.26×0.34	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＡ3061を構成
ＳＫＰ998	53	ＭＮ50	Ⅲ	0.25×0.28	不整方形	0.14	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ999	53	ＭＮ50	Ⅲ	0.23×0.25	方形	0.16	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ1000	53	ＭＯ49	Ⅱ	0.27×0.30	円形	0.29	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1001	53	ＭＮ49	Ⅱ	0.23×0.24	円形	0.13	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ1002	53	ＭＯ48	Ⅱ	0.20	円形	0.09	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ1003	53	ＭＯ50	Ⅱ	0.29×0.32	円形	0.14	16.8	黒褐色10Ｙ R2/2,炭極少	
ＳＫＰ1004	53	ＭＯ50	Ⅱ	0.26×0.33	楕円形	0.15	16.8	暗褐色10Ｙ R3/3	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ1005	53	ＭＯ50	Ⅱ	0.27×0.35	不整方形	0.35	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ1006	53	ＭＯ49	Ⅱ	0.26×0.33	方形	0.28	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ1007	53	ＭＯ49	Ⅱ	0.34×0.37	不整円形	0.17	16.6	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少,炭極少	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ1008	53	ＭＯ49	Ⅱ	0.27	円形	0.16	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ1009	53	ＭＯ48	Ⅱ	0.41×0.43	円形	0.08	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,炭少	
ＳＫＰ1011Ａ	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.40×0.45	不整円形	0.14	17.3	詳細不明	ＳＫＰ1011Ｂを切る
ＳＫＰ1011Ｂ	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.47×0.53	円形	0.39	17.1	詳細不明	ＳＫＰ1011Ａに切られる。ＳＫ320を切る
ＳＫＰ1012	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.29×0.40	不整楕円形	0.08	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山極少粒状,炭極少	
ＳＫＰ1013	46	ＭＱ51	Ⅱ	0.21	円形	0.16	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1014Ａ	46	ＭＲ50	Ⅱ	0.33×0.40	楕円形	0.29	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭極少	ＳＫ1014Ｂを切る
ＳＫＰ1015	46	ＭＲ49	Ⅱ	0.24×0.26	円形	0.17	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,焼土少塊状	
ＳＫＰ1018	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.18×0.22	方形	0.17	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多塊状	
ＳＫＰ1019	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.21×0.27	方形	0.16	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中塊状	
ＳＫＰ1020	45	ＭＴ48	Ⅲ	0.22×0.32	楕円形	0.19	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	
ＳＫＰ1021	53	ＭＯ48	Ⅲ	0.14×0.16	楕円形	0.07	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ1022	54	ＭＭ49	Ⅱ	0.19	円形	0.11	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	
ＳＫＰ1023	53	ＭＰ51	Ⅱ	0.20×0.24	楕円形	0.06	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ1025	46	ＭＳ50	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.21	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＡ3076を構成
ＳＫＰ1026	62	ＭＧ51	Ⅱ	0.25×0.34	楕円形	0.15	16.9	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	
ＳＫＰ1027	61	ＭＨ48	Ⅱ	0.16×0.20	楕円形	0.06	17.1	褐色10Ｙ R4/6	
ＳＫＰ1028	61	ＭＩ50	Ⅱ	0.29×0.33	方形	0.34	16.9	黒褐色10Ｙ R3/1,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1029	54	ＭＫ49	Ⅱ	0.26×0.31	不整方形	0.43	16.7	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ1030	54	ＭＫ48	Ⅱ	0.14×0.20	楕円形	0.17	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1031	54	ＭＫ48	Ⅱ	0.15×0.17	楕円形	0.01	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ1032	61	ＭＪ48	Ⅱ	0.30×0.34	楕円形	0.08	17.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ1033	53	ＭＯ48	Ⅱ	0.15	円形	0.08	16.8	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ1034	46	ＭＱ48	Ⅲ	0.16×0.19	楕円形	0.09	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1035	45	ＭＴ48	Ⅲ	0.25×0.28	方形	0.02	16.4	褐色10Ｙ R4/6,地山中塊状	
ＳＫＰ1036	47	ＮＡ47	Ⅲ	0.22×0.25	方形	0.12	16.3	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少	ＳＡ3084を構成

第28表　柱穴観察表（８）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1037	47	ＮＡ47	Ⅲ	0.14×0.19	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	
ＳＫＰ1038	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.31×0.34	楕円形	0.27	16.7	詳細不明	
ＳＫＰ1039	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.30	円形	0.06	16.3	褐色10Ｙ Ｒ4/4	
ＳＫＰ1040	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.24	円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1041	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.25	円形	0.10	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1042	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/4,炭極少	ＳＡ3084を構成
ＳＫＰ1043	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.06	16.3	褐色10Ｙ Ｒ4/4,地山中	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1045	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.24×0.33	不整楕円形	0.04	16.3	褐色10Ｙ Ｒ4/4	ＳＡ3083を構成
ＳＫＰ1046	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.24×0.27	方形	0.10	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1048	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.22×0.28	楕円形	0.10	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少,炭極少	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1049	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.23×0.47	楕円形	0.04	16.3	詳細不明	
ＳＫＰ1050	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.12	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1051	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.07	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭中	
ＳＫＰ1052	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.33×0.37	円形	0.25	15.9	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1053	42	ＮＥ47	Ⅲ	0.16×0.19	方形	0.10	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1054	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.22×0.24	不整楕円形	0.43	15.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中,炭少）	
ＳＫＰ1055	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.21×0.28	楕円形	0.15	16.0	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭中）	
ＳＫＰ1056	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.39×0.42	楕円形	0.35	15.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1057	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.34×0.39	方形	0.41	15.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少粒状,炭多	ＳＢ3021を構成。断面外反
ＳＫＰ1058	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.29×0.31	方形	0.34	15.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中）	ＳＡ3096を構成
ＳＫＰ1059	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.16×0.17	円形	0.29	15.9	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,炭極少	
ＳＫＰ1060	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.22×0.26	方形	0.15	16.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少 柱痕確認（暗褐色10Ｙ Ｒ3/3）	
ＳＫＰ1061	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.18×0.23	方形	0.04	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	ＳＢ3024を構成
ＳＫＰ1062	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.26	不整方形	0.43	15.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少粒状）	ＳＢ3024を構成
ＳＫＰ1063	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.19×0.25	楕円形	0.09	16.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中塊状 柱痕確認（暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山極少粒状）	
ＳＫＰ1064	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.22×0.23	方形	0.32	15.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中　柱痕確認（暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中塊状,炭極少）	
ＳＫＰ1065	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.18×0.23	方形	0.16	16.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭少	ＳＢ3024を構成
ＳＫＰ1066	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.14×0.20	楕円形	0.11	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多,炭少	ＳＢ3024を構成
ＳＫＰ1067	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.11	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山極少粒状	ＳＫＰ1255を切る
ＳＫＰ1068	40	ＮＤ51	Ⅲ	0.15×0.19	方形	0.05	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭少	ＳＡ3091を構成
ＳＫＰ1069	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.23	円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＡ3090・3092を構成
ＳＫＰ1071	46	ＭＲ49	Ⅲ	0.22	不整円形	0.06	16.6	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1072	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.39×0.43	円形	0.19	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	ＳＢ3019を構成
ＳＫＰ1073	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.16×0.18	円形	0.16	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1074	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.18×0.23	不整楕円形	0.16	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ1075	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.40×0.63	不整楕円形	0.23	16.7	詳細不明	ＳＢ3019を構成
ＳＫＰ1076	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.28×029	不整円形	0.31	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1077	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.28×0.29	不整円形	0.15	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,炭極少	
ＳＫＰ1078	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.17×0.21	楕円形	0.14	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,炭極少	
ＳＫＰ1079A	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.38×0.53	不整楕円形	0.17	16.7	詳細不明	ＳＫＰ1079Bを切る
ＳＫＰ1079B	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.28×0.36	楕円形	0.14	16.8	詳細不明	ＳＫＰ1079Aに切られる
ＳＫＰ1080	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.28×0.31	楕円形	0.17	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	
ＳＫＰ1081	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.24×0.38	不整楕円形	0.15	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	
ＳＫＰ1082	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.22×0.26	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1083	53	ＭＰ49	Ⅲ	0.24×0.26	円形	0.04	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ1084	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.20	円形	0.13	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	
ＳＫＰ1085	53	ＭＰ49	Ⅲ	0.18	円形	0.12	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少粒状,炭極少	
ＳＫＰ1086	46	ＭＱ49	Ⅱ	0.21	円形	0.09	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＡ3078を構成
ＳＫＰ1087	46	ＭＱ49	Ⅱ	0.20×0.22	円形	0.09	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ1088	51	ＭＰ54	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.26	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭極少	
ＳＫＰ1089	51	ＭＰ54	Ⅲ	0.58	円形	0.16	16.5	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ1091	50	ＭＫ57	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.21	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＫＰ624を切る
ＳＫＰ1092	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.22×0.28	不整楕円形	0.23	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭中	
ＳＫＰ1093	47	ＮＡ47	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.11	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中）	ＳＡ3084を構成
ＳＫＰ1095	40	ＮＥ50	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.17	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1096	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.31×0.43	楕円形	0.03	16.2	詳細不明	
ＳＫＰ1097	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.19×0.24	方形	0.29	15.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状）	
ＳＫＰ1098	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.20×0.23	方形	0.16	16.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1099	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.24×0.26	方形	0.24	16.0	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少,炭少	ＳＢ3024を構成
ＳＫＰ1100	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.16	円形	0.06	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭極少	
ＳＫＰ1101	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.19	円形	0.06	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	
ＳＫＰ1102	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.24×0.26	不整楕円形	0.20	16.0	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭少	ＳＡ3095を構成
ＳＫＰ1103	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.26×0.34	楕円形	0.27	15.9	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少,炭少	ＳＡ3095を構成
ＳＫＰ1104	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.21×0.22	不整円形	0.11	16.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭少	
ＳＫＰ1105	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.22×0.24	不整楕円形	0.18	16.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭多	
ＳＫＰ1106	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.24×0.25	不整円形	0.01	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ1107	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.15×0.22	楕円形	0.12	15.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＫＰ1108に切られる
ＳＫＰ1108	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.11	15.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＫＰ1107を切る。ＳＡ3095を構成
ＳＫＰ1111	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.26×0.30	楕円形	0.24	16.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多,炭少 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中）	
ＳＫＰ1112	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.23	16.0	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭中	
ＳＫＰ1113	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.16	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1116	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.26	円形	0.25	17.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＤ238を切る。ＳＡ3029を構成
ＳＫＰ1117	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.26×0.28	方形	0.18	17.1	詳細不明	ＳＫＰ1119Aと重複
ＳＫＰ1118	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.25×0.36	楕円形	0.22	17.2	詳細不明	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ1119A	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.24	円形	0.16	17.1	詳細不明	ＳＫＰ1117と重複
ＳＫＰ1119B	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.20	円形	0.10	15.9	詳細不明	
ＳＫＰ1120	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.16×0.21	方形	0.14	17.2	詳細不明	
ＳＫＰ1121	75	ＬＮ55	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.16	17.4	詳細不明	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ1122	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.26×0.48	楕円形	0.32	17.2	詳細不明	ＳＫＰ1123を切る
ＳＫＰ1123	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.19	17.2	詳細不明	ＳＫＰ1122に切られる。ＳＡ3029・3033を構成
ＳＫＰ1124	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.17×0.18	不整円形	0.10	17.3	詳細不明	ＳＡ3026を構成
ＳＫＰ1127	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.28×0.34	楕円形	0.48	17.1	詳細不明	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ1128	71	ＬＱ58	Ⅲ	0.12×0.20	楕円形	0.06	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1129A	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.26×0.35	楕円形	0.34	17.1	詳細不明	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ1129B	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.24	円形	0.16	17.3	詳細不明	
ＳＫＰ1130A	75	ＬＮ53	Ⅲ	0.19×0.21	不整円形	0.06	17.4	詳細不明	

第29表　柱穴観察表（９）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1130B	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.25×0.29	楕円形	0.18	17.3	詳細不明	
ＳＫＰ1131A	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.29×0.34	楕円形	0.23	17.2	詳細不明	ＳＫＰ1131Bと重複。ＳＢ3003を構成
ＳＫＰ1131B	71	ＬＰ57	Ⅲ	0.24×0.28	楕円形	0.17	17.3	詳細不明	ＳＫＰ1131Aと重複
ＳＫＰ1132	75	ＬＮ54	Ⅱ	0.17×0.23	方形	0.10	17.4	詳細不明	陶磁器１
ＳＫＰ1133	71	ＬＰ59	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.03	17.2	詳細不明	
ＳＫＰ1135	69	ＬＱ60	Ⅲ	0.28×0.29	不整円形	0.21	16.8	詳細不明	ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ1136	69	ＬＱ60	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.04	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1137	71	ＬＲ56	Ⅲ	0.13×0.16	楕円形	0.41	16.9	詳細不明	
ＳＫＰ1138	70	ＬＯ60	Ⅲ	0.41	円形	0.13	17.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1139	66	ＬＳ60	Ⅲ	0.26×0.35	楕円形	0.16	16.8	詳細不明	ＳＫＰ1140と重複。ＳＢ3006を構成。大きな球礫１
ＳＫＰ1140	66	ＬＳ60	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.05	16.9	詳細不明	ＳＫＰ1139と重複
ＳＫＰ1141	66	ＬＴ61	Ⅲ	0.37	方形	0.26	16.7	詳細不明	ＳＫＰ507を切る
ＳＫＰ1142	66	ＭＡ60	Ⅲ	0.40×0.68	楕円形	0.28	16.6	詳細不明	ＳＢ3006を構成。縄文土器１
ＳＫＰ1143	66	ＭＡ60	Ⅲ	0.35×0.39	円形	0.22	16.7	詳細不明	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1147	71	ＬＰ・ＬＱ59	Ⅲ	0.30×0.36	方形	0.43	16.8	にぶい黄褐10Ｙ R4/3,地山多塊状,炭少～中	ＳＫ349を切る。ＳＢ3005を構成
ＳＫＰ1148	66	ＭＡ61	Ⅲ	0.26×0.28	方形	0.08	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1151	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.27×0.32	方形	0.28	16.0	詳細不明	ＳＫＰ1310を切る。ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1152	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.24×0.26	方形	0.17	16.1	詳細不明	ＳＢ3021・3022を構成
ＳＫＰ1155	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.34×0.37	楕円形	0.34	16.0	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1156	40	ＮＤ49	Ⅲ	0.27×0.30	方形	0.35	15.9	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1157	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.28×0.29	方形	0.30	15.9	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1158	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.30×0.35	不整方形	0.27	16.0	詳細不明	
ＳＫＰ1159	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.31	方形	0.39	15.9	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1160	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.08	16.2	詳細不明	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1163	40	ＮＤ49	Ⅲ	0.28×0.31	楕円形	0.32	15.9	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1164	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.34×0.48	楕円形	0.30	15.9	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1165	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.28	円形	0.21	16.0	詳細不明	
ＳＫＰ1166	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.33	円形	0.38	15.8	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1167	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.33×0.36	円形	0.18	16.1	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1169	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.30×0.35	方形	0.22	15.9	詳細不明	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1170	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.23	方形	0.08	16.0	詳細不明	
ＳＫＰ1171	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.37	円形	0.30	15.8	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1172	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.33	方形	0.58	15.5	詳細不明	ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1173	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.13×0.18	楕円形	0.09	15.9	詳細不明	
ＳＫＰ1178	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.18	円形	0.18	15.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3097を構成
ＳＫＰ1179	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.31×0.50	楕円形	0.08	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1180	40	ＮＥ50	Ⅲ	0.22×0.39	楕円形	0.09	16.2	詳細不明	ＳＫＰ1278と重複
ＳＫＰ1181	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.17×0.19	円形	0.11	16.3	詳細不明	
ＳＫＰ1182B	55	ＭＯ47	Ⅲ	0.34×0.37	楕円形	0.16	16.6	詳細不明	
ＳＫＰ1183	54	ＭＫ48	Ⅱ	0.33×0.34	円形	0.14	16.9	詳細不明	
ＳＫＰ1184	61	ＭＪ48	Ⅱ	0.30×0.46	不整楕円形	0.07	17.0	詳細不明	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ1185	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.19×0.30	楕円形	0.09	17.4	詳細不明	ＳＡ3027を構成
ＳＫＰ1186	72,106	ＬＮ57	Ⅲ	0.09×0.12	楕円形	0.15	17.4	詳細不明	
ＳＫＰ1187	70	ＬＯ60	Ⅲ	0.23	円形	0.13	17.2	詳細不明	
ＳＫＰ1190	69	ＬＰ61	Ⅲ	0.14×0.19	楕円形	0.08	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1191	69	ＬＱ60	Ⅲ	0.25×0.37	楕円形	0.10	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1192	68	ＭＡ58	Ⅲ	0.24	円形	0.15	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1199	68	ＬＴ59	Ⅲ	0.26×0.29	楕円形	0.12	16.8	詳細不明	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1200	67	ＭＢ57	Ⅲ	0.23	円形	0.13	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少塊状	
ＳＫＰ1210	69	ＭＪ52	Ⅲ	0.25	円形	0.16	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	礫１
ＳＫＰ1211	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.32	円形	0.41	16.8	詳細不明	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ1212A	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.25×0.38	楕円形	0.13	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1212Bを切る
ＳＫＰ1212B	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.25×0.32	楕円形	0.13	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1212Aに切られる
ＳＫＰ1214	61	ＭＩ49	Ⅱ	0.26×0.31	楕円形	0.16	17.1	詳細不明	ＳＫＰ1215に切られる
ＳＫＰ1215	61	ＭＩ49	Ⅱ	0.30	円形	0.16	17.1	詳細不明	ＳＫＰ1214を切る。ＳＢ3014を構成
ＳＫＰ1216	61	ＭＩ49	Ⅱ	0.26×0.30	楕円形	0.22		詳細不明	
ＳＫＰ1217	61	ＭＩ50	Ⅱ	0.28×0.32	楕円形	0.16	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1218	61	ＭＨ50	Ⅱ	0.50	方形	0.70	17.1	詳細不明	ＳＢ3013を構成。縄文土器１
ＳＫＰ1219	61	ＭＪ50	Ⅱ	0.47×0.59	楕円形	0.20	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＫＰ1220に切られる
ＳＫＰ1220	61	ＭＪ50	Ⅱ	0.37×0.42	楕円形	0.24	17.0	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＫＰ1219を切る
ＳＫＰ1221	61	ＭＩ51	Ⅲ	0.34	不整方形	0.18	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1222	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.30×0.39	楕円形	0.24	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1223	54	ＭＬ49	Ⅱ	0.38	円形	0.19	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1226	67	ＭＤ56	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.10	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少塊状	
ＳＫＰ1227	67	ＭＢ56	Ⅲ	0.21×0.27	楕円形	0.05	16.9	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ1228	68	ＭＡ56	Ⅲ	0.30×0.33	楕円形	0.10	17.0	詳細不明	剥片１、礫１
ＳＫＰ1229	75	ＬＭ53	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.20	17.0	詳細不明	
ＳＫＰ1230	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.06	17.5	詳細不明	ＳＡ3028を構成
ＳＫＰ1232	69	ＬＰ60	Ⅲ	0.24×0.36	楕円形	0.11	17.0	詳細不明	ＳＡ3037を構成
ＳＫＰ1233	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.20	16.8	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1234	54	ＭＫ51	Ⅱ	0.43×0.91	楕円形	0.14	16.9	詳細不明	
ＳＫＰ1235	54	ＭＬ51	Ⅱ	0.26×0.30	楕円形	0.18	16.8	詳細不明	
ＳＫＰ1236	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.28×0.30	円形	0.21	16.7	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ1237	51	ＭＯ55	Ⅲ	0.38×0.45	楕円形	0.35	16.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1239	39	ＮＧ49	Ⅲ	0.20×0.22	方形	0.10	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中塊状	
ＳＫＰ1241	39	ＮＧ50	Ⅲ	0.28×0.40	楕円形	0.11	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1242	39	ＮＧ50	Ⅲ	0.27×0.34	楕円形	0.09	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,黒褐色土少	
ＳＫＰ1243	39	ＭＧ49	Ⅲ	0.22	不整円形	0.14	16.1	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	ＳＡ3094を構成
ＳＫＰ1244	39	ＮＨ48	Ⅲ	0.37×0.54	楕円形	0.17	15.9	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1246	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.10	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1247	39	ＮＧ48	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.08	16.1	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1248	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.17	16.0	黒褐色10Ｙ R2/3,地山多	
ＳＫＰ1249	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.13×0.17	楕円形	0.19	16.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1250	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.15	円形	0.06	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1251	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.15×0.16	円形	0.13	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中塊状,炭極少	ＳＡ3097を構成
ＳＫＰ1252	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.20	円形	0.17	16.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1253	41	ＮＧ47	Ⅲ	0.17×0.19	円形			黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＡ3096・3097を構成
ＳＫＰ1254	39	ＮＦ50	Ⅲ	0.20×0.34	楕円形	0.12	16.1	暗褐色10Ｙ R3/4,灰褐色土少塊状	
ＳＫＰ1257	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.25×0.28	楕円形	0.05	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3093を構成
ＳＫＰ1258	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.07	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1259	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.20	円形	0.14	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1260	39	ＮＦ49	Ⅲ	0.27×0.29	円形	0.17	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＡ3093を構成
ＳＫＰ1261	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.08	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＡ3095を構成
ＳＫＰ1262	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.40×0.48	不整楕円形	0.13	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1098と重複
ＳＫＰ1265	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.28×0.34	不整方形	0.24	16.0	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ1266	39	ＮＦ48	Ⅲ	0.23	不整円形	0.15	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状,炭少	

第30表　柱穴観察表（10）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1267	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.19×0.21	円形	0.05	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1268	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.29	16.0	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＡ3095を構成
ＳＫＰ1269	41	ＮＦ47	Ⅲ	0.17×0.28	楕円形	0.12	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＡ3096を構成
ＳＫＰ1271	40	ＮＥ51	Ⅲ	0.38×0.43	楕円形	0.13	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＫＰ1272を切る
ＳＫＰ1272	40	ＮＥ51	Ⅲ	0.36×0.40	楕円形	0.09	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状,黒褐色土少	ＳＫＰ1271に切られる
ＳＫＰ1273	40	ＮＥ51	Ⅲ	0.14×0.20	楕円形	0.17	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	
ＳＫＰ1274	40	ＮＥ51	Ⅲ	0.46×0.52	不整楕円形	0.18	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状,黒褐色土少	ＳＡ3091を構成
ＳＫＰ1277	40	ＮＥ50	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.11	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1278	40	ＮＥ50	Ⅲ	0.39×0.50	楕円形	0.14	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	ＳＫＰ1180と重複。ＳＡ3092を構成
ＳＫＰ1279	40	ＮＥ50	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.01	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山多塊状	
ＳＫＰ1280	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.18×0.25	楕円形	0.07	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,炭極少	
ＳＫＰ1281	40	ＮＥ49	Ⅲ	0.27×0.32	不整楕円形	0.11	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1284	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.10	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山極少塊状,炭少	
ＳＫＰ1286	40	ＮＥ48	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.05	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中塊状	
ＳＫＰ1287	42	ＮＥ47	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.07	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1288	42	ＮＥ47	Ⅲ	0.20×0.21	方形	0.11	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	ＳＡ3089を構成
ＳＫＰ1289	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.22×0.39	楕円形	0.10	16.3	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ1290	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.18×0.26	不整形	0.08	16.3	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ1291	40	ＮＤ50	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.09	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1296	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.25×0.31	楕円形	0.12	16.1	暗褐色10Ｙ R3/4,地山多	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1298	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.19	16.1	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1303	40	ＮＣ51	Ⅲ	0.27×0.30	円形	0.16	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1307	40	ＮＣ51	Ⅲ	0.39×0.55	楕円形	0.12	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少	ＳＫＰ1308に切られる
ＳＫＰ1308	40	ＮＣ51	Ⅲ	0.43×0.53	楕円形	0.22	16.1	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少塊状	ＳＫＰ1307を切る。ＳＡ3092を構成
ＳＫＰ1310	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.45×0.50	円形	0.05	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山多,炭極少	ＳＫＰ1151に切られる
ＳＫＰ1311	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.21×0.24	円形	0.14	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3	
ＳＫＰ1312	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.43×0.64	楕円形	0.11	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,炭極少	ＳＫ605と重複。ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1313	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.20	円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1314	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.27	円形	0.12	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,地山少	
ＳＫＰ1315	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.22×0.28	楕円形	0.22	16.1	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1316	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.23×0.44	不整楕円形	0.17	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1317	40	ＮＣ48	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.07	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1318	43	ＮＢ52	Ⅲ	0.23	円形	0.09	16.3	暗褐色10Ｙ R3/4,黒褐色土極少	
ＳＫＰ1319	43	ＮＢ52	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,炭少	
ＳＫＰ1320	45	ＮＢ51	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.13	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,炭極少	
ＳＫＰ1321	45	ＮＢ51	Ⅲ	0.25×0.33	楕円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1322	45	ＮＢ51	Ⅲ	0.36	円形	0.10	16.2	暗褐色10Ｙ R3/4,炭極少	
ＳＫＰ1323	45	ＮＢ51	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.12	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3	
ＳＫＰ1324	45	ＮＢ51	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.15	16.2	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ1326	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.40×0.46	楕円形	0.05	16.4	暗褐色10Ｙ R3/3,炭少	
ＳＫＰ1327	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2	
ＳＫＰ1328	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭極少	ＳＫＰ1329に切られる
ＳＫＰ1329	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.17×0.24	楕円形	0.14	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭極少	ＳＫＰ1328を切る
ＳＫＰ1331	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.04	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少塊状,炭少	ＳＡ3082を構成
ＳＫＰ1332	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.19	円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1333	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.18×0.21	方形	0.04	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1334	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.25	円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多	
ＳＫＰ1335	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.05	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1336	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.23×0.25	楕円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3083を構成
ＳＫＰ1337	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.30	円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,炭少	ＳＫＰ1338と重複
ＳＫＰ1338	45	ＮＢ48	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2	ＳＫＰ1337と重複
ＳＫＰ1339	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.11	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,炭極少	ＳＡ3083を構成
ＳＫＰ1340	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.25×0.27	楕円形	0.09	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1341	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.22	円形	0.15	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1342	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.25	円形	0.14	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	
ＳＫＰ1343	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.41×0.53	楕円形	0.18	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ1344	46	ＭＲ51	Ⅲ	0.24×0.27	楕円形	0.07	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1345	46	ＭＲ51	Ⅲ	0.28×0.33	楕円形	0.13	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1346	46	ＭＲ51	Ⅱ	0.26×0.29	楕円形	0.20	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3075を構成
ＳＫＰ1347	46	ＭＲ51	Ⅱ	0.25×0.28	楕円形	0.18	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1348	46	ＭＲ51	Ⅱ	0.24×0.26	円形	0.26	16.6	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少	ＳＡ3075を構成
ＳＫＰ1349B	46	ＭＲ51	Ⅱ	0.20×0.25	楕円形	0.21	16.6	黒褐色10Ｙ R2/2,地山極少,炭極少	ＳＫ1349Aを切る
ＳＫＰ1350	46	ＭＲ51	Ⅲ	0.18	不整円形	0.14	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＫ1349Aを切る
ＳＫＰ1352	45	ＮＡ51	Ⅲ	0.33×0.36	円形	0.21	16.2	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多,黒褐色土少斑状	
ＳＫＰ1353	45	ＮＡ50	Ⅲ	0.15×0.17	円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中塊状,炭極少	
ＳＫＰ1354	45	ＮＡ50	Ⅲ	0.20×0.31	楕円形	0.12	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山多,炭極少	ＳＫＰ1355に切られる
ＳＫＰ1355	45	ＮＡ50	Ⅲ	0.35	円形	0.10	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中斑状,暗褐色土中斑状	ＳＫＰ1354を切る
ＳＫＰ1356	45	ＮＡ50	Ⅲ	0.26×0.46	不整楕円形	0.01	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,Fe多,10Ｙ R3/1土少	ＳＫＰ1357を切る
ＳＫＰ1357	45	ＮＡ50	Ⅲ	0.40×0.46	楕円形	0.04	16.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山中	ＳＫＰ1356に切られる
ＳＫＰ1358	45	ＮＡ49	Ⅲ	0.23	円形	0.05	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,炭少	
ＳＫＰ1359	45	ＮＡ48	Ⅲ	0.22×0.33	楕円形	0.06	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少	
ＳＫＰ1360	45	ＮＡ48	Ⅲ	0.21×0.29	楕円形	0.04	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1361	45	ＭＴ51	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1362	45	ＭＴ51	Ⅲ	0.31×0.52	楕円形	0.14	16.3	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中,炭極少	
ＳＫＰ1363	45	ＭＴ49	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.07	16.3	暗褐色10Ｙ R3/3,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1366	46	ＭＳ51	Ⅲ	0.42×0.52	楕円形	0.11	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1370	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.39×0.52	楕円形	0.24	16.4	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少	
ＳＫＰ1371	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.19×0.23	楕円形	0.11	16.6	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1372	44	ＭＲ52	Ⅱ	0.29×0.32	円形	0.05	16.6	黒褐色10Ｙ R2/3,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1373	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.02	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少	ＳＡ3081を構成
ＳＫＰ1374	48	ＭＲ47	Ⅲ	0.22	円形	0.02	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1375	46	ＭＲ51	Ⅱ	0.36×0.44	楕円形	0.19	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＡ3075を構成
ＳＫＰ1376	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.30×0.40	楕円形	0.14	16.6	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	ＳＫＰ1377に切られる
ＳＫＰ1377	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.31×0.57	楕円形	0.30	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＫＰ1376を切る
ＳＫＰ1378	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.24	円形	0.20	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＡ3075を構成
ＳＫＰ1379	46	ＭＲ50	Ⅱ	0.17×0.21	楕円形	0.24	16.5	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	
ＳＫＰ1380	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.13×0.15	楕円形	0.23	16.5	黒褐色10Ｙ R2/2,地山中,炭少	ＳＡ3075を構成
ＳＫＰ1381	46	ＭＲ50	Ⅱ	0.17×0.18	円形	0.28	16.5	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少	
ＳＫＰ1382	46	ＭＲ49	Ⅱ	0.19×0.20	円形	0.29	16.6	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1383	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.16	16.4	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ1384	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.17×0.18	円形	0.05	16.6	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	
ＳＫＰ1385	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.23	円形	0.07	16.5	暗褐色10Ｙ R3/3,地山多	
ＳＫＰ1386	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.21	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山少,炭少	ＳＡ3080・3081を構成
ＳＫＰ1387	47	ＭＴ47	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.05	16.4	黒褐色10Ｙ R2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1388	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.22	円形	0.09	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	ＳＡ3079を構成
ＳＫＰ1389	46	ＭＲ48	Ⅲ	0.21×0.23	円形	0.09	16.5	黒褐色10Ｙ R3/2,地山中	

第31表　柱穴観察表（11）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1390	48	ＭＳ47	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.15	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＡ3081を構成
ＳＫＰ1391	48	ＭＳ47	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.06	16.3	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1392	44	ＭＱ52	Ⅲ	0.28×0.29	円形	0.17	16.5	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭中	ＳＡ3074を構成
ＳＫＰ1394	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.57×0.60	不整円形	0.09	16.8	詳細不明	ＳＫＰ757に切られる
ＳＫＰ1395	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.25×0.29	方形	0.22	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1396	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.20×0.22	円形	0.17	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1397	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.23×0.26	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1398	46	ＭＱ50	Ⅱ	0.20×0.22	円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山中	ＳＫＰ1399に切られる
ＳＫＰ1399	46	ＭＱ50	Ⅲ	0.30	円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＫＰ1398を切る
ＳＫＰ1400	46	ＭＱ49	Ⅲ	0.30×0.32	円形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1401	46	ＭＱ49	Ⅲ	0.24×0.30	楕円形	0.25	16.6	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭中	ＳＫＰ1402と重複
ＳＫＰ1402	46	ＭＱ49	Ⅲ	0.26×0.32	楕円形	0.28	16.6	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＫＰ1401と重複。ＳＡ3077を構成
ＳＫＰ1406	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.39×0.58	楕円形	0.20	16.4	にぶい黄褐色10ＹＲ4/3 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2）	ＳＡ3080を構成
ＳＫＰ1407	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.22	円形	0.10	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＡ3070を構成
ＳＫＰ1408	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.22×0.24	楕円形	0.25	16.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1409	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.21×0.41	楕円形	0.14	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＡ3070・3080を構成
ＳＫＰ1410	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.05	16.6	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭少	
ＳＫＰ1411	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.07	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1412	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.07	16.6	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1413	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.34×0.36	不整円形	0.42	16.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ1414	51	ＭＯ53	Ⅲ	0.28	方形	0.22	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	
ＳＫＰ1415	51	ＭＰ54	Ⅲ	0.27×0.30	方形	0.09	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1417	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.27×0.34	楕円形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	ＳＡ3072を構成
ＳＫＰ1418	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.33	不整円形	0.14	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3020を構成
ＳＫＰ1419	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.09	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	
ＳＫＰ1420	51	ＭＰ・ＭＱ52	Ⅲ	0.37×0.44	楕円形	0.11	16.6	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少塊状	
ＳＫＰ1422	51	ＭＰ52	Ⅱ	0.27×0.33	楕円形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	ＳＤ741と重複
ＳＫＰ1423	51	ＭＰ52	Ⅱ	0.23×0.25	方形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1424	53	ＭＰ51	Ⅱ	0.29×0.34	不整形	0.06	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	ＳＫ1425を切る。ＳＢ3020を構成
ＳＫＰ1427	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.27×0.36	楕円形	0.18	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少,炭極少	
ＳＫＰ1428	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.24×0.27	楕円形	0.09	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	
ＳＫＰ1429	53	ＭＰ50	Ⅱ	0.19×0.24	楕円形	0.13	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1432	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.27×0.30	楕円形	0.14	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2 柱痕確認（にぶい黄褐色10ＹＲ4/3）	
ＳＫＰ1433	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.41×0.78	楕円形	0.39	16.5	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少塊状	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ1434	53	ＭＰ49	Ⅲ	0.19×0.21	楕円形	0.42	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1435	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.18×0.23	楕円形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1436	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.17×0.28	楕円形	0.13	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭極少	ＳＡ3077を構成
ＳＫＰ1437	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.22×0.25	楕円形	0.15	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	ＳＡ3077を構成
ＳＫＰ1438	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.17×0.19	楕円形	0.15	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	ＳＡ3078を構成
ＳＫＰ1439	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.35×0.75	楕円形	0.07	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ1440	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.30×0.31	円形	0.08	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ1441	53	ＭＰ49	Ⅲ	0.39×0.41	円形	0.07	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭極少	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ1442	53	ＭＰ49	Ⅱ	0.18×0.26	楕円形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1443	53	ＭＰ48	Ⅱ	0.21×0.30	楕円形	0.11	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1444	55	ＭＰ47	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.06	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1445	55	ＭＰ47	Ⅲ	0.24	円形	0.07	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1446	55	ＭＰ47	Ⅲ	0.20×0.21	円形	0.07	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭極少	
ＳＫＰ1447	55	ＭＰ47	Ⅲ	0.30×0.33	円形	0.14	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1448	55	ＭＰ47	Ⅲ	0.26×0.32	楕円形	0.01	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1449	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.27×0.28	円形	0.08	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1450に切られる
ＳＫＰ1450	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.24×0.34	楕円形	0.09	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＫＰ1449を切る
ＳＫＰ1451	55	ＭＯ47	Ⅲ	0.26×0.30	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1452	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.19×0.22	方形	0.09	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1453	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.47×0.56	楕円形	0.11	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＫＰ1454と重複。ＳＢ3025・ＳＡ3080を構成
ＳＫＰ1454	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.21	円形	0.06	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭中	ＳＫＰ1453と重複
ＳＫＰ1455	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.30×0.40	楕円形	0.08	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1456	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.12	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭中	
ＳＫＰ1457	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.12×0.14	楕円形	0.06	16.1	詳細不明	ＳＫ1459を切る
ＳＫＰ1458	40	ＮＣ49	Ⅲ	0.15×0.22	楕円形	0.05	16.1	詳細不明	ＳＫ1459を切る。ＳＢ3021を構成
ＳＫＰ1460	46	ＭＳ50	Ⅲ	0.21×0.29	楕円形	0.23	16.5	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3076を構成
ＳＫＰ1461	46	ＭＳ50	Ⅲ	0.31×0.37	楕円形	0.19	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3076を構成
ＳＫＰ1462	46	ＭＳ50	Ⅲ	0.20×0.27	楕円形	0.17	16.5	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1463	46	ＭＲ49	Ⅲ	0.29×0.40	楕円形	0.15	16.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少）	ＳＡ3080を構成 柱痕φ20cm円形
ＳＫＰ1466	40	ＮＤ48	Ⅲ	0.30×0.32	不整円形	0.32	15.9	詳細不明	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1467	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.20	円形	0.10	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1468	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.28×0.48	方形	0.34	16.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1469	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.14	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1470	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.20×0.26	楕円形	0.02	16.3	にぶい黄褐色10ＹＲ4/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10ＹＲ3/3,地山少）	
ＳＫＰ1471	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.08×0.10	楕円形	0.09	16.2	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少	
ＳＫＰ1473	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.20×0.22	方形	0.12	16.2	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1474	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.26	方形	0.18	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1475	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.19×0.28	楕円形	0.09	16.2	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3087・3088を構成
ＳＫＰ1476	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.25×0.28	楕円形	0.11	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3086を構成
ＳＫＰ1477	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.05	16.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	ＳＡ3087を構成
ＳＫＰ1478	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.19×0.21	円形	0.13	16.2	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3088を構成
ＳＫＰ1479	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.14×0.23	楕円形	0.12	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1480	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.02	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1481	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.18×0.23	楕円形	0.12	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3085を構成
ＳＫＰ1482	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.16×0.19	方形	0.06	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3085を構成
ＳＫＰ1483	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.27	円形	0.14	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＫＰ1484を切る。ＳＡ3086を構成
ＳＫＰ1484	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.31×0.36	楕円形	0.13	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＫＰ1483に切られる。ＳＡ3086を構成
ＳＫＰ1485	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.20×0.26	方形	0.11	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3086を構成
ＳＫＰ1486	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.23×0.24	円形	0.08	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1487	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.14×0.16	楕円形	0.19	16.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1488	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.25×0.27	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1489	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.20×0.22	不整円形	0.05	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1490	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.16×0.17	円形	0.09	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1491	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.23×0.26	楕円形	0.19	16.2	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1492	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.20×0.33	楕円形	0.09	16.3	にぶい黄褐色10ＹＲ4/3 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2）	
ＳＫＰ1493	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.16×0.26	楕円形	0.05	16.3	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1494	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.20×0.22	円形	0.04	16.3	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	

第32表　柱穴観察表（12）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ1495	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.25	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭中	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1497	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.21×0.27	楕円形	0.16	16.2	にぶい黄褐色10Ｙ Ｒ4/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	
ＳＫＰ1498	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.22×0.31	方形	0.10	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	ＳＫＰ1499を切る。ＳＢ3022・ＳＡ3085を構成
ＳＫＰ1499	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.21×0.28	方形	0.15	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少）	ＳＫＰ1496に切られる。ＳＡ3086を構成
ＳＫＰ1500	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.12	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＡ3088を構成
ＳＫＰ1501	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1502	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.26×0.28	円形	0.22	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭少	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1503	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.14	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	
ＳＫＰ1504	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.20×0.24	方形	0.13	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ1505	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.19	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	
ＳＫＰ1506	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.33×0.36	不整円形	0.23	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭少	ＳＡ3087を構成
ＳＫＰ1507	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.25×0.34	楕円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＡ3087を構成
ＳＫＰ1508	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.24×0.26	不整円形	0.14	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1509	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.16×0.19	方形	0.08	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1510	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1511	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.13	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ1512	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.21×0.24	不整円形	0.12	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少）	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1513	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.21×0.22	円形	0.12	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少）	柱痕（方形）
ＳＫＰ1514	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.20	円形	0.27	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2	ＳＫＰ1515に切られる
ＳＫＰ1515	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.09	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2）	ＳＫＰ1514を切る
ＳＫＰ1516	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.24	円形	0.12	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1517	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.21	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭多）	
ＳＫＰ1518	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.12	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1519	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.18×0.35	不整楕円形	0.17	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1520	47	ＮＢ46	Ⅲ	0.19	円形	0.10	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少	
ＳＫＰ1521	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.21	円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	ＳＡ3083を構成
ＳＫＰ1522	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.19	円形	0.04	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ1523	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.23×0.31	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭少	ＳＫＰ1524と重複
ＳＫＰ1524	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.16×0.22	楕円形	0.07	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＫＰ1523と重複
ＳＫＰ1525	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.13×0.15	楕円形	0.10	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1526	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.20×0.28	楕円形	0.15	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＡ3083を構成
ＳＫＰ1527	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ1528	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.34×0.49	不整楕円形	0.12	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1529	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.13	16.2	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少	
ＳＫＰ1532	47	ＮＢ46	Ⅲ	0.22	円形	0.13	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＡ3087を構成
ＳＫＰ1533	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.08	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中,炭少	ＳＡ3083を構成
ＳＫＰ1535	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.14×0.25	楕円形	0.06	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ1536	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.32	円形	0.02	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1537	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.28	円形	0.10	16.6	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1539	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.31×0.37	不整楕円形	0.08	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1540	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.10	16.6	褐色10Ｙ Ｒ4/6,地山少塊状,炭少 柱痕確認(暗褐色10Ｙ Ｒ3/3)	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1541	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.20	16.5	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1542	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.18	16.6	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1543	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.21	円形	0.04	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	
ＳＫＰ1544	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.06	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1545	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.19×0.26	楕円形	0.05	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1546	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.15×0.24	楕円形	0.17	16.6	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	ＳＢ3025・ＳＡ3071を構成
ＳＫＰ1547	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.28×0.35	楕円形	0.05	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	ＳＫＰ1548に切られる。ＳＢ3025・ＳＡ3071を構成
ＳＫＰ1548	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.12×0.24	楕円形	0.07	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1547を切る。ＳＡ3071を構成
ＳＫＰ1549	48	ＭＱ45	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.19	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1550	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.13	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	ＳＡ3067を構成
ＳＫＰ1551	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.24×0.26	円形	0.19	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1552	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.22×0.28	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1554	48	ＭＱ44	Ⅲ	0.18	円形	0.10	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	
ＳＫＰ1555	55	ＭＰ44	Ⅲ	0.17×0.30	楕円形	0.11	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭少	ＳＡ3069を構成
ＳＫＰ1556	55	ＭＰ44	Ⅲ	0.21×0.22	方形	0.12	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1557	42	ＮＣ46	Ⅲ	0.22×0.27	不整楕円形	0.08	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1558	42	ＮＣ45	Ⅲ	0.24×0.27	方形	0.05	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1559	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.18×0.21	楕円形	0.05	16.4	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中,炭少	
ＳＫＰ1560	47	ＮＢ46	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.18	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ1561	47	ＮＢ46	Ⅲ	0.22×0.30	楕円形	0.05	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1562	47	ＮＡ45	Ⅲ	0.34×0.49	方形	0.09	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多	
ＳＫＰ1565	47	ＮＡ45	Ⅲ	0.33	方形	0.06	16.3	にぶい黄褐色10Ｙ Ｒ4/3,地山多 柱痕確認（暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少）	
ＳＫＰ1566	47	ＮＡ45	Ⅲ	0.19×0.25	楕円形	0.17	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1567	47	ＭＴ47	Ⅲ	0.21×0.23	楕円形	0.16	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2）	ＳＡ3081を構成
ＳＫＰ1568	47	ＭＴ47	Ⅲ	0.31×0.33	円形	0.36	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ2/3,地山多,10Ｙ Ｒ2/2土中塊状	
ＳＫＰ1569	47	ＭＴ45	Ⅲ	0.42×0.79	楕円形	0.11	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ1570	47	ＭＴ45	Ⅲ	0.25	円形	0.09	16.3	にぶい黄褐色10Ｙ Ｒ4/3 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中）	
ＳＫＰ1571A	47	ＭＴ45	Ⅲ	0.30×0.33	楕円形	0.10	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多,小石多	ＳＫＰ1571Bを切る
ＳＫＰ1571B	47	ＭＴ45	Ⅲ	0.41×0.48	隅丸方形	0.06	16.3	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山多,小石多	ＳＫＰ1571Aに切られる
ＳＫＰ1572	48	ＭＳ45	Ⅲ	0.27×0.28	方形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1573	48	ＭＳ45	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	—	—	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	
ＳＫＰ1574	48	ＭＳ45	Ⅲ	0.28×0.29	円形	0.07	16.4	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1575	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.13	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＡ3070を構成
ＳＫＰ1576	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.09	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1577	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.34×0.38	楕円形	0.05	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	
ＳＫＰ1578	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.26×0.42	楕円形	0.10	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山中	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1579	48	ＭＱ46	Ⅲ	0.16×0.19	楕円形	0.10	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1580	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.19×0.20	円形	0.12	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	ＳＡ3070・3071を構成
ＳＫＰ1581	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.20×0.22	円形	0.12	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭少	ＳＡ3071を構成
ＳＫＰ1582	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.14×0.26	楕円形	0.13	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1583	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.14×0.16	円形	0.09	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1584	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.23	円形	0.11	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	
ＳＫＰ1585	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.41×0.42	方形	0.08	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	ＳＢ3025・ＳＡ3067を構成
ＳＫＰ1586	55	ＭＰ44	Ⅲ	0.13×0.20	楕円形	0.08	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	ＳＡ3069を構成

第33表　柱穴観察表（13）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1587	55	ＭＰ44	Ⅲ	0.28×0.35	楕円形	0.10	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	
ＳＫＰ1588	55	ＭＯ46	Ⅲ	0.28×0.34	楕円形	0.10	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	
ＳＫＰ1589	55	ＭＯ46	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1590	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.25×0.27	円形	0.06	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3	
ＳＫＰ1591	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.20×0.22	円形	0.11	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1592	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.21	円形	0.11	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1594	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.19×0.22	円形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＡ3067を構成
ＳＫＰ1595	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.25	円形	0.14	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＫＰ1596と重複
ＳＫＰ1596	55	ＭＰ45	Ⅲ	0.32×0.35	楕円形	0.06	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＫＰ1595と重複
ＳＫＰ1597	55	ＭＰ44	Ⅲ	0.17×0.21	楕円形	0.05	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中塊状	ＳＢ3025・ＳＡ3068を構成
ＳＫＰ1599	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.18	円形	0.06	16.8	褐色10ＹＲ4/6 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2）	ＳＡ3068を構成
ＳＫＰ1600	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.20	円形	0.08	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1601	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.17	円形	0.12	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1602	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.14×0.18	楕円形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＡ3063を構成
ＳＫＰ1603	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.21×0.29	楕円形	0.09	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3	ＳＡ3067を構成
ＳＫＰ1605	55	ＭＯ46	Ⅲ	0.18×0.24	楕円形	0.04	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＡ3063を構成
ＳＫＰ1606	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＡ3063・3066を構成
ＳＫＰ1607	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.18×0.25	楕円形	0.16	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＡ3063を構成
ＳＫＰ1608	55	ＭＮ45	Ⅲ	0.15×0.17	楕円形	0.06	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＡ3066を構成
ＳＫＰ1609	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.18×0.23	楕円形	0.17	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1610	55	ＭＮ45	Ⅲ	0.29×0.35	楕円形	0.07	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＢ3025・ＳＡ3067を構成
ＳＫＰ1611Ａ	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.27×0.37	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1611Ｂと重複
ＳＫＰ1611Ｂ	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.44×0.51	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ1611Ａと重複
ＳＫＰ1612	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.26×0.28	楕円形	0.22	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1614	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.28	不整円形	0.31	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	ＳＡ3068を構成
ＳＫＰ1615	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.07	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	
ＳＫＰ1616	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.28×0.34	楕円形	0.04	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1617	55	ＭＮ47	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1618	55	ＭＮ47	Ⅲ	0.12×0.20	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1619	55	ＭＮ47	Ⅲ	0.40×0.45	楕円形	0.07	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ1620	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＡ3064を構成
ＳＫＰ1621	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭中	ＳＡ3064を構成
ＳＫＰ1622	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.22×0.23	方形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3062を構成
ＳＫＰ1623	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.20	円形	0.13	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3062・3063を構成
ＳＫＰ1624	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.19×0.21	楕円形	0.12	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ1625	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.15×0.21	楕円形	0.13	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭中	ＳＡ3064を構成
ＳＫＰ1626	55	ＭＮ44	Ⅲ	0.23×0.34	楕円形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/1,地山多粒状	
ＳＫＰ1627	55	ＭＮ44	Ⅲ	0.36×0.45	楕円形	0.29	16.5	黒褐色10ＹＲ3/1,地山多粒状	
ＳＫＰ1628	55	ＭＮ44	Ⅲ	0.20×0.26	不整楕円形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山多粒状	
ＳＫＰ1629	55	ＭＮ44	Ⅲ	0.23×0.28	不整楕円形	0.10	16.4	黒褐色10ＹＲ3/1,地山多粒状	ＳＡ3068を構成
ＳＫＰ1631	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.17×0.18	円形	0.09	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3062を構成
ＳＫＰ1632	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.17×0.19	楕円形	0.08	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ1633	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.09	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1634	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.32×0.43	不整方形	0.04	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ1636	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.22×0.29	不整楕円形	0.13	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭中	
ＳＫＰ1637	56	ＭＬ44	Ⅲ	0.10×0.16	楕円形	0.03	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1638	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.29×0.34	楕円形	0.01	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1639	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1640	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.23×0.33	楕円形	0.18	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＫＰ1641と重複。ＳＡ3057を構成
ＳＫＰ1641	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.18×0.24	楕円形	0.16	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＫＰ1640・1642と重複。ＳＡ3057を構成
ＳＫＰ1642	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.30×0.34	楕円形	0.18	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＫＰ1641と重複。ＳＡ3057を構成
ＳＫＰ1644	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.18	円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1645	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3057を構成
ＳＫＰ1646	56	ＭＫ47	Ⅲ	0.16×0.18	円形	0.36	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＡ3057を構成
ＳＫＰ1648	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.19	円形	0.08	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ1649	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.26	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1650	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.30×0.32	不整円形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	ＳＡ3058を構成
ＳＫＰ1651	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.19	円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1652	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.21	円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1653	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.28×0.36	楕円形	0.27	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1654	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.21×0.28	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1655	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.14	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1656	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.26×0.30	円形	0.18	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少粒状	ＳＡ3058を構成
ＳＫＰ1657	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.21×0.24	方形	0.06	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	ＳＡ3056を構成
ＳＫＰ1658	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.15×0.26	楕円形	0.07	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＫＰ1659に切られる
ＳＫＰ1659	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＫＰ1658を切る
ＳＫＰ1660	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.17	円形	0.09	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少粒状	
ＳＫＰ1661	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1662	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.19×0.23	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1663	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1664	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.16×0.18	円形	0.05	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭少	
ＳＫＰ1665	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.07	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ1666	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.15×0.22	楕円形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1667	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.20×0.22	不整楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1668	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.48×0.55	不整楕円形	0.15	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＡ3054を構成
ＳＫＰ1669	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.07	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ1670	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1671	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3054を構成
ＳＫＰ1672	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1673	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.15×0.18	楕円形	0.17	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1674	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.16×0.28	楕円形	0.09	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3054を構成
ＳＫＰ1675	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.25×0.30	方形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3051を構成
ＳＫＰ1676	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.20	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1677	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.22×0.23	円形	0.25	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3055を構成
ＳＫＰ1678	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.26×0.28	円形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3055を構成
ＳＫＰ1679	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.21×0.30	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1680	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.16×0.23	楕円形	0.10	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1681	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.18×0.26	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3055を構成
ＳＫＰ1682	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.18×0.33	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1683	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.16×0.20	不整楕円形	0.13	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1685	54	ＭＬ48	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1686	63	ＭＪ47	Ⅲ	0.20	円形	0.14	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1687	63	ＭＪ47	Ⅲ	0.25×0.29	楕円形	0.35	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1689	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.26×0.31	不整楕円形	0.31	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1690	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.23×0.26	楕円形	0.13	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	

第34表　柱穴観察表（14）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1691A	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.26×0.36	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＫＰ1691Bを切る
ＳＫＰ1691B	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.21×0.42	楕円形	0.17	16.9	詳細不明	ＳＫＰ1691Aに切られる
ＳＫＰ1692	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.19×0.28	楕円形	0.22	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3056を構成
ＳＫＰ1693	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.19	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＡ3057を構成
ＳＫＰ1695	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.16	円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＫＰ1696を切る。ＳＡ3056を構成
ＳＫＰ1696	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.19	円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山多	ＳＫＰ1695に切られる
ＳＫＰ1697	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1698	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3049を構成
ＳＫＰ1699	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.28×0.32	円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1700	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.23×0.33	楕円形	0.22	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3049を構成
ＳＫＰ1701	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.26×0.34	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3051を構成
ＳＫＰ1702	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.10×0.16	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1703	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.22	円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3051を構成
ＳＫＰ1704	63	ＭＪ45	Ⅲ	0.31×0.39	楕円形	0.06	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1705	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.20×0.26	不整楕円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1706	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.40×0.43	不整円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3052を構成
ＳＫＰ1707	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.20×0.25	不整楕円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山中,炭少	
ＳＫＰ1708	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.19×0.21	楕円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1709	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.28	円形	0.24	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3052を構成
ＳＫＰ1710	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.14	円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1711	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1712	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1713	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.21	円形	0.05	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1714	63	ＭＪ44	Ⅲ	0.35	円形	0.17	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3052を構成
ＳＫＰ1716	63	ＭＩ47	Ⅲ	0.23	円形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1717	63	ＭＩ47	Ⅲ	0.23	円形	0.13	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1718	63	ＭＩ47	Ⅲ	0.21×0.23	円形	—	—	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1719	63	ＭＩ47	Ⅲ	0.28×0.32	楕円形	0.13	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1720	63	ＭＩ47	Ⅲ	0.32×0.48	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1721	63	ＭＩ47	Ⅲ	0.27×0.28	円形	0.12	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1722	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.18×0.21	方形	0.06	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	
ＳＫＰ1723	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.15×0.18	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1724	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.26×0.31	方形	0.05	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＡ3049を構成
ＳＫＰ1725A	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.33×0.54	楕円形	0.15	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＫＰ1725Bを切る
ＳＫＰ1725B	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.32×0.42	楕円形	0.08	17.0	詳細不明	ＳＫＰ1725Aに切られる。ＳＡ3049を構成
ＳＫＰ1726	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.12×0.15	楕円形	0.15	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	
ＳＫＰ1727	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.25	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/2）	ＳＡ3050を構成
ＳＫＰ1728	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.17×0.19	方形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1730	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.07	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＡ3050を構成
ＳＫＰ1731	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.25×0.30	方形	0.14	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,炭極少	ＳＡ3049を構成
ＳＫＰ1732	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.23×0.24	円形	0.23	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＡ3050を構成
ＳＫＰ1733	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.26	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭中	ＳＡ3050を構成
ＳＫＰ1734	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.19	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3050を構成
ＳＫＰ1735	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.34×0.36	方形	0.19	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1736	63	ＭＩ46	Ⅲ	0.22	方形	0.09	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1737	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.15×0.19	楕円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1738	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.16×0.22	楕円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1739	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.13×0.19	楕円形	0.07	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭少	
ＳＫＰ1740	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.13×0.16	楕円形	0.15	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	
ＳＫＰ1741	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.36×0.46	楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3051を構成
ＳＫＰ1742	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.19×0.21	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1743	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.22×0.43	不整楕円形	0.17	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3053を構成
ＳＫＰ1744	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.33×0.36	楕円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	ＳＡ3052・3053を構成
ＳＫＰ1745	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.16×0.20	不整楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	ＳＡ3053を構成
ＳＫＰ1746	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＡ3053を構成
ＳＫＰ1747	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.15×0.23	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少 柱痕確認（褐色10ＹＲ4/4）	
ＳＫＰ1748	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.18×0.23	楕円形	0.12	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少）	ＳＡ3053を構成
ＳＫＰ1749	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.31×0.36	不整楕円形	0.25	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ1750	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.20×0.24	不整楕円形	0.04	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1751	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.12×0.18	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1752	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.24×0.43	楕円形	0.07	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1753	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.12	不整円形	0.05	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1754	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1755	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.21	不整円形	0.18	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1756	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.22	円形	0.06	17.1	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ1757	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.14×0.18	楕円形	0.06	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1758	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.14	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3046を構成
ＳＫＰ1759	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.21×0.29	楕円形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1760	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.30×0.32	不整円形	0.31	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1761	63	ＭＨ47	Ⅲ	0.26×0.27	不整円形	0.23	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1762	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.26×0.34	楕円形	0.20	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	ＳＫＰ1763を切る。ＳＡ3046を構成
ＳＫＰ1763	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.25×0.27	楕円形	0.14	17.0	黒褐色10ＹＲ2/3,地山多	ＳＫＰ1762に切られる
ＳＫＰ1764	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.23×0.25	円形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1765	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.24×0.28	楕円形	0.16	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＡ3046を構成。剥片２
ＳＫＰ1766	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.20	円形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	剥片12、二次加工ある剥片２
ＳＫＰ1767	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.25	不整円形	0.06	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	ＳＡ3046を構成
ＳＫＰ1768	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.13	円形	0.05	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1770	63	ＭＨ46	Ⅲ	0.34×0.37	不整円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3047を構成
ＳＫＰ1771	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.24×0.32	楕円形	0.19	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＡ3047を構成
ＳＫＰ1772	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.18×0.24	楕円形	0.03	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	
ＳＫＰ1773	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.25×0.41	楕円形	0.24	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	ＳＡ3047を構成
ＳＫＰ1774	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.18×0.21	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭少	ＳＡ3047を構成
ＳＫＰ1776	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.09	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1777	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.24	不整円形	0.12	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3048を構成
ＳＫＰ1778	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.20	円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1780	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.22×0.36	不整楕円形	0.09	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1781	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.37	不整方形	0.13	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1782	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.14×0.19	楕円形	0.07	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中,炭中	ＳＡ3048を構成
ＳＫＰ1783	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.26	不整円形	0.06	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3048を構成
ＳＫＰ1784	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.18×0.20	不整円形	0.06	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	
ＳＫＰ1785	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.25×0.33	楕円形	0.11	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＫＰ1786に切られる
ＳＫＰ1786	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.23×0.26	楕円形	0.11	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	ＳＫＰ1785を切る
ＳＫＰ1787	63	ＭＨ44	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.15	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭少	ＳＡ3048を構成

第35表　柱穴観察表（15）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ1788	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.22×0.24	不整楕円形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1789	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.09	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1790	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.15×0.22	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1791	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.22	円形	0.11	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,炭極少	ＳＡ3062を構成
ＳＫＰ1792	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1793	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.15×0.22	楕円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1794	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.24×0.27	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1795	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.32	円形	0.20	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭少）	
ＳＫＰ1796	56	ＭＬ46	Ⅲ	0.34×0.41	楕円形	0.04	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＫＰ1797を切る
ＳＫＰ1797	56	ＭＬ46	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.34	16.5	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少塊状	ＳＫＰ1796に切られる
ＳＫＰ1798	56	ＭＬ47	Ⅲ	0.19×0.20	円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ1799	56	ＭＬ46	Ⅲ	0.31×0.39	楕円形	0.03	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1800	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3058を構成
ＳＫＰ1801	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.19×0.21	円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ1802	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.11×0.12	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1803	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.17×0.21	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1804	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.13×0.16	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1805	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.14×0.18	楕円形	0.04	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1806	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.11	円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1807	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.12	円形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1808	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.10×0.12	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1809	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1810	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.15	円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1811	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.16×0.28	楕円形	0.18	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	ＳＡ3062を構成
ＳＫＰ1812	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.09×0.12	楕円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1813	56	ＭＭ47	Ⅲ	0.14	円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭少	
ＳＫＰ1814	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.17×0.19	円形	0.14	16.7	黒褐色10ＹＲ3/1,地山中粒状	ＳＡ3065を構成
ＳＫＰ1815	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.21	円形	0.22	16.6	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少粒状,炭中	
ＳＫＰ1816	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.31×0.36	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山中	ＳＡ3065を構成
ＳＫＰ1817	55	ＭＮ45	Ⅲ	0.22×0.23	不整円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山中	
ＳＫＰ1819	55	ＭＮ45	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少粒状,炭中	ＳＡ3065・3067を構成
ＳＫＰ1820	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.18×0.21	円形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1821	55	ＭＮ46	Ⅲ	0.16	円形	0.04	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1822	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.17	円形	0.06	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3	
ＳＫＰ1823	55	ＭＯ46	Ⅲ	0.21	不整円形	0.14	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＡ3066を構成
ＳＫＰ1824	55	ＭＯ46	Ⅲ	0.20	方形	0.06	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＡ3066を構成
ＳＫＰ1825	55	ＭＯ47	Ⅲ	0.20×0.21	円形	0.16	16.7	黒色10ＹＲ2/1,地山中粒状	ＳＡ3064を構成
ＳＫＰ1826	55	ＭＮ47	Ⅲ	0.14×0.18	楕円形	0.06	16.8	褐灰色10ＹＲ4/1	
ＳＫＰ1827	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少塊状	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1828	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.10×0.20	楕円形	0.02	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1829	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.21×0.33	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＡ3068を構成
ＳＫＰ1830	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.19×0.21	円形	—	—	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1831	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.17	不整円形	0.06	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少塊状	ＳＡ3069を構成
ＳＫＰ1832	55	ＭＯ44	Ⅲ	0.19×0.20	不整円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3069を構成
ＳＫＰ1833	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.21×0.29	不整方形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3054を構成
ＳＫＰ1834	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.18×0.20	楕円形	0.12	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	
ＳＫＰ1835	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.22×0.24	不整円形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1836	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.25×0.30	楕円形	0.21	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＫＰ1837を切る。ＳＡ3055を構成
ＳＫＰ1837	56	ＭＫ44	Ⅲ	0.28×0.36	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	ＳＫＰ1836に切られる。ＳＡ3055を構成
ＳＫＰ1839	64	ＭＧ47	Ⅲ	0.28×0.30	楕円形	0.08	17.1	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1840	64	ＭＧ46	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.31	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山多	
ＳＫＰ1842	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.16×0.17	円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,炭少	
ＳＫＰ1843	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.19×0.20	円形	0.14	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	
ＳＫＰ1844	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.19	円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1845	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.28×0.30	円形	0.18	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭中	ＳＡ3048を構成
ＳＫＰ1847	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.25	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1848	63	ＭＩ45	Ⅲ	0.13×0.20	不整楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1849	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.15×0.29	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	ＳＡ3047を構成
ＳＫＰ1850	63	ＭＨ45	Ⅲ	0.15×0.23	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ1851	63	ＭＩ44	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.16	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1852	56	ＭＫ45	Ⅲ	0.41×0.44	不整方形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ3/1,炭中	
ＳＫＰ1853	60	ＭＦ52	Ⅱ	0.19	円形	0.06	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	
ＳＫＰ1854	60	ＭＦ52	Ⅱ	0.17×0.22	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	二次加工ある剥片１
ＳＫＰ1855	60	ＭＦ52	Ⅱ	0.25×0.28	方形	0.26	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ1856	60	ＭＦ52	Ⅱ	0.21×0.26	楕円形	0.05	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1857	60	ＭＦ52	Ⅱ	0.20	円形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1858	60	ＭＦ52	Ⅱ	0.20×0.23	楕円形	0.05	17.0	詳細不明	第１次調査完掘済
ＳＫＰ1859	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.26×0.33	不整方形	0.25	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭極少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ1860	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.21×0.30	楕円形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1861	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.14×0.18	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1862	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.21×0.33	楕円形	0.18	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1863	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.29×0.35	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少 赤褐色土極少	
ＳＫＰ1864	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.20×0.22	円形	0.20	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状,炭極少	
ＳＫＰ1865	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.21×0.24	楕円形	0.29	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1866	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.22×0.26	楕円形	0.13	17.0	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少塊状	
ＳＫＰ1867	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.17×0.20	楕円形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1868	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.33×0.45	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＫＰ1869と重複
ＳＫＰ1869	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.21×0.51	楕円形	0.61	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＫＰ1868と重複。ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ1870	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.31	円形	0.19	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状,炭極少	
ＳＫＰ1871	62	ＭＦ51	Ⅱ	0.24×0.28	楕円形	0.09	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	
ＳＫＰ1872	62	ＭＦ50・51	Ⅱ	0.40	円形	0.42	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少塊状	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ1873	62	ＭＧ50	Ⅱ	0.26×0.33	楕円形	0.37	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,赤褐色土少）	
ＳＫＰ1874	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.15×0.21	楕円形	0.10	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1875	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.24×0.26	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	
ＳＫＰ1876	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.23×0.24	円形	0.09	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ1877	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.24×0.28	楕円形	0.16	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ1879	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.24×0.26	方形	0.09	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1880	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.12×0.17	楕円形	0.12	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	
ＳＫＰ1881	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.15×0.19	楕円形	0.08	17.1	暗褐色10ＹＲ3/3	
ＳＫＰ1882	62	ＭＦ49	Ⅱ	0.18×0.19	方形	0.10	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1883	62	ＭＦ50	Ⅱ	0.28×0.35	楕円形	0.09	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ1884	62	ＭＦ49	Ⅱ	0.18×0.22	楕円形	0.15	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少塊状	
ＳＫＰ1885	62	ＭＦ49	Ⅱ	0.20×0.23	楕円形	0.08	17.1	暗褐色10ＹＲ3/3,地山極少塊状,炭極少	

第36表　柱穴観察表（16）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1886	62	ＭＦ48	Ⅱ	0.17×0.20	方形	0.22	17.0	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1888	62	ＭＦ48	Ⅱ	0.18×0.21	方形	0.08	17.1	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1889	62	ＭＦ48	Ⅱ	0.21×0.22	方形	0.15	17.0	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中塊状,炭極少 赤褐色土極少	
ＳＫＰ1890	64	ＭＦ47	Ⅱ	0.20×0.24	楕円形	0.09	17.1	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1891	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.11	16.2	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山極少	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1892	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.22×0.24	楕円形	0.27	16.1	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山極少	
ＳＫＰ1893	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.16	16.2	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山中	ＳＡ3085を構成
ＳＫＰ1894	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.22×0.24	楕円形	0.17	16.2	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山少	
ＳＫＰ1895	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.14	16.2	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山少	ＳＡ3088を構成
ＳＫＰ1896	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.24×0.30	楕円形	0.14	16.2	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山中	ＳＡ3087を構成
ＳＫＰ1897	42	ＮＥ46	Ⅲ	0.41×0.43	円形	0.25	16.1	黒褐色7.5Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＡ3086を構成
ＳＫＰ1898	42	ＮＥ46	Ⅲ	0.16×0.24	楕円形	0.03	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	
ＳＫＰ1899	42	ＮＥ47	Ⅲ	0.26×0.38	楕円形	0.16	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	
ＳＫＰ1900	42	ＮＥ47	Ⅲ	0.18×0.28	方形	0.10	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	
ＳＫＰ1901	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.22×0.23	不整円形	0.07	16.2	褐色10Ｙ Ｒ4/4,黒褐色土少	
ＳＫＰ1902	42	ＮＤ47	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.09	16.2	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中粒状	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1903	42	ＮＥ46	Ⅲ	0.27×0.29	不整円形	0.20	16.1	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	ＳＡ3089を構成
ＳＫＰ1904	47	ＮＡ47	Ⅲ	0.22×0.27	楕円形	0.18	16.2	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山中	
ＳＫＰ1905	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.16	円形	0.09	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少	
ＳＫＰ1906	47	ＮＡ47	Ⅲ	0.28×0.32	楕円形	0.09	16.3	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山多	
ＳＫＰ1909	42	ＮＥ47	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.06	16.3	黒色10Ｙ Ｒ2/1,地山少	ＳＡ3089を構成
ＳＫＰ1910	47	ＮＢ46	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.08	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3023を構成
ＳＫＰ1911	42	ＮＣ47	Ⅲ	0.13×0.17	楕円形	—	—	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3022を構成
ＳＫＰ1912	47	ＮＢ47	Ⅲ	0.15	円形	0.04	16.3	詳細不明	
ＳＫＰ1913	42	ＮＤ46	Ⅲ	0.20×0.21	不整円形	0.06	16.3	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＡ3085を構成
ＳＫＰ1914	48	ＭＱ47	Ⅲ	0.12×0.18	楕円形	0.06	16.7	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	ＳＡ3070を構成
ＳＫＰ1915	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.17×0.22	楕円形	0.04	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	ＳＢ3025を構成。確認面に礫１
ＳＫＰ1916	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.24	円形	0.05	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1917	56	ＭＬ46	Ⅲ	0.15×0.20	楕円形	0.16	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1918	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.33×0.36	楕円形	0.39	16.5	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,炭極少	ＳＡ3067を構成
ＳＫＰ1919	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.20×0.27	楕円形	0.14	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,赤褐色土少	
ＳＫＰ1920	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.16×0.20	楕円形	0.10	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	
ＳＫＰ1921	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.29×0.40	楕円形	0.07	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多	ＳＡ3080を構成
ＳＫＰ1922	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.06	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1923	55	ＭＰ46	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.11	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中	
ＳＫＰ1924	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.15×0.17	楕円形	0.06	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3025を構成
ＳＫＰ1925	55	ＭＯ45	Ⅲ	0.12×0.14	楕円形	0.07	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少塊状	
ＳＫＰ1926	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.17×0.23	楕円形	0.05	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3	ＳＫＰ1927に切られる
ＳＫＰ1927	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	ＳＫＰ1926を切る
ＳＫＰ1928	63	ＭＪ46	Ⅲ	0.22×0.29	方形	0.15	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少塊状,炭極少	ＳＡ3056を構成
ＳＫＰ1929	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,炭少	
ＳＫＰ1930	56	ＭＭ44	Ⅲ	0.15×0.19	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1931	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1932	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.07	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1933	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.23	円形	0.07	17.0	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1934	56	ＭＫ46	Ⅲ	0.16×0.22	楕円形	0.06	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1935	56	ＭＬ46	Ⅲ	0.23×0.33	楕円形	0.04	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1936	56	ＭＭ46	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.10	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ1938	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.19×0.21	円形	0.12	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1939A	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.21	円形	0.25	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1939B	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.21×0.30	楕円形	0.07	16.8	詳細不明	
ＳＫＰ1940	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.16	円形	0.12	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1941	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1942	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.14×0.20	楕円形	0.06	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山極少塊状	
ＳＫＰ1943	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.23	円形	0.07	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1944	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.19×0.22	楕円形	0.12	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1945	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.16	円形	0.06	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山極少塊状	
ＳＫＰ1946	56	ＭＬ45	Ⅲ	0.22×0.23	円形	0.09	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ1947	56	ＭＭ44	Ⅲ	0.20×0.29	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1948	56	ＭＬ44	Ⅲ	0.18×0.20	円形	0.12	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1949	56	ＭＬ44	Ⅲ	0.18×0.22	楕円形	0.10	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1950	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.28×0.29	不整方形	0.16	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	ＳＡ3064・3067を構成
ＳＫＰ1951	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.11×0.14	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	
ＳＫＰ1952	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.11×0.14	楕円形	0.17	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ1953	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.13×0.19	楕円形	0.07	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少	
ＳＫＰ1954	56	ＭＭ45	Ⅲ	0.12×0.24	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2	
ＳＫＰ1955	56	ＭＭ44	Ⅲ	0.20×0.30	不整楕円形	0.05	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1956	55	ＭＮ45	Ⅲ	0.28×0.49	不整楕円形	0.10	16.8	暗褐色10Ｙ Ｒ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ1958	66	ＬＳ61	Ⅲ	0.40×0.43	円形	0.11	16.9	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1960	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.26×0.28	円形	0.09	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多 柱痕確認（黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山中）	
ＳＫＰ1961	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.35×0.43	楕円形	0.34	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭極少,焼土極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1963	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.25×0.27	円形	0.17	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1964	66	ＭＡ63	Ⅲ	0.42×0.48	円形	0.21	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3006を構成。確認面中央剥片１
ＳＫＰ1965	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.71×0.78	不整円形	0.24	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1966	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.25×0.27	円形	0.10	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1967A	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.24×0.28	楕円形	0.08	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ2/2,地山多,炭極少	ＳＫＰ1967Bを切る
ＳＫＰ1967B	66	ＬＴ62	Ⅲ	0.43×0.44	円形	0.15	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭極少	ＳＫＰ1967Aに切られる。ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1968	66	ＬＴ61	Ⅲ	0.48×0.52	不整円形	0.28	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭極少	ＳＢ3006を構成。方形の掘形
ＳＫＰ1969	66	ＬＴ61	Ⅲ	0.36×0.41	楕円形	0.18	16.7	詳細不明	
ＳＫＰ1970	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.41×0.47	楕円形	0.23	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1971	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.32×0.34	不整円形	0.14	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山多	
ＳＫＰ1972	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.23×0.36	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭少	
ＳＫＰ1973	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.22×0.24	不整円形	0.13	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1974	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.19×0.36	楕円形	0.20	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1975	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.28	円形	0.23	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少	
ＳＫＰ1976	66	ＭＡ62	Ⅲ	0.37×0.43	楕円形	0.33	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成。縄文土器１
ＳＫＰ1977	65	ＭＢ62	Ⅲ	0.43×0.46	円形	0.30	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1978	65	ＭＢ62	Ⅲ	0.41×0.48	楕円形	0.27	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1979	65	ＭＢ62	Ⅲ	0.38×0.43	楕円形	0.16	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1980	65	ＭＢ62	Ⅲ	0.34×0.41	楕円形	0.32	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1981	65,106	ＭＣ62	Ⅲ	0.35×0.42	楕円形	0.29	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1982	65	ＭＣ62	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.14	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ1983	65	ＭＣ62	Ⅲ	0.41×0.46	円形	0.22	16.6	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成。縄文土器１
ＳＫＰ1984	65	ＭＣ60	Ⅲ	0.36×0.45	楕円形	0.07	16.7	黒褐色10Ｙ Ｒ3/2,地山中,炭極少	ＳＢ3006を構成

第37表　柱穴観察表（17）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆　　土	備　　考
ＳＫＰ1985	68	ＬＴ59	Ⅲ	0.21	円形	0.09	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1986	68	ＭＡ59	Ⅲ	0.23×0.33	楕円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1987	68	ＭＡ59	Ⅲ	0.25×0.28	楕円形	0.14	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1988	67	ＭＢ58	Ⅲ	0.19×0.33	不整楕円形	0.20	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭極少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ1989	58	ＭＥ58	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.18	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭少	
ＳＫＰ1990	58	ＭＥ58	Ⅲ	0.20×0.25	楕円形	0.21	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ1991	58	ＭＦ57	Ⅲ	0.24×0.29	楕円形	0.13	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多,炭極少	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ1992	58	ＭＦ59	Ⅲ	0.16×0.18	楕円形	0.08	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭極少	
ＳＫＰ1993	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.14	16.9	詳細不明	
ＳＫＰ1996	71	ＬＱ56	Ⅲ	0.44×0.52	楕円形	0.46	17.0	詳細不明	ＳＢ3004を構成。縄文土器１
ＳＫＰ2001	50	ＭＬ57	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.02	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	
ＳＫＰ2002	50	ＭＬ57	Ⅲ	0.21×0.30	楕円形	0.20	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少,暗褐色土中	
ＳＫＰ2003	50	ＭＬ58	Ⅲ	0.33×0.45	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ2004を切る
ＳＫＰ2004	50	ＭＬ58	Ⅲ	0.30×0.38	楕円形	0.06	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多塊状,炭極少	ＳＫＰ2003に切られる
ＳＫＰ2005	50	ＭＭ57	Ⅲ	0.20×0.21	円形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭極少	
ＳＫＰ2006	50	ＭＭ57	Ⅲ	0.22×0.31	楕円形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＫＰ2007を切る
ＳＫＰ2007	50	ＭＭ57	Ⅲ	0.18×0.28	楕円形	0.04	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＫＰ2006に切られる
ＳＫＰ2008	50	ＭＭ58	Ⅲ	0.23×0.30	楕円形	0.21	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ2009	50	ＭＭ57	Ⅲ	0.22×0.24	円形	0.13	16.6	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中,炭少	
ＳＫＰ2010	50	ＭＭ57	Ⅲ	0.24×0.26	円形	0.06	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少,焼土極少	
ＳＫＰ2011	50	ＭＭ57	Ⅲ	0.33×0.37	楕円形	0.20	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＡ3059を構成
ＳＫＰ2013	49	ＭＮ57	Ⅲ	0.18×0.24	楕円形	0.14	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ2014	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.26×0.35	不整楕円形	0.25	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＡ3059を構成
ＳＫＰ2015	50	ＭＭ56	Ⅲ	0.18×0.27	不整楕円形	0.12	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少	
ＳＫＰ2016	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.23	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2017	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.28×0.36	楕円形	0.24	16.5	褐色10ＹＲ4/4 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭少）	
ＳＫＰ2018	49	ＭＮ57	Ⅲ	0.32×0.33	不整円形	0.15	16.6	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少塊状,黒褐色土中	
ＳＫＰ2019	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.17×0.25	楕円形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＫＰ2020に切られる
ＳＫＰ2020	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.17	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＫＰ2019を切る
ＳＫＰ2021	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.22	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2022	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.22×0.30	楕円形	0.21	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2023	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.16×0.21	楕円形	0.17	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多塊状,炭少	
ＳＫＰ2024	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.17×0.22	楕円形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2025	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2026	49	ＭＮ56	Ⅲ	0.31×0.36	楕円形	0.23	16.6	暗褐色10ＹＲ3/4,黒褐色土少	ＳＡ3059を構成
ＳＫＰ2027	51	ＭＮ53	Ⅲ	0.32×0.80	楕円形	0.12	16.8	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	
ＳＫＰ2028	52	ＭＬ55	Ⅲ	0.33×0.35	方形	0.19	16.7	暗褐色10ＹＲ3/3,黒褐色土少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ2029	50	ＭＬ56	Ⅲ	0.32×0.47	方形	0.29	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ2031	61	ＭＪ49	Ⅲ	0.31×0.52	楕円形	0.20	17.0	詳細不明	ＳＤ978を切る
ＳＫＰ2032	66	ＬＳ61	Ⅲ	0.33×0.36	楕円形	0.14	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ2033	70	ＬＲ61	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.26	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ2034	66	ＬＴ60	Ⅲ	0.36×0.42	円形	0.16	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少,褐色土多	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ2035	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.24	円形	0.36	16.7	詳細不明	ＳＤ978と重複
ＳＫＰ2036	52	ＭＬ54	Ⅲ	0.27×0.28	方形	0.18	16.8	暗褐色10ＹＲ3/4,地山多	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ2037	52	ＭＬ54	Ⅲ	0.32×0.35	方形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＢ3008を構成。確認面に石器
ＳＫＰ2038	65	ＭＢ61	Ⅲ	0.41×0.46	円形	0.19	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少,10ＹＲ3/2土中	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ2039	65	ＭＣ61	Ⅲ	0.41×0.44	円形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状	ＳＢ3006を構成。縄文土器20
ＳＫＰ2040A	65	ＭＣ61	Ⅲ	0.38	円形	0.20	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭少	ＳＫＰ2040Bと重複。ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ2040B	65	ＭＣ61	Ⅲ	0.19×0.20	円形	—	—	詳細不明	ＳＫＰ2040Aと重複
ＳＫＰ2041	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.18	円形	0.07	16.8	褐色10ＹＲ4/6,炭少	
ＳＫＰ2042	58	ＭＧ56	Ⅲ	0.26×0.30	楕円形	0.08	16.8	褐色10ＹＲ4/6	ＳＢ3007を構成
ＳＫＰ2043	66	ＬＳ62	Ⅲ	0.40×0.44	円形	0.33	16.6	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＢ3006を構成
ＳＫＰ2044	58	ＭＦ56	Ⅲ	0.25×0.37	楕円形	0.14	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3007を構成。礫１
ＳＫＰ2045	51	ＭＮ54	Ⅲ	0.28×0.33	楕円形	0.10	16.8	詳細不明	ＳＢ3009を構成
ＳＫＰ2046	46	ＭＱ48	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.06	16.6	詳細不明	
ＳＫＰ2047	46	ＭＲ50	Ⅲ	0.23×0.26	方形	0.30	16.4	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2048	46	ＭＲ49	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.10	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状	ＳＡ3077・3079を構成
ＳＫＰ2049	46	ＭＲ49	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.10	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状	
ＳＫＰ2050	44	ＭＱ52	Ⅲ	0.33	不整方形	0.15	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2051	44	ＭＱ52	Ⅲ	0.26×0.32	不整方形	0.12	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2052	46	ＭＱ51	Ⅲ	0.27×0.30	方形	0.28	16.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＫ742・ＳＫＰ756に切られる
ＳＫＰ2053	46	ＭＱ50	Ⅲ	0.28×0.33	楕円形	0.15	16.6	暗褐色10ＹＲ4/3　柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少）	ＳＢ3019を構成。柱痕φ15cm
ＳＫＰ2054	46	ＭＱ49	Ⅲ	0.28×0.30	方形	0.18	16.5	褐色10ＹＲ4/4 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/3,炭少）	
ＳＫＰ2055	46	ＭＱ49	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.10	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状,炭極少	ＳＡ3077を構成
ＳＫＰ2056	46	ＭＱ49	Ⅲ	0.17×0.19	方形	0.16	16.5	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状	
ＳＫＰ2057	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.29	方形	0.16	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状	
ＳＫＰ2058	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.14	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＡ3073を構成
ＳＫＰ2059	51	ＭＰ52	Ⅲ	0.26×0.30	方形	0.24	16.5	褐色10ＹＲ4/4,黒褐色土少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,炭少）	
ＳＫＰ2060	53	ＭＰ51	Ⅲ	0.27×0.31	方形	0.23	16.6	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,炭少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状）	ＳＫ1425に切られる。柱痕φ12cm
ＳＫＰ2061	53	ＭＰ51	Ⅲ	0.26×0.31	方形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＢ3019・3020を構成
ＳＫＰ2062	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.30	方形	0.15	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＢ3019を構成
ＳＫＰ2063	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.22×0.23	円形	0.18	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭少	ＳＢ3019を構成
ＳＫＰ2064	53	ＭＯ50	Ⅲ	0.23	方形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2065	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.17×0.20	楕円形	0.18	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ2066	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.22×0.25	方形	0.11	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2067	53	ＭＰ49	Ⅲ	0.23×0.27	楕円形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3	
ＳＫＰ2068	51	ＭＯ52	Ⅲ	0.24×0.26	方形	0.08	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,焼土極少	ＳＢ3020を構成
ＳＫＰ2069	51	ＭＯ52	Ⅲ	0.20×0.27	方形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＡ3072を構成
ＳＫＰ2070	51	ＭＯ52	Ⅲ	0.16×0.22	楕円形	0.12	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状	ＳＢ3020を構成
ＳＫＰ2071	53	ＭＯ51	Ⅲ	0.27	円形	0.15	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,焼土極少	ＳＡ3072を構成
ＳＫＰ2072	53	ＭＯ51	Ⅲ	0.26	方形	0.25	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＢ3019を構成
ＳＫＰ2073	53	ＭＯ51	Ⅲ	0.27	方形	0.17	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状	ＳＤ997に切られる
ＳＫＰ2074	53	ＭＯ51	Ⅲ	0.25	不整円形	0.22	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭少	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ2075	53	ＭＯ51	Ⅲ	0.25×0.27	不整円形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2076	53	ＭＯ50	Ⅲ	0.24×0.31	楕円形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状	ＳＢ3018・3019を構成
ＳＫＰ2077	53	ＭＯ51	Ⅲ	0.22×0.24	方形	0.10	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ2078	53	ＭＯ50	Ⅲ	0.22×0.31	楕円形	0.15	16.7	褐色10ＹＲ4/4,炭少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状）	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ2079	53	ＭＯ50	Ⅲ	0.24×0.26	不整楕円形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状	
ＳＫＰ2080	53	ＭＰ50	Ⅲ	0.21×0.51	不整楕円形			黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2081	53	ＭＯ50	Ⅲ	0.31×0.32	方形	0.15	16.7	暗褐色10ＹＲ3/4,地山少塊状	

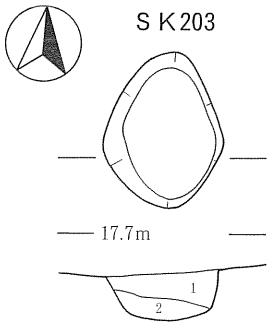
第38表　柱穴観察表（18）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ2082	53	ＭＯ49	Ⅲ	0.26×0.30	方形	0.19	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状	ＳＢ3017を構成
ＳＫＰ2083	53	ＭＮ51	Ⅲ	0.20×0.21	方形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状	ＳＤ997に切られる
ＳＫＰ2084	53	ＭＮ51	Ⅲ	0.25	円形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	ＳＤ997に切られる
ＳＫＰ2085	53	ＭＮ51	Ⅲ	0.21×0.24	方形	0.15	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状	ＳＡ3060を構成
ＳＫＰ2086	53	ＭＮ51	Ⅲ	0.38×0.52	楕円形	0.14	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ2087	53	ＭＮ51	Ⅲ	0.28×0.40	不整楕円形	0.15	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2088	53	ＭＮ50	Ⅲ	0.38×0.39	方形	0.24	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＡ3061を構成
ＳＫＰ2089	53	ＭＮ49	Ⅲ	0.44×0.48	方形	0.15	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ2090	53	ＭＮ49	Ⅲ	0.23×0.28	方形	0.18	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ2091	53	ＭＮ49	Ⅲ	0.25×0.26	方形	0.08	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少	
ＳＫＰ2092	53	ＭＮ49	Ⅲ	0.26×0.30	方形	0.13	16.7	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭少	
ＳＫＰ2093	54	ＭＭ51	Ⅲ	0.28×0.30	方形	0.07	16.8	暗褐色10ＹＲ3/4,地山極少塊状	
ＳＫＰ2094	54	ＭＭ51	Ⅲ	0.20×0.22	楕円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭少	ＳＡ3060を構成
ＳＫＰ2095	54	ＭＭ50	Ⅲ	0.42×0.46	方形	0.12	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,10ＹＲ2/3土多	
ＳＫＰ2096	54	ＭＭ50	Ⅲ	0.20×0.21	円形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3018を構成
ＳＫＰ2097	54	ＭＭ50	Ⅲ	0.26×0.28	方形	0.05	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3061を構成
ＳＫＰ2098	54	ＭＭ51	Ⅲ	0.20×0.26	方形	0.12	16.7	暗褐色10ＹＲ3/4,地山中 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/3）	ＳＡ3060を構成
ＳＫＰ2099	54	ＭＭ50	Ⅲ	0.38×0.45	不整方形	0.16	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,赤褐色土少	ＳＡ3061を構成
ＳＫＰ2100	54	ＭＭ49	Ⅲ	0.33×0.40	不整楕円形	0.14	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,10ＹＲ3/2土中	
ＳＫＰ2101	52	ＭＬ52	Ⅲ	0.44×0.51	方形	0.11	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2103	54	ＭＫ51	Ⅲ	0.24×0.30	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,暗褐色土少	
ＳＫＰ2104	54	ＭＫ49	Ⅲ	0.24×0.27	楕円形	0.11	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2105	54	ＭＬ49	Ⅲ	0.28×0.44	楕円形	0.17	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2106	54	ＭＬ49	Ⅲ	0.24×0.30	楕円形	0.19	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状	
ＳＫＰ2107	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.26×0.27	方形	0.47	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2108	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.19×0.28	楕円形	0.16	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状,赤褐色土極少	ＳＫＰ2109を切る
ＳＫＰ2109	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.24×0.33	楕円形	0.19	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＫＰ2108に切られる
ＳＫＰ2110	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.35×0.37	方形	0.46	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2111	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.22×0.33	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2）	柱痕（方形）
ＳＫＰ2112	61	ＭＪ51	Ⅱ	0.23×0.26	円形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状	ＳＫＰ2144を切る
ＳＫＰ2113	61	ＭＪ51	Ⅱ	0.32×0.53	楕円形	0.16	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2114	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.34×0.38	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ2144を切る
ＳＫＰ2115	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.31×0.34	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少塊状	
ＳＫＰ2116	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.25×0.38	楕円形	0.07	17.0	黒褐色10ＹＲ2/3,地山中	
ＳＫＰ2117	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.30×0.33	円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多 柱痕確認（詳細不明）	
ＳＫＰ2118	61	ＭＪ50	Ⅲ	0.32×0.43	楕円形	0.57	16.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多 柱痕確認（詳細不明）	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2120	61	ＭＪ50	Ⅲ	0.38×0.42	楕円形	0.14	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ2121	61	ＭＪ50	Ⅲ	0.31×0.41	楕円形	0.24	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中,炭極少	
ＳＫＰ2122	61	ＭＪ50	Ⅲ	0.38×0.46	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少,暗褐色土多	
ＳＫＰ2123	61	ＭＪ50	Ⅲ	0.24×0.28	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2124	61	ＭＪ49	Ⅲ	0.22×0.25	楕円形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3014を構成
ＳＫＰ2125	61	ＭＩ51	Ⅲ	0.20	方形	0.12	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2126	61	ＭＩ50	Ⅲ	0.33×0.36	不整方形	0.47	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少 柱痕確認（詳細不明）	ＳＢ3013を構成。柱痕（方形）
ＳＫＰ2127	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.30	円形	0.12	17.0	暗褐色10ＹＲ3/4,地山中,黒褐色土少	
ＳＫＰ2128	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.31×0.38	楕円形	0.13	17.0	暗褐色10ＹＲ3/4,地山極少,炭極少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ2129	61,119	ＭＩ49	Ⅲ	0.50×0.57	楕円形	0.16	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/3,地山極少塊状）	ＳＡ3044を構成 柱痕（一辺20cm方形）
ＳＫＰ2130	61	ＭＪ48	Ⅲ	0.25×0.28	楕円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3014を構成。縄文土器１
ＳＫＰ2131	61	ＭＪ48	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.21	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2132	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.38	円形	0.27	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ2/2,地山少,炭極少）	ＳＫＰ2133を切る。ＳＢ3016を構成 柱痕（方形）
ＳＫＰ2133	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.38×0.82	不整楕円形	0.27	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	ＳＫＰ2132に切られる
ＳＫＰ2134	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.38×0.48	楕円形	0.18	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少）	ＳＢ3014を構成。柱痕（φ25cm）
ＳＫＰ2135	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.33×0.40	楕円形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	
ＳＫＰ2136	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.36×0.46	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2137	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.18×0.26	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2138	61	ＭＨ49	Ⅲ	0.20×0.23	方形	0.13	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ2139	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.21×0.25	楕円形	0.23	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2140	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.28	方形	0.24	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	
ＳＫＰ2141	54	ＭＫ49	Ⅲ	0.39×0.45	楕円形	0.27	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2 柱痕確認（褐色10ＹＲ4/4）	
ＳＫＰ2142	54	ＭＫ49	Ⅲ	0.33×0.41	楕円形	0.19	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,焼土極少	ＳＢ3014を構成
ＳＫＰ2143	54	ＭＫ49	Ⅲ	0.24×0.30	楕円形	0.26	16.8	黒褐色10ＹＲ2/3,暗褐色土少	
ＳＫＰ2144	61	ＭＪ51	Ⅲ	0.33×0.38	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＫＰ2112・2114に切られる
ＳＫＰ2145	61	ＭＩ51	Ⅲ	0.39×0.42	円形	0.19	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2146	61	ＭＩ51	Ⅲ	0.26×0.35	楕円形	0.16	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＫＰ957に切られる
ＳＫＰ2147	61	ＭＩ50	Ⅲ	0.25×0.26	方形	0.18	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,黒褐色土少	
ＳＫＰ2148	61	ＭＩ50	Ⅲ	0.24×0.27	円形	0.10	16.6	黒褐色10ＹＲ2/3,地山少	
ＳＫＰ2149	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.33×0.42	楕円形	0.14	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3012を構成
ＳＫＰ2150	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山極少塊状	
ＳＫＰ2151	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.28×0.39	楕円形	0.14	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2152	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.23×0.29	楕円形	0.10	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2153	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.33×0.38	方形	0.32	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多,炭極少	
ＳＫＰ2154	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.26	不整円形	0.20	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状,炭極少	ＳＢ3012を構成
ＳＫＰ2155	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.17×0.20	不整方形	0.12	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状,炭極少	
ＳＫＰ2156	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.25	方形	0.09	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＢ3011・ＳＡ3078を構成
ＳＫＰ2157	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.21×0.24	円形	0.12	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2159	61	ＭＪ48	Ⅲ	0.26×0.28	円形	0.13	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状,炭極少	ＳＢ3016を構成
ＳＫＰ2160	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.29×0.32	方形	0.35	16.6	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中塊状	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2161	61	ＭＩ51	Ⅲ	0.33×0.39	楕円形	0.14	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少塊状	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2162	61	ＭＩ50	Ⅲ	0.36×0.48	楕円形	0.23	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2163	54	ＭＫ51	Ⅲ	0.27×0.33	楕円形	0.15	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	ＳＫＰ2165に切られる
ＳＫＰ2164	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.28×0.30	方形	0.28	16.7	褐色10ＹＲ4/4 柱痕確認（黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状）	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2165	54	ＭＫ51	Ⅲ	0.20×0.26	方形	0.17	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,炭極少,焼土極少	ＳＫＰ2163を切る
ＳＫＰ2166	61	ＭＪ50	Ⅲ	0.21×0.23	楕円形	0.18	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2167	59	ＭＩ52	Ⅲ	0.32	不整円形	0.09	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＡ3042を構成。確認面に磨石
ＳＫＰ2168	61	ＭＪ49	Ⅲ	0.22	円形	0.18	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2	ＳＤ978に切られる。ＳＢ3014を構成
ＳＫＰ2170	71	ＬＲ57	Ⅲ	0.40	円形	0.28	17.1	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭極少	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ2171	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.26	方形	0.17	17.3	詳細不明	

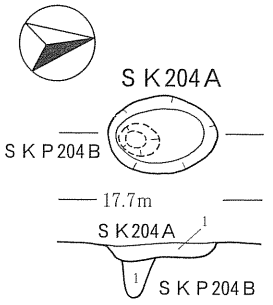
第39表　柱穴観察表（19）

遺構番号	挿図番号	所在区	検出面	径または辺長(m)	平面形状	深さ(m)	底面標高(m)	覆土	備考
ＳＫＰ2172	75	ＬＯ53	Ⅲ	0.28×0.36	楕円形	0.26	17.3	詳細不明	ＳＢ3001を構成
ＳＫＰ2173	71	ＬＱ58	Ⅲ	0.33	円形	0.31	17.1	詳細不明	ＳＢ3004を構成
ＳＫＰ2174	71	ＬＱ58	Ⅲ	0.26×0.31	楕円形	0.23	17.2	詳細不明	ＳＡ3036を構成
ＳＫＰ2175	52	ＭＬ55	Ⅲ	0.30×0.34	不整方形	0.27	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＢ3008を構成。角柱
ＳＫＰ2176	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.25×0.27	方形	0.33	16.7	黒褐色10ＹＲ2/2,地山少	角柱
ＳＫＰ2177	62	ＭＧ51	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.15	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山多	ＳＫＰ888に切られる
ＳＫＰ2178	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.28×0.30	方形	0.32	16.8	黒褐色10ＹＲ2/2,地山中	角柱
ＳＫＰ2179	60	ＭＧ52	Ⅲ	0.21×0.28	方形	0.15	16.9	にぶい黄褐色10ＹＲ4/3,地山多 汚れた基盤土入る	角柱
ＳＫＰ2180	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.24	方形	0.20	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3012を構成
ＳＫＰ2181	61	ＭＪ48	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.08	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ2182	53	ＭＮ49	Ⅲ	0.26	不整円形	0.19	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3017を構成。角柱
ＳＫＰ2183	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.25×0.36	楕円形	—	—	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少塊状	
ＳＫＰ2184	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.26×0.28	方形	0.14	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少,炭少	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ2185	61	ＭＩ49	Ⅲ	0.21×0.26	楕円形	0.12	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2186	61	ＭＩ50	Ⅲ	0.33×0.35	楕円形	0.11	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＢ3013・3014を構成
ＳＫＰ2187	61	ＭＩ50	Ⅲ	0.45×0.50	楕円形	0.16	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少,炭少	ＳＢ3013・3014を構成
ＳＫＰ2188	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.22	円形	0.07	17.1	褐色10ＹＲ4/6,地山多,炭少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ2189	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.33×0.44	楕円形	0.12	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ2190	61	ＭＩ51	Ⅲ	0.32×0.40	楕円形	0.19	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山多	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2191	59	ＭＨ52	Ⅲ	0.30×0.41	楕円形	0.13	16.9	褐色10ＹＲ4/6,地山多	
ＳＫＰ2192	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.23×0.28	楕円形	0.06	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山中	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ2193	61	ＭＨ49	Ⅲ	0.24×0.33	楕円形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ2194	61	ＭＨ49	Ⅲ	0.28×0.36	楕円形	0.17	17.0	暗褐色10ＹＲ3/4	ＳＢ3015を構成
ＳＫＰ2195	61	ＭＪ49	Ⅲ	0.21×0.28	楕円形	0.16	16.9	褐色10ＹＲ4/6	ＳＢ3013を構成
ＳＫＰ2196	61	ＭＩ48	Ⅲ	0.22×0.26	方形	0.10	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	
ＳＫＰ2197	57	ＭＨ56	Ⅲ	0.26	円形	0.12	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3007・ＳＡ3040を構成
ＳＫＰ2198	59	ＭＨ55	Ⅲ	0.22	円形	0.10	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3007・ＳＡ3040を構成
ＳＫＰ2199	60	ＭＧ55	Ⅲ	0.24×0.28	楕円形	0.15	16.9	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＢ3007・ＳＡ3039を構成
ＳＫＰ2200	60	ＭＧ55	Ⅲ	0.17×0.22	楕円形	0.10	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3040を構成
ＳＫＰ2201	60	ＭＧ55	Ⅲ	0.15×0.23	楕円形	0.23	16.7	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3039を構成
ＳＫＰ2202	60	ＭＦ55	Ⅲ	0.29×0.35	楕円形	0.14	16.8	褐色10ＹＲ4/6,地山少	ＳＢ3007・ＳＡ3039を構成
ＳＫＰ2203	60	ＭＦ55	Ⅲ	0.19×0.24	楕円形	0.07	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,炭少	ＳＢ3007・ＳＡ3039を構成
ＳＫＰ2204	61	ＭＨ50	Ⅲ	0.34×0.42	楕円形	0.11	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2	
ＳＫＰ2205	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.23×0.39	楕円形	0.12	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2206	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.22×0.25	方形	0.16	17.0	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	
ＳＫＰ2207	62	ＭＧ50	Ⅲ	0.25×0.26	方形	0.10	17.0	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	ＳＢ3011を構成
ＳＫＰ2208	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.24×0.26	円形	0.06	17.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ2209	75	ＬＯ55	Ⅲ	0.26×0.30	楕円形	0.05	17.5	暗褐色10ＹＲ3/3,炭少	
ＳＫＰ2210	72	ＬＯ56	Ⅲ	0.39	円形	0.09	17.4	暗褐色10ＹＲ3/3,地山少	ＳＢ3003を構成
ＳＫＰ2211	72	ＬＯ57	Ⅲ	0.36×0.45	楕円形	0.21	17.3	褐色10ＹＲ4/6,地山少	ＳＢ3002を構成。縄文土器２
ＳＫＰ2212	72	ＬＮ56	Ⅲ	0.25×0.39	楕円形	0.07	17.5	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	ＳＡ3031を構成
ＳＫＰ2213	72	ＬＮ57	Ⅲ	0.20×0.24	楕円形	0.09	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＡ3027を構成
ＳＫＰ2214	72	ＬＭ56	Ⅲ	0.26×0.42	楕円形	0.09	17.4	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3002を構成
ＳＫＰ2216	58	ＭＥ57	Ⅲ	0.20×0.23	楕円形	0.08	16.9	黒褐色10ＹＲ3/2,地山中	
ＳＫＰ2217	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.21	円形	0.32	17.1	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少,炭少	ＳＫＰ2215と重複
ＳＫＰ2218	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.15×0.20	楕円形	0.12	17.4	黒色10ＹＲ2/1,地山中	
ＳＫＰ2219	75	ＬＭ55	Ⅲ	0.21×0.24	楕円形	0.05	17.5	黒褐色10ＹＲ3/1,地山中	ＳＡ3027・3029を構成
ＳＫＰ2221	52	ＭＫ54	Ⅲ	0.31×0.33	不整方形	0.26	16.7	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ2222	52	ＭＭ54	Ⅲ	0.27×0.40	楕円形	0.07	16.8	黒褐色10ＹＲ3/2,地山少	ＳＢ3008を構成
ＳＫＰ2223	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.20	円形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少	
ＳＫＰ2224	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.18×0.25	楕円形	0.30	16.7	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少	ＳＡ3042を構成
ＳＫＰ2225	59	ＭＪ52	Ⅲ	0.18×0.32	楕円形	0.06	16.9	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少	ＳＡ3042を構成
ＳＫＰ2226	59	ＭＩ53	Ⅲ	0.28×0.30	円形	0.23	16.7	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少	ＳＡ3042を構成
ＳＫＰ2227	59	ＭＪ54	Ⅲ	0.27×0.30	方形	0.13	16.8	黒褐色10ＹＲ3/1,地山少	
ＳＫＰ2228	45	ＮＢ51	Ⅲ	0.22×0.26	楕円形	0.10	16.3	詳細不明	
ＳＫＰ2229	45	ＮＢ50	Ⅲ	0.28×0.32	楕円形	0.10	16.4	詳細不明	ＳＡ3082を構成
ＳＫＰ2230	45	ＮＢ49	Ⅲ	0.23×0.25	楕円形	0.16	16.0	詳細不明	

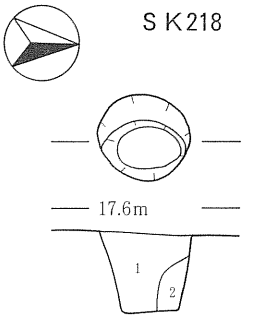
第40表　柱穴観察表（20）



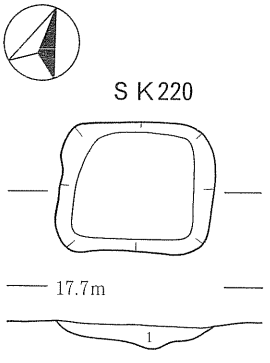
ＳＫ203
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜極少
　地山土塊極少　粘性中　しまり中～強
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊少
　粘性中　しまり強



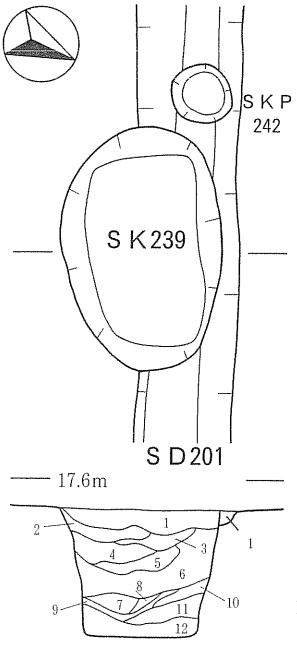
ＳＫ204Ａ
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径３～10㎜少
　地山土少　粘性中　しまり中～強
ＳＫＰ204Ｂ
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径３～５㎜少
　地山土塊少　粘性中　しまり弱～中



ＳＫ218
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）
　炭化物粒径0.5～２㎜極少
　地山土粒径１～５㎜少
2　褐色土（7.5ＹＲ4/6）
　暗褐色土（10ＹＲ3/3）少

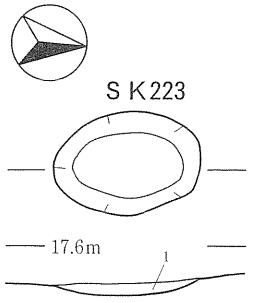


ＳＫ220
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒径２～５㎜極少
　地山土塊少　粘性弱～中　しまり弱～中

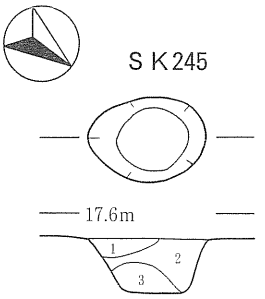


ＳＫ239
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊径５～30㎜少
　粘性弱　しまり弱
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径10～20㎜多
　粘性弱～中　しまり弱～中
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊径10㎜少
　粘性弱　しまり中
4　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊多
　粘性中　しまり中～強
5　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊５～10㎜少
　粘性中～強　しまり中
6　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径10㎜少
　地山土塊多　粘性中～強　しまり中
7　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径10㎜少
　粘性中　しまり弱～中
8　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土粒径１㎜極少
　粘性強　しまり中
9　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊中
　粘性中～強　しまり強
10　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径３㎜少
　粘性強　しまり強
11　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊極少
　粘性強　しまり強
12　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性強　しまり強

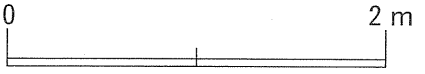
ＳＤ201
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土少
　粘性弱　しまり強



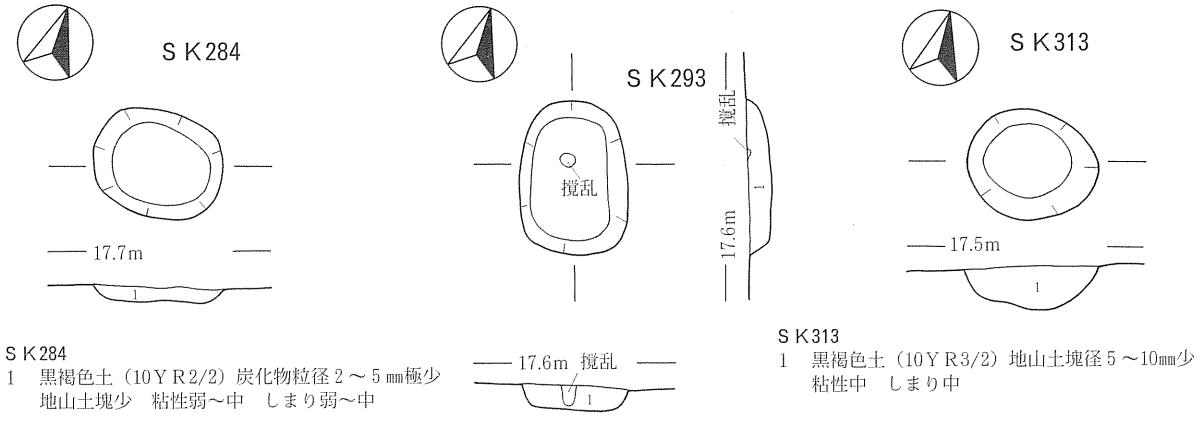
ＳＫ223
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径１～2㎜極少
　地山土粒径0.5～１㎜極少　粘性弱　しまり強



ＳＫ245
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊少
　粘性中　しまり中～強
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径３～５㎜極少
　地山土塊中　粘性中　しまり中
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊多
　粘性中　しまり中



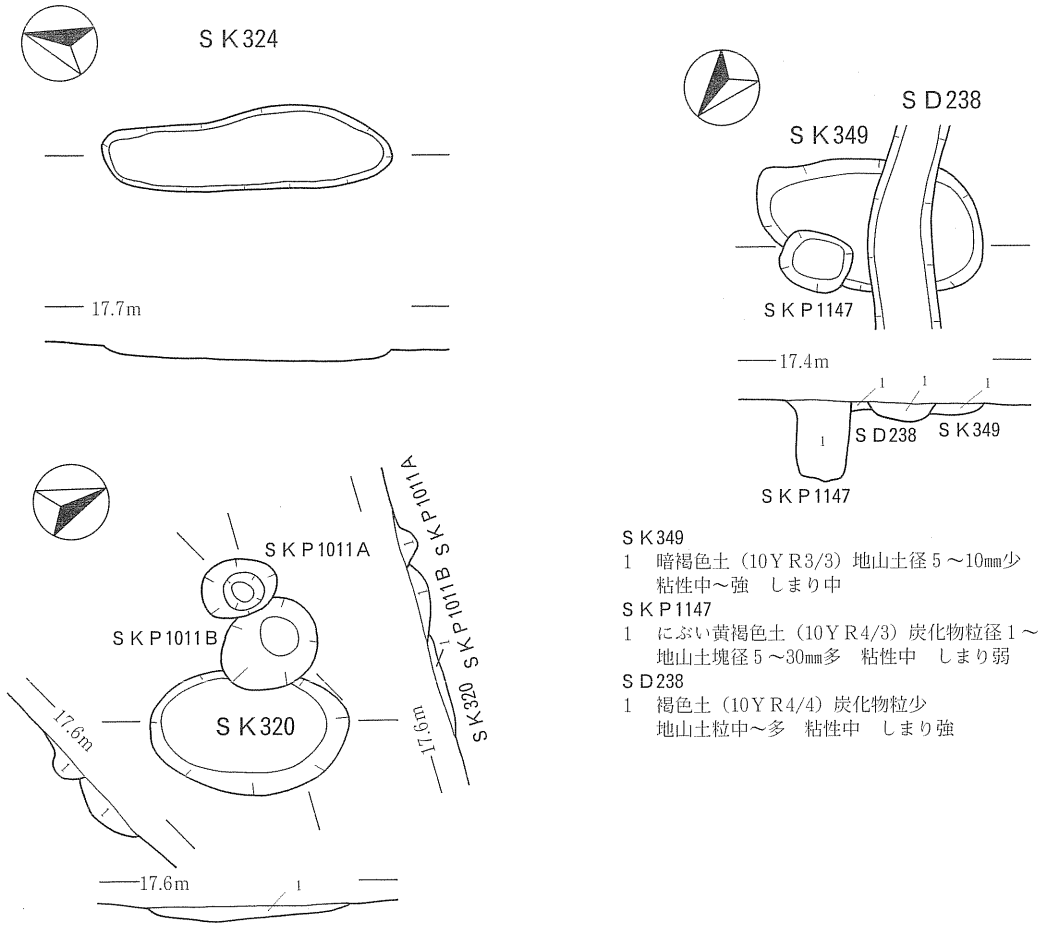
第110図　ＳＫ203・204Ａ・218・220・223・239・245土坑



ＳＫ284
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒径２～５㎜極少
　地山土塊少　粘性弱～中　しまり弱～中

ＳＫ293
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径５～10㎜少
　粘性弱～中　しまり中～強

ＳＫ313
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径５～10㎜少
　粘性中　しまり中



ＳＫ349
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土径５～10㎜少
　粘性中～強　しまり中

ＳＫＰ1147
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）炭化物粒径１～５㎜少～中
　地山土塊径５～30㎜多　粘性中　しまり弱

ＳＤ238
1　褐色土（10ＹＲ4/4）炭化物粒少
　地山土粒中～多　粘性中　しまり強

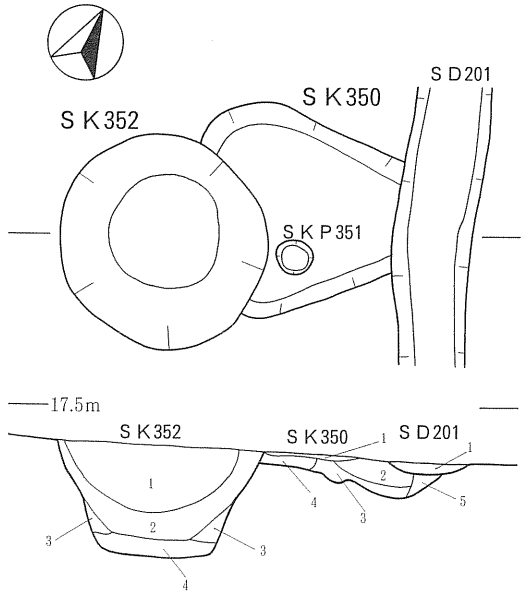
ＳＫ320
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜少
　地山土塊少　粘性中～強　しまり中～強

ＳＫＰ1011Ａ
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山土斑状極少
　粘性弱～中　しまり弱～中

ＳＫＰ1011Ｂ
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊少
　粘性弱～中　しまり中～強

0　2 m

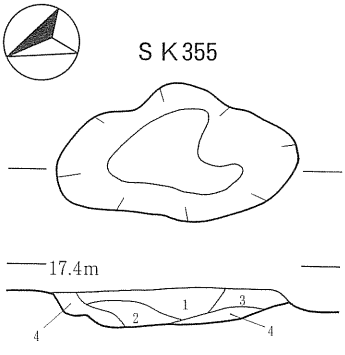
第111図　ＳＫ284・293・313・320・324・349土坑

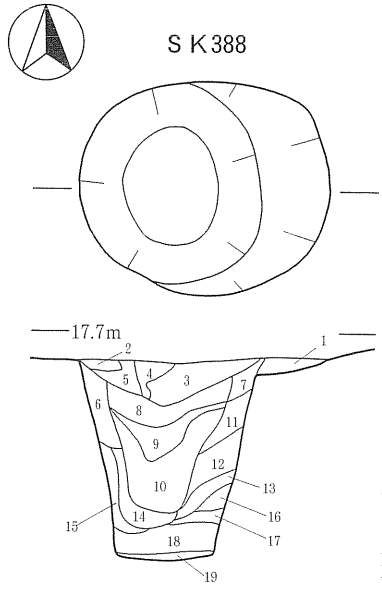


ＳＫ350
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性弱　しまり強
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径１㎜極少
　地山土塊径10㎜極少　粘性弱　しまり強
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径１㎜極少
　地山土少　粘性弱～中　しまり強
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土中
　粘性弱～中　しまり強
5　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性弱～中　しまり強

ＳＫ352
1　褐色土（10ＹＲ4/4）炭化物粒極少　地山土塊斑状多
　未分解有機物少～中　粘性中　しまり中
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）炭化物粒極少
　地山土粒少　粘性中～強　しまり弱
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土斑状少
　粘性中　しまり弱
4　灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）粘性中～強　しまり弱

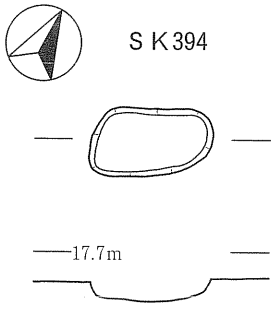
ＳＤ201
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土少
　粘性弱　しまり強

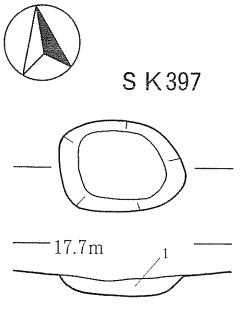




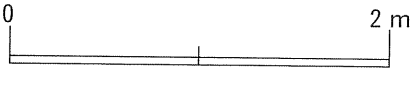
ＳＫ355
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒少
　地山土少　粘性弱～中　しまり中～強
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒少
　地山土塊中　粘性弱～中　しまり弱～中
3　黒褐色土（10ＹＲ2/3）炭化物粒極少
　地山土少　粘性弱～中　しまり弱～中
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊多
　粘性中～強　しまり強

ＳＫ388
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）粘性弱
　しまり強
2　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性弱　しまり強
3　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）地山土塊
　径３㎜少　粘性弱　しまり強
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径２㎜少
　粘性弱　しまり強
5　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）粘性中
　しまり強
6　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）粘性中
　しまり中
7　暗褐色土（10ＹＲ3/3）粘性中
　しまり弱～中
8　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）炭化物粒
　径５㎜少　地山土塊径２㎜少　粘性中
　しまり強
9　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）地山土塊
　径10㎜少　粘性強　しまり中
10　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）地山土塊多
　粘性強　しまり中
11　暗褐色土（10ＹＲ3/3）粘性強　しまり弱
12　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊少
　粘性強　しまり弱
13　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊少
　粘性強　しまり弱
14　暗褐色土（10ＹＲ3/3）粘性強　しまり弱
15　暗褐色土（10ＹＲ3/4）粘性強　しまり弱
16　暗褐色土（10ＹＲ3/4）粘性強　しまり弱
17　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊多
　粘性強　しまり弱
18　暗褐色土（10ＹＲ3/3）粘性強　しまり弱
19　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径３㎜少
　粘性強　しまり弱

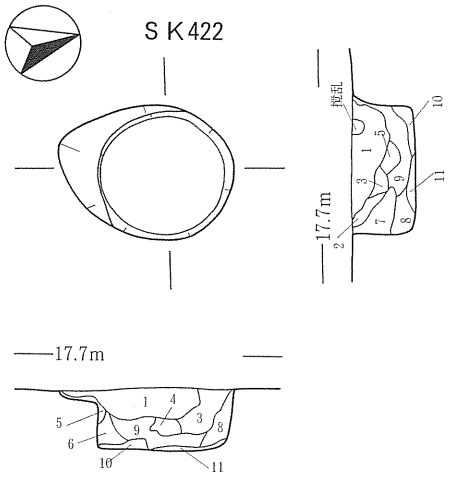




ＳＫ397
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　炭化物粒径３～15㎜極少
　地山土塊径10～20㎜中
　粘性弱～中　しまり中～強

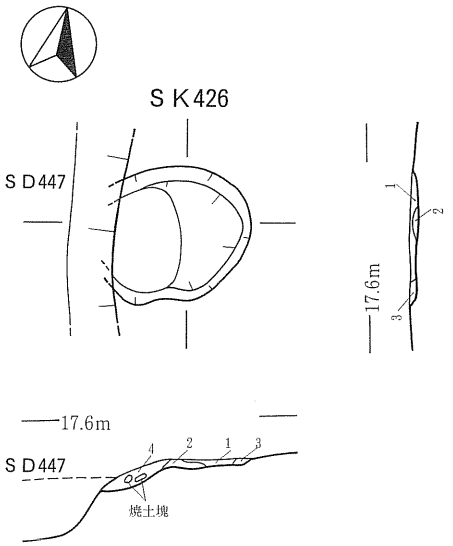


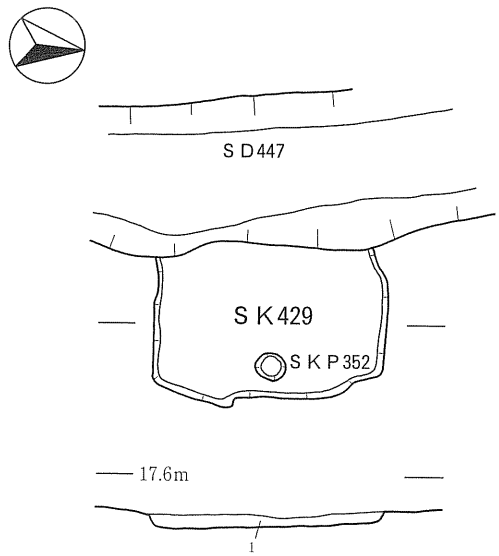
第112図　ＳＫ350・352・355・388・394・397土坑

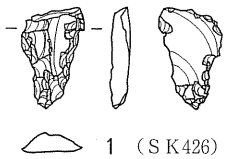


ＳＫ422
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）炭化物粒径３～５㎜極少
　地山土塊径１～３㎜少　粘性中　しまり中　上位に撹乱あり
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊多　粘性中　しまり中
3　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～３㎜極少
　地山土塊径５～10㎜中　粘性中　しまり弱
4　褐色土（10ＹＲ4/6）粘性中　しまり強
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊径５㎜中　粘性中　しまり中～強
6　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径３㎜極少
　地山土塊径１～３㎜少　粘性中　しまり中
7　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径５㎜極少
　地山土塊径３～５㎜少　粘性中　しまり弱～中
8　暗褐色土（10ＹＲ3/4）炭化物粒径１～３㎜極少
　地山土塊径５～10㎜少　粘性中　しまり中
9　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径５～20㎜少
　粘性中～強　しまり弱～中
10　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊中　粘性中　しまり強
11　褐色土（10ＹＲ4/6）黒色土少量入る　粘性中　しまり強

ＳＫ426
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）褐色土（10ＹＲ4/6）中
　粘性弱　しまり強
2　褐色土（10ＹＲ4/4）暗褐色土（10ＹＲ3/3）少
　粘性中　しまり強
3　褐色土（10ＹＲ4/6）暗褐色土（10ＹＲ3/3）多
　粘性弱～中　しまり強
4　褐色土（10ＹＲ4/4）炭化物粒極少　褐色土（10ＹＲ4/6）少
　焼土塊中　植物根による撹乱あり　粘性弱～中　しまり弱







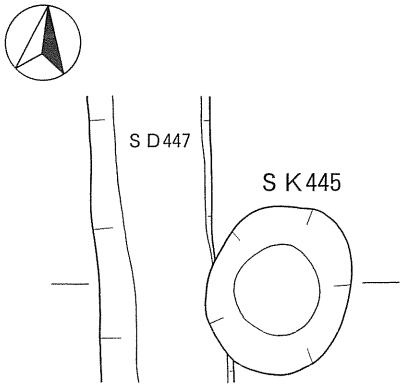
1（ＳＫ426）

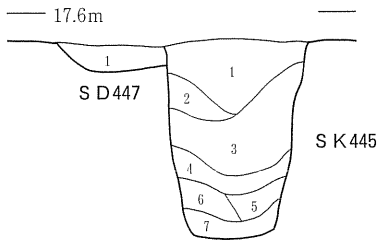
0　5 cm

ＳＫ429
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）
　粘性弱　しまり中　地山塊状多

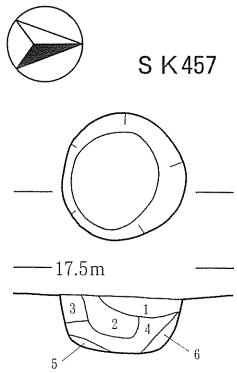
0　2 m

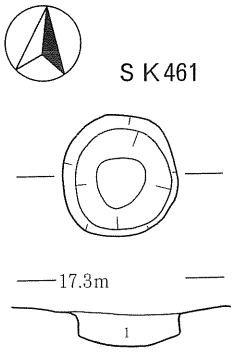
第113図　ＳＫ422・426・429土坑、出土遺物

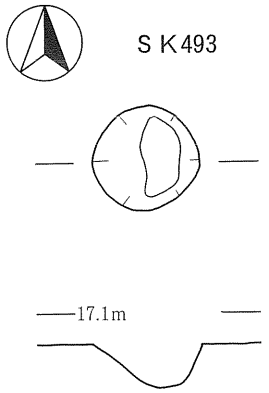




ＳＫ445
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒径５～15㎜極少
　地山土塊少　粘性弱～中　しまり強
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径５～10㎜極少
　地山土塊中　粘性中　しまり中～強
3　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径２～３㎜極少
　地山土斑状少　粘性弱　しまり弱中
4　オリーブ黒色土（5Ｙ3/2）地山土斑状多
　粘性中　しまり弱～中
5　暗オリーブ褐色土（2.5Ｙ3/3）炭化物粒少
　地山土塊中　粘性中～強　しまり中～強
6　暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）炭化物粒径２～５㎜極少
　地山土塊少　オリーブ黒色土（5Ｙ3/2）少　粘性中～強　しまり弱
7　オリーブ黒色土（5Ｙ3/2）炭化物粒多
　地山土塊中　粘性弱～中　しまり弱
ＳＤ447
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜少
　粘性弱～中　しまり強



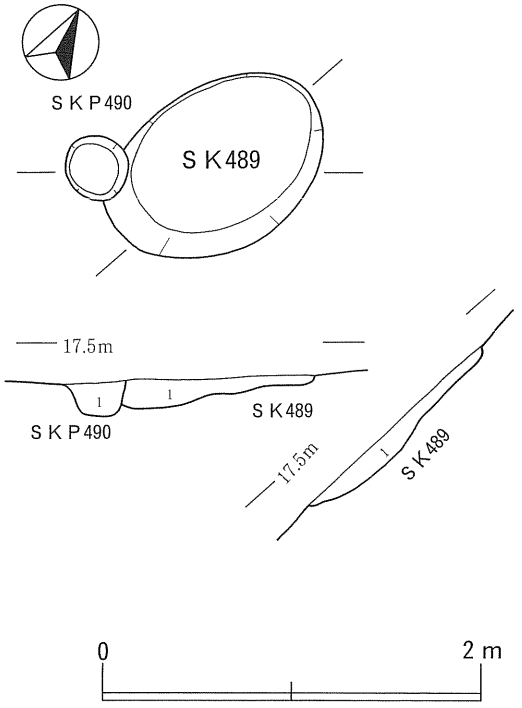




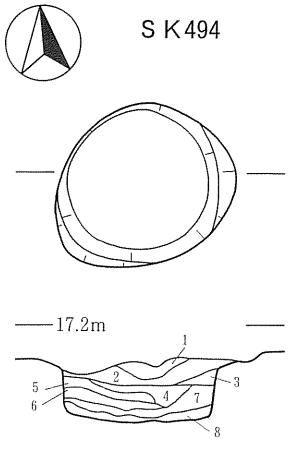
ＳＫ461
1　褐色土（7.5ＹＲ4/3）地山土粒少
　粘性中～強　しまり中～強

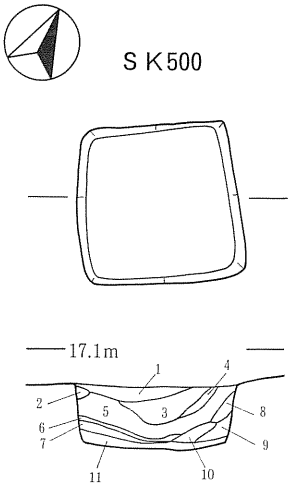
ＳＫ457
1　褐色土（10ＹＲ4/4）地山土多
　粘性弱　しまり弱
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊径10㎜少
　粘性弱　しまり弱
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）粘性弱　しまり弱
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土粒極少
　粘性弱～中　しまり弱
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊径５～10㎜多
　粘性弱～中　しまり中
6　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊径５～10㎜多
　粘性弱～中　しまり中

ＳＫ489
1　褐色土（10ＹＲ4/4）炭化物粒極少
　粘性弱　しまり中
ＳＫＰ490
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）地山土粒極少
　粘性弱　しまり弱



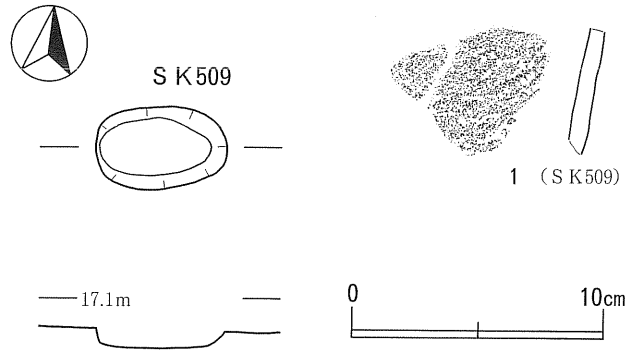
第114図　ＳＫ445・457・461・489・493土坑

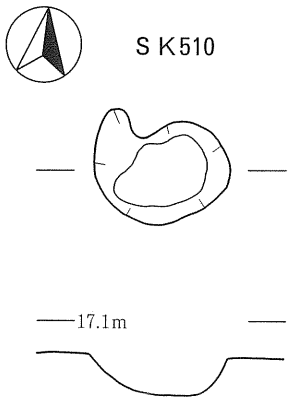


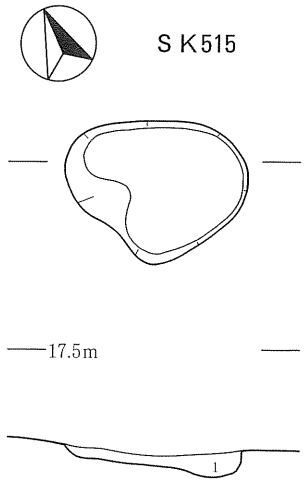


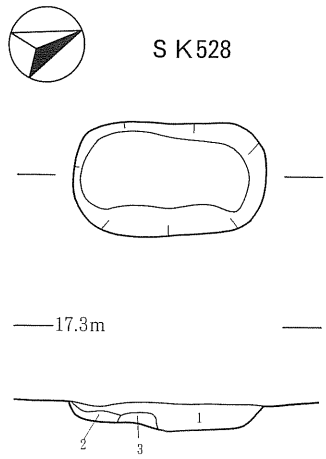
ＳＫ500
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒少
　地山土粒少　粘性中～強　しまり強
2　にぶい褐色土（7.5ＹＲ5/4）粘性強　しまり中～強
3　にぶい褐色土（7.5ＹＲ5/4）粘性強　しまり中～強
4　褐灰色土（10ＹＲ4/1）炭化物粒極少
　地山土粒少　粘性中～強　しまり中
5　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）炭化物粒極少
　地山土粒少　酸化鉄粒極少　粘性弱～中　しまり弱
6　褐色土（7.5ＹＲ4/3）地山土粒少～中
　粘性中　しまり中
7　褐色土（7.5ＹＲ4/3）粘性中～強　しまり弱～中
8　褐色土（7.5ＹＲ4/3）地山土粒多
　粘性中　しまり中
9　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）地山土粒極少
　粘性中　しまり弱
10　黄褐色土（10ＹＲ5/6）
11　にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/4）粘性弱　しまり弱

ＳＫ494
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性弱　しまり弱
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径5㎜少
　地山土塊径10㎜少　粘性弱～中　しまり中
3　褐色土（10ＹＲ4/6）粘性中　しまり強
4　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径５㎜極少
　粘性中　しまり中
5　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径３～５㎜極少
　地山土塊径５㎜極少　粘性中　しまり中
6　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径３㎜少
　粘性中～強　しまり中
7　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性中～強　しまり中～強
8　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径７㎜少
　地山土塊径3～５㎜極少　粘性中～強　しまり中～強







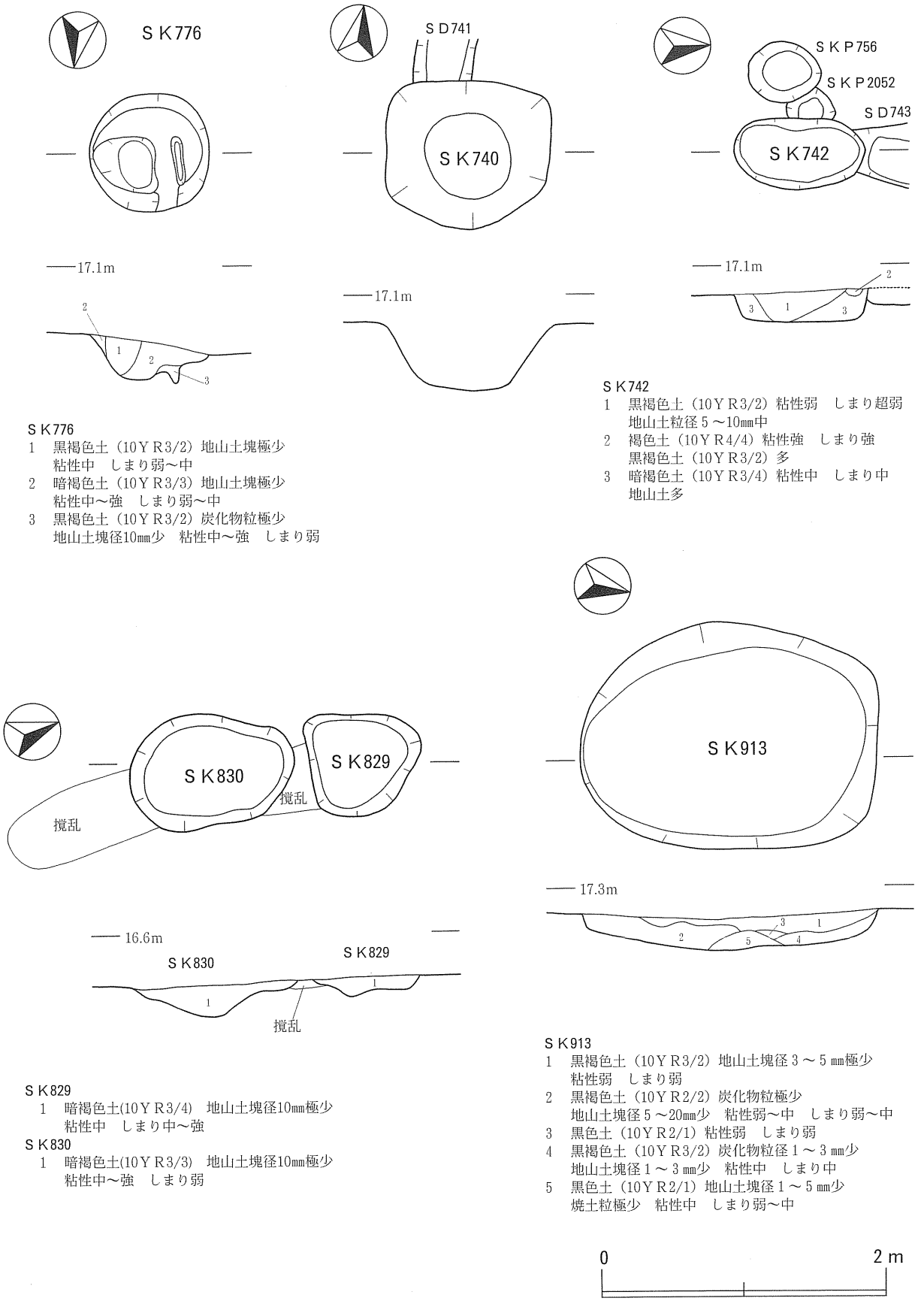


ＳＫ515
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜少
　地山土塊少　粘性中　しまり強

ＳＫ528
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）地山土塊径10㎜極少
　粘性弱～中　しまり弱～中
2　褐色土（10ＹＲ4/4）炭化物粒径５㎜極少
　粘性中～強　しまり中
3　褐色土（10ＹＲ4/6）地山土多
　黒褐色土多　粘性中～強　しまり中～強

0　2 m

第115図　ＳＫ494・500・509・510・515・528土坑、出土遺物



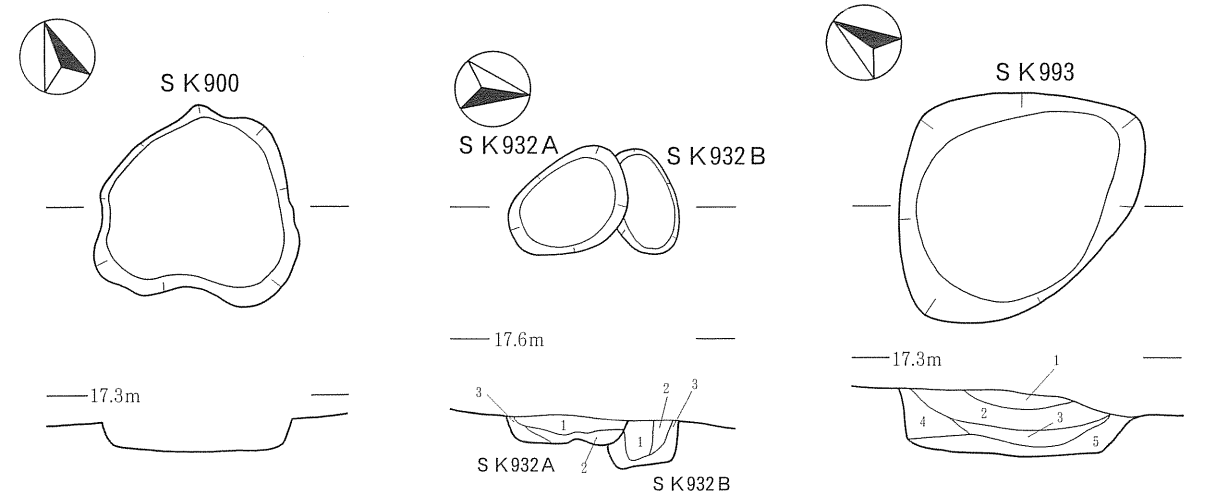
ＳＫ776
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊極少
　粘性中　しまり弱～中
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊極少
　粘性中～強　しまり弱～中
3　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒極少
　地山土塊径10㎜少　粘性中～強　しまり弱

ＳＫ742
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）粘性弱　しまり超弱
　地山土粒径５～10㎜中
2　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性強　しまり強
　黒褐色土（10ＹＲ3/2）多
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）粘性中　しまり中
　地山土多

ＳＫ829
1　暗褐色土(10ＹＲ3/4)　地山土塊径10㎜極少
　粘性中　しまり中～強
ＳＫ830
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)　地山土塊径10㎜極少
　粘性中～強　しまり弱

ＳＫ913
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径３～５㎜極少
　粘性弱　しまり弱
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒極少
　地山土塊径５～20㎜少　粘性弱～中　しまり弱～中
3　黒色土（10ＹＲ2/1）粘性弱　しまり弱
4　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～３㎜少
　地山土塊径１～３㎜少　粘性中　しまり中
5　黒色土（10ＹＲ2/1）地山土塊径１～５㎜少
　焼土粒極少　粘性中　しまり弱～中

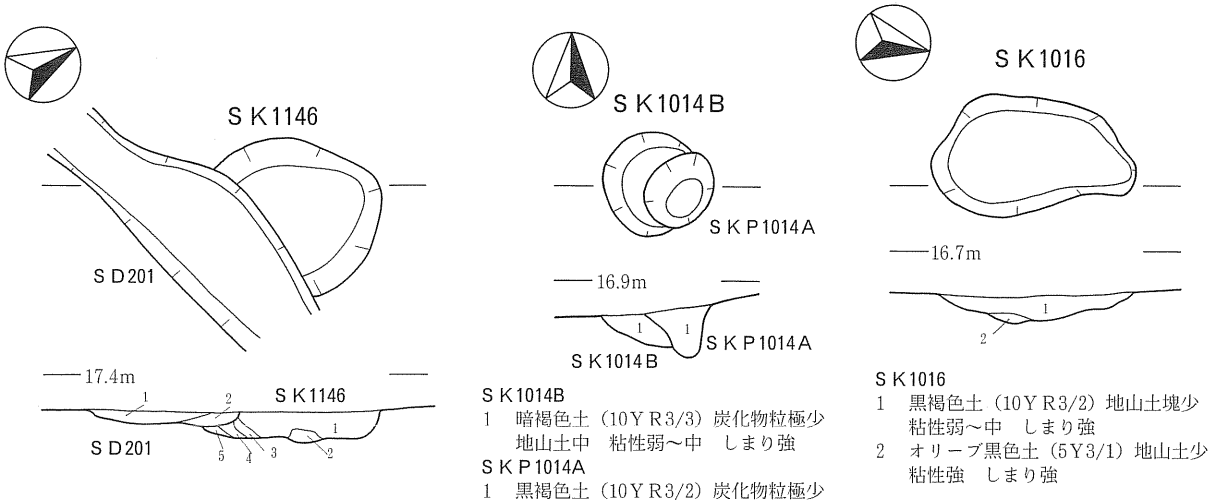
第116図　ＳＫ740・776・829・830・913土坑



ＳＫ932Ａ
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径５～10㎜少
　焼土粒径１～３㎜極少　粘性弱　しまり中
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊極少
　粘性中　しまり中
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）粘性中～強　しまり中～強

ＳＫ932Ｂ
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山土塊径１～３㎜極少
　焼土粒径３㎜極少　粘性中　しまり弱
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊径１㎜極少
　粘性中　しまり中
3　褐色土（10ＹＲ4/4）粘性強　しまり強

ＳＫ993
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜極少
　地山土極少　焼土径７㎜極少　粘性弱～中　しまり強
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒径２～５㎜極少
　地山土極少　粘性弱～中　しまり弱～中
3　黒褐色土（10ＹＲ3/1）炭化物粒径５～10㎜極少
　地山土極少　粘性弱～中　しまり弱～中
4　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径２～３㎜極少
　地山土少　粘性弱～中　しまり強
5　黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物粒径３～10㎜少
　地山土少　焼土径３～５㎜極少　粘性弱～中　しまり中～強



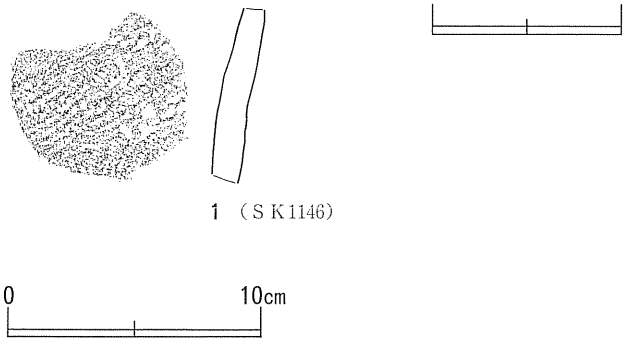
ＳＫ1014Ｂ
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒極少
　地山土中　粘性弱～中　しまり強

ＳＫＰ1014Ａ
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒極少
　地山土少　粘性弱　しまり弱～中

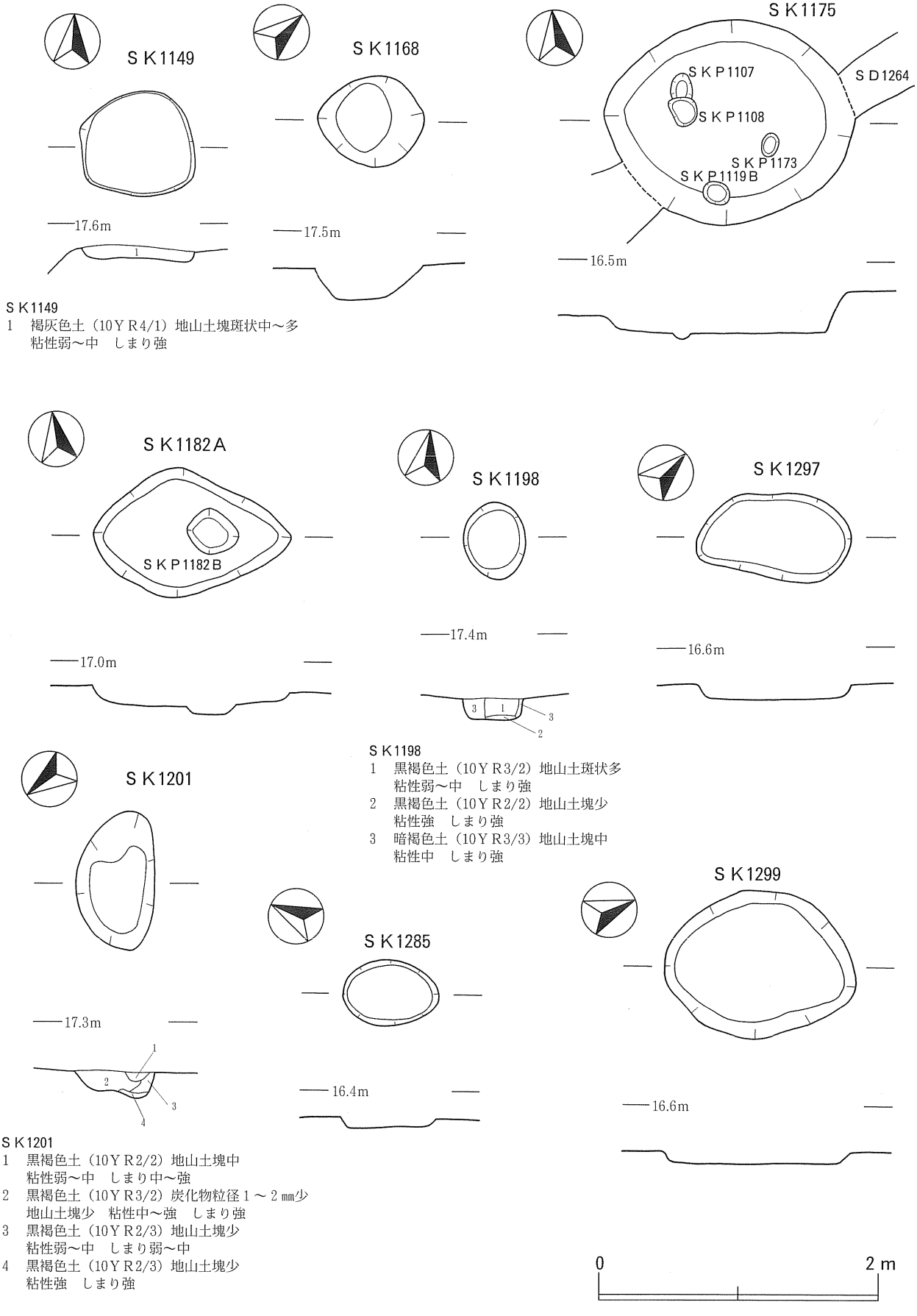
ＳＫ1016
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土塊少
　粘性弱～中　しまり強
2　オリーブ黒色土（5Ｙ3/1）地山土少
　粘性強　しまり強

ＳＫ1146
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）炭化物粒極少
　粘性中　しまり中
2　明黄褐色土（10ＹＲ6/6）暗褐色土（10ＹＲ3/4）中～多
　粘性中～強　しまり中～強
3　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）地山土極少
　粘性中　しまり中～強
4　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）炭化物粒極少
　地山土少～中　粘性中～強　しまり中～強
5　明黄褐色土（10ＹＲ6/6）炭化物粒極少
　暗褐色土（10ＹＲ3/4）多　粘性中～強　しまり中

ＳＤ201
1　黒褐色土（10ＹＲ3/1）地山土粒径２～10㎜少
　粘性弱　しまり中
2　明黄褐色土（10ＹＲ6/6）粘性中～強　しまり弱～中



第117図　ＳＫ900・932Ａ・932Ｂ・993・1014Ｂ・1016・1146土坑、出土遺物

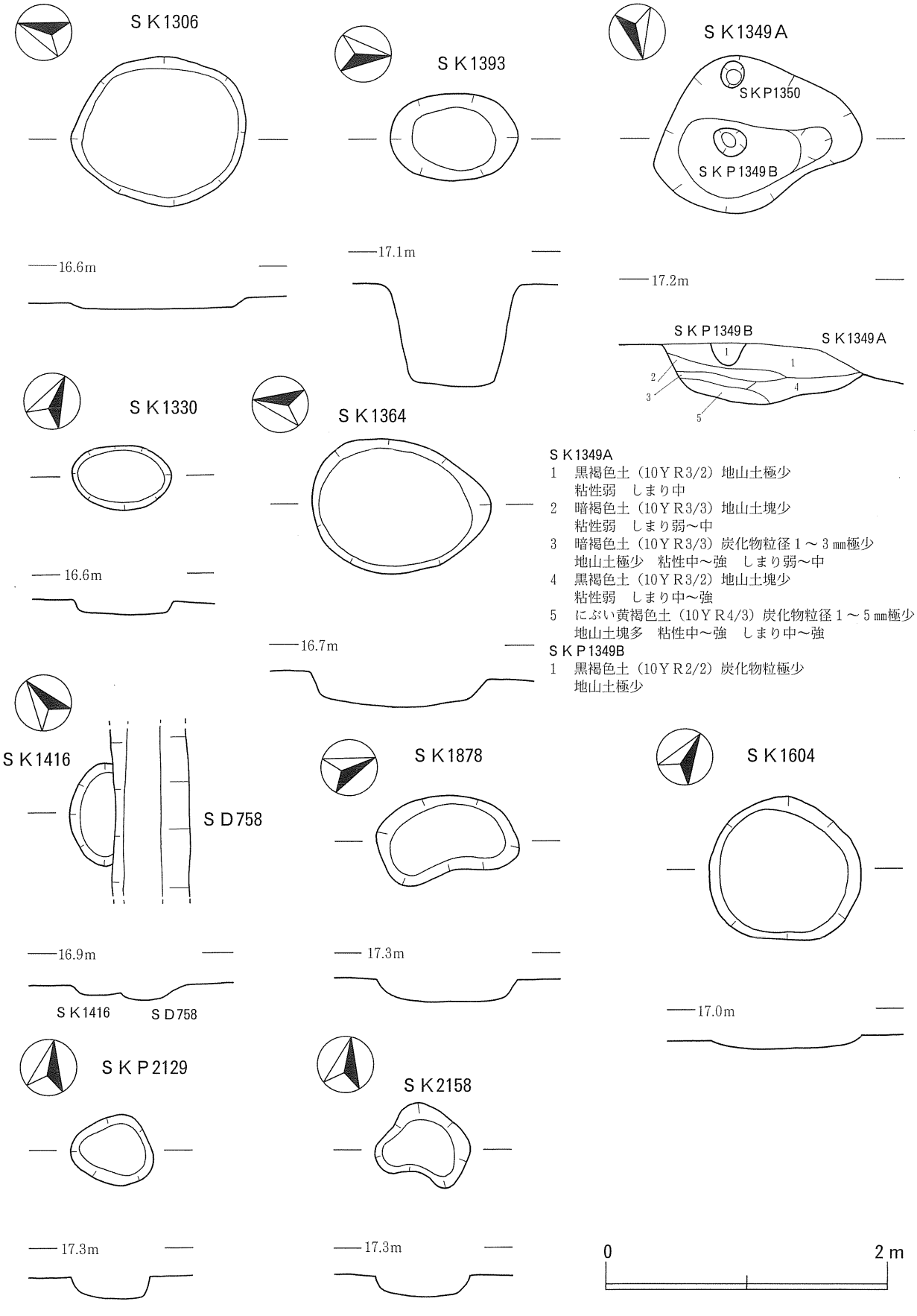


ＳＫ1149
1　褐灰色土（10ＹＲ4/1）地山土塊斑状中～多
　粘性弱～中　しまり強

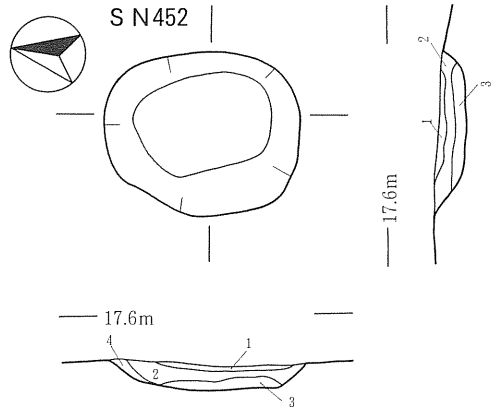
ＳＫ1198
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山土斑状多
　粘性弱～中　しまり強
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山土塊少
　粘性強　しまり強
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山土塊中
　粘性中　しまり強

ＳＫ1201
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山土塊中
　粘性弱～中　しまり中～強
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物粒径１～２㎜少
　地山土塊少　粘性中～強　しまり強
3　黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山土塊少
　粘性弱～中　しまり弱～中
4　黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山土塊少
　粘性強　しまり強

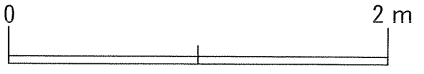
第118図　ＳＫ1149・1168・1175・1182・1198・1201・1285・1297・1299土坑

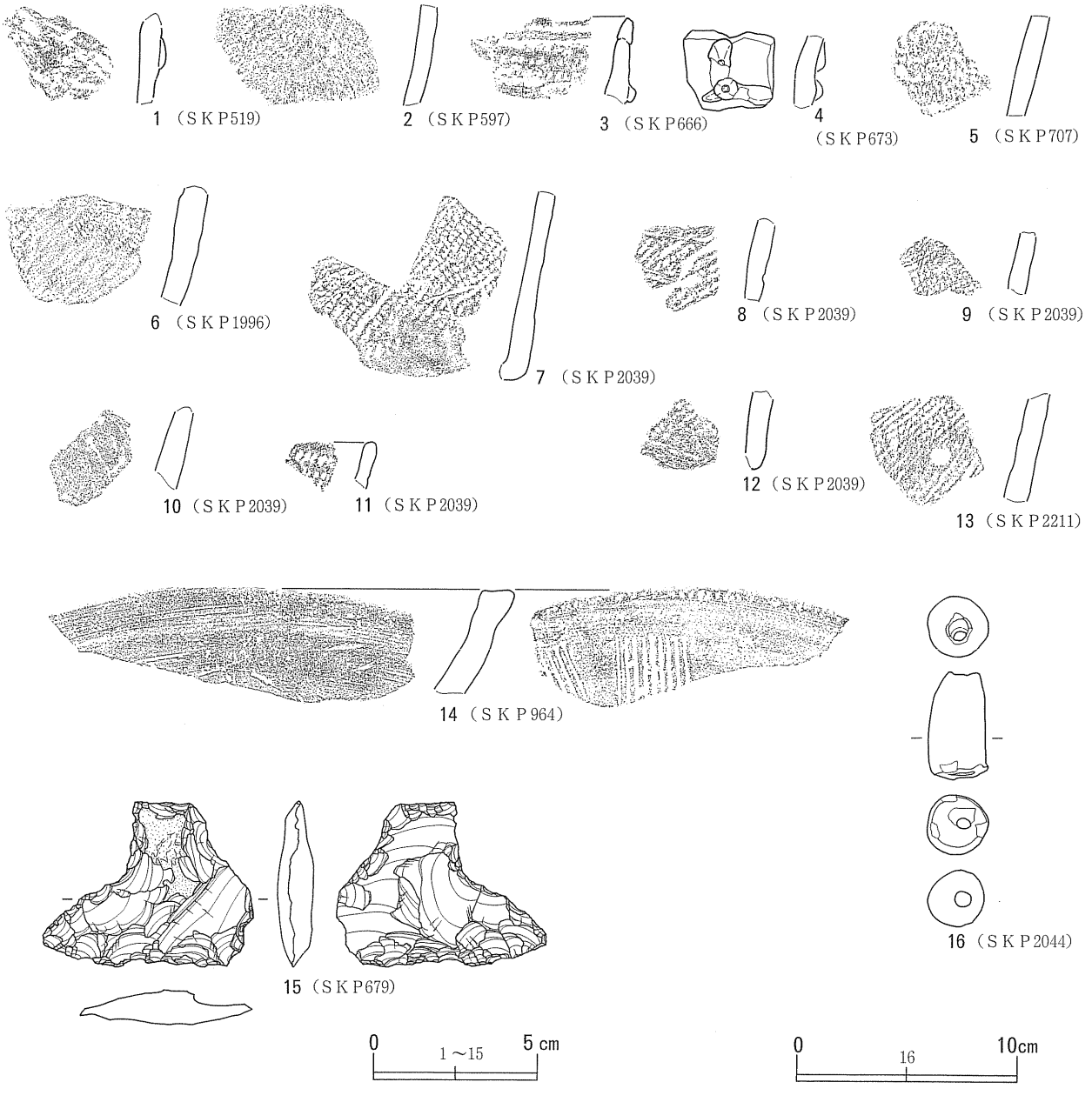


第119図　ＳＫ1306・1330・1349A・1364・1393・1416・1604・1878・2158土坑、ＳＫＰ2129柱穴

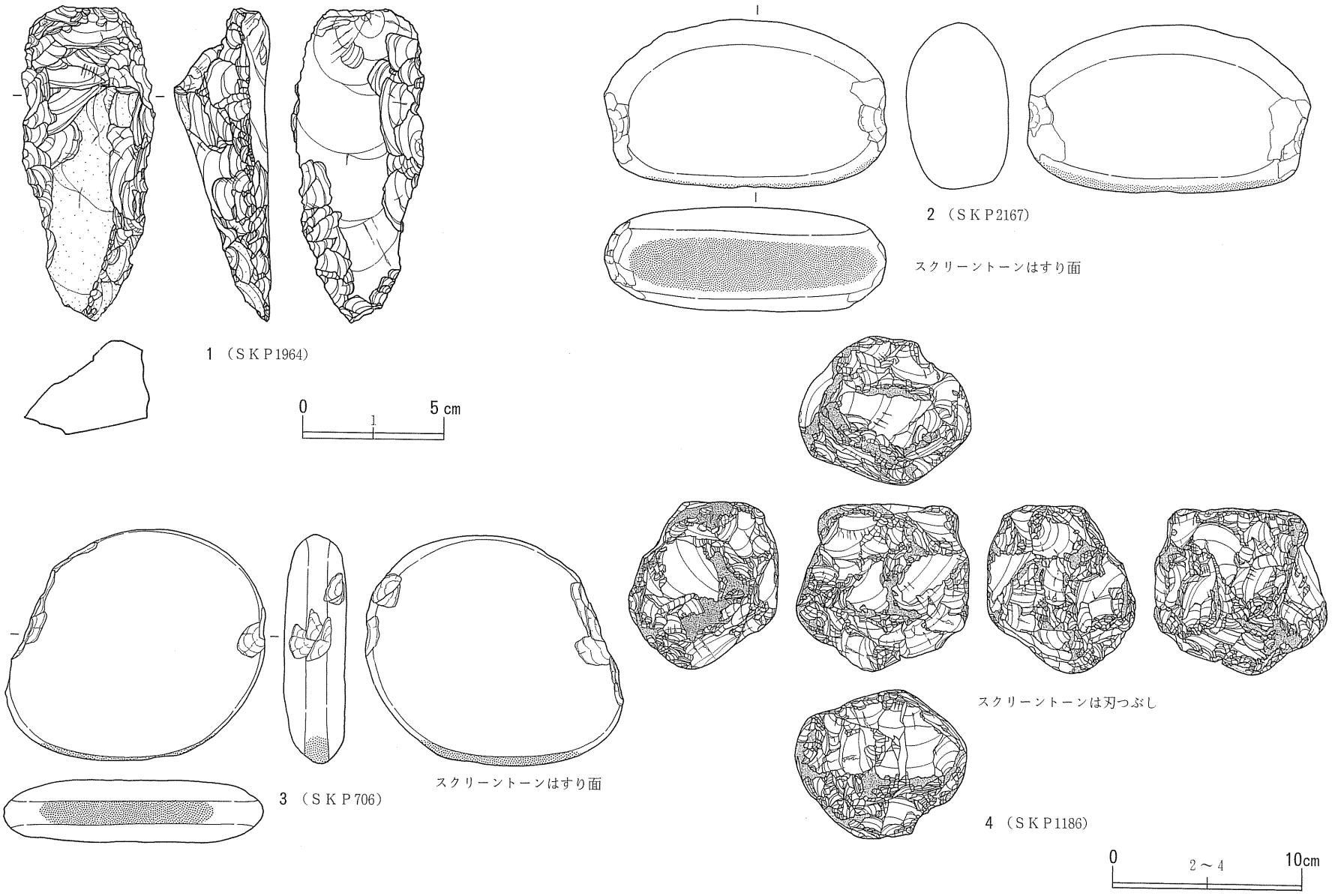


ＳＮ452
1　黒褐色土（7.5ＹＲ3/2）炭化物粒径３～15㎜少
　焼土塊径５～30㎜中　粘性弱～中　しまり弱～中
2　暗赤褐色土（5ＹＲ3/2）炭化物粒径５～15㎜少　地山土塊径５～20㎜少
　焼土径５～15㎜少　粘性中　しまり中～強
3　黒褐色土（7.5ＹＲ3/2）炭化物粒径５～15㎜少　地山土塊径５～30㎜中
　焼土径５～10㎜少　粘性弱～中　しまり強
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）炭化物粒径１～３㎜極少
　粘性弱～中　しまり弱～中





第120図　ＳＮ452焼土遺構/柱穴出土遺物(1)



第121図　柱穴出土遺物(2)

３．遺構外出土遺物

遺構外出土遺物については第122～127図に掲げた。溝跡出土遺物（第109図）・柱穴出土遺物（第120図・第121図）もここで取り上げる。なお、表中の図番号は第122図１を“122－１”のように略記した。

①縄文土器（第41表）

図番号	出土地点	観察結果	図番号	出土地点	観察結果
120－１	ＳＫＰ519	胴部（摩滅）、前期～中期	122－13	ＭＭ51区	口縁部直下胴部、円筒下層式
120－２	ＳＫＰ597	胴部、斜縄文	122－14	ＭＩ56区	胴部、斜縄文
120－３	ＳＫＰ666	口縁部直下胴部、刺突文、前期末	122－15	ＬＭ60区	胴部、縄文圧痕
120－４	ＳＫＰ673	口縁部直下胴部、隆帯、前期末	122－16	ＭＭ57区	胴部、繊維混入、
120－５	ＳＫＰ707	胴部、斜縄文	122－17	ＬＭ57区	胴部、無文地に縄文圧痕、被熱
120－６	ＳＫＰ1996	胴部、斜縄文、被熱痕	122－18	ＮＥ60区	胴部下半、斜縄文
120－７	ＳＫＰ2039	胴部～底部、斜縄文、一部磨り	122－19	ＮＥ60区	胴部、斜縄文
120－８	ＳＫＰ2039	胴部、斜縄文	123－１	ＭＩ48区	胴部、斜縄文
120－９	ＳＫＰ2039	胴部、斜縄文	123－２	ＭＪ46区	結節による綾繰文表出、斜縄文
120－10	ＳＫＰ2039	胴部、斜縄文	123－３	ＭＰ52区	摩滅、斜縄文
120－11	ＳＫＰ2039	胴部～底部、斜縄文、前期前半？	123－４	ＭＣ58区	羽状縄文
120－12	ＳＫＰ2039	口縁部、刺突文	123－５	ＭＳ58区	胴部上半、横位に幅広の沈線
120－13	ＳＫＰ2211	胴部、斜縄文、刺突による凹み	123－６	ＭＭ56区	胴部、横走縄文
122－１	ＬＴ60区	口縁部、刺突・縄文圧痕・隆帯、中期？	123－７	ＭＪ56区	斜縄文
122－２	ＬＳ57区	口縁部、縦位撚糸文、被熱痕	123－８	ＭＤ57区	横位に羽状縄文
120－３	ＭＬ56区	口縁部、斜縄文	123－９	ＮＥ60区	胴部、横走縄文
122－４	ＭＮ57区	口縁部、北陸系	123－10	ＮＥ60区	斜縄文、横位に一条の沈線
122－５	ＮＥ60区	口縁部、斜縄文、摩滅	123－11	ＮＥ60区	斜縄文、繊維混入
122－６	ＮＥ60区	口縁部、斜縄文	123－12	ＭＬ56区	胴部、斜縄文
122－７	ＭＮ55区	口縁部、縄文圧痕	123－13	ＭＪ56区	胴部、斜縄文
122－８	ＭＭ57区	口縁部、ボタン状貼付文	123－14	ＭＮ54区	胴部、斜縄文
122－９	ＮＥ60区	口縁部直下胴部、円筒下層式	123－15	ＭＭ51区	底部、ミニチュア土器？ 摩滅
122－10	ＭＩ56区	口縁部直下胴部	123－16	ＭＪ46区	胴部、斜縄文
122－11	ＭＧ54区	胴部、隆帯・ボタン状貼付文→斜縄文	123－17	ＬＱ56区	胴部下半～底部、横位に羽状縄文、中期？
122－12	ＭＮ54区	胴部、隆帯、円筒系			

②石器（第42表）

（計測値は㎜）

図番号	出土地点	観察・計測結果	図番号	出土地点	観察・計測結果
78－１	ＳＫ643	スクレイパー、長59.5・幅33.5・厚15	124－４	ＭＬ56区	スクレイパー、長50・幅32・厚11、アスファルト付着
83－１	ＳＮ765	スクレイパー、長121.5・幅70・厚33			
83－２	ＳＮ552	三脚石器、長48・幅51.5・厚10	124－５	ＭＨ53区	スクレイパー、長50・幅24・厚13.5
109－５	ＳＤ238	磨石、長169・幅100・厚38、扁平な面に指頭大凹み。川原石製	124－６	ＭＭ53区	スクレイパー、長72・幅40・厚14
			124－７	ＭＬ56区	スクレイパー、長59.5・幅75・厚15
109－７	ＳＤ447	石匙、長54.5・幅70・厚10	125－１	ＮＣ58区	スクレイパー、長110・幅43・厚20
109－８	ＳＤ978	スクレイパー、長41.5・幅26・厚10	125－２	ＭＪ51区	微細剥離痕ある剥片、長74・幅31・厚９
113－１	ＳＫ426	スクレイパー、長26.5・幅17・厚5.5	125－３	ＭＥ60区	石錐、長44・幅27・厚10、原石面残る不定形剥片の一端を調整して錐部を形成
120－16	ＳＫＰ679	石匙（半）、長51・幅64・厚11			
121－１	ＳＫＰ1964	スクレイパー、長111・幅47.5・厚34	125－４	ＭＮ53区	石匙、長64.5・幅38.5・厚10
121－２	ＳＫＰ2167	磨石、長149・幅89・厚55、すり面反対側に被熱痕、川原石製	125－５	ＭＭ53区	石匙、長56・幅72.5・厚13
			125－６	ＭＩ56区	石匙、長30.5・幅51.5・厚８
121－３	ＳＫＰ706	磨石、長119・幅142・厚32、川原石製	125－７	ＭＭ52区	石匙（半）、長37.5・幅86.5・厚20
121－４	ＳＫＰ1186	石核、稜部分を刃潰し	125－８	ＭＣ60区	石匙（半）、長41・幅49・厚10
124－１	ＭＮ51区	石鏃、長163・幅69・厚37、握り部分を刃潰し	125－10	ＭＬ52区	尖頭器、長38・幅14・厚７
124－２	ＭＬ53区	石篦、長72・幅42・厚14	126－１	ＭＬ57区	石錘、長100・幅76・厚19、川原石製
124－３	ＭＮ52区	石篦、長100・幅53・厚28			

（78－１はメノウ製、それ以外の剥片石器はすべて頁岩製）

③陶磁器（第43表）

図番号	出土地点	大　別	種　　別	器種	部位	観　　察　　結　　果
105－４	ＳＫ407	中国磁器	青磁	碗	胴～底部	元代龍泉窯産（13世紀）　内外面施釉、内側面劃花
109－１	ＳＤ201	国産陶器	須恵器系陶器	擂鉢	底部	吉岡編年Ｖ期（14世紀末～15世紀前半）　内外面ロクロナデ、外底面ヘラナデ、オロシメ原体は９本櫛歯
109－６	ＳＤ656	中国磁器	青白磁	盤	底部	景徳鎮産（14世紀）　内外面施釉、内底面劃花、高台鉄釉→沈刻
120－14	ＳＫＰ964	国産陶器	須恵器系陶器	擂鉢	口縁部	吉岡編年Ｖ期　オロシメ原体は９本櫛歯、ロクロナデ
126－２	ＭＪ50区	国産陶器	須恵器系陶器	擂鉢	口縁部	内面ロクロナデ、外面ロクロナデ→ヘラケズリ
126－３	ＭＩ53区	国産陶器	須恵器系陶器	甕	胴部	外面タタキメ
126－４	ＭＮ63区	国産陶器	須恵器系陶器	甕	胴部	外面タタキメ、内面当て具痕
126－５	ＭＣ51区	国産陶器	須恵器系陶器	擂鉢	胴部	外面タタキメ
126－６	ＭＭ64区	国産陶器	須恵器系陶器	不明	底部	外面ロクロナデ、内底面重ね焼き痕跡
126－７	ＮＣ52区	国産陶器	瀬戸	不明	底部	無台。外底は無調整・無釉。内面施釉（淡い黄緑色）
126－８	ＭＭ54区	国産陶器	瀬戸	小皿?	底部	有台。内外面施釉（淡い暗緑色）
126－９	ＭＫ54区	国産陶器	唐津	小皿?	底部	有台。内面施釉（暗緑色）、見込蛇の目釉ハギ
126－10	ＭＬ54区	国産陶器	唐津	小皿?	底部	有台。内外面施釉（濃い暗緑色）
126－11	ＭＯ52区	国産磁器	肥前染付	碗	口縁部	外面立涌草花文装飾、内面二重圏線
126－12	ＭＬ54区	国産磁器	肥前染付	小皿?	底部	有台。内外面装飾（外面圏線文）。高台は意図的打ち欠きか
126－13	ＭＣ48区	国産磁器	肥前染付	碗	底部	有台。外面唐草文？　高台は意図的な打ち欠きか
126－14	ＮＡ53区	国産磁器	肥前染付	小鉢?	口縁部	外面縞文？、内面二重圏線
127－１	不明	国産磁器	肥前染付	皿	底部	有台の五寸皿。内面唐草文、外面一重圏線、台二重圏線、台裏一重圏線。波佐見産？（17世紀後～18世紀？）
127－２	ＬＭ61区	国産磁器	肥前染付	碗	底部	有台。外面に装飾、台裏に銘（草書体）

④鉄製品（第44表）

たたら研究会穴澤義功氏より、出土鉄製品がいずれも中世以降の諸特徴を有するとの御教示をいただいた。

図番号	出土地点	観　　察　　結　　果
109－９	ＳＤ656	板状鉄製品（くさびまたは釘的使用）
109－10	ＳＤ656	フック状鉄製品
127－９	ＭＭ54区	くさび形鉄製品
127－10	ＭＥ59区	くさび形鉄製品
127－11	ＭＫ54区	板状鉄製品
127－12	ＭＫ54区	板状鉄製品：折れ曲がった上で溶着。タガネもしくはカスガイなどの用途か。
127－13	ＭＲ53区	刀子
127－14	ＭＮ56区	板状鉄製品：にぶい赤色を呈する箇所が広がり、そのなかの一部が炭化。サヤを伴っていたか。
127－15	ＭＨ58区	棒状鉄製品

⑤土錘（第45表）

図番号	出土地点	種別	観　察　結　果
120－15	ＳＫＰ2044	土錘	細形管状、軟質、灰黄褐色一部褐灰色
127－３	ＭＭ57区	土錘	太形管状、硬質、橙色、一部ガラス化
127－４	ＮＣ50区	土錘	太形管状、硬質、橙色、一部ガラス化
127－５	ＭＭ52区	土錘	太形管状、やや軟質、にぶい褐色
127－６	ＭＮ52区	土錘	太形管状、やや軟質、にぶい褐色
127－７	ＭＩ48区	土錘	太形管状、やや軟質、にぶい褐色
127－８	ＬＯ58区	土錘	球状、やや軟質、にぶい褐色